



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2003

7

MONTHLY LETTER No.1

2003. 7. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーご挨拶	1
国際ロータリー会長メッセージ	2
直前ガバナーご挨拶	4
直前ガバナーへの謝辞	4
ガバナーエレクトご挨拶	5
地区研修リーダーご挨拶	6
7月は識字率向上月間です	7
ガバナー補佐ご挨拶	8
ガバナー補佐連絡先一覧表	14
日韓親善会議のご案内	15
3委員会合同の意見交換会開催のご案内	15
ガバナー公式訪問に関するお願い	16
ガバナー公式訪問日程	17
ロータリー定期報告関係	18・19
地区予算	20
地区クラブ一覧表	21
地区代表幹事・幹事担当部署	22
地区組織図	23
文庫通信	25
掲示板	25
地区カレンダー	26

ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

2003～04年度
国際ロータリーのテーマ



手を貸そう



アデ・マジニアベRI会長夫人のご逝去を悼んで

数週間前に起こった脳卒中のため、ジョナサン・マジニアベRI会長のアデ・マジニアベ夫人が、2003年6月6日、英国においてご逝去されました。

謹んで哀悼の意を表します。



ご挨拶

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 佐藤 秀雄

今年度 ジョナサンB. マジリアベRI会長は、LEND A HAND「手を貸そう」をテーマに掲げました。世界には手を貸して上げなければならない多くの人達があります。例えばポリオウイルスに冒される子供たち、飢餓に苦しむアフリカ、アジアの人達、戦争或いは内乱によって故郷を追われた難民の人達、数え上げれば限りなく多くの人達がいることを認識し理解して欲しいのです。そして、これらの人達を救済するために「手を貸して」やって下さい。それは財団です。財団に少しの寄付を御願います。私達日本のロータリアンも時下の経済環境の中で厳しい立場に置かれているのも事実であります。これらの人達はそれ以上に厳しいのです。ポリオに罹った子供を見て下さい。この子供達は生涯身体に障害を背負いながらの生活を余儀無くされるのです。この子供達の国々でこの子供達の面倒を看てくれるのでしょうか。看てくれないからこそ各国の政府、WHO、ユニセフ、国際ロータリー等が資金を出してワクチンを購入し、子供たちをポリオから予防するために投与しているのです。

さて、いよいよ1年間のエレクト期間を経て本番に入りました。熱き思いをもってこの1年間クラブの舵をとって頂きたいと思っています。大切なことはロータリアンの意識改革です。新しい会員には「ロータリーとは」を徹底的に教えて下さい。古い会員には新しい発想のもとで、意識の改革を行って下さい。特にベテラン会員は過去のことに執着しがちです。之に怯むことなく改革に立ち向かって下さい。小さなことから始めて下さい。例えば例会のあり方をがらりと変えてみるとか、担当委員会を決めて、身近ないろいろな問題についてワークショップを開催するのも良いでしょう。信念を持って行動を起こして下さい。従前のままを踏襲するのではなく新しいものに挑戦してみてください。きっとクラブは活性化される筈です。クラブ運営予算の改革も重要です。会員の減少に伴う予算の配分についても考慮が必要です。予算が不足するから会費を値上げするのではなく、いかに従前の会費で効率よく事業が展開できるかに知恵を出して下さい。

クラブ会長、幹事さんは素晴らしい能力を潜在的に秘めた方々ばかりです。その能力をクラブの活性化のために顕在化させて下さい。

限りある1年です。共に汗を流しましょう。

国際ロータリー第2510地区 2003～2004年度 地区目標

地区運営の目標・クラブ運営の目標

◎ 情報ネットワーク作り

地区が、ガバナー、クラブ、ガバナー補佐、および地区委員会の相互の関連活動を明確にするために当該年度の連絡交信のための情報ネットワーク作りに専念したいと考えています。

Ⅰ C委員会の支援により

- ①地区とRIとの情報ネットワーク
- ②地区と72クラブの情報ネットワーク
- ③地区とガバナー補佐との情報ネットワーク
- ④地区と地区委員会委員長との情報ネットワーク

を構築し経費の削減を図らなければなりません。



手を貸そう

親愛なる同僚ロータリアンの皆さん

2003-04年度国際ロータリー会長

ジョナサンB. マジアベ

今の私たちの世界では、幾百万という人々が、貧困のどん底生活をしているのです——彼等の胃袋は空っぽです。彼等の胸には絶望以外なものもありません。世界の最も貧しい国々では、男も女も着るものがなくて文字通りボロをまとっています。子供達はハダカで走り回り、そのやせ衰えた身体は栄養失調の典型です。健康管理にも教育にも全く無縁ですから、病気と無知にさいなまれ、次ぎの世代も、よりよい暮らしへの希望など全く持てずに育ってゆくのです。

これが世界中途上国のどこでも見られるありふれた不気味な筋書きです——こういうことは多くのロータリアンがよく知っています。多年にわたってロータリー・クラブや地区は、人々が食糧、衣料、住居に事欠く地域で発生する深刻な問題に取り組んで来ました——清潔な水、学校、診療所等はもちろんのこととして……

貧困にも色々違った顔があります。私の祖国アフリカでは、貧乏神は悲惨な顔を見せています。比較的恵まれた国では、貧乏神はしばしば顔を隠して、実際にそれが存在しても、無視されたり、存在自体が安易に否定されたりもします。しかし世界中殆ど何処の地域でも、そこは人々にとって深刻な何かを抱えている家宅なのです。私はロータリアンの皆様をお願いしたい……目を開いて周囲を見回し、住居、健康管理、食糧、その他生産的生活の基本に事欠く人々の問題に同情をよせ、実際の効果があがるように取り組んでくださいと。

大部分のロータリアンは比較的快適に暮らせる幸運に恵まれています。今日の「地球村」では、戦争、飢饉、自然災害の影響がこの惑星上の至る所に止めどもなく押し寄せ、平和な世界への道をふさいでいます。かくも多くの世界に起こる騒動に火をつけ更に油をそそぐのは、貧困から生まれる絶望なのです。いやくも私達が平和という究極のゴールに到達しようとするなら、私たちロータリアンはまず希望を与えなければなりません。2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、真っ正面からこれに挑戦して貧困を減ら

すことを、第一番の目標とされるようお願いいたします。

この運動の重要戦略は女性に対する教育でなければなりません。途上国世界の大部分を通じて識字率は女性の方が男性よりはるかに低いのです。こういう教育資産の不均衡から、一般的に子供の教育に対する女性の責任が軽視されることとなります。読み書きできる女性は、その技量を子供たちに伝え、そして次ぎの世代がまた更に高い識字力を身につける様になる事は間違いありません。

私たちはまた、小口金融プロジェクトによって貧困と戦うことが出来ます。これは小規模の新規事業を立ち上げようとする場合——主として女性ですが、多くの場合通常の融資になじまぬ人に、小額金融の道をつけるものです。たとえUS100ドルの少額でも、こうした駆け出しの素人企業家達は、貧困の悪循環を断ち切って家族を養うことが出来るようになります。小口金融が成功すればその成果として地域社会全体が、何も無いハダカ暮らしから明るい未来へ向かって希望の持てるものになって行くのです。

2003-04年度、国際ロータリーは、ロータリー百年祭の一環として双子クラブのプロジェクトに着手します。このプロジェクトは、貧困が私たちの世界に引き起こしている惨事を少なくしよう、ということ提携するクラブに絶好の機会を与えるものです。世界社会奉仕とロータリー財団の人的補助金を通じて、私たちは苦しみをいやし、希望と安定と、平和への新しい機会をもたらすべく、海を越え国境を越えて仕事出来るのです。

もしロータリアンが貧困とそれによって生ずる数々の悪影響を緩和することに成果を上げようとするなら、私たちの組織を強化し会員増強を推し進めなければなりません。私は2003-04年度において、根元的な会員増強という焦点をはずしてはならぬと確信しています。また新しい会員を引き入れても私たちが何もせず、彼等を活動的にし有意義なプロジェクトに巻き込む事を怠っては意味がありません。私たちは彼等をクラブに馴染ませ、彼等が親密で頼りになる



ロータリー家族の一員であると感じるようになります。

更にまた私たちは、資格の有る男女とロータリーを分かち合う責任をないがしろにはいきません。この点に関して特に私は、クラブがもっと女性会員を増やす様に奨励したいと思います。事業や専門職に従事する女性指導者の数は急速に増え続けていますが、ロータリーにおいては悲しむべきほど少ない数です——女性は全会員数の10%にも満たないのです。そして20以上の国のクラブではまだ女性会員が一人も居りません。1989年以降ロータリーに加入した女性たちは会員数の維持、下振れ防止の力となり、クラブの奉仕活動を大いに強化し、そして国際ロータリーに対してもまた同様目覚ましい貢献をしました。この最初の10年間に女性会員が果たした有益な役割を認めて、2001年の規定審議会とRI理事会は、両性クラブの推進を奨励する事にしました。実際に国際ロータリー細則には、いかなるクラブも性別によって会員を制限してはならぬと具体的に明記されています。今や適格な女性を積極的に探し求めて会員に迎え入れることは、クラブ・レベルにおける会員の義務です。

2003-04年度、私たちを奉仕の道に導くために、私は全ロータリアンに**手を貸そう**と呼びかけています。これは単純なテーマではありますが、しかしロータリー奉仕の真髄を雄弁に語るテーマだと確信します。ロータリアンとして私たちは、地域社会やまた世界に対して常日頃、**手を貸**しています。私たちは私たちのクラブ会員や、また海外にあってその地域社会の問題に取り組み援助を求めている同僚ロータリアンに**手を貸**しています。この単純な仕草が時として一人の人間の人生を変える要件のすべてともなるのです。またそれとは違って、一本の手が多数の手となることだってあります……ロータリアンが互いに協力し合ってポリオを根絶させたり、識字力を向上させたり、低価格住居を供給したり、また紛争を解決し、数多くの人々の苦しみを和らげたり……と言うことになるのがそれです。どこにあっても必要とあれば助けてあげる、というのが私たちロータリアンの本性です。そこで2003-04年度、私はロータリアンの皆さんに、**手を貸そう**という機会を更に多く、自ら進んで探し出すようお願いします。

さあ皆さん、助けてあげねばならぬ私たちの兄弟姉妹に、進んで私たちの手を差し伸べて、2003-04年のロータリー年度を始めましょう。相共に働き続けても、ロータリー援助の手に、これでおしまいということはあり得ません。

あなたのクラブに手を貸そう

会員組織の強化を助けて：クラブの全会員に対し、彼等がグループにとって重要な貢献をするのにならぬ一員であることを感じさせ、組織維持に専ら力を集中してください。会員たちの福祉に関心を示し、病気やその他の問題で悩んでいる会員に援助の手を差し伸べ元気づけてやってください。亡くなった会員の配偶者には絶えず親身になって接し、彼等がロータリー家族の一員として留まってくれる様にしてください。

あなたの天職に手を貸そう

高い倫理規範を保持し他の人々にもそうさせることによって：あなたの専門的知識や技術を生かして、それを必要としている人々を助けてください。若年労働者たちを指導し、職業において向上する様援助してください。服役者に職業技能を伝授し、自由の身になった暁に実りある生活を送れる様備えさせるプログラムを開発してください。

あなたの地域社会に手を貸そう

極度の窮乏に瀕している人々を助けて：食糧、衣料、住居を供給し、貧困社会層みんなの生活の質を改善し、危険な状態におかれている子供たちにより良い人生のスタートを切らせる様なプロジェクトを開発してください。識字能力を高めることに努め、職業訓練を施し、失業している大人たちが収入のある仕事に就けるだけの技能を身につける様援助活動を推進してください。

世界に手を貸そう

文化、民族、宗教の異なる全ての人々に手を差し伸べることによって：あまりにも多くの人々を苦しめ、また平和への道を妨げているどん底の貧困を少なくする為に、国際ロータリーとロータリー財団の諸事業を通じて尽力してください。女性教育、人口問題への取り組み、小口金融プログラムの策定、世界における最貧困層に対する基本的な生活条件達成のための援助、という諸事業を完遂するために、あなたの双子クラブに参画してください。





佐藤秀雄ガバナーに心からエール！

国際ロータリー第2510地区

直前ガバナー 小林 博

エレクトの1年は早いものである。緊張と興奮の中で佐藤ガバナーはスタートされた。佐藤ガバナーは人一倍の勉強家だし努力家なので特別の心配は何もない。1年後の今日という日は晴々としたお気持ちで楽しく迎えることが出来ることと確信している。

2510地区のガバナーは指名委員会によって指名されることが多いのだが、佐藤ガバナーはクラブから推挙の声とともに持ち上がった。ガバナーは本来、下から上にクラブで盛り上がってくるのが望ましいものである。これがピチャイ・ラタクル前RI会長の言われた「ボトムアップ」であるが、佐藤ガバナーのケースは、これを推進、実行された好例でもあると言える。その背景には、今のロータリーに対するみなさんの並々ならぬ前向きの気持ちとか改革への意欲があり、その思いが佐藤ガバナーを支える力になったのだと思う。思う存分にご活躍いただきたい。

改革とは全てを変えるのではなく、変えてならないものは変えることなく、変えなければならぬものは勇気を持って変えていくことである。この改革の心がロータリーのこれからに必要不可欠なことはいうまでもない。とくにロータリーのビジネスに関わることはクラブ細則だけでなく、世界各国のクラブのそれぞれの実状の中で臨機応変に進められている。佐藤ガバナーはロータリーの基本理念を尊重しながらロータリービジネスには大いなる改革の心をもってすでに多くを實踐されていることに陰ながら頼もしく、またこれからの改革にも心からの声援をお送りする次第である。

いずれにしても健康あっての1年である。あまり無理をされずストレスは適当に発散しおおいに楽しくやっていたきたい。最後にお願いが1つだけある。会員間の議論を尽くしていただきたいということである。黙っていても改革の芽が摘まれてしまう。議論する中からさらなる改革の芽が生まれ、もっと大きな花を咲かせていくものと信ずるからである。

佐藤ガバナーのもとに2510地区が名実ともに全会員の期待に応えるだけでなく、地域社会、或いは国際社会からも広く注目されるように育っていただきたいと願う。そのためにみなさんのご声援も是非お願い致したい。お互いが「手を貸そう—Lend a hand」ではないか。

小林 博直前ガバナーへの謝辞

ガバナー 佐藤 秀雄

小林ガバナー1年間御苦勞様でした。エレクト年度からガバナー年度を通じた2年間、本当に疾風のように駆け抜けました。女房役に地区幹事とガバナー補佐を両脇にがっちり抱え、常に先頭にたってロータリー改革の旗を振り続けました。その改革の芽は必ずや慈愛の中から芽を出し茎を育て立派な大木に育っていくものと確信しています。難関の末に地区会員写真入名簿を発刊されましたし、地区の組織図も大きく変革されました。月信の全員配布もお見事でした。合間合間に地区委員会のワークショップを開催し、委員会の論議を深めました。自己意識の底流には常に斬新なロータリーの改革を掲げ全力で第2510地区会員に慈愛の種を播きつづけ輝かしい1ページを拓きました。この1年間本当に御苦勞様で御座いました。



ご 挨拶

国際ロータリー第2510地区
ガバナーエレクト

遠藤 秀雄 (登別RC)

この度、名誉ある地区ガバナーエレクトにご指名をいただいたことは、まことに身に余る光栄であります。

私の住んでおります登別市は、人口6万人弱の地方の小都市で、皆様もご存知の温泉で有名な湯の街でもあります。

今回のご指名は、33年間登別クラブ（40名）の一会員として、あまり積極的に地区活動には関わらないまま、のんびりと過ごしてきた身には、まさに晴天の霹靂といった心境であります。

幸いなことに、第9グループには伝統のある室蘭クラブ、私達の親クラブでもあります室蘭東クラブ、そして伊達クラブ、洞爺湖クラブと室蘭北クラブがありますので、これらのお力添えをいただきながら、登別クラブの会員共々、全力で事に当たって参る所存であります。

先の見えない長びく不況は、私達の地区においても会員数の減少化傾向を招いており、このことが地区財政に大きな影響を及ぼす、深刻な問題であります。

佐藤ガバナーも、この問題には真剣に取り組んでおられますが、今後共、会員増強に積極的に努め、先達が築いてこられた第2510地区のすばらしい伝統を守って参りたいと思っております。

どうか、パストガバナーの皆様、会員の皆様、奉仕と友情と世界平和の基本理念のもと、その活動に絶大なるご支援とご協力を賜われますよう、切にお願いいたします。

遠藤秀雄ガバナーエレクト経歴

生年月日 昭和8(1933)年生まれ
職業分類 病院
事業所名 医療法人友愛会恵愛病院理事長（登別市鷺別2丁目32-1）
入会年月日 昭和44(1969)年12月14日

【学歴】

1961年3月 北海道大学医学部医学科卒業
1962年3月 北海道大学附属病院にてインターン終了
1962年4月 北海道大学医学部精神医学教室に入局
1975年12月 学位取得

北海道精神病院協会副会長
北海道精神保健協会副会長
室蘭地区精神保健協会会長
登別市医師協議会会長

【職歴】

1968年3月 恵愛病院院長に就任
1976年12月 医療法人友愛会理事長に就任
北海道精神医療審査会会長
日本精神科病院協会代議員及び北海道支部常任理事

【ロータリー歴】

1969年 入会（チャーターメンバー）
1972～73年 幹事
1980～81年 会長
1993～94年 分区代理
ポール・ハリス・フェロー



新年度を迎え会長・幹事さんをはじめ 会員皆様のご健闘を祈念して

地区研修リーダー

伊藤 長 英 (苫小牧北RC・PG)

会長・幹事さんをはじめ全会員の皆様！愈々、佐藤年度を迎えました。この日のために準備を重ねてこられた皆様のご活躍を期待し、心からお喜び申し上げます。私は、西條PGの後任として、今年度地区研修リーダーという重大な責務を負うことになりました。その役割は、クラブおよび地区の指導者を研修するに当たり、ガバナーとガバナーエレクトを支援する責任があります。

私のガバナー年度のRI会長レイシーさんのテーマは、“ロータリーの夢を追い続けよう”であり、今年度のRI会長マジアベさんのテーマは、“手を貸そう”です。表現は異なりますがその心は同じです。レイシーさんの講話の中で印象に残っている言葉をご紹介します。私は、飢えに苦しみ、虐待され、ポリオや他の病気に悩む子供たちがいることを憂えています。ロータリーには思いやりの心があり、助けを求めている人々に何を捧げることが出来るかを常に考えています。愛はロータリーにとって中心になる言葉です。心の中に愛をもっていれば、助けを求めている人々に手を差し伸べることが出来るでしょう。ロータリアンは、ポリオ撲滅という夢を見ました。私たちはこれを実現させ、さらにより良い世界と平和を夢見ましょう。ロータリーはたくさんのプログラムを持っています。この中で私は、特に恵まれない子供たちに焦点を当てたいと思っています。インターアクト、ローターアクトでは、分かちあう心を育てたいと思います。そのためには、家庭教育から始めなければなりません。子供たちの心にお互いに助け合う心を育てたいと思います。ロータリーの色々な会合に参加すれば進歩があります。ロータリーを改善、発展させるために、協力を行動で見せてください。優しいロータリーの心をもって。

7月は識字率向上月間です

RI「識字・教育推進」支援のお願い

RI 識字・教育タスクフォース

第1ゾーンコーディネーター 進藤 和行 (D2500PG)

RIは、非識字（昔のいわゆる文盲）こそ、貧困をはじめとする諸悪の根源であると考え、1997年のRI理事会で、7月を「識字率向上月間」に指定しました。その後、識字問題は、2005年までのRI強調事項となり、ジョナサンB. マジアベRI会長も、その四大強調事項の一つに「識字・教育推進」を挙げておられます。

たまたま国連は、2003～12年までの10年間で「世界識字10年」に指定しました。いまや識字・教育推進は、ポリオ・プラス計画の後を継ぐRIの重要なプログラムと考えられています。

現在の文明社会において、文字文化から隔絶されて生活するということは、社会から置き去りにされることを意味します。非識字者は正当な職に就けず、それに起因する貧困は更にその子どもたちの就学の機会を奪い、途上国において非識字と貧困は悲惨な悪循環を生み出しています。

世界には約10億の非識字人口がいます。私たちには想像できない数字であります。これは世界中15歳以上の大人の4分の1に当たります。その4分の3はアジア人であるといわれ、非識字人口の3分の2は女性であります。

また、世界で1億3千万の就学年齢児が学校に行けません。ユネスコや我々の努力にも拘わらず、この数があまり減少していません。途上国の子どもが年々増え続けているので、学校に行けない子どもが増加する恐れもあります。また、折角入学した子どもも3分の1は小学校を卒業していません。親が中退させて学童労働を強いるからです。

現在、世界の人口は60億を超えました。更に年間約1億人、即ち毎年メキシコの人口に匹敵する人口が増加を続けます。しかも人口増加とそれに伴う非識字人口増加の大半は、南アジアと東アジア、アフリカのサハラ砂漠以南の途上国の人々であります。我々は折角予防接種で救った子どもたちを飢え死にさせてはなりません。また世間を知らない子どもに銃をとらせてはなりません。彼らに生き甲斐を持たせる教育と職業を与えなければなりません。人口増加抑制の最大のポイントは母親たちの教育です。途上国の少女が中等教育を受けるだけで出生を制限し、先進国並になることが知られています。従って、教育、特に女性教育こそ、我々宇宙船地球号が生き延びてゆく上での最も効果的な手段であると言えるでしょう。

これが、私たちの進めようとしている識字・教育推進運動の今日的意義であり、正に「情けは他人のためならず」であります。確かに私たちは長引く不況の最中にいます。しかし、今すぐに識字・教育推進運動を展開しなければ、手遅れになるでしょう。

ヘミングウェイは、英国の詩人ジョン・ダンの言葉を引用して、「誰のために鐘は鳴るかと問うなかれ、それは汝のために鳴る」という小説を書きましたが、その言わんとすることは、「他人の身に起きることを他人事と考えるな、それは自分自身の問題なのだ」という深い人類愛の表現なのです。

この考え方は、多くの心あるロータリアンによって鼓吹されて来ました。「人類はひとつ」（1982年度向笠会長）、「人類が私たちの仕事」（2001年度キング会長）というテーマを思い出す方もいらっしゃるでしょう。

レイシーパスト会長が、そしてマジアベ会長が強調するからではなく、私たちはひとりの人間として遠隔の地の人たちの身に起こることを、己のこととして感じなければならないのです。ロータリー運動はこのような思想の具体化として、ポリオにも関わって来ました。

また、翻って私たちの周りを見れば、身近に接する在日外国人や中国からの帰国者やその家族の問題として、対応しなければならぬことは幾らでもあります。

今まで何となく見過ごして来た識字・教育の問題は、私たちがすぐにでも行動しなければならない緊急性を持つ社会的ニーズなのです。

不況に苦しい私たちであります。だからといってより厳しい貧困に苦しむ人々たちを見過ごす言い訳にはなりません。マジアベ会長の年度を、よりよい世界を創るために行動しようではありませんか。そうすることは私たち自身のためなのです。

ガバナー補佐ご挨拶



好意と友情とご協力を

第1グループガバナー補佐 **渡部 英次**

この度2003～2004年度第1グループのガバナー補佐を委嘱されました渡部で御座います。

ガバナー補佐の仕事は15項目の多岐に及び、私としては重責ですが、自然体で、機会を作り、グループ内の5クラブを訪問し、それぞれ異なる歴史と環境にある各々の活動方針を理解し、お互いの意思の疎通を図り、RI会長及びガバナーの活動方針を伝え、当グループ内、各クラブの親睦、活性化を図り、奉仕の輪を広げる努力を致します。

各クラブの会員皆様の好意と友情を頂き、この1年間、目的の達成のため行動したいと思います。宜しく、ご協力のほどお願い致します。



職責へ努力

第2グループガバナー補佐 **土山 久男**

RI会長、ジョナサンB.マジリアベ氏の「手を貸そう」を「手を差し伸べよう」と読み取り奉仕の原点を再認識すると共に、佐藤秀雄ガバナーの基本姿勢をグループ内へ正確に伝達し、且つクラブ訪問を活用してその成果を地区へ報告し、合わせてクラブの活性化に努める所存です。

とは申せ、非力な小生ごときに大それたことは出来ないと自認しております。皆様のご指導を戴きながら精一杯努力し職責を全うしたいと考えております。

又、従来 of IMIについては過去の歴史を踏まえ会員の研修の場、交流の場を通じて「ENJOY-ROTARY」の精神で推し進めたいと思います。どうぞよろしく願いいたします。

ガバナー補佐ご挨拶



友愛を

第3グループガバナー補佐 西原宗幸

第3グループのガバナー補佐を務めます西原でございます。私自身ロータリーを語れる器でない事を充分自覚しているだけに忸怩たる思いを致して居ります。

これからの1年間、会員皆様方のご指導とご協力を賜わり乍らガバナー補佐の使命を全うする所存故宜敷くお願い申し上げます。



本音と建前

第4グループガバナー補佐 戸部アナマリア

私は日本に来て「本音と建前」に出会い、これを理解し慣れる迄に色々と苦労してきました。例えば「近くにおいでの際は是非立ち寄って下さい。」と云われ、それを信じて訪問すると「アレッ、どうして?」という対応、その他多々の何かとまどう事を多々経験して来ました。

この度の補佐就任につきましては自信もなく悩みましたが、何事も人生の経験と考えお引き受けした次第です。この1年間信頼する佐藤ガバナーと共にロータリーの原点に立ち返り、本音で語り合い、お互いの理解と友情を深め、そしてそれを基として個性のあるクラブ、クラブ運営と奉仕活動が更に発展することを目標として補佐役を務めさせていただきたいと考えております。又ガバナーの意図を伝え、各クラブの会員が直接ガバナーとロータリーについて語り合う機会をつくる懸橋になる様に務める所存です。皆様にはご指導、ご協力の程よろしく願いいたします。

ガバナー補佐ご挨拶



特徴ある活動

第5グループガバナー補佐 玉井 清

第5グループは8クラブで、創立20年から47年と歴史があり、しかも41名から122名と、安定した5クラブと、創立6年以下の若いクラブで、しかも30名以下の少人数クラブが混在しておりますが、それぞれクラブの実状に合った又特性を活かした活動をしているのも第5グループの特徴であります。

ガバナー補佐の任務が何であるかもよく理解せずに引き受けたことの重大さを実感しておりますが、グループのご支援をいただきながら、微力ですが職責の任を務めたいと存じます。



選択と集中

第6グループガバナー補佐 梅庭 昭寛

「ようやく決まりました第6グループのガバナー補佐です」。3月中旬に千歳市で開催された会長エレクト研修セミナーの席上で佐藤ガバナーから紹介された時、参会者の間から爆笑が起こった。本来であれば1月にも決定していなければならなかった補佐の選定であったが、グループ内、クラブ内の調整が渋滞して、私に指名の鋒先が向けられたのは、2月も終わろうとする時点のことでした。

以来、補佐事務局の立ち上げ、補佐心得のわか勉強に忙殺される毎日が続きましたが、関係ロータリアン皆さんの好意と友情に後押しされて、どうにか新年度のスタートラインに立てるような気がしております。

それにしても、私の所属するクラブはもとより、地区全体でも会員数がじりじりと減少する下でのクラブや地区の運営は今年度も更に厳しいものになると推測されるのですが、この逆風下にあって、限られた資金とロータリアンのエネルギーをいかに結集し、効果ある奉仕活動に特化していくか、その指針としての「選択と集中」のあり方が不況下の企業だけでなく、ロータリー活動にも問われているように思われてなりません。

そんな思いを念頭に置きながらこの1年、佐藤ガバナーの下で補佐の務めを微力ながら果たすことができると念じております。

ガバナー補佐ご挨拶



友達の輪

第7グループガバナー補佐 後藤 篤 人

ロータリークラブに入会して、10年が過ぎ弱小クラブに所属しているためにクラブ内では全部の役職を経験し、今度はいつの間にかガバナー補佐の指名を受け、100%出席は続けているものの精神的に不真面目なロータリアンでガバナーの補佐を出来るかと思いつつも、我が第7グループから初めてのガバナーということではいやがうえにも張り切らざるをえない状況で非常に困惑しております。

短いロータリー歴ながらも仲間の大事さを十分認識させられました。私は今までの拙い経験を元にグループ内各クラブのロータリアンを信じ、そして絶大なる協力を仰ぎながら何とかこの1年を乗り切っていきたいと思っております。



こころから「手を貸そう」

第8グループガバナー補佐 細川 好 弘

ロータリー創設から100年間の最終年度を飾る、心はずむ年として、ジョナサンB.マジニアベリ会長が示されたRIテーマ「手を貸そう」、そのロータリーの使命を推進される佐藤秀雄第2510地区ガバナーより2003-2004年度第8グループガバナー補佐という大役のご指名をいただいたのでありますが、15項目以上からなる役割にとまどいをおぼえながらも緊張そのものであります。

第8グループは優れた歴代会長・幹事が指導された5クラブの奉仕と親睦の歴史が築かれておりますが、グループ内の親睦・情報交換並びにガバナーの方針・要望事項も含めて、ガバナーとの連携を深める責めを果たしたいと考えております。

ロータリアン一人の手が無数のクラブの手となり、ロータリーの援助の手が成し遂げることは無限であると力説されるRI会長の思いを、楽しいロータリー活動と共有できるように第8グループ5クラブロータリアンの手を貸していただきたいと思います。

ガバナー補佐ご挨拶



突然の出来事

第9グループガバナー補佐 宮 武 忠 史

第9グループガバナー補佐に決定していました守屋弘さんが突然病に倒れ、急遽交代をすることになりました。

私自身も押っ取り刀でガバナー補佐に就任することになりました。

これからは、グループ内各RCの協力と協調を考えながら、ガバナー指針の伝達、各RCの意見、要望を取り継ぐプロバイダーの役割をはたして行くつもりです。最後に活力あるロータリー活動の展開に向かって努力する所存であります。



ロータリーの原点

第10グループガバナー補佐 鹿 野 文 男

ガバナー補佐として、第10グループ担当の大役を任命され、とても責務を感じております。ジョナサンB.マジリアベRI会長は、「手を貸そう」とテーマを掲げ、天職に、地域社会に、世界にと、ロータリアンとして手を貸そうと言っております。

ガバナー補佐の任務として、地区研修会への出席、ガバナーの公式訪問に関係するクラブ協議会への出席、年4回以上担当グループ内各クラブを訪問し、会長、クラブ指導者と会合を開き、目標、プログラム、地区とRIの目標と併せ討議する事、ガバナーの要望と勧告を遂行する事をクラブに奨励する等の責務があります。

ガバナー補佐を務める事を機会にもう一度ロータリーの原点について学び、各クラブ訪問の機会を出来るだけ多くし、クラブの活動について進展状況をガバナーに報告、グループ内のクラブに対し少しなりとも手助けできればと思います。第10グループのクラブの会員のみなさん、ご協力宜しくお願い致します。

ガバナー補佐ご挨拶



地区運営目標の実行

第11グループガバナー補佐 **今 均**

第11グループ担当のガバナー補佐を拝命しまさに身の引き締まる思いです。今年度の地区の重点目標は「情報ネットワーク作り」ですが、第10グループ担当の鹿野文男ガバナー補佐と力を合わせ、是非この目標を達成したいと考えております。当クラブの酒井正人IC委員長はITのマニアでありまして、積極的にこの二つのグループのIT化を推進していきたいという心強いメッセージを頂戴しておりますし、又第10、11グループの会長さん方からの同意もいただいております。

21世紀に入りあらゆる分野でIT化が促進されておりますが、2510地区もその遅れをとってはならないし、それには会員一人一人の自覚も必要と考えてます。ペーパーレスの時代が目の前にあります。ロータリー変革の時期にガバナー補佐という大役を担うことは大変なことかもしれませんが、皆様の御協力、御支援を受けながらこの任を全うしたいと思っております。よろしくお願い致します。



地域社会への奉仕を考える

第12グループガバナー補佐 **山本 雅 昭**

私は、前々年度クラブ会長職を終えご気楽さんを決め込んでおりましたが、思いがけない要請により第12グループのガバナー補佐を拝命し大役を務めることとなりました。佐藤ガバナーのご指導をいただきまして何とか務めさせていただきたいと思っております。

ガバナー補佐の役目は、担当クラブと地区の指導者との協力関係を確立し、各クラブの管理運営を支援することとされております。その意味でも各クラブとの協力関係を密にして行くことが必要と思っております。

ジョナサンB.マジリアベRI会長はLend a Hand「手を貸そう」とのテーマで皆さんに呼びかけております。あなたのクラブに、あなたの天職に、あなたの地域社会にそして世界に手を貸そうと言っておられます。我々ロータリークラブの地域社会での奉仕とは、様々な形で地域に手を貸すことであり、見返りを要求するような奉仕ではありません。一人の人間の人生を変えるようなことともなる奉仕を模索できればと思っておりますし、そのことについて皆さんと協力できるよう明確な意志疎通を取ってみたいと思っております。

1年間楽しくやっていきたいと思っておりますので、宜しくお願いいたします。

2003-2004年度 ガバナー補佐連絡先一覧表

(敬称略)

氏名・所属 R C	職業分類	勤務先住所・電話番号・FAX・メールアドレス	自宅住所・電話番号・FAX・メールアドレス
第1グループ担当 わた べ えい じ 渡 部 英 次 (留 萌)	整形外科医	渡部整形外科医院 院長 〒077-0007 留萌市栄町3丁目 電話 (0164) 42-5011 FAX (0164) 42-5013 E-mail:chanbo01@themis.ocn.ne.jp	〒077-0007 留萌市栄町3丁目 電話 (0164) 42-5012 FAX (0164) 42-5013 E-mail:chanbo01@themis.ocn.ne.jp
第2グループ担当 つち やま ひさ お 土 山 久 男 (芦 別)	歯 科 医	土山歯科医院 院長 〒075-0011 芦別市北1条東1丁目 電話 (01242) 2-3145 FAX (01242) 2-3145	〒075-0011 芦別市北1条東1丁目 電話 (01242) 2-3456 E-mail:hisao39@sage.ocn.ne.jp
第3グループ担当 にし はら むね ゆき 西 原 宗 幸 (岩見沢東)	木 材 販 売	西原木材店 事業主 〒068-0002 岩見沢市2条東2丁目4 電話 (0126) 22-2011 FAX (0126) 22-0663	〒068-0002 岩見沢市2条東2丁目4 電話 (0126) 22-2011 FAX (0126) 22-0663
第4グループ担当 と べ 戸部アナマリア (札幌はまなす)	野菜缶詰製造	日本食品製造合資会社 取締役 〒063-0841 札幌市西区八軒1条西1丁目2-1 電話 (011) 611-1633 FAX (011) 611-2225	〒064-0954 札幌市中央区宮の森4条13丁目2-16 電話 (011) 621-3259 FAX (011) 621-3260
第5グループ担当 たま い きよ 玉 井 清 (札幌清田)	歯 科 技 工 士	㈱北日本デンタルアート 代表取締役社長 〒001-0010 札幌市北区北11条西4丁目 地産ビル207 電話 (011) 726-9524 FAX (011) 726-9530	〒064-0952 札幌市中央区宮の森2条17丁目3-14 電話 (011) 631-6497 FAX (011) 631-6497
第6グループ担当 うめ にわ しゅう かん 梅 庭 昭 寛 (岩 内)	仏教 (浄土)	(宗) 帰厚院 住職 〒045-0013 岩内郡岩内町高台143 電話 (0135) 62-0123 FAX (0135) 62-2671	〒045-0013 岩内郡岩内町高台143 電話 (0135) 62-0123
第7グループ担当 ご とう あつ ひと 後 藤 篤 人 (由 仁)	曳き家工事	㈱後藤組 代表取締役 〒069-1203 夕張郡由仁町東栄78番地 電話 (01238) 3-2634 FAX (01238) 3-2564 E-mail:gotocbm@sweet.ocn.ne.jp	〒069-1203 夕張郡由仁町東栄55番地 電話 (01238) 3-4002 E-mail:yuni.a.g@lily.ocn.ne.jp
第8グループ担当 ほそ かわ よし ひろ 細 川 好 弘 (静 内)	広 告	㈱細川好弘広告 代表取締役 〒056-0004 静内郡静内町緑町1丁目5-24 電話 (01464) 2-0495 FAX (01464) 2-1082	〒056-0017 静内郡静内町御幸町5丁目8-24 電話 (01464) 2-3782 E-mail:jinnmu@sweet.ocn.ne.jp
第9グループ担当 みや たけ ただ し 宮 武 忠 史 (登 別)	歯 科 医 師	医療法人宮武歯科医院 理事長・院長 〒059-0012 登別市中央町1丁目4-1 電話 (0143) 85-2826 FAX (0143) 85-2826	〒059-0012 登別市中央町1丁目4-1 電話 (0143) 85-8415 E-mail:orchid@mz6.et.tiki.ne.jp
第10グループ担当 しか の ふみ お 鹿 野 文 男 (函館亀田)	税 理 士	鹿野税理士事務所 所長 〒041-0836 函館市山の手3丁目60-3 電話 (0138) 51-9009 FAX (0138) 51-3673 E-mail:hisi@376nifty.com	〒041-0836 函館市山の手3丁目60-3 電話 (0138) 53-3589
第11グループ担当 こん びし 今 均 (函館五稜郭)	医 療 法 人	(医) 大庚会今整形外科 理事長 〒040-0011 函館市本町30番36号 電話 (0138) 52-7551 FAX (0138) 52-8278 E-mail:info@kon-jp.com	〒040-0011 函館市本町29番11号 電話 (0138) 53-6017 FAX (0138) 53-6019 E-mail:dr@kon-jp.com
第12グループ担当 やま もと まさ あき 山 本 雅 昭 (苫小牧北)	獣 医 師	山本動物病院 院長 〒053-0031 苫小牧市春日町1丁目10-1 電話 (0144) 36-2606 FAX (0144) 31-2710 E-mail:ah_yama@ains.tomakomai.or.jp	〒053-0031 苫小牧市春日町1丁目10-1 電話 (0144) 36-2608 E-mail:ah_yama@plum.plala.or.jp

第7回ロータリー日韓親善会議のご案内

日韓親善委員会委員長・RI直前理事

丸 山 宏

日本と韓国におけるロータリー活動の現状について情報交換を行い、お互いの親睦、国際理解と協力を目指して、ロータリーの発展と世界平和に寄与するために、日韓親善会議を再び開催することとなりました。そこで、今回は特に未来志向型の日韓の交流を目指し、新世代の育成に焦点を合わせたプログラムを目指したいと思っております。

特に韓国と姉妹締結しているクラブには率先してご参加いただきたくお願い申し上げます。そして、このプログラムへの参加をロータリー100周年記念事業の双子クラブ・プログラム参加や、ロータリー家族プログラム参加にさせていただきたいと思っております。

テ ー マ：「ロータリーの友情を深め、新世代に手を貸そう」

日 時：2003年9月25日(木)と26日(金)

場 所：東京ベイホテル東急（東京ディズニーリゾート）

千葉県浦安市舞浜1-7 TEL：047-355-2411

記念事業：韓国からの米山記念奨学生と日本の学友による意見交換

主 催：日韓親善会議委員会、韓日親善会議委員会

登 録 料：1名18,000円（懇親会費と昼食費も含む）

登録料振込口座：みずほ銀行 芝大門支店 普通預金 2204805

国際ロータリー日韓親善会議 香村 正雄

登録参加申込先：第7回ロータリー日韓親善委員会事務局

担当：黒田正宏 FAX：0178-47-8583

締 切：2003年7月22日(火)

連 絡 先

第7回ロータリー日韓親善委員会事務局

日韓親善委員会委員、2003RI研修リーダー 黒田正宏

〒031-0081

八戸市柏崎3-7-18

TEL：0178-45-7777

FAX：0178-47-8583

E-mail：mskuroda@nte.

biglobe.ne.jp

社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の奉仕活動に関する意見交換会開催のご案内

地区社会奉仕委員会 委員長 対 木 正 文

地区家庭奉仕委員会 委員長 和 田 壬 三

地区子ども奉仕委員会 委員長 米 山 道 男

年度始めに他のクラブの活動を知ることにより地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し活動のマンネリ化を防ぐと共に、クラブが抱えている諸問題について意見を交換します。

また、昨年度設立された「家庭奉仕委員会」と今年度新設の「子ども奉仕委員会」の設立主旨を理解し共有し、ロータリーの奉仕活動ができれば幸いです。クラブが主体となった実りある奉仕活動ができるよう地区も努力して参ります。

詳しくは各クラブにお送りする「意見交換会開催案内」をごらんください。

日 程	開催都市	グループ	出欠締切日	会 場 名
7月26日	函 館	10、11	7月11日	金 森 亭
8月2日	滝 川	1、2、3	7月18日	ホテルスエヒロ
8月9日	苫 小 牧	7、8、9、12	7月25日	ホテルニュー王子
8月23日	小 樽	6	8月8日	小樽グランドホテル
8月30日	札 幌	4、5	8月15日	札幌ガーデンパレス

※全会場、意見交換会は午後2時から5時まで開催します。その後、希望者による会費制の懇親会を開く予定です。

ガバナー公式訪問に関するお願い

本年度の公式訪問は、別紙「公式訪問日程表」より7月5日、第10・11グループ内のクラブから開始致します。貴クラブへの訪問を有意義なものとするためにも、下記の事項についてお手配とご協力を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

1. 公式訪問に必要な書類

下記の書類は貴クラブ訪問日の2週間前までにガバナー事務所へお送り下さい。

- ①クラブ定款と細則
- ②今年度(2003-2004)クラブ計画書と前年度(2002-2003)活動報告書
※公式訪問が7月のクラブで未決定の場合は、前年度分で代用可
- ③充填・未充填職業分類表
- ④会員名簿
- ⑤クラブ会報(最近の4～5回分)
- ⑥過去5年間の年度別会員入退会数および退会者のクラブ在籍年数
- ⑦貴クラブの特徴(クラブの自慢、良い事業等)をご紹介下さい。

2. 会長・幹事懇談会

- ①会長・幹事の他に会長エレクトも必ずご出席下さい。

3. クラブ例会

- ①和やかで楽しく例会を行うためにも、より多くの会員に出席を奨励して下さい。
- ②ご連絡頂いた地元公共機関へのご挨拶は喜んで訪問させていただきます。
- ③訪問時のお心遣いは、お気持ちだけ頂き固くご辞退致します。

2003-2004年度 ガバナー公式訪問日程

No.	月 日	クラブ名	例 会		会長・幹事懇談会	担当ガバナー補佐	No.	月 日	クラブ名	例 会		会長・幹事懇談会	担当ガバナー補佐		
			時間	会 場						時間	会 場				
1	7/5(土)	函 館	17:30	ホ テ ル オークランド	15:30	⑩鹿野文男	11	8/21(木)	札 幌 東	12:30	札幌ロイヤル ホ テ ル	10:00	⑤玉井 清		
		函 館 亀 田							10:40						
		森							11:20						
		七 飯							12:30	サッポロネット サンスホテル	09:20				
		長 万 部										10:00			
		江 差										10:40			
		函館五稜郭										11:20			
		函 館 東										12:30		札幌パークホテル	11:00
		函 館 北													
		上 磯													
松 前	18:30	留 萌 産 業 会 館	17:00												
①渡部英次															
2	7/9(水)	室 蘭	12:30	蓬 峯 殿	11:00	⑨宮武忠史	15	9/9(火)	深 川	18:30	深川プラザ ホテル板倉	17:00	②土山久男		
		室 蘭 東							妹 背 牛						
		室 蘭 北							18:30	砂 川 滝 川	17:00				
		登 別													
3	7/10(木)	伊 達	12:30	伊達ローヤル	11:30	17	9/19(金)	赤 平	18:00	芦別北の京	17:00	③西原宗幸			
		洞 爺 湖													
4	7/15(火)	白 老	12:30	苫小牧グランド ホテルニュー王子	09:20	⑫山本雅昭	18	9/20(土)	美 唄	18:30	岩 見 沢 サンプラザ	17:00	⑦後藤篤人		
		苫 小 牧			10:00										
		苫 小 牧 東			10:40										
		苫 小 牧 北			11:20										
5	7/25(金)	小 樽	12:30	小樽グランド ホ テ ル	10:00	⑥梅庭昭寛	19	9/24(水)	恵 庭	18:30	キャッスル 庭 恵	17:00	③西原宗幸		
		小 樽 南			10:40										
		小 樽 銭 函			11:20										
6	7/26(土)	岩 内	12:30	いわない 高原ホテル	7/25 17:00	④戸部アナマリ	20	9/25(木)	江 別	12:30	江 別 市 民 会 館	11:00	⑦後藤篤人		
		俱 知 安			10:00										
		蘭 越			10:40										
		余 市			11:20										
7	7/28(月)	札 幌 北	18:30	センチュリー ロイヤルホテル	16:30	④戸部アナマリ	21	10/1(水)	栗 沢	12:10	栗山パラダイス ヒルズホテル	11:00	⑧細川好弘		
		札幌はまなす			17:10										
		札幌モーニング			17:50										
8	8/5(火)	札 幌 西	12:30	三 越	11:30	④戸部アナマリ	22	10/11(土)	様 似	15:00	静内ウエリン トンホテル	13:00	⑦後藤篤人		
		静 内													
9	8/6(水)	札 幌 西 北	12:30	札幌グランド ホ テ ル	11:00	④戸部アナマリ	23	10/14(火)	千 歳	18:30	ホテル日航千歳	17:00	⑦後藤篤人		
		札 幌			11:40										
10	8/9(土)	札幌あけぼの	12:30	三 越	11:00	④戸部アナマリ	23	10/14(火)	千 歳	18:30	ホテル日航千歳	17:00	⑦後藤篤人		
		札幌手稲			11:40										

2003-2004年度 ロータリー定期報告関係一覧表

報告事項	報告書式・方法およびその時期	報告先
半期報告	書類はR I 日本事務局から直接次期幹事へ送付されます。 a. 半期報告 b. 会員リスト 2003年7月1日、2004年1月1日付で送付して下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
国際ロータリー取扱分・送金明細書 (人頭分担金・比例人頭分担金・資料代)	人頭分担金・資料代：2003年7月1日付で作成 (半期報告書) 2004年1月1日付で作成 比例人頭分担金・資料代：2003年10月1日付で作成 (四半期報告書) 2004年4月1日付で作成	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
新会員報告	書式見本は「幹事要覧(P. 37)」に掲載 新会員入会の都度報告します。用紙は、R I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
会員退会届	書式見本は「幹事要覧(P. 37)」に掲載 会員が退会した時に報告します。用紙はR I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
会員の資料変更	書式見本は「幹事要覧(P. 37)」に掲載 会員の記載事項が変更になった時報告します。用紙はR I 日本事務局から無料で入手できます。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
月次出席報告	毎月、最終例会終了後15日以内に報告して下さい。 書式は会員数及び出席報告をコピーしてご使用下さい。	ガバナー事務所
役員または例会情報の変更	書式見本は「幹事要覧(P. 42)」に掲載 クラブ会長、幹事の氏名及び住所並びに例会場・例会時刻等の変更があった場合、直ちに報告が必要です。 グループ担当ガバナー補佐へのご連絡もお願い致します。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：グループ内クラブ 写：担当ガバナー補佐
公式名簿記載資料	書式見本は「幹事要覧(P. 43)」に掲載 R I から次年度クラブ役員の公式名簿記載資料が、10～11月頃送付されます。次年度クラブ役員をもれなく記載し12月末迄に各々ご送付下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所 写：ガバナー・エレクト事務所
全日本会員名簿	ロータリーの友委員会から名簿調査票が送付されます。変更、追加、修正を行って返送して下さい。	ロータリー全国名簿編集室
地区大会 選挙人指名、信任状証明書	信任状委員会が発行する信任状に記載します。 信任状は選挙人が地区大会に持参することになります。	地区大会信任状委員会
R I 国際大会 代議員の選任、委任状による代理者の指定、信任状	R I から信任状が送付されてきます。 会員数、代議員数、代議員の選定日を記入し会長、幹事の署名をします。代議員に関してはクラブで代議員を定めるか、慣例的に代理者をガバナー・エレクトに指定することが多くなっています。	国際大会信任状委員会
ロータリー財団	寄付を实践した場合、「ロータリー財団への寄付・送金明細書」に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は別紙資料をご覧下さい。	R I 日本事務局 写：ガバナー事務所
米山記念奨学会	寄付を实践した場合、各クラブへ送付されている振込用紙に記入し提出して下さい。 寄付金の振込口座は別紙資料をご覧下さい。	(財)米山記念奨学会 写：ガバナー事務所

2003-2004年度 ロータリー定期報告先所在地・連絡先と送金の振込口座一覧表

名 称	所 在 地	T E L	F A X	送金の目的・種別	銀行振込口座
国 際 ロ ー タ リ ー	Rotary International One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201 U. S. A.	1-847-866-3000	1-847-328-8554 または 1-847-328-8281	特記事項 1. ロータリーレートはR I より連絡があります。 円に換算時の端数は送金合計金額で切り上げて処理 して下さい。 2. 振込手数料は各クラブでご負担をお願い致します。 3. 送金期限を厳守願います。	
ロ ー タ リ ー 財 団	The Rotary Foundation One Rotary Center 1560 Sherman Avenue Evanston, Illinois 60201-3698 U. S. A.	寄付増進関係 1-847-866-3222 人道的プログラム 1-847-866-3304	1-847-328-5260 1-847-866-1894		
国 際 ロ ー タ リ ー 日 本 事 務 局	〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3 NS3ビル1階	奉仕室 03-3903-3161 財団室 03-3903-3192 経理室 03-3903-3183 資料室 03-3903-3194	03-3903-3781 (各室共通)	国際ロータリー (人頭分担金・ 資料代等)	三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金 6733244 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				ロータリー財団寄付 (寄付・補助金)	三井住友銀行 本店営業部 普通預金 0968049 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				ロータリー財団寄付 (税制上の優遇措置扱 い分 一口30万円以上)	東京三菱銀行 本店 普通預金 1528228 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
				米ドル建の振込	三井住友銀行 本店営業部 普通預金 8719834 国際ロータリー日本事務局 日本ロータリー奨学金委員会 所長 大島四郎
					三井住友銀行 新宿御苑前支店 普通預金 0000167 国際ロータリー日本事務局 事務局長 大島四郎
第2510地区 ガバナー事務所	〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2階	0123-42-2000	0123-42-2009	一般地区資金 特別地区資金 ガバナー月信購読料	北洋銀行 千歳支店 普通預金 0765712 国際ロータリー第2510地区 ガバナー事務所 会計 福田武男
ロータリーの友事務所	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館8階	03-3436-6651	03-3436-5956	ロータリーの友購読料	三井住友銀行 浜松町支店 普通預金 6326314 ロータリーの友事務所
(財)ロータリー米山記念 奨学会	〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 a b c 会館8階	03-3434-8681	03-3578-8281	普通寄付 特別寄付	三井住友銀行 京橋支店 普通預金 0920373 (財)ロータリー米山記念奨学会

2003-2004年度 地区予算

一般地区資金

収入の部

科目	2002-2003年度 予算	2003-2004年度 予算案	摘要
1. 前期繰越金	5,000,000	14,000,000	
2. 一般地区資金 上期@4,730	15,948,000	16,082,000	上期 3,400名
同上 下期@4,730	16,169,500	16,082,000	下期 3,400名
3. R I 助成金	2,400,000	3,000,000	
4. ガバナー月信購読料	4,080,000	2,520,000	3500*10*72
5. 雑収入	100,000	100,000	
収入合計	43,697,500	51,784,000	

支出の部

科目	2002-2003年度 予算	2003-2004年度 予算案	摘要
A. 地区大会			
1. 地区表彰費	500,000	500,000	
2. ガバナー記念品	200,000	300,000	
Aの部 小計	700,000	800,000	
B. 助成金			
1. 地区協議会	800,000	800,000	
2. 都市連合会 (IM)	720,000	0	2003~04は休止
3. 会長エレクト研修セミナー	400,000	400,000	
4. 地区リーダーシップセミナー	100,000	0	
5. 地区チーム研修セミナー	350,000	350,000	
Bの部 小計	2,370,000	1,550,000	
C. 負担金			
1. ガバナー会	700,000	680,000	
2. 日本ロータリー文庫	1,050,000	1,020,000	
Cの部 小計	1,750,000	1,700,000	
D. 会議費			
1. 地区ガバナー指名委員会	500,000	300,000	
2. 地区ガバナー諮問委員会	500,000	500,000	
3. 地区ガバナー補佐会議	800,000	800,000	
4. 地区委員長会議	400,000	400,000	
5. 地区研修リーダー会議	30,000	30,000	
6. 地区クラブ奉仕委員会	50,000	50,000	
7. 地区情報委員会	150,000	150,000	
8. 地区広報委員会	150,000	150,000	
9. 地区ロータリーの友委員会	30,000	30,000	
10. 地区 I C 委員会	30,000	30,000	
11. 地区拡大委員会	30,000	30,000	
12. 地区会員増強委員会	50,000	50,000	
13. 地区職業奉仕委員会	100,000	50,000	
14. 地区社会奉仕委員会	120,000	120,000	
15. 地区家庭奉仕委員会	120,000	120,000	
16. 地区子ども奉仕委員会		300,000	2003~04新設
17. 地区新世代委員会	100,000	100,000	
18. 地区ライラ委員会	30,000	30,000	
19. 地区インターアクト委員会	150,000	150,000	
20. 地区ロータリーアクト委員会	150,000	150,000	
21. 地区国際奉仕委員会	100,000	100,000	
22. 地区世界社会奉仕委員会	150,000	150,000	
23. 地区青少年交換委員会	500,000	400,000	
24. 地区親睦活動委員会	30,000	20,000	
25. 地区友情交換委員会	30,000	30,000	
26. 地区ロータリー財団委員会	50,000	30,000	
27. 地区国際親善奨学金委員会	50,000	50,000	
28. 地区財団学友委員会	50,000	50,000	
29. 地区 G S E 委員会	50,000	50,000	
30. 地区財団増進委員会	50,000	30,000	
31. 地区補助金委員会	20,000	20,000	
32. 地区米山記念奨学委員会	50,000	30,000	
33. 地区米山学友委員会	30,000	30,000	
34. 地区財務委員会	30,000	20,000	
35. オン・ツー・大阪委員会	50,000	50,000	
36. 100周年記念委員会		50,000	
37. 意義ある業績賞選考委員会	30,000	20,000	
38. その他委員会	100,000	100,000	
39. 予備費	140,000	150,000	
Dの部 小計	5,000,000	4,920,000	
E. 旅費			
1. ガバナー会	150,000	150,000	2回
2. バストガバナー懇談会	500,000	500,000	7月とロータリー研で2回
3. ロータリー研究会	1,000,000	1,000,000	
4. ガバナーエレクト国際協議会	700,000	700,000	
5. 全国ガバナーエレクト会議	150,000	150,000	2回
6. 全国地区連絡会議	400,000	400,000	IC1回と青少年2回、その他
7. その他会議	200,000	300,000	
Eの部 小計	3,100,000	3,200,000	
F. ガバナー事務所費	13,600,000	14,300,000	
G. ガバナーエレクト事務所費	4,800,000	4,800,000	
H. ガバナー月信発行費	4,300,000	3,500,000	
I. ガバナー公式訪問費	1,000,000	1,000,000	
J. 地区文庫資料室費	1,900,000	1,050,000	
K. 地区 I C 活動費		730,000	
L. 総予備費	177,500	234,000	
M. 臨時支出金	0	0	
支出合計	38,697,500	37,784,000	
次期繰越金	5,000,000	14,000,000	
総計	43,697,500	51,784,000	

特別地区資金

収入の部

科目	2002-2003年度 予算	2003-2004年度 予算案	摘要
1. 前期繰越金	5,000,000	6,000,000	
2. 特別地区資金 上期@3,820	14,832,000	12,988,000	上期 3,400名
同上 下期@3,820	15,038,000	12,988,000	下期 3,400名
収入合計	34,870,000	31,976,000	

支出の部

科目	2002-2003年度 予算	2003-2004年度 予算案	摘要
A. 負担金			
1. 地区大会	7,612,500	6,120,000	
2. 地区協議会	3,625,000	3,400,000	
Aの部 小計	11,237,500	9,520,000	
B. 事業費			
1. 地区インターアクト事業費	1,812,500	1,700,000	
2. 地区ロータリーアクト事業費	2,465,000	2,312,000	
3. 地区新世代活動事業費	1,275,000	1,190,000	
4. 地区青少年交換事業費	6,525,000	5,440,000	
5. 地区子ども奉仕委員会事業費		544,000	
6. 地区世界社会奉仕委員会事業費	2,283,750	2,142,000	
7. 地区財団奨学生事業費	652,500	816,000	
8. 地区 G S E 事業費	1,776,250	782,000	
9. 地区財団学友事業費	217,500	170,000	
10. その他の地区事業費	652,500	680,000	
11. 世界平和奨学金事業費	100,000	34,000	
12. 予備費	872,500	510,000	
Bの部 小計	18,632,500	16,320,000	
C. 規定審議会代議員費	0	450,000	
D. 臨時支出金	0	0	
支出合計	29,870,000	26,290,000	
次期繰越金	5,000,000		
繰越金内訳			
G S E 事業費		5,686,000	全ての事業費の余剰金は一括して次年度への繰越金となる
規定審議会代議員費			
その他事業費			
総計	34,870,000	31,976,000	

ガバナー事務所費の内訳細目

科目	2002-2003年度 予算	2003-2004年度 予算案	摘要
1. 給与手当	3,300,000	4,125,000	
2. 家賃・光熱費	900,000	975,000	
3. リース料	500,000	480,000	
4. 事務用品費	1,000,000	700,000	
5. 印刷費	1,200,000	1,000,000	
6. 登録料など負担金	50,000	50,000	
7. 会議費	800,000	700,000	
8. 通信費	900,000	800,000	
9. 旅費・交通費	500,000	420,000	
10. 渉外費	900,000	900,000	
11. 資料費	500,000	800,000	
12. 備品費	300,000	600,000	
13. 地区要覧費	700,000	700,000	
14. ガバナー補佐事務所費	1,200,000	1,200,000	
15. 雑費	600,000	600,000	
16. 予備費	250,000	250,000	
合計	13,600,000	14,300,000	

今年度の地区予算について

過去5年間の我が地区の会員数は年々減少傾向をたどりつつあり、それに従い今年度の地区の運営費は大きく不足する状況になってきております。従いまして1会員年間地区負担金17,100円を、地区を運営する一般地区資金4,730円×2と、地区の奉仕のための事業費となる特別地区資金3,820円×2に配分させていただきます。(昨年度は4,430円×2と4,120円×2)

今年度の地区予算の留意点として

1. 地区資金の総額17,100円を変えずに、一般地区資金と特別地区資金の比率を大きく変えたこと
2. 会員数は過去5年間のデータから、上期・下期共に3,400名とすること
3. ガバナー月信は全員購読ではありませんが、各クラブの指導者など多くの方々に購入して頂きたいこと(各クラブ10部を購入して頂きたい)
4. ガバナー指名委員会の予算を削減すること
5. 地区子ども奉仕委員会と地区 I C 委員会に力を入れること (地区HPは全て地区 I C へ一本化)
6. 地区大会の助成金を削減すること
7. 地区事業費は会員数の減少で自動的に減少しますが、特に地区青少年交換事業と地区 G S E 事業についてはこれまでにない新たな方向性を模索すること
8. 規定審議会への代表議員の旅費については、3年に一度であるので、繰越金を使用すること
9. ガバナー事務所費の増加は、会員名簿のデータ料と名簿の更新料であること
10. 会員名簿の発行については、今年度は行わないこと (C D-R O Mに入れて各クラブに無料配布)
11. 現在までの全ての繰越金について、特定の委員会の繰越金ではなく地区資金全体の繰越金であること、また余剰金も含めて一般、特別どちらにも使用できること
12. 地区予算の執行に当たっては、委員会費など多くても半期ごとの出金であること、各奉仕事業については1プロジェクトごとに報告書を提出すること、領収書は各委員会3年は保管すること

2003-2004年度 国際ロータリー第2510地区クラブ一覧表

G	クラブ名	会員数	会長 幹事	クラブ事務所 所在地	事務所 TEL/FAX	G	クラブ名	会員数	会長 幹事	クラブ事務所 所在地	事務所 TEL/FAX		
1	深川	43	小野昭郎 大西祥太	074-0003 深川市3条6番7号 ブラザホテル板倉内	T(0164) 23-2121 F(0164) 23-2125	6	小樽南	88	大黒屋安章 山崎忠顕	047-0032 小樽市稲穂1-4-1 小樽グランドホテル内	T(0134) 25-1515 F(0134) 23-4196		
	羽幌	48	福井俊一 佐野俊一	078-4108 苫前郡羽幌町南大通2丁目 (尙)大栄印刷内	T(01646) 2-5488 F(01646) 2-4554		小樽銭函	20	藤田政昭 長尾繁範	047-0261 小樽市銭函3丁目298番地 (医)ひまわり会札樽病院内	T(0134) 62-4676 F(0134) 62-4676		
	妹背牛	11	江幡 進 渡辺俊和	079-0501 雨竜郡妹背牛町364番地21 妹背牛商工会館内	T(0164) 32-2025 F(0164) 32-2003		蘭越	18	佐藤義久 本間義明	048-1301 磯谷郡蘭越町蘭越町8-2 ふれあいプラザ21内	T(0136) 57-5437 F(0136) 57-5576		
	小平	16	森田 修 川森康次郎	078-3301 留萌郡小平町字小平町 小平町商工会内	T(0164) 59-1111 F(0164) 59-1427		余市	48	木村信一 山本繁樹	046-0003 余市郡余市町黒川町3丁目141	T(0135) 21-4171 F(0135) 21-4172		
	留萌	65	川上明弘 宮川正己	077-0044 留萌市錦町1丁目4-6 (尙)かとうカメラ店内	T(0164) 42-0897 F(0164) 42-9000		千歳	76	佐々木昭 大西信也	066-0036 千歳市北栄2丁目2-1 千歳全日空ホテル3階	T(0123) 23-4470 F(0123) 23-4600		
2	赤平	37	布施洋一 石野 茂	079-1136 赤平市本町2丁目1-15 (尙)エルム・パートナーズ会計事務所内	T(0125) 32-2622 F(0125) 32-3988	7	千歳 セントラル	35	大野 馮 井上英幸	066-8520 千歳市本町4丁目4 ホテル日航千歳1階	T(0123) 26-5788 F(0123) 26-5788		
	芦別	57	坂田憲正 小畑陽彦	075-0031 芦別市南1条東1丁目11番地 芦別商工会議所内	T(01242) 2-3444 F(01242) 2-2345		恵庭	48	清水 明 藤田谷志	061-1441 恵庭市住吉町80-1 弘中税理士事務所2階	T(0123) 32-2388 F(0123) 32-6066		
	砂川	58	竹田俊一 島山 豊	073-0152 砂川市東2条北3丁目1-1 砂川パークホテル内	T(0125) 52-3989 F(0125) 52-4572		北広島	15	竹内 實 齋藤 洵	061-1134 北広島市広葉町5丁目6-8	T(011) 373-8892 F(011) 373-8892		
	滝川	114	林 博幸 川口義弘	073-0032 滝川市明神町2丁目2-16 ホテルスエヒロ 7階	T(0125) 22-3344 F(0125) 24-2755		長沼	18	清水慧子 高木繁秀	069-1342 夕張郡長沼町旭町南1丁目1-2 KSインターナショナル内	T(01238) 8-0801 F(01238) 8-0801		
3	美唄	47	二川秀樹 荻野秀明	072-0025 美唄市西2条南2丁目2-3 美唄ホテルスエヒロ内	T(01266) 2-2501 F(01266) 3-4942	8	由仁	18	川合俊雄 佐藤勝一	069-1203 夕張郡由仁町東栄78 (尙)後藤組内	T(01238) 3-2634 F(01238) 3-2564		
	江別	48	吉田欣司 金田敏雄	067-0074 江別市高砂町10番地15	T(011) 382-0939 F(011) 382-0936		えりも	27	菅沼敏昭 岩本博叙	058-0204 幌泉郷えりも町字本町170-1 日高信用金庫えりも支店内	T(01466) 2-2311 F(01466) 2-2314		
	江別西	41	坂本与市 服部 涉	069-0812 江別市幸町10番地7	T(011) 382-0081 F(011) 382-0081		三石	19	石垣文雄 広瀬静夫	059-3108 三石郡三石町字本町54 日高信用金庫三石支店内	T(01463) 3-2311 F(01463) 3-2314		
	岩見沢	102	倉増昭一 勝井裕幸	068-0004 岩見沢市4条東1丁目6-1 三井グリーンランドホテルサンブラザ4階	T(0126) 24-0700 F(0126) 24-0020		様似	23	小野哲弘 島田一省	058-0014 様似郡様似町大通2丁目35-2 日高信用金庫大通支店内	T(01463) 6-2341 F(01463) 6-4584		
	岩見沢東	34	関二三子 長田正文	068-0006 岩見沢市6条東1丁目1 平安ビル2階	T(0126) 23-0945 F(0126) 23-0945		静内	67	渡井郁夫 河田勝男	056-0017 静内郡静内町御幸町2丁目1-9 商業協同組合日専連静内会3階	T(01464) 3-2481 F(01464) 3-2495		
	栗沢	33	吉野顕隆 金山英昭	068-0127 空知郡栗沢町本町11番地 栗沢町商工会館内	T(0126) 45-2002 F(0126) 45-4655		浦河	40	三枝 實 秋山靖典	057-0013 浦河郡浦河町大通2丁目31-2 日高信用金庫本店内	T(01462) 2-4111 F(01462) 2-4115		
	栗山	33	塩見雅英 和国奈美子	069-1511 夕張郡栗山町中央2丁目1番地 カルチャープラザB k i 内	T(01237) 2-1278 F(01237) 2-4001		伊達	56	守谷保夫 辻田郁哉	052-0021 伊達市末永町33-3 ローヤル内	T(0142) 23-0512 F(0142) 23-0516		
	当別	46	小山田雄一 辻 伸行	061-0223 石狩郡当別町弥生1091 (尙)田西会館内	T(01332) 2-0575 F(01332) 2-0575		室蘭	62	前田迪夫 吉澤政彦	051-0022 室蘭市海岸町2-3-2 室蘭産業会館4階	T(0143) 22-7545 F(0143) 22-7545		
	4	札幌	121	内山洋一 庭山早苗	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902		T(011) 231-1297 F(011) 222-2744	9	室蘭東	53	石田 実 荒井孝亘	050-0073 室蘭市宮の森町1-1-64 蓬棘殿内	T(0143) 44-3338 F(0143) 43-7400
		札幌あけぼの	18	染谷重雄 西山秀夫	063-0032 札幌市西区西野2条2丁目8-13		T(011) 671-6589 F(011) 671-6590		室蘭北	51	笹谷豊明 中田孔幸	050-0074 室蘭市中島町2丁目28-6 ホテル・サンルート室蘭内	T(0143) 45-6569 F(0143) 45-6569
札幌はまなす		29	大石春雄 菊地為次	001-0908 札幌市北区新琴似8条1丁目1-45 坂田ビル3階	T(011) 736-6616 F(011) 736-8322	登別	40		寺島紀子 仲川弘吾	059-0012 登別市中央町5丁目6-1 登別商工会議所会館内	T(0143) 85-4111 F(0143) 85-2428		
札幌北		57	城木浩一 小林俊之	060-0807 札幌市北区北7条西5丁目6 ストークマンション札幌906	T(011) 700-4511 F(011) 700-4512	洞爺湖	13		阿野康春 三浦昭三	049-5721 虻田郡虻田町字洞爺湖温泉54 秋田ビル211号室内	T(0142) 75-3345 F(0142) 75-2430		
札幌モーニング		61	池上公介 中田繁一	060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目 第1道通ビル1階	T(011) 242-3360 F(011) 219-1308	函館	100		國立金助 中村壮一	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138) 23-3870 F(0138) 22-2251		
札幌西		76	村上 登 宮越陽一	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744	函館亀田	52		寺田真三 松田 武	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138) 23-3870 F(0138) 22-2251		
札幌西北		53	大野義雄 中嶋成実	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744	森	49		渡辺英明 吉田 豊	049-2325 茅部郡森町字本町6-22 森商工会議所内	T(01374) 2-2432 F(01374) 2-2684		
札幌手稲		49	山本雅章 沼沼良三	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 231-6724	七飯	32		山内一男 川尻英樹	041-1122 亀田郡七飯町大川1丁目11-20 (尙)なえ印刷内	T(0138) 65-4661 F(0138) 65-4946		
5	札幌東	122	坂東宗一 朝倉正人	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744	10	長万部	12	片山幸夫 角 健	049-3521 山越郡長万部町本町107 長万部商工会館内	T(01377) 2-2270 F(01377) 2-5257		
	札幌清田	27	真鍋昌市 沼沼 菜	060-0004 札幌市中央区北4条西15丁目 1番14号4階	T(011) 632-5303 F(011) 632-5308		江差	20	前川敏雄 木村茂雄	043-0022 檜山郡江差町字伏木戸町634 (尙)田畑建設内	T(01395) 2-0856 F(01395) 2-2358		
	札幌幌南	84	近藤 浩 村上恒明	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744		函館五稜郭	69	川上 誠 本間 哲	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138) 23-3870 F(0138) 22-2251		
	札幌真駒内	48	山田一也 南部昭憲	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744		函館東	65	大桃泰行 宮崎裕之	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138) 23-3870 F(0138) 22-2251		
	札幌南	95	西脇順二 杉目幹雄	060-0002 札幌市中央区北2条西4丁目 北海道ビル902	T(011) 231-1297 F(011) 222-2744		函館北	47	北村祐治 柴崎 晃	040-0064 函館市大手町5番10号 ニチロビル4階	T(0138) 23-3870 F(0138) 22-2251		
	札幌大通公園	18	小笠原肇 新田直子	062-0931 札幌市豊平区平岸1条18丁目1-6 ルフズィール天神山1階	T(011) 811-5160 F(011) 811-5160		上磯	34	富田和史 堺 正英	049-0111 上磯郡上磯町七重浜8-4 函館スパビーチ内	T(0138) 49-6869 F(0138) 45-6977		
	札幌セントラル	21	芹田 馨 上野 了	060-0062 札幌市中央区南2条西10丁目5-1 ジムテル210ビル449	T(011) 272-2390 F(011) 533-1306		松前	9	小川正紀 佐々木伸一	049-1514 松前郡松前町字豊岡56 本間靖夫様方	T(01394) 2-2275 F(01394) 6-2048		
	新札幌	41	原口伸一 梅田鉄夫	004-0052 札幌市厚別区厚別中央2条5丁目4-35 新札幌駅前ハイッソ202号	T(011) 801-1311 F(011) 801-1312		白老	35	鈴木琢磨 手塚貴志	059-0902 白老郡白老町若草町2丁目3-1 白老観光センター内	T(0144) 85-2736 F(0144) 85-2988		
	6	岩内	37	佐藤泰規 井戸幸夫	045-0003 岩内郡岩内町字万代1-4 (尙)ホテルうきよ内		T(0135) 62-1201 F(0135) 62-2822	12	苫小牧	62	圓谷敏彦 渡辺健治	053-0022 苫小牧市表町1丁目1-13 苫小牧経済センタービル内	T(0144) 36-2688 F(0144) 33-3159
		倶知安	53	鈴木保昭 滝口直久	004-0033 虻田郡倶知安町南3条西2丁目 ホテル第一会館内		T(0136) 22-1158 F(0136) 23-2258		苫小牧東	34	木村 修 佐藤 正	053-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内	T(0144) 35-3344 F(0144) 33-7744
小樽		91	河辺由清 赤尾彦彦	047-0032 小樽市稲穂1-4-1 小樽グランドホテル内	T(0134) 25-1515 F(0134) 24-5581	苫小牧北	50		田中 稔 阿部 寛	053-0006 苫小牧市新中野町3丁目1-12 川端ビル内	T(0144) 33-0112 F(0144) 33-7744		

地区代表幹事・幹事担当部署

	<p>代表幹事 武石 忠俊 特定地区役員関係 地区大会 地区幹事関係</p>		<p>代表幹事 木村 照男 ガバナー月信 米山記念奨学会 情報、広報 地区大会</p>
	<p>幹事 上井 昭一 公式訪問 拡大、会員増強、クラブ奉仕、 職業奉仕、社会奉仕 ローターアクト インターアクト</p>		<p>幹事 大川 健一 国際奉仕 (世界社会奉仕、親睦活動、 友情交換)、 新世代、青少年交換、国際大会</p>
	<p>幹事 坂井 治 地区協議会 地区大会 ガバナー補佐 PETS(会長エレクト研修セミナー)</p>		<p>幹事 中村 堅次 ローターリー財団 (国際親善奨学金、GSE(研究 グループ交換) 増進、学友、補助 金)</p>
	<p>財務委員長 福田 武男 地区資金、地区予算</p>		<p>財務委員 井上 英幸 地区資金会計</p>
	<p>代表幹事補佐 高慶 繁博 総括・諸会合</p>	<p>ガバナー事務所執務時間 9:30~17:30 (土・日・祝祭日休み) 事務局：佐藤睦子 〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F 電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009 E-mail : d2510g@poppy.ocn.ne.jp</p>	

ガバナー事務所からお願い

- ①クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくは電話可)
- ②変更等のご報告について
 新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。
- ③クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。
- ④各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。
- ⑤ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

国際ロータリー会長
ジョナサンB.マジニアベ(ナイジェリア)

地区研修リーダー
伊藤 長英(苫小牧北)

地区ガバナー
佐藤 秀雄(千歳)

地区ガバナー補佐
第1グループ 渡部 英次(留萌)
第2グループ 土山 久男(芦別)
第3グループ 西原 宗幸(岩見沢東)
第4グループ 戸部アナマリア(札幌はまなす)
第5グループ 玉井 清(札幌清田)
第6グループ 梅庭 昭寛(岩内)
第7グループ 後藤 篤人(由仁)
第8グループ 細川 好弘(静内)
第9グループ 宮武 忠史(登別)
第10グループ 鹿野 文男(函館亀田)
第11グループ 今 均(函館五稜郭)
第12グループ 山本 雅昭(苫小牧北)

ガバナー諮問委員会
伊藤 義郎(札幌)
竹山 涼一(札幌南)
河野文一郎(札幌西)
大橋 康次(札幌東)
白石 欽一(札幌手稲)
富原 薫(札幌)
野口 信夫(小樽)
石垣 博美(札幌セントラル)
伊藤 長英(苫小牧北)
森本 正夫(札幌西北)
遠藤 正之(札幌南)
岩城 秀晴(札幌南)
小林 博(札幌北)
遠藤 秀雄(登別)

ガバナー指名委員会
伊藤 義郎(札幌)
竹山 涼一(札幌南)
河野文一郎(札幌西)
大橋 康次(札幌東)
白石 欽一(札幌手稲)
富原 薫(札幌)
野口 信夫(小樽)
石垣 博美(札幌セントラル)
伊藤 長英(苫小牧北)
◎森本 正夫(札幌西北)
遠藤 正之(札幌南)
岩城 秀晴(札幌南)
小林 博(札幌北)
遠藤 秀雄(登別)

地区幹事
代表幹事 武石 忠俊(千歳)
代表幹事 木村 照男(千歳)
幹事 上井 昭一(千歳)
幹事 大川 健一(恵庭)
幹事 坂井 治(千歳セントラル)
幹事 中村 堅次(千歳)
幹事 伊奈 昭夫(登別)
代表幹事補佐 高度 繁博(千歳)

地区財務委員会
委員長 福田 武男(千歳)
委員 井上 英幸(千歳セントラル)
委員 杉下 清次(札幌北)
委員 若木日出男(登別)

文献資料室
◎関堂 勝幸(札幌東)
舛田 雅彦(札幌南)
佐々木 敦(札幌真駒内)
藤森 敏昭(札幌モーニング)
小林 隆聖(札幌東)

地区大会実行委員会
ホスト:千歳RC
ホストRC会長 佐々木 昭
実行委員長 浅利 作造
実行副委員長 村上 正治
実行副委員長 丹治 秀一
幹事 佐々木金治郎
実行委員 古谷 真一
実行委員 村田 研一
実行委員 曙 恒平
会計 谷地田 武

拡大委員会
◎森本 正夫(札幌西北PG)
遠藤 正之(札幌南PG)
岩城 秀晴(札幌南PG)

会員増強委員会
◎小林 博(札幌北PG)
渡部 英次(留萌)
土山 久男(芦別)
西原 宗幸(岩見沢東)
戸部アナマリア(札幌はまなす)
玉井 清(札幌清田)
梅庭 昭寛(岩内)
後藤 篤人(由仁)
細川 好弘(静内)
宮武 忠史(登別)
鹿野 文男(函館亀田)
今 均(函館五稜郭)
山本 雅昭(苫小牧北)

クラブ奉仕委員会
C富原 薫(札幌PG)
◎羽部 大仁(札幌南)
○金子 隆(札幌手稲)
矢橋 温郎(札幌西)
近藤 良一(札幌モーニング)

職業奉仕委員会
C野口 信夫(小樽PG)
◎富岡 公治(札幌西北)
森居 清(岩見沢)
高田 潔(留萌)
礪波 寿(札幌南)
玉山 敬史(千歳)

社会奉仕委員会
◎対木 正文(札幌西)
○菅原剛太郎(滝川)
菊地 芳彦(苫小牧北)
坂本 修康(函館)
杉江俊太郎(小樽)
東原 秀行(札幌西)

国際奉仕委員会
C石垣 博美(札幌セントラルPG)
◎青木 功喜(札幌東)
土倉 裕之(札幌東)
灰野 篁(札幌北)
金井 重博(札幌南)

家庭奉仕委員会
◎和田 壬三(札幌南)
高下 泰三(札幌西)
水野 正純(新札幌)
松本 純枝(深川)
長谷川美栄子(札幌大通公園)
大場 公孝(上磯)

子ども奉仕委員会
◎米山 道男(札幌北)
佐々木弘有(深川)
石黒 安雅(滝川)
松下 文芳(江別西)
植田 英隆(札幌)
脇田 稔(札幌北)
近藤 浩(札幌南)
三澤 龍子(札幌清田)
工藤左千夫(小樽南)
酒井 宏(千歳)
山田 明(静内)
平野 和典(室蘭)
石田 勉(函館)
牧野 康宏(函館五稜郭)
和歌 宏侑(白老)

世界社会奉仕委員会
◎土倉 裕之(札幌東)
若原 秀明(札幌東)
伊藤知佳子(札幌北)
長谷川久夫(札幌セントラル)
田口 廣(千歳セントラル)
齊藤 修弥(室蘭)

親睦活動委員会
◎灰野 篁(札幌北)
高島 英寿(札幌南)
徳中 征之(札幌南)
長太 義雄(札幌北)
藤井 哲夫(恵庭)
古川 大之(長沼)
高薄 浩志(札幌)

友情交換委員会
◎金井 重博(札幌南)
日下 健三(恵庭)
高橋 康子(長沼)
関口 清(札幌モーニング)
齋藤 誠(札幌東)

財団増進委員会
◎大村 孝男(千歳)
佐藤 宏(札幌北)
戸塚 守夫(登別)

国際親善奨学金委員会
◎土橋 信男(札幌南)
丹羽 祐而(札幌手稲)
松下 文芳(江別西)
瀧川 哲夫(札幌手稲)
高橋 麗秋(札幌北)
星野 恭亮(札幌東)
大坂 忠(札幌大通公園)

GSE委員会
◎山名 善久
武藤 順
岡崎 芳明
高橋 宏
金坂 和正
山内 浩資
井上 勝一
小林 敏夫
片見 怜子
戸部 謙一
田嶋 忠義

リー第2510地区 地区組織図

地区ガバナー・エレクト
遠藤 秀雄(登別)

会長エレクト研修セミナー
地区協議会

オン・ツー・大阪委員会

◎岩城 秀晴(札幌南PG)
向田 基市(岩見沢)
平 昌夫(札幌南)
村上 正治(千歳)
村上 利雄(恵庭)

意義ある業績賞選考委員会

◎遠藤 正之(札幌南PG)
岩城 秀晴(札幌南PG)
小林 博(札幌北PG)
木村 照男(千歳)

100周年記念委員会

◎岩城 秀晴(札幌南PG)
塚原 房樹(札幌東)
石田 誠(札幌手稲)
荒 紀男(札幌)
木村 正勝(砂川)
酒井 正人(函館五稜郭)

補助金監督委員会

◎菅原 耕治(札幌北)
大川 健一(恵庭)

国際ロータリー国内委員

2005-2006年度RI会長指名委員会委員	竹山 涼一(札幌南PG)
------------------------	--------------

規定審議会代表議員

2004年規定審議会代表議員	石垣 博美(札幌セントラルPG)
2004年規定審議会代表議員(補欠議員)	伊藤 長英(苫小牧北PG)

国内委員会

(財)ロータリー米山記念奨学会	DICO	ロータリーの友委員会
理事 伊藤 長英(苫小牧北PG) 評議員 佐藤 秀雄(千歳) 評議員 遠藤 秀雄(登別) 評議員 竹原 巖(札幌北)	役員 山田 信夫(苫小牧北)	地区委員 佐藤 公(札幌北)

C : カウンセラー ◎ : 委員長 ○ : 副委員長

ロータリー財団委員会	新世代委員会	米山記念奨学会委員会	広報委員会	情報委員会	I C委員会	ロータリーの友委員会
◎森本 正夫(札幌西北PG) 大村 孝男(千歳) 土橋 信男(札幌南) 山名 善久(札幌南) 鍋谷 操子(函館東) 伏木 忠了(札幌西)	C伊藤 長英(苫小牧北PG) ◎奥貫 一之(札幌東) 堀田 昌資(札幌東) 柳 孝一(札幌南) 野澤 幸平(岩内) 宮崎 善昭(札幌西) 中山 和朗(千歳)	◎竹原 巖(札幌北) 戸井 敏夫(札幌南) 黒田 秀雄(室蘭東) 中山 裕視(札幌真駒内) 武田利兵衛(札幌南) 村上 恒明(札幌南) 内野 司(砂川) 坂田 道昭(小樽) 藤澤 正昭(苫小牧)	◎丸山 淳士(札幌真駒内) 小林 俊之(札幌北) 梅津 征夫(札幌モーニング) 菅原 文雄(千歳) 斎藤 正史(登別)	◎亀井 敏清(函館) 廣川 雄一(札幌) 大淵 勝敏(小樽南) 中島 健(滝川) 滝本 繁(札幌手稲) 菊地 弘嗣(札幌東)	◎山田 信夫(苫小牧北) 廣瀬 保男(小樽南) 光銭 健三(上磯) 野田 富夫(滝川) 丸山 雄一(函館)	◎佐藤 公(札幌北) 斎藤 元護(札幌南) 山名 善久(札幌南) 坂井 治(千歳セントラル)

委員会	財団学友委員会	補助金委員会	インターアクト委員会	ロータリーアクト委員会	青少年交換委員会	ライラ委員会	米山学友委員会
(札幌南) (札幌西) (小樽南) (札幌清田) (札幌真駒内) (札幌南) (札幌北) (函館) (小樽銭函) (札幌西) (札幌)	◎鍋谷 操子(函館東) 橋本 信夫(札幌西) 山崎 晴嘉(札幌西北) 桃井 康夫(札幌清田) 中島 勉(札幌南)	◎伏木 忠了(札幌西) 浅野 元広(札幌西) 服部 隆志(千歳) 山口 登(登別)	◎堀田 昌資(札幌東) 仲屋 成裕(岩見沢) 光銭 裕二(函館五稜郭) 古野 重幸(札幌) 佐藤 嘉高(札幌モーニング) 秋山 秀雄(札幌西北)	◎柳 孝一(札幌南) 今井 義憲(函館東) 宇戸 啓隆(赤平) 渋谷 賢治(深川) 小川 進(岩内) 五十嵐桂一(千歳)	◎野澤 幸平(岩内) 長澤 昇司(札幌東) 渡辺 哲則(札幌手稲) 渡邊 葉子(札幌西北) 山内 哲郎(上磯) 馬場 信吾(北広島) 赤裏 茂(札幌モーニング) 荒木麻美子(余市) 高橋 康則(苫小牧北) 上出 利光(札幌西) 菊池 恒(札幌南) 後平幸太郎(函館五稜郭)	◎宮崎 善昭(札幌西) 鎌田 慎司(札幌北) クリステンセン・トールキル(札幌南) 関野 喜隆(札幌手稲) 谷岡 裕司(苫小牧北) 山田 信一(砂川) 山田 昭恵(余市)	◎見延庄三郎(小樽南) ○高橋 紀幸(札幌あけぼの) 笠原 昇一(札幌東) 齋田 義孝(小樽南) 高橋 敏雄(札幌手稲)

文庫通信(189号)

新年度にあたり改めてご挨拶申し上げます。

本ロータリー文庫には常々一方ならぬご協力、ご愛顧を賜り衷心から感謝致しております。今更申し上げるまでもなく、〔ロータリー文庫〕は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に設立され、33年の歴史を誇る全日本ロータリアンの資料室です。

ここにはロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点が収集・分類・整備され、皆様のご利用に備えております。

ロータリーの研究や諸活動のため、ぜひご利用くださるようお待ちしております。

☆ 利用方法 ☆

文庫資料は自由に閲覧できますが、電話や書信によるお問合わせも承ります。お問合わせは間接では要領を得ない場合がありますので、なるべくご本人から直接お願い致します。

(文庫資料をご希望の場合は)

- ・発行先に在庫のある資料については、発行先をご紹介致します。
- ・絶版のものは実費(1枚20円+送料)でコピーサービスを致します。
- ・重複資料はご希望により無料進呈致します。
- ・ビデオテープは実費(1巻800円+送料)でダビングを致します。

(貸出し)

- ・視聴覚資料(スライド・フィルム)は予約制(申し込み用紙有)で貸出し致します。

(登録資料の紹介)

- ・「資料目録」をクラブ事務所に備付用としてお送りしてありますので、ご利用願います。「目録」をご希望の場合はお申込みください。
- ・「ガバナー月信」に「文庫通信」欄を設けさせて頂き、皆様のご参考になるような資料の紹介を致しております。
- ・「ホームページ」を開設しております。分類別に検索可能です。

(ご寄贈)

- ・個人の著作、クラブ発行のもの、地区発行のもの等々、いずれも内外を問わずロータリーに関する資料をご寄贈願います。文庫に保存して皆様のお役に立てさせて頂きます。

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

* 掲示板 *

例会曜日の変更について

白老 R C 7月1日より例会曜日を火曜日に変更。
例会時刻は変更なし。

北広島 R C 7月1日より例会曜日を月曜日に変更。
例会時刻は変更なし。(第3例会は18:30~)

ビジター料の改正について

札幌あけぼの R C 7月1日より
定例夜間例会ビジター料を3,500円
その他の例会日ビジター料を1,800円

2003-2004年度 地区カレンダー（予定表）

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事 I M、クラブ周年行事
2003 (平成15年)	識字率向上月間	7	12(土) 23(水)	各クラブ半期報告、人頭分担金送金 アメリカ、カナダ、フィンランド、メキシコ、台湾受入学生帰国報告会 アメリカ、カナダ、フィンランド受入学生送別会 第2820地区インターアクター交流会（札幌市）	ガバナー 1(火) 13(日)	第1回ガバナー会 ガバナー・元・次期ガバナー懇談会 ロータリーの友委員会 第1回全国青少年交換委員長会議	
	会員増強および拡大月間	8	3(日)～5(火) 29(金)・30(土)	インターアクト国内研修(第2820地区・茨城県) アメリカ、スイス短期受入学生帰国、派遣学生出発 地区野球大会	1 3(日)	ロータリー財団地域セミナー	
	新世代のための月間	9	6(土)・7(日) 13(土)・14(日) 27(土)・28(日)	04-05国際親善奨学生申請書送付 ロータリー地区研修セミナー アメリカ、カナダ、フィンランド、メキシコ、台湾受入学生歓迎会 ライラセミナー(ジュニア) ライラセミナー(シニア)	訪問 14(日) 21(日) 25(木)・26(金) 7月	米山委員長会議 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー ロータリー日韓親善会議 各大学にて米山奨学生応募受付	函館北RC創立40周年記念式典
	職業奉仕月間 米山月間	10	23(木) 24(金)・25(土)	青少年交換事業説明会(予定) 地区年次大会記念ゴルフ大会 地区年次大会(千歳市民文化センター・千歳全日空ホテル)	5 10月 18(土)		小樽RC創立70周年(予定)
	ロータリー財団月間 世界インターアクト週間 (11/5を含む1週間)	11	1(土)・2(日) 23(水)・24(木)	ロータリー地区協議会 岩見沢RAC創立35周年記念式典 北海道ロータリーアクト交流会	27(水) 28(木) 29(金)・30(日)	RO T A R Y - N O - T O M O 発行 ロータリー財団地域セミナー 第2回ガバナー・エレクト研修セミナー 第2回ガバナー会 第32回ロータリー研究会(東京)	
		12		オーストラリア受入学生報告会・送別会			
	ロータリー理解推進月間 追悼記念週間 (1/27を含む1週間)	1		各クラブ半期報告、人頭分担金送金 ガバナー補佐会議 05-06国際親善奨学生応募開始 オーストラリア受入学生歓迎会			国際協議会(米国・アナハイム)
	世界理解月間 家族週間(第2週) ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間 (2/23～2/29)	2	18(日)	米山奨学生選考試験 地区チーム研修セミナー(予定) 地区GSEチーム派遣(～3/24・第3830地区) 04-05国際親善奨学生オリエンテーション 米山奨学生送別会	21(土)・22(日)	ロータリーアクト全国研修会	札幌東RC創立45周年(予定) 洞爺湖RC創立35周年(予定) 札幌真駒内RC創立30周年(予定)
	世界ロータリーアクト週間 (3/13を含む1週間)	3		会長エレクト研修セミナー(予定)	20(土)		森RC創立40周年記念式典
	ロータリー雑誌月間	4		地区R財団セミナー、地区米山セミナー(予定) 地区協議会(予定)		RO T A R Y - N O - T O M O 発行 青少年交換研究会	
	R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6	29(土)・30(日)	2004年青少年短期派遣学生選考試験 05-06国際親善奨学生応募締切り 米山奨学生オリエンテーション ロータリー地区年次大会	23(日)～26(水)	国際大会(日本・大阪)	
		9		新旧ガバナー補佐会議 インターアクト地区年次大会(予定)	5(土) 14(日)～18(木) 23(水)	米山記念奨学会、理事会・評議員会 2004年規定審議会(シカゴ)	岩見沢RC創立50周年記念式典 栗沢RC創立40周年(予定) 新札幌RC創立20周年(予定)
			佐藤年度地区要覧発行				

*特記事項および注記 地区内クラブの周年記念行事の日程は担当ガバナー補佐を通じて、早めにガバナー事務所までご連絡下さい。
地区協議会、P E T S等は現在のところ予定で掲載しております。

2003年6月13日現在



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003

8

2003-2004 GOVERNOR'S

MONTHLY LETTER No.2

2003. 8. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
会員増強にご理解を	2
ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い	2
2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！	3
地区委員会活動計画	4
R I 予算について・R I 会長候補者募集	15
全国に千歳の観光をPR！	15
ブリスベンで確かめ合った家族の絆	16
米山功労者表彰が新しくなります！	18
ハイライトよねやま41	20
新入会員のご紹介	21
文庫通信・訃報	22
掲示板	23
地区カレンダー	24



今こそ地球のために



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 地区大会 国際ロータリー第2510地区

10月24日(金)・25日(土)

場 所 / 千歳市民文化センター
記念懇親会 / 千歳全日空ホテル

- ・ 記念ゴルフ大会 10月23日 (木)
シャムロックカントリー倶楽部
- ・ 記念囲碁大会 10月5日 (日)
札幌市：アスティ45

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ガバナーメッセージ



会員を増強しよう!!

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は会員増強月間です。日本は34地区ほとんどが会員を減らしています。企業は経済不況により奉仕活動を支援する余力を失いつつあります。若者は企業の戦力として重視されボランティアに注ぐ時間を失っています。その結果クラブは退会防止に意を注ぎ、結果として高年齢で構成するというクラブが続出し組織としては好ましくない現象が日本のロータリーに生じています。

R Iは各地区に会員増強のためのモデルクラブを推奨するよう要請し、このモデルクラブがどのように会員増強を図ったかを調査し報告するようであるが期待して良いのだろうか。そもそも会員増強は組織を防衛するため必要欠くべからざるものと思うが、増強するための手法ではなく組織の本質を解き理解させ、そして友人、知人、仕事仲間に参加してもらうことが大事ではないかと思うのだが…。

私は7月最初の公式訪問を鹿野文男第10グループガバナー補佐、今均第11グループガバナー補佐をリーダーとする11クラブ（函館方面）を訪問して来た。両グループ

は、年度始めにもかかわらず各クラブの会長幹事と綿密に調整しクラブの事業計画並びに会員増強の計画目標をしっかりと建て、この目標に向かって前進することを報告された。そして私が特に印象に残ったのは11クラブがほんの少しの会員減少ですんでいること、何より感心したのは各ガバナー補佐のもと11クラブの会長幹事を中心として会員相互が心をつなげてロータリアンファミリーを構成していることであった。このようなグループが存在する限り日本のロータリーは大丈夫前進拡大するとの確信を得たのである。函館には函館の文化がある。歴史と伝統と人情味溢れる情熱がそこにあった。海運業が衰退したとはいえ最初に栄えた蝦夷の地は昔日の耀きを少し失ったかに見えるが南北海道の観光地として復活、多くの観光客を集める函館の底力を見た思いがした。

函館ロータリアンがんばれー!!



会員増強にご理解を

地区会員増強委員会

委員長 小林 博 (札幌北RC・PG)

今月はロータリーの会員増強月間である。当然のことながら会員の数が増えれば嬉しい、減れば寂しい。

ただ、会員増強の根拠を十分議論することなく増強、増強というと、要するに金がほしい為に会員を増強せよというふうにもとられてしまうかもしれない。事実、声高の会員増強を繰り返し訴える背景には、会員減はロータリー組織の衰退につながるなどの危機感があるとも言われる。

でも、極論はさておき、ここで大切なことは会員相互の議論と認識の深まり、さら

には信義の醸成とロータリー精神の昂揚に他ならない。要するに、ひとり一人の会員自らがロータリーの心に目覚め、良きロータリアンとして行動していくことである。

加えてやはり数が欲しい。言うまでもないことだが「数は力」であり、当然会員増強によって親睦の輪が広がるだけでなく、そこから生ずる財政的経済的余裕はその地域社会のより大きな貢献に繋がるであろう。だから会員増はロータリーの力の源泉として、やはり必要不可欠なのである。会員諸子のご理解とご協力をいただけたらと思う。

2005～2006年度

ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 佐藤 秀雄
地区ガバナー指名委員長 森本 正夫

2005～2006年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月10日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

参 考

- 国際ロータリー細則第13条 (ガバナーの指名と選挙)
- 国際ロータリー第2510地区、地区ガバナー指名委員会規定(1998～1999年度地区年次大会決議第9号)

「2004年待望の国際大会がいよいよ大阪で開催！」

2004年国際大会は下記の通り開催されます。日本では26年ぶりの開催となります。是非参加しましょう。

●開催日時、会場

開催日：2004年5月23日(日)～26日(水)

(大会前プログラム5月20日(木)～)

会場：大阪ドーム(開会式、本会議など)

大阪国際会議場(プレコンベンションなど)

リーガロイヤルホテル(友愛の家など)

プログラム(予定)：

- 5月20日(木) 午後 登録開始
- 5月21日(金) 終日 プレコンベンション
(国際研究会等)
- 5月22日(土) 終日 友愛の家(5月26日まで終日開催)、プレコンベンション
終日 ホスト主催京都デー
夕刻 ホスト主催ウエルカムイベント
- 5月23日(日) 夕刻 開会式
(オープニングイベント)
- 5月24日(月) 午前 第2本会議
午後 討議とワークショップ
夕刻 ホストホスピタリティの夕べ
- 5月25日(火) 午前 第3本会議
午後 討議とワークショップ
夕刻 ホスト主催パークフェスタ
- 5月26日(水) 午前 第4本会議
夕刻 閉会式
(クロージングイベント)

●参加登録方法

登録書式一式は、RI本部より直接各RCへ送付される予定です。その登録用紙に各自ご記入の上、登録料を添えてクラブへお送りください。クラブはまとめた登録用紙と登録料を日本事務局へ送付ください。

日本事務局は、登録用紙の記載内容と入金を確認し本部へ送付されます。

*登録料

登録料	2003年 12月15日まで	2004年 3月15日まで	当日登録
・ロータリアンカップル	US\$400	US\$450	US\$500
・ロータリアン ・ゲスト ・19歳以上	US\$300	US\$325	US\$350
・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	US\$60	US\$80	US\$100
・18歳以下のゲスト ・YE ・インターアクト	US\$20	US\$30	US\$40

*登録料支払は、ロータリーレートによる円建てとなります。

●オン・ツー大阪委員会の設置

2004年国際大会(関西)の皆さまへの参加促進をお願いする意味で全地区へ「On to Osaka委員会」を設置いただきました。これからも地区ガバナー事務所、On to Osaka委員会を通して皆さまへ国際大会(関西)の情報を発信していきます。

●国際大会事務局

2004年国際大会に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-28

久太郎町恒和ビル4階

電話：06-6258-0561

FAX：06-6258-0562

Eメール：sec@ri2004.com

ホームページ：http://www.2004kansai.jp



地区委員会活動計画



RI 100周年記念委員会

委員長 岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

来る2005年2月23日はRI創立100周年を迎えることとなります。RIでは、100周年記念事業の計画を進めております。

そこで、本地区においてもこれについての計画を検討して、未来への夢を果たしたいと考えております。

第一に、全RCが2005年2月までに新しい地域社会のプロジェクトを考慮して欲しい、そして地域社会に奉仕活動をして欲しい旨のことを、RIで要望しております。

第二に、会員の増強。

第三に、会員1人当り米貨100ドルのロータリー財団への寄付を要望しております。

第四に、ポリオ・プラス計画による撲滅運動の展開。

なお、RIの計画では2005年2月までに地域社会のプロジェクトをやり遂げるように要請しております。

以上の要項を中心に推進して参ります。この外に2005年の国際大会はシカゴで6月19日～22日の開催予定です。これも大きな大会となりますので、大いに楽しみながら事業の遂行に参加しましょう。



オン・ツー・大阪委員会

委員長 岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

いよいよ平成16年5月23日に開催されます大阪には当地区の皆様が振るってご参加戴けるものと期待致しております。特に、日本で開催されるのは1978年の東京大会以来なかったのですから。大阪の会場は大阪ドームのほか、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルとなっております。5月23日(日)から始まり、5月26日(水)の21時30分の閉会式で終了致します。開催地であります2660地区の方々及び周辺地区の方々は大変張り切っております。日本全地区から25,000人位を参加予定に考えておりますので、本地区も

700名位は参加して頂きたいと計画しております。例えば、本地区は72クラブありますので、1クラブ10名としても700名には達すると思います。会員の方のみならず、ご家族でご参加するのも家庭の絆を深めるには格好のチャンスと考えられます。そして、大阪においては「北海道ナイト」もこの計画に入れて楽しみを深めてみたいと考えております。また、この大会に並行して青少年交換や国際研究会が開催される予定になっております。国際大会は地区大会とは違った国際色豊かな楽しめる大会であります。是非、来年の大会には地区の方々とお互に交流を致しましょう。

文献資料室

委員長 関堂 勝幸
(札幌東RC)



国際ロータリー、国内のロータリークラブ等の情報もいまやITの進化にともなって書籍、テープ等でのクラブ活動委員会での資料として必要が少なくなりつつあります。しかし当委員会は地区内のクラブ活動の歴史を保管している関係上各委員会の委員長にとって一見する書類がただであると存じます。従いまして書籍の整理をし、各クラブに紹介できるようにしていきたいと思っております。

目標

1. IT委員会の協力をえて国内外の活動とともに地区での活動と新しい書籍、テープ等の貸し出しリストの紹介をする。
2. 貸し出しに便利な又は各クラブのプログラムに利用しやすいようにビデオ、CD-ROMに整理していきたい。



クラブ奉仕委員会

委員長 羽部 大仁
(札幌南RC)

佐藤ガバナーの地区運営の目標とクラブ運営の目標に強調されている事項を地区委員会として如何なる活動を展開するべきか、

その具体策を模索する。

- ① 地区目標として、情報ネット作りが上げられている。本年度、地区委員会としては地区と地区委員会との情報をネットで交換する。
- ② クラブの運営目標としてガバナーが掲げられた、「ロータリアンの意識改革」をテーマに新しい会員には「ロータリーとは」について効果的に情報を提供する。
- ③ 古い会員には従前のままと踏襲するのではなく新しいプログラムに挑戦して、クラブの活性化を図る。
- ④ 従来の例会のあり方をがらりと変えてみるとか、担当委員会を決めて、身近ないろいろな問題についてワークショップを開催する。
- ⑤ 各クラブが地域に根ざした奉仕活動を探してみることに、新しいプログラムに積極的に取り組むために、地区委員会として協力したい。(卓話を含め、楽しい例会のあり方など)



職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治
(札幌西北RC)

第1 活動方針

1. マジリアベR I会長の「手を貸そう」「あなたの天職に手を貸そう」の方針に応え、ロータリアンの根幹ともいべき職業奉仕の理念の普及及び実践に努める。
2. 地区内各クラブ及び会員個人に職業奉仕の理念に合致した具体的な活動計画を企画するよう奨励する。

第2 活動計画

1. 地区委員会においてロータリー創立以来の職業奉仕理念の誕生及びその後の経過と現状に対する勉強会を熱心に取り組む。
2. 10月の職業奉仕月間を中心として地区内クラブから卓話の要請があった場合、地区委員会の各委員を分担して派遣実施する。
3. 地区委員会としても、地区内クラブ及び会員に具体的な職業奉仕活動例を紹介し援助し、各クラブの職業奉仕活動が活発になるよう努力する。
4. 地区職業奉仕委員会として、ロータリアンの専門職種を活かしたロータリアンの講師による「ロータリー市民講座」を今年度も開催実施する。



社会奉仕委員会

委員長 対木 正文
(札幌西RC)

各クラブが地域のニーズに答えた社会奉仕活動をされている事に心から敬

意を表します。

8月末日までに、社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長さんを対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内5ヵ所で開催いたします。

この意見交換会を通し、年度始めに他のクラブの奉仕活動を知ることにより、地域社会が真に求めている奉仕活動を幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐと共に、クラブが抱える諸問題について意見を交換いたしたいと思ひます。

また、昨年度設置された小委員会「家庭奉仕委員会」と今年度新設された「子ども奉仕委員会」の設立主旨をお互いに共有し活動できれば幸いです。

特に「子ども奉仕委員会」の活動はロータリアンの職業と職業を通して知り得た人生観を、次代を担う子ども達の目線において伝えるという奉仕活動であります。まさに今日、地域社会や教育界からロータリーに求められており、ロータリーだからできる奉仕でもあります。

また、地区社会奉仕委員会は今年度11月29日に、「ロータリー市民フォーラム」を開催したいと考えております。テーマは社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加し潜在化している、「児童虐待」の問題を取り上げます。この問題は1999年国際ロータリー理事会が決定した、クラブおよび地区に考慮を促す奉仕の機会に関する項目9つの中で最初に出てくるものです。皆さんと一緒に考え、この問題にロータリーがどのようにかわり、どのような奉仕活動が地域社会と一体となることができるかを考えたいと思ひます。基調講演には、児童虐待の駆け込み相談電話「1134」でタイの社会に広く知られ献身的な活動をしているパベナ財団の理事長パベナ女史です。

今年度も各クラブが地域のニーズに合った実りある社会奉仕活動をしていただくためにクラブと同じ目線で地区委員会も努力して参りますのでよろしくお願ひいたします。



家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三
(札幌南RC)

今期の家庭奉仕委員会の活動は、現在日本の家庭の抱えている、悲惨な状況を克服するために、今私たちが何をしなければならぬかについて、様々な機会を捉えて訴えていくことを焦眉の課題としました。そのため以下の方針を立てました。

1. 勉強会を最低2回以上行う。

拓殖大学の相馬教授には、食の問題。前北星大学の相場幸子教授には、子供に対する親の関わり方について、お聞きする。

宣伝は、ガバナー月信だけではなく、直接、社会奉仕委員長や会長、幹事に詳しく内容を伝えて、働きかける。又、インターネットも活用する。

2. 各クラブの活動の状況を月信に紹介して参考にして頂く。

少なくとも委員は、所属クラブに働きかけて、家庭奉仕について意識啓発を行う。

3. 前年度第4・第5グループIMの家庭奉仕に関するビデオを各クラブに活用して頂く。

4. 親業訓練が効果的であることが分かったので、土橋芳美先生の協力を得て、親業訓練初級コース（6時間）を実施して頂くように各クラブに働きかける。

5. その他、地区社会奉仕委員会主催の各グループ内の連絡会に必ず委員の誰かが出席する。

6. ワークショップなどに積極的に参加して、啓蒙に努める。

子ども奉仕委員会



委員長 米山 道男
(札幌北RC)

近年、小中学校に総合学習の時間が設けられ、外部講師による授業や子ども達の事業所訪問などが行われていますが、学校では依頼先探しに苦労しているとの報道があります。一方、これに応えようとする動きが全国のロータリー地区で展開されつつあります。

このような世の趨勢に応じて新設されたこの委員会の今期の使命は、「会員が小中学校で授業をする」、「会員

の職場で小中学生が見学や実習をする」という活動のお膳立てをすることです。そのため、既に昨年10月から多くの会員と共に準備を進めてきました（前期ガバナー月信3月号19頁、5月号12頁、6月号13頁、7月号29頁参照）。

また、地区全体に及ぶ活動となるため、前期ガバナー補佐全員にお願いして、各グループから委員を推薦していただきました。

今期は、次の順序で活動を進めたいと考えています。

(1) 地区内5カ所での意見交換会の実施

まず、この活動を会員各位に理解していただき今後の御協力をお願いするために、7月26日の函館を皮切りに、8月には2日滝川、9日苫小牧、23日小樽、30日札幌と各地に出向き、社会奉仕・家庭奉仕両委員会と合同で、会員各位との意見交換会を開催させていただく予定です（今期ガバナー月信7月号15頁参照）。

(2) 協力者名簿の作成

その後で、9月から11月にかけて、会員各位の御協力のもと、「小中学校で授業をして下さる会員」と「職場に小中学生を見学や実習に招いて下さる会員」の協力者名簿を作成します。

(3) 各地の教育委員会への協力依頼

名簿完成後、各クラブ代表と当該グループの当委員会委員とで、名簿を携えて市や町の教育委員会を訪ねて理解と協力をお願いしていただきたく思います。一つまたは複数のクラブで一つの教育委員会と対応していただきたいと考えています。

(4) 各小中学校との連絡調整

その後で各クラブの担当委員会が各小中学校へ出向いて、名簿を届けて説明していただき、今後の連携の基礎を作っていただきたく思います。

(5) 会員による授業と小中学生による見学・実習の実施

そして、多分来年4月から、学校からの要請に応じて、小中学生との実際の関わりが始まることになると思います。

会員各位の、この活動への御理解と御協力を心からお願い致します。



国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜
(札幌東RC)

国際奉仕委員会は親睦活動、友情交換、世界社会奉仕の3委員会から成り立っている。これらの横の連絡は勿論、国際奉仕に関連する各委員会とも連絡を取りながら活動して行きたい。又国際奉仕はわが地区だけでなく世界の各地区或いはロータリーの本部あるいは日本の事務局との窓口になりながら、国際的視野で佐藤年度の活躍をすすめる予定である。周年記念を迎えるクラブにおいては世界奉仕に対する計画をたてていただきたい。また世界理解月間には地区委員会に声をかけて下されば喜んで協力したい。

具体的な活動は各小委員会の活動計画を参照いただきたい。



世界社会奉仕(WCS)委員会

委員長 土倉 裕之
(札幌東RC)

これまで「顔の見える援助」を目指してやってきましたが昨年度に入って芽が出てきたように思います。特に2002年度より各クラブのWCSに対する取り組みが変わってきました。従来は地区で用意した活動に参加する方式の活動でしたが、クラブ独自の活動計画を組みその補助を地区に要請するという方式です。以下の活動はすべてクラブ独自の活動に地区が補助をしたものです。

コロンボロータリークラブへ中古ベッド寄贈(千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ)・インドネシア図書館援助(新札幌ロータリークラブ)・ミャンマー孤児院資金援助(札幌東ロータリークラブ)・コロンボロータリークラブへ中古ベッド寄贈(札幌南ロータリークラブ)・Wheel Chair Foundationに車椅子資金寄贈・パベナ基金に資金援助(岩見沢東ロータリークラブ)

今年度は上記のような各クラブの活動の補助(インドネシア・ジョグジャカルタ市の支援。函館北ロータリークラブ)と、従来通りのタイ・ノンカイ地区への援助(学費援助・飲料水施設設備援助)、および内戦の終結したスリランカ北部(3220地区)の学生に対する通学用自転車の寄贈を柱に活動を行う予定です。WCSはロータ

リークラブの周年事業としても意義のある活動です。周年事業を計画されているクラブには是非ご検討賜りますようお願い申し上げます。

今年度の「手を貸そう」にマッチした活動を行い、皆で笑顔を見てみませんか。



友情交換委員会

委員長 金井 重博
(札幌南RC)

1. 当地区クラブと海外、姉妹、友好ロータリークラブの交流促進
2. 当地区と海外地区との新規交流先推進
昨年、アメリカのGSE事業で当地区との交流があった、アリゾナ州地区との可能性を打診しており、これについても、継続して交渉します。第5010地区はアメリカ、カナダの北部とロシアの極東地区を含む地区です。2003年ブリスベンでの世界大会時に三地区(アリゾナのフィリップシルバードG、アラスカのステイブ吉田P D G、当地区の石垣P G、青木国際奉仕委員長及び私)とで懇談し基本的に前向きに交流を推進する事を確認し、後日文書で確認の予定である。
3. 大阪国際大会での北海道ナイトをオン・ツー大阪委員会の下で企画、推進。
4. 継続案件の国別勉強交流会
小林ガバナー年度で懇談し、諮問委員会から当委員会事業内容(国別部会)の再検討をする様要請された件につき、国別勉強交流会の名称をもって国際奉仕委員会を主委員会とし当委員会は之をサポートしながら継続して推進する。
佐藤ガバナー執行部での合意、及び諮問委員会の了承のもとで、地区内各国際奉仕委員会の協力を得て地区会員や地元、市民、町民また在住外国人の為小さな親切運動を実施する。
5. 地区国際奉仕委員会に属する他の委員会への協力



ロータリー財団委員会

委員長 森本 正夫
(札幌西北RC・PG)

前ロータリー財団委員長の故富山先生からバトンを引き継いで、3年目になります。この数

年間は、米国と日本の経済不況がロータリーにも大きく影響し、地区の会員数が減少し続けており、先行きが懸念されるどころです。しかし、状況が好転するのを座して待つのではなく、ロータリーの創設の原点に立脚し、私たちとしてこれまで以上にできることをしなければなりません。つきましては、その手始めとして、各クラブの増強拡充を図りロータリーの各種活動に支障をきたすことのないよう、今後も会員の皆さんに資金面でのご協力を願う次第です。

本年度の財団の各委員会の活動につきましては、それぞれの委員長をはじめ、委員の皆さんがこれまでも増して献身的なご活躍をしてくださるものと確信しております。

「3度目の正直」と言いますが、3年目には明るい兆しを是非ともつかみたいものです。以前にも申し上げましたとおり、故富山先生の足跡を継いで財団の活動を次の世代へとつないでいきたいと考えておりますので、今後とも引き続きご支援のほど何卒よろしくお願いいたします。

財団増進委員会



委員長 大村 孝男
(千歳RC)

ロータリー財団への寄付のうち、年次寄付に関して、2001年の規定審議会で西暦2005年までに1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。ジョナサン B. マジリアベリ会長からも、本年度および次年度において、1人当たり100ドルの寄付を達成するよう要望されています。また、ロータリー財団の活動資金が不足している現状から、恒久基金寄付についても年次寄付同様、増進の必要に迫られています。さらに、RIでは100周年を迎える2005年までにポリオの完全制圧を目指しています。

以上のことから、活動計画を以下のとおり定めました。ご支援よろしくお願い申し上げます。

1. 年次寄付の寄付率の向上化と、1人当たりの寄付の絶対額を増やす方法。
2. ロータリー創立100周年記念祝賀に向けて、\$1,000以上の恒久基金寄付の奨励。
3. 遺贈友の会の紹介。
4. \$10,000以上の大口寄付と表彰制度の紹介。
5. ポリオ撲滅のための募金活動。

国際親善奨学金委員会



委員長 土橋 信男
(札幌南RC)

昨年に引き続いて委員長を務めます。継続の委員は、丹羽祐而（札幌手稲RC）、松下文芳（江別西RC）、瀧川哲夫（札幌手稲RC）、高橋麗秋（札幌北RC）です。そして、新委員として、星野恭亮（札幌東RC）、大坂忠（札幌大通公園RC）の二人を迎えました。

本年度は以下の活動を行うために、年6回程度の委員会を行う予定です。

まず、2004-05年度国際親善奨学生の選考、およびオリエンテーションで、これが本委員会の最大の仕事です。7月に合格者を決定して、これから一年間の中で6回のオリエンテーションが行われると思います。

次に、2005-06年度国際親善奨学生の募集をします。募集ポーションを行う予定です。次号の月信には合格者を報告できポスターは好評な金井英明札幌南クラブ会員の絵を背景に使わせていただく予定です。募集は来年1月中旬に始まります。

各クラブでの受付締め切りは来年4月中旬の予定です。

昨年度は、志願者の面接を必ずしていただくようにということで、お願いしておりましたので、全志願者が面接を受けて推薦されていました。本年度にもこのことについては必ず行っていただきたくお願いします。

以上は、当地区からの派遣のプログラムですが、他方で受け入れについては本地区からの寄贈プログラムとして、第5010地区ロシアからの3ヶ月文化研修国際親善奨学生の受け入れをします。今年度の奨学生は以下の二人です。札幌大通公園クラブと、札幌セントラルクラブがホストクラブとなっていただきました。滞在期間は8月1日から10月末までです。

エレナ・アガフォノーフア（女性、23歳）ウラジオストック在住（札幌大通公園クラブ）

ピサレフ・パーウエル（男性、24歳）カムチャッカ在住（札幌セントラルクラブ）

また、本年度は、グアムからの国際親善文化奨学生の受け入れ依頼があり、現在準備中です。

なお、本委員会が果たすべき責任が最適に果たせるためのプログラムはどうあるかについて、委員会として検討していく予定です。



G S E 委員会

委員長 山名 善久
(札幌南RC)

G S E プログラムは、受入と派遣を2年に跨がって交互に行うことになり、前年度はフィリピンの3830地区からチームを受け入れました。今年度は3830地区へ当地区からチームを派遣します。また、次年度のプログラムに向けての準備が本格的に始まります。

以下は、今年度の主な活動計画です。

- (1) R I 3830地区へ派遣するチームメンバーの研修。
派遣時期：2004年2月18日～3月24日（35日間）
- (2) 2004～2006年度交換相手地区：3350地区（タイ）
 - ・2004～2005年度受入準備
(受入グループ、受入世話クラブ)
 - ・2005～2006年度に派遣する団員募集及び決定
 - ・2005～2006年度当地区派遣チームリーダー選出及び決定
 - ・2005～2006年度当地区派遣チームメンバー研修
- (3) その他
G S E プログラムに関わる諸問題の検討
 - ・受入、派遣日数の変更（35日間から28日間）
 - ・受入、派遣費用の検討
 - ・G S E 事業報告書制作
 - ・その他



財団学友委員会

委員長 鍋谷 操子
(函館東RC)

1. 委員会の目標

- (1) 財団学友会の活動に対する助言と支援。
- (2) 財団学友のロータリー活動への参加促進とクラブの財団学友への理解推進。
- (3) 財団学友会の広報。

2. 委員会活動計画

- (1) 委員会の開催
年間4回の委員会を開催する。
第1回：7月開催 活動計画と担当確認（財団学

友会役員参加)

- 第2回：9月開催 地区大会での財団学友参加プログラムの具体的な確認（G事務所地区大会担当者、財団学友会役員参加）
 - 第3回：2月開催 財団学友帰国報告会、地区協議会、地区財団セミナーでの役割について（財団学友会役員参加）
 - 第4回：6月開催 新旧委員合同会議－活動引継、懇親会（財団学友会新旧役員参加）
- (2) 財団学友会の役員会への参加。（財団学友会の要望に応じて参加し、ロータリーへの理解を深める）
 - (3) 財団学友会総会への参加。（今年度以降の財団学友会総会は地区大会時に開催することとしたので財団学友会総会用の会場を考えなければならない。）
 - (4) 財団学友会賛助会員の賛助金拠出を推進。（昨年度追補作業を行った地区R財団学友名簿を地区内各クラブへ送付し、財団学友の存在意義を深めると共に賛助会員としてのご支援をお願いする。）
 - (5) 学友ニューズレター発行の支援。
 - (6) 財団学友の地区大会への参加推進。（財団学友会総会の開催を地区大会に合わせて開催し、多くの財団学友が地区大会に参加するように推進する。）
 - (7) 帰国学友報告会の開催（今年度派遣G S E チームが帰国してから開催することとし、2004年5月中旬に計画する。各クラブへ参加を呼びかけ、財団奨学生とG S E チームの成果を披露し、交流を深める。）
 - (8) 昨年度と同様にR財団月間には財団学友の卓話を地区内クラブへ斡旋する。



新世代委員会

委員長 奥貫 一之
(札幌東RC)

Enjoy Rotary! 何年前のR I 会長のターゲットだったが覚えていませんが私は今もこの単純明解な標語が好きで、ロータリーの本質を現していると思っています。「楽しくなければロータリーでない」とよく先輩ロータリアンに云われます。的をえたお言葉だなあとしみじみ思います。

ロータリーが様々なジャンルの奉仕活動であるという大前提が忘れられ、メンツにこだわり過ぎた行きがちが時々生じているのを見て嘆かわしく思っております。私達の委員会は新世代への奉仕がメインテーマであっ

て、4つのテストの4番目「皆んな（新世代）の為になるかどうか」という事を原点に行動してゆく新年度でありたいと考えております。

具体的には、ロータリープログラムの中で現在縦割りになっている新世代関係委員会の活動を基本はそのままにして、歓送迎会等他のロータリアンが来て下さっても支障のないプログラムには、関連委員会の委員長さんに招待状（会費はいただく）を出して、可能な限り新世代関連ロータリアン同志の中広い交流が出来る様に願っております。

又、インターアクトと留学生、Rotexとローターアクト、ローターアクトと米山奨学生・財団奨学生等年代層の近い新世代同志の交流の場を積極的に作ってあげていただきたいと切望いたします。9月に行われる「ライラセミナー」がその集大成になりますが、それ以外にも各地で折にふれ「小さなライラの集まり」が実施されたら素晴らしいと夢見ているので宜しく願い申し上げます。



インターアクト委員会

委員長 堀田 昌資
(札幌東RC)

本年度インターアクト委員会は、佐藤ガバナーの指導のもと、スポンサーロータリークラブ・クラブ会長・インターアクト委員会と連携を密にして、地区内インターアクトクラブのユニークな活動と活性化を図るべく、第2510地区ローターアクト委員会、青少年交換委員会、ライラ委員会、関連して、ロータリー財団、米山記念奨学委員会との連携も視野に、新世代活動に積極的に取り組む1年と考えております。

青少年との共同奉仕プロジェクトを通じて、ロータリアン側の熱意と関心が理解され、ロータリアンとしての貴重な役目を果たすこととなります。新世代活動に関心あるロータリアンの積極参加を歓迎申し上げます。

〈地区主導の年間行事計画〉

- ① 第2820地区インターアクターとの交流会。7月23日。サッポロビール博物館見学と歓迎会（ジンギスカンパーティー）
- ② 研修旅行。8月3日～5日（2泊3日）第2820地区インターアクター（茨城県）との交流と見学。（筑波宇宙センター）
- ③ 「RYLA」への参画。9月13日（NTTセミナーセンター）ジュニアクラス。

- ④ インターアクト年次大会。6月（ホスト・札幌第一高等学校）一札幌RC。
- ⑤ 世界インターアクト週間祝賀行事・祝賀表彰の奨励。11月5日を含む週（11月3日～9日）
- ⑥ 地区委員会開催。顧問教師と共に連携を図ります。

※顧問会議・随時開催。

2003～04年度第2510地区インターアクトクラブ地区代表一札幌第一高等学校インターアクトクラブ会長 熊野まなみ



ローターアクト委員会

委員長 柳 孝一
(札幌南RC)

現在地区内で12のクラブ、約150名のローターアクターが提唱クラブの指導の元、活動しています。

RIのテーマ「手を貸そう」を実践し、ローターアクトに手を貸し、ともにロータリアンが活動できるようサポートしてまいります。

地区内ロータリアン皆さん全員にローターアクトを知ってもらうことを最重点に。

まず、提唱ロータリークラブの会長・幹事、ローターアクト委員会、会員の皆さまと連帯を保ち、地区内ローターアクトクラブの活発な奉仕活動と、会員増強推進を目標に、提唱クラブだけではなく、広く地区内ロータリークラブにローターアクトクラブの活動を理解していただき、新しい事業を展開することを目標にいたします。

【地区行事への参加と協力】

- ①ローターアクト地区大会の実施の協力と参加
- ②ローターアクト地区協議会の実施の協力と参加
- ③アクトクラブ主催セミナーの実施の協力と参加
- ④新世代委員会行事への参加
- ⑤海外研修の実施の協力と参加
- ⑥当地区地区大会への参加とローターアクト会員の参加推進

【クラブ運営に関する要望】

- ①クラブの会員増強と体制強化
- ②提唱クラブローターアクト委員会の指導力強化
- ③ロータリークラブとローターアクトクラブの合同例会、合同事業の実施
- ④ローターアクト週間（3月13日を含む週）のPR（最初に誕生したローターアクトクラブがRIに正

式に加盟認証された日でローターアクトクラブと提唱クラブが合同で事業を行うものです。)

【その他】

- ①第2回北海道ローターアクト交流会（当地区のホストで9月開催）の全面協力とロータリアンの登録推進
- ②当地区で開催される全国研修会の参加と実施協力
- ③休止中のクラブへの再開の働きかけ
- ④未提唱クラブへ新クラブ設立の働きかけと共同提唱の提案
- ⑤提唱クラブ委員長会議を年4回程度開催



青少年交換委員会

委員長 野澤 幸平
(岩内RC)

奉仕という表情は……明るさと笑顔でしょうか。

青少年交換委員会事業は日本の将来への“人財”を育てるといふ大きな夢。10年、20年後を見据えた世界との交換プログラムを会員減少、経済環境との理由で縮小するのでは寂しい様な気がします。委員会予算も3年前に比べて約300万円の減少。昨年度より約120万円の減額。

しかし、何とか知恵を出し合い、汗をかきながら派遣を希望される学生の“夢”実現の為に皆で頑張りたいと思っております。

20年前、GSEの1員としてアメリカに。委員会に参画して驚きを感じたことは1人、1人の学生にこんなにも多くのロータリアンが係わり、皆様方の御支援を頂いていたことを知りました。赤面です。委員に成っていなければ知らないままにずっと生活をしてきたかも知れません。

その運命？に感謝しながら派遣&受入学生にとってより意義のある交換プログラムとなるよう精一杯応援するつもりです。「危機管理」への取り組み、各種「手引書」の作成等についてはクラブ担当者、クラブカウンセラー、ホストファミリー、ホスト高校関係者の皆さんに、当地区自慢の日本語プログラム講師の方、そして皆様方ロータリアンのアドバイスを頂きたいと思っております。

1年間宜しくお願いします。子供達のより輝く“笑顔”を見るために……。

ライラ委員会

委員長 宮崎 善昭
(札幌西RC)



2002～2003年度よりライラ・セミナーは、ジュニア・クラス（18歳まで）、シニア・クラス（30歳まで）と日程を分離して開催するようになりました。次年度も同様に9月の新世代月間の土・日1泊2日で実施する予定です。

共通テーマは「平和を創り出す」（仮）にしたいと思います。

私たちは、平和を望んでおりますが、なかなか達成できずしております。それは、物質文明の中で人間の精神的発達が私たちが考えているほど進歩してないからに他なりません。

青年と共に「平和」を単に戦争や紛争の無い状態という消極的な考えでなく、差別、飢え、貧困、疾病のない幸福、福祉、繁栄が保証されている（貧困、人権侵害をなくする）状態という積極的な考え方で考えてみたいと思います。

協議する中で、人間は単に命があるから生きるのではなく、より良く、より平和な生き方をすること自体が生きる目的となることを覚える機会とします。

そして、地球の環境はもう既に戦争には耐えられない局限の状態であり、21世紀の未来を背負う人間にとって平和に生きることが必要条件なのだという認識を広げていきたいと思っております。



米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖
(札幌北RC)

会員に理解が得られる活動を

本年度の米山記念奨学委員会は「米山記念奨学制度」について、会員の多くの方々に理解を深めていただき、出来るだけ多くの方から奨学会にご協力願ひアジアからの留学生に奨学金を通じて援助の手を差し伸べたいと考えております。

そのために前年度に比べ地区委員を3名増員し、ロータリーの目的のひとつである、国際理解と親善に寄与する米山記念奨学制度を支援するため当委員会は下記の活動を計画しております。

1. 米山記念奨学制度について理解を深めるため、出来るだけ多くのクラブを訪問し卓話を実施する。
 - ① 奨学制度の歴史・目的・意義
 - ② 寄付金の内訳（普通寄付金・特別寄付金）
 - ③ 寄付金の免税措置について
 - ④ 表彰制度について
 - ⑤ クラブの米山記念奨学委員会の役割について
2. 奨学生とロータリアンの相互理解を深めるため、積極的に地区行事へ参加を推進する。
3. 奨学制度の理解を深め普通寄付金の1口当たりの増額を推進する。
4. 奨学制度の理解を深め特別寄付金の推進を図る。
5. 委員の増員により委員会活動の充実と活発化を図る。
6. カウンセラーと奨学生の指導教官との交流と親睦を図り、奨学生が快適な留学生活を送れるようサポートする。
7. 奨学生のロータリーへの理解を深めるため、オリエンテーションや親睦会を実施する。
8. 米山学友委員会と連携を図る。

その活動をやり易くし、ロータリー活動の素晴らしさを印象づける役割を持っている。

効果的な広報活動により、地域社会の人々にロータリーに関心を持たせ、そのことが新会員の入会を促すことに繋がるわけである。

また、対外的な効果のみならず、広報活動によりロータリアン個々のより高尚な奉仕への意欲の向上にも寄与するものである。

国際ロータリー、ロータリークラブもまた個々のロータリアンと同じく、広報活動に対する責務を持つものである。

具体的な活動として、報道機関との密接なつながりを以前から指摘されている。出来るだけ、報道機関の代表者をロータリーの会員に迎えることに努力を惜しまないことが必要である。

一般大衆には、現在手軽にアピール出来る手段として、インターネットの利用がある。当地区のホームページはすでに立ち上がっており (<http://www.ri2510.gr.jp/>)、その利用が大事である。当地区にはIC委員会があり、委員長は苫小牧北ロータリークラブの山田信夫会員であり、地区のメールマガジンの配信をしている。

少なくとも当地区の会員は、メールアドレスを登録し、メールマガジンの配信を受けるようにすることが望ましい。委員長山田信夫会員への連絡はメールアドレス：kye00213@nifty.ne.jpである。

私たちは今、広報の時代に生きており、世間ではややもすればロータリークラブはお金に余裕のある人の社交クラブという認識を改めさせ、地域や世界で何をしているかを正しく伝える必要がある。

会員はすべて、広報マンであり、クラブや地区による草の根レベルの広報がもっとも大切なことを意識することが大切である。

個々のロータリアンは、具体的な方策についてどんな小さな事でも良いからアイデアを出し合い、出来ることから速やかに実行に移すことが望ましいものと考えられる。

また同時に、ロータリークラブに対する不利な広報については、積極的措置を執る必要がある。

広報委員会

委員長 丸山 淳士
(札幌真駒内RC)



かつて、ロータリークラブは、宣伝をするべきでないとする意見があった。その根拠は、1923年の方針に示された「ロータリークラブが奉仕活動を選ぶ場合に宣伝をその主たる目標としてはならない」というものである。

しかし、同時に「ロータリーの影響力を拡大する方法として、クラブが立派に遂行した有益な事業については正しい広報が行われるべきである」との記載もあった。

すなわち、ロータリークラブは宣伝のための事業は慎むが、素晴らしい業績は広報すべきであると言う内容なのである。

1970年代半ばの採択では、ロータリーの綱領とプログラムへの理解、評価、支援を育成し、人類へのロータリーの奉仕を広げるなら「良い意味での宣伝、好ましい広報、肯定的イメージは、ロータリーにとって望ましく不可欠の目標です」と現代風書き換えられた。

広報委員会は地域社会の人々からロータリー運動に対する支持を得るために、ロータリーの活動を正しく伝え、



情報委員会

委員長 亀井 敏清
(函館RC)

クラブの情報委員会は会員候補者、新会員、さらに既存会員それぞれに適応したロータリーの総ての情報を提供することでありませぬ。従ってクラブ情報委員会はロータリーの崇高で且つ高度な奉仕哲学とともに100周年を目前としたロータリーの基本理念に基づく組織規定を正しく理解しなければなりません。この重大な任務を効果的に遂行できるよう援助するのが地区情報委員会の務めです。2001年の規定審議会では、ロータリーの基本を揺るがすような組織規定の改正もされております。

このため、クラブ又は会員の中で改正された規定の適用に適切でなかったり、誤解が生じた事例があり地区情報委員会に対しての問い合わせが多くありました。これらを月信をとおしてQ & A方式で回答をしてみました。

Qには規定に対する質問以外にも歴史に関するもの、手続要覧に掲載されていないクラブライフの問題等々あり、組織規定のみでクラブ運営が成されていないことを如実に物語っていることを知ることができました。

今年度は2004年6月に3年毎の規定審議会が開催されます。詳細な情報は月信を通してお知らせする予定です。



I C委員会

委員長 山田 信夫
(苫小牧北RC)

1. 基本方針

I C (Internet Communication)

委員会は、インターネットを介して流通するロータリー関係の情報伝達と、情報交換の手段であるインターネット活用の地区内普及に努める。

2. 活動計画

(1) メールマガジンの配信

RI、RJW (ロータリー・ジャパン・ウェブ) などからインターネットを介して流通する情報および地区内の情報を、速やかにガバナーはじめ地区内のみなさんに直接電子メールで配信する。また、インター

ネット・コミュニケーションの障害となるコンピュータウイルスに関する対策情報なども合わせて配信する。他にホームページでバックナンバーのページを開設する。

(2) 地区ホームページの作成

地区内の皆さんから情報をいただき、いち早く掲載するとともに、各種報告、申請などをいつでも簡単に作成、提出できるようなページの新設を目指す。

(3) メーリングリストの運営

ロータリー活動に関する情報の他、I C化やI T化およびO A化などを含めた情報の、新しい情報交換の手段として設置し、地区内活性化の一助とする。

(4) インターネット活用の普及促進

経済性、迅速性、便利性などに優れた情報交換の手段としてのインターネットの理解と普及に努める。特に、グループ、クラブの活動に対し積極的に協力する。

(5) I T化支援

次の項目について資料、情報の提供などの支援をする。

- ① ホームページ開設 (作り方、各種マーク、テーマロゴ配信など)
- ② メーリングリスト (メールの相互一括配信) の構築
- ③ IM、周年行事などの記録CD-ROM作成
- ④ 事務所のO A化 (会員管理、予算管理、各種資料作成など)
- ⑤ 会報、会員名簿などの内製化



ロータリーの友委員会

委員長 佐藤 公
(札幌北RC)

活動方針

1. 委員会設置2年目の今年度は各クラブのロータリーの友委員会 (雑誌委員会) 委員長とのコミュニケーションをできるだけ図る。

課題は委員長会議たるものをどう実施していくか。イベント的な企画が出来ればと計画を模索している。(例: 月1回「友」を読む会を実施、会員を募集する。親睦会を兼ねる。)

2. RI公式地域雑誌「ロータリーの友」に対しての会員

の意見を吸い上げ、どうすれば会員に興味を持って読んでもらえるか研究をする（研究成果は年度を越えても良いと考える。）

例えば、「友」の購読活用論文の募集、アイデアコンテスト（実例または提案）など。

3. 雑誌月間を中心に委員は各クラブの卓話に向向く。
4. 月信を活用し委員会の活動報告を掲載するとともに、「友」の購読の啓蒙を図る。



補助金委員会

委員長 伏木 忠了
(札幌西RC)

新しい補助金制度が2003～2004年度からスタートします。

1. 新制度は①地区補助金（DSG）、②個人向け補助金（IG） ③マッチング・グラント（MG）の3種類となり、従来のプログラムは廃止されます。
2. 既に4月19日開催の地区協議会に提案されておりますように、このシステムは、ロータリー財団へ、3年前に年次寄付をした金額の内、60%が地区の奉仕活動に活用、この資金を「地区財団活動資金」（DDF）、残りの40%は「国際財団活動資金」（WF）となります。地区の補助金は、DDFの20%を上限とする資金で、新ロータリー年度開始と共に支給されます。
3. 地区補助金（DSG）前期分の申請は7月1日から9月30日まで受付け致します。各クラブから地区社会奉仕委員会経由で、地区ガバナーへ提出、審査委員会で、プロジェクトの内容や、そのクラブの3年前の年次寄付等を参考に、補助金の金額を決めさせていただきますが、画期的プロジェクトには、その枠以外の審査対象と致します。
4. 個人向け補助金（IG）は、発展途上国などで奉仕プロジェクトを立案・実施するロータリーボランティアの調査旅費を支給する補助金です。この補助金は、国際財団活動資金（WF）から支給されますが、申請は2003年4月1日から提出できますが、承認は7月1日からです。
5. マッチング・グラント（MG）は、海外での人道的プログラムを実施するために、プロジェクト実施国とプロジェクト支援国のロータリークラブが協力して行おうとするものである。プロジェクト支援国の負担金にDDFを使用する場合は、1対1のマッチング・グラントとなり、負担金が現金の場合は0.5対1の割合

となります。

6. 各クラブからの申請にあたっては、地区の世界社会奉仕（WCS）委員会とご相談の上、申請手続きを行ってください。
7. 今までの地区社会援助プログラム（CAP）のように、クラブが携わりたい地域社会への全ての奉仕活動に、この地区補助金が活用できます。



米山学友委員会

委員長 見延庄三郎
(小樽南RC)

昨年7月米山学友会の支援組織として新設された当委員会活動もまる1年経過した。此の間当初計画はすべて実施し、陳会長以下各役員 노력により、2年間休眠していた学友会活動も復活し、今後の発展への種を播く事が出来た事は、私達バックアップ部門を担当した委員共々共通の喜びであった。

「今年度の活動方針」

- ① 基本方針
学友の喜びを我々学友委員の喜びとして、初年度事業の深度を深める（充実を図る）
- ② 活動計画（事業内容はほぼ前年度内容を踏襲し、中身をもっと充実させたい。）
 - (1) 学友会名簿の補正及び作成
 - ①会則による学友会（北海道）名簿の補正。
(北海道在住者のみ)
 - ②世話クラブ毎の米山奨学生OB名簿の作成。（帰国者、本州移住者も含む全員名簿）
 - (2) 学友会定時総会・家族懇親会等学友会活動への積極支援。
 - (3) ロータリー活動への参加推進
ライフセミナー・地区大会行事・米山奨学委員会や新世代委員会関係事業(学友会会員の積極参加推進)
 - (4) 学友会だより（会報）発行支援
 - (5) 学友会への入会と会費納入の促進
前年度は会費納入に迄手も頭も回らなかったが今年度は自主的資金作りの為行う。
会則第7条により
正会員（元米山奨学生）は年額2千円
賛助会員（ロータリアン）は年額5千円
 - (6) その他
米山学友役員と私達学友委員との合同役員会を開催

し、情報の交換、意見提言の中から新しい活動の方向を探る。



親睦活動委員会

委員長 灰野 篁
(札幌北RC)

1. 地区内外での各種（ゴルフ、囲碁、スキー、ヨット等）同好会等の情報を事前にキャッチし、地区内の会員に広く知らせるようにはしていくと共に新しい親睦活動も奨励していきます。

2. この同好会活動をR Iが、推奨するオフィシャルにしていくために委員会は努力します。

3. 新しく加わった「保健・医療」については、国際奉仕委員会ならびに関連委員会と連携をとりながら協議してまいります。

2003—04年度R I 予算について

国際ロータリー会長

ジョナサンB. マジアベ

国際ロータリー理事会は、2003年5月の理事会で、2003-04年度のR Iの予算提案を検討し、R Iの現財政状況は非常事態ならびに不測の事態であることを宣言し、全理事の満場一致の可決投票により、2003-04財政年度には、運営積立金から米貨3,500,000ドルを上限とする支出を認可しました。その結果、理事会は、支出見積額が米貨74,642,600ドル、収入見積額が米貨71,362,100ドル、そして差額を運営積立金で賄う、2003-04年度のR I予算を採択しました。

2003年7月の会合で、理事会はこの2003—04年度のR I予算を確認しました。

R I細則17.050.4項に従い、この決定を皆さまにご報告いたします。

R I 会長候補者募集

各ロータリー・クラブは、2005-06年度国際ロータリー会長指名委員会で審査される候補者を1名推薦することができます。委員会は9月8日に開かれ、会長職を務めるに最もふさわしいロータリアンを選考します。候補者は、R I理事として一任期を終えた人物に限られます。推薦は、正式な書式を用いて行わなければなりません。この書式は、R I国際事務局および地区ガバナーから入手できます。推薦書式のR I世界本部での受付締切日は、2003年9月1日です。

(Rotary WORLDより)

全国に千歳の観光をPR!

ロータリーの友委員会委員長

佐藤 公 (札幌北RC)

ガバナー・ロータリーの友委員会合同会議が7月1日(火)東京プリンスホテルで開催されました。会議には当地区佐藤秀雄ガバナー、佐藤公地区委員(札幌北RC)を始め34地区のガバナー、地区委員そして役員、ロータリーの友事務所職員など約100名が出席して談論風発の中で行われました。

会議の開始に当たってガバナー事務所から出席者全員に千歳の名産品「ハスカップゼリー」がプレゼントされ、出席者は突然の北の香り、味に大いに満足の様子でした。

この企画は雑誌「ロータリーの友」8月号で「わがまち わが地区」のコーナーを当地区が担当することとなり、インディアン水車など千歳の観光を紹介しました。そこで、全国から集まってくるガバナー、「友」委員の方に千歳を少しでも知っていただくチャンスと考え、特別にガバナーにお願いをし実現をしたもの。数分間ですが司会者からPRの時間もいただきました。何よりも企画は先もの勝ちというところ。

ロータリーの友委員会では雑誌「ロータリーの友」を通して、会員の皆様に「読んで良かった」から「ロータリアンになって良かった」となるよう委員会活動に風穴を開けていきたいと考えています。当委員会に積極的なご意見をお願いいたします。ガバナー事務所宛に文書、メールにてお送り下さい。

ブリスベンで確かめ合った 家族の絆(北海道ナイト I)

新世代委員会

委員長 奥 貫 一 之 (札幌東RC)

2003年6月1日～4日に行われたR I ブリスベン大会は、様々な思い出を残して、今年度にバトンタッチをされました。私達新世代委員会はかつての交換留学生（オーストラリアに住む娘や息子達）に声をかけて夕食会を企画しました。5月31日、水辺のレストランにはかつてのお父さん・お母さんに会いに10名の元交換留学生が集まり、佐藤ガバナー、小林直前ガバナー、伊藤P G、遠藤P Gもお越しいただき、家族の絆を確かめ合う感激の再会のひとときを持つ事が出来ました。

何枚かの写真でオムニバス風にご紹介申し上げます。

水の都ブリスベンのムードあふるるレストランピア・ナインには40名程の方々が集まり、再会の感動を味わいました。日本語で堂々とスピーチをする留学生達の様子を見て伊藤P G、遠藤P Gも満足そうでした。留学生は右からフィアンセを連れて来たチャールス・チャン君（札幌南）、メーガン・チュウさん（札幌モニング）、ニコル・レイサムさん（札幌南）です。



一つのテーブルは札幌東クラブ勢がまとまりました。右側中央はフィオーナ・ニューマンさんとホストした星野・青木・奥貫家の皆さんが写ってます。左側にはステファニー・ポーマンさん、実に18年前に札幌で1年間過ごした留学生で、当時の話に花が咲き、ホストした名塩さん夫妻は予定を変更して急遽駆けつけて下さいました。



パネッサ・リーさん（札幌モーニング）は小児科医になっていますが、同じ医者仲間のトウアン氏と結婚し、2才のベンジャミン君を連れてニューカッスルから来てくれました。

大熊会員が来れなくなって淋しそうでしたが、当時のホストファミリーから写真や手紙をことづかり抱きしめていました。医者になる為の単位取得のため大学5年生の時3ヶ月間札幌東クラブの千葉会員の指導を受け、奥買家にホームステイしました。

日本からの交換留学生を受け入れ我娘の様に可愛がって下さったブルースご夫妻（左から2番目と5番目）に、佐藤ガバナーは丁重な御礼を申し上げて下さいました。ブルース氏はキャンベラRCの会長をされています。この写真は北海道ナイトⅡの時のスナップですが大勢のロータリアンが集まりバンドに合わせてダンスに熱中した方々も多く楽しいひとときでした。



メルボルンのフィオーナを3日後に訪ね、自宅でオーストラリア風のフルコース料理で歓待をしていただきました。後列左端がフィアンセのクリス、右端が妹のクレア。レディがイニシアティブを握る典型的なオーストラリア家庭とホストしたファミリー達は家族の絆を確かめ合う事に加え、オーストラリアの家庭をよく理解出来るひとときでした。

11年前に交通事故で逝去したアリスンキャッスルさんの墓参には伊藤PGご夫妻も行って下さり哀悼の意を表して下さいました。今尚続く家族同志の交流に泉下のアリスンも喜んでくれていると感じました。恵庭RCの皆様も昨年事故で亡くなったミーガンさんの墓参し悲しい再会をされております。



速報




(財)ロータリー米山記念奨学会

米山功労者表彰が新しくなります！

2003年度がスタートしました。新年度から特別寄付に対する表彰制度が、一部改定されます。米山功労者をもっと身近な目標としていただくために、現行の累計30万円毎の表彰を累計10万円毎の表彰に改定いたしました。

ぜひ、今回の改定について積極的にPRをしていただき、会員の皆様が米山功労者になられますようよろしくお願いいたします。

新表彰制度は・・・

- 準米山功労者（累計3万円）と米山ファンドフェロー（累計15万円）は廃止となります。
- 米山功労者の表彰は、現行の累計30万円毎から累計10万円毎に変わります。
- 新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2回から第9回に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上の方を「米山功労者（メジャードナー）」とお呼びいたします。
- すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更となります。10万円以上のご寄付されている方はすべて米山功労者となります。
〔例〕累計30万円達成者
現在： 「第1回米山功労者」  改定後： 「第3回米山功労者（マルチプル）」
- 表彰品は米山功労者になれる毎に感謝状をお贈りします。（第1回には感謝状を入れるケースが付きます）
現在の表彰品である盾（メダル付き）およびピン（男性：ネクタイピン、女性：ブローチ）は現行と同様に30万円毎にそれぞれ贈呈いたします。（詳細は次ページをご覧ください。）
- 米山功労法人、特別米山功労法人および米山功労クラブに対しての表彰は変更ありません。
- 新しい感謝状は7月以降に功労者になられた時点でお贈りします。遑ってはお送りいたしませんので、お申し出いただければお贈りいたします。

問い合わせ先 財団法人 ロータリー米山記念奨学会
TEL：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281
担当：志村・大庭

(財)ロータリー米山記念奨学会
米山功労者表彰制度

2003年7月1日施行

寄付累計額	表彰名称(呼称)		表彰品
10万円	第1回	米山功労者	感謝状(ケース付)
20万円	第2回	(マルチプル)	感謝状
30万円	第3回	()	感謝状および盾(メダル付)
40万円	第4回	()	感謝状
50万円	第5回	()	感謝状
60万円	第6回	()	感謝状およびピン(銀製石なし)
70万円	第7回	()	感謝状
80万円	第8回	()	感謝状
90万円	第9回	()	感謝状およびピン(銀製サファイア)
100万円	第10回	(メジャードナー)	感謝状
110万円	第11回	()	感謝状
120万円	第12回	()	感謝状およびピン(銀製ルビー)
130万円	第13回	()	感謝状
140万円	第14回	()	感謝状
150万円	第15回	()	感謝状およびピン(銀製エメラルド)
160万円	第16回	()	感謝状
170万円	第17回	()	感謝状
180万円	第18回	()	感謝状およびピン(銀製ダイヤモンド)
190万円	第19回	()	感謝状
200万円	第20回	()	感謝状
210万円	第21回	()	感謝状およびピン(18金製サファイア)
220万円	第22回	()	感謝状
230万円	第23回	()	感謝状
240万円	第24回	()	感謝状およびピン(18金製ルビー)
250万円	第25回	()	感謝状
260万円	第26回	()	感謝状
270万円	第27回	()	感謝状およびピン(18金製エメラルド)
280万円	第28回	()	感謝状
290万円	第29回	()	感謝状
300万円	第30回	()	感謝状およびピン(18金製ダイヤモンド)
↓		()	感謝状
↓		()	感謝状
400万円		()	感謝状およびクリスタルの盾
↓		()	感謝状
↓		()	感謝状
500万円		()	感謝状およびクリスタルの盾
↓		()	感謝状
1,000万円		()	感謝状およびクリスタルの盾

※ 300万円以降は10万円毎に感謝状をお贈りします。なお、100万円達成毎にクリスタルの盾をお贈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 41】

2003年7月11日発行

1. 理事会・評議員会報告

～理事のガバナンスへの期待高まる～

2002-03年度第2回理事会・評議員会が、去る6月24日東京・新高輪プリンスホテルで開かれました。全地区から118名の理事および評議員が出席して、2003年度の事業計画と収支予算および奨学生募集人員と募集要項などを審議決定しました。

1. 予算

寄付金収入は16億円、奨学金支出は17億2千5百万円です。奨学金を含む事業費は約20億円（支出の83%）で、不足分は奨学資金特別積立金で補います（取崩予算3億6千万円、予算執行後特別積立金は28億5千万円となる）。管理費9,845万円（支出の4%）は利息収入で賄います。2003-04年度は奨学生採用数維持のため寄付金収入を上回る奨学金を支給します。

2. 奨学生採用数

地区別米山（YU・YM・YD）奨学生採用数は、ロータリーの相互扶助の精神によって「寄付額」と「学生数（有資格者数）」それぞれの割当枠を設けています。前年度までこの比率は寄付枠60%：学生枠40%でしたが、地区の寄付増進意欲と成果に応えるため、2004学年度採用から寄付による割当枠を70%に増やしました。

3. 表彰制度改定

2003年7月から特別寄付に対する表彰制度が改定されます。従来は累計額30万円毎だった表彰を累計10万円毎といたします。新名称は第1回に達した方を「米山功労者」、第2～9回に達した方を「米山功労者（マルチプル）」、第10回以上の方を「米山功労者（メジャードナー）」とお呼びします。表彰品及び法人・クラブに対する表彰は変更あり

ません。

<討議のハイライト>

□奨学生の割当数を決める基準として寄付額に重きを置いたことにより、奨学生の採用数が減った地区からは不満の声がありました。しかし、寄付金減少の現状を打開する方策として止むを得ないとする意見が多くを占めました。

□奨学金の支給額と支給人数が多すぎるのではないかという指摘がありました。これに対しては、現在の日本の経済・社会・国際的立場を十分認識して、全体的かつ長期的な視点から再検討すべきであるとの意見が述べられました。島津議長は、現在進行中の第2期基礎調査の結果を参考にして奨学事業の改革の中でこれらの問題に取り組むと答えました。

<アクションプラン>

理事・評議員の意見・提言と調査結果に従って、奨学会の各専門委員会は次期中期計画と実行計画案づくりに着手しました。

（事務局長 宮崎 幸雄）

2. 寄付金速報

～2002-03年度の寄付結果発表、

1年間ありがとうございました！～

2002-03年度の寄付金は約15億9千7百万円。前年度比-6.1%（普通寄付金-3.6%、特別寄付金-7.0%）で、約1億3百万円の減少です。例年に続き第2590地区が一人当たり平均寄付額トップの座を守りました。かかる経済状況下ですが、会員皆様のご理解とご協力をもって2004学年度も奨学生1,000名を支援します。今年度もよろしく願い申し上げます。

3. ガバナー・エレクト研修会報告

～日本独特の多地区連合プロジェクト

である米山奨学事業へ関心と理解を

(島津理事長)～

6月24日の理事会・評議員会終了後、2003-04年度ガバナー・エレクトを対象とした第2回研修会が開催されました。ガバナーと地区米山奨学委員会の連携による組織づくりの重要性と、寄付金低迷によって奨学生数1,000名維持が困難になりつつある現状をどのように打開していくかに重点を置いて研修会は進められました。参加者からは「公式訪問で米山奨学事業について力を入れてスピーチする自信があった」「意見交換で他地区の実状が分かり、米山奨学事業推進の指標を作るのに参考となった」などの感想がありました。

昨年8月・6月にガバナー・エレクト研修会を開催していますが、6月では時期的に遅いとの意見が多数ありました。今後、開催時期については再検討する予定です。

4. 米山奨学委員長セミナー報告

去る6月25日、東京・高輪プリンスホテルにて2003-04年度の地区米山奨学委員長セミナーが開催されました。パネルディスカッションでは、■個人寄付額全国トップを維持する2590地区 ■学友会の自主性を育成した2780地区 ■訪問や懇談会実施によって大学との新たな関係を構築する2650地区 ■カウンセラー研修会実施の意義を調査した2700地区、などの実例が各委員長によって報告され、その後のグループディスカッションでも活発な意見交換が行われました。

5. 台湾学友会理事長が台北東海R Cの会長に就任

台湾学友会の現理事長 許 邦福(シェバンフ)氏(1970～73京都大学、華城電機会社社長)が、2003-2004年度台北東海ロータリー・クラブの会長に就任しました。同クラブの初代会長は、同じく台湾学友会元理事長の 徐 重仁(ジョジュウニン)氏です。許氏の更なる活躍を祈念いたします。

祝

新入会員のご紹介

江別R C



金田 一夫 会員
7月3日入会

岩見沢東R C



林崎 弘吉 会員
7月8日入会

千歳R C



溝田 幸和 会員
7月3日入会

千歳R C



小林 靖弘 会員
7月10日入会

文庫通信(190号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会講演より

- ◎ 「21世紀における日本の課題」 吉田學 2003 10p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「日本・最良の選択」 俵孝太郎 2003 17p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「地方都市の論理と主張」 大原謙一郎 2003 19p (D.2690地区大会)
 - ◎ 「現代日本の課題とその前途」 中曽根康弘 2003 9p (D.2580地区大会)
 - ◎ 「怪しげな時代を迎えて」 渡部昇一 2003 8p (D.2770地区大会)
 - ◎ 「どうなる日本の政治と経済」 森田実 2003 6p (D.2760地区大会)
 - ◎ 「行政とボランティア」 田中康夫 2003 6p (D.2600地区大会)
 - ◎ 「新しい時代の潮流」 宮崎緑 2003 14p (D.2740地区大会)
 - ◎ 「アメリカとアメリカ人」 大園純也 2003 6p (D.2740地区大会)
 - ◎ 「心の健康は素敵なコミュニケーションから」 福島敦子 2003 18p (D.2540地区大会)
- [上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします



永井 高明 会員 (苫小牧RC)
2003年6月30日ご逝去 (享年69才)
昭和49年8月30日入会
1994~95年度会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

* 掲示板 *

・三石RC会長の交代

健康上の都合により石垣文雄氏から小島安彦氏に交代となりました。

・洞爺湖RC事務所変更

〒049-5605 虻田郡虻田町字高砂町159-2 株式会社エムズ内

TEL 0142-74-3333 FAX 0142-74-3334

上記の通り変更となりましたのでご連絡致します。

・新札幌RC創立20周年記念式典について

ガバナー月信第1号「地区カレンダー」でご案内しました新札幌RC創立20周年記念式典が2004年6月23日(水)から6月19日(土)に変更となりました。

・地区組織図の変更について

- ・地区青少年交換委員会委員として清水慧子会員(長沼RC)が選任されました。
- ・地区財団増進委員会委員の佐藤宏会員(札幌北RC)が委員をご辞退されております。

・例会の変更について

滝川ロータリークラブ

8月2日(土) 移動例会「風船アート祭り in Takikawa」
14:30~15:20
…がんばる館2F
(栄町ベルロード通り)

7日(木) 2日(土)の振替休会

14日(木) 休会

21日(木) 創立記念夜間例会

18:00~三浦華園
9月11日(木) 移動例会「リサイクリン見学」

12:30~14:00

江部乙公民館集合

17日(水) 砂川合同例会

18:00~

砂川パークホテル

(ガバナー公式訪問)

赤平ロータリークラブ

8月12日(火) 休会

19日(火) 夜間例会(婦人部との集い) 18:30 浦島

芦別ロータリークラブ

8月8日(金) 納涼例会(夜間例会)

18:00~ 鮎広

15日(金) 休会

(定款第5条第1節C項適用)

22日(金) 物故会員追悼例会

12:15~ 永昌寺

当別ロータリークラブ

8月12日(火) 休会

(定款第5条第1節による)

苫小牧東ロータリークラブ

8月14日(木) 休会

(定款第5条第1節による)

21日(木) 夜間例会 18:00~20:00

場所 苫小牧ビール園

倶知安ロータリークラブ

8月13日(水) 8月3日の振替休会

20日(水) 家族親睦パークゴルフ

14:45集合

パークゴルフ場

家族例会・表彰式

18:00点鐘 雪ん子館

27日(水) 体験例会(ラフティング)

12:00点鐘 第一会館

羽幌ロータリークラブ

8月16日(土) 羽幌RC杯少年野球大会

8:15例会点鐘

(スポーツ公園野球場)

17:00~交流会

(サンセットビーチ)

17日(日) 羽幌RC杯少年野球大会

閉会式 15:00予定

(スポーツ公園野球場)

余市ロータリークラブ

8月13日(水) 休会

20日(水) 早朝例会 6:00~

林病院

(Tel 0135-22-5188)

27日(水) 物故者追悼法要

12:30~ 報恩寺

(Tel 0135-22-3096)

江別ロータリークラブ

8月7日(木) 納涼例会

18:00~

浄土真宗本願寺派真願寺

駐車場

14日(木) 休会

(定款細則第5条第1節

(c)に基づく)

室蘭東ロータリークラブ

8月13日(水) 休会

地区カレンダー（8月・9月）

8 月 会員増強および拡大月間	
1(金)	
2(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（滝川）
3(日)	ロータリー財団地域セミナー（東京） インターアクト国内研修（茨城）～5日
4(月)	
5(火)	公式訪問(札幌西RC)
6(水)	公式訪問(札幌西北RC、札幌RC)
7(木)	
8(金)	
9(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（苫小牧） 公式訪問(札幌あけぼのRC、札幌手稲RC)
10(日)	
11(月)	
12(火)	
13(水)	
14(木)	
15(金)	
16(土)	
17(日)	
18(月)	
19(火)	
20(水)	
21(木)	公式訪問(札幌東RC、新札幌RC、札幌セントラルRC)
22(金)	公式訪問(札幌幌南RC、札幌真駒内RC、札幌清田RC、札幌大通公園RC)
23(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（小樽）
24(日)	
25(月)	
26(火)	
27(水)	
28(木)	
29(金)	
30(土)	社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同意見交換会（札幌） (財)ロータリー-米山記念奨学会理事会・評議員会（東京）・地区野球大会
31(日)	地区野球大会

9 月 新世代のための月間	
1(月)	公式訪問(札幌南RC)
2(火)	
3(水)	公式訪問(羽幌RC、小平RC、留萌RC)
4(木)	
5(金)	
6(土)	ロータリーアクト地区研修セミナー
7(日)	ロータリーアクト地区研修セミナー
8(月)	
9(火)	公式訪問(深川IRC、妹背牛RC)
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	ライラセミナー(ジュニア)
14(日)	ライラセミナー(ジュニア) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー
15(月)	敬老の日
16(火)	
17(水)	公式訪問(砂川IRC、滝川IRC)
18(木)	
19(金)	公式訪問(赤平RC、芦別RC)
20(土)	公式訪問(美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC)
21(日)	函館北RC創立40周年記念式典
22(月)	
23(火)	秋分の日
24(水)	公式訪問(恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC)
25(木)	第7回ロータリー日韓親善会議（浦安市） 公式訪問(江別RC、江別西RC、当別RC)
26(金)	
27(土)	ライラセミナー(シニア)
28(日)	ライラセミナー(シニア)
29(月)	
30(火)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003

2003-2004 GOVERNOR'S

9

MONTHLY LETTER No.3

2003. 9. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
9月は「新世代のための月間」です	3
地区大会のご案内	4
ライラセミナー開催案内	6
2004年国際大会(関西)のPR活動について	7
ガバナー・ノミネー候補者推薦のお願い	7
インターアクト研修旅行の報告	8
スリランカのロータリー	10
新入会員のご紹介	10
ロータリー財団セミナーに参加して	11
第8グループ会長・幹事会報告	12
100周年記念ポスターコンテストのご案内	13
文庫通信	14
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	14
RJWロゴマーク・デザイン募集	15
ハイライトよねやま42	16
『友』インターネット速報	17
掲示板/訃報	18
7月会員数・出席率	19
地区カレンダー	20



今こそ地球のために



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会

10月24日(金)・25日(土)

場 所 / 千歳市民文化センター
記念懇親会 / 千歳全日空ホテル

- ・ 記念ゴルフ大会 10月23日 (木)
シャムロックカントリー倶楽部
- ・ 記念囲碁大会 10月5日 (日)
札幌市：アスティ45

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ガバナーメッセージ



青少年を支援しよう!!

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は新世代月間だ。新世代のためのR I 構成プログラムは、インターアクト、ロータリー、ロータリー青少年指導者養成プログラム及び青少年交換プログラムをいう。昨年の小林年度より地区はR I 構成プログラムの推奨に基づいて青少年交換委員会を国際奉仕委員会から新世代委員会の下に組織替えをした。このため多くのクラブから地区協議会において混乱が生じた旨の報告があり、青少年交換委員会を従前の国際奉仕委員会の方に戻すよう強い要請があった。私は小林年度の組織替えを承継することとし、混乱を生じないよう地区協議会の開催案内の中で対処し、今年度は混乱無くスムーズに新世代の研修も終了した。しかしクラブは早い時期に新世代の方に組織替えをされたく推奨したい。

さて、R I プログラムは年齢30歳までの新世代の若者のニーズを認識し、よりよき未来を確かなものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来の準備をさせることである。これをクラブ、地区が支援することである。とっている。新世代特に低年齢における青少年犯罪は目を覆うものがある。埼玉県北川辺町で起きた15歳の少年を集団で暴行し殺害した事件、97年当時14歳の少年が起こした連続殺人事件そして最近、4歳の幼児を連れまわし駐車場から落とし殺害した事件等々と年々青

少年犯罪は低年齢化して来ている。その原因は何か、は専門家に任ずとして戦後50有余年たって考えるに、地域社会の一員としてどのようなことが良くて、悪いのかという「道徳」の教えが欠けていたように思われる。

日本の社会における欠落している部分の一翼を担えるのはロータリアンであり、新世代委員会の仕事だ。今年度R Y L A 委員会は「平和」についてのワークショップを実施する。世界ではアフガニスタンに発した戦争が、イラクへと戦争の「大義」を見付からぬまま多くの人々の生命を奪ってる。日本においても再軍備の恐れなしとはいえない状況が見え隠れしているのではなからうか。ポール・ハリスは「THIS ROTARIAN AGE」のなかで「戦争への道はハイウェイです、平和への道はでこぼこした砂利の道です。」と言っている。イラク戦争の初期の段階を顧みてください。確かに最初は話し合いが行われた。そして途中で打ち切られ戦争へとハイウェイの道を辿った。この委員会が「平和」について語るのは時宜に適した話題であり語り尽くして欲しいものだ。そして地区は新世代の横のつながりを大切にし、新世代の子供たちにロータリーが支援するに何が、どのようなことが一番良いかを真剣に考えて欲しいと思う。

ガバナー日記

ガバナー 佐藤 秀 雄

7月1日東京プリンスホテルで開催されたガバナー会に出席、ここでは菅生RI理事、次に田中RI理事から、34名の新任ガバナーに激励の挨拶があった。続いて2004年5月に開催される大阪国際大会の概要が報告され5万人の会員の登録を希望している旨の報告。15時30分からロータリーの友委員会がガバナー、地区委員、編集委員を交えてロータリーの友の編集内容について討論した。この会議に先立ちロータリーの友7月号で紹介された、「わがまち・我が地区」で佐藤公地区ロータリーの友委員長が千歳市を紹介したので、森本菓子店のハスカップゼリーを皆にプレゼントしたところ大変喜ばれた。この会議でロータリーの友委員会顧問に小林博直前ガバナーが選任された旨の報告があり喜ばしい。

公式訪問

7月9日第9グループの公式訪問のため、中村地区幹事、井上財務委員の3人がガバナー事務所を9時30分に出発、車で一路室蘭蓬峯殿に向かう。運転手は井上財務委員。場所は昔JC（青年会議所）時代行ったことがあるので知っている、というので大船に乗ったつもりで向かうが、場所がわからない。すぐ隣まで来ていてお店の方に聞くと蓬峯殿…知らないという。そこで反対側の店舗の主人に聞くと、き過ぎですよ。戻って……とベルコを教えてくれる。さあ大変時間が無い。時計を見ると会長・幹事懇談会が始まる10分前、ガバナー事務所で再度住所を確認、すると中島神社内蓬峯殿です

という。ジャストぎりぎり間に合った。やれやれ……。宮武ガバナー補佐が首をながくして待っていてくれた。早速宮武補佐の挨拶の後、室蘭RC前田、室蘭東RC石田、室蘭北RC笹谷、登別RC寺島、各RC会長から報告を受ける。聞いていて随分と会員の減少が著しい、統一地方選の後遺症だろうか。とも思うが高齢者が多く、あるクラブではこの年で4名の方が亡くなられたと聞く。ご冥福をお祈りする。各クラブとも会員減少による予算不足から誕生祝等の祝い事を廃止し節約に努め、継続事業をこなしているとのこと、頭が下がる思いがする。あるクラブは「無料の相談室」を開設し市民164名の相談に応じたと報告があった。地域に密着した事業だと思し、継続して欲しいものだ。登別RCは次年度地区を運営するので張り切っておられる。

翌日の7月10日は伊達、洞爺湖RCの公式訪問だ。昨日の轍を踏まぬよう坂井幹事と綿密に打ち合わせた。坂井幹事は周到に既に下見をしてくれていたのもスムーズに早めに会場の伊達ローヤルに到着した。伊達RC守谷、洞爺湖RC阿野各会長からクラブの概要の報告を受けクラブ活性化、退会防止及び会員増強について話し合った。その後守谷会長の案内で伊達市長を訪問し、街のメイン通が時代村をイメージして造られているが活性化してないのはなぜか、について話し合った。宮武ガバナー補佐ありがとうございました。

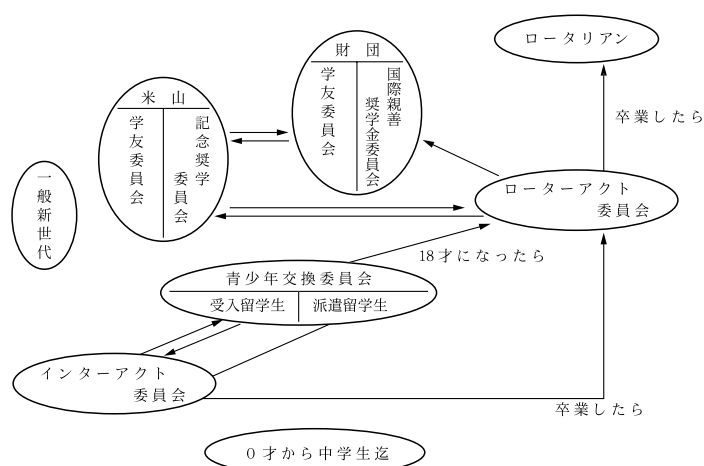
9月は「新世代のための月間」です

新世代委員長 奥 貫 一 之 (札幌東RC)

かつては青少年奉仕と言われていた活動がビセンテ・ジアイ R I 会長の時（当地区は野口ガバナー年度）から0才から30才迄の年齢の若い人を対象に奉仕活動をする事になりました。R I 手続要覧（2001年版）をご参照下さい。留学生交換プログラムもその中に含まれる事になり、当地区でも小林ガバナー年度から実施され同じ世代のインターアクター達との交流が望まれています。ローターアクターの年代は図の様に財団奨学生や米山奨学生に同じ年代の方が多いので、親密な交流が望まれています。9月の「新世代のための月間」を機に各クラブの皆様により深い御理解・御支援をお願い申し上げます。

新世代委員会のビジョン

ロータリー組織内の新世代関連委員会同志の横のつながりをライラセミナー、パネルディスカッション、スキーマラソン等を通じて推し進める。



第8章 新世代のためのロータリー・プログラム（2001年版手続要覧より抜粋）

使命 各ロータリアンの責務は、年齢30歳までの若い人すべてを含む新世代の多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来を確実なものとするために新世代の生活力を高めることによって、新世代に将来への準備をさせることである。すべてのクラブと地区は、新世代の基本的ニーズを支援するプロジェクトに着手するよう奨励されている。

基本的ニーズとは：健康、人間の価値、教育、自己開発。

新世代のための R I 構成プログラムとは：インターアクト、ローターアクト、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）及び青少年交換。

奉仕の機会に関する項目の内容（例えば、危機下の児童擁護、健康管理、識字・計算能力向上）もまた新世代のニーズに取り組む。



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 国際ロータリー第2510地区 地区大会



2003-2004年度
国際ロータリー第2510地区
ガバナー

佐藤秀雄

ごあいさつ

地区大会にあたり一言御挨拶申し上げます。地区大会は1年に1度地区会員が一堂に会して、朋友との交流、感銘深い講演、地区内クラブやRI全般に関する問題の討議によって、ロータリーのプログラムを推進する事に有ります。

今年度の記念フォーラムは環境問題に「手を貸そう」ということと取り上げました。前半は各クラブが実施した環境に関する事業をナレーション付映像を使って報告し、後半は何人かのゲストスピーカーによる報告と環境についての討論をしたいと考えています。

又、遠距離からの参加を考慮し、本会議の終了は15時ごろを考えています。登録料も最低限で抑えました。多くの会員の参加を願っています。



2003-2004年度
国際ロータリー第2510地区
地区大会実行委員長

浅利作造

第1日目

10月24日(金)

- 会長・幹事会
 - 会場／千歳市民文化センター
 - 11:00 登録開始
 - 12:00 点鐘・開会の挨拶
 - 12:55 会長・幹事会閉会
- 本会議 第1日目
 - 会場／千歳市民文化センター
 - 12:00 登録開始
 - 13:00 点鐘・開会の挨拶
 - 13:55 大会運営委員会報告
 - 14:05 大会決議案上程・採択
 - 14:15 各委員会活動報告
 - 16:00 記念フォーラム
 - 18:30 点鐘 終了
- RI会長代理ご夫妻歓迎晩餐会
 - 会場／千歳全日空ホテル
 - 18:30 ウェルカムドリンク
 - 18:45 着席・晩餐開演
 - 20:15 閉会

第2日目

10月25日(土)

- 本会議 第2日目
 - 会場／千歳市民文化センター
 - 08:30 登録開始
 - 09:00 点鐘・開会
ガバナー挨拶
RI会長代理ご夫妻と来賓紹介
 - 09:20 RI会長代理挨拶
 - 09:30 参加者紹介
 - 09:55 RI現状報告
 - 10:20 地区の現状報告
 - 10:35 表彰
 - 11:00 記念講演会
 - 12:15 RI会長代理所感
 - 12:30 点鐘
- 記念懇親会
 - 会場／千歳全日空ホテル
 - 13:00 開会
 - 15:00 終了



記念フォーラム 「地球の未来の為に今、私達ができる事は？」

●10月24日(金) 16:00～

劉 向東 (中国)

「工業汚水・工業廃棄物・家庭ごみは中国(天津)でどう処理していますか」

チンタ マニ ゴータム (ネパール)

「ネパールの環境問題、その背景および保全」

ジラサック ギムファン (タイ)

「田畑での養殖漁業産地における環境問題と社会問題」

記念ゴルフ大会

●日時/10月23日(木)

●会場/シャムロックカントリー倶楽部

記念囲碁大会

●日時/10月5日(日)

●会場/アスティ45

※パネラー・コーディネーターは都合により内容が変更となる場合があります。

記念講演 「ブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し」

●10月25日(土) 11:00～



日高義樹氏

日高 義樹【ひだかよしき】氏

略 歴

1935年 愛知県名古屋市生まれ。刈谷高校卒・東京大学英文科卒。
東京大学新聞研究所。

1959年 NHK入社。外信部・ニューヨーク支局長・ワシントン支局長理事待遇アメリカ総局長を
歴任。NHK審議委員を最後に退職後、ハーバード大学客員教授を勤め、現在はハーバード
大学タウンマン・センター諮問委員。
ワシントンのハドソン研究所・首席研究員としてホワイトハウス及びアメリカ海軍のため
のアジア・西太平洋における日米関係の将来性に関する調査・研究の責任を務める。
全米商工会議所会長顧問を務める。

主な著書：「アメリカの世界戦略を知らない日本人」2003/01/23発売
「世界大変動が始まった」2002/12/01発売
「どうする、日本」「キッシンジャー10の予言」など…

報道特別TV番組「日高義樹のワシントンレポート」をTV東京にて
毎月第3日曜日午後4時から放映中。

登録料

- | | | |
|-----------------|--------------------------|-----------------|
| ●会員……………10,000円 | ●新世代…………… 5,000円 | ●ゴルフ……………5,000円 |
| ●家族…………… 7,000円 | ●副会長代理 歓迎晩餐会……………10,000円 | プレー料金…7,500円 |
| ●囲碁…………… 4,000円 | | (特別優待料金・税別) |

2003～2004年度
国際ロータリー第2510地区

地区大会事務局

〒066-0041
千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2階
TEL (0123) 40-6577 FAX (0123) 40-6578
E-mail/d2510g@poppy.ocn.ne.jp

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ライラセミナー開催案内

ライラ委員長 宮崎 善昭 (札幌西RC)

ライラ (ROTARY YOUTH LEADERSHIP AWARDS) セミナーは、普段はそれぞれの地区委員会が中心になって独自の活動をしている新世代が一同に介して学びを新たにし、深めるプログラムです。

今年度のテーマは「平和を創り出す」として、平和についてそれぞれの立場から自由に意見を交換していきます。多くの新世代、ロータリアンの参加を期待しています。

今や「平和」を創り出し維持して行くには、只単に戦争や紛争の無い状態を創り出すことではなく、貧困、差別、人権、病気など今まで考えられなかった新しい要素が加わり問題解決が複雑になっています。その中でも特に重要なことは貧困、病気の問題で現在、1日1ドル以下で過ごしている人々は世界で12億人、また、エイズで1日に亡くなる人の数は2001年9月11日のニューヨークのテロで亡くなった人々より多いと言われてしています。

私たちのあまり意識に上らない地域、世界で最も貧困で明日への希望が持てない地域があり、これがテロや紛争の温床になっている事実を忘れていません。

本当の「平和」とは、それらの地域で貧困、差別、人権、病気の問題が少しずつ解決し人々の生活が改善され、真に個人の自由が約束されることだと自覚し、その為に一人一人が人道的な活動や運動として何ができるのかを共に考えていきたいと思っています。

平和を創り出すには、最終的には国家レベルの政治的な決断や行動が必要かも知れませんが、まず国民一人一人の平和意識を高め人道的な非戦による平

和を目指すことが大切であると思います。

(1) ジュニア・コース

日 程 2003年9月13日(土)～14日(日)
場 所 札幌NTTセミナー・センター
(札幌市中央区南21西7)
プログラム 開発教育ワークショップ
「もし世界が100人の村だったら」
参加費 宿泊費3,000円 新世代
登録費2,000円
宿泊費4,000円 ロータリアン
登録費3,000円
参加対象 インターアクター、一般高校生、
20歳以下交換留学生、クラブ顧問教
師、関係ロータリアン

(2) シニア・コース

日 程 2003年9月27日(土)～28日(日)
場 所 JR研修センター
(札幌市東区北5東10)
プログラム 北海道被爆者協会による基調講演、
グループディスカッション
参加費 宿泊費3,000円 新世代
登録費2,000円
宿泊費4,000円 ロータリアン
登録費3,000円
参加対象 ローターアクター、財団奨学生、
財団学友、米山奨学生、米山学友、
20歳以上交換留学生、ROTEX、一般
シニア、関係ロータリアン



ジュニアクラス



シニアクラス

「2004年国際大会(関西)のPR活動について」

2004年国際大会(関西)のPR活動に関しこれまでの経過について報告致します。

2001年11月、理事会において2004年に大阪で国際大会を開催することが決定され、正式にPR活動を開始しました。

2002年6月、バルセロナ大会で、大阪大会PRブースを出展し、京阪神はじめ関西各地の観光PRポスターを壁面に貼り廻らせると共に、関西地方の観光PRビデオを放映しました。

2002年2月から始まったロゴの一般公募の中から、8月の大会委員会にてロゴを内定し、RIで一部修正の上、同年11月の理事会にて承認されました。そのロゴを用いて日本語チラシ、PRビデオを作成し、各地区の地区大会等でPRの協力をいただきました。

2003年1月、アナハイム国際協議会では、千大会委員長のご挨拶とともに大阪大会の映像プレゼンテーションを行い、大会ロゴのステッカー、お箸と朱盃(金縁・寿文字入り)をガバナーエレクトに持ち帰りいただきました。

また、各地区においてOn to Osaka委員会を設置いただき、2003年5月にはOn to Osaka委員長会議を開催し、委員長を通して各地区、各クラブに国際大会参加の促進をお願いしています。

ここまでのPRは、ブリスベン大会を配慮してRIが許容する最小限のPRにとどめてきましたが、今後は、いよいよ本格的なPRに取り組むことになりました。

本年6月1日～4日に開催されたブリスベン大会では、「友愛の家」に「あずま屋風」のPRブースを設営し、チラシ、大会ロゴのピンバッジ、大阪及び関西のPRパンフレットを配り、参加促進を行いました。期間中にブースを訪れた人数は合計約6,900人。日本ブースでは、RIが登録受付も行き、現地での登録者は約690名でした。

今後のPR活動としては、2004年国際大会の情報を盛り込んで、事務局から各地区ガバナー事務所宛に発信しますので、是非、各クラブにて入手いただき、国際大会の準備現況を知っていただきたく思います。

●国際大会事務局

2004年国際大会に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町2-5-28

久太郎町恒和ビル4階

電話：06-6258-0561 FAX：06-6258-0562

Eメール：sec@ri2004.com

ホームページ：<http://www.2004kansai.jp>

2005～2006年度

ガバナー・ノミニー候補者推薦のお願い

地区ガバナー 佐藤 秀雄
地区ガバナー指名委員長 森 本 正 夫

2005～2006年度地区ガバナー・ノミニー候補者として適格な会員があり、地区ガバナー指名委員会の審議を希望する地区内クラブは、10月10日必着にて、地区ガバナー指名委員長(地区ガバナー事務所気付)宛、文書(書式任意)をもってご推薦ください。

尚、地区ガバナー・ノミニー資格条件については、国際ロータリー細則第15条第7節1項～6項及び第8節の資格条件に適していることを要します。

参 考

○国際ロータリー細則第13条(ガバナーの指名と選挙)

○国際ロータリー第2510地区、地区ガバナー指名委員会規定(1998～1999年度地区年次大会決議第9号)

インターアクト研修旅行

第2820地区と交流・友情を深める

インターアクト委員長 堀田 昌資 (札幌東RC)

第2820地区（茨城県）は例年韓国研修旅行を実施されていたが、今年は、中国を起源とするSARSの影響が大きく問題視され、北海道研修旅行（札幌・道央）を計画、第2510地区インターアクターとの交流を希望され、佐藤秀雄ガバナーの快諾を得て、7月23日(水)札幌ビール園を会場に盛大に実施されました。

当地区委員会もSARSの影響・朝鮮半島の政治情勢も考慮して、韓国研修旅行を断念、第2820地区との深い交流を望み、8月3日(日)～8月5日(火)の日程で第2510地区インターアクター26名・顧問教師10名の派遣が実現しました。連日31℃～34℃の暑さの中、筑波宇宙センター、江戸東京博物館などの見学に熱中の3日間でした。



7月23日(水)

佐藤秀雄ガバナーから第2820地区インターアクターに歓迎の挨拶と北海道をデザインした第2510地区の記念バッチが贈られ、札幌ビール園で交流会がスタート。木村代表幹事・高慶代表幹事補佐・奥貫新世代委員長・仲屋（岩見沢）秋山（札幌西北）指川（札幌）柳澤（札幌東）会員が出席しました。

7月23日(水)

第2510地区から北海高校・札幌第一高校・札幌山の手高校・札幌龍谷学園高校のインターアクター33名が第2820地区インターアクターとジンギスカンの鍋を囲み会話がはずみ友情を深めることができました。



8月3日(日)

筑波宇宙センターで第2820地区インターアクターと合流して、様々な人工衛星試験モデルやロケットエンジン等興味深い展示品の説明を受けました。1着13億円の『宇宙服』の前でハイポーズ！



8月3日(日)

両地区インターアクターの新たな出会いと交流の会場となった総檜造りのホテルグランド東雲（しのめ）玄関前で全員集合の一コマ。



8月5日(火)

江戸東京博物館は今年開館10周年を迎え、江戸開府400年記念徳川将軍家展を見学することができ、インターアクターも感激。



8月5日(火)

船の科学館で昼食をいただき、平成13年12月22日九州南西域で自爆沈没した北朝鮮工作船を見学する機会に恵まれ、ラッキーでした。

8月5日(火)

連日31℃～34℃の暑さに負けず全員無事千歳空港到着、お疲れ様です。





スリランカのロータリー

直前ガバナー 小林 博 (札幌北RC)

どこの国にもお国柄がある。私はスリランカ（1国で1地区）のロータリー（3220地区、会員数1,800人）の地区大会のほか、クラブ例会にも何度か出席の機会があった。その経験からスリランカのロータリーと我が2510地区のロータリーとの違いにいくつか気付いた。

- ① まずスリランカのロータリーの例会は夜間が多い、というより昼間の例会が少ない。地区内59クラブのうち昼間の例会は僅か6クラブに過ぎない。早朝例会は1つのみ。あとの52クラブは夕刻4時からの3クラブを含め全部夜間例会。しかもkandy RCのようにお茶とお菓子だけの例会もある。夕食は例会の後、各自自宅ですることになる。
- ② クラブ例会の出席率が低い。日本の90%以上が常識なのに比べ、50%から最高73%（コロンボRC、2002-2003年度）までである。個人別には0%から100%。少人数のクラブでは出席率を公表していない。地区全体の出席率は不明だが、凡そ50%ぐらいでないか？
- ③ 年会費が極めて安い。コロンボRCはRI分担金、雑誌、

クラブ会報、地区基金を全部含めて年間11,420ルピア（邦貨15,000円以内）。ただし例会時の食事代（凡そ500ルピア、650円）などは各自その都度の支払いとなる。

④ 出席したい人だけが金を払って食事することになるから出席率は低くなる。ただし例会の雰囲気は極めて明るく和気あいあい、羨ましいほどである。

以上、スリランカのロータリアンは自由度が高く生活の負担にはなっていない。出たい人が出るだけで、出席率に目くじらを立てることもない。すべてマイペース。何となくヨーロッパのロータリーに似たところがある。

なお、スリランカは内戦も終り治安は回復し、ヨーロッパからの観光客が多くなり、最近、日本からの観光客も見掛けるようになった。我が地区はWCS活動の1つとしてスリランカに凡そ800台のベッドのほかマットレス、サイドレール、点滴台、車椅子などを送り、最近は中古自転車のこともあり、2004年2月上旬を目途に佐藤秀雄ガバナーはじめ地区内ロータリアンによるスリランカへの訪問の計画がある。日程は凡そ1週間、直行便利用で経費20万円以内。催行が決まれば詳細はいずれアナウンスの予定である。

祝 新入会員のご紹介

えりもRC



平野 正男 会員
7月3日入会

札幌北RC



三味 正昭 会員
7月28日入会

えりもRC



岡崎 晃 会員
7月3日入会

札幌北RC



八木 政明 会員
7月28日入会

恵庭RC



鈴木 毅 会員
7月16日入会

札幌大通公園RC



菅原 秀二 会員
8月4日入会

恵庭RC



田垣 年啓 会員
8月6日入会



ロータリー財団セミナーに参加して

補助金委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

8月3日(日)、東京プリンスホテルで財団セミナーが開かれ、全国から現ガバナー、ガバナーエレクト、財団委員長、補助金委員長等210名余が参加しました。財団組織の役割、責任、財団のあり方、奉仕のあり方等、

大変重要なセミナーでした。年次寄付、恒久基金の寄付の協力がメインでしたが、私は補助金について書かせていただきます。

1. 地区補助金としてふさわしいプロジェクト

プロジェクトの内容	ふさわしいプロジェクト	不適格なプロジェクト
植樹	ロータリアンが自ら植樹する場合	市役所や他団体に現金を寄贈し植樹を請け負ってもらう場合
車椅子の寄贈	病院、養護ホームなど不特定多数の人が利用できるような施設への寄贈(少なくとも6人以上)	近所の足の悪い人など特定の人に贈る場合
災害救援	被災地へ毛布などを寄贈 井戸・トイレ・イス・机等	金銭を贈る(建物建設、改築)
識字	辞書などを在日外国人組織やグループに寄贈、会場費	講師への謝礼
遊具	設置	建築
お祭りや行事への協賛	お祭りや行事の一部がロータリーの主催であれば可	他団体の主催するものは不可
スポーツ大会	優勝旗、賞状、グラウンドの使用料、ユニフォームなどは適切	優勝の賞金は不可、ロータリアンが審判や会場の誘導などに参加しなければ不可
コンサート	会場費、プログラム、チラシなどは適切、演奏者がプロの場合、出演料が認められる場合もある	入場料をとるのは不可
ゴミ拾い	ゴミを拾うためのビニール袋などは適切、拾った後、協力してくれた子供たちにお弁当やジュースを出すのは可	同行したロータリアンのお弁当は不可

地区補助金プロジェクトを計画するときはロータリアンが携わるプロジェクト、受益者の数、ロータリーに迷惑をかけない、地域社会への貢献を考慮することが大切です。

2. 補助金の審査条件

- 1) 申請書の審査は公平であること。
- 2) 3年前の各クラブの年次寄付の額も参考に。
- 3) 地区会員の3分の2以上からの賛同を得られるプロジェクト。
- 4) クラブの負担、会員の奉仕度合いも考慮。
- 5) 継続事業か、単年度事業かも参考に。
- 6) クラブの周年事業も内容により考慮。(7月29日の委員会で協議)

3. 2003~04年度 地区補助金は \$ 37,000

3年前(2000~01年度、遠藤ガバナー年度)の地区の年次寄付額の60%「地区活動資金:DDF」その20%が地区補助金として地区の裁量で自由に使えます。
(\$310,760×0.6×0.2≒\$37,000 約430万円)

4. 申込と承認、支払について

前半9月末日までに\$25,000を承認しお支払いします。承認のプロジェクト完了報告書の提出後、残りの\$12,000を順次受け付けます。

地域社会への貢献を考え、よいプロジェクトを計画し補助金の申請をして下さい。

今年度採用されなくとも、よいプロジェクトであれば次年度に繰り越すことも可能です。財団の年次寄付がこの様に使われることをご理解の上ご協力をお願いいたします。

第8グループ ロータリアン共有財源として グループ運営特別会計が創設されました！

第8グループ

ガバナー補佐 細川好弘（静内RC）

この程開催されました第8グループ会長・幹事会議で、2003～04年度地区運営方針に基づく第8グループの運営について協議され、次のように確認されました。

※卓話 岩城 秀晴PG

地区オン・ツー大阪委員長

RI100周年記念委員長

※詳細 静内RCガバナー補佐委員会が
担当 登録料5,000円

①第8グループ運営特別会計の創設

ガバナー補佐の活動費並びに第8グループとしての奉仕活動費等に活用できる共有財源として（ロータリアン年1,000円）がガバナー補佐担当クラブ会計持廻りとし、詳細は会長・幹事会議で決定する特別会計が創設されることになりました。

②ガバナー公式訪問、合同例会同時開催について

日程 10月11日(出)

※会場 静内町ウエリントンホテル

1：00PM～第8グループ会長・幹事会
(会長エレクト同席)

3：00PM～ガバナー公式訪問第8グループ
合同例会

4：00PM～研修・交流会

③各クラブへ夜間例会のメイクアップについて

第8グループ各クラブの夜間例会に、各クラブ会長・幹事がメイクアップをし情報交換・交流を深める企画です。

各クラブの日程は決定されておりますが、ガバナー並びにガバナー補佐の同席で準備を進めることにいたしました。

その他情報ネットワーク作り作業、年次大会（千歳大会）の登録予定数の確認、国際大会（大阪大会）参加の奨励、地区大会記念フォーラム担当クラブ確認等に加えて夜間例会メイクアップ時に連絡会議をもちながら楽しいロータリー年度であるよう話し合われました。





「100周年記念ポスターコンテスト」 のご案内

2005年、国際ロータリーは100年間に亘る奉仕を祝います。この祝賀の一環として、児童のポスター・コンテストを実施するよう各ロータリー・クラブを奨励いたします。各クラブから1点ずつ選ばれた優勝作品がロータリー地区コンテストに出品されます。各地区コンテストから選ばれた優勝作品は、34ゾーンのコンテストの1つに出品します。そして、各ゾーン・コンテストから1点ずつ選ばれた作品が国際コンテストに出品されることになります。

応募資格

2003年1月1日に年齢が10才から13才までの児童に応募資格があります。年齢別のコンテストは設けていません。応募は1人1品に限られ、グループではなく1人の児童による作品でなければなりません。

作品のテーマ

ポスターは、地域社会と世界における他の人々への奉仕の提供に関するコンセプトを表現したものとします。

応募のきまり

チョーク、チャコール（素描用の木炭）、クレヨン、絵の具、パステル、ペン、鉛筆を使用のこと。チョーク、チャコール、パステルを使用したポスターは、色落ち、擦れ、滲みなどを防ぐための定着剤をスプレーすること。立体作品は受け付け不可。接着剤、ホッチキスの使用のほか、作品への貼り付け、添付の一切を避けること。額に入れたもの、台紙や飾り縁を使用したもの、ラミネートしてある作品も受け付け不可。すべての言語の文字、数字、国際ロータリーのロゴおよびロータリー100周年記念ロゴを除く企業の徽章をポスターの表面に一切使用しないこと。サイズは最低横30cmに縦45cm、最高横60cm

に縦60cmまで。ポスターは丸めて郵送用の筒に入れて送付のこと、折りたたんだものは受け付け不可。

応募締切

クラブ・コンテストの優勝作品は、2003年12月15日までに地区に提出すること。詳細は地区ガバナーまでご連絡ください。

優勝者

クラブおよび地区コンテストの優勝者には、国際ロータリーが地区に提供する賞状が贈呈されます。ゾーン・コンテストの優勝者は、2004年9月に発表となり、国際ロータリーより記念品が贈られます。国際コンテストの優勝者および次点者は2005年2月に発表される予定で、国際ロータリーより賞金および記念品が贈呈されます。

クラブおよび地区には、地元の学校、図書館、その他の公共の場に次点者の作品を展示し、次点者や他の参加者に独自の賞や参加賞を授与することをお勧めします。但し、その場合の費用はR Iが負担することはできませんのでご了承ください。

詳細は、こちらまでご連絡ください：

Supervisor, Recognition Programs Section (PD230)
Rotary International
One Rotary Center
1560 Sherman Avenue
Evanston, IL 60201-3698 USA
電話番号：1 847 866 3422
ファックス：1 847 866 6116
Eメール：riawards@rotaryintl.org

文庫通信(191号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

「ロータリーを考える」

- ◎ 「ともだおれか生き残りか 沈む企業・昇る経営」 小関忠徳 2002 36p
(D.2830職業奉仕セミナー)
- ◎ 「奉仕の哲学について」 大日方弘明 2001 7p (D.2650職業奉仕研究会)
- ◎ 「奉仕の胞子とは」 小船井修一 2002 6p (D.2500地区大会)
- ◎ 「奉仕の哲学」 山下静雄 1979 25p
- ◎ 「職業倫理について」 前川昭一・藤川享胤・藤田太寅・渡辺進 2002 20p
(D.2580地区大会パネルディスカッション)
- ◎ 「ロータリークラブの魅力と誇り」 小谷典子 2003 6p
- ◎ 「ロータリーの親睦」 松宮剛 2003 2p
- ◎ 「2002—03年度ロータリークラブ会員調査」 D.2510 2003 12p
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎ 「ロータリーの心」 田中善六 二本松RC 2003 16p
[申込先：ロータリー文庫]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

新札幌RC	原口 伸一 会員	7月30日
札幌東RC	坂東 宗一 会員	7月31日
札幌東RC	武田 俊男 会員	7月31日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

伊 達 RC	中井 英光 会員	7月1日	第3回
札幌はまなすRC	大石 春雄 会員	7月29日	
函館北RC	今井 定一 会員	7月30日	
新札幌RC	望月 好明 会員	7月30日	
札幌東RC	坂東 宗一 会員	7月31日	第7回

Rotary Japan Web ロゴマーク・デザイン募集

全国ロータリアンの皆様へ R J Wが公開してから3年以上たち、また2001年2月のR I理事会で日本語のR I公式ウェブ・コミュニティー・サイトとして承認されてから、既に2年以上も経過しています。まだ組織としての脆弱性はあるものの、皆様方から暖かいご支援、ご協力を賜り、少しずつ着実にご理解して頂いておりますことを深く感謝申し上げます。この度R J W委員会の、国際ロータリーおよびウェブで使用する「ロゴマーク」を下記の要領で募集することに致しましたので、多数のご応募をお願い申し上げます。

★応募資格 ロータリアン、ロータリアン家族、ローターアクト

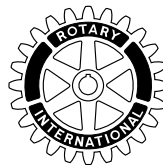
★表現方法 ロゴマークデザインはA 4用紙（横使い）中央に天地左右13センチ程度に表現して下さい。
色彩はカラー表現も可。但しモノクロ表現の場合も成立する様、考慮に入れて表現して下さい。
また参考として、レターヘッドや、封筒の印刷に使えるデザインも同時にお考え下さい。
デジタルデータが提出できる場合には、AI、EPS、TIFF、JPEG（JPG）の各形式で保存し、CD-R、MO等に保存の上同封して下さい。
WINDOWSの環境で開けるファイル形式での対応しか出来ませんので、ご理解下さい。
また郵送が原則ですがメール（添付ファイル）での提出も受け付けます。

★表示内容 R J WまたはRotary Japan Web

ロータリーのマーク……………

以下のURL参照

<http://www.rotary.org/newsroom/downloadcenter/graphics/emblem/index.html>



★応募締切り 2003年10月31日

★送付先 〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-11-4
関ビル4階 東京北ロータリークラブ事務所内
R J W委員会 横山義文宛（R J W専門委員会 委員長）

★問合わせ E-mail : yokoyama@rotary.or.jp

★付記 応募の点数に制限はありません。採用の可否は、R J W委員会にお任せ下さい。
また採用作品作者には賞金と副賞が贈呈されます。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 42】

2003年8月12日発行

1. 寄付金速報 ～2003-04年度スタート！

2003-04年度が始まりました。7月の寄付金は約2億2千3百万円。前年度比3.6%減（普通寄付金1.6%増、特別寄付金17.2%減）、約8百万円の減少です。特別寄付金の減少率が気掛かりですが、表彰制度を変更したことにより、寄付増進を目指します。今年度も引き続き、当会の奨学事業をご支持・ご支援くださいますようお願い申し上げます。

2. 2004学年度米山奨学金指定校401校が決定

2004学年度米山奨学金指定校が各地区の選考委員会によって決定されました。申込みには2004年4月に在籍（進学）する大学の推薦が必要となります。米山奨学会ホームページに指定校および募集要項が掲載されていますのでご覧ください。

3. 懸賞論文募集と学友セミナー

5月にお知らせした「第1回米山奨学会学友セミナー」（2003年10月11日開催）は、外務省や（財）日本国際教育協会からの後援を得て順調にスタートしました。企画の一つである「外国人留学生による懸賞論文募集」には、米山奨学生・学友、在日留学生から約280件もの応募がありました。学友会実行委員会と担当ロータリアンによって選考を行い、9月中旬に入賞者を発表いたします。どうぞお楽しみに！（セミナーでは論文入賞者によるパネルディスカッションも行います。）

4. JAFSA（国際教育交流協議会）総会報告

JAFSA（国際教育交流協議会）は、主に大学などの教育機関、奨学団体などが加盟する非営利組織です。米山奨学会は2001年7月から加入

し、大学とのネットワーク作りや情報交換に努めています。6月20日に東京で開かれた総会では、いままでの任意団体を解散して、NPO法人（非営利特定活動法人）JAFSAを新たに設立することを決定しました。当日の議長は、指名を受けて当会の宮崎事務局長が務めました。

5. 検証・カウンセラー制度

民間奨学団体50団体により構成される留学生団体協議会（JISSA）総会が、7月17日東京・（財）サトー財団会議室で開かれました。文部科学省黒木留学生課長の挨拶に続いて、東京大学留学生センター長 飯塚教授の講演「留学生に魅力ある大学とは」が行われました。海外留学生を受け入れて大学の"内なる国際化"はどれだけ進んだのか。留学生受け入れ10万人計画は数字の上で達成できましたが、その質の低下が懸念されます。大学の制度改革、教職員の意識変革は言うまでもありませんが、地道ではあっても民間団体による留学生一人一人へのきめ細かいケア、大学等と奨学団体との連携が"魅力ある日本留学"に不可欠であることを再確認しました。米山奨学会の制度に間違いはありません。問題はどのようにしてよりよい信頼関係を築くかにあります。

JISSA代表幹事宮崎幸雄（米山奨学会常務理事）

（財）ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011

東京都港区芝公園2-6-3 abc会館ビル8F

Tel:03-3434-8681

Fax:03-3578-8281

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

『友』インターネット速報

12月が家族月間になりました

2003-04年度第1回国際ロータリー(RI)理事会において、12月を家族月間とすることが決定されました。これは、マジアベRI会長が家族の重要性を提唱したことを称えたものです。

なお、2月の第2週の「家族週間」は廃止されます。
(No.94 7月15日)

世界的ポリオ撲滅資金支援活動の継続

国際ロータリーのポリオ撲滅募金キャンペーン(P E F C)は、6月30日、成功裏に幕を閉じた後も、他の形で募金活動は継続しています。ポリオ撲滅提唱グループおよびポリオ・プラス全国提唱顧問は、ポリオ撲滅のために公の政治的、財政的援助の増進に向けて、ポリオ撲滅におけるロータリーのパートナーと寄付国の政府の役人と協力し合っています。最近の公共部門の支援には、G8(主要8か国首脳会議)のメンバーからの支援も含まれており、アフリカ開発のための新パートナーシップ(N E P A D)の一環として、2005年までにポリオを撲滅するために十分な資金を提供する約束がされています。(ROTARY WORLD 2003年7月号から)

なお、日本のロータリーでは、P E F Cを1,600万ドルの募金を目標として、2005年6月末までの3年間計画でスタートしました。したがって、あと2年間、本活動が継続することになります。(No.95 7月22日)

イラク戦争犠牲者への支援をRIホームページから

イラク戦争犠牲者への貢献は、RIホームページの「災害支援」(Disaster Relief)にある、以下の2つのサイ

トを通じて行うことができます。

・ユニセフのためのアメリカ基金(U.S. Fund for UNICEF)

http://www.unicefusa.org/emergencies/iraq/savelives_rotary.html

・赤十字国際委員会(International Committee of the Red Cross-ICRC)

http://www.icrc.org/Web/Eng/siteeng0.nsf/htmlall/special_rotary

国際ロータリーの国際支援課は、この2つの組織と協力して、ロータリアンがイラクへの支援活動に貢献する方策をつくりました。この協力の目的は、イラク国民が解決しようと努力している、水、衛生、保健、栄養、児童保護、そして教育の諸問題に取り組むことです。崩壊したイラク経済に苦しむ国民、とりわけ子どもたちにとって、この救済支援は大きく貢献することでしょう。

「ビジネスポータル」から「会員アクセス」へ

RIホームページの「ビジネスポータル」(Business Portal)は、今月から「会員アクセス」(Member Access)に名称を変更しました。ロータリー財団への寄付から、クラブ役員による会員の現況報告まで、幅広く利用できます。

利用の際は、会員のID番号が必要となります。ID番号は、各クラブが半年毎に提出する報告書に記載されていますので、会長あるいは幹事にお問い合わせください。なお、日本語では、「会員アクセスページ」という名称で、以下のサイトにあります。

<https://riweb.rotaryintl.org/ja/> (No.97 8月5日)

ガバナー事務所からお願い

- ①クラブの出席報告は、毎月の最終例会から15日以内にお願ひ致します。(FAXもしくはメール添付ファイル可)
- ②変更等のご報告について
新会員、退会者、会員資格変更、クラブ事務所、例会場、例会日、時間の変更、会長、幹事等の移動の場合、所定の手続きによりご報告下さい。新しく会員が入会された時は写真を同封の上、氏名、入会日をお知らせ下さい。また会員にご不幸があった場合には、氏名、年齢、ロータリー歴、写真を同封の上、至急ご報告願ひます。
- ③クラブの移動例会等は地区内他クラブに周知して頂くため、変更日の50日前までにご連絡下さい。
- ④各月ごとのクラブ会報を当該月の最終例会終了後、まとめて毎月ご送付下さい。
- ⑤ガバナー月信へ原稿をお寄せ下さい。特にクラブの活動、トピックス、地域内の話題等、400字前後に写真1~2枚をご同封願ひればと考えています。原稿締切り日は毎月10日を予定しています。

*** 掲示板 ***

・例会の変更について

- | | | |
|---------|----------|---|
| 倶知安 R C | 9月10日(水) | 休会 |
| | 9月13日(土) | 4クラブ合同例会
場所：ホテル第一会館 17:30点鐘 |
| 赤平 R C | 9月9日(火) | 休会 |
| | 9月23日(火) | 休会 |
| | 9月30日(火) | 職場見学
場所：いしの 12:30点鐘 |
| 羽幌 R C | 9月11日(木) | 夜間例会「新世代のための月間に困んで」 |
| | 9月25日(木) | 夜間例会 |
| 芦別 R C | 9月19日(金) | 移動夜間例会(赤平 R C 合同)
場所：芦別北の京 18:00点鐘 |
| 室蘭東 R C | 9月7日(日) | 家族同伴野外例会 |
| | 9月10日(水) | 休会 |
| 栗山 R C | 9月9日(火) | 会員親睦パークゴルフ大会・夜間例会 |
| | 9月23日(火) | 休会 |
| | 9月28日(日) | 夫人同伴親睦旅行 |
| 美唄 R C | 9月18日(木) | 休会 |
| 小樽南 R C | 9月5日(金) | 移動例会 12:30点鐘
場所：ホテルノルド小樽2Fレストラン・タデラー |
| 留萌 R C | 9月3日(水) | 夜間例会(ガバナー公式訪問) 18:30点鐘
場所：留萌市中央公民館 |
| | 9月10日(水) | 移動例会(旅は楽し、増毛への旅) 12:30留萌発
JR専用列車にて例会 |
| 当別 R C | 9月23日(火) | 休会 |

訃報 心よりご冥福をお祈りします



佐藤 鐵磨 会員(札幌東 R C)
2003年6月10日ご逝去
(享年59才)
入会年月日 1999年1月14日
ロータリー歴等
1999~00年度 親睦活動委員
2000~01年度 会報委員
2001~02年度 会報副委員長
2002~03年度 音楽副委員長・会員増強委員



若狭 幸蔵 会員(洞爺湖 R C)
2003年7月19日ご逝去
(享年86才)
入会年月日 1969年2月
チャーターメンバー
ロータリー歴等
1974~75年度 会長
ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

7月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.7.31	増減	内女性	
1	深 川	4	43	43	0	2	86.25
	羽 幌	4	47	47	0	1	65.38
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	85.00
	小 平	3	16	16	0	0	77.10
	留 萌	4	64	65	1	0	87.58
	小 計		180	181	1	3	80.26
2	赤 平	4	35	35	0	1	79.28
	芦 別	4	58	58	0	0	88.43
	砂 川	5	55	55	0	0	97.26
	滝 川	5	109	111	2	2	78.00
	小 計		257	259	2	3	85.74
3	美 唄	5	47	47	0	0	86.81
	江 別	5	46	47	1	2	90.66
	江 別 西	4	40	40	0	3	91.87
	岩 見 沢	4	100	100	0	0	95.60
	岩 見 沢 東	5	34	35	1	3	89.08
	栗 沢	5	33	33	0	2	89.71
	栗 山	5	32	32	0	2	94.62
	当 別	5	42	42	0	0	70.47
	小 計		374	376	2	12	88.60
4	札 幌	5	113	119	6	0	99.02
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	5	30	30	0	5	85.21
	札 幌 北	3	54	56	2	5	91.42
	札幌モーニング	5	60	61	1	0	80.88
	札 幌 西	5	74	75	1	2	93.86
	札 幌 西 北	5	50	51	1	2	91.38
	札 幌 手 稲	4	44	44	0	0	99.43
	小 計		443	454	11	15	92.65
5	札 幌 東	5	118	118	0	0	99.45
	札 幌 清 田	5	29	29	0	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	82	1	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	5	46	46	0	2	95.86
	札 幌 南	3	90	93	3	0	97.22
	札幌大通公園	3	19	19	0	5	83.33
	札幌セントラル	5	19	19	0	5	73.60
	新 札 幌	5	36	38	2	1	90.41
	小 計		438	444	6	18	92.48
6	岩 内	4	35	36	1	0	85.35
	倶 知 安	5	57	57	0	4	81.74
	小 樽	4	88	88	0	0	83.55
	小 樽 南	4	86	86	0	0	90.39
	小 樽 銭 函	5	22	22	0	3	80.91
	蘭 越	5	15	15	0	0	82.67
	余 市	5	46	46	0	4	83.86
	小 計		349	350	1	11	84.07

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,339人 (96人)
増加会員数	35人
当月平均出席率	86.07%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.7.31	増減	内女性	
7	千 歳	5	72	74	2	2	89.40
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	82.25
	恵 庭	5	50	50	0	0	88.44
	北 広 島	3	15	15	0	2	88.23
	長 沼	3	17	17	0	4	90.18
	由 仁	5	16	16	0	0	95.00
	小 計		201	203	2	8	88.92
8	え り も	5	23	25	2	0	82.40
	三 石	3	18	18	0	1	92.50
	様 似	5	20	20	0	2	81.00
	静 内	5	68	68	0	0	84.84
	浦 河	4	42	42	0	1	87.50
		小 計		171	173	2	4
9	伊 達	4	55	55	0	0	82.72
	室 蘭	5	56	57	1	0	72.86
	室 蘭 東	5	48	49	1	0	84.54
	室 蘭 北	5	39	39	0	2	93.85
	登 別	5	39	39	0	2	82.05
	洞 爺 湖	4	12	11	-1	0	100.00
		小 計		249	250	1	4
10	函 館 館	4	101	101	0	0	77.94
	函 館 亀 田	3	47	48	1	1	85.25
	森	4	48	48	0	0	82.00
	七 飯	4	29	29	0	0	62.50
	長 万 部	3	12	14	2	0	76.19
	小 計		237	240	3	1	76.78
11	江 差	5	21	20	-1	0	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	70	6	0	90.42
	函 館 東	5	60	60	0	6	80.36
	函 館 北	5	43	43	0	0	80.09
	上 磯	4	33	33	0	3	66.80
	松 前	2	9	9	0	1	77.80
	小 計		230	235	5	10	78.41
12	白 老	5	32	32	0	2	72.00
	苫 小 牧	4	61	60	-1	0	83.89
	苫 小 牧 東	4	33	33	0	3	88.28
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	97.78
		小 計		175	174	-1	7
	合 計		3,304	3,339	35	96	86.07

地区カレンダー（9月・10月）

9 月 新世代のための月間	
1(月)	公式訪問(札幌南RC)
2(火)	
3(水)	公式訪問(羽幌RC、小平RC、留萌RC)
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	公式訪問(深川RC、妹背牛RC)
10(水)	地区大会登録（変更等）締切
11(木)	
12(金)	
13(土)	ライラセミナー(ジュニア)
14(日)	ライラセミナー(ジュニア) 第1回ガバナー・エレクト研修セミナー（東京）
15(月)	敬老の日
16(火)	
17(水)	公式訪問(砂川RC、滝川RC) 地区財団学友委員会（札幌市）
18(木)	
19(金)	公式訪問(赤平RC、芦別RC)
20(土)	公式訪問(美唄RC、岩見沢RC、岩見沢東RC)
21(日)	函館北RC創立40周年記念式典
22(月)	
23(火)	秋分の日
24(水)	公式訪問(恵庭RC、北広島RC、長沼RC、由仁RC)
25(木)	第7回ロータリー日韓親善会議（浦安市） 公式訪問(江別RC、江別西RC、当別RC)
26(金)	
27(土)	ロータリー・ジャパン・ウェブ (RJW) 会議（東京） ライラセミナー(シニア)
28(日)	ライラセミナー(シニア)
29(月)	
30(火)	

10 月 職業奉仕月間・米山月間	
1(水)	公式訪問(栗沢RC、栗山RC)
2(木)	
3(金)	
4(土)	
5(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌市:アスティ45)
6(月)	
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	
11(土)	公式訪問(三石RC、えりもRC、様似RC、静内RC、浦河RC)
12(日)	
13(月)	体育の日
14(火)	公式訪問(千歳RC、千歳セントラルRC)
15(水)	
16(木)	
17(金)	
18(土)	小樽RC創立70周年記念式典
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	地区大会記念ゴルフ大会 (千歳市:シャムロックCC)
24(金)	地区年次大会(千歳市)
25(土)	地区年次大会(千歳市)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
31(金)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2003
10

MONTHLY LETTER No.4

2003.10.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
職業奉仕月間にちなんで	3
R I 会長ノミネー決定	4
米山月間によせて	5
米山奨学生紹介	6
国際大会(関西)実行委員会より	7
親睦活動委員会ニュース	7
第9グループ 第2回会長・幹事会の報告	8
社会奉仕3委員会合同意見交換会	9
家庭奉仕委員会から	14
地区100周年記念委員会報告	17
ロータリーの友委員会報告	17
札幌はまなすRCチャリティコンサート/新入会員紹介	18
札幌東RCチャリティディナーコンサート	19
第3回ロータリー市民講座開催のお知らせ	19
文庫通信/訃報	20
ハイライトよねやま43	21
お知らせ	23
掲示板/ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ	24
8月会員数・出席率	25
地区カレンダー	26

—開催せまる!!—



今こそ地球のために



RIテーマ
「手を貸そう」

2003～2004年度 地区大会 国際ロータリー第2510地区

10月24日(金)・25日(土)

場 所 / 千歳市民文化センター
記念懇親会 / 千歳全日空ホテル

- ・ 記念ゴルフ大会 10月23日 (木)
シャムロックカントリー倶楽部
- ・ 記念囲碁大会 10月5日 (日)
札幌市：アスティ45

ホストクラブ 千歳ロータリークラブ・千歳セントラルロータリークラブ

ガバナーメッセージ



職業奉仕を大切にしよう!!

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は職業奉仕月間だ。職業奉仕はロータリーの綱領において次のように強調されている。事業及び専門職務の道徳的水準を高めること：あらゆる有能な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること：そしてロータリアン各自が業務を通じて社会に奉仕するためにその業務を品位あらしめること：となっている。創立当時のシカゴRC会員は一業種一会員のもと自分が注文する仕事は優先的にロータリアンに依頼、発注しようという発想があって職業奉仕委員会は活況を呈したと聞く。ロータリーの基本的な職業奉仕の精神は、あらゆる職業に携わる中で、奉仕の理想を生かしていくことをロータリーが育成、支援することにある。この意味の一端を具体的に愚見すれば巨額の粉飾決算によって多くの株主に多大な損害を蒙らすような職業倫理を持った経営者を四つのテストに列挙された経営に立ち戻すために、またこのような経営者が出現しないよう育成支援していく事ではないかと思う。自分の職業を通じて社会に奉仕をする、このことが職業奉仕の真髄である。職業奉仕を大切にしよう!!

さて、今月は米山月間でもある。1952年に東京RCの米山梅吉氏の功績を記念して創設された日本における財団である。米山奨学会もまたR財団と同様資金難に陥って

いる。米山奨学会は毎年約1,000名のアジアを中心とした奨学生を受け入れているが、経済不況と会員減少による米山普通寄付及び特別寄付は年々減少の一途にある。にもかかわらず約1,000名の学生の受け入れ、学生に対する奨学金月額の支援は一定である。昨年は積立金を取り崩し3億円が支出に当てられた。今年度もまた2億円の収入不足を見込んで支出に当てるのが予算で承認された。このように毎年基金の積み立てを取り崩すことが良いのだろうか。民間最大の留学生支援団体と胸を張ってはいるが積立金の取り崩しは、この事業の致命傷になりかねないのではないかと老婆心ながら申し上げたい。奨学金の減額は他の支援団体と比較され優秀な学生は奨学金が多く支給される方に魅力を感じ流れていく。とすれば受け入れ学生数を減少する以外に方法が無いのではないかと。日本経済が立ち直り中小企業、零細企業に明るさを取り戻したとき、自ずから会員の減少は底をうち増加に転じ寄付金の協力も得られ易くなるだろう。これまで退会した多くの先輩会員を含め積み立てた基金は貴重な財源であり、これを取り崩すことなく上手に運用し、この収益をもって支出の財源に当てるのはともかくとして、むやみに基金の取り崩しは如何なものかと思う。

ガバナー日記(2)

ガバナー 佐藤 秀 雄

7月25日(金)第2820地区(茨城県)からのインターアクター、引率の先生及びつき添いのロータリアンが当地区を訪れサッポロビール園で盛大に歓迎会を開催。木村代表幹事、高慶代表幹事補佐と参加。堀田インターアクト委員長他委員の皆様へ脱帽、本当にご苦労様です。7月29日(火)地区補助金委員会で6クラブから申請のあった補助金について審査、全額認めたいがそれは無理。大きな予算については半額、小さなものについてはほぼ全額、これには財団への貢献度も考慮された。

公式訪問

7月10日(木)第12グループの公式訪問のため、上井地区幹事とガバナー事務所を8時30分に出発、車で一路苦小牧グランドホテルニュー王子に向かう。早速9時20分から山本雅昭ガバナー補佐司会で各クラブ40分間の会長・幹事懇談会に入る。白老RC鈴木会長は9月5日(金)の創立25周年記念事業として全盲のピアニストをお呼びし中学生、高校生及び市民を巻き込んで地域市民一体となった演奏会を企画。苦小牧RCの圓谷会長はクラブで9名の学生に月額7万円の奨学金の補助をしているとの事。苦小牧東RC木村会長からはクラブ会員に「ロータリーの心」を知ってもらおうクラブ運営をしたい。ジンバブエとの交流、青少年育成事業、環境保全啓発フォーラム及び看板設置等の事業を展開したい。苦小牧北RC田中会長は奉仕活動の再検討をしたい。RCC事業、サッカー大会の支援、家庭生活カウ

ンセラー事業の支援そして今年度は身障者によるアイスホッケー大会の支援に力を注ぎたい。12時30分から合同例会を開催し暖かな雰囲気の中で終了した。7月25日(金)第6グループの公式訪問、8時30分木村代表幹事の車で小樽グランドホテルに向かう。10時から梅庭ガバナー補佐司会で会長・幹事懇談会。各クラブ40分最初の小樽南RC、大黒屋会長はもう一度ロータリーを勉強し、ロータリーの原点に戻ろうを目標に掲げ親睦と奉仕を重点にクラブ運営を強調。小樽RC河辺会長は10月18日(土)クラブ創立70周年を迎える準備に忙しい。小樽銭函RC藤田会長は会員を25名まで増強したい。各委員会は会員が少ないため会長・幹事も兼務指導している。12時30分3クラブ昼食をはさんだ合同例会。終了後第6グループ後半の会長・幹事懇談会のために梅庭ガバナー補佐の事務局斎藤次長の案内で岩内に向かう。岩内RC佐藤会長は経済状況が悪いため会員減少が続いている。なかなか若い会員を補充できない。これによってクラブ運営資金も厳しい。余市RC木村会長は指定寄付のポリオ、会員減少対策、環境保全等について話し合った。倶知安RC鈴木会長はFAX通信によりきめ細かく会員に例会の案内をする、持たない会員には幹事が案内を持っていく、このことにより出席率が向上した。蘭越RC佐藤会長は現在15名で運営しているが財団、米山は既に送金したとの事、有難うございました。明日の合同例会のため宿泊。



職業奉仕月間にちなんで

職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北RC)

1 ロータリーにおける職業奉仕 (Vocational Service)

ロータリーにおける職業奉仕とは、ロータリアン以外の人たちに“ロータリーの心”を分かちごとであると言われていました。

つまり自らの職業を通じて地域社会の人々や世界の人々との間に善意と友情溢れた関係を創ろうと言うのがロータリーの職業奉仕と解釈されています。

次にロータリーは実践運動であると言われていました。ロータリーの哲学は単に主観的なものであつてはならず、それを客観的な行動に移さねばならないと提唱されています。

1905年のロータリーの草創期に当たってポール・ハリスを始めとするロータリアンたちは、一業種一会員の数少ない仲間にてロータリー活動を創出し、ロータリーにおける職業奉仕理念を創出したのです。

2 Vocation と Service という言葉

Vocation (職業) という言葉は社会人の「定職、家業、事業、専門職務、あるいは業務」を指しております。

ロータリーは、職業奉仕という言葉を使用するに当たって、Service (奉仕) という文字をその一番広い意味で使っており、単に事業あるいは専門職務における取引行為や販売された商品を指すのみでなく、仕事上の相手方のニーズと境遇に対して考慮を払い、他人に対しいつも思いやりの心を持つことも指していると言われていました。

3 職業奉仕の理念の誕生

「ロータリーは決して宗教でもなければその代用品でもない。それは古くから存在する一道德観念の現代生活における、ことに実業職業生活における実践に他ならないのである」これはポール・P・ハリスの『ロータリーの理想と友愛』の一節であります。

初期のロータリーは相互扶助という会員同士の知己の追求であったことは否定できません。が、

時をおくことなく、相互扶助の制度に反省が occurs ります。

ハリスは「相互扶助の観念は一般的奉仕の観念に世を譲った」と表現しています。

この相互扶助の制度にロータリーの奉仕の原点、なにかなく、職業奉仕の原点があると考えます。

ハリスをはじめとするロータリー初期の指導者は「奉仕第一、自己第二 (Service Above Self)」を掲げ、心が物欲から離れることの大切さを訴え、報酬はもとより付随物であることを認識すべきとしています。

4 フランク・コリンズの標語 (Service Not Self) →1921年に Service Above Self に改正された。

1911年ポートランドで開催された第2回全米ロータリークラブ連合会の席上ミネアポリスクラブのコリンズの提唱した標語である。

ただし、Service Not Selfは自己を滅却した奉仕を意味するものと受け取られ、自己否定につながるという反論が強く起こりました。

モットーとして採用されて半年後には、自己の存在を認めた上で、他人への奉仕を求めるという意味の修正が加えられた、Service Above Selfが広く使われ始め、1921年コリンズの死後 Service Not Selfが正式に廃止されて、Service Above Selfに変更されました。

Service Above Selfは「超我の奉仕」「自己研鑽の奉仕」「奉仕第一、自己第二」などと訳されています。

5 シェルドンの標語

(He Profits Most Who Serves Best)

フランク・コリンズの奉仕理念のService Not Selfの思想を支持したアーサー・F・シェルドンが「ロータリーの哲学の中で一職業の存在の本来の理由は、人類社会に奉仕することである」と述べているごとく、高い倫理的規範と道徳的規範に忠実に裏打ちされる職業観こそが、職業奉仕であると言われていました。

即ち、自己の利益を得ようとする欲望と、一方

では他人に尽くさねばならないという義務感この二つの争いを調和させるようロータリー創立当初から提唱されています。

このシェルドンの He Profits Most Who Serves Bestという標語はロータリーのモットーとして使用され、後に最も有名なロータリーの公式標語となり今日に至っています。

6 ロータリーの公式標語「He Profits Most Who Serves Best」「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」の最近の動向

- ① 2001年6月米国イリノイ州エバンストンで開催されたR I 理事会は、上記公式標語の使用を停止しました（「ロータリーの友」平成13年9月号掲載）。
- ② 2001年11月に米国イリノイ州エバンストンのR I 理事会は、ロータリーの標語「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」が世界の数地域のロータリーにとり根源的な存在であることを認識し、理事会はこの標語の使用の停止を決議した2001年6月の会合における決定を撤回いたしました（「ロータリーの友」平成14年2月号掲載）。

平成15年4月25日札幌R C 札幌南R C、札幌あけぼのR C 3クラブ共催の例会にて、時のラタクルR I 会長は、板橋R I 理事をはじめ、アジアの諸理事のR I 理事会における献身的な努力でこの標語が上記の通り残るに至ったことを明白かつ切実に卓話で話をしております。

ポール・ハリスをはじめとするロータリー創始者の理想は確固として永遠に守り抜かなければなりません。

7 職業奉仕月間

R I 理事会は、一人ひとりのロータリアンだけでなく、各クラブも、職業奉仕の理想を日常実践するように強調するために、毎年10月を特に職業奉仕に焦点をしばったプログラムを行う「職業奉仕月間」と決めました。

職業奉仕は、ロータリー・クラブとクラブ会員両方の責務である（手続要覧職業奉仕に関する声明の一節）。

今月は地区内ロータリアンの皆様、ロータリーの根幹である職業奉仕に思いを至していただけるようお願い致します。

カール・ウィルヘルム・ステンハマー氏が R I 会長ノミニーに



スウェーデン・イエーテボリロータリークラブのカール・ウィルヘルム・ステンハマー (Carl Wilhelm Stenhammar) 氏は、R I 会長指名委員会により、2005-06年度のR I 会長ノミニーに選ばれました。

国際的な食品ブローカーであるステンハマー氏は、ガスト・F・ブラット社 (Gust. F. Bratt AB) の元オーナーであり、加えて、数社の会社の理事、地元の学校の理事長を務めました。

ステンハマー氏は、1974年にロータリーに入会。ガバナー、R I 理事 (1996-98年度) を歴任しました。

現在、ステンハマー氏は、ヨーロッパR I B I 恒久基金委員会委員長、そして識字および教育推進グループの総コーディネーターを務めています。また、ポリオ撲滅提唱グループ委員、ポリオ・プラス担当顧問であり、2003年8月にスウェーデンで開催された国際平和と寛容に関するR I 会長祝賀会議では、議長を務めました。

(「友」インターネット速報より)



米山月間によせて

米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北RC)

ロータリーにはクラブだけでなく、ロータリアンひとりひとりがロータリー活動に参加するよう強調するために、RI理事会が指定した8つの特別月間があり、10月は職業奉仕に関する特別月間に当たると共に、日本独自のものであるが、規模・実績ともに民間では国内最大である、奨学制度のロータリー米山記念奨学に理解を深める月間でもあります。

ロータリー米山記念奨学会は、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留学生に対し、国際理解と親善を深めるために、ロータリアンの寄付金を財源として、奨学金を支給・援助する日本ロータリーの奨学団体です。

1. 沿革と変遷

日本最初のロータリークラブを創立し、自らもアジアの留学生に援助した米山梅吉氏の功績を記念して、東京RCが1952年米山奨学制度を設立、1953年から募集を開始。1957年に日本全国のクラブ・ロータリアンに呼びかけ、国内全クラブの合同事業として「ロータリー米山奨学委員会」が結成され、全国的な組織となる。1958年全国の大学より8名の奨学生を採用し、1959年世話クラブ制度を設置。1960年会名を「ロータリー米山記念奨学会」と改称。1967年財団法人(基本金3,000万円)の設立許可を得る。1971年カウンセラー制度を設置。1978年寄付金の免税措置が認可となる。1983年米山月間を10月とする。1999年4月採用から、ロータリークラブの所在国に関係なく、すべての国・地域から応募可能となる。(これまではロータリーの所在する国からしか奨学生を採用出来なかったため、中国からの留学生は対象外であった)2002年4月採用から大学推薦制度を実施。2001年日本の留学生受け入れ制度100年記念にあたり、文部科学省より功労団体として表彰される。2003年米山表彰制度が改定される。

2. 目的と事業

ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に努め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、世界平和の創造と維持に貢献することを目的とします。

上記の目的を達成するために、次の事業を行っています。①奨学金の支給 ②世話クラブとカウンセラー制度 ③国内外での学友会活動 ④ロータリアンと奨学生の交流。奨学金による経済的支援だけでなく、世話クラブとカウンセラー制度による心の通った支援が特徴です。

3. 奨学金制度

奨学金には大学院博士過程を対象としたYD奨学金、大学院修士課程を対象としたYM奨学金、学部生を対象としたYU奨学金の3種類があります。このほかに世話クラブが支える延長制度のCY奨学金や、特別奨学金などがあります。

4. 表彰制度

米山特別寄付金に対する米山功労者表彰が本年7月より新しくなり、従来30万円の功労表彰が10万円で受けることになり、2回目以降はマルチプルとなります。すでに米山功労者となられている方は、自動的に新制度の10万円刻みの表彰回数に変更になります。そして、準米山功労者〔累計3万円〕、米山ファンドフェロー〔累計15万円〕は廃止となりました。米山功労法人、米山功労クラブの表彰については変更はありません。

本年度もロータリアンの皆様からのご寄付により1,000名の奨学生を支援いたします。しかし、会員数の減少や不況の影響で前年度の寄付金が1億3,000万円減少し、特別積立金の取り崩しにより運営せざるを得ない状況です。会員諸兄のご理解とご協力をお願いいたします。

米山奨学生紹介

2003年度



氏名	キョウレイチン 邱麗珍
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	法学政治学
世話クラブ	札幌真駒内



氏名	サイシュラン 崔春蘭
国籍	中国
大学・課程学年	小樽商大・修士2
専攻	経営管理
世話クラブ	小樽



氏名	エルデネバ タル・イデル
国籍	モンゴル
大学・課程学年	室蘭工大・修士2
専攻	情報工学
世話クラブ	室蘭東



氏名	カシン 何新
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	医療薬学
世話クラブ	札幌大通公園



氏名	ホンナヨン 洪奈延
国籍	韓国
大学・課程学年	浅井学園大・修士2
専攻	人間福祉学
世話クラブ	江別西



氏名	カナン 賈楠
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	高次診断治療学
世話クラブ	札幌東



氏名	キムヤンスク 金良淑
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	国際広報メディア
世話クラブ	札幌南



氏名	イヨンエ 李英愛
国籍	韓国
大学・課程学年	学園大・博士3
専攻	日本文化
世話クラブ	札幌幌南



氏名	リーコウバイ 李紅梅
国籍	中国
大学・課程学年	北大・医博4
専攻	生体機能学
世話クラブ	札幌北



氏名	リョウレンブン 梁連文
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生物資源生産学
世話クラブ	札幌西北



氏名	リンエイハ 林永波
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	物質環境科学
世話クラブ	札幌西



氏名	リョウシュクジョ 劉淑如
国籍	台湾
大学・課程学年	北大・博士2
専攻	歴史地域文化学
世話クラブ	札幌手稲



氏名	シンセツカン 申雪寒
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	社会基盤工学
世話クラブ	札幌はまなす



氏名	シンドウファン 申東煥
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	生命資源科学
世話クラブ	函館五稜郭



氏名	タンチ(ロゼイ) 陳貞君
国籍	マレーシア
大学・課程学年	道工大・修士2
専攻	機械システム工学
世話クラブ	札幌あけぼの



氏名	タンダン 譚丹丹
国籍	中国
大学・課程学年	札幌大・修士2
専攻	文化学
世話クラブ	札幌清田



氏名	オウカイエン 王海燕
国籍	中国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	人間システム科学
世話クラブ	札幌



氏名	ヤンチュン 楊春
国籍	中国
大学・課程学年	北大・修士2
専攻	生物資源生産学
世話クラブ	札幌モーニング



氏名	ユンジョン ス 尹種秀
国籍	韓国
大学・課程学年	北大・博士3
専攻	環境資源工学
世話クラブ	札幌セントラル



氏名	ジャンショウファ 張曉華
国籍	中国
大学・課程学年	教育大・修士2
専攻	学校教育
世話クラブ	新札幌

「ホスピタリティを發揮しよう！」(ホスト主催行事の紹介)

国際大会(関西)実行委員会では、大会期間中に以下のイベントを行います。

●京都デー

実施日：5月22日(土) 8:00~23:00

参加費：¥10,000

参加予定人数：(主に海外参加者)
(終日・昼夕食付) 2,500名
(半日・夕食のみ) 500名

主催：実行委員会

概要：リーガロイヤルホテル大阪よりバスに分乗し京都の名所を観光。平安神宮では呈茶をご用意し、平安神宮近くの京都会館にて和太鼓や京都の祭りの映像などをご覧ください。夕食後、バスに分乗しリーガロイヤルホテル大阪へ向かいます。

参加費：無料

主催：第2660地区

概要：道頓堀川が流れる大阪の中心地、道頓堀で大阪ならではのエキサイティングな夜をお楽しみください。

●神戸ナイトクルーズ

実施日：5月24日(月) 18:00~22:00

参加費：¥5,000

参加予定人数：(主に海外参加者) 400名

主催：第2680地区

概要：大阪―神戸間を乗客船でクルージングし、船内では神戸文化としての「神戸ビーフ、神戸ワイン、灘の酒、ジャズ」を紹介し、神戸の夜を満喫していただきます。

●ウエルカムコンサート

実施日：5月22日(土) 16:00~22:00

参加費：¥6,000

参加予定人数：(主に国内参加者) 1,400名

主催：実行委員会

概要：大阪城近くのNHKホールにおいて、NHK交響楽団コンサートをご鑑賞いただきます。ポリオ撲滅の慈善事業も兼ねています。

●パークフェスタ(ユニバーサルスタジオ・ジャパン)

実施日：5月25日(火) 17:30~23:00

参加費：¥6,000

参加予定人数：9,000名

主催：実行委員会

概要：ユニバーサルスタジオ・ジャパンはアメリカ国外で初めて作られたユニバーサルスタジオのテーマパーク。そのダイナミックな感激を伝えると共に、ロータリアンのためにスペシャルショーを3回上演します。(シャトルバスはリーガロイヤルホテルより出発。)

●道頓堀ナイト

実施日：5月24日(月) 17:00~21:30



親睦活動委員会ニュース

●JGFR(日本ゴルフ同好会)国内大会

○第17回JGFR東京大会

日時：平成15年11月10日(月)~11日(火)

コース：府中カントリークラブ 18H

募集定員：160名

参加費：18,000円

○第2回JGFRお花見東京大会

日時：平成16年4月5日(月)~6日(火)

コース：小金井カントリー倶楽部 18H

募集定員：160名

参加費：18,000円

●IGFR世界大会

○41th大会 (3月26日まで申込)

日時：2004年5月17日(月)~21日(金)

コース：米国・NC州・CHARLOTTE

参加費：ロータリアン\$825、同伴夫人\$675

○予告 42th大会 2005年5月又は6月

豪州・クインズランド州

Royal pinesにて

※詳しくは地区親睦活動委員会へ

親睦活動委員長 灰野 篁(札幌北RC)

第9グループ 第2回会長・幹事会の報告

第9グループガバナー補佐

宮武忠史 (登別RC)

8月22日(金)室蘭RCのスポンサーで第2回目の会長・幹事会が室蘭プリンスホテルで行われました。

宮武忠史ガバナー補佐の方針により今後は従来の報告・懇親主体の会長・幹事会に加え、グループ協議会的な内容も加えて行うことになりました。

今回は「例会の充実」をテーマにグループ内の6クラブから「親睦活動委員会」「プログラム委員会」の各委員長にも出席をお願いし、会長・幹事を含め2分科会にて協議を行いました。

①例会プログラムについて 担当：室蘭RC

②会員親睦について 担当：室蘭東RC

分科会終了後、各担当クラブの幹事さんから報告をいただきガバナー補佐の総評で会議の部を終えました。

いずれも、各クラブ別の現状報告や問題点、悩みなど活発な話し合いが行われました。例会の充実が、会員増強や退会防止に果たす役割が大きいのは、どの会員も承知しているわけですが、クラブ内だけの限界を感じているクラブがあるのも現状です。そのような問題の共有・解決のためにも、同一エリア間の情報交換をもっと活発に行うことで意見の一致をみました。

次回の会長・幹事会は(10月17日(金)スポンサー：伊達RC、伊達ロイヤルホテル)

①国際奉仕委員会

②社会奉仕委員会

の2分科会で開催を予定しております。

(文責：第9グループガバナー補佐幹事 齋藤正史)



地区委員会報告

社会奉仕に関する3委員会合同意見交換会が 地区内5カ所で開催されました

地区社会奉仕委員長 対木正文 (札幌西RC)

地区家庭奉仕委員長 和田壬三 (札幌南RC)

地区子ども奉仕委員長 米山道男 (札幌北RC)

社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕合同の意見交換会が、7月～8月に函館、滝川、苫小牧、小樽、札幌で開催されました。年度初めに他クラブの奉仕活動を知ることにより、より地域に密着したプロジェクトを模索できるように、また、昨年度新設された家庭奉仕委員会、今年度新設された子ども奉仕委員会の設立趣旨を理解するためのものです。

どの会場も、出席されたそれぞれのガバナー補佐からご挨拶をいただいた後、3地区委員会の委員長から今年度の活動計画と各クラブへのお願い、注意点などを説明しました。

対木は、プロジェクト推進の上での広報の重要性和結果の評価の大切さを話しました。和田は昨年度1年間の活動から見えてきた家庭奉仕のあり方と今年度新たに加わった家族委員会の説明をしました。米山は、委員会の設立趣旨と学校への講師派遣と職場訪問受け入れに関する奉仕活動についてかなり具体的に話しました。

その後、各クラブの社会奉仕委員会委員長を中心として各クラブの今年度の社会奉仕に関する活動計画とクラブが抱える悩みなどが紹介されました。

後半の質疑応答の中で、子ども奉仕委員会の主活

動である小中学校への講師派遣に関して、教育委員会との話し合いや教職員への理解をどのように図るべきかなどについて活発な意見が交わされました。また、地区委員会の数の多さが話題にされ、会員の減少やクラブの現状を考えると、委員会の統廃合を考える時期ではないかとの発言も幾つかの会場からありました。

3地区委員会は各クラブが地域のニーズにあった実りある奉仕活動をしていただくためにクラブと情報を共有しながら努力していきます。ご参加いただいたガバナー補佐、会長、幹事、社会奉仕委員会委員長各位、そして会場設営にご協力いただいた地元クラブの皆さまに心から感謝申し上げます。



第10、11グループ (7月26日、函館)

日時	場所	グループ	参加クラブ数	参加人数
7月26日(土)	函館	10、11	11	35
8月2日(土)	滝川	1、2、3	14	27
8月9日(土)	苫小牧	7、8、9、12	15	50
8月23日(土)	小樽	6	7	19
8月30日(土)	札幌	4、5	13	24



第1、2、3グループ（8月2日（土）、滝川）



第6グループ（8月23日、小樽）



第7、8、9、12グループ（8月9日、苫小牧）



第4、5グループ（8月30日、札幌）

第7、8、9、12グループ 「社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕活動 に関する3委員会合同の意見交換会」

第7、8、9、12グループ担当

地区社会奉仕委員 菊地 芳彦（苫小牧北RC）

表記「意見交換会」が昨年度に引き続いて、地区を5ブロックに分けて開催されました。今年度は地区組織図上社会奉仕委員会の下部委員会となり、昨年度設立の「家庭奉仕委員会」と今年度設立の「子ども奉仕委員会」の設立主旨と現時点における取り組み状況を地区委員会担当者より、具体的に詳しく説明する事により、理解を深め、今後のロータリーの奉仕活動に生かして頂く事を目的としています。

さて、第7、8、9、12グループの「意見交換会」は平成15年8月9日（土曜日）台風のせまる悪天候の中、苫小牧市グランドホテル・ニュー王子に於いて、午後の3時間を要して開催されましたが、その内容と結果についてご報告致します。参加クラブは第7グループ5クラブ、第8グループ4クラブ、第9グループ2クラブ、第12グループ4クラブ、地区役員として伊藤PG、第12グループ山本ガバナー補佐、第8グループ細川ガバナー補佐、第9グループ

斎藤ガバナー補佐代理、第7グループ後藤ガバナー補佐、主催者側より地区社会奉仕委員会对木委員長、菊地・東原委員、子ども奉仕委員会米山委員長、山田・平野・和歌委員、家庭奉仕委員会高下委員、木村地区代表幹事合計50名の参加者でした。各クラブ社会奉仕委員長、会長、幹事又は関係委員会委員の方々が参加されました。司会は担当社会奉仕委員、菊地が務めました。開催主旨説明は対木社会奉仕委員長、開会挨拶を山本ガバナー補佐及び細川ガバナー補佐からなされました。

(1) 地区委員会報告

地区3委員会より詳しい資料が配布され、それをもとにして説明と討議が行われました。

1. 地区社会奉仕委員会（対木正文委員長）

ロータリーが社会奉仕活動を行う目的は、真に地域社会が望んでいる事業を通して、ロータリーのメッセージを伝えることです。そのための効果

的な一定の実践手順に従うことが重要です。

①プロジェクト選択は真に地域が求める現実問題に対応し、興味を持って実行可能なこと。②プロジェクトの計画にあたっては、目標、目的、予算設定、理事会、例会、会報を通じた会員の理解と参加、地域社会とのネットワーク構築が重要です。③広報活動は内部広報だけでなく、外部広報も大切です。地域にロータリーを理解してもらうことこそが、緊急対応を要する会員増強につながります。④資金計画、募金活動に於いてはクラブ予算、会員からの募金、事業に賛同する寄付者とのコンタクトが重要です。⑤結果の評価においては単に「終わって良かった」というのではなく、記録を残し会報で報告する事は一方法です。又、ガバナー月信に写真を添えて投稿することは他クラブの参考となります。事業が本当に地域に密着しているか、プログラム自身がマンネリ化していないか、前年度からのしがらみにとらわれていないこと、時代に合った活動か、何となくやるのではなく、目標、目的が設定できて、奉仕活動として実践可能なこと、更には、内部広報を充分に行い、当該委員会だけでなく、他の会員、他の委員会の参加も求めること。以上の実践手順とそれに付随する事項を毎年考慮する事が必要です。プロジェクトの例としては、都市問題、環境保全、人口問題、保健、障害者や老人に対する奉仕活動等がありますが、特に注目すべき問題としては、日本社会の成熟化に伴い社会の不安定性が顕著になっていること。新聞報道では不登校児童数減少を伝えていますが、まだ13万人位もいて決して少ないとはいえません。しかも最近では児童虐待だけでなく、子供の凶悪犯罪も増加しています。この根底にある背景を広く考察する事が重要です。以上の諸要因を考慮して、今年度の地区社会奉仕委員会の活動予定は以下の通りです。

①地区内5ブロックにおける「合同意見交換会」の実施。

②地区で支援しているタイのパベナ財団理事長パベナ・ホンサクン女史を基調講演講師として招致し、平成15年11月29日(土)於札幌道新ホールで、地区社会奉仕委員会とWCS委員会共催により、(仮題)ロータリー市民フォーラム「タ

イの児童虐待—今、日本が学ぶことは」を実施予定。

③「地区家庭奉仕委員会」と「地区子ども奉仕委員会」の設立主旨と活動の啓蒙。

④昨年度よりも充実した内容の地区内クラブ社会奉仕活動報告書の作成。

2. 地区子ども奉仕委員会 (米山道男委員長)

最近では子どもの犯罪が多発し、それに対して「厳罰を課さねばならない」という意見と、一方では無関心な親達があります。子どもには1人1人違った良い所があり、それを認めて、親達はできるだけ子どもに接する時間を多くする必要があります。家庭は家族が最も気楽にすごし、接することのできる空間であり関係であると安易に考えるのではなく、実は非常に重要な関係であって、もっと慎重に考えるべき事であったと反省しています。たとえば家族が5人であれば5角関係となり、しかも家族内のある2人の関係が他の家族構成員にも大きな影響を与える事があり、又、ひとたび結成された家族は、その後ずっと共に家族の歴史を背負っていかねばなりません。我々ロータリアンは家庭に於いて配偶者や子どもに評価される存在にならなければ本物ではありません。「子ども奉仕委員会」設立の動機となったのは、昨年9月に日本35地区ガバナー会議長である前川氏が「ガバナー会青少年育成委員会」を発足させ、ロータリアンが子ども達の育成にもっとかかわるために①ロータリアンによる小中校での授業、②小中校生のロータリアン事業職場の見学・実習、③ロータリアンの学校評議員への参加等の提唱、学校側の事情は小、中、高校の総合学習の時間帯に外部講師を招致する必要があるが講師謝礼金の予算がないこと、外部講師招致のための方法が解らない事、このような相互事情をクリアする最適な団体がまさにロータリアンのグループです。「子ども奉仕委員会」というネーミングの意味する事は、青少年は駄目な存在であるから、ロータリアンが彼らを育成する必要があると考える思いあがりではなく、子ども達のためにロータリアンとして可能な事をするという事であり、決して子どもの召使いになる事ではありません。さて、本年度事業開始のために、昨年度に先導的試行として、小林

PGに縁のある札幌市内4校で授業を実践しました。授業する事を承諾した登録者の懇談会が本年4月に行われ、授業の実践後本年6月に中間報告書を作成しました。

ロータリアンの授業を体験した子ども達の担任教師からの評価は殆どが良好でしたが、唯一外国籍児童に対する配慮を求めた一例がありました。授業をする際に講師には話す内容についての注意と配慮が必要である事が解りました。さて、本年度事業を実施するにあたり、経時的に以下の手順を考えています。①7～8月：各クラブとの連携（地区内5ブロックの合同意見交換会実施）②9～11月：登録者名簿作成（9月各クラブへ協力者登録票の提出依頼、10月登録締切、11月発行）③11月以降：市町村教育委員会との連携④12月～16年3月：小中学校との個別協議⑤16年4月以降：講義や職場訪問の実施⑥16年6月：実施報告書作成など、埼玉県教育委員会事業である中学生の3日間にわたる事業所体験学習「3DAYSチャレンジ」、北海道教育庁による就業体験を通じた勤労観、職業感育成を目的とする「インターンシップ」等興味ある方法の紹介もありました。

3. 地区家庭奉仕委員会（高下泰三委員）

当委員会は日本で初めてできた家庭奉仕委員会です。当初は検討小委員会としてスタートしましたが、4回の勉強会の成果により、委員会活動を開始するに至りました。当委員会設立の動機となっているのは、最近日本においても少年が起こす凶悪犯罪が急増し、子育て、家庭の基盤、親子関係に対する疑問、不安が大きくなっている事があげられます。驚くべき報告として1998年に「あなたはあなたの両親を非常に尊敬していますか。」という質問に対して、韓国55%、アメリカ80%に対し日本は10%のみが「はい」という回答でした。従来日本は世界一暮らしやすく、経済的にも豊かでした。しかし今は両親が子どもから尊敬されず、信頼もされない国となりました。夫婦が互いに尊敬し、信頼し、親子が互いに尊敬しあう家庭を増やすためにはどうすべきかという疑問が動機となっています。家庭奉仕については職場で従業員へ家庭奉仕をすすめる、援助する、地域での家庭奉仕、家庭作りの意識改革を外に示さない、崩壊した家庭の援助という事なども考えねばなりません。

3つの対象、①自分自身、②職場、③地域のどこにポイントをおくかを話し合った結果、初年度にはまず自分自身の家庭奉仕から取り組むこととなりました。昨年度の実施項目は

- ①4回の勉強会（前札幌市教育長土橋信男氏「円満な家庭を築くために」、親業訓練インストラクター土橋芳美氏「親業訓練の考え方と実際」、池上学院学院長池上公介氏「登校拒否児の指導経験から」、侑愛会診療所所長大場公孝氏「発達障害児の支援から学ぶこと」）
- ②地区内IM及びワークショップ支援（第4・5グループ合同IM慈愛の種は家庭から及び函館RC、家庭奉仕を語るワークショップ「日ごろ心がけている家庭奉仕」）
- ③地区内各クラブからの活動報告
札幌北RC、札幌真駒内RC、深川RC、上磯RC

今年度家庭奉仕について採用して頂きたいメニュー

- ①2003.2.28開催 第4・5グループIM、パネルディスカッション「慈愛の種は家庭から一家庭生活を豊かにする方法について」ビデオ（25分）の活用
- ②家庭奉仕フォーラムの実施
2月第2週の家族週間又は例会フォーラム
- ③地区家庭奉仕委員会勉強会への参加
- ④親業訓練セミナー開催
昨年の勉強会で最も影響を受けたセミナーです。有料ですがクラブ内、地域内でひとつのグループを作り、何度でもロールプレイをしながら教わる事が可能です。

4. 地区の現況（木村照男地区代表幹事）

本日の研修会の主題であり、昨年度発足の「家庭奉仕委員会」と今年度発足の「子ども奉仕委員会」については、各クラブは力まず急がず検討して欲しい。予算編成上重要な基礎となる地区会員数は最大で4,300～4,400名、14年7月1日年度開始時3,500名、15年7月1日3,304名となり会員数200名の減少は地区運営にとっては非常に困難な局面となります。

(1) 各クラブ活動報告

今回は発表クラブ数14の多数となり、発表時

間が1クラブ3～5分間と制限されましたが、非常に貴重な報告、意見を多数頂きました。活動報告は2002～03年度当地区社会奉仕活動報告書にもとづき補足説明、反省、意見そして、新年度事業への取り組みについて発表されました。発表はグループ順に主にクラブ会長には社会奉仕委員長より行われましたが、詳しくは「地区社会奉仕活動報告書」をご参照下さい。なお家庭奉仕への取り組みについては静内RC、浦河RC、子ども奉仕への取り組みについては千歳セントラルRC、浦河RC、室蘭RC等から報告されました。

(2) 質疑応答

① クラブ及び地区の委員会数が多すぎる

(苫小牧北RC)

対木委員長：函館でも同様意見あり。国際奉仕と社会奉仕のバランス、RCの地域密着化のためには地域の社会奉仕活動を活性化させる必要があり、会員数減少に伴う活動資金減少があり、時代の変化に即応した委員会の統廃合は必要と考える。

② 家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会等名称からは内容が判然としないこと。又、同様の活動内容がすでに実施されているが、異なる委員会名のもと、同様な活動がなされることがある (苫小牧北RC)

米山委員長：一定の期間集中的に活動するために独立委員会とし、事業が軌道にのってからは親委員会に吸収されうる。

室蘭RC：子ども奉仕委員会をはじめから独立委員会とはせず、社会奉仕委員会の中で「子ども奉仕担当」として責任を持たせる。

高下委員：家庭奉仕の概念を社会奉仕委員会の中で考え、あえて、独立委員会を新設する必要はないこと。

③ 同様の活動を複数の委員会で実施、又は委員会細分化により一委員会としての予算が合致される場合には活動資金が少なくなること。これを補填するために地区補助金、同額補助金を活用したいがそれを取得、活用する方法を個々のクラブで研究、理解する機会を作っ

て欲しい。(静内RC)

④ 奉仕事業が拡大して経費が増加する場合、参

加者に入場料等を負担してもらうことには抵抗感がある。RCの奉仕事業は全経費をクラブ側で負担すべきか(千歳セントラルRC)
対木委員長：参加者がプロジェクトの主旨に賛同するなら多額でなければ入場料徴収は全く支障はないこと。

⑤ ロータリーの奉仕事業は「単年度事業が原則」と指導されてきた。新規事業を考える場合、すでに他の奉仕団体が実施している場合があり、毎年新規事業を開発する事には無理がある。(千歳セントラルRC)

対木委員長：「単年度事業」ということは、ある事業について毎年、「ロータリーの社会奉仕活動実践手順」にそって見直しをする事であり、地域が必要であれば、絶対1年限りで終了するのではなく、次年度維持する事には支障がないこと。

(3) 講評 (伊藤長英PG)

① ロータリーの4大奉仕の中でクラブ奉仕は別として、他の奉仕部門は対象及び手法に差があっても、広義ではいずれもが社会奉仕です。どの委員会事業であっても「社会に奉仕する基本姿勢」が前提であること。

② 各クラブが地区と同様な委員会数で総花的に事業を行う必要はなくクラブ独自の考えで重点事業を考えること。委員会数が多いとしてもある委員会を全く完全に廃止するのではなく、親委員会に活動を移行して、経過を見る事が現実的な対応であること。

③ RIの活動には教育的問題と人道的な問題の2つの核がある。ロータリー財団資金の使途は世界的には人道的事業、日本は教育的事業が多かったが、日本でも人道的事業が増加してきている。

④ ボランティア活動とはボランティアする人が全経費を負担する事ではなくボランティアする人が無報酬であっても、多額でなければ参加者から参加料を徴収する事は全く支障はないこと。

⑤ クラブが「家庭奉仕委員会」や「子ども奉仕委員会」をあえて新設する必要はなく、ロータリーの基本精神をもってできる範囲で協力する事でよいこと。



クラブ社会奉仕委員長さん又 クラブ家庭奉仕委員長さんへ

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

委員会を通じて学んだこと

小林直前ガバナーから、約1年半前に指名を頂き、昨年度末までに、当委員会の委員はほぼ全員参加で委員会7回、講師をお招きして開いた勉強会を4回開催し、更に第4・第5グループのIMのテーマとして当委員会が担当して、慈愛の種を家庭からというシンポジウムを開催し、会場やパネラー、土橋信男先生から多くの事を学び、函館地区で家庭奉仕をテーマとするワークショップを開催し、約40名のロータリアン全員から、現実の家庭奉仕の状況について、また悩まれた経験についてお聞きしましたし、家庭奉仕に関する書物があれば、読んでみました。(子育て崩壊、小学校絶体絶命、家庭の絆等)

題名はメモしていないので忘れましたが、家庭奉仕をテーマとする映画も上映される都度見ましたし、参考になる講演会のビデオもお借りしてお聞きしました。また、私自身は、小学校の課外授業で「みんな楽しく家庭のこと」というテーマで子供達と意見交換をしました。洞爺湖で開かれたワークショップ「子供のために家庭で何ができるか」において、問題提起をさせて頂きました。これらの活動を通じて、私が実感したことは、親の認識と子供の親に対する認識はかなり違うのではないかと、又、自分の見方と配偶者の見方では違うのではないかと。もう一度、親子或いは夫婦の関係を問い直した方が良いのではないかとということです。

例えば、(財)日本教育研究所が、日本と他の国の高校生を2,000名無作為に選んで親に対する意識調査を実施した結果がでています。

1996年のデータ、「年老いて両親が自分の力だけ

で生きることが出来なくなったときに全力で介護しますか」と3ヶ国の高校生に問うたところ、「はい」と答えた割合は中国が66%、アメリカが46%なのに日本は16%しかいません。1998年には、「貴方は自分の両親を非常に尊敬しますか」との問いを3ヶ国の高校生にしたところ、「はい」と答えた割合は、韓国55%、アメリカ80%なのに、日本は10%しかいません。最近の調査で未発表だそうですが、児童精神医学の佐々木正美先生が入手したデータでは全世界の中学及び高校生を対象に調査したとのことですが、「あなたは、貴方の両親の下に生まれて非常に満足していますか」という問いに対し、「はい」と答えた割合が80%以上の国がざらにあり、50%以下の国は全く無かったとのことですが、日本は25%しかいなかったそうです。

先程の佐々木先生のお話では、全国各地の保育園の保育士さん(都会も、田舎も)からお聞きしたところ、最近の子供達は全くまごど遊びをしない。保育士さん達が仕方なくさせようとしたがらない。特に中心となる母親役に誰もなりたがらない。一番人気はペットであるということです。一昔前なら、差別的な役割です。仕方なく誰か女の子を母親役に指名すると、遊びの初めから終わりまでずっと指示、禁止の言いつ放しだそうです。父親役を受けた男の子は、ずっとぼーっとしているだけだそうです。しかし、この両親を一生懸命面倒みたり、両親の下に生まれ、非常に満足しているとは言えない、或いは両親を非常に尊敬しているとは言えない大部分の高校生や中学生の両親は、子供からこのように思われていることを知っているのでしょうか。この

傾向は、統計や私自身も身内の保育園の保育士さん
或いは大学に進学した息子から同窓生が両親に対し
てどのように思っているかについて、同じような話
を聞いて実感していますが、その話からすると、段々
悪化しているように思えます。

当委員会は、今進行しているこのような家庭の問題
について、日本の将来にとって座して見逃すこと
が出来ない問題と考えて、今年度は、積極的に各ク
ラブに働きかけようということになり、手始めに、
当委員会の委員全員がこの連絡会において実情を訴
えて、各クラブに是非ともさまざまな形で取り上げ
て頂きたいとお願いするところです。

1. 現在私共が手近で最もお勧めできる講師は、親
業訓練協会の土橋芳美先生です。なおP16に掲載
のセミナーは有料ですが、極めて効果的です。
「親業」という本を読めば、はっとする方も多い
と思います。私共が当たり前だと思っていた接し
方が、ほとんど間違っていることが指摘されてい
ます。

例えば、夕食の時に仕事が遅くなって帰ってき
て、食べようとしているところで、子供達がうる
さく遊び回っている。テレビも聞こえない。とい
う状況の中で、普通は、「うるさいから隣の部屋
で遊びなさい」と命じるのではありませんか。結
果としてはそうですが、うるさいと感じて困っ
ているのは父さんであって子供達はそうは思わな
いわけですから、この場合には、素直に「父さんは
疲れて仕事から帰ってきたので、静かにごはんを
食べたい。あなた達が騒いでいると静かにご飯が
食べられないんだ。」とお話すればよいのです。
子供がそれを聞いて自主的に他の部屋に移って遊
ぶでしょう。そうしなくても怒ったり、指示した

り、別の解決方法を提案してはならない。何度で
も繰り返して考えていただくよう努力するべきだ
というのです。

2. 2番目は、札幌モーニングRCの池上公介さん
をお勧めします。話術も巧みですし、不登校の生
徒や、引きこもりの青年を預かって指導訓練して
いる経験に基づいてお話して頂けます。主に子供
の教育という視点からの家庭問題ですが、注意深
く聞けば家庭全般に関わる問題であることがよく
分かります。

3. このような講師を利用せず、卓話やフォーラム、
ファイヤーサイドミーティングなどの機会に家庭
奉仕をテーマに取り上げていただければ幸いです
が、漠然としたのでは効果が少ないと思います。

現状についてのお話を委員長さんなり、会長、
幹事さんがした上で、具体的なテーマで話し合わ
れたら如何でしょう。そのための資料は、いつで
も提供します。例えば、昨年札幌北RCが実施し
た会員のミーティングにおいて一つのグループが
出された「日頃している家庭奉仕。心がけている
家庭奉仕」といったことをテーマに話し合われる
のもよいでしょう。

4. 又、第4・第5グループIMのテープを25分間
にまとめたものが、地区文献資料室にあります。
函館のワークショップである参加者が、このテー
プを自宅で5回見たところ、奥さんもお覧になっ
て、ロータリーってたまにはこんなによいことを
やっているんですね、と感動したとの報告もあり
ましたが、そのテープは訂正なしの2時間もので
したので、多少違うとは思いますが、なるべく要
旨を残そうと何度も編集し直したものです。是非
一度くらいは、参考にお使いいただければ幸いです。

親業訓練入門講座



「親業訓練入門講座」は

行政機関及び諸団体が主催する子育て支援関連事業にご活用していただくために、親業訓練協会が新しく開発した独自のプログラムです。このプログラムは2003年1月1日以降ご提供できます。

このプログラムの特徴は

グループディスカッションやロールプレイなどの体験学習（訓練）を通じて、参加者自身が、親としての役割や子どもとのコミュニケーションについて考え、見つめなおしていただける場面を多く取り入れたワークショップ形式で、従来の家庭教育に於ける座学と異なります。



講座の柱は以下の3つです

- 1) 親の役割とは何か
- 2) 子どもへの日常の接し方の大切さ
- 3) 子どもの気持ちに耳を傾けるために

指導するのは、親業訓練協会認定の親業訓練インストラクターの中でも、特にこの「親業訓練入門講座」のために研修を受けた者です。

このプログラムには6時間の中に、体験による学習、グループディスカッションなどが入り、バラエティに富んだ学習方法で活気ある講座が展開いたします。



このような訓練を受けることで

親であることが楽になる、というのが多くの方の実感です。
ある意味で親としての能力を高めるということでもあります。
やり方がわからないことは料理でも何でもむずかしく感じます。
子どもを育て、子どもといかに接するかについても同じです。
学ぶことで楽になることがあります。

是非、子育て支援関連事業の一環として、「親業訓練入門講座」のご導入をご検討賜りますようお願い申し上げます。

講座の時間・定員・費用

- (1) 時間：全6時間（2時間×3回、3時間×2回又は6時間×1回でも可能）
- (2) 定員：20人以上100人まで
- (3) 費用：1人4,200円（税込み・交通費別）

内訳：テキスト代2,100円 講師謝礼2,100円

*但し、20人未満で開催された場合も、最低定員20人分84,000円の費用になります。

親業訓練協会 (<http://www.oyagyoy.or.jp/>)

〒107-0062 東京都港区南青山7-10-3 南青山STビル2F

TEL：03(3409)8355 FAX：03(3409)8688

第1回国際ロータリー100周年記念地区委員会報告

日 時：2003年8月26日(火)午後4時～
場 所：札幌パークホテル
出席者：佐藤ガバナー、竹山元R I 理事、岩城委員長、
塚原、石田、木村、酒井、各委員
・岩城委員長より100周年記念事業の説明。
佐藤ガバナー挨拶。
・竹山元R I 理事よりカムリーバンクの近況報告。

打ち合わせ事項

R I 100周年記念行事計画

2005年のR I の計画を支援するため下記の項目を各クラブに早期に伝達する。

- ①会員数150万人を目指して増強活動 ②ポリオ撲滅の支援 ③会員1人当たり米貨100ドルの財団寄付 ④すべてのクラブは「ロータリー100年祭プロジェクト」を設置して地域社会に奉仕 ⑤2005年6月のシカゴ100周年記念国際大会への参加

地区の事前活動について

- ・地区内各クラブにR I 100周年記念事業委員会の設置を早期に要請。
- ・まず地区レベルで具体的な100周年プログラムの作成。
- ・具体的な100周年年間スケジュールの策定。
- ・次年度遠藤エレクトのPETSにおいて次期クラブ会長と次期ガバナー補佐に100周年記念事業の支援の要請。
- ・同じく次年度遠藤エレクトの地区協議会において100周年記念委員会の分科会を設けて各クラブの記念事業委員長と準備・推進活動について連絡PR。
- ・次年度ガバナー補佐会議、グループごとの会長・幹事会において議題に取り上げてもらう。

(記録：塚原委員)

第1回ロータリーの友委員会報告

委員長 佐藤 公 (札幌北RC)

日 時：2003年8月1日(金)
場 所：ガバナー事務所
出席者：佐藤秀雄ガバナー、佐藤公委員長(札幌北)、
斎藤元護(札幌南)、山名善久(札幌南)、
坂井 治(千歳セントラル) 各委員

議 題：

- ①全国ロータリーの友委員会合同会議(7月1日・東京プリンスホテル)の報告
- ②「わがまち わが地区」は8月号に全国第1回目として当地区が掲載された。(タテ組みP2) タイトルは「世界にはばたく自然と集いの港」で千歳の観光を紹介した。
- ③「地区のたより」の当地区担当は2004年3月号(原稿締切は2004年1月9日)。
原稿内容について検討の結果、女性会員の増強の観点から佐藤ガバナーと女性会員との座談会の模様を掲載することとした。
- ③地区雑誌委員長名簿作成について
地区内雑誌委員長とのコミュニケーションを活発化させることから名簿を作成する。
(事務局に作成依頼)

③委員会名の改称について

小林前年度において地区内の「雑誌委員会」を「ロータリーの友委員会」と名称を変えることが了承されているが、(注：今年度の地区協議会でも了承されている)各クラブにおいてはまだ徹底されていないので、文書を持って改称の徹底を図ることとした。

③ロータリーの友委員長会議(旧雑誌委員長会議)の開催について

2004年4月開催の地区協議会と同時開催を予定。この会議には現委員長及び次年度委員長の出席をお願いする。現委員長の活動報告、次年度委員長のガイダンスと引継などを計画している。

④各クラブの委員会活動の実状と活動促進について

「ロータリーの友」3分間情報などを設けてもらい、会員の「友」誌の購読を促進する。各委員長からアンケートをとり活動の実態を把握することも計画する。

⑤次回委員会の開催について

第2回ロータリーの友委員会開催日は11月11日から21日の間に開催をする。

札幌はまなすRC例会 郷愁、ロマンティック…… ピアノ・チャリティコンサート

札幌はまなすRCでは、542回例会（9/2）で、ピアノ・チャリティコンサートを開き、昼のひとつとき美しいメロディの音色を楽しみました。

演奏者は会員の岩崎和子さん。秋のうた「赤とんぼ」「小さい秋見つけた」「里の秋」3曲を皮切りに映画音楽「愛情物語」（米国）「慕情」（香港）など4曲。また懐かしい日本のうた「さくら貝のうた」や「水色のワルツ」「ある雨の午後」の3曲。それにメキシコ出身のガバナー補佐・戸部アナマリア会員のためメキシコのうた3曲を特別サービス。

約40分にわたってユーモアを交えた弾き語り、郷愁をそそり、恋物語あり、ロマンティック、それに八州秀章、高木東六、ディックミネといった往年の大御所の作曲家、歌手の名も紹介するなど、うっとりとし聞き応えは十分だった。

ちなみに岩崎会員はNHKのノド自慢のピアノ伴奏者としてお馴染みのピアニスト。この日のチャリティの浄財は国際奉仕委員会を通じて、飢餓に直面する子どもたちのために役立てたい。



祝 新入会員のご紹介

はまなすRC



小林 栄子 会員
7月1日入会

はまなすRC



坂田 淳二 会員
7月1日入会

岩見沢RC



大政 亮二 会員
7月25日入会

岩見沢RC



堤 佳彦 会員
8月22日入会

岩見沢東RC



浜村 弘寿 会員
8月26日入会

札幌東RC チャリティーディナーコンサート ロータリークラブゆかりのチェリストの演奏

8月24日(日)、札幌東ロータリークラブの例会とチャリティーディナーコンサートが、ホテルモントレエーデルホフ札幌で行われました。コンサートは例会に先立ち200人余の参加者を得、午後5時半より開催しました。企画は職業奉仕・社会奉仕・音楽の各委員会。

札幌出身で、ロータリー財団奨学生の経験もある東京フィルハーモニー交響楽団の首席チェリスト金木博幸氏の演奏が行われました。曲の合間に金木氏により、作曲家のエピソードや曲に対する意図の説明があり、また活躍が期待される新人の紹介もありました。

それに続く例会では、坂東会長のウィットに富む点鐘の後、ディナーをいただきながら、佐藤芳郎音楽委員長と金木氏との愉快的な会話を楽しみました。ロータリアン年齢の方でも、新たに楽器の演奏を楽しむコツや、高齢になっても楽しめるのは指揮者であろうというお話。また北海道トマムで毎年開催されている音楽セミナーは日本で最大級であり、今後も夏の北海道という地の利を得てどんどん発展していこうという明るい話題もありました。

第2510地区のロータリアンにも数十名参加していただきありがとうございます。43万9千円の益金は黒澤社会奉仕委員長から、チャリティーとして社会奉仕団体に寄付される予定です。



星野恭亮職業奉仕委員長



チェロ 金木博幸氏、ピアノ 柴田千賀子氏



演奏者との一カット

第3回ロータリー市民講座開催のお知らせ

地区職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北RC)

人は誰も年をとる運命は避けることが出来ず、高齢層の人口は増加の一途をたどっております。

50歳を超えた後の生き方は、仕事の遂行と日常生活上の精神的な平衡を保つことが難しく、身体年齢の老化、病気の発生等から全ての人の重大な関心事です。

そこで、地区職業奉仕委員会主催の第3回市民講座は著名な老人問題の権威であります田中良治先生(札幌RC)を講師として、下記の要領にて開催することとなりましたので、各クラブのロータリアン及び家族、職場、知人等にも御案内していただき多数の皆様の御参加をお待ちしております。

講師：医師 田中良治氏
(医療法人札幌田中病院理事長)

演題：「大往生のための70章」
50歳からの人生の生き方と日常生活の送り方について

日時：平成15年10月16日(木)
午後1時～午後3時

場所：北海道浅井学園大学
北方圏学術情報センター大ホール
札幌市中央区南1条西22丁目
電話011-618-7711

参加料：無料
事前の申込みは不要です。当日、直接会場にお越し下さい。

文庫通信(192号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会誌より

- ◎ 「ロータリーは新世代とどう関わるか」 新田満夫 2002 7p
(D.2580 パネルディスカッション)
- ◎ 「子どもと内なる自然」 河合雅雄 2003 9p (D.2730 記念講演)
- ◎ 「人間性豊かな青少年に育てる為に、我々に何が出来るか」 見城美枝子 2003 20p
(D.2790 ロータリーミーティング)
- ◎ 「慈愛の種からどのような花を咲かせるか」 小林 博 2003 15p (D.2510 記念フォーラム)
- ◎ 「アーサー・フレデリック・シェルドン論」 小堀憲助 2003 17p (D.2680 特別講演)
- ◎ 「ロータリーは、今！」 岩井 敏 2003 5p (D.2790 記念講演)
- ◎ 「日本の可能性、東京の可能性 いまロータリアンに期待すること」 石原慎太郎 2002 3p
(D.2580 記念講演)
- ◎ 「言葉の危機、心の危機」 柳田邦男 2003 6p (D.2680 記念講演)
- ◎ 「このままでは日本は滅びる」 渡部昇一 2003 3p (D.2790 記念講演)
- ◎ 「生き方の選択」 日野原重明 2003 10p (D.2780 記念講演)
- ◎ 「ロータリーの新しい展望」 南園義一 2003 4p (D.2520 基調講演)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃 報 心よりご冥福をお祈りします

山下 登 会員 (芦別RC)

2003年8月21日ご逝去 (享年68歳)

ロータリー歴等

1991年5月15日入会

1993～94年 出席委員長

1997～98年 広報委員長

1998～99年 国際奉仕常任委員長

1999～2000年 新世代活動推進委員長

2002～03年 親睦委員・職業奉仕常任委員会



(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 43】

2003年9月11日発行

<<表彰制度を改定しました!>>

新年度から累計10万円毎に米山功労者として表彰いたします。

詳しくはホームページをご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

1. 活発な意見交換で前向きなスタート!

～理事会・評議員会報告

2003年度最初の理事会・評議員会合同会議が8月30日(土)に東京・品川のホテルパシフィック東京で開かれ、理事、監事、評議員(陪席者含む)の計116名が出席しました。来賓の田中作次R I理事からの挨拶、島津久厚理事長の総括につづく昨年度の事業・会計報告では、出席者からも多くの意見や提案が出されました。特に、奨学金支給者1,000名を維持することの意義、寄付減少の現状とその対応について活発な意見交換がなされました。全体的に前向きな意見が多く、米山奨学事業に対するロータリアンの期待の大きさが伺われました。

第2回理事会では理事長、副理事長、常務理事の選任があり、新しい役員による新年度がスタートしました。国際社会に貢献する誇りと、課題の重さを改めて確認した一日でした。

(常務理事・事務局長:宮崎幸雄)

2. 100周年のガバナーに期待と激励

～ガバナー・エレクト研修会報告

8月30日の理事会・評議員会終了後、今年度のガバナー・エレクトを対象とした研修会が開かれました。ここでは、来賓の田中作次R I理事のお話から、1994-95年度に第2770地区ガバナーとして寄付増進に取り組

まれた活動事例を紹介いたします。

- ・地区として個人平均寄付目標額を設定し、達成をめざす。
- ・達成クラブ(クラブ累計額1,000万毎に表彰)間近なクラブにその旨を知らせて、協力を依頼する。
- ・クラブ米山委員長と連携して、クラブ内に米山奨学事業への理解を広めてもらう。

つづいて、大丸昌讓常務理事からも長年のご経験からの具体的な方策案が紹介されました。「ロータリー創立100周年という記念すべき年度のガバナーとして、自信をもって取り組んでほしい」という両氏からの激励は、ガバナー・エレクトの皆様にも力強く響いたようです。

3. 寄付金速報 ～米山月間に向けて

8月までの寄付金は、前年同期と比べ1.8%減、約6百万円の減少です。普通寄付金が0.5%減、特別寄付金が4.3%減です。これから地区大会、米山月間と続きます。8月14日付で全クラブ宛に米山寄付金マニュアルをお送りしました。会議や卓話の資料として必要な場合には別途必要部数を送付いたしますので、お気軽にお申し付けください。

4. 地区米山奨学委員長のメーリングリスト開設

～情報の共有・創意に向けて

「他の地区ともっとリアルタイムに情報交換したい」との声にお応えし、米山奨学会では、このたびメーリングリスト【委員長e-mailひろば】を開設しました。当該年度の米山奨学委員長でメールアドレスを持つメンバーで構成されます。8月28日の開設以来、各地区

のさまざまな工夫や企画が情報として寄せられています。一例をご紹介しますと……

- ・米山月間にむけた「米山〇×クイズ」の実施
(第2610地区 林 和夫 委員長)
- ・ユニセフにヒントを得た寄付者への礼状案
(第2760地区 加藤 知成 委員長)
- ・米山奨学生ホームステイ/地区大会での米山奨学生とロータリアンの集い計画など
(第2500地区 北川 健二 委員長)

9月中にはカウンセラーを対象としたメーリングリストも新たに開設する予定です。共通の課題に向かう仲間同士の交流、情報交換の新しいツールとして、ぜひご活用ください。

5. いよいよ開催まであと1ヵ月

～第1回米山奨学会学友会セミナー

米山初の学友会長有志連携プロジェクト「米山奨学会学友セミナー」までいよいよあと1ヵ月。実行委員長の唐偉氏(第2780地区米山奨学会学友会会長)は、「外国人犯罪が取りざたされていますが、それはごく一部のこと。このセミナーでは“平和と国際貢献にお

ける留学生の役割”をテーマに、真剣に生きる留学生の声を社会にアピールしたい」と抱負を語ります。

懸賞論文入賞者による講演やパネルディスカッションなど、学友が工夫を凝らした企画がいっぱいです。米山を通じてロータリー精神を受け継いだ学友たちの新たな挑戦に、ぜひ温かいエールをお送りください。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

6. 10月は米山月間です!

～月間資料配布スタート

米山月間に向けて、米山奨学事業の新年度版資料(※)を全クラブ宛にお送りいたします。追加送付も承りますので、お気軽にご用命ください。

なお、ポスターは9月下旬に各ガバナー事務所に1セットずつお送りいたします。今しばらくお待ちください。

- (※) ・ワークブック2003 (各クラブ10部)
- ・月間リーフレット (全クラブ員分)
- ・2002年度事業報告書 (各クラブ10部)
- ・統計・資料編 (各クラブ1部)

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます			
大口寄付者			
札幌南 R C	遠藤 正之 会員	8月15日	
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー			
函館北 R C	小笠原 孝 会員	8月22日	
札幌東 R C	小野 道男 会員	8月29日	

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます			
米山功労者			
江別 R C	吉田 欣司 会員	8月27日	第1回
苫小牧北 R C	丸屋 憲一 会員	8月27日	第4回

お 知 ら せ

当クラブ長谷川久夫会員は、平成15年8月11日のクラブ理事会において会員身分の終結を決議し退会となりましたので公告します。今後当クラブとは一切関係がありませんのでお知らせ致します。

平成15年8月11日

札幌セントラルRC

会 長 芹 田 馨

長谷川久夫会員は平成15年8月11日所属クラブ理事会において会員身分の終結を決議されたため、当地区世界社会奉仕委員会委員の身分は自動的に失いましたのでお知らせ致します。

平成15年8月11日

国際ロータリー第2510地区

ガバナー 佐 藤 秀 雄



2003年8月11日まで札幌セントラルRCに在籍した長谷川久夫氏は2003年8月12日から同クラブの会員ではありません。従って地区のWCS委員でもございません。

長谷川久夫氏は2003年6月30日(月)からサハリンを訪問するに当たり、地区WCS委員会から728,500円の支出を要求し受領致しました。しかしこの要求自体が適切なものではなく、またこれが適切に使用された証拠が提示されておりません。従って同資金を個人的に費消した疑念を払拭できないだけでなく、結果的に地区に多大な迷惑をかけたことになりかねない状況とわかりました。そこで、同氏にこの疑念を払拭していただくか、受領された金額を返済されるよう8月29日付内容証明郵便にて要望致しました。

残念ながら期日までに何の返答もございません。やむを得ず札幌セントラルRC所属の田中宏弁護士を介し、現佐藤秀雄ガバナーの代理人として支払い方の催告書を9月9日付で提出致しましたが、これに対する応答も9月20日の期日までにございませんでした。

対応についてガバナー以下、関係者一同で論議した結果、同氏には支払う意志がないと判断致しました。しかし、これを訴訟に持っていくべきか否かについては問題のあるところでもあります。そこで、関係者一同が同氏への適切な指導が出来なかった責任の一端として、支払い金額の一部を弁償すべく寄付を募ることに致しました。その結果、ここに530,000円の寄付金が集まりました。この寄付金は直前年度WCS委員会に対するものですが、特別地区資金寄付金として計上のうえ、現年度特別資金へ繰越されました。そして初期目的に沿って現年度WCS委員会事業にて使用されることとなっております。

以上の経過と結論を会員諸子にお知らせ致します。

*** 掲示板 ***

・例会会場移転の案内

浦河 R C 10月7日(火)の例会より下記会場に変更します。
 浦河ウエリントンホテル
 (〒057-0013 浦河郡浦河町大通3丁目40-1)
 電話 01462-2-8888 FAX 01462-2-8525
 E-mail: ta-jtte@technowave.ne.jp

※9月30日以降のご連絡、郵便物については新例会場宛にご送付下さい。

・例会の変更について

江別 R C	10月14日(火) 18:00~ 江別・江別西ロータリークラブ 合同例会 場所: 江別市民会館21号室 (江別市高砂町6番地)	10月30日(木) 休会 (定款第5条第1節Cによる)	
江別西 R C	10月21日(火) 職場訪問例会 場所: 江別市新ごみ処理施設	小樽南 R C	10月18日(土) 16:30~ 小樽 R C 合同例会 (小樽 R C 創立70周年記念事業) 場所: ヒルトン小樽
千歳セントラル R C	10月21日(火) 休会	芦別 R C	10月10日(金) 18:00~ 観楓会 (夜間例会) 場所: 鮭広
岩見沢東 R C	10月28日(火) 休会		10月14日(火) 移動例会 (赤平 R C と合同例会) 場所: 赤平交流センターみらい
室蘭東 R C	10月8日(水) 職場訪問例会 場所: 新日本製鐵株式会社		10月17日(金) 休会
	10月15日(水) 休会 (定款第5条第1節による)	白老 R C	10月7日(火) 12:30~ 職場訪問例会 場所: 新栄砕石工業(株) (白老町字竹浦266)
	10月29日(水) 18:30~ 夜間例会クラブフォーラム (登別 R C 合同) 場所: 蓬峯殿	留萌 R C	10月1日(水) 休会 (定款第5条第1節Cによる)
羽幌 R C	10月16日(木) 夜間例会 (観楓会 in 岬温泉)		

2004~2005年度 ガバナーエレクト事務所開設のお知らせ

所在地: 〒059-0034 登別市鷺別町2丁目31-1

医療法人社団友愛会恵愛病院 (2階)

TEL: 0143-82-2510 FAX: 0143-82-2512 E-mail: keiai.hp.rc@triton.ocn.ne.jp

執務時間: 午前9時30分~午後5時30分 (土・日曜・祝祭日は休ませて頂きます)

尚、当事務所は2004年7月1日よりガバナー事務所となります。

皆様からのご連絡、情報をお待ち申し上げます。お気軽にお寄せください。

ガバナーエレクト 遠藤 秀雄

事務局 阿部 智子

竹浪 直美

8月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.8.31	増減	内女性	
1	深 川	3	43	43	0	2	84.17
	羽 幌	4	47	47	0	1	79.99
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	87.50
	小 平	4	16	16	0	0	68.75
	留 萌	4	64	65	1	0	89.35
	小 計		180	181	1	3	81.95
2	赤 平	3	35	35	0	1	83.99
	芦 別	4	58	57	-1	0	91.04
	砂 川	3	55	54	-1	0	98.02
	滝 川	3	109	110	1	2	78.00
小 計		257	256	-1	3	87.76	
3	美 唄	3	47	47	0	0	89.39
	江 別	3	46	47	1	2	94.07
	江 別 西	4	40	40	0	3	88.75
	岩 見 沢	4	100	101	1	0	90.77
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	94.37
	栗 沢	3	33	33	0	2	94.86
	栗 山	3	32	32	0	2	93.33
	当 別	3	42	42	0	0	76.19
	小 計		374	378	4	12	90.22
4	札 幌	3	113	123	10	0	98.72
	札幌あけぼの	4	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	30	0	5	89.29
	札 幌 北	3	54	56	2	5	88.10
	札幌モーニング	3	60	61	1	0	76.51
	札 幌 西	3	74	76	2	2	94.67
	札 幌 西 北	3	50	51	1	2	92.19
	札 幌 手 稲	4	44	44	0	0	100.00
	小 計		443	459	16	15	92.44
5	札 幌 東	3	118	118	0	0	98.77
	札 幌 清 田	4	29	29	0	5	98.72
	札 幌 幌 南	4	81	81	0	0	99.36
	札 幌 真 駒 内	3	46	46	0	2	97.60
	札 幌 南	4	90	93	3	0	95.71
	札幌大通公園	4	19	20	1	5	73.68
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	75.00
	新 札 幌	3	36	38	2	1	83.33
	小 計		438	444	6	18	90.27
6	岩 内	3	35	36	1	0	73.12
	倶 知 安	4	57	57	0	4	77.15
	小 樽	4	88	88	0	0	84.12
	小 樽 南	4	86	86	0	0	82.67
	小 樽 銭 函	3	22	22	0	3	77.28
	蘭 越	3	15	15	0	0	80.00
	余 市	3	46	46	0	4	89.10
	小 計		349	350	1	11	80.49

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,353人 (96人)
増加会員数	49人
当月平均出席率	84.57%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.8.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	72	74	2	2	90.54
	千歳セントラル	3	31	31	0	0	82.50
	恵 庭	3	50	50	0	0	87.23
	北 広 島	3	15	18	3	2	88.24
	長 沼	3	17	17	0	4	86.50
	由 仁	3	16	16	0	0	72.92
小 計		201	206	5	8	84.66	
8	え り も	3	23	25	2	0	72.00
	三 石	4	18	18	0	1	95.80
	様 似	4	20	20	0	2	63.75
	静 内	3	68	67	-1	0	80.09
	浦 河	3	42	42	0	1	86.18
	小 計		171	172	1	4	79.56
9	伊 達	1	55	55	0	0	78.86
	室 蘭	3	56	57	1	0	97.58
	室 蘭 東	3	48	50	2	0	86.33
	室 蘭 北	3	39	39	0	2	79.49
	登 別	3	39	39	0	2	84.62
	洞 爺 湖	5	12	11	-1	0	86.35
	小 計		249	251	2	4	85.54
10	函 館	3	101	106	5	0	80.96
	函 館 亀 田	4	47	48	1	1	75.00
	森	3	48	48	0	0	78.00
	七 飯	3	29	29	0	0	61.00
	長 万 部	3	12	14	2	0	69.04
小 計		237	245	8	1	72.80	
11	江 差	3	21	20	-1	0	78.50
	函 館 五 稜 郭	4	64	69	5	0	88.14
	函 館 東	3	60	62	2	6	80.37
	函 館 北	3	43	43	0	0	82.11
	上 磯	3	33	33	0	3	58.60
	松 前	2	9	9	0	1	87.50
小 計		230	236	6	10	79.20	
12	白 老	4	32	32	0	2	70.00
	苫 小 牧	4	61	61	0	0	74.05
	苫 小 牧 東	3	33	33	0	3	85.42
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	93.75
	小 計		175	175	0	7	80.81
合 計		3,304	3,353	49	96	84.57	

地区カレンダー（10月・11月）

10 月 職業奉仕月間・米山月間	
1(水)	公式訪問(栗沢RC、栗山RC)
2(木)	
3(金)	
4(土)	
5(日)	地区大会記念囲碁大会(札幌市:アスティ45)
6(月)	
7(火)	
8(水)	
9(木)	
10(金)	第1回全国青少年育成委員会(東京)
11(土)	公式訪問(三石RC、えりもRC、様似RC、静内RC、浦河RC)
12(日)	
13(月)	体育の日
14(火)	公式訪問(千歳RC、千歳セントラルRC)
15(水)	
16(木)	第3回ロータリー市民講座 (主催:地区職業奉仕委員会)
17(金)	
18(土)	小樽RC創立70周年記念式典
19(日)	
20(月)	
21(火)	
22(水)	
23(木)	地区大会記念ゴルフ大会 (千歳市:シャムロックCC)
24(金)	地区年次大会(千歳市)
25(土)	地区年次大会(千歳市)
26(日)	
27(月)	
28(火)	
29(水)	
30(木)	
31(金)	

11 月 ロータリー財団月間	
1(土)	ローターアクト地区協議会 岩見沢RAC創立35周年記念式典
2(日)	
3(月)	文化の日
4(火)	
5(水)	
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	勤労感謝の日 北海道RAC交流会
24(月)	振替休日 北海道RAC交流会
25(火)	
26(水)	ロータリーの友座談会(東京)
27(木)	ロータリー財団地域セミナー(東京)
28(金)	第2回ガバナー会、第2回ガバナーエレクト研 修セミナー(東京)
29(土)	ロータリー研究会(東京) ロータリー市民フォーラム(札幌)
30(日)	ロータリー研究会(東京)



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003

2003-2004 GOVERNOR'S

11

MONTHLY LETTER No.5

2003.11.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan

Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
ガバナー・ノミニー決定宣言	3
財団月間に因んで/財団月間に際して	4
財団人道的補助金について	5
財団月間によせて	7
G S E 派遣メンバーフィリピンへの船出	9
2004年O S A K A で世界と出会おう	10
ライラセミナー報告	14
ロータリー市民フォーラムのご案内	17
新世代・青少年交換委員会報告	19
姉妹クラブ・友好クラブ一覧	21
ある葬儀に参列して	22
クラブ報告(函館北RC)	23
お知らせ/新入会員のご紹介	24
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	25
ハイライトよねやま44	26
文庫通信	27
掲示板/訃報	28
9月会員数・出席率	29
地区カレンダー	30

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

11月1日から以下が適用されますので宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

- ・ロータリー・レートが11月1日から1ドル110円に変更されます。
- ・R I への送金（人頭分担金・資料代）専用口座、ロータリー財団への送金（寄付金）専用口座があり、各口座の振替は一切できませんので送金時にはご注意ください。専用口座はそれぞれの専用送金明細書に記載されています。財団への寄付は寄付者のID#を記入してください。クラブ寄付は指定のない限り年次寄付となります。
- ・その他の送金にも送金明細書をファックスにてお送りください。送金明細書がないと未処理の扱いとなり送金明細書が到着した時点でのロータリー・レートが適用されます。

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3

NS3ビル1階

国際ロータリー日本事務局 経理室

Tel : 03-3903-3183 Fax : 03-3903-3781

ガバナーメッセージ



財団に協力しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は財団月間である。R I と R 財団は車の両輪と言われる。片方がパンクをすると前には進めない。公式訪問時一貫して財団の年次寄付と指定寄付であるポリオの寄付をお願いして来た。年次寄付について R I は2005年度まで地区平均一人当たり100ドルを推奨しているが、当地区における目標額は25万ドルである。この数字は72クラブの会長エレクトから、当年度の目標額を報告していただいた合計を国際協議会開催時に R I に報告した数字である。当地区の期首会員は3,304名であるから、R I の推奨から言うと33万ドルと言うことに成るのだが…。財団の詳細について私自身わからないが、毎年1月ごろ財団から「年次報告書」が発刊される。これは前々年度におけるものであるが、これを読むと世界のロータリアンから幾ら位の年次寄付が集まり、恒久基金の収益がどのくらいで主にどのように使われているかが判るようになっている。クラブ会長は会員にこれを報告する義務がある。これを怠ると財団は益々不透明な存在となり協力は得られない。又、R I は1985年にポリオ・プラスプログラムを立ち上げた。目標額を世界の5億人の子供たちに12セントのポリオワクチンを2回投与し2000年までに世界からポリオを無くそう。そして5年間ポリオが発生しなければ2005年の R I 創立100周年に終結宣言をしようとの計画である。1億2千万ドルを目標と

した寄付は倍以上の2億4千7百余万ドルに達したため、1988年のフィラデルフィア世界大会において勝利宣言をしたのである。これにより日本のロータリアンはポリオが終了したと判断したのです。しかしポリオは世界から無くならなかった。そこで関係者が集まり2005年度までに世界からポリオを追放しようとして決議し、10億ドルかかる費用の内ロータリーは8千万ドルを負担する。日本は千玄室氏が R 財団管理委員会委員として、2割の1千6百万ドルを負担するとの誓約をした。これを日本のロータリー会員数で割ると約150ドルとなり、昨年的小林年度、今年度そして次の遠藤エレクト年度の3年でもって達成したいとの願いから、再度の寄付をお願いすることとした訳です。いまだポリオが発生している後進国の国々において一旦ポリオに罹りますと先進国のような身障者施設が整っていないため多くの人達は健常者社会から見放され悲惨な生涯を送る事と成るのです。地区内会員が50ドル(約6,000円)を拠出していただくと何百人もの子供たちをポリオウイルスから守る事が出来るのです。第2500地区の地区大会において第2830地区(青森)の関場 P G が講演で言っていました。海外青年協力隊でアフリカに行ったとき真っ暗闇の路地の中に目だけがぎょろぎょろしている四つんばいの動物がいる。よく目を凝らしてみると、それはポリオに罹った子供だったと…。

ガバナー日記(3)

ガバナー 佐藤 秀雄

8月1日(金)佐藤公委員長の地区ロータリーの友委員会が当事務所で開催され、今年度の編集方針及び委員会の年間開催日等が討議され充実した2時間だった。8月2日(土)前泊で財団セミナー出席のため夕刻千歳空港を立ち東京に向かう。3日(日)森本地区財団委員長、伏木地区補助金委員長の3人で9:00から17:00まで「ロータリー財団セミナーハンドブック(2003年8月3日改訂)」に基づき講義を受けた。8月25日(月)森本地区財団委員長の委員会が東京で受講した改訂部分を委員に伝授するため委員長の会議室をお借りし開催された委員会に出席。8月26日(火)岩城委員長の地区100周年記念委員会がパークホテルで開催され、次々年度ロータリー創立100周年に当たり地区そしてクラブがどのような事業を展開すべきかにつき話し合われた。8月30日(土)米山記念奨学会の評議会出席のため東京に向かう。

公式訪問

7月28日(月)戸部アナマリア第4グループガバナー補佐から各クラブ訪問の報告書を提出頂き大いに助かる。今日は直前ガバナーの所属する札幌北RCが入っての合同例会のため期待と緊張をもって木村地区代表幹事とともに札幌に向かう。16:30から戸部ガバナー補佐の司会のもと会長・幹事懇談会に入る。札幌北RC城木会長からクラブ概況報告の後クラブ内の融和につき話し合った。17:10札幌はまなすRC大石会長は女性会員を初めて入れたがクラブが非常に和やかに成ったとの報告あり嬉しい。17:50札幌モーニングRC池上会長は会員の平均

年齢が若く例会ではラジオ体操、自作の曲3曲あり活発に活動している。18:30合同例会、4人の新会員の入会式があり会員一人一人にバッジを付けさせて頂いた。8月5日(火)今日は札幌西RC公式訪問のため上井地区幹事とともに三越にJRで向かう。11:30定刻戸部ガバナー補佐の司会で懇談会に入る。村上会長は会員のピークは140名位いたが現在はその半分に減少したので80名まで増強したい。国際奉仕、特に交換留学生に力を注いでいる。8月6日(水)歴史と伝統の札幌RCと札幌西北RCの合同例会。高慶代表幹事補佐と車で札幌グランドホテルに向かう。札幌RCの内山会長はクラブ側から報告することは無いと言うので、ポリオの寄付についてお願いした。札幌西北RCの大野会長は女性会員を増強したい。家族に理解してもらおうクラブ例会を増やしたい。マジニアベRI会長はロータリー家族を巻き込んだロータリー活動を盛んに推奨している。この方針に添ったクラブ運営に大いに満足。8月9日(土)札幌あけぼのRCと札幌手稲RCの合同例会のため高慶代表幹事補佐と三越の例会場に向かう。定刻11:00札幌あけぼのRCの染谷会長は隣人との握手から四大奉仕活動に邁進したい。そして身の丈にあった奉仕活動を推進する。今年度から入会金を10万円から5万円に減じた。11:40札幌手稲RCの山本会長は土曜日を例会日とし、事業は中学生のスポーツ大会を実施18校から約2千名の参加、高校生に対し奨学金の授与そして青少年交換事業等に力を注いでいる。

ガバナー・ノミニー決定宣言

国際ロータリー第2510地区

会員各位

2005～2006年度国際ロータリー第2510地区ガバナー・ノミニーの選出については、地区ガバナー指名委員会より、塚原房樹君（札幌東RC）が選出された旨、報告を受けました。

所定の期日までに、いずれのクラブからも他の候補者が出ませんでしたので、国際ロータリー細則第13条第2節（13.020.）に基づき、塚原房樹君を2005～2006年度第2510地区ガバナー・ノミニーとすることを決定し、ここに宣言致します。

2003年10月27日

ガバナー 佐藤 秀雄



塚原 房樹（札幌東RC）

生年月日・出身地 昭和10(1935)年10月7日・東京
 自宅住所 〒064-0953 札幌市中央区宮の森3条13丁目5-23
 職業分類 食肉加工
 勤務先 (株)ホクビー 顧問
 (有)青樹社 代表取締役

【学歴】

1956年3月 旭川東高校卒業
 1959年3月 早稲田大学第一法学部卒業

【職歴】

1959年4月 (有)青樹社設立 専務取締役
 1971年4月 (株)ホクビー設立 代表取締役社長
 1985年5月 " 代表取締役会長
 2003年5月 " 顧問
 2003年6月 (有)青樹社 代表取締役

【ロータリー歴・クラブ】

1977年1月 札幌東ロータリークラブ入会
 1983-84年 同クラブ幹事
 1997-98年 同クラブ会長

【ロータリー歴・地区】主なもの

1988-89年 地区幹事
 1990-91年 地区社会奉仕委員長
 1992-93年 地区幹事・地区リーダーシップ養成副議長
 1996-97年 地区情報委員長・地区史編纂委員長
 1998-99年 地区職業奉仕委員長
 2000-01年 地区文献資料室室長
 2002-03年 地区文献資料室室長・ロータリー100周年記念委員

マルチプル・ボール・ハリス・フェロー
 ベネファクター
 米山功労者



ロータリー財団月間に因んで

地区ロータリー財団委員会

委員長 森 本 正 夫 (札幌西北RC・PG)

今年も8月上旬に東京で財団地域セミナーがありました。ご承知のように、寄付が思うように集まっていないことや会員の減少について歯止めがかかっていないことなどについて討議が重ねられました。日本は、経済の低迷下にあっても、年次寄付が一人平均で84ドルと、世界の平均額の46ドルに比べれば、相当に高い額となっています。しかし、2001年の規定審議会で、2005年までに一人当たりの寄付額が100ドルと設定されたわけですから、やはり範を垂れるべく努力して行きたいものです。

幸いにも、私が財団委員長になって以来三年目にして初めて、このところようやく日本経済にも回復の兆しが見え始めてきたところです。「三度目の正直」といいますか、三年目の正直といいますが、い

ずれにしましても、状況が好転していることは非常に喜ばしいことです。この機会を逃さず、ロータリー活動の広報を続けながら、会員を増やしていくことによって活動資金の確保をはかりたいものです。そのうえで、活動内容を精査し、使途を明確にした上で、具体的数値を示しながら目標金額に向けて資金集めをすることが、最も現実的な方法であると思います。

佐藤ガバナーのご指導のもと、財団の各委員会の委員長や委員の方々々と力を合わせながら、会員一人一人からご支援いただけるよう努力していきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いたします。



ロータリー財団月間に際して

地区財団増進委員会

委員長 大 村 孝 男 (千歳RC)

11月はロータリー財団月間です。

ロータリー財団は、世界で善をなす限りない機会をロータリアンに提供するものです。今月、財団月間に当たり財団のプログラムは、世界中の何百万もの人々のためになるものであることを、改めてご理解いただくと共に、年次寄付ならびに恒久基金寄付について、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

ロータリー財団には年次寄付と恒久基金寄付の二つの寄付方法があり、その一つ年次寄付に関しまして、2001年の規定審議会で西暦2005年までに1人当たりの寄付を100ドルにする決議が採択されました。また、ジョナサンB. マジリアベRI会長からも1人当たり100ドルの寄付を達成するよう、要望されています。

年次寄付とは財団プログラムを継続させるための燃料の役目を果たすものであり、毎年クラブと地区は年次寄付の目標額を設定し、ロータリアンはこの目標額を達成するために努力しています。財団プログラムは年次寄付と恒久基金寄付によって成り立っており、これらの寄付は両方でお互いに補い合っています。と言いますのは、年次寄付は今日の財団プログラムを支え、恒久基金は明日へのプログラムを安定したものにします。年次寄付は3年間利殖のために運用された後、3年後に元金を使用されるものですが、恒久基金は元金は使われず、収益のみ使用されます。

年次寄付と恒久基金収益はシェア・システムにより、国際財団活動資金(WF)と地区財団活動資金(DDF)に配分されます。WFはRIの主催する

国際的奉仕に利用され、DDFは寄付された各地区に還元されて、地区および地区内各クラブの自主的な奉仕活動に役立てられます。ここで重要なことは、各クラブは寄付することで終わりではなく、還元されたお金を如何に有効に使うかということに目を向けていく必要があると思います。本年度より地区補助金の申請手続きが簡略化され、利用しやすくなりました。地区補助金とそれ以外のプログラムに対する補助金との一番の違いは、従来のプログラムに対する補助金では、ロータリー財団管理委員会の審査と承認が必要で、申請から承認まで相当の期間を要していましたが、地区補助金の場合は、地区ロータリー財団委員長の承認でよいことになりました。各クラブで積極的に活用していただければと思います。参考までに、WFとDDFの比率は、2003-04年

度の寄付金から、それぞれ50%（これまでは40%：60%）になります。シェア配分に影響するのは、3年後の2006-07年度からになりますが、従来と同額のDDFを使おうとすれば、本年度の寄付を20%増やさなければなりません。

財団の活動資金の70%以上は年次寄付によって賄われていますが、昨今の世界的なデフレ傾向により、アメリカとて日本ほどではないにしろ、投資運用収益に陰りが見られていることは容易に想像できます。

どうかロータリー財団の現状を今一度よくご理解していただきまして、1人当たり100ドルの寄付を各クラブで達成していただきますよう、お願い申し上げます。参考までに申しますと、2001-02年度の2510地区の年次寄付は1人当たり81ドルであります。ちなみに、日本の平均は84ドルです。



ロータリー財団人道的補助金について

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

ロータリー財団人道的補助金制度は、大きくわけて、地区補助金、個人向け補助金、マッチング・グラントの3種類があります。

I 地区補助金

地域社会に恩恵を与え、また経済的に恵まれない人々の生活を向上させるために、地区財団活動資金（DDF）を地区の裁量で使えます。

1. 当地区の裁量で使える金額は

2003～04年度 地区補助金は \$ 37,000
($\$310,760 \times 60\% \times 20\% \doteq \$37,000$)

2004～05年度 地区補助金は \$ 36,600
($\$304,526 \times 60\% \times 20\% \doteq \$36,600$)

3年前の地区の財団年次寄付額の60%が「地区活動資金：DDF」です。その内の20%が地区補助金として地区の裁量で自由に使える額です。

2. 申込と支払について

①お申込は、「ロータリー財団地区補助金プロ

グラム申込書」にご記入の上ガバナー事務所にお申し込み下さい。地区補助金としてふさわしいプロジェクトであれば、1ヶ月以内に承認を致します。地区補助金としてふさわしいプロジェクトの例、及び補助金の審査条件は、ガバナー月信9月号11ページをご覧ください。

②お支払は、「地区補助金ロータリー財団への報告書」を補助金委員会に提出して下さい。受付後、特別な事情がなければ2週間以内にお支払いを致します。

3. 7月～9月末日までに下記、6件のプロジェクトが承認されました。

①札幌西RC：補助200,000円

札幌育児園児約50名を札幌市円山動物園に招待する。保護者のいない児童、虐待されている児童、家庭が崩壊し愛に飢えている児童をロータリアンおよびその家族が1日里親として円山動物園に招待し、共に遊ぶことによ

て愛を勇気を交換する。(申請額：200,000円)

②白老 R C：補助550,000円

白老ロータリークラブ創立25周年記念事業「全盲のオルガニスト大島彰コンサート」の開催。どんな障害があっても「やればできる、目標を持って生きる」ことの大切さを子供達に伝えたい。白老町4中学校全員と高校生、一般市民、障害者を招待する。

(申請額：1,419,600円)

③苫小牧東 R C：補助500,000円

平成14年苫小牧ロータリークラブが立ち上げた苫小牧少年少女合唱団と苫小市民管弦楽団、苫小牧ウィンドアンサンブルとの3団体の競演による演奏会を行う。盲人、何らかの障害をもった方々を招待し、多くの方にロータリーの心を理解してもらう。1,500名規模、NHK室蘭の後援、全国に発信。

(申請額 1,000,000円)

④苫小牧北 R C：補助200,000円

北海道ベアーズ(下肢に障害を持つ人たちのアイスホッケーチーム)支援活動。

北海道のほか八戸市、東京都、その他の選手達で全日本チームを結成し、2003年ソルトレークの冬季パラリンピックに参加。アイスホッケーリンクを時間借りして練習するのを援助して2006年冬季パラリンピック出場の目標に対し援助する。(申請額：200,000円)

⑤七飯 R C：補助149,000円

「おいしく学ぼう」親子で栄養・健康指導を受けながら料理を作る機会を町内の施設を利用。キーワードは親・子供・地域のニーズの3つです。地域(町)は生活習慣病の発症を防ぐための健康政策を進めようとしています。

(申請額：199,000円)

⑥恵庭 R C：補助300,000円

恵庭相撲協会とロータリークラブが共催、9月の秋祭りに相撲大会を行い、小学校6校で約400名が参加。ロータリアンも手伝うなど地域に密着した活動。(申請額：370,000円)

4. 2003~04年度 残額約210万円。受付順に審査をしていきます。

尚、次年度2004~05年度は、36,600ドルの枠があります。次年度のプロジェクトも2004年3月末までにプロジェクトの申請をされますと、2004年7月中には支払が可能になります。

II 個人向け補助金

ロータリー国において最長60日の期間、有資格の国際的な人道奉仕活動のための旅費を補助するために個人向け補助金を提供しています。資金は、将来の人道的プロジェクトあるいは地域社会に恩恵を与える直接的な奉仕活動を計画するために提供されます。

III マッチング・グラント(同額補助金)

海外で人道的プロジェクトを実施するために、プロジェクト実施国とプロジェクト支援国の2つのロータリークラブ或いは2つの地区が協力して行うプロジェクトに提供されます。

※3年前の財団年次寄付金額の40%が「国際財団活動資金：WF」です。特にマッチング・グラントは、申請が多く承認されるまでに年度を越しているようです。

※個人向け補助金及びマッチング・グラントに関する説明は、下記ウェブサイトへ

<http://www.rotary.org/languages/japanese/downloads/index.html>

留意点：ロータリー財団の方針および指針に従わなかった場合、適切に使用されなかった補助金を地区が全額返済することになりかねず、最高5年まで補助金の受領が禁じられることがあります。



財団月間によせて

地区国際親善奨学金委員会

委員長 土橋 信男 (札幌南RC)

本月は財団月間です。財団プログラムのうちで最大のものが財団国際親善奨学金制度です。このプログラムは、国際理解と世界平和を促進するために、未来を担う若い世代を世界各地に相互に奨学金により派遣し、国際的感覚と異文化理解の感覚を持つリーダーシップのある青年として育てることが目的で、ロータリーの目的である世界平和の達成への人材育成という意味で最も重要なプログラムだと言えます。

以下に、簡単にその沿革と本地区の今年度の取組みを記しました。各位においてはこのことをご理解いただき、財団へのご芳志をお願い申し上げます。

1 財団奨学金の沿革と変遷

ロータリークラブの創設者、ポール・ハリスを記念するプログラムとして1947年に創設された国際親善奨学金制度はその規模においても、歴史においても世界最大のもので、ロータリー精神を最もよく表しているものだといつてよいといえます。

日本からの最初の派遣は1950年、その中の1人が前国連難民高等弁務官、そしてJICAの新理事長となった緒方貞子さんでした。現在、毎年派遣される全世界の奨学生数は約1,000名。これまでの累積は約35,000名になるということです。日本から選ばれている奨学生は約300名で、世界でも1、2番目に多い数です。奨学生は帰国すれば学友となりますが、学友の数は約7,000名になっています。

北海道の最初の名誉ある奨学生は女性で、1962年のことでした。それ以来毎年2～3名の派遣で推移していましたが、近年は毎年10人前後を選考してきています。

最初のうちは男性が圧倒的に多かったのですが、やがて女性が増え始め、10年前の1993年以降は女性が男性より多くなり、この数年は女性が圧倒しています。

なお、現在の奨学金の種類は、12,000ドル（3ヶ月）、19,000ドル（6ヶ月）、25,000ドル（1年）、24,000ドル（2年）の4種類があります。

2 本年度の取組み

本地区における奨学金の募集は毎年1月から行い、4月に締め切っています。申請書はクラブへ提出し、クラブからの推薦があった申請者を国際親善奨学金委員会で特別委員を加えた選考委員会を構成し、6月に書類、そして面接による選考によって最終合格者を決定しています。

本年度の応募者は30名。書類選考を通過した22名について面接し、11名を合格者とししました。合格者は財団で行われる最終審査のための書類を作成、ガバナーの承認を得て9月に送付、1月に行われる最終発表を待っているところです。

本地区では、こうした派遣奨学生の他に、第5010地区（アラスカ及びロシア極東地区）からロシアの奨学生を受け入れるための寄贈プログラムがあり、1999年以来毎年2名を3ヶ月間受け入れてきました。

しかし、本年は選考された奨学生が2人とも留学を取りやめたので、ロシアからの奨学生は来ないことになりました。

それに代わるように、グアムからの国際親善奨学生1名が、本地区への留学を希望してきましたので、受け入れることにして、ホスト（受入）クラブを札幌大通公園RCに依頼し引き受けていただきました。

派遣する11名と、受け入れる1名については、次に紹介します。

3 国際親善奨学生の紹介

以下に派遣する国際親善奨学生を紹介します。紹介の内容は、氏名、奨学金の種類、現在の所属、スポンサークラブ、留学希望国、そして選考に合格した喜びの一言です。



小野寺典子 3ヶ月 専門学校講師
札幌はまなすRC ドイツ

学生時代のゼミでドイツの教育や福祉の特色を知り、いつか留学したいと願っていた夢がロータリー奨学生としてかなうことになり感無量です。心から感謝します。



田口雅子 3ヶ月
北海道文教大学3年生
恵庭RC カナダ

英語の教員を目指すものとしてカナダの大学で英語教授法を学ぶ機会を与えられ身の引き締まる思いです。子連れ留学となります。親子ともども元気に乗り切りたいです。



竹原佐知 3ヶ月 藤女子大学3年生
札幌はまなすRC オーストラリア

念願が叶いオーストラリアで学ぶことが出来ることを感謝しています。いずれは人のために役立てる人間になれることを目指し、精一杯自分磨きをしてこようと思います。



本田康二郎 3ヶ月
北海道大学大学院博士課程
札幌西RC フランス

科学技術倫理を専攻しているものとして、この分野で独創的な研究者の多いフランスで語学の習得の機会を与えられ感謝です。充実した時を過ごせるよう全力で取り組みます。



若山薫里 3ヶ月 北海道大学2年生
新札幌RC 韓国

夢だった留学に一步近づき意欲が湧いています。韓国では語学の勉強にとどまらず、人々や風土にも触れ、親善大使としての役割を果たしてきたいと思っています。



鳴海ゆきの 6ヶ月 NPO職員
札幌モーニングRC スペイン

平和教育の研究と国際機関で働くために英語以外の語学としてスペイン語の習得をする予定です。日本との架け橋として、また親善大使として努力いたします。



徳織智美 6ヶ月
北海道大学大学院博士課程
札幌西北RC セネガル

アフリカ研究において欠かせない語学の習得に加えて、現地の文化や社会を学ぶためにセネガルを留学地として希望しました。自分の可能性を広げるために努力してきます。



笹村久美子 1年
北海道大学大学院修士課程
苫小牧北RC ロシア

スラブ社会文化論を専攻するものとしてロシアで1年の留学の機会を与えられ非常に嬉しく思っています。国際親善使節としての役割を果たせるよう努力してまいります。



浅野仁子 1年 HBC勤務
札幌西RC イングランド

イギリスの大学院で「メディア教育」について学ぶ予定です。自分の歩みを確かめつつ、更に新しい分野への挑戦を始めます。大きなチャンスを与えて頂き感謝で一杯です。



任明秀 2年
北海道大学大学院修士課程
岩見沢RC 韓国

留学によって日本と韓国と在日という三つのコミュニティを理解することが可能になると思います。学問的にも人間的にも成長する機会を与えて下さり深く感謝します。



水島梨紗 2年
北海道大学大学院博士課程
札幌北RC カナダ

対人コミュニケーションの研究をカナダの大学院で2年間行える機会を与えていただき心より感謝です。積極的に現地の方々と交わり国際親善の役割を果たす所存です。

グアムからの受入奨学生



ロレーナ・スナア (Lorena Snaer) 3ヶ月
グアム大学4年 トゥモンベイRC
札幌大通公園RC (ホストクラブ)
グアムからきました。8人姉の末っ子です。ホストファミリーの川西さんの家族と、札幌大通公園RCの皆さんに親切にいただき有難うございます。一生懸命に日本語をI A Yで勉強します。ヨロシクお願いします。



勢ぞろいした11人の奨学生



空港で出迎えた川西ホストマザーと阿辺ホストロータリアンとにかこまれて



GSE派遣メンバーフィリピンへの船出

地区GSE委員会

委員長 山名善久 (札幌南RC)

平成16年2月18日から3月24日までの5週間、当地区からのGSEメンバーが職業研究のために派遣されます。今回は4人の若者がRI第3830地区・フィリピンに出発します。4人のメンバーについては地区のホームページで紹介していますが、彼らは既にフィリピンに出かけるための船出をしました。メンバーは佐久間慎二(北海道新聞)、紺野拓美(桜井美容室)、小嶋裕美(札幌社会保険総合病院)、福地信昭(北海道赤十字血液センター)の4人と、船長役の戸部謙一リーダー(札幌西ロータリークラブ)の合計5人です。

GSE委員会は、この若者達がGSEプログラム

で最も大きな成果を挙げることが、このプログラムに対する財団からの資金を最も効果的に活かすことになると考えています。そのために委員会では事前指導を充実する目的で、派遣のための研修係を作り、委員会全体でバックアップする体制を作りました。実際の事前研修会は既に出発の1年前にあたる今年の2月に始めました。それ以後月1回の割合で開かれています。

第1回の研修会は2月25日にルネッサンス・ホテルを会場にして、選ばれた4人のメンバーと戸部リーダーがはじめて一堂に会しました。最初の研修会であることから、この会には委員会の研修係だけでな

く、GSE委員も全員が出席する形で進められました。最初に山名委員長からロータリーとGSEに関して説明がなされました。その他、戸部リーダーからフィリピンについて、GSE委員から現地での研修等について説明がありました。更に、4人のメンバー各人に、英文文書作成その他の相談相手として4人の委員が割り当てられました。

現在までに8回の研修会が実施されました。残り4回の研修では現地で行う英語でのプレゼンテーショ

ンやGSEプログラムのための英語会話の練習その他を行う予定です。出発前には研修会の成果を披露する会、壮行会なども計画しています。GSE委員会としては、私たちが派遣する4人の若者が、昨年フィリピンから受け入れた若者が当地区で経験したと同じような感動を心に持って帰ってくることを心から期待しているところです。

(文：高橋 宏地区GSE委員)

10月11日に行われた自主研修の様様



オン・ツー・大阪委員会

2004年 O S A K A で世界と出会おう

ロータリーの国際大会が26年ぶりに日本で開催されます。国内外から4万人のロータリアンが関西に集い、日頃の活動報告やワークショップなど国際交流の年間最大イベントが行われます。関西のおもてなしの心にふれ、新たなるロータリーの未来を語り合う場所として大会に是非ご参加ください。大阪の会場は大阪ドームのほか、大阪国際会議場、リーガロイヤルホテルとなっており5月23日(日)から始まり、5月26日(水)の21時30分までの閉会式で終了いたします。開催地であります2660地区の方々及び周辺地区の方々は大変張り切っており日本全地区から25,000人位を参加予定に考えております。当地区も700名位は参加して頂きたいと計画しております。会員の方のみならず、ご家族でご参加するの家庭

の絆を深めるには格好のチャンスと考えられます。そして、大阪においては「北海道ナイト」もこの計画に入れて楽しみを深めてみたいと考えております。またこの大会に並行して青少年交換や国際研究会が開催される予定になっております。国際大会は地区大会とは違った国際色豊かな楽しめる大会であります。オン・ツー・大阪委員会ではAコース(1泊2日)、Bコース(2泊3日)、Cコース(3泊4日)を計画しました。又、オプションツアーも揃え皆様に国際大会を共に楽しんで頂こうと考えております。是非来年の大会には地区の方々とお大阪で交流を致しましょう。

(地区オン・ツー・大阪委員長 岩城 秀晴)

国際ロータリー2004年 国際大会(関西)スケジュール予定

月日(曜)	時間	行 事	開 催 場 所
5月20日(木)	午 後	プレコンベンション登録	大阪国際会議場等
5月21日(金)	終 日	プレコンベンション	大阪国際会議場等
5月22日(土)	終 日 終 日 終 日 夕 刻	友愛の家 プレコンベンション ホスト主催京都デー ホスト主催ウェルカムイベント	リーガロイヤルホテル 大阪国際会議場等 平安神宮他京都各所 NHKホール他周辺
5月23日(日)	夕 刻 終 日	開会式 友愛の家	大阪ドーム リーガロイヤルホテル
5月24日(月)	午 前 午 後 終 日 夕 刻	第2本会議 討議とワークショップ 友愛の家 ホストホスピタリティの夕べ	大阪ドーム 大阪国際会議場等 リーガロイヤルホテル 未定
5月25日(火)	午 前 午 後 終 日 夕 刻	第3本会議 討議とワークショップ 友愛の家 ホスト主催パークフェスタ	大阪ドーム 大阪国際会議場 リーガロイヤルホテル ユニバーサル・スタジオ・ジャパン
5月26日(水)	午 前 終 日 夕 刻	第4本会議 友愛の家 閉会式	大阪ドーム リーガロイヤルホテル 大阪ドーム

< 航空+ホテルのセットプラン >

Aコース：1泊2日コース/2004年5月23日(日)～5月24日(月)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 17:00頃 新千歳空港	ホテル		

Bコース：2泊3日コース/2004年5月23日(日)～5月25日(火)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	終日自由行動	ホテル		
5月25日(火)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 17:00頃 新千歳空港	ホテル		

Cコース：3泊4日コース/2004年5月23日(日)～5月26日(水)

月日(曜)	ス ケ ジ ュ ー ル	食 事		
		朝	昼	夜
5月23日(日)	11:00頃 新千歳空港 → 13:00頃 伊丹空港 → 大阪ドーム			
5月24日(月)	終日自由行動	ホテル		
5月25日(火)	終日自由行動	ホテル		
5月26日(水)	ホテル …………… 伊丹空港 → 15:00頃 17:00頃 新千歳空港	ホテル		

※航空設定便以外のご希望の方は、申込書の備考欄に希望日、時間帯をご記入願います。

各コース旅行代金のご案内 (予定)

- Aコース 49,000円
- Bコース 59,000円
- Cコース 69,000円
- 最少催行人員：各コース20名様以上
- 添乗員：同行致しませんが、係員が斡旋いたします
- 食事：日程表に記載
- 利用予定航空会社：日本航空・全日空
- ホテルクラス：スタンダードクラス
(大会事務局にて割当てます)

＜宿泊のみプラン＞

- 宿泊日：5月23日(日)・24日(月)・25日(火)
26日(水)
- 宿泊代金：10,500円 (予定金額)
(1泊朝付きサービス料金、税金込み・シングル部屋)

＜宿泊ホテルについて＞

今回はRotary Internationalとの契約に基づいて、ホテルを海外参加者と国内参加者に分けて手配致します。日本に不慣れた海外参加者には、大阪国際会議場や大阪ドームなどの会場にアクセスが便利な大阪市内のホテルを割当て、国内参加者には大阪周辺都市を中心に割当てる予定です。

現在、当地区の皆様には、神戸地区のスタンダードクラスのホテルが割当てされる予定です。実際のホテル名につきましては、当地区として、どの位の部屋数が必要かにより、割当てされるホテルも異なってきます。

2003年12月15日(月)が第1次宿泊申込切日です。この日までに、宿泊申込をお願い致します。この日を過ぎますと、ホテル確保が非常に困難となりますので、ご協力の程お願い致します。

＜お申込方法＞

- ◆ お申込金／おひとり様 10,000円
- ◆ お申込方法／参加申込書にご記入の上、下記宛先までFAX又は郵送にてお申込ください。お申込金は下記口座へ2003年11月25日(火)までに振込願います。振込送信者氏名欄の前にRCと記号を入れて振込願います。

例) 振込依頼人 RCやまだ たろう
申込書送付先／JTB法人営業札幌支店内
「ロータリー札幌ツアーデスク」
住所：〒060-0003 札幌市中央区北3条
西4丁目 日本生命ビルB1F
TEL：011-231-6677
FAX：011-232-5320
お申込金振込み口座／北洋銀行札幌駅南口支店
普通 131964
ジェイティービー法人営業札幌支店

＜参加申込書送付後のスケジュール＞

2003年12月15日(月)第1次宿泊申込切後、大会事務局より割当てホテルが確定、ホテル料金も確定しますので、お申込を受けた皆様へは、JTBより2004年1月15日頃、ホテル名確定、旅行代金確定のご案内並びに残金ご請求のご案内をさせていただきます。

なお、お申込金につきましては、ホテルデポジット(予約金)として充当させていただきますので、2003年12月16日(火)以降、取消されても返金できませんので、ご了承願います。(ロータリー大阪ツアーデスクとの取決めにより)

＜北海道ナイトのご案内＞

日時：2004年5月23日(日) 午後7時より
場所：大阪市内にて
会費：7,000円(予定)
申込方法：申込書に記載し、JTB宛に送付、代金はJTBの口座へ振込願います。振込送信

者氏名欄の前に R C と記号を入れて振込願います。

例) 振込依頼人 R C やまだ たろう
 会費振込口座/北洋銀行札幌駅南口支店
 普通 1 3 1 9 6 4
 ジェイティービー法人営業札幌支店

＜オプションツアーのご案内＞予定

- 最少催行人員：各コースともに20名様以上
- 添乗員同行
- 全コース昼食付き
- ツアー催行日：2004年5月24日(月)・
5月25日(火)
- ①京都ハイライト1日ツアー/12,000円
金閣寺—清水寺—嵐山—平安神宮
- ②京都トロッコ列車と保津川下り/
旅行代金おひとり様 15,000円
- ③奈良公園3名所めぐり1日/12,000円

奈良公園 (東大寺大仏殿—春日大社—興福寺・
国宝館)

- ④神戸市内めぐり1日/10,000円
神戸異人館街(車窓)—淡路ハイウェイオアシス—利き酒と見学—六甲山
- ⑤関西ゴルフツアー/平日プレイ 30,000円(送迎付き)
関西地区名門コースでのプレイ!

参加旅行・宿泊のお問合せ先

J T B 法人営業札幌支店内
 「ロータリー札幌ツアーデスク」
 住所：〒060-0003 札幌市中央区北3条西4丁目
 日本生命ビルB1F
 T E L : 011-231-6677
 F A X : 011-232-5320
 担当：高野(たかの)・東(あずま)

～楽しいイベントやショップで国際交流を深めよう～

= 友愛の家紹介 =

国際大会のひとつの花は、“友愛の家”のプログラムです。大阪国際会議場のエントランスとリーガロイヤルホテルの大宴会場とロビー、またステージを含めて3階および2階のほとんどすべてが“友愛の家”広場となります。

多くのロータリアンと気軽に触れ合う場にもなります。

●展示ブース

- ・ロータリーの奉仕プロジェクトの写真展示
- ・ロータリー99年の歴史の流れを見る
- ・ロータリー第2世紀へ向けての計画

●販売コーナー

- ・ロータリーグッズ
- ・日本のおみやげ
- ・その他、国際大会(関西)記念グッズなど

●軽食コーナー

- ・サンドイッチ、ホットドッグなどの軽食や、お好み焼きやたこ焼きなど関西の食も取り揃える予定

●呈茶席

- ・日本の伝統文化である茶道の体験コーナー。裏千家による茶道デモンストラーションを含めての紹介コーナー

●イベントコーナー

- ・ステージでの日本舞踊、日本楽器演奏(三味線、尺八、琴、笛など)
- ・ジャズ、スウィング、ブラスバンドなどの演奏を予定
- ・他、大道芸、チンドン屋等の出演も計画中

●インターネットカフェ

- ・自由にインターネットを楽しんでいただくコーナー

“友愛の家”もまだまだ計画段階です。上記は一例でこれから開催に向け、内容をさらに充実させるべく準備を進めてまいります。

“友愛の家”で、世界のロータリアンとの交流を深めましょう!

2003～2004年度ライラセミナージュニアクラス報告

日 時 2003年9月13日(土)～14日(日)

場 所 札幌NTTセミナーセンター

参加者 新世代67名、ロータリアン26名

今年度のライラセミナーは「平和をつくりだす」をテーマに平和について考えました。今や平和をつくり出すとは只単に戦争が無い状態を維持するだけでなく積極的にその因子である不公正や貧困を取り除いていこうとする動きに変化してきています。

「もし地球が100人の村だったら」というワークショップを通して体験的に学ぶ機会としました。このワークショップは単に知識を得てそれを理解するばかりではなく、自らが体験や他者の意見をを通して主体的に考え結論を見いだしていこうとする作業ですから、参加者はワイワイガヤガヤとファシリテーターの指導に従って学習を深めることができ、特に飢餓とか不足、という体験や私たち日本人にはほど遠いものだし、配分する難しさなどは一時的とはいえ貴重な経験となりました。

参加者を40名と30名のグループに分け、参加ロータリアンにも手伝っていただいてそれぞれのプログラム参加度を高める為の努力をしました。又、30名のグループには8名の交換留学生も加わり英語の説明があたりして国際色豊かなものになりました。一通りのプログラムが終了した後、一人一人に振り返りの時間があり気付きや再確認や新たな発見がありました。

ワークショップ終了後は、小グループに分かれてグループディスカッションをし、それぞれが自分の振り返りについて発表しました。同じ経験をしても

そこから得られるものは人によって大きく異なる場合があることや自分の思いや考えを他者に伝えることの困難さが実感されました。また、大勢の人の前で話す機会の少ないメンバーにとっては、どきどきしながらも発表し賛同を得る喜びを味わうことができたのではないのでしょうか。

夕食・懇親会のあとは体育館でバレーボール、バスケットボール、卓球などの軽スポーツを楽しむ日頃会うことの少ない新世代間の交流を深めることができました。

翌日は、奥貫一之新世代委員長のご挨拶、宮崎善昭ライラ委員長の謝辞に続き、佐藤秀雄地区ガバナーより講評がありました。ガバナーからは「もっと元気良くやろう」と激励の言葉があり代表2名にアワードが手渡されました。

この後、厚別区と白石区の体育館に移動して、折から開催されている聾啞者バレーボール大会のボランティアと見学をしました。私たちとは異なるバレーボールのルールで選手が思いっきり力を出してバレーボールの試合を楽しむことができるのを知り、まだまだ自分の殻に閉じこもっていて知らないことが多いものだと反省がありました。



ライラセミナージュニアクラスに参加して — 余市の高校生と共に —

地区ライラ委員会

委員 山田 昭 恵

去る9月13、14日に札幌市のNTTセミナーセンターにて開催された、当地区ライラ委員会主催のライラセミナージュニアクラスに、私立北星学園余市高等学校の男子生徒2名と道立仁木商業高等学校の男子2名、女子4名、引率の先生1名に参加して頂きました。

仁木の生徒は2年目の参加で、2名が連続参加でした。他校の生徒や、ロータリー交換留学生の面々と、ディスカッションやレクリエーションを通じて親睦交流を深め、生き生きと余市に帰って参りました。以下は、余市ロータリークラブにて発表されたそれぞれの感想です。私達ロータリアンが聞いていても、感動的なスピーチでした。地元でのリーダー養成、人材育成に一役も二役も買って下さった素晴らしいライラセミナーでした。

・北星学園余市高等学校2名の感想

鈴木康朗君—ライラのグループディスカッションで班長として発表させて頂いて、貴重な体験をしました。又、日本は豊か過ぎると感じ、自分も世界を

視野に入れた考えができる様になりました。これから、世界に何らかの形で貢献していけたらと思いました。

渡辺勇基君—一緒に参加した仁木商の生徒や他校の生徒と友達になれて、これも仲間の輪ということで、平和につながると感じました。食物を残したり無駄にしていた事も反省しました。

などと、身近な出来事から世界へと目配りするという心の広がりを感じました。

仁木商の生徒達もそれぞれ、テーマである「平和」について感じ入り深く思考した様で、地元でも、国際的に活躍する芽をもった高校生達が育成されているという実感を持つ事が出来ました。これも全て、当地区における新世代活動、ライラ、交換学生、インターアクトなどの育成部門の活動の賜物と、改めてロータリー活動の素晴らしさを認識した次第です。これからも、余市ロータリークラブとして、沢山の子供達をライラセミナーに送り出したいと思います。

(写真：余市RC平形秀哉会員)



ガバナーを囲んで盛り上がる、仁木商業の高校生達と交換留学生達ですがメール番号を教えあったり、なごやかな交流が芽生えていました。



余市RC例会にてスピーチする仁木商業の皆さんですが、ライラで体験した感動を一人一人の言葉で話していました。

2003～2004年度ライラセミナーシニアクラス報告

日 時 2003年9月27日(土)～28日(日)

場 所 札幌JR研修センター

参加者 新世代25名、ロータリアン31名

「平和」は無為無策ではあり得ない。「つくり出す」という能動的な人間の態度、行動の結果、平和になり得るのであるという基本的な考え方について再認識あるいは自己刷新することがセミナーの大きな目的です。

1日目は北海道被爆者協会から服部十郎先生をお招きし、講演とビデオ上映により広島での被爆経験を通して戦争の悲惨さ、人間の非業さを学習しました。経験者の語る内容には迫力と真実の重みがあり聞く者全てを釘付けにしました。

原爆ではありませんが、今この瞬間にも世界中で紛争や戦争により、多くの人々が被害者として同じように苦しんでいることを覚えさせられました。

夜の夕食懇親会は、地区ローターアクト柳孝一委員長の進行により日本人と奨学生がテーブルを同じくして夜が更けるまで熱く語り合いました。

翌日は参加者による意見発表がありました。それぞれの平和について関心のある事柄や昨日の講演に関する感想、意見など様々な文化や体験を通じた異なる意見が出て教育や文化・習慣、経験によって大きく考え方が異なることを実感しました。相互に差異を受容することが、これから人間が平和を築く上

で必要な営みの第一歩であることがよく理解できました。

ロータリークラブに連なる私たちは、「平和」を国家や制度という側面ではなく、1人1人の人間が人道という側面から「平和」について行動を起こすことが求められていることに改めて気が付きました。

義務を果たしさえすれば後は世界に12億人の貧困の人がいても何もしない傍観者であって良く、自分さえ平和であればそれを良しとする国家中心主義の時代はすでに過去のものになりつつあります。

次代を背負う新世代やロータリアンが決して傍観者にならず「平和をつくり出す」ことを自らの価値観の中に組み込んで生きることを参加者一同が願いつつ、佐藤秀雄地区ガバナーの励ましと勧めを頂き、多くの方々のご協力により会を閉じることができました。(報告：宮崎善昭地区ライラ委員長)



ロータリー市民フォーラム

児童虐待、タイからの報告と日本の対応

子供を取り巻く環境が日々悪化しており、新聞紙上でも子供が加害者、または被害者となるいたましい事件がいくつも報道されております。この極めて深刻な事態を、どう受け止め、どう対処すべきなのか。ロータリアンと市民と一緒に考えるフォーラムです。

特別講演（通訳付き）をタイで子供や女性に対する虐待問題に取り組み、駆け込み寺を設立して自立への手伝いを自ら行っているパベナ財団の理事長、パベナ・ホンサクンさんをお願いしています。その後、日本の現状を専門家の方からお話を聞き意見交換する会です。

他の国で起きている事という認識はもはや日本でも通用しなくなっております。タイの現状と併せ、今起きている深刻な事態の延長上にある日本の児童虐待の本質を皆さまと一緒に考えてみたいと思います。

多くの方の参加をお待ちします。

記

タイトル：ロータリー市民フォーラム

「児童虐待 タイからの報告と日本の対応」



特別講演：パベナ・ホンサクン氏
(タイ国・パベナ財団理事長)
通訳が付きまます。

パネルディスカッション

谷口 晃氏 (札幌市児童相談所・児童虐待対応担当)

太田 耕平氏 (医療法人耕仁会札幌太田病院院長
北海道社会教育委員)

松本伊智朗氏 (札幌学院大学文学部教授、北海道
子どもの虐待防止協会事務局長)

質疑応答

日時：11月29日（土）午後2時～5時

場所：札幌道新ホール（札幌市中央区大通西3丁目）

主催：国際ロータリー第2510地区

社会奉仕委員会、世界社会奉仕委員会

協賛：北海道社会福祉協議会、北海道子ども学会、
北海道子どもの虐待防止協会

後援：北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市
教育委員会、北海道新聞社、UHB北海道文
化放送

入場：無料（定員があります。当日はお早目にご来
場下さい）

子供と女性の為の、
パベナ・ホンサクン財団



バンコクの「クレットラカーン」の家は政府が運営し、虐待を受けたり騙されて売春を強要された子供と女性のために心のケアをする施設です。それと共に彼女たちが将来、仕事を探せるように教育し、仕事の研修を行っています。ある日パベナさんはその施設を訪問しました。そこで編物をしていた11歳ぐらいの女の子と出会ったことが今でもまだ目に浮かぶそうです。パベナさんは「何でここに来たの？」と彼女に聞きました。そうすると、その子が「義父に淫売屋に売られて、警察に助けってもらったので、ここに来ることができました。」と答えました。その瞬間、パベナさんは、たった11歳の子が身近な人に騙されて、淫売屋に売られるなんて、と非常に驚いたのです。パベナさんは自分の子供を自分の命より心配し、愛し、大切に育て、温もりを与え、十分にご飯を食べさせてきた母親として、このような差異を見て忍び泣きしたのでした。パベナさんはその後、何回も同

じような状況に陥った子供達に会ったのです。パベナさんは人の人生がこんなにひどいなんて知らなかったし、想像したこともなかったのです。その時から、子供と女性を救う仕事をしなければと決心したのです。それが動機で仲間と子供と女性の為の、パベナ・ホンサクン財団を設立しました。(パベナ財団のパンフレットからの抜粋)



全ての命は貴重である

あなたのたった一本の指でこの涙が止められる

緊急4つの番号をフリーダイヤル 1134

(パベナ財団のパンフレット表紙から)



パベナ・ホンサクンさんの略歴

バンコク選出国會議員

行政と民間セクターの提携による青少年問題の

円滑処理及び協力に関する委員会委員長

労働社会福祉省副大臣

総理府長官

児童及び女性のためのパベナ基金 理事長

バンコク空港ロータリークラブチャーターメンバー



当地区とのかかわり

4年程前、当地区世界社会奉仕委員会はこのパベナ財団に寄付をして活動の支援をしました。それをきっかけに、地区内のいくつかのロータリークラブ、ロータリアン個人が財団を支援するために独自に寄付をしており、いくつかのグループはバンコクにある財団本部を訪問し、救助され保護されている子供達と面談しております。

(文：対木正文地区社会奉仕委員長)



新世代・青少年交換委員会報告

佐藤秀雄ガバナー主催、懇談会開催報告

〔テーマ：青少年交換事業の望ましい方向性を探る〕

去る9月28日(日)午後3時より5時までの2時間、ライラセミナー終了の熱気もさめやらぬ札幌JR研修センターにて、「青少年交換事業の望ましい方向性を探る」をテーマに、ガバナー主催の懇談会が開催された。

出席者は次の方々です。

佐藤秀雄ガバナー、遠藤秀雄ガバナーエレクト、武石忠俊代表幹事、木村照男代表幹事、大川健一幹事、伊藤長英新世代委員会カウンセラー(PG)、奥貫一之新世代委員長、野澤幸平青少年交換委員長、以下青少年交換委員10名、長澤昇司(札幌東RC)、渡邊葉子(札幌西北RC)、高橋康則(苫小牧北RC)、上出利光(札幌西RC)、後平幸太郎(函館五稜郭RC)、菊池恒(札幌南RC)、馬場信吾(北広島RC)、赤裏茂(札幌モーニングRC)、荒木麻子(余市RC)の計18名にてとり行われた。残念ながら、前青少年交換委員長で現委員の清水慧子氏は欠席、渡辺哲則委員は所用の為、途中退席された。

佐藤ガバナーの開会挨拶を皮切りに、大川地区幹事の司会で、まずは、伊藤長英新世代カウンセラーより、委員会の歴史やあるべき姿をレクチャーして頂いた。

伊藤長英新世代カウンセラーよりのスピーチ

私は、地区新世代委員会カウンセラーの立場でお話をさせていただきます。国際ロータリーの手続要覧の第8章が、青少年への奉仕から新世代のためのロータリー・プログラムへと変更になったのは、1996年です。新世代のためのロータリー・プログラムとは、インターアクト、ローターアクト、RYLA(ロータリー青少年指導者養成プログラム)および青少年交換です。新世代とは、0歳から30歳までの若い人すべてを含みます。1999年5月私のガバナー年度の地区大会において「新世代の未来を築くフォーラム」を開催したことはご存知の方も多と思います。現在の新世代委員長である奥貫さんは当時地区幹事でしたが、そのフォーラムのコーディネーターを引き受けて頂きました。清水慧子さんには新世代委員として大変協力して頂きました。それ以来新世代委員会の行事にはインターアクト、ローターアクト、青少年交換学生は勿論、財団奨学生や米山奨学生でも30歳以下の人には参加して貰うようにしています。

2000年9月には、当地区においてしばらく中断していた「RYLA」を復活させ、新世代の皆さんが大勢参加されました。

それ以来毎年ライラセミナーが行われています。2002年7月からの小林年度には、地区組織も手続要覧の通り改められました。即ち、新世代委員会はインターアクト委員会、ローターアクト委員会、青少年交換委員会およびライラ委員会で構成されています。私が常に強調していることは、縦割りの組織にこだわらないで横の連絡を密にして行動することが大切であるということです。したがってライラには、新世代委員会のメンバーだけでなく、財団奨学生や米山奨学生にも参加して貰うようにしています。

さて、青少年交換事業は当地区では1969年以降これまで300人余の派遣と、略同数の受け入れを行っています。今までの歴史を振り返ってみますと、いろいろな問題は全員の協力によって解決してきています。歴代委員長さんは3年任期が普通で、時には2年で交代された方もおります。地区委員も任期は3年までと言うロータリーの良き慣例に従っていきたいものです。

今年度、野澤委員長のもとで委員会において不協和音があるように耳にしますが、私が思うことは、ロータリアンらしく行動して欲しいということです。ロータリー精神の基本は思いやりと助け合いです。昨年度のラタクルRI会長は、「慈愛の種を播きましょう」のテーマを掲げ、慈愛の心を強調されました。今年度のマジニアベRI会長は、「手を貸そう」と言っておられます。私の年度のレイシーRI会長は、「ロータリーの夢を追い続けよう」というテーマを掲げ、思いやりの心を強調されました。全員がそういうロータリー精神をもって委員会を運営して欲しいと思います。そうすればどんな問題にぶつかっても容易に解決できるでしょう。これからも青少年委員会が委員全員の協力によってスムーズに運営されることを期待しています。

新旧青少年交換委員にとっては、意義深い、今後の新世代活動の在り方を示唆する伊藤カウンセラーの素晴らしいレクチャーであった。

次に、大川地区幹事より、「今後の委員会活動の為に、忌憚のないご意見を」という事で、パネラー4人の委員の方々からの発言を頂いた。

青少年交換委員になり3年経過し、4年目の渡邊

葉子委員（札幌西北RC）より、

1. 情報の公開
2. 委員会の運営方針提示
3. 事業計画
4. 年間予定の作成
5. 委員からの問い合わせにはご返事頂きたい
6. 地区の方針は委員に伝えて頂きたい

又、委員会に相談無く9640地区の交換を断った事、ガバナーから交換人数の提示をされているに関わらず情報をお知らせ頂けない等、情報の公開が無い為、委員としての役割を果たすことも難しい状況である旨お話しさせて頂きました。との意見が出された。

次に長澤昇司（札幌東RC）、青少年交換委員を5年間務めていらっしゃるベテラン委員から、

『札幌東RCの長澤でございます。1月から現委員長野澤委員長が委員会行事に参加しましたが、委嘱状の関係と、たしかおっしゃっていましたが、オブザーバー的な参加でありました。

その後7月に入り、7月12日の委員会で決めた事などが、実行されず、委員会開催が必要であるという意見を反映し、7月27日にオーストラリアに派遣する学生がまとめて千歳から出発するので、千歳に委員が集まるからという理由で、ガバナー事務所をお借りして3時間半以上の時間を使い話し合い、8月10日までに事務局を立ち上げる、等の委員会決定がされましたが、履行されず、委員会が困窮する結果となりました。私は委員長が学生ではなく、地区の上にばかり顔が向いていると思いますし、オーストラリア9640地区を委員長の独断でプログラムを断った事を今日知りました。9640地区は当地区内に友好クラブがある密接な関係の地区です…（ここで大川さんが割って入り、9640地区は当恵庭クラブに友好クラブがあると話しはじめた…）以上です。

次に、本年度からの新委員の高橋康則委員（苫小牧北RC）より、「今年度の青少年交換委員会事業の相対的な遅れは、何が原因かは未だ明確ではないが、新旧委員のちょっとしたボタンの掛け違いであったと思います。例えば、受入れ学生の為に出来るだけ早期に実現すべきであったキャンプもいろいろな行き違いから、10月中旬になった訳ですが、伊藤PGからのお話もありました様に横並びの新世代活動でありますライラの日程と受入れ学生のキャンプを、重ならない様にとの委員会決定があったにもかかわらず、一部の旧委員が同日に強行しようとした過程があり、決して委員長の責任ではありません。旧委員が延ばし延ばしにした結果であると思います。

今後は、現委員長を支え、皆でがんばりたいと考えます。」とのお話がありました。又、最後フリーディスカッションの折、高橋委員からは、今後、来年度より、ライラセミナーと受入れ学生のキャンプを合同で行いませんか、という画期的かつ合理的、そして、新世代、つまりインターアクター、交換学生、ローテックス、一般新世代が、ロータリーの目的のひとつである親睦、友好を深める最適の場になるという大変、建設的、前向きな提案が成された。

これについては、奥貫新世代委員長からも、「大変、素晴らしい御提案です。ぜひ、実現させて頂きたいと願っております。」とのコメントがあった。

続いて、上出利光新委員（札幌西RC）より、

「私は公私共に、旧委員の皆様には、娘の留学等で大変お世話になっており、感謝しております。又、旧委員の皆様は当委員会の内容、役割、仕事を本当に良く理解され、実行されて来たと思います。しかし、後任の育成という観点から考えると、引き継ぎ時の資料の絶対的不足など、全く無力であり不満を感じざるをえません。ボタンの掛け違いもあったとは思いますが、今後の課題は、後任の育成における資料やマニュアルの確定などが必須だと思います。2ヶ月間、当委員会にて活動してきましたが、第1回目の青少年交換委員会引き継ぎ時の資料のなさには、本当に驚きました。」との意見が出された。

その後、他委員からも、事務局が予算上の問題より立ち上げられていないが、早急にとの意見や、メールの節度ある使用法、横並びの新世代活動の重要性、仕事の内容をできるだけ早く把握したい、現委員長には、より一層のリーダーシップを発揮して頂きたい、などと沢山の前向きな意見が出され、遠藤ガバナーエレクトとも、来年度の事業方針について綿密な打ち合わせをするということを確認し合った。

今回の懇談会により、青少年交換委員会事業の様々な点が浮き彫りになり、大変有意義な2時間となった。今後も、現委員長を中心として、世界に広がる人材育成を行い、そして、世界の平和を最終的な目標とするこの青少年支援事業推進に、心血を注ぐ事を誓い合いました。

最後は野澤委員長の決意表明と共に各委員一人一人の新体制への協力の誓いが述べられ大きな拍手の中で佐藤ガバナーが自ら熱情をこめて開催した懇談会は感動の渦の中で出席したメンバー全員に大きな勇気を与える内容で完結した事を報告します。

（文：木村照男代表幹事）

2003～2004年度 姉妹クラブ・友好クラブ一覽

地区友情交換委員会

委員長 金井重博 (札幌南RC)

2003.10.1現在

ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ				ク ラ ブ	姉妹クラブ・友好クラブ			
	先方クラブ	地 区	国 名	友 好 姉 妹		先方クラブ	地 区	国 名	友 好 姉 妹
深 川	南海RC	3590	韓 国	姉 妹	小 樽 南	酒田RC (山形県酒田市)	2800	日 本	姉 妹
羽 幌					小 樽 銭 函	常陸大宮RC 立山RC	2820 2610	日 本	友 好
妹 背 牛					蘭 越				
小 平					余 市	会津若松城南RC	2530	日 本	姉 妹
留 萌	論山RC	3680	韓 国	姉 妹	千 歳				
赤 平	晋州仙鶴RC	3270	韓 国	姉 妹	千歳セントラル	長泉RC (静岡県)	2620	日 本	友 好
芦 別					恵 庭	バーレーヘッズRC	9640	オーストラリア	姉 妹
砂 川					北 広 島				
滝 川	千倉RC	2790	日 本	友 好	長 沼				
美 唄					由 仁				
江 別	カトマンズRC	3290	ネパール	友 好	え り も				
江 別 西					三 石				
岩 見 沢					様 似	馬山第一RC	3720	韓 国	姉 妹
岩 見 沢 東					静 内	脇町RC (徳島県) 洲本RC	2670 2680	日 本	友 好
栗 沢	砺波RC (富山県)	2610	日 本	友 好	浦 河	中壠RC	3490	台 湾	姉 妹
栗 山	角田RC (宮城県)	2810	日 本	姉 妹	伊 達	亘理RC (宮城県) 茅ヶ崎湘南RC	2810 2780	日 本	姉 妹
当 別	岩出山RC	2810	日 本	姉 妹	室 蘭				
札 幌					室 蘭 東	ウランバートルRC	3450	モンゴル	友 好
札幌あけぼの					室 蘭 北				
札幌はまなす	香長RC (高知県) ノンカイRC	2670 3340	日 本 タ イ	姉 妹 友 好	登 別				
札 幌 北	ウェルビーRC	9800	オーストラリア	友 好	洞 爺 湖				
札幌モーニング	川口モーニングRC・青森モーニングRC 旭川モーニングRC・京都モーニングRC	2770・2830 2500・2650	日 本	友 好	函 館 館	京都洛中RC 澎湖RC	2650 3470	日 本 台 湾	姉 妹 友 好
札 幌 西	西夕バオRC・マカティ西RC ユチカRC	3600・3820 7150	アメリカ・フィリピン アメリカ	姉 妹	函 館 亀 田	新発田城南RC (新潟県)	2560	日 本	友 好
札 幌 西 北	ヘルシンキ北西RC	1420	フィンランド	友 好	森				
札 幌 手 稲	名古屋瑞穂RC 高雄壽山RC	2760 3510	日 本 台 湾	友 好	七 飯				
札 幌 東	北ポートランドRC・釜山東南RC パンダンパレーRC	5100・3660 3310	アメリカ・韓国 シンガポール	姉 妹・友 好 友 好	長 万 部				
札 幌 清 田	松原中RC	2640	日 本	友 好	江 差	岩谷堂RC	2520	日 本	姉 妹
札 幌 幌 南					函 館 五 稜 郭	ラハイナRC 東京日野RC・東京飛火野RC	5000 2750	アメリ 日 本	姉 妹 友 好
札 幌 真 駒 内	東ポートランドRC	5100	アメリカ	姉 妹	函 館 東	青森東RC・長崎東RC 横浜東RC	2830・2740 2590	日 本	友 好
札 幌 南	東京東RC 金沢東RC	2580 2610	日 本	姉 妹 友 好	函 館 北	千葉港RC・和歌山城南RC 台北東北RC	2790・2640 3480	日 本 台 湾	友 好
新 札 幌	相模原東RC	2780	日 本	姉 妹	上 磯				
札幌大通公園					松 前				
札幌セントラル					白 老	仙台西RC ケネルRC	2810 5040	日 本 カ ナ ダ	姉 妹
岩 内	直江津RC ピーターズバーグRC	2560 5010	日 本 アメリカ	姉 妹	苫 小 牧	相模原RC	2780	日 本	姉 妹
倶 知 安					苫 小 牧 東	網代多賀RC	2620	日 本	友 好
小 樽					苫 小 牧 北	石巻RC ダラデールRC	2810 9930	日 本 ニュージーランド	友 好

ある葬儀に参列して

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三 (札幌幌南RC)

過日札幌山の手高校の教務担当の教頭で、サッカー部の監督をしていた酒井先生の葬儀に参列しました。西岡元地区ガバナー補佐、元地区代表幹事が葬儀委員長をされていました。先生は、45歳の若さでなくなられたのですが、教え子が全国各地から集まり、会場は人が入りきれないほどでした。

私がこれまでお会いした学校の先生方の中で、最も尊敬できる先生でした。先生とは、先生が公立中学の生物の教科を担当し、学年主任で、サッカー部の監督を兼ねていたときに知り合いました。先生は、中学のサッカー部を全国大会に導くほどの指導者でしたが、一部の優秀な生徒を重点的に指導することはなく、全ての生徒を平等に練習に参加させ、全ての生徒に対し、平等に生活面や、忍耐、協調などの精神面の教育を真剣に取り組んでいました。

1人の生徒が、試合にも出れないし、サッカーをやっても面白くないからとやめようとしたとき、彼は、サッカーの指導を他の先生に任せて、その子と真剣に話し合ったのです。簡単に諦める、出来ないから又は面白くないからやめるということは、その子の将来にとって、大きな損失である。

出来なくても頑張る。試合に出られなくても楽しむ。この様な精神を育てる事の方が、サッカーの技術を指導するよりもっと大事であると彼は言うのです。

そんな彼を西岡先生は認めて、札幌山の手高校に引き抜いたのですが、彼もより多くの生徒と接する

ことが出来る私立高校の先生を選んで赴任し、同じように人間教育を施しながら、同校のサッカー部を全国大会あと一步というところまで育て上げてきたのです。

通夜は、浄土真宗の海野住職(札幌幌南RC会員)が導師を勤めたのですが、弔辞の申し込みが多く、告別式では賄いきれないので、3人の生徒や親友が、通夜の席で弔辞を読み上げました。先生から、暖かい愛の鞭を繰返し繰返し受けても尚先生に惹かれ、中学高校と先生の元で6年間サッカーの指導を受けて立派な若者に育った子、現役のサッカー部の主将、大学のサッカー部以来の同僚の先生からの弔辞は、聞いていられないくらい感激しました。

西岡先生からの挨拶の後、奥さんが直接お礼の言葉を述べられたのですが、これも異例でした。その言葉の中で、彼は生前、「俺は、地位も名誉も金も財産も何も欲しくない。欲しいのは人だ。俺は人が立派に育つことが最も嬉しい。」と口癖のように語っていたということでした。45歳という短い人生でしたが、きっと多くの足跡をこの世に残されたことでしょう。ご冥福を祈ります。

アフリカの格言に「子供は、村中の大人の知恵がなければ育たない。」という言葉があるそうですが、一人の子は、家庭だけではなく社会全体で育てなければなりません。若い酒井先生がなしたことを私たちも真剣に考えてみたいと思います。

函館北ロータリークラブ報告

会長 北村 祐治

函館北ロータリークラブは、9月21日、函館ハーバービュー・ホテルにて、「創立40周年記念式典」と祝賀会を実施しました。

220名の参加のもと井上函館市長ご出席のもと、友好クラブの台北東北RC、和歌山城南RC、千葉港RC総勢90名を含み、盛大におこなわれました。

記念事業として行われたの三つのうちの一つ、世界社会奉仕をインドネシア第3400地区ジョグジャカルタ市タマンサリRCと提携し、公立テガル・レジョ第三小学校に図書1,500冊他コンピューター・ビデオ一式他、什器備品一式を現地駐在の会長の娘、恵子さんの交渉の下実施した。

その整備状況が函館北ロータリークラブのホームページ

<http://www.hakodate-north.org/topics/>
に掲載されてます。是非ご覧下さい。



40周年記念式典にさきがけて、当クラブと友好クラブを締結している台北東北、和歌山城南、千葉港の3クラブと友好クラブ締結証を交わし、引き続き友好を深めあうことを約束しました。



40周年記念事業でこの公立テガル・レジョ第三小学校の図書館を整備しました。



平成15年9月21日創立40周年記念式典が井上函館市長をはじめ多数の来賓の方々をお迎えして挙行されました。

(開会の挨拶をする中野亮実行委員長)



整備された図書館

お知らせ

今年度当地区が実施した「スリランカに中古自転車を贈ろう！」事業は、各グループ、各クラブの大変な協力により9月末現在自転車約800台、木製オルガン32台、ピアノ100台、笛100本が集まりました。上記収集した物品のうち、今回木製オルガン全部及び自転車約180台を10月10日(金)苫小牧港から船便で発送しました。

この配布先状況の視察を兼ね両地区の親善促進のため下記の要領でスリランカ行きの訪問団を結成したいと考えています。多くの参加者を募集いたします。

記

日 時：2004年1月24日(土)～1月29日(木)
(現地4泊、機中1泊 計6日)
(成田発コロンボ行きのスリランカ航空を利用予定)

訪問先：スリランカ国

(コロンボ市、キャンディ市ほか)

費用：17万～18万円予定

(全ての交通・宿泊・会食費を含む)

申込締切日：2003年11月30日(日)

申込先：地区ガバナー事務所

訪問団：訪問団長は佐藤秀雄ガバナー。参加人員は20名以内を予定。同伴も可

その他：(1)スリランカ滞在中ゴルフなど一度予定しています。

(2)現地ではコロンボRCのダヤシリさんが流暢な日本語でお世話を下さる筈です。

(3)希望者は帰路別行動にてモルジブに寄りシュノーケル、ダイビングを楽しむことが可能です。

祝 新入会員の紹介

滝川 RC



三品 優次 会員
7月3日入会

滝川 RC



深村 完市 会員
7月3日入会

滝川 RC



道中 和俊 会員
9月11日入会

室蘭東 RC



松永 英樹 会員
7月2日入会

室蘭東 RC



黒田 敏充 会員
8月27日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

札幌西北 R C 山藤 雅弘 会員 9月19日
江別 R C 吉田 欣司 会員 9月22日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C 関 二三子 会員 9月12日
美唄 R C 高橋 誠 会員 9月19日
函館北 R C 今井 定一 会員 9月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

美唄 R C	海老名 元 会員	9月19日	第1回
	東野 碧 会員	9月19日	第1回
	池田 康治 会員	9月19日	第1回
	円子 保 会員	9月19日	第2回
	大竹 繁夫 会員	9月19日	第2回
	高田 義則 会員	9月19日	第1回
岩見沢 R C	武蔵 輝彦 会員	9月29日	第1回
札幌東 R C	堀田 昌資 会員	9月29日	第2回
札幌南 R C	福山 恵太郎 会員	9月9日	第2回
	今井 國雄 会員	9月9日	第2回
	後藤 由春 会員	9月9日	第2回
	トーキル・クリステンセン 会員	9月9日	第4回
	中井 孝光 会員	9月9日	第2回
	平 昌夫 会員	9月9日	第2回
	富樫 英樹 会員	9月9日	第3回
室蘭 R C	前田 迪夫 会員	9月5日	第1回
	佐藤 寿夫 会員	9月5日	第1回

米山功労法人

札幌真駒内 R C (株)札幌薬剤 9月19日

米山功労クラブ

札幌真駒内 R C 9月19日 第1回

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 44】

2003年10月10日発行

1. 寄付金速報 ～いよいよ米山月間です！

9月までの寄付金は、前年同期と比べ3.1%減、約1千2百万円の減少です。普通寄付金が0.3%減、特別寄付金が6.8%減です。10月に入り米山月間となりました。表彰制度改定にともない、米山功労者の感謝状も美しくモダンなデザインに刷新しました。長らくお待たせいたしました。10月中旬から順次お送りいたします。ぜひとも、寄付増進に向けて新表彰制度のPRをよろしく願いたします。

2. 今月の“よねやまだより”は特別座談会

ロータリーの友10月号の“よねやまだより”は、米山月間特集として、特別座談会と各種統計データを掲載しています。

座談会では、米山学友・大学の指導教員・ロータリアンという異なる立場の三者が集い、米山奨学事業の目指す「知的国際貢献」としての役割を考える熱い議論が展開されました。留学先としての日本の魅力は？留学生が日本の大学に与えるインパクトは？そもそも「知的国際貢献」とは何なのか？これからの米山奨学事業を考える一つの機会として、ぜひご一読ください。

3. 日韓親善会議で米山学友・奨学生が大活躍

9月25～26日に東京ベイホテル東急にて「第7回ロータリー日韓親善会議」が開催されました。26日午後のフォーラム『聞こえますか。日韓新世代の交流』では、3名の米山学友がパネリストとして参加しました。

20代、30代、40代という異なる世代の視点を反映した米山学友のプレゼンテーションは、それぞれ切り口は違いながらも、新しい日韓交流の始まりを両国の聴衆に印象づけるものでした。会議出席者からも高く評価され、フォーラムの最後には、パネリスト全員に惜しみない拍手が送られました。

なお、25日の開会式、懇親夕食会では、現役の米山奨学生が逐次通訳として参加しました。

4. 懸賞論文入賞者 決定！

第1回米山奨学会学友会セミナーの開催に先駆けて、

外国人留学生を対象に募集した懸賞論文の入賞者15名が、9月13日に決定いたしました。

280点もの応募の中から選考委員会による厳正な審査を経て最優秀賞に輝いたのは、母国・中国の大学で教鞭をとる米山学友・鄭愛莉さん【96-97年／京都紫野RC】の論文『平和と国際貢献—小さな舞台』です。優秀賞には、群馬県在住の米山学友・路潔さん（中国）他3名、入賞には、東京大学在学の現役奨学生ヴォ・チョン・ギアさん（ベトナム）他4名、入選には5名の方が選ばれました。

(http://www.rotary-yoneyama.or.jp/friend/fri_04.html)

入賞者のうち、現役米山奨学生は4名、学友が5名、残り6名は一般応募者です。入賞論文集は、10月11日の学友会セミナー報告とともに紀要にまとめて配布する予定ですので、どうぞお楽しみに！

5. 2002年度寄付総額第1位！

～東京五反田RCの寄付増進事例～

東京五反田ロータリー・クラブ(2750地区)は、2002-2003年度の寄付総額が約633万円で年間寄付額第1位になりました。長引く不況でどのクラブも寄付増進には苦心される状況の中、東京五反田RCの成功の秘訣はどこにあったのでしょうか。同クラブの村口正パスト会長にお話を伺いました。

Q1：寄付総額第1位につながった貴クラブの取り組みは、ずばり何でしょう？

A1：始めから目指していたわけではなく、結果としてたまたま1位になったというのが本当のところですが、もちろん、これだけの寄付が自然に集まったわけではありません。当クラブでは、ニコニコ会計にルールを設けて、特別会計基金を作ったことが寄付増進に功を奏しました。

Q2：どのようなルールを設けられたのですか？

A2：まず、クラブで会計処理基準を定め、ニコニコ会計を作りました。これは、最初から奉仕基金造成を目的としたため、奉仕活動以外では使用禁止とし、親睦会の費用などには支出させませ

んでした。このおかげで奉仕の基本金ができ、米山奨学会への支援をはじめ、三宅島救済活動、青少年交換などが行えたのです。

Q3：米山奨学会への厚いご支援は、どのような理由からでしょう？

A3：米山奨学制度は、日本のロータリーが世界に誇れる奉仕プログラムであると認識するからです。また、米山奨学会への寄付には免税措置が受けられるメリットもあり、寄付が増えたと考えます。

Q4：米山奨学生に対するイメージは？

A4：クラブ会員は、優秀な米山奨学生に対して、非

常に良いイメージを持っています。クラブとしても奨学生関係国を訪問するなどして交流や親善を深めており、良い結果が得られていることも一因でしょう。

ということで、今回は、ニコニコ会計を「奉仕基金」に活用された東京五反田RCの事例をご紹介します。

今後も米山奨学会では、学友の活躍や寄付増進の工夫など、皆様にお役立ていただける情報の発信に努めてまいりますので、ぜひ情報やご意見などお寄せください。よろしくお願いいたします。

(担当：峯)

文庫通信(193号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会及びI.M.のシンポジウムから

- ◎「青少年問題について」 青木和雄 他 2003 10p (D.2590地区大会)
- ◎「新世代に引き継ぐ奉仕の思想」 もず昌平 (コーディネーター) 2003 8p (D.2660地区大会)
- ◎「当地区における重要課題について」 岡本徳彌 (コーディネーター) 2003 12p (D.2590地区大会)
- ◎「ロータリーの基本について」 佐藤 孜 (コーディネーター) 2003 16p (D.2710IM)
- ◎「魅力あるロータリーを目指して」 香川 孝 (コーディネーター) 2003 8p (D.2670地区大会)
- ◎「今、何故地域教育力なのか？」 柳父立一 (コーディネーター) 2003 27p (D.2660IM)

[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

*** お 知 ら せ ***

このたび、1998年以降に登録した資料を新・資料目録として作成致しました。ロータリー研究の資料等には是非ご活用下さいますよう、ご案内致します。

「資料目録—総括ダイジェスト版—1998～2003」

頒布価格 1冊 400円 (送料別)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

*** 掲示板 ***

・クラブ事務局移転のご案内

- 1) 浦河ロータリークラブ事務局：所在
〒057-0033 北海道浦河郡浦河町堺町東2丁目1番6号
株式会社種本石材（浦河本店）
- 2) 浦河ロータリークラブ事務局：連絡先
tel ① (01462)2-5500 tel② (01462)2-8111
fax ① (01462)2-6666 fax② (01462)2-8111
e-mail : ta-jtte@technowave.ne.jp

・例会変更のご案内

江別西RC：11月11日(火)休会（定款第5条により）
芦別RC：11月21日(金)休会（定款第5条1節(C)）

・青少年交換委員会事務局のご案内

所在地：〒004-0021 札幌市厚別区青葉町9丁目4-15
TEL：011-806-2512（FAX兼用）
E-mail：yecd2510@khaki.plala.or.jp
事務局：土田義也（つちだよしや）

・地区組織図の変更について

地区青少年交換委員会委員の清水慧子会員（長沼RC）が委員を辞任されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・地区大会プログラムについて

地区大会プログラムP42の永年100%出席会員のうち、30年永年100%出席会員として後藤三雄会員（美唄RC）の記載もれがございました。深くお詫び申し上げます。（地区大会事務局）

訃報 心よりご冥福をお祈りします

西谷雅行 会員（七飯RC）
2003年9月7日ご逝去（享年74才）
ロータリー歴等
1982年4月入会
第21、28代会長
米山功労者



国本時夫 会員（苫小牧RC）
2003年10月19日ご逝去（享年81才）
ロータリー歴等
1982年7月23日入会
マルチプル・ボール・ハリスフェロー



9月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.9.30	増減	内女性	
1	深 川	4	43	43	0	2	85.63
	羽 幌	4	47	47	0	1	79.44
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	90.00
	小 平	4	16	16	0	0	76.56
	留 萌	4	64	64	0	0	91.08
	小 計		180	180	0	3	84.54
2	赤 平	3	35	35	0	1	81.32
	芦 別	4	58	57	-1	0	90.57
	砂 川	4	55	55	0	0	97.04
	滝 川	4	109	111	2	2	72.30
	小 計		257	258	1	3	85.31
3	美 唄	4	47	46	-1	0	88.37
	江 別	4	46	47	1	2	86.66
	江 別 西	4	40	40	0	3	86.25
	岩 見 沢	4	100	101	1	0	92.37
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	83.82
	栗 沢	3	33	33	0	2	91.00
	栗 山	4	32	32	0	2	96.72
	当 別	4	42	41	-1	0	81.71
	小 計		374	376	2	12	88.36
	4	札 幌	4	113	122	9	0
札幌あけぼの		4	18	18	0	1	100.00
札幌はまなす		4	30	30	0	5	83.93
札 幌 北		4	54	56	2	5	91.04
札幌モーニング		4	60	61	1	0	76.55
札 幌 西		4	74	77	3	2	92.67
札 幌 西 北		4	50	51	1	2	86.37
札 幌 手 稲		4	44	44	0	0	98.30
小 計			443	459	16	15	90.82
5	札 幌 東	4	118	119	1	0	98.65
	札 幌 清 田	4	29	29	0	5	99.38
	札 幌 幌 南	4	81	79	-2	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	46	46	0	2	95.67
	札 幌 南	3	90	93	3	0	95.58
	札幌大通公園	4	19	20	1	5	78.95
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	72.40
	新 札 幌	4	36	37	1	1	90.24
	小 計		438	442	4	18	91.36
6	岩 内	4	35	36	1	0	72.50
	倶 知 安	4	57	57	0	4	79.34
	小 樽	4	88	89	1	0	87.33
	小 樽 南	4	86	86	0	0	82.24
	小 樽 銭 函	4	22	22	0	3	84.09
	蘭 越	3	15	15	0	0	80.00
	余 市	4	46	46	0	4	82.03
	小 計		349	351	2	11	81.08

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,351人 (96人)
増加会員数	47人
当月平均出席率	83.87%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.9.30	増減	内女性	
7	千 歳	3	72	74	2	2	84.70
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	77.20
	恵 庭	4	50	50	0	0	85.63
	北 広 島	4	15	18	3	2	85.29
	長 沼	4	17	18	1	4	83.30
	由 仁	4	16	16	0	0	86.98
	小 計		201	207	6	8	83.85
8	え り も	4	23	25	2	0	68.00
	三 石	4	18	18	0	1	86.10
	様 似	4	20	20	0	2	60.00
	静 内	4	68	67	-1	0	80.32
	浦 河	4	42	42	0	1	86.31
	小 計		171	172	1	4	76.15
9	伊 達	4	55	55	0	0	72.72
	室 蘭	4	56	60	4	0	83.99
	室 蘭 東	3	48	50	2	0	91.60
	室 蘭 北	4	39	39	0	2	98.72
	登 別	4	39	39	0	2	82.05
	洞 爺 湖	4	12	11	-1	0	86.36
	小 計		249	254	5	4	85.91
	10	函 館	4	101	105	4	0
函 館 亀 田		3	47	48	1	1	77.78
森		4	48	48	0	0	76.00
七 飯		3	29	28	-1	0	67.00
長 万 部		4	12	14	2	0	60.71
小 計			237	243	6	1	72.42
11	江 差	4	21	21	0	0	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	68	4	0	86.64
	函 館 東	4	60	61	1	6	80.17
	函 館 北	4	43	39	-4	0	84.29
	上 磯	4	33	33	0	3	65.90
	松 前	4	9	9	0	1	66.70
	小 計		230	231	1	10	76.45
12	白 老	4	32	32	0	2	73.00
	苫 小 牧	4	61	64	3	0	75.37
	苫 小 牧 東	4	33	33	0	3	83.59
	苫 小 牧 北	4	49	49	0	2	90.91
	小 計		175	178	3	7	80.72
合 計		3,304	3,351	47	96	83.87	

地区カレンダー (11月・12月)

11 月 ロータリー財団月間	
1(土)	岩見沢RAC創立35周年記念式典 (岩見沢)
2(日)	ローターアクト地区協議会 (岩見沢)
3(月)	文化の日
4(火)	
5(水)	
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	R財団学友会第3回総会・懇親会 (札幌) 地区米山記念奨学委員会・懇談会 (札幌)
16(日)	
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	
23(日)	勤労感謝の日 北海道RAC交流会
24(月)	振替休日 北海道RAC交流会
25(火)	
26(水)	ロータリーの友座談会 (東京)
27(木)	ロータリー財団地域セミナー (東京)
28(金)	第2回ガバナー会、第2回ガバナーエレクト研 修セミナー (東京)
29(土)	ロータリー研究会 (東京) ロータリー市民フォーラム (札幌)
30(日)	ロータリー研究会 (東京)

12 月 家族月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	2004年国際大会第2回ROTEX準備会議(東京)
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	天皇誕生日
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2003
12

MONTHLY LETTER No.6

2003.12.1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
家族月間について	3
成功を収めた地区大会	4
第2510地区青少年交換委員会の歩み	9
R J W会議報告	11
第1回家庭奉仕委員会報告	12
「伊藤克己氏を囲む懇談会」報告	13
2004年国際大会(関西)登録について	14
職業奉仕フォーラム開催(苫小牧東RC)	15
地区補助金で子供相撲大会(恵庭RC)	16
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	17
ハイライトよねやま45	18
文庫通信/訃報	19
掲示板	20
10月会員数・出席率	21
地区カレンダー	22

ガバナー事務所からお知らせ

2003年11月10日より北洋銀行「千歳支店」と「千歳中央支店」の統合に伴いガバナー事務所の取引店名・店番号および口座番号が下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(口座名義は変更ございません)

1月1日現在の会員数にて下期地区資金を各クラブ様からお振込み戴くことになっておりますが、新しい口座番号の用紙を12月中に各クラブ様宛に発送致しますので、新しい用紙にご記入の上、ご送金下さいますようお願い申し上げます。

旧口座：北洋銀行千歳支店（店番号025） 普通預金0765712
↓変更後

新口座：北洋銀行千歳中央支店（店番号318） 普通預金3844860

ガバナーメッセージ



ロータリアン家族に感謝しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は家族月間である。1995～96年のハーバード・ブラウン R I 会長は、世界平和は、地域、家族から始まるとの考えを表明された。そして1995年11月の R I 理事会において、2月の第2週を「家族週間」と指定する事としたが、2003年7月同理事会において、2003～04年ジョナサン・マジアベ R I 会長が家族の重要性を主眼にした事をたたえ、12月を「家族月間」と指定した。これに伴って「家族週間」は廃止された。当地区においても「家族委員会」を創設するよう指示されたが、国際協議会で突如として創設され年度途中で委員会の設置を言われたため、既存の家庭奉仕委員会（和田 壬三委員長）にお願いし対応してもらう事にした。各クラブには、各種セミナーにおいて何等かの形でロータリー家族の支援をお願いしてきたが、R I からは「家族委員会」の任務につき、その詳細についての文献は発行されていないが、ロータリー家族 T F ゾーン・コーディネーターである関場 慶博氏（第2830地区 P G）が「家族委員会の任務」について書かれているものを別頁に掲載したので参考にして頂きたい。顧みるとこの20数年間家族に支えられロータリー活動をしてきた。青年会議所運動を含めると30有余年になるだろうか…。だが家族を思いやってロータリーをやった記憶が無いよう

に思う。みんな家族を犠牲にしてとは言わないまでも多かれ少なかれ家族に迷惑をかけてはいないだろうか…。クラブは年に一度クリスマス家族会を12月に実施しているが、もう少し頻繁に家族を入れた例会を開催したら如何なものかと思う。例えば奥様方を誕生月の夜間例会に招待するとか、得意な分野で活躍されている奥様家族に呼びかけ卓話をして頂くとか、普通の例会で特にメニューを設け奥様方に参加してもらうとか、という家族配偶者を巻き込んだロータリー運動を展開して頂いてはどうか。又、亡くなられたロータリアンの配偶者家族を例会にお呼びし、ご存命だった時の本人が活躍したロータリーのお話を遺族の方々にお話してあげるのも一考ではないだろうか。いずれにしろこの委員会は、R I 自身がはっきりした指針を出していないので、各クラブが手探りで家族委員会の任務の事例を積み上げていくほかないような状態にある。しかし指針の有る無しにかかわらず21世紀のロータリー活動は家族と共に運動展開する事が重要に思う。家族の協力なくして奉仕活動が出来ようか。これからは活動の共有の時代である。クラブが実施した事例で盛会であった事例をどんどん月信で発表してもらい、これを参考に活動の拡大をして行くということが大事ではないかと思う。

ガバナー日記(4)

ガバナー 佐藤 秀雄

9月21日(日)函館北RC40周年の周年行事に上井地区幹事と共に参加、北村会長を中心にして式典は厳粛に、そして懇親会は和やかに開催された。特に台湾からのロータリアンが多数参加され式典に華を添えた。これを礎にして21世紀のクラブ運営を語って欲しいものだ。

公式訪問

8月21日(木)札幌ロイヤルホテルにて第5グループ玉井清ガバナー補佐の司会で札幌東、新札幌、札幌セントラルRCの3クラブ合同例会。時間を区切ったの会長・幹事懇談会、最初は地区一番の会員数を誇る札幌東、坂東会長はコンサート、WCSと協力し車椅子の寄贈、高校へピアノを寄贈するとか多彩な奉仕活動をされている。新札幌RC原口会長は環境問題に注目し割り箸のリサイクルに取り組み約3トンの割り箸を王子製紙に運び古紙に変えた。札幌セントラルRC芹田会長は若い会員入会奨励のために入会金を半額にし、事務経費を節約し年会費を前後期各6万円にした。合同例会は全員が起立し拍手で迎えてくれたのには感激した。

8月22日(金)サッポロルネッサンスホテルで札幌幌南、札幌真駒内、札幌清田、札幌大通公園の4クラブ合同例会。玉井補佐司会で最初は札幌幌南RC近藤会長、会員同志が知り合う事が大切であり女性会員を増強したい。インフォーマルミーティングを2か月に1回は開催したい。禁煙例会の継続、環境を考慮しての石狩浜のクリーンアップ等々。札幌真駒内RC山田会長は2004年2月2日(月)30周年の周年行事があり、その準備で忙しい。例会出席率の向上、会員増強特に今年度は純増2名を増強したい。札幌清田RC真鍋会長はバリ島に井戸、貯水タンク等の奉仕活動をした。今年度はチャリティーゴルフ、パークゴルフ大会を

開催したい。札幌大通公園RC小笠原会長、クラブ創立3年目でありITを活用して経費を節減し会費月額8千円、ビジターフィ1千5百円にしている。ポリオ募金についても大通公園で「ポリオを無くそう」ののぼりを立て、一般市民、米山、交換留学生等の協力により金11万6千円を集めた。これがロータリー事業の原点だと思う(ガバナー所見)。

9月1日(月)札幌南RC、第5グループ最後の公式訪問だ。西脇会長病気療養中のため杉目幹事、山口副会長出席、玉井補佐司会のもと懇談会に入る。杉目幹事は退会者が多く見られる、退会防止に努めたい。各委員会は委員会を何回か開催するよう義務付ける。新会員は40代を多く入会させた。山口副会長は大家族例会を開催盛況だった。又、転勤者が期の途中で転勤し、後任が入会する場合の入会金を減額したい。

9月3日(水)今日は第1グループ羽幌、小平、留萌RC公式訪問のため大川地区幹事の車で留萌産業会館に向け事務所を13:00に出発。渡部補佐司会で17:00から3クラブ会長・幹事懇談会に入る。羽幌RC福井会長は親睦を重視し奥様を交えた例会を多く持ちたい。退会者が多く例会出席も悪いので夜間例会を月2回にした。小平RC森田会長は弱小クラブでクラブを維持していくのが厳しい。入会5年未満の会員が多くロータリーの勉強不足が目につくのでロータリー情報をしっかりやりたい。留萌RC川上会長は会長経験者が多いが威張らず和やかに例会を開催している。又、経費節約のため大部分を自腹で賄う事とした。クラブに愛好会を創り退会防止に努めている。例会出席が少し悪いので出席率向上に努める。

夜間合同例会になったため大川幹事と留萌で一泊し翌日帰ることとした。

12月：家族月間

ロータリー家族に焦点を当てる

国際ロータリー理事会は、2003-04年度の最初の会合で、ロータリーにおける家族の意義の高まりを受け、12月を家族月間とすることを宣言しました。1996年以来、ロータリーの暦では2月の第2週が家族週間であるとされてきましたが、今回宣言された家族月間は、家族週間に取って代わるものとなります。

家族月間は、物故会員の配偶者も含めた家族が参加できる特別な活動を計画したり、年間を通じて家族に重点的に取り組む方法を考えるようロータリー・クラブに促すものです。1カ月という期間は、ロータリアン自身の家族だけでなく、奉仕のパートナーであるローターアクターやインターアクターを含めたロータリーの家族が、ロータリーの将来にとってどれほど重要なものであるかをじっくりと考えることを奨励するものです。

何世代にもわたり、世界中のロータリー・クラブは、食糧庫や低廉簡易住宅の建設などの奉仕活動を通じて、家族への献身を身をもって示してきました。多くのロータリアンは、青少年交換学生にとっての第2の家族となってきました。他のロータリアンは、ロータリー財団プログラム参加者のために、自宅を

開放してくれました。

家族月間を祝うためにロータリー・クラブが実施できるもう一つの方法は、優れた奉仕をした個人または団体に贈られるR Iの「家庭および地域社会奉仕賞表彰状」(757-EN)を贈呈することです。この特別月間の創始年度にクラブや地区が奉仕し、祝い、家族の絆を強めることのできる無数の方法を他と分かち合ってください。



自分の姉の子をおぶっているマラウイの女性。この子は、エイズで母親を亡くし孤児となった4人の子供のうちの一。ロータリー財団の支援の下、マラウイのリンベ・ロータリー・クラブと米国ロータリー・クラブの会員が、37のマラウイの村で3,000人以上の孤児とその親戚を助けるための地域社会を基盤とした多面的プロジェクトに、食糧や必要物資を提供しました。

クラブ・ロータリー家族委員会の任務

ご参考までにロータリー家族委員会で行う任務の例を述べます。すでに行われていることもあろうかと思いますが、さらにもう一つ二つと行っていただければあり難く存じます。

各クラブにおけるロータリー家族委員会の任務

- ①会員のデータベース（誕生日、結婚記念日、配偶者名、子供や孫の数）を整える。
- ②会員が何か榮譽ある賞を受賞したかを知るために新聞やテレビを丹念にチェックする。
- ③会員が健康なのか病気になるかをすぐ分かるような体制をつくる。
- ④例会において会員や配偶者の病気や死亡をすぐに伝えられるようにする。
- ⑤死亡された会員の配偶者へ定期的な連絡をしたり、会の行事への参加を呼びかけたりすること。
- ⑥死亡された会員や配偶者の追悼行事を行う。
- ⑦会員増強委員会と連携して会員増強のためのプラ

ンを練る。

- ⑧例会時での“あいさつプログラム”を実施する。
- ⑨理事会に対して、会員の記念日に花束やカードを贈る予算措置をするように働きかける。
- ⑩毎年少なくとも一回は家族例会を実施する。
- ⑪会員の家族を奉仕活動、財団基金活動に招待する。
- ⑫プログラム委員会に働きかけ、職場訪問例会を実施し配偶者も招待する。
- ⑬R I 会長賞受賞のためにクラブ会長と一緒に活動する。
- ⑭ロータリー家族プログラムの成功例を他のクラブへも知ってもらうために、地区ロータリー家族委員会へ伝える。
- ⑮親睦を深めるためにはどんな事が必要かについて、会員へのアンケート調査を行う。
(ロータリー家族タスクフォース・
ゾーンコーディネーター：関場慶博氏)

成功を収めた地区大会

～ スナップ集 ～

10月24日(金)、25日(土)の両日に亘り千歳市で開催されました地区大会は、川尻政輝R I会長代理ご夫妻を迎え、多数の来賓、地区内外の会員と共に成功裏に終了することができました。ありがとうございました。

大会第1日目

会長・幹事会

川尻政輝R I会長代理を迎え、千歳市民文化センターにて大会第1日目の会長・幹事会が開催されました。大会決議案上程・審議が行われ、恙無く承認されました。



挨拶される川尻R I会長代理

本会議

引き続き13:00から本会議が2階中ホールにて開催され、各委員会の活動報告等が行われました。



大会選挙管理委員会報告をする森本PG



大会信任状委員会報告をする岩城PG



委員会報告をする伏木補助金委員長

記念フォーラム

16:00からは記念フォーラム『地球の未来の為に今、私達が出来る事は？』が開催されました。

第1部として地区内各クラブの環境保全における事例を映像で紹介し、第2部は井上勝一北海道大学助教授に基調講演を行って戴き、中国、ネパール、タイにおける環境保全の現状を考えながらフォーラムを行いました。



発表する劉向東氏(中国)
チンタ マニ ゴータム氏(ネパール)
ジラサック ギムファン氏(タイ)

R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会

大会第1日目最後のプログラムとして川尻政輝 R I 会長代理ご夫妻歓迎晩餐会が場所を変え、千歳全日空ホテルで開催されました。



川尻政輝 R I 会長代理のご挨拶



歓迎晩餐会会場風景



山口幸太郎千歳市長のご挨拶



伊藤義郎元 R I 理事のご挨拶



和気藹々と和やかに進む晩餐会



The North Quartet の演奏



『手に手つないで』を一同で歌い散会

大会第2日目

本会議

24日(金)に引き続き、千歳市民文化センターにて本会議が行われました。佐藤ガバナー点鐘のあと参加者紹介、表彰、日高義樹氏の記念講演と続きました。



挨拶をする佐藤ガバナー



参加した青少年交換学生達



R I 現況報告をする川尻 R I 会長代理



派遣GSEメンバーの紹介



各ガバナー補佐の紹介に
応える各クラブの会員





各クラブへの表彰



小林直前ガバナーへの記念品贈呈



川尻R I 会長代理への記念品贈呈

記念講演

講師に米・ハドソン研究所首席研究員の日高義樹氏を迎え、『ブッシュ政権の新しい世界戦略とアメリカ経済の見通し』という演題で講演が開催されました。



ブッシュ政権について語る日高氏



日高氏の講演に聞き入る聴衆

記念懇親会風景



記念囲碁大会

10月5日(日)に苫小牧北クラブのホスト(実行委員長：藤田信一氏)のもとで、地区囲碁大会が日本棋院北海道支部で開催されました。地区内15クラブ精鋭40名の参加で熱戦が繰広げられると共に親睦と交流の輪が広がり、次期の再会を(次期ホスト：登別RC)楽しみに散会しました。

成績発表

Aクラス

- 優勝 村上 淳 会員(恵庭RC)
- 準優勝 高島 英寿 会員(札幌南RC)
- 1位 戸井 敏夫 会員(札幌南RC)
- 2位 前田 恒雄 会員(札幌南RC)
- 3位 杉村 修 会員(深川RC)

Bクラス

- 優勝 内田 豊 会員(札幌南RC)
- 準優勝 伊藤 進 会員(恵庭RC)
- 1位 藤井 章司 会員(札幌北RC)
- 2位 戸部 謙一 会員(札幌西RC)
- 3位 森川文太郎 会員(札幌北RC)



記念ゴルフ大会

10月23日(木)シャムロックゴルフクラブにおいて、記念ゴルフ大会が開催されました。

早朝の激しい雨に開催が懸念されましたが午前中にはすっかり晴渡った空のもと楽しく競技が行われました。





第2510地区青少年交換委員会の歩み

地区国際奉仕委員会

委員長 青木 功 喜 (札幌東R C)

当地区に初めて青少年交換委員会ができた1964年当時は、未成年の海外留学は身元引き受け人が問題で、ロータリークラブが外務省との特別の計らいで実施ができていました。最近では身元引き受け人は地区ガバナーに変わり継ぎされています。当初はクラブ単位の交換でしたが、1968年からは地区の事業になり、外国との連絡、オリエンテーションなどの後は、クラブに一任する形を取っていました。学生ごとのカウンセラーも置き連絡とケアに務めました。しかしカウンセラーと云う役割が日本ではなじみのあるものでなく、十分にその役割が出来たかは疑問でした。当初は受け入れ交換学生は4名程度でしたが、私がこの委員会にかかわり合った10年前は、すでに10名を越えていました。交換をした国はアメリカ、オーストラリア、カナダが主でありました。私の後、短期の留学生が欧州や南アメリカにも出かけるようになり、地区が交換した留学生はこの35年間で派遣受け入れで750人を越えています。最近では外国に往く事は未成年でも比較的簡単になりました。当初はロータリアンの子息に限られ、現在のように一般にもその門戸を拡げ応募する傾向はありませんでした。

国際奉仕委員会から新世代委員会に青少年交換委員会が小林年度から地区の組織で変わりました。しかしロータリーの奉仕が四大奉仕であることは変わりありません。問題は手続要覧 (Manual of Procedure) において新世代プログラムの中に青少年交換がいれられ手段が変わったのです。我が国ではこのマニュアルは外国では考えられないほど重視されています。当地区の青少年交換事業がクラブ単位の活動から地区単位の事業に変わったのは、オレゴン州のポートランド市と姉妹関係になった年からです。その意味では5100地区とは長い付き合いで、5100地区委員の仲人を当地区がしており、毎年の世界大会を通して交流は現在まで続いています。

当初は地区委員会が派遣できる学生をクラブに順番に当てるようにしていました。すなわちロータリアンの子女で行きたい人が非常に多かったからです。まだロータリアン以外の子で交換留学生になる人はきわめて稀でした。しかし受け入れる交換留学生がロータリアンの子女であることはすでに稀でした。このためホスト高校も送り出し高校が受け入れてくれる場合が殆どでしたし、ホストファミリーも多かったです。送り出す生徒は札幌などの都会が多く、地方が依然少なく、年々男性の交換学生は多くありませんでした。

送り出す家庭も以前は外国に行く事自体が教育でした。最近では行く前に充分な予備知識や安全などの保護が配慮され自分自身でそれを外国で取得すると言う心が少なくなって来てロータリーの事業をあくまでも便法と考えています。ロータリアンの子女はロータリー以外の方法で留学できるようになり、このプログラムが敬遠されている場合も出て来ます。

日本に適応した模範的交換学生が、自国に帰ってから逆適応できずに苦労し、私達の頭痛の種でした。そのため帰国後のアフターケアが必要でした。この点日本の子は外国に適応しすぎそのまま外国に留まる傾向があります。

国際奉仕の基本は、留学生に日本の良いところ悪いところを学び、我々は自国の良いところ悪いところを自覚する事と思います。日本人は悪いところを見つけてなおすように躰をし、外国人は悪いところを見ないで良いところを伸ばそうとする。その結果日本では同じような能力の子が多く平均値が良いですが、米国では特徴のある個性の強い子が育ち、社会の調和が大切です。外国に追い付く事に一生懸命の時代とすでに追い付いた今では大きな違いが出ています。

次女のアメリカの高校の卒業式に出たときに、校

長先生が祝辞で『Do not follow where the path may lead. Rather go where there is no path and leave a trail. すでにできた道を歩まないで、むしろ道なき道を進み新しい可能性を見い出そう』と云っていたのが今でも良く思い出します。

日本では外国に往って帰ると外国ではとすぐ云う人がいます。最近これらの人を出羽の守といい、批判する傾向も我が国には出ています。外国の真似は沢山だ、日本を大切にしたいと云う心が出て来た現れであると考えています。

私は日本と外国のものの考え方の違いは、ある程度お互いに認めあう必要があると思います。私が地区委員長をしていた当時は、問題を起こした学生でも、クラブから地区委員会が引受けて、カウンセリングをして見る事をよくしていました。これは何もクラブの独自性を無視するのではなく、あくまでもこの事業は地区の責任で解決する努力をするようにつとめ、彼等も我々の気持ちを理解してくれました。これがカウンセリングだと云う体験もさせていただきました。不幸にしてその努力を認められなかった場合はガバナーと地区委員全員が出席し合意を得た上で帰国させました。その意味でも地区委員会の責任は重要です。現在行なわれている交換プログラムの実際は情報としては聞いていますが、その是非を云う立場にありません。国際奉仕の中の青少年プログラムは年々その姿を少しずつ変えていくと思います。携帯電話などの新しい意見交換の道具の取扱いなど難しい対応が出ていると思います。

成人に達していない子供を送る大きな目的には、将来の国際人になってもらう意味で昔は交換学生にエリートとしての自覚も必要でした。現在では海外旅行の延長で考えている人や外国語がうまくなる手段と割り切っている人が多くなっているのではないのでしょうか。すなわちこのような現状では、選抜や教育の心配りは不可欠だと思います。

最後に地区委員会の役割について日本の現状を述べたいと思います。地区委員会はガバナーの委員会であるとともに、地区内のクラブのための委員会です。地区委員会は地区の会員の皆様に正しく理解されているのでしょうか。地区委員はガバナーがクラブ会長を通して任命され、任期は2年を越えないのが原則です。

地区委員会はクラブの理解と協力でロータリーの綱領の実践を大切にしたいと思います。ロータリーは奉仕する団体ではなく、奉仕する人の集まりです。地区委員会が縦割りに機能し、横の連絡が不十分になる事に注意すべきです。当地区は国際奉仕には親睦活動、友情交換、世界社会奉仕の3つがあり青少年交換はありません。しかしこの3つの委員会以外の地区委員会でも青少年交換は、四大奉仕の中の国際奉仕です。これらの関連委員会ともよく協調しあって活動したいと思います。クラブ会員数はクラブにより大きく異なり、各クラブが地区の縦割のsystemと同じに活動をする事は時には困難です。クラブは伝統的に培われた独自性の面もあり、それらの調和は必要です。

米国では資金は殆どが自己負担ですが、地区の国際奉仕活動は各クラブから地区、R I、財団へそれぞれ納められる資金で動いています。戦前のお払いする、戴くから、取る、取られると云うのが当たり前になり、最近その傾向が極端になっています。せめてロータリアンの間では取る、取られるでなくお払いする、戴くと云う姿勢が大切だと思います。

ロータリーの毎年の標語の下に職業人としてできる事を自分の判断で行なうのが良いと思います。そこには時代の流れにあった活動も選択肢に入ってきます。

国際奉仕では青少年交換から世界社会奉仕に大きく流れが変っています。青少年交換の資金は札幌市のロータリアンが一律に3,000円出して、地区からの資金の不足を補っています。外国では学生がロータリーで補助すると云う形でなく学生の負担が進められます。この点我が国とは基本的に異なります。私はその善し悪しをここで問題にするつもりはありません。ただそのことは判って頂きたいのです。身体障害者の取り扱い方についても、90%神を信じている国と信じていない国では理解の仕方が異なります。これらのこの取扱いのマニュアルは今後の問題です。

我が国のように均質性の強い国では、この点の理解が望まれています。そのためにも我々ロータリアンはこの青少年交換から多くを学んで行きたいと思っています。



R J W会議報告

地区 I C 委員会

委員長 山田 信夫 (苫小牧北 R C)

開催日：2003年9月27日(土)

会場：東京上野 精養軒

出席者：R J W^{*1}委員会12名、全国から D I C O^{*2} 24名

D I C OとしてR J W会議へ参加してきましたので報告します。

会議の冒頭で河本R J W委員長は、2000年2月にR J Wが誕生して以来3年7カ月を経て初めてR J W委員会とD I C Oが正式に会議を開くことができた記念すべき日であると述べ、当初R J WはR Iの情報を伝える事が主要任務だったが、今は軸足を日本ロータリーの情報交換に移行していると報告された。

R J Wの活動方針は以下の3項が示され、各地区のD I C Oの理解と協力を要請された。

- (1) R I、R I日本事務局、ガバナー会、米山記念奨学会、ロータリー文庫、ロータリーの友などの諸機関を横に繋ぎ、それらの情報を各地区、クラブ、ロータリアンに提供する。
- (2) R I、日本の各地区、クラブ、ロータリアンの優れた奉仕活動情報と管理運営情報の掲載、意見交換を推進する。
- (3) 一般社会への適切なロータリー広報を行う。

補足：「ロータリーの友」との違いは、世界及び日本全体のロータリーを繋ぎ、ロータリーと社会を繋ぐ機関であることと、メディアの持つ特性である情報の速報性、双方向性を活用する。さらにI Tによる地区やクラブ業務の効率化に役立てる事であると説明された。

R J Wとして最も懸念される点は、現在はロータリアンによるボランティアで運営されており、長期安定的な機能確保が難しく、対策としてR J Wの事務所を置き、事務局長、スタッフ1人を置いて仕事をする体制の構築が必要で、国内のロータリアン一人当たり50円/月、総計6,000万円/年の人頭分担金

を確保したい考えを示し、D I C Oに向け各地区での理解活動を求めた。

D I C O側からは、R Iからの補助を要請すること、運営経費算出の根拠を明確にすること、人頭分担金の配分見直しで会員の負担増にならないよう配慮すべきとの提案が出され、善処するとの見解であった。

最後に、D I C Oからの要望もあり、来る関西国際大会の中でR J Wのブースを出すことが提案され、実現に向けて調整することになった。

今回の会合は、R J WとD I C Oの協力関係を確認したに留り、互いの具体的な役割分担がやや曖昧に終わった。R J Wの運営資金の確保もさることながら体制整備もまだこれからであり、地区の意向を把握しつつ協力をしていきたい。

R J Wのホームページ：<http://www.rotary.or.jp/>

- * 1 R J W：Rotary Japan Web の略で、R Iにより承認された公式R I日本語ウェブサイト
- * 2 D I C O：District Internet Communication Officer の略で、R I、R J W、ロータリーの友などからインターネットを通じて配信される情報を地区担当者として受け、ガバナーはじめ地区内会員に配信する役員



挨拶をされる河本R J W委員長



第1回家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

過日10月4日(土)、第1回目の委員会が、開催されました。

1. 出席者は、高下泰三委員 (札幌西RC)、水野正純委員 (新札幌RC)、長谷川美栄子委員 (札幌大通公園RC)、松本純枝委員 (深川RC)、和田壬三 (札幌南RC)

2. 当クラブは昨年度新設されたばかりで、各クラブには、十分活動内容が浸透していません。昨年度は、もっぱら、地区が先導して勉強会や、フォーラム、ワークショップなどを開催し、更にビデオにその成果をまとめるなどして啓蒙に努めたのですが、本年は各クラブの活動として自主的に取り組んで下さる様をお願いすることを中心に活動に取り組むことになりました。

具体的には、既に地区社会奉仕委員会関連委員会主催の社会奉仕連絡会に、当委員会の委員が分担して出席して、家庭奉仕が今日の日本の最重要課題のひとつであることを訴えて、是非取り上げていただきたいとお願いしてきましたが、その反省の中で各クラブは、何をしたいのか方針が見出せないというのが実情のようであるとの共通の認識の中で以下のような活動方針を決定しました。

既に実行した地区の委員会の経験の中で、以下の事業を各クラブ又は、グループに提案する。

1. 当委員会との共催で、各クラブ又は、各グルー

プで家庭奉仕をテーマとするワークショップを開催するよう呼びかける。その方法は、既に第10・第11グループで実践した方法を踏まえ事前にテーマを宿題として出席者に与えて、準備していただき各人からの発表を踏まえて討論し、更に討論を深めるために、講師をお招きして論評していただく。

講師には、当委員会メンバーの他、池上先生、土橋芳美先生、土橋信男先生、米山先生、直前ガバナーの小林博先生などの方がいらっしゃいますので、お願いできる方に同行してもらうことは可能です。

2. 既に実践した、小学校単位の家庭教育をテーマとする集会を各クラブの家庭奉仕事業として開催して下さるよう具体的に資料を添付して提案する。講師は、同じメンバーになるかもしれませんが、お願いすることは可能である。

3. 既に現実化しつつある松前RCの親業訓練セミナーの実例を紹介して、親業セミナー開催を呼びかける。

4. 昨年度当委員会が作成したビデオを活用していただけるよう宣伝する。

といった三つの事業を各クラブ又は、グループ補佐に提案することとし、地区大会等で具体的に各グループや各クラブに働きかけることとしました。

「伊藤克己氏を囲む懇談会」報告

チャック伊藤さん事、R I 5100地区青少年交換委員（日本担当）伊藤克己氏、ご夫人泰子さんが10月23日（木）から27日（月）迄来道されました。四国松山が郷里の奥さまの里帰りが来日の主目的ですが、ちょうど当地区の地区大会開催期間中でもあり、千歳まで足を伸ばしていただきました。両地区の交流の歴史は長く毎年の様に留学生の交換があり、国際理解・世界平和のために決して小さくない貢献を続けてまいりました。

10月25日（土）地区大会終了後、千歳全日空ホテル会議室で佐藤ガバナー、伊藤長英P G、奥貫新世代委員長、野澤青少年交換委員長はじめ各委員、Rotex、留学生など写真①の様に多数の皆様参加のもと約2時間の熱心な交流会が開催されました。

佐藤ガバナーご挨拶のあと伊藤長英P Gの司会で「両地区の交流の歴史と将来展望」のテーマのもと2人のパネリストの発言がありました。日本側からは代表して札幌東R Cの青木功喜会員（地区国際奉仕委員長）が幅広い視野から個々の留学生の個性を尊重しながら対応してきた歴史を具体的な例をあげながら解りやすくお話ししていただき、何かトラブルのあった時、又問題を持って悩んでいる留学生をフォローするシステムづくりの大切さをアピールされました。

又R I 5100地区を代表して伊藤克己氏はアメリカの高校生の多様化した考え方、個性豊かな事とわがままの間に充分区別がつかないアンマチュアル（未成熟）な精神状況など詳しいお話があり、50人以上の留学生を交換しているR I 5100地区の大変さを実感出来ました。そんな中でも学生個々の個性をよく把握されてお世話をされており、直近のセレスさん（長期・札幌東R C）、ジョン君（短期・上磯R C）の性格・行動も確信を持って話しておられました。

フリーディスカッションは司会が奥貫委員長に変わり、札幌東R Cの坂東会長をはじめとして、なごやかな交流の歴史を語り合うひとときと上磯R Cがかかえている痛みを富田会長・堺幹事から詳細に伺い、野澤委員長並びに伊藤克己氏から詳しいコメントをいただき、派遣学生決定の際のチェックポイント、留学生の個性を意識した受け入れ体制、何かあった時の地区委員会のタイムリーな対応など今後の課題を共通の認識として共有出来たのは意義深い事でした。

「オレゴンへの留学が僕の人生を変えました」と語るRotexの小砂晴資君（現札幌北ローターアクト会長）の言葉がロータリープログラムの素晴らしさを雄弁に語った懇談会のひとときでした。

1日目、2日目をホテルで過ごした伊藤ご夫妻は3日目、4日目をホームステイされました。写真②はホストの方々や留学生達とくつろぐご夫妻ですがケイさんやミラさんの弾くピアノの音色にウツトリ、又代々の5100地区からの留学生達のアルバムを眺めて、彼女達の最近の生活ぶりを披露されておられました。

写真③は帰国の日、見送りに来ていただいた佐藤ガバナーとがっちり握手するチャック伊藤氏ですが、両地区の益々の親密な交流が誓われたひとときでした。（文責：奥貫一之地区新世代委員長）



①



②



③

国際ロータリー2004年国際大会（関西）

参加登録第1次締め切りは、12月15日です！

～お早めにご登録を！～

10月中旬頃、R I 本部より登録書式が各クラブに送られてきたことと思います。

もうすでに登録を済まされた方もおられるかも知れませんが、まだ、お済みでない方、第1次締め切りが近づいております。同じ登録をされるなら、12月15日(月)までに済まされることをお勧めします。なぜなら…

- ・名札や購入されたR I チケットイベントを含む登録資料一式が、大会前に皆さまのクラブに送付されます。つまり、大会当日に登録に手間取ることなく、開会式場等にお越しいただけます。
- ・登録料は、申し込み日により3段階あり（下の表をご覧ください）、12月15日(月)までの登録が一番安く設定されています。

登録料に含まれているものは、下記のとおりです。

- ・開会式、閉会式等を含む各会議（国際研究会除く）。
- ・友愛の家への入場

よって、食事・宿泊は一切含まれておりません。

尚、チケット行事に関しては、すべて別途登録料が必要です。

次に皆さまが気にかけている登録キャンセルについて、

- ・登録キャンセル受付は、2004年4月15日まで。それ以降の登録料の返金は一切ありません。
- ・キャンセルには、すべて一律US\$30.-の手数料がかかります。
- ・キャンセル要請は、すべて書面（FAX、Eメール）で受け付けられ（国際ロータリー日本事務局で取扱い）、電話では受け付けられません。
- ・登録は本人のみ有効です。譲渡は認められておりません。

登録・キャンセルに関する詳細は下記へお問合せください。

国際ロータリー日本事務局

TEL：03-3903-3161

FAX：03-3903-3781

登 録 料

登録者のカテゴリー	締切日1 2003年12月15日	締切日2 2004年3月15日	現地で（ファックスや郵送は受付いたしません）
ロータリアンもしくは19歳かそれ以上の来賓	米貨300ドル/1人	米貨325ドル/1人	米貨350ドル/1人
ロータリアンと配偶者もしくはロータリアンの夫婦（法的に婚姻関係にあるロータリアン）	米貨400ドル/2人	米貨450ドル/2人	米貨500ドル/2人
ローターアクター、ロータリアン以外の財団学友、同財団奨学生、あるいはライラリアン	米貨60ドル/1人	米貨80ドル/1人	米貨100ドル/1人
18歳かそれ以下の来賓、青少年交換学生、インターアクター	米貨20ドル/1人	米貨30ドル/1人	米貨40ドル/1人

全国のロータリアンとひとりでも多くお会いできるこの機会をお見逃しなく！

みなさまの早期ご登録をお願い申し上げます。

クラブ幹事のみなさまにお願い

- ・登録には、会員さま1人につき1枚のご記入をお願いいたします。
- ・会員より提出された登録用紙はまとめて日本事務局へご提出ください。また同時に、国際大会（関西）登録集計表（クラブ別）により貴クラブの登録人数を12月19日(金)までに地区ガバナー事務所へご報告ください。

職業奉仕ってなに？

—フォーラム開く—

苫小牧東ロータリークラブ

会 長 木 村 修
職業奉仕委員長 蝦 名 久 志

職業奉仕月間にあたり、「職業奉仕フォーラム」を10月9日(木)夜間例会終了後1時間にわたり開催した。

“ロータリーの金看板”といわれる職業奉仕、でも職業奉仕ってなに？よく解らない、歴代委員長さんが頭を悩ませてきました。そんな疑問に自分達なりに答を見つけようと地区職業奉仕委員長富岡公治氏、砺波寿委員のお二人をアドバイザーとしてお迎えしました。

冒頭お二人のアドバイザーから“ロータリーの職業奉仕とその実践”のテーマで実践活動例を挙げた講演を聞きながら、「四つのテスト」「職業宣言」を全員に提供し、資料として配布した「第2510地区内各クラブの活動状況の分析表」(2003-04年度地区協議会資料より)を参考にしながら質疑応答・討論へとフォーラムは徐々に盛り上がりを見せていきました。質疑応答・討論の中では

「職業奉仕はその対象が漠然としており抽象的な議論に終始していて、具体的に判り易く表現出来ない」

「我々ロータリアンが日常の職業活動を通じて地域社会に貢献しているのか、あるいは地域社会がそれを必要としているのか、すなわち職業奉仕を実践しているという実感がなかなか湧かない」

「「四つのテスト」「職業宣言」は日常の事業活動の現実との間にギャップを感じるが、職業人としてのロータリアンにとっては一つの理想像であり、戒めとして少しでもその理想に近づくべく努力すべしと理解します」

「「四つのテスト」「職業宣言」を理解し自らの職業にあつて欲望の制御、共存共栄の自然摂理に従うこと、これがロータリアン個々人に求められる第一の職業奉仕。そしてロータリアン個々人とクラブが自らの職場等にこの輪を広げる第二の職業奉仕。さらにクラブとして度々職業奉仕を実践してみせることによって模範事例(職業活動表彰、職業相談(何でも相談会の実施)、職業情報(職業卓話、事業所見学会等)を示し、会員個々人の実践を奨励する第三の職業奉仕とが有ると思います」

等々の疑問質問からそれぞれ自分の考える職業奉仕について意見も出され、その都度アドバイザーから適切な助言、講評して頂き奉仕の理想としての職業奉仕への関心の深まりに繋った有意義なフォーラムでした。



地区補助金で子供相撲大会

恵庭RC会長 清水 明

9月20日(土)の恵庭市の神社祭では、毎年境内で子供相撲大会が開催される。これまでは恵庭市相撲協会と恵庭RCの共催で実施してきたが、今年から恵庭RCの単独開催になった。

大会には毎年、市内の小学生400人近くが参加する。境内にある土俵は1つだけで、これでは取り組みを消化しきれない。それで土俵マットを敷き、2面で行うのだが、土俵マットは傷みがひどくなっていた。そこで地区補助金を申請、新品を購入した。

当日の朝、移動例会を境内で開催、50人の会員が集まり、役割分担が発表された。それに従って、早速会場設営に取り掛かった。

まず既設の土俵を整備、続いてテントを張り、その下に地区補助金で購入した土俵マットを取り付ける。土俵の周りには、力士の座席や駆けつける父母たちの席を設ける。数名の行司役が集まり、打ち合

わせをする。準備が終わると、神主にお祓いをしてもらい、早目の昼食をとる。

12時になると、子供や保護者など応援団が続々と集合、こうして大会は始まった。

大会には市内の小学校から400人近くのちびっ子力士が集まり、学年別、男女別に、1年生から始まった。

熱戦が始まると、境内にはたちまち応援・勝鬨・悲鳴などが交錯し、渦を巻いていった。技が鮮やかに決まると、敵味方の別なく拍手が沸き上がる。女の豆力士も鋭い技を連発、観衆を唸らせる。

熱戦は午後4時近くまで続いた。優勝・準優勝のちびっ子力士24名が、それぞれトロフィーや記念品、そして栄光を抱いて土俵から降り、RC会員が全員で後片付けをして、子供相撲大会は無事終了した。



ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	山岡 憬	会員	10月3日
札幌東 R C	川原 宏一郎	会員	10月3日 (3回目)
札幌東 R C	小田切 房之	会員	10月3日
札幌東 R C	松宮 國彦	会員	10月3日
札幌南 R C	師尾 純一	会員	10月3日
江別 R C	安孫子 建雄	会員	11月1日

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	関野 孝志	会員	10月3日
岩見沢 R C	佐川 修一	会員	10月3日
岩内 R C	佐藤 泰視	会員	10月3日
札幌南 R C	武田 利兵衛	会員	10月3日
札幌南 R C	片山 英男	会員	10月3日
森 R C	長瀬 賢	会員	10月10日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深川 R C	村中 俊二	会員	10月29日	第2回
	永井 久之	会員	10月29日	第3回
	大西 道祥	会員	10月29日	第5回
	大西 祥太	会員	10月29日	第1回
	杉村 修	会員	10月29日	第4回
	寺岡 義人	会員	10月29日	第1回
	札幌北 R C	福田 十太郎	会員	10月1日
竹原 巖		会員	10月1日	第4回
井上 勝一		会員	10月7日	第2回
谷口 良一		会員	10月28日	第1回
札幌西北 R C	谷口 二郎	会員	10月16日	第21回
札幌手稲 R C	岩瀬 一郎	会員	10月27日	第6回
札幌東 R C	堀田 昌資	会員	10月31日	第3回
	奥貫 一之	会員	10月31日	第7回
	高橋 徹	会員	10月31日	第1回
千歳セントラル R C	土居 栄治	会員	10月22日	第1回
室蘭 R C	田所 邦夫	会員	10月24日	第1回
	内山 博	会員	10月24日	第3回
函館 R C	太刀川 善一	会員	10月30日	第6回

功労クラブ

札幌東 R C	10月31日	第1回
---------	--------	-----

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 45】

2003年11月10日発行

1. 寄付金速報 ～米山月間の成果は？

10月までの寄付金は、前年同期と比べ3.2%減、約1千7百万円の減少です(2002年度は9.6%減)。普通寄付金が1.0%減、特別寄付金が4.8%減です。10月はとりわけ最終週にたくさんのご寄付をいただきました。地区及びクラブ役員皆様の米山月間でのご努力の結果です。今後も新米山功労者表彰を広くご周知いただき、功労者になられた方には引き続きメジャードナーを目指していただけますよう、11月もご協力をよろしくお願いたします。

2. 2004学年度米山奨学金の申込状況

～全国から1,563名が応募

10月15日をもって、2004学年度米山奨学生の募集が締切りとなりました。今年は、全国の指定大学401校から合計1,563名の応募がありました。傾向としては、推薦枠定員を下回ってでも、応募者を厳選する大学が増えてきています。大学推薦制度も全国施行3年目を迎え、米山奨学金の求める優秀性の基準が、大学側にも浸透してきたことの現れでしょう。来年1月中旬～2月上旬にかけて、地区選考委員会によって書類選考・面接試験が実施され、3月末には合格者648名が決定いたします。

3. 第1回米山奨学会学友セミナー開催報告

～学友たちの手による、平和と国際貢献に向けた

知的交流の集いに約150名が参加

10月11日(土)東京大学山上会館(東京・本郷)にて、第1回米山奨学会学友セミナーが開催されました。全国の米山学友会の会長有志が連携して初めて開催したこのセミナーには、現役・元米山奨学生やロータリア

ンの他、一般留学生や日本人学生、社会人など、定員を超える147名の参加がありました。平和学の第一人者である岡本三夫先生(広島修道大学教授)の基調講演に続いて、懸賞論文入賞者を含むパネリストによるパネルディスカッションが行われ、平和のために留学生がどのような役割を果たすべきか、参加者全員が真剣に耳を傾け、語り合いました。白熱した質疑応答では、留学生をとりまく諸問題も取り上げられました。詳しくは、当会ホームページに掲載いたしますので、ぜひご覧ください。

4. 学友の卒業制作がストックホルム国際映画祭に正式招待

韓国出身の米山学友：ベ・テスさん【2002-03/大阪芸術大学/羽曳野RC】の卒業制作映画が、今年のストックホルム国際映画祭(11/13～23開催)の正式招待作品に選ばれました。ストックホルム国際映画祭は北ヨーロッパ最大の国際映画祭で、今年は日本からベ・テスさんの『Gong』の他、ホラー映画『呪怨』など計7編が出品されています。国際的な大舞台で活躍する学友がまた一人誕生しました。ベ・テスさんの健闘をお祈りいたします。

(財)ロータリー米山記念奨学会(担当：峯)

Tel : 03-3434-8681

Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール : highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ :

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(194号)

このたびは昨年度の会計報告をさせていただきます。今後ともロータリー文庫をご活用くださるようお願い致します。

ロータリー文庫 2002～2003年度会計報告

(貸借対照表)

資 産		負 債	
現 金	64,328	雇用保険料預り金	10,101
普 通 預 金	7,832,829	社会保険料預り金	239,034
定 期 預 金	5,000,000	負 債 合 計	249,135
仮 払 金	100,631	正 味 財 産	
現 金 預 金 計	12,997,788	次 期 繰 越 剰 余 金	12,748,653
合 計	12,997,788	合 計	12,997,788

(収支計算書)

収 入		支 出	
会 費 収 入	33,157,350	委 員 会 費	1,644,989
雑 収 入	298,585	業 務 費	5,048,072
		賃 貸 管 理 費	13,517,459
		人 件 費	16,207,783
		予 備 費	476,260
当 期 合 計	33,455,935	当 期 合 計	36,894,563
前 期 繰 越 収 支 差 額	16,187,281	当 期 収 支 差 額	△ 3,438,628
収 入 合 計	49,643,216	次 期 繰 越 収 支 差 額	12,748,653

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL.(03) 3433-6456 FAX(03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃 報 心よりご冥福をお祈りします



出 羽 征 司 会 員 (室 蘭 R C)
2003年10月2日ご逝去 (享年65才)
ロータリー歴等
平成3年2月1日入会
1994～95年度 S A A
1997～98年度 幹 事
1998～99年度 広 報 委 員 長
2001～02年度 クラ ブ 会 報 委 員 長
2003～04年度 現 年 度 副 会 長



岡 田 健 一 会 員 (室 蘭 東 R C)
2003年10月25日ご逝去 (享年61才)
ロータリー歴等
1989年8月入会
1990～91年度 イン タ ー ア ク ト 委 員 長
1993～94年度 青 少 年 委 員 長



相 沢 幹 会 員 (札 幌 R C)
2003年10月31日ご逝去 (享年79才)
ロータリー歴等
1975年7月入会
2001～02年度 会 長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



吉 田 日 出 勝 会 員 (七 飯 R C)
2003年10月26日ご逝去 (享年64才)
ロータリー歴等
1981年1月入会
2003～04年度 出 席 委 員 長
ポール・ハリス・フェロー

*** 掲示板 ***

・例会変更のお知らせ

- ・羽幌 R C
12月13日(土) 年忘れパーティー (12月11日と振替)
12月25日(木) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・赤平 R C
12月9日(火) 夜間例会18:30 (ローターアクト・家族忘年会)
場所: 八千代寿司
12月23日(火)、30日(火) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・芦別 R C
12月12日(金) 夜間例会 (会員家族親睦忘年会) 場所: 北の京芦別
- ・滝川 R C
12月11日(木) 夜間例会18:00 (忘年会—夫人同伴)
場所: ホテルスエヒロ
12月25日(木) 休会
1月8日(木) 夜間例会18:00 (新年会) 場所: 三浦華園
- ・江別 R C
12月18日(木) 家族例会18:00 場所: 江別市民会館小ホール
12月25日(木) 休会 (定款第5条1節Cにより)
- ・岩見沢東 R C
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条1節により)
- ・当別 R C
12月16日(火) 「年忘れ家族例会」18:00~
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条第1節により)
- ・倶知安 R C
12月14日(日) 年忘れクリスマス家族会 (12月17日と振替)
18:00点鐘 場所: ホテル第一会館
12月31日(水) 休会
- ・小樽 R C
12月11日(木) 家族忘年会 17:30点鐘
場所: 小樽グランドホテル3階
- ・苫小牧東 R C
12月11日(木) クラブ忘年会 18:00~
場所: グランドホテルニュー王子1F「桃苑」
12月21日(日) 「053コンサート」(12月18日の例会を変更)
12:00点鐘 場所: 苫小牧市民会館大ホール
- ・苫小牧北 R C
12月16日(火) 夜間移動例会 (忘年会) 18:00~
場所: 天然温泉「なごみの湯」
12月23日(火) 休会 (法定休日により)
12月30日(火) 休会 (定款第5条1節により)

・地区組織図の変更について

地区青少年交換委員会委員の山内哲郎会員 (上磯 R C 退会)、長澤昇司会員 (札幌東 R C)、渡邊葉子会員 (札幌西北 R C) が委員を辞任されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・青少年交換委員会事務局電話・FAX番号の訂正

電話: 090-8706-4847 FAX: 011-802-2512にご訂正下さいますようお願い致します。

ガバナー事務所年末年始業務について

ガバナー事務所は12月29日(月)から1月6日(火)までお休み致します。皆様良いお年をお迎え下さい。

10月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.10.31	増減	内女性	
1	深川	3	43	43	0	2	84.17
	羽幌	4	47	47	0	1	70.47
	妹背牛	3	10	10	0	0	76.60
	小平	5	16	16	0	0	63.75
	留萌	4	64	64	0	0	92.09
	小計		180	180	0	3	77.42
2	赤平	3	35	35	0	1	84.83
	芦別	5	58	57	-1	0	90.57
	砂川	5	55	56	1	0	96.93
	滝川	5	109	111	2	2	69.00
小計		257	259	2	3	85.33	
3	美幌	5	47	45	-2	0	91.16
	江別	5	46	47	1	2	88.44
	江別西	4	40	40	0	3	85.00
	岩見沢	5	100	101	1	0	90.41
	岩見沢東	4	34	36	2	3	91.03
	栗沢	5	33	33	0	2	94.94
	栗山	4	32	32	0	2	95.00
	当別	4	42	41	-1	0	81.55
	小計		374	375	1	12	89.69
4	札幌幌	5	113	126	13	0	98.36
	札幌あけぼの	5	18	18	0	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	30	0	5	83.93
	札幌北	3	54	56	2	5	92.57
	札幌モーニング	5	60	62	2	0	78.88
	札幌西	3	74	78	4	2	93.69
	札幌西北	5	50	52	2	2	90.55
	札幌手稲	4	44	44	0	0	100.00
	小計		443	466	23	15	92.25
5	札幌東	5	118	121	3	0	99.82
	札幌清田	4	29	29	0	5	100.00
	札幌幌南	4	81	78	-3	0	99.64
	札幌真駒内	4	46	47	1	2	100.00
	札幌南	3	90	95	5	0	95.69
	札幌大通公園	3	19	19	0	5	87.71
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	71.10
	新札幌	5	36	37	1	1	90.30
	小計		438	445	7	18	93.03
6	岩内	5	35	36	1	0	78.00
	倶知安	5	57	57	0	4	78.94
	小樽	4	88	89	1	0	88.33
	小樽南	4	86	86	0	0	91.45
	小樽銭函	5	22	22	0	3	80.91
	蘭越	4	15	15	0	0	86.67
	余市	5	46	46	0	4	93.46
	小計		349	351	2	11	85.39

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,364人(96人)
増加会員数	60人
当月平均出席率	85.38%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.10.31	増減	内女性	
7	千歳	5	72	74	2	2	94.30
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	84.70
	恵庭	4	50	50	0	0	84.04
	北広島	3	15	18	3	2	84.31
	長沼	3	17	18	1	4	85.16
	由仁	5	16	16	0	0	90.00
	小計		201	207	6	8	87.09
8	えりも	4	23	25	2	0	80.00
	三石	3	18	18	0	1	83.30
	様似	4	20	20	0	2	50.63
	静内	4	68	68	0	0	83.55
	浦河	4	42	42	0	1	91.07
	小計		171	173	2	4	77.71
9	伊達	4	55	57	2	0	76.17
	室蘭	5	56	59	3	0	77.19
	室蘭東	3	48	49	1	0	86.05
	室蘭北	4	39	39	0	2	100.00
	登別	5	39	39	0	2	84.62
	洞爺湖	5	12	13	1	0	100.00
	小計		249	256	7	4	87.34
	10	函館	4	101	104	3	0
函館亀田		3	47	48	1	1	81.25
森		5	48	48	0	0	78.00
七飯		4	29	27	-2	0	74.00
長万部		3	12	14	2	0	73.80
小計		237	241	4	1	77.03	
11	江差	4	21	21	0	0	78.00
	函館五稜郭	4	64	69	5	0	86.82
	函館東	4	60	61	1	6	77.31
	函館北	5	43	40	-3	0	81.05
	上磯	5	33	34	1	3	64.90
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	234	4	10	75.79	
12	白老	4	32	32	0	2	85.50
	苫小牧	5	61	63	2	0	80.83
	苫小牧東	4	33	33	0	3	88.08
	苫小牧北	4	49	49	0	2	91.86
	小計		175	177	2	7	86.57
合計		3,304	3,364	60	96	85.38	

地区カレンダー（12月・1月）

12月 家族月間	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	ガバナー補佐会議（千歳市） 2004年国際大会第2回ROTEX準備会議（東京）
7(日)	第2回全国青少年交換委員長会議（東京）
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	
14(日)	地区青少年交換委員会
15(月)	大阪国際大会第1次登録締切り
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	
21(日)	
22(月)	
23(火)	天皇誕生日
24(水)	
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

1月 ロータリー理解推進月間	
1(木)	元旦
2(金)	
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	
12(月)	成人の日
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	
18(日)	
19(月)	
20(火)	
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	
30(金)	
31(土)	地区青少年交換委員会



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2004

2003-2004 GOVERNOR'S

1

MONTHLY LETTER No.7

2004. 1. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ・ガバナー日記	1
ロータリー研究会報告/財団セミナー報告	4
上期活動報告	14
国際ロータリー理事会の決定事項の抄録	27
年頭のご挨拶/RI会長ノミネー・理事ノミネーの発表	29
青少年交換委員会報告	30
ロータリー市民フォーラム	32
スリランカに中古自転車を贈る/十勝沖地震義援金報告	34
ドンモアンRC訪問報告	35
第1回米山記念奨学委員会報告	37
地区補助金申請について/下期地区資金お振込みについて	38
ハイライトよねやま46	39
文庫通信	40
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	41
掲示板/新入会員のご紹介	42
11月会員数・出席率	43
下期地区カレンダー	44

ガバナーメッセージ



新春のご挨拶

ガバナー 佐藤 秀雄

クラブ会長・幹事様、そして会員の皆様明けましておめでとう御座います。昨年のは前半期はクラブ運営に意を注ぎ公式訪問、地区大会と多忙を極めた時期でありました。2004年、新しい年を迎えての後半期は前半期積み残した事業をじっくり腰を据えて計画し実行に移して、悔いのない1年間でありますよう思う存分やって頂きたいと思っています。会員増強についてもクラブ会長自ら熱き思いを持って事にあたれば、純増は不可能ではないでしょう。会長がリーダーシップを発揮しクラブ会員全員が一丸となって取り組まねば増強など程遠い話であります。今年は大阪国際大会も控えています。後半期も心を引き締めてロータリー活動に邁進しようではありませんか。あと半年頑張りましょう！

国際ロータリーは近年特に官僚的になって来ているように思えてなりません。「謝意の表明」しかり、財団の寄付しかり、物事全てにトップダウンが目立つようになってまいりました。会員自らが発案、発想した事例につきRIが承認し予算をつける。このような形で展開されてこそ会員はやる気を起こし活性化されていくのではないかと常日頃考えています。地区についても同じことが言えるかもしれません。一般地区資金が増大し特別地区資金が減少していま

す。本来逆にならなければ正常とはいえません。後半期も「ロータリーとは」を模索しながら運営をしてまいります。どうか会長・幹事様のご支援をお願いします。

ロータリー地域財団セミナーへの参加

藤川ロータリー財団地域コーディネーター(RRFC)の司会で10時きっかりに会議が開始された。岡本RRFCから挨拶と来賓の紹介があり菅生RI理事、ジェームス・レイシーロータリー財団管理委員会委員長(TRF)の挨拶、その後千玄室ポリオ撲滅キャンペーン日本委員会委員長(PEFC)から「ポリオ撲滅キャンペーン」について話され、専門家によるとポリオウィルスを世界から完全に追放するのは大変困難な仕事である。しかし2005年度までにロータリーはこれを撲滅し追放しようと努力している。みんな協力しようと要請された。蔵並定男恒久基金日本委員会委員長は「恒久基金委員会報告」を、ジョン・オスターランドTRF局長からは「財団の財政」について、宮崎茂和RRFCは「年次寄付」について話され午前の部は終了し昼食に入る。12:55から財団学友による音楽演奏会が開催され、はばたけ・エマさん、吉田裕美さん、南日美奈子さんの素晴らしい演奏と歌声に聞き入った。

13:35から午後の部が開始され岩井敏ロータリー・センター・ホスト・エリア・リエイゾンから「ロータリー平和センター」とロータリー日本財団理事長でもある同氏から「ロータリー日本財団」について話された。平和センターについて2003年4月10日NPO法人特定非営利法人として設立登記を完了し、寄付額の免税を当局に申し入れているが、いまだ結論には至っていない。続いて岡本RRFCから「ロータリー財団活動」について話があり、地区においてロータリーカード推進委員を任命して頂きたい旨の要請があった。現在まで入会した会員は約700名であるが、今回はゴールドカード（年会費が1万円）ではなく、年会費のかからない普通カードを作ったので多くの会員が利用して頂くようお願いしたい。売上総額の0.3%が財団の資金に還元されるのでぜひお願いしたい。片岡暎子日本事務局財団室長からは「新しいシェア・システム」について話があり、2003・11・27付けで又ロータリー財団地域セミナーハンドブックが発刊された。近々当ガバナー事務所からクラブ担当者に新刊が届くと思うのでよく読んで理解して頂きたい。

最後に質疑応答があり、最初に平和奨学生プログラムについて時限立法的に創設から5年という期限でプログラムが組まれているが、このような良い制度を永久に続けたいかどうか、との質疑に対し、レイシーロータリー財団管理委員長は私も継続を考えている。しかし2年という制度が良いのかは疑問だ。このプログラムは働いている若者を基本に考えているので、休職して2年間学ぶと言うのは、そうたやすいことではない。従って1年を目途に継続してはどうかを委員会で十分検討したい。

2番目の質疑は財団学友の行方不明者が多いが何とかならないか。との問いに対しては受講者の一人から、地区の財団学友委員長が熱意を持って事にあたれば解決出来る問題だ。私は9年間学友委員長として学生一人一人と握手を交わし常に対話してきた。その熱意こそが大切だ。玉村TRF管理委員は現代の学生は昔のように恩を与えたから、その恩に報いると言うような考えでは通用しない。奨学金をもらって留学できた、それはそこまでの話でその後ロータリーとよき関係を続けるならば学生たちのフォローをして行かなければ良き関係を継続すると言うのは無理な話だ。義務的に行動していたのでは学生はついて来ない。という厳しい意見を言われた。

3番目の質問は年次寄付と恒久基金を1本化したらどうか、について年次寄付は3年間据え置いて、その果実と共に財団のプログラムに全部費消されている寄付金であり、恒久基金は元金を積み立てし原則取り崩さずその果実のみを年次寄付金と合算し財団プログラムに使用されているものであるから1本化は出来ない。

4番目の質問は各地区で実施しているGSEプログラムは廃止すべきでないか、についてGSE事業は確かに地区の大きな予算を使って実施しているのは解るがそれなりの効果があるのではないか。例えばこの事業によって姉妹提携クラブが誕生したり、友好クラブの提携、友情交換まで行くかもしれない。或いは青少年交換事業に発展するかも知れない。それなりにロータリーのニーズがあることを勘案すると存続すべき事業と思う。経費がかかるとすればホームステイ等を多くし、節約することを考える事が大事ではないか。

ガバナー日記(5)

9月13日(土)、14日(日)の両日札幌NTTセミナーセンターでライラセミナーが開催され「共生の時代に生きる」をテーマにジュニアクラスが集った。そこには交換留学生も参加し国際色豊かな輪が出来た。最初はぎこちなかったジュニア達も論議が進むに連れて緊張もほぐれ活発な論戦が展開され楽しい2日間だった。宮崎委員長、そして支援をされた会員の皆さん有難う御座いました。

公式訪問

9月9日(火) 深川、妹背牛両RC公式訪問のため千歳発14:26のホワイトアローで会場の深川プラザホテル板倉に大川地区幹事と共に向う。17時きっかりに渡部ガバナー補佐司会で会長・幹事懇談会に入る。妹背牛RCの江端会長は会員が10名以下になったのでクラブを解散しようかという話が出たが若い会員が2名増強されたので継続する事とした。クラブを建て直そう!のローガンのもとに交通安全、親睦家族会、パークゴルフ大会等積極的に取り組んでいる。ロータリーの灯を消すことなく少人数でも活性化はできるはずである。知恵を絞って楽しいロータリー、地域社会に貢献して頂きたいと切に願っています。続いて深川RCの小野会長は長老がないので派閥がない。例会、各委員会はそれぞれ自由闊達な意見交換の場となり非常に良い状態にある。姉妹クラブの締結、イベントへの全員参加、クリスマス家族会等活発に活動している。非常に良い状態にクラブがあるので継続して欲しい。

9月17日(水) 第2グループ土山ガバナー補佐の砂川、滝川RCの公式訪問のため砂川パークホテルに高慶地区代表幹事補佐、中村地区幹事と共に向う。17時両クラブ合同の会長・幹事懇談会に入る。土山補佐挨拶の後、砂川RCの竹田会長から情報ネットワークを構築した。7月1日にはホームページも立ち上げ会計帳簿、出席確認表等

もパソコンで作成し公明正大に公開している。勿論パスワードで最低限のプライバシーの保護は図っている。時代にマッチした運用体制に心から賛辞を申しあげたい。米山、財団の寄付については封筒を作り、常時例会のテーブルに備え置き、好きなときに好きな金員を寄付する。素晴らしい発想で頭が下がる思いである。次に滝川RCの林会長は人口約4万6千人で、クラブ会員総数111名は他都市に比べ多い方ではないか。アドレス所持者は約3分の1、会員の増強は人口が減ってきているので厳しい。同好会が活発に活動している。世界大会は原則夫婦で参加を奨励している。ぜひ末永く110名をキープ願いたい。

9月19日(金) 赤平、芦別両クラブの公式訪問、場所は芦別北の京、木村代表幹事と共に13時事務所を出発。土山補佐同席のもと赤平RC石野幹事司会で17時から会長・幹事懇談会に入る。芦別RC坂田会長は人口20,300人で57名の会員である。ロータリーの森の特別委員会を作り毎年6月第3週を樹木の植栽日と定め実施している。芦別国際交流協会と協力し中学生を毎年カナダに10日間留学させている。野球部を作り坂田会長が監督となり活発に行動した結果若い会員が入会するようになった。情報委員会ではパソコン教室を開催し好評を得ている。スリランカへの中古自転車の収集にも力を注いでいる。有難う御座います。赤平RC布施会長は1960年に創立されたが10年以上の会員が70%を超えるため若い会員を増強したい。障害児童100~130名を参画させゲーム大会、クリスマスケーキ作りを指導、食事会等を実施している。園児を連れての老人養護施設訪問、よさこいソーラン、同好会事業等活発に活動している。(補佐からは金融関係が退会したので会員に封筒を渡し例会で受領している。)素晴らしい事業展開に敬意を表します。

ロータリー研究会報告



—職業奉仕よ、甦れ—

パスト・ガバナー

石垣博美 (札幌セントラルRC)

第32回ゾーン研究会に出席する機会を与えられ、多大の感銘を受けた。以下は、地区内のロータリアンの方々に是非ともお伝えしたいレポートの骨子である。

- (1) 今回の研究会は形式、内容ともこれまでにない改良がなされたとの印象が強い。田中・菅生両RI理事指導のもとに研究会のやり方に創意工夫がなされ、フロアからの発言がたくさん出るようになったことである。(1日目に6分科会のコーディネーターが30分のテーマ趣旨を説明、一晩おいて翌日、テーマごとに討論する。私は一晩中考え続けて睡眠不足となった)
- (2) 内容面でもセミナーの6分科会分割(職業奉仕、ビジョン、ポリオ、貧困飢餓識字率、家族、平和奨学生)はタイムリーなテーマ選択である。間然するところは少しもない。その上、印象的だったのは、ロータリーが100周年を迎える節目にあたり、21世紀のロータリーはいかにあるべきかという視点を強く意識した発言が多い事であった。特に私の出席した分科会は職業奉仕のテーマについてその感が強かった。

以上2点に更に付け加えれば、総じてどの分科会も活発な議論に溢れていたと思われ、菅生RI理事の主張するような大変刺激的な内容を持ち、海外発信に値するようのものであった。

- (3) 私の出席した第1分科会は「職業奉仕」であった。コーディネーターの道下俊一PG(第2500地区)は、人も知る北海道のA. シュバイツァー(あの黒人医療に一生を捧げた)と言われる人であったので、おのずから議論は沸いた。道下PGは最近

のロータリーではポリオ撲滅や平和奨学生のような巨大プロジェクトに進む反面、初期のロータリー運動の中から誕生してきた職業奉仕がなおざりにされていることを嘆く。かつて職業奉仕はロータリーの金看板であり、真髓だとも言われた。シェリダンの「He profits most・・・」(第2のスローガン)が人々の心に灯をともした(1917年)。次いでコリンズが「四つのテスト」で破綻した工場の再建に成功した。ロータリーの「奉仕の精神」は世界大恐慌という風雪のテストを生き延びたことになる。このあたりがロータリーにおける職業奉仕の原点ではないかと思われる。

しかるに近年はこの原点が見失われてきた。これでいいのかと道下PGは嘆く。私共は説得性の強いこの「職業奉仕の神様」の言葉に脱帽し且つ共感する。パネリストの加納泉氏、近藤雅臣氏を加え討論は白熱した。

- (4) ゾーン研究会を終えて地区に帰り、私共の札幌セントラルRCの例会に出席。早速この研究会の模様を伝えた。たくさんの意見が出て私共のクラブでも今、職業奉仕に関する議論が沸騰している。田中宏会員はロータリーの根幹は職業奉仕にあり、自分の職業を「天職」にまで高め、自己研鑽を積むことがロータリアンに課された責務だと説いた。しかし他方では、そうした「天職論」は近代以前の医療や教職に見られたもので、いまや時代遅れではないかという説も出た。ポスト・モダン(脱工業化)の時代は職業の多様化をもたらしたのである。例えば、今のネット・ワーキングの世界では商品取引から金融、物づくりにおいてすらもネット

トワークの世界で成立してしまうのだ。ウェブに会社や行政のサービスを操作する作業が普通の職業として登録される。そうなる職業のコンセプトが一様でなく、多様化することは避けられない。更にまた面白い事に「天職説」の復活を予兆しロータリーこそはそういうエートを醸し出すのではないか、という意見も出た。

それは一言で言えば社会の変化であり、これを背景として一度死んだ天職観が再び甦るといふのだ。こういうことをもたらすであろう第1の変化は戦後流行した「福祉国家政策」であろう。どこの国も福祉を優先し、従来ロータリーが社会奉仕として実践してきた慈善プログラムは殆ど国営化されたと見てよい。その結果、ロータリーはプロジェクトづくりの大型化を目指したのである。第2に戦前のロータリーの理念は国際社会の「平和・協調」を戦後の国連の基本理念と著しく接近、アメリカの大統領にロータリアンが多かった事である。これもプロジェクトの巨大化を促した。更に第3は経済の「市場主義化」があげられよう。このため先進成熟社会では、サービス産業の比重が高まり、加えてNPOや無償のボランティア・サービスもまた両者を合するとGDPの10%を超える勢いである。こうした「サービス経済の社会」では今ものすごいスピードで「組織の衰退」が始まり、

人々は「脱階層化」社会への憧れを抱くようになってきたらしい。フリーターが全労働人口の20%に近づいてヨーロッパやロシアではデモが続発している。明らかに21世紀は人々が働く事を単なる生活手段としてではなく、自己実現のための手段としてエートスが芽生えているように見える。職業の真の紹説化が再び取り戻されるだろうと思う。

このような議論が札幌セントラルRCでは盛んに行われている。ロータリーが新しい時代への対応力を発揮すべき時代がやってきたのではないかと思う。

なお、2004年規定審議会のオリエンテーションが第1日目(28日)に開かれた。各地区から選ばれた代表議員34名が集合。第1回オリエンテーションの座長、田中毅氏および世話人の黒田正宏両氏から2時間にわたり、前回採択された決議案に関わる2004年規定審議会の状況について詳細にわたる話がなされた。

第2回は4月上旬、第3回は出発2週間前になされ6月中旬のシカゴにおける約1週間の審議会の後に行われる予定である。

付記：なお、道下PGはロータリークラブを「社交」にまで高めることの意義を説いた。卓見である。ロータリーを育てた地下水はイギリスだけでなくヨーロッパにも及ぶかのようだ。



第32回ロータリー・ゾーン研究会報告

パスト・ガバナー

伊藤長英(苫小牧北RC)

1997年以来7回目の参加となったロータリー・ゾーン研究会も、関係者の努力によって年々内容が充実してきたのは大変喜ばしいことである。

ジョナサンB. マジリアベRI会長の挨拶は、「手を貸そう」の具体例を挙げられた。そしてロータリー家族委員会の必要性を力説され、世界における紛争の原因は貧困が大きな要素となっているので、貧困・飢餓に対して手を差し伸べることが大切である。非識字の人たちに「手を貸す」ことの必要性、特に女性に対する教育の重要性、女性の教育は母親になっ

てからの子供の教育に大きな影響を与えるからである。保健問題では、ポリオ撲滅が最大である。ロータリー財団への貢献に感謝の意を述べられた。ポール・ハリスは「戦争に至る道はよく舗装されているが、平和に至る道はいばらの道である」と言っている。ロータリーはポール・ハリスの夢を実現するべくロータリー・センターを開設した。昨年度から70名の世界平和奨学生が7つの大学で研究生活をスタートさせた。もう一つの重要な事業はポリオ撲滅キャンペーンである。ポリオの撲滅は100周年記念

の重要課題である。奉仕の基本は「手を貸す」ことであり、それは「人類は一つ」ということも意味している。一つの手が無数の手になっていくことが私の夢である。

ジェームス L. レイシーRI財団管理委員長は、私のガバナー年度のRI会長であり、大変親しみのある方である。「ロータリーの夢を追い続けよう」のテーマで、虹のマークのバッジをつけたが、今回もロータリー、ロータリー財団を空にかかる「虹」に例えて説明された。人の苦しみを癒し、貧しさを克服することが出来る「虹」である。

虹は七色である。緑は「心遣い」である。生物が大きくなるという意味の緑である。黄色は「愛」である。家族、地域社会、世界に対する愛がなければならぬ。橙色（オレンジ）は「分かち合う」ことである。四つ目の色こそ「奉仕」であり薄紫（バイオレット）である。他人の為に自分の資金、時間、能力を使って、自分自身の人生を豊かにすることが出来る。五つ目の色は、「手」であり濃紺（インディゴ）である。ポリオ・プラスは、手を貸すことにより、ポリオに罹ったであろう10億人の子供たちが救われている。六つ目の色は「赤」であり、情熱の色である。私たちは情熱的に行動しなければならない。最後の七つ目の色は、青（ブルー）であり、青空、海、静謐の色である。静けさを与える色が青であり、困難な局面に陥っている人たちに「夢」を与える。七色の意味することを常に銘記し、手を貸そうの精神のもと夢を追い続けよう。

財団のために貢献を頂いていることに感謝申し上げたいと述べられた。

研究会の本会議は、2日間にわたって第1セッションから第7セッションまで行われた。私は、すべてのセッションに参加したが、第4セッションにおけるテーマ別のフォーラムにおいては、私は今年度、貧困緩和推進グループの第1ゾーン・コーディネーターの立場にある関係で、貧困問題の緩和をテーマとするフォーラムに参加した。モデレーター1名とパネリスト2名の発言の後、活発な意見の交換があり、有意義なフォーラムであった。大切なことは、

各地区または各クラブにおいて、貧困緩和を推進するプログラムをどのように実践するかということである。私の担当する地区およびクラブにおける実行力に期待したい。今年度の成果を4月末頃までにまとめてエリア・コーディネーターに報告する予定である。

尚、第1セッション（各種報告・その1）において、米山記念奨学会について、常務理事、事務局長である宮崎幸雄氏（東京RC）の発表があった。日本のロータリー独自の事業である米山奨学事業は、ロータリーの理想とする国際理解と相互理解に務め、国際親善と交流を深めるために優秀な留学生を支援し、国際平和の創造と維持に貢献することを目的としている。これまでに96カ国から11,542名の奨学生を支援してきた。規模と実績共に民間で最大の留学生奨学団体となっている。世話クラブとカウンセラー制度は、大学関係者や他の奨学団体から高く評価されており、大学推薦制度も定着してきており優秀な留学生を推薦されるので好評である。最近では毎年1,000名の奨学生を支援しているが、現在の寄付状況では赤字となる。特別積立金を取り崩している状況なので何とかご協力をお願いしたい。今年度から、米山功労者をもっと身近に感じていただくために10万円第1回米山功労者表彰を行うよう改訂したのでご協力をお願いしたい。米山記念奨学会においては、会員にアンケート調査を行ってご意見を伺い今後の運営に役立てたいと考えている。

米山奨学生の累計は1万名を超え、そのうち日本に在留する米山学友は、約3,000名。外交官として日本との架け橋になる者、経済界で中心的リーダーシップを果たす者、行政、教育、医療、福祉など各界で活躍する者と、多くの学友が活躍している。

本年10月11日(土)に第1回米山奨学会学友セミナーが東京で開催された。基調講演「平和と国際貢献における留学生の役割」とパネルディスカッション「留学生の知的貢献」などが行われ、現役奨学生、米山学友、ロータリアンの他にも、一般学生、社会人など定員を超える約150名が参加し、真剣に生きる留学生の声を社会にアピールした。



ロータリー研究会・ロータリー財団地域セミナー報告

地区ロータリー財団委員会

委員長 森 本 正 夫 (札幌西北RC・PG)

今年もロータリー研究会に先立ち、ロータリー財団地域セミナーが11月27日に東京で開催されました。ロータリー研究会につきましては、佐藤ガバナーからご報告があるかと思いますが、パスト・ガバナーの一人として私の所感を少し述べたいと思います。「ロータリーはとかく寄付金集めと会員増強のことばかり取り上げる」と揶揄されることがありますが、この研究会のレクチャーは、高い倫理性と道德観に支えられた職業奉仕の考えからスタートしたロータリーの理念についての哲学的なものでした。先人のロータリアンたちが、どのような未来像を描いて社会に貢献すべく努力してこられたかを思い起こし身の引き締まる思いがいたしました。また、マリア・テレサ修道女が「経済的貧困より心の貧困の方が憂慮すべき問題ではないか」と日本人に警告を発した、というお話にも深く考えさせられるものがありました。

さて、27日に開かれた財団セミナーには総勢で220名の出席があり、財団のジェームス・レイシー管理委員長からもお話がありました。日本は財団に大きな貢献をしていることを高く評価はするものの、財団の活動を円滑に進めるためにも一人100ドルの寄付をお願いしたい、という主旨でした。また、恒久基金日本委員会委員長の蔵並定男氏からは、最近は大口寄付者が増えたこともあり、ロータリー日本財団の設立に関して前向きな動きがあるかもしれないという話がありました。

ロータリー財団のジョン・オスターランド局長からは、財団財政を総括して、寄付の種類とその用途

の内訳について説明がありました。昨年度は寄付のうち年次寄付が42%、ポリオは54%、恒久基金は4%となっており、教育的分野には26,900万ドル、人道的分野に28,400万ドル、ポリオに3,880万ドルが充当されました。ポリオへの支出が増え、人道的分野やマッチング・グラントへの運用が減っているという実情があるようです。

また、日本事務局財団室長の片岡瑛子氏からは、新しいシェア・システムや補助金申請について説明がありました。申請書の不備のために全申請の25%が却下されているということでした。

最後の質疑応答では、2560地区による「京都方式」について紹介がありました。財団運営の一助として、きめ細かな創意が工夫されているようで、たとえば例会ごとに250円から300円の寄付を募ったり、毎月1回年間で100ドル、半期ごとに50ドルで年間合計200ドルの寄付集めに努めているということでした。

長引く不況が各方面に影を落としてはいますが、発展途上国においては貧困により子供たちが教育の機会を奪われたり、十分な栄養を摂取できないことが原因で命を落とすという現状を考えると、私たちロータリアンとしてはこのような子供たちに真っ先に手をさし伸べなければならないという使命を感じるものです。セミナーの昼食会では、音楽専攻の元財団奨学生による演奏会が開かれましたが、途上国の若者たちにもこのような機会が与えられ、将来を担う人材として育てていくことに微力ながら協力したいという思いを新たにいたしました。



ロータリークラブのための新モデルの試験的プロジェクトの報告

パスト・ガバナー

遠藤 正之 (札幌南RC)

国際ロータリーは新世紀に入り、諸々の問題に直面しており、更に発展を続ける為には大略4つの問題がある。

すなわち、

1. 将来のロータリークラブとロータリーアンはどのようなものでなければならないのか。
2. 地域社会に有意義な存在であるためにはクラブはどう対応したらよいのか。
3. 新クラブは拡大され会員を増しているが、既存クラブは会員を減らしている。どう対処すればよいのか。
4. 若い専門職、事業に携わる人に魅力を失いつつあるのではないのか。

以上のことからロータリーを強化するために、「新モデルの試験的プロジェクト」を開発し、2001年の規定審議会にて国際ロータリーの定款第5条第5節の改正により新モデルの施行が行われ、世界の19の国、190クラブ、我国では下記の3つのクラブが参加している。

1. 参加の理由

参加クラブ名	足利東RC(D2550・栃木)	春日部RC(D2770・埼玉)	東京高輪RC(D2750・東京)
創 立	40 年 以 上	40 年 以 上	10 年 未 満
参 加 理 由	1. 若い会員が入会しても3年未満に退会していく。理由は「ロータリーは自分に合わない」ロータリー、ロータリークラブが若い人達の生き方に対応できなくなってきたのか。どう改めれば良いのか。 2. 40年も経つとRIと地区の新しいプログラムに柔軟に対応する能力を失っている。どう改善するか。 3. クラブ運営、例会の運営、出席、奉仕活動についての硬直したクラブの雰囲気が若い会員にとってロータリーとロータリークラブに対して魅力を失ったのか。どう改善するか。 4. 会員と家族がロータリークラブの奉仕活動に参加しなくなっている。家族を魅力的に引き付けるには。クラブ例会が画一的でこれが原因か。 5. ロータリーのイメージが地域社会で古くなった。ロータリーの哲学が失われつつある。どう対応するか。 6. クラブの奉仕活動が総花的であるので魅力がなくなった。 7. 若い会員が我慢することが少なくない。これに対してクラブはどう対応するか。 8. 無関心な会員に対してクラブ会合、奉仕活動、地区、RIのプログラムにどうしたら積極的に参加させられるか。		会員が11名まで減少。解散か合併を考えた。

このプロジェクトの経過については、「試験的プロジェクト」日本代表である川尻政輝パスト・ガバナーが、第30回ロータリーゾーン研究会で報告し、又ロータリーの友2002年8月号に詳しく報告されている。今回の報告は、その後の経過と新しいクラブの試行について述べられた。

この「ロータリークラブのための新モデルの試験的プロジェクト」には、今4つの問題点があります。

問題点：

1. 日本における取り組みは、どのようになっているのか。
2. 2年5ヶ月の結果、3地区の3つのクラブはどのように変革したか。
3. アメリカで認証されているサイバークラブ、e-クラブ・ワンは今どのようになっているか。
4. これからの新モデルの試験的プロジェクトはどうなるのか。

当日は時間の関係で2、4について報告された。以上を表にまとめました。

2. この試験的プロジェクトに参加して2年数ヶ月でいかに変革したか。

参加クラブ名	足利東RC(D2550・栃木)	春日部RC(D2770・埼玉)	東京高輪RC(D2750・東京)
会員増強・ 退会防止に成功	21名 退会者少ない	6名 少ない	23名(現在34名会員) 少ない
経済的負担の 軽減	入会金の軽減(入会金5万円) (年会費15万円)	入会金の廃止 年会費の減額	例会を隔週(例会費の減額) 入会金廃止 年会費の減額
入退会の動向	・若い人の入会がある ・長年在籍会員の退会減少 ・再入会者がみられる		若い人の入会がある
奉仕活動	・奉仕活動に参加する会員が多くなった。 ・クラブ運営費が少なくなり、この余裕を財団プログラム奉仕活動に参加し寄付が出来るようになった。		
例会の頻度の 変更	出席義務を50%に下げる。 このため2週間に1回出席すれば良い。 ホームクラブの出席が多くなった。	月末の例会を廃止一月3回 (経済不況のため経営者の出席を考慮して) ホームクラブ出席率80%を維持している。	例会を2週に1回にし例会を19:00からにした結果、若い経営者の出席が伸びホームクラブ90%の出席率となり、家族が参加して例会が楽しくなった。
例会の時間	最終例会を夜間とし2時間の家族例会も企画。 社会との交流の場を考え、色々なゲストを呼ぶ。		例会時間を2時間に延長
その他	近隣クラブとの交流合同会議、共同プロジェクトを多く開催している。 若い会員がグループ別の新会員の教育研修セミナー、財団セミナーに積極的に参加している。		

3. これからの新モデルの試験的なプロジェクトはどうか。

RI理事会は2003年5月に2004年規定審議会にこのプロジェクトを2007年まで延長できるようにする立法案を決議しました。代議員の協力をお願いします。

又RI理事会は事務総長に対し、参加度合を振り返り、又2007年まで延長された場合、各国代表に継続できるかを確かめることを要請しています。

最後に川尻日本代表は、日本国内ではこのプロ

ジェクトを当初十分に理解していなかったために3クラブに過ぎなかったが、今後2007年6月末までに延長された場合、3年の期限で国内から3～5クラブの参加があることを希望しておられました。そうすることによって、日本国内でも一層の客観的な新モデルクラブが出来るのではと結んでおりました。

なお、このプロジェクトの詳細、サイバークラブの事については、近く発行のロータリーの友に掲載される予定です。



第32回ロータリー・ゾーン研究会に参加して

パスト・ガバナー

岩城 秀晴 (札幌南RC)

私は、11月29日(土)の開会式から始まった型どおりの進行内容については、ガバナーより御報告があると思うので、その点については省略して、第3セッションの職業奉仕関係についてのみ記したい。

先ず、第3セッションにおける職業奉仕について、第2500地区の道下俊一PG(浜中RC)が述べられた。氏は、職業奉仕はロータリーの基本として考えていくべきであり、ロータリーの力は何であるか。その職業を奉仕することが、他の奉仕団体に無いロータリーの奉仕の原点と考えたい。氏は、御存知のとおり、釧路市近郊の浜中クラブ会員であり、最近のNHKのドキュメントとして取り上げられ、氏の職業を通して奉仕する姿が放映されたのですが、氏は自己の職業により社会奉仕することが社会の信頼を受けることになり大事である。昨今、職業奉仕は難しいと考えられているようであるが、それは難しいことではないと思う。と氏は述べられた。

翌日は、分科討論会の職業奉仕についてのセッションがあり、これには道下PGをモデレーターとし、パネリスト2名の方々が職業奉仕について述べられた。その中に、1905年にロータリーは創立されたが、ロータリーは、職業奉仕の理念を中心とした精神的にも大事な職業による奉仕することが望ましいのではないだろうか。87年には職業宣言を發表し、ロータリーの哲学的な歩みを進めることが大事なことである。

職業奉仕は古典的ではあるが、今、私どもの社会においても、モラルハザードが乱れている弱肉強食

の時代となっている。職業の倫理の乱れによる虚偽が新聞を賑わせている現状は、約98年前の1905年において、ポール・ハリスがロータリーを創立した当時の社会に似ているものと思われる。企業の倫理観の欠如、正当の価値がどう判断すべきかが問われる時代であろう。そして、個々の会員の意識革命によって、ロータリーの職業奉仕観が出来れば会員も増加するし、退会もないと思う。と加納氏は述べられた。

一方、近藤氏は、ロータリーの誇りは、職業倫理観、リーダーシップの問題、プロ意識の問題、教育の問題をロータリアン同志が切磋琢磨することが必要である。ロータリアンはもっとロータリーの教育を受けて職業の奉仕をすることが必要と述べられた。また、職業奉仕に対する権威者である佐藤千寿氏は、自己の職業を大事にして、住み良い希望の持てる職場づくりが職業奉仕と考えたい。昨今の銀行はどうか、不動産融資のみに融資をして、公共性、収益性、安全性を忘れているから経営破たんを生じることになる。従って、自利他利のバランスを考えて調和させることが必要となる。身近には「四つのテスト」を重視して、自己の職業に満足感を抱くことが職業奉仕である、と述べられた。

以上に述べたように、今ロータリーには奉仕活動がたくさんあるが、その中であっても、職業奉仕の重要性を再認識して100周年を迎え、そして、希望のあるロータリーとし、101年を進めて行きたいものであると感じた。



全国会員増強委員長会議 ロータリー研究会分科会報告

パスト・ガバナー

小林 博 (札幌北RC)

会員増強 一全国会員増強委員長会議

世界の会員数は現在122万人ということであるから、会員数は漸増の傾向にある。

ただ、会員数はアジア諸国、特に日本、韓国、台湾、オーストラリアでは減少の傾向がある。特に日本では毎年5,000人近く減っているとのことである。アメリカでも会員数の減少は見られるが、年間3,000人というから母数の大きさ（世界の全会員のうちアメリカ32%、日本9%）で比較すると日本の減少がいかに際立っているかが明らかである。

なぜ日本で会員減少が際立ってきたか、その原因はいろいろある。全国会員増強委員長会議ではその根本的な原因についての論議がなく、会員増強をどうしたらいいかという論議に集中したのは些か物足りなかったというより残念なことであった。

経済的な不況は会員減少の一因ではあったとしても、むしろロータリーに対する魅力の欠如、もっと極端に言えばロータリーに対する不満とか一種の不信感があるからではないかと危惧する。その原因は単一のものではないが、その一つに昨今ロータリーの友11月号に掲載されたRI会長に対する謝意の表明の問題がある。このことについても全体会議の第7セッションで侃侃諤諤の意見がなされたが、RI理事の説明では謝意の表明は当然である、金額もおおよそ妥当でないかということであった。

地区の会員増強委員長として私が危惧することは、RIの規定審議会で決まったことであり、また理事会で決まったことであるからそのとおりにしなければいけないというだけであれば、ロータリーに対する不満は払拭できないのではないかと。謝意の表明は当然としても、金額の算出については次年度以降、冷静な再度の検討が必要ではないかと思ったのは私だけではなかったようである。

「ロータリー家族」提唱の意図

一それは退会防止にある？

2003-2004年度RI会長ジョナサン・B・マジリアベさんが特に強調しているのは各クラブに「家族委員会」を作って欲しい、また12月はロータリー家族

月間にして欲しいということであった。

ロータリアンはみんな一つの家族であり、故人となったロータリアンの家族までも含めてロータリー関係者の家族を大事にしようとの考えである。さらに新世代委員会に属する青少年交換、インターアクト、ローターアクトまでを含めロータリーに関係する全ての人がみんな一つの家族であって、その連帯感や結束を大切にしようというのである。ここには退会防止と会員増強に対する隠れた一つの狙いがある。既に家族委員会を設け、それなりの活動をされているクラブもある。

一方、我が2510地区には昨年からはまった「家庭奉仕委員会」があり、これと「ロータリー家族」が混合されがちである。「家庭奉仕」は自分の家庭に対する奉仕がロータリーの原点で、ロータリーは家庭から (Rotary begins at home) という考え方である。各人の家庭をいかに大切にするか、平和な家庭があって初めて理想的なロータリー活動が出来ようというものである。ここにはロータリアンとしての人的資質向上の狙いがある。従って「家庭奉仕」の狙いはさきの「ロータリー家族」とは違う。

「ロータリー家族」に関する討論は分科討論会の第5テーマとして行われた。ただ残念ながら十分突っ込んだ議論にならなかった、というより議論が噛み合わないチグハグな意見交換に終わってしまった。それは提唱された「ロータリー家族」の意図が不徹底であっただけでなく、家庭奉仕と混同したむきもあつたからである。

家族と家庭、これは英語で言えばfamilyとhomeである。ところが家庭委員会も英語にするときはfamily committeeとなるから両者の厳密な区分は難しいことも確かである。だが、「家庭奉仕」と「ロータリー家族」の個々の意図することの違いをはっきりさせておかないと議論はいつまでも噛み合わないことになる。

当面は「家庭を大事にしよう (家庭奉仕)」の活動を大切にしながら、「ロータリー家族」も大事にして退会防止を考えようと、仲良く2本建てていきたいものである。



第2回ガバナー・エレクト研修セミナーのご報告

ガバナー・エレクト

遠藤 秀雄 (登別RC)

これに先立ち第1回目のガバナー・エレクト研修セミナー(GETS)が9月14日(日)、東京で開催されました。田中作次RI理事から2004~2005年度がRI 100周年と理事会で決定との報告があり、南園義一RI理事エレクトの紹介がありました。

研修内容は、ロータリー財団に関する事項が主で、岡本徳彌、宮崎茂和両ロータリー財団地域コーディネーターからその組織、活動内容について説明があり、上野孝次期研修リーダーからガバナーの役割、地区の研修会についてのセミナーがありました。

今回は、11月28日(金) 8:30~15:30、新高輪プリンスホテルで開催されましたが、冒頭菅生浩三RI理事のご挨拶の中で「ロータリーの長い歴史の中で時代が変わると活動プログラムも変化する。原点を忘れがちになってはいないだろうか。ロータリアンの原点は職業を通して他人に尽くす。そのことで自分も幸せになれることではないか。地区やクラブの運営に際してその視点が大切である」と述べられ、全く同感で印象に残りました。

黒田正宏研修リーダーの「ロータリーの会員基盤維持と拡大」について

2002~2003年度RIでは305クラブ増えたが、会員数は15,886人(1.28%)減ってしまった。アジア、アメリカ、南米、オーストラリアで減少しています。日本では4,947人(4.45%)の減少で、国別では一番多くなっています。その原因としては不況による仕事の厳しさ、会員の高齢化、会員の親睦の欠如、

例会の魅力の低下、奉仕活動に興味を感じない等でした。そして、新入会員のオリエンテーションの重要性を訴えられていました。

藤川享胤研修リーダーの「効果的な指導者の開発」について

ガバナーとしての役割として①ロータリアンにやる気を起こさせる。②献身的なロータリアンの数を保持し増やしてゆく。③ロータリーが会員にとって重要な組織と認識してもらう。④方向づけと指針を提供する。⑤模範を示す。をあげられ、地区の研修会が極めて肝要と述べられました。

上野孝研修リーダーの「国際ロータリーの管理運営要件」について

事務局の組織と使命について説明され、またロータリーの情報源として、①人的(事務局)②活字(出版物)③電子メディア(RIウェブサイト、RJW等)④視聴覚(ビデオ)があり、活用して欲しいと述べられました。

最後に昨年の国際協議会の様子が紹介され、予備知識が得られました。これまで2回のロータリー財団とGETS、1回の米山奨学会とゾーン研修セミナーに参加し、これはまさにガバナーになるための意識改革であり、ロータリー学を叩き込まれたと実感しました。研修費用も会員諸兄の浄財であり、無駄にすることなく頑張りたいと心を新たに致しました。



ロータリー財団地域セミナー報告

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

日時：2003年11月27日(木) 10:00~16:20
 場所：東京高輪プリンスホテル
 出席者：佐藤秀雄ガバナー・遠藤秀雄ガバナー・エレクト・塚原房樹ガバナー・ノミネー
 森本正夫地区財団委員長・伏木忠了地区補助金委員長・(竹山涼一元RI理事)

開会、主催者挨拶に続いて、菅生浩三RI理事の来賓挨拶

RIは人頭分担金で運営されている。財団は、プログラムの資金を寄付で確保、3年間の利息で運営、年次寄付・恒久基金等の寄付収入とプログラムの支出との収支バランスが取れている。又プログラムを通じて、プログラムに実際に参加することによりロータリアンの資質を高める。

ジェームス・レイシーTRF管理委員長の挨拶

目標設定は大事であり、日本は財団への貢献は大きく、ロータリーは世界への約束であるポリオの撲滅を果たさなければならない。日本は、ロータリーの世界のリーダーですので一層の努力をお願いし、毎年1人あたり100ドルの寄付で全てのプログラムが活動できます。

「ポリオ撲滅基金キャンペーン」 千玄室PEFC

ポリオキャンペーンの最新データでは、837万ドル集まったが、約束の1,600万ドルの半分であり、「約束を守ろう」をスローガンに、バルセロナ、ブリスベンの国際大会で決意した旨、全会員に伝達して頂きたい。

「恒久基金委員会報告」

蔵並定男恒久基金日本委員会委員長

日本は139万6千ドル、世界の20%に当たる。
 最近大口寄付者が増えておりますが、なお一層のご協力をお願いしたい。

「ロータリー財団活動について」 岡本徳彌RRFC

8月に財団地域セミナーを開催。

明日からゾーン研究会、財団セミナー開催、RI会長も来日。

クレジットカードの1万人目標に、担当者を決め推薦願いたい。

来年の大阪大会には、財団セミナーを計画

「新しいシェア・システムや補助金について」

片岡暎子日本事務局財団室長

- ・国際親善奨学生：2万5千ドルが上限。
- ・人道的プログラム：最新報告書の出ていないクラブは、提出期限2004年6月30日、これを過ぎるとペナルティが生じる。
- ・マッチング・グラント：申請の25%が返還される。古いプロジェクト申請で再申請手続きをしないものはキャンセルになる。
- ・ポリオプラス、ポリオプラスパートナーの説明：1月から各国のポリオプラスパートナーの要求がHPに開示、50%の補助金がつく。
- ・2006~07年度からDDFシェアは50%になる。

質疑応答 (京都方式の説明、2560地区財団セミナー)

- *地区補助金には会員の積極的参加を求める。
- *例会毎に250円から300円の寄付を募る。
- *毎月1回年間で100ドル、半期ごとに50ドルを会費からで、年合計200ドル寄付

上期活動報告

第1グループ

- 6月17日(火) 深川RC訪問
(被選クラブ協議会に出席)
- 6月23日(月) 羽幌RC訪問
(被選クラブ協議会に出席)
- 7月4日(金) 小平RC例会訪問
- 7月29日(火) 深川RC訪問(夜間例会)
9月9日の深川RC・妹背牛RCの合同ガバナー公式訪問のお願いと地区への協力と深川RCの今後の活躍のお願いの挨拶
- 8月1日(金) 佐藤秀雄ガバナーより後進国に中古自転車を送るための第1グループ5クラブに50~60台の中古自転車収集依頼があり第1グループ全体で30台の中古自転車を収集して地区に送る。
- 8月2日(土) 滝川RCにて第1・2・3グループ合同「ロータリーの社会活動に関する意見交換」「社会奉仕・家庭奉仕・子ども奉仕活動に関する意見交換会」に出席
- 8月4日(月) 佐藤ガバナーより環境保全記念フォーラム原稿の依頼があり各クラブにエントリーの要請をいたしました。エントリーなしでした。
- 8月21日(水) 羽幌RC訪問
会員御婦人合同親睦夜間例会に出席し会員また御婦人皆様全員がロータリー活動に積極的に参加していたと感じました。
- 9月3日(水) 留萌・羽幌・小平RC3クラブ佐藤ガ

ガバナー補佐 渡部英次(留萌RC)

- バナー公式訪問
17:00より佐藤ガバナー・大川地区幹事を迎え会長・会長エレクト・幹事懇談会を行い終了後懇親会の開催
- 9月9日(火) 深川RC・妹背牛RC2クラブ佐藤ガバナー公式訪問
17:00より佐藤ガバナー・大川地区幹事を迎え会長・会長エレクト・幹事懇談会を行い終了後懇親会の実施
- 10月18日(土) 対木正文地区社会奉仕委員長より「平成15年十勝沖地震」義捐金の要請があり5クラブに1人当り1,000円寄付をお願いし、義捐金の指定口座へ振り込み依頼する。
- 11月28日(金) 小平RC例会訪問
- 12月3日(水) 妹背牛RC訪問。夜間例会に出席。平成16年5月16日(日)第1グループ合同ワークショップ開催のご案内と前期の協力のお礼など。
- 12月13日(土) 羽幌RCクリスマス家族会に出席予定

平成16年5月16日(日)第1グループ合同例会開催概要 実行委員会の開設

- 実行委員長：清水 隆(会長エレクト)
- 副実行委員長：河部 勲
- 名称：ワークショップ
- 議題：情報集会で各班より提出して頂き決定
- 会費：5,000円

以上簡単ですが報告といたします。

第2グループ

ガバナー補佐 土山久男 (芦別RC)

(1)クラブ訪問

第2グループ、4クラブ（赤平RC、芦別RC、砂川RC、滝川RC）の訪問はそれぞれ7月の第1回目クラブ協議会に出席しました。2つのクラブは通常例会にクラブ協議会を実施し、事業内容の説明を受けた後、若干のコメントを述べました。2つのクラブは通常例会前の1時間をクラブ協議会とし、その後例会にてガバナー補佐としての卓話を求められました。

①赤平RC 7月15日 於文流センターみらい

通常例会にてクラブ協議会を実施して、それに参加。つい数年前まで、50名弱の会員数も35名に減少。しかし会員同志の連携は良さそうで、特にニコニコ委員会の例会を楽しくしようとする意気込みが感じられた。

総評では、補佐として地区とクラブのパイプ役、連絡係に邁進することを強調した。特に中古自転車の件、財団の100\$、ポリオ50\$、地区大会、大阪国際大会参加要請等。

②芦別RC 7月18日 於芦別商工会議所

通常例会にてクラブ協議会。47年の歴史をもつクラブで従来の手法をそのまま踏襲するのではなく、坂田会長は随所で〈改革〉を実現しそれに対し古い会員からなんら異論が出ないのも好感が持てる。

③滝川IRC 7月31日 於ホテルスエヒロ

通常例会前の1時間をクラブ協議会とし一般会員も出席し、その中で古い会員が「若い連中だけで事が進み我々の発言の場が無い」の意見には考えさせられるものがある。

少し休憩の後、通常例会に入り他のプログラムと共にガバナー補佐の卓話を求められた。会員数100名を超えるクラブであり、財団、米山、共に過去の実績には目をみはるものが有る。

④砂川IRC 8月6日 於砂川パークホテル

通常例会前のクラブ協議会で今年度の事業内容の説明を受けた。地区の方針をいち早く活動計画書に盛り込み（ex.IT。子供奉仕委員。中古自転車。オンツー大阪。等）計画書そのものがロータリーの資料としても活用出来る様になっているのは素晴らしい。

その後の例会では他のプログラムが無く、補佐の卓話のみで35分間は新米補佐としても辛いものがあったが、なんとかすり抜けた。

(2)合同例会（赤平RC、芦別RC）

ガバナー公式訪問とは別に、毎年実施している例会に出席。プログラムの1つとして、ガバナー補佐卓話。

(3)会長・幹事会の開催

千歳市で実施されたガバナー補佐会議（2月8日）の後を受け、

2月27日 第1回会長・幹事会【芦別RC】

6月2日 第2回会長・幹事会【滝川RC】

11月19日 第3回会長・幹事会【砂川RC】

協議内容

IMに変わる4クラブ合同会議について

国際大会参加要請について

財団、米山についての現況

(4)ガバナー補佐提示板の発行

これは4クラブの会長・幹事宛のFAX文書で3月13日に第1号を発行し現在迄9号を発行済です。

(5)第2グループ合同例会について

従来のIMに変わる会議としてのもので日程は、平成16年5月9日(日)午後6時の懇親会の前に4クラブの〈意見交換会〉〈親睦レクリエーション〉を予定。基本的な考え方として、経済的な負担を軽減し友情、親睦の輪を広げ、次年度に向けてのステップにしたい。

第3グループ

ガバナー補佐 西原宗幸 (岩見沢東RC)

- 4月：会長・幹事会 (岩見沢RC)
 11月：会長・幹事会 (岩見沢RC)
 7月：8クラブ訪問 (当別RC・栗沢RC・美唄RC・
 岩見沢RC・岩見沢東RC・江別RC・江別西
 RC・栗山RC)
 8月：クラブ協議会 (岩見沢東RC・岩見沢RC)
 (江別RC・江別西RC・当別RC) (美唄RC)
 (栗沢RC・栗山RC)
 9月～10月：ガバナー公式訪問
 (岩見沢東RC・岩見沢RC・美唄RC)
 (江別西RC・江別RC・当別RC)
 (栗沢RC・栗山RC)

クラブ報告

美唄RC：美唄RC創立30周年記念事業として、石川啄木の碑をJR美唄駅東側に建立。又、会員増強にクラブ一丸となって頑張っており40周年に向けその意気に喜ばしい限りです。

江別RC：会員増強と退会防止に会長さんを筆頭に変意欲的な運動を展開されており、その結果2名の新会員を迎えられました。

交換留学生を8月にフィンランドへ送り出し、4カ月経過し3回マンスリーレポートが届いており会員一同温かく見守っております。

江別西RC：情報ネットワークを最大限利用しクラブ運営を図り幅広い活動をしております。上期の行事として、江別市元野幌地区に隣接している四つの医療福祉施設との「合同友愛夏祭り」に参加し、入所者とその家族と一緒に祭りを盛り上げ、特に会員の金魚掬い・ヨーヨー釣りの出店を手伝い、売上金は4施設へ寄贈されました。

その他、大麻地区にある、あけぼの幼稚園の「あけぼの友愛バザー」に参加し、その益金は、あけぼの幼稚園に寄贈等、地域に密着した奉仕活動をしております。

岩見沢RC：7月に公的イベントとして、「環境保全チャリティービールパーティー」を開催し多くの市民の参加を頂き、その浄財の中から岩見沢市の「ふるさとづくり推進基金」に寄贈致しました。

8月には、地区野球大会を主管する立場で前夜祭を開催し出場クラブの懇親会を設け、その会場でいち早く台風10号に対する義援金を参加者全員から頂き、浄財142,000円を静内RCにお預けし被害の大きかった新冠町に届けて頂きました。

11月、岩見沢ローターアクトの創立35周年には提唱RCとして会員登録し盛大に開催されました。

また、米山記念奨学会の寄付・ロータリー財団の寄付等も上期の目標を順調に推移しております。

岩見沢東RC：地区要請の1つであるスリランカへの中古自転車を贈る件で、8月の盆前に50台を地区担当委員会の方に引渡しをしており、更に100台を手配して贈る予定でしたが地区予算の関係で贈ることができず会員一同落胆しております。

財団への年次寄付は順調に推移し、目標達成確実となっております。

第3グループの行事として、11月8日(土)に計画されておりました8クラブ合同親睦研修旅行(親睦委員会・家庭奉仕委員会・子供奉仕委員会)が参加者人数が少なくやむを得ず中止になり東クラブ単独で移動例会とし、会員家族の理解を頂き48名の参加を頂き小樽運河散策研修を行い家族の方々から大変好評を頂きました。

栗沢RC：昭和39年創立で今年度40周年、小さな町の大きなクラブです。8月に第3グループ親睦ゴルフ大会をホストし55名の参加を頂き大変盛会で友情の輪を一層深めることが出来ました。

会員増強と退会防止を重点目標とし、「街づくりはロータリークラブから」を合言葉に奉仕活動を続けております。

ガバナー公式訪問時に記念植樹を毎年続けており、

今年度佐藤ガバナーに植樹をして頂き厚くお礼申しあげると共に、この植樹が立派にロータリーと共に成長されることを祈念しております。

栗山RC：8月に第4回栗山RC旗争奪中学校野球大会を開催、空知管内、札幌・北広島から12チームの参加を頂き盛会に終了することが出来ました。クラブとして次代を担う青少年の健全育成の一環としてお手伝いできればと会員一同頑張っております。また、7月11日栗山公園球場にて16人分のユニフォームを贈呈し、その後選手全員と当クラブ会員で例会場まで道路脇のゴミ拾いをして全員カレーライスの昼食をとり交流を深めました。

9月には、会員・家族親睦旅行を開催、JR栗山

駅発着の貸切列車で仁木町にてぶどう狩りをいたしました。参加人数は、赤ちゃんから80歳までの70名の参加があり楽しい旅行でした。

当別RC：退会防止と会員増強を重点目標に会員一同努力しております。

9月には、姉妹都市クラブの岩手県岩出山RCを訪問し政宗公まつりに参加し交流を深めてまいりました。また、移動例会として、北海道医療大学へ行き薬学部先生より薬草の卓話を頂き、会員一同勉強して参りました。

当クラブのホームページ・メールアドレスを取得し、今後大いに活用してクラブ運営を共にしたいと思っております。

第4グループ

ガバナー補佐 **戸部アナマリア** (札幌はまなすRC)

会は札幌はまなすRCの北川敏夫直前会長の司会で始まり、戸部ガバナー補佐の開会の挨拶の後に、各議題についての発表と意見交換が活発に行われました。

先ず2003年7月より9月迄の各クラブの活動状況について発表がありました。当初に発表の持ち時間は5分を限度とすることをお願いしましたが、各クラブの活発な発表や予定になかった質疑応答が多く行われ、時間の経過を忘れてしまう程の熱心なものであり、出席者一同の親睦と理解がより深まる一刻であり、勉強になるものでした。

次にIMにかわる行事の議題に入り、各クラブに何かアイデアがあるか否かについて話し合いましたが特に案はありませんでしたので、ガバナー補佐から地区社会奉仕委員会主催の「ロータリー市民フォーラム」が11月29日に札幌市で開催されるに当たり、このフォーラムが第4・5グループのIMにかわる行事になるか否か、又資金やその他の協力の要請がある旨の経過説明があり、これについて討論しました。

出席者の多くが指摘した事は、このような活動計画があるならば、又第4グループに何らかの協力を要請するならば、地区委員会より各クラブに対し情

報を提供すべきではないかということでした。

又、地区委員会の活動には予算措置が伴うものであり、その用途が不明確である点も指摘され、その内容の説明を求める意見が多かったです。

そして、この件について10月24日午前10時45分(地区大会前)に再度会を開催し、地区社会奉仕委員長、対木正文氏に参加していただき、これまでの経緯、予算等について直接説明してもらい、このフォーラムについての第4グループとして、又クラブとしてどのような範囲まで協力出来るかを定める事としました。

結果は協力するクラブもあれば、協力できないというクラブもあるということで閉会となりました。以上報告と致します。





【10月18日 出席者】

(出席者名簿・敬称略)

	会 長	幹 事		会 長	幹 事
札 幌			札 幌 西 北	大 野 義 雄	小川真治(代理)
札 幌 西	村 上 登	宮 越 陽 一	札幌モーニング	池 上 公 介	中 田 繁 一
札 幌 手 稲	山 本 雅 章	潟 沼 良 三	札幌あけぼの	染 谷 重 雄	西 山 秀 夫
札 幌 北	城 木 浩 一	小 林 俊 之	札幌はまなす	大 石 春 雄	

【10月24日 出席者】

(出席者名簿・敬称略)

	会 長	幹 事		会 長	幹 事
札 幌		庭 山 早 苗	札 幌 西 北	大 野 義 雄	中 嶋 良 三
札 幌 西	村 上 登		札幌モーニング		中 田 繁 一
札 幌 手 稲	山 本 雅 章	潟 沼 良 三	札幌あけぼの	染 谷 重 雄	西 山 秀 夫
札 幌 北			札幌はまなす	大 石 春 雄	

第5グループ

ガバナー補佐 玉 井 清 (札幌清田RC)

当初は何かと混乱しました。手続要覧を見ては溜息ものでありましたが、地区チーム研修セミナーから始まり、各種会合に出席しているうちに4月、5月頃になってやっと仕事の全体像が見えてきて、どうか落ち着きを取り戻すことが出来ました。

札幌東RCを皮切りに第5グループ内8クラブのアッセンブリーに出席させて戴き、クラブの基本方針、活動計画が全て出揃いました。単年度事業、継続事業と多種に渡っておりますが、いずれの事業も価値のある事業であり、概ね地域に根ざした事業を計画されております。

また、いずれのクラブも会員増強に並々ならぬ努力をされており、具体的にマニュアルを作成し、1ヶ月に2名の新入会員を迎えるといった大変情熱のこもったクラブもありました。

特にグループ内では周年行事を迎えるクラブが3クラブあり、それぞれ実行委員会をつくり計画中でありました。

7月に入り新年度がスタートし、8月21日より9月1日にかけて、ガバナー公式訪問を受けました。当グループでは前年同様に3クラブ、4クラブそして単独と3日間に分けて行いました。各クラブ共に例年同様大変好評でありました。11月29日、札幌東RC創立45周年記念事業の市民講座『育てよう子供の心』が開催されました。子供と若いお母さんはじめ市民の参加で札幌グランドホテルの会場が満員の盛会でありました。

尚当日、地区社会奉仕委員会主催の市民フォーラム『児童虐待—タイからの報告と日本の対応』が開催されました。家庭奉仕委員会、子ども奉仕委員会

が新設された折から非常にタイムリーであり、市民の方々数百名の参加があり有意義でありました。

尚この事業日程について、クラブ周年行事の日程とバッティングしてしまいましたことについて、私の配慮不足であり関係者の皆様に深くお詫び申し上げます。

各クラブ共総じてクラブの活性化に努力され、特に会員増強に力を入れているのを実感しております。当グループでは、11月現在5クラブで15名の増員、1クラブで2名の減少であります。

第6グループ

1. 上期活動について

・ガバナー公式訪問

7月22日小樽RC・小樽南RC・小樽銭函RCの3クラブ合同例会を小樽グランドホテルにおいて、翌23日岩内RC・倶知安RC・余市RC・蘭越RCの4クラブ合同例会を岩内高原ホテルにおいて開催した。

・スリランカへの中古自転車寄贈事業

各クラブ共積極的に取り組み、7クラブで274台の自転車を収集、中でも100台近くを確保した倶知安クラブの活動が目ざましかった。

・ポリオ撲滅のための財団寄付

グループ内で色々協議を重ねた結果、各クラブ共会員一人当たり50ドルを今年度内に納付することで合意を見た。

・第6グループ交換留学生補助資金

今年度は第6グループとして交換留学生を受け入れる計画はないが、毎年積み立ててきた現在高約250万円の資金の運用規定を明文化するための作業を今年度中に行うことを会長・幹事会で申し合わせた。

・会長・幹事会の開催

- 第1回 4月19日 千歳全日空ホテル
- 第2回 6月7日 岩内あづま館
- 第3回 8月30日 小樽まちの寿司
- 第4回 11月22日 倶知安ホテル第一会館

・ガバナー補佐各クラブ訪問

本年度から各クラブ輪番で隔月毎に合同幹事会を開催しております。尚、必要に応じて会長・幹事合同で行うこととし、互いの情報を交換するように致しました。

上半期を省みて私自身大変多くの方々と出会い、自己研鑽の機会を戴き心から感謝しています。後期も各クラブの会長・幹事様はじめ会員皆様のご協力とご支援を戴きながら役目を果たしてまいりたいと存じます。

ガバナー補佐 梅庭昭寛 (岩内RC)

上期におけるグループ内7クラブへの訪問は、合同例会を含めて、各クラブ2～3回実施した。

・次年度ガバナー補佐の推薦

第6グループの次年度ガバナー補佐として倶知安クラブの原實会員を推薦する旨の推薦状を11月8日遠藤ガバナーエレクトに送付した。

2. 上期におけるグループ内クラブの主だった活動

- ・小樽RC：10月18日にクラブ創立70周年を挙行し、記念事業として、小樽市に広葉樹100本を寄贈し、併せて向こう3年間の管理費を寄付した。
- ・小樽南RC：継続事業であるブックスタート活動への支援を今年度も実施した。他に支援活動として、ラジオ体操広場、小樽潮祭りへの支援を行った。
- ・小樽銭函RC：中国人女子留学生（小樽商大2年生）に対する奨学金を昨年より継続している。小樽銭函ロータリー杯少年野球大会を実施している。
- ・余市RC：余市全国サマージャンプ大会を後援。地区ライラセミナーに参加。余市ロータリークラブ杯学童水泳大会を実施。
- ・岩内RC：9月の新世代月間には傘下の岩内ローターアクトクラブの活性化を目標に8名の新入会員を獲得、新たな飛躍を目指している。
- ・倶知安RC：老人ホームでの草刈、清掃、町内の公園のクリーンアップ等、ボランティア活動に邁進。地域の共感を得て、今期6名の新入会員を迎

え入れた。

- ・蘭越RC：町内の河川クリーン作戦に協力し、環境保全をクラブのテーマに掲げる。地域の祭り、イベントにも積極的に参加した。

3. IMに変わるグループ内合同研修会の実施予定

毎年2月にロータリー創立記念合同例会を開催している小樽RC、小樽南RC、小樽銭函RCの3RC合同例会が今年度は平成16年2月20日(金)に特別講師を招いて小樽南RCのホストで催される

第7グループ

1. スケジュール

会長・幹事会	3回
クラブ訪問	1回
クラブ協議会訪問	1回
ガバナー公式訪問例会	2回

2. 所感

ロータリーの前半期は少し忙しすぎるのではないかと思います。クラブ協議会訪問、公式訪問、地区大会と矢継ぎ早にいろいろな行事があり、やっと半期が終わった気分です。

・クラブ協議会

各クラブとも例年どおり会員増強には苦しんでおりますが北広島RC、長沼RCは会員一丸となって会員増強に励み成果を上げておりますが、その他のクラブも下半期に向けて頑張ってくださいと思っております。また、各クラブの活動内容は、

が、今年度はこれに余市RC、岩内RC、倶知安RC、蘭越RCの4クラブも参加して、IMに代わる第6グループの研修会とすることに決定を見た。

4. 上期会員数の動向

グループ内7クラブの会員の増減は、倶知安RC6名、銭函RC2名、小樽RC、岩内RC各1名の増員があった。退会は各クラブとも逝去者を除いて無く、近年の退会傾向に歯止めがかかったといえる。

ガバナー補佐 後藤篤人(由仁RC)

それぞれ特色がありそれぞれの地域のニーズに合わせた活動のテーマをもっており、大変勉強になりました。

・青少年交換留学生

昨年度よりの引き継ぎで、運営上の問題や財政上の問題をクラブ協議会、会長・幹事会と検討して参りましたが、各クラブ内に温度差があり、グループ全体の問題とするのは困難であると思われました。今後はクラブ間での協議を期待しております。

・下半期にむけて

クラブ協議会や会長・幹事会にも話をさせていただきましたが、会員増強を課題として取り組んでいきたいと思っております。

また、今年度はIMを中止しますが6クラブ合同親睦例会を実施して、グループ内の和を高めていきたいと思っております。

第8グループ

活動内容並びに行事

- 2月8日：ガバナー補佐会議(千歳全日空ホテル)
- 2月16日：第8グループIM(様似町)
- 3月4日：地区研修セミナー(千歳全日空ホテル)
- 3月15日～16日：
 - 会長エレクト研修セミナー(千歳全日空ホテル)
 - (第8グループ会長懇談会同会場)
- 4月12日：第8グループ会長・幹事(現・次期)懇談会(様似町アポイ山荘)

ガバナー補佐 細川好弘(静内RC)

※引継ぎ並びに新年度のグループ運営について協議される。

4月19日～20日：地区協議会

(千歳全日空ホテル・千歳市民文化センター)

※グループ内会長・幹事連絡会を行う(運営方針について)

4月25日：ラタクルRI会長歓迎パーティ

札幌市(2500・2510地区、800名)

6月15日～16日：地区役員(新・旧地区役員)引継

- ぎ会議 (札幌市)
- 6月21日：インターアクト年次大会
(札幌市北海道青少年会館)
- 6月23日：クラブ訪問 (三石RC・浦河RC・えりもRC・様似RC・静内RC)
- 7月1日：第8グループ年間カレンダー発行
※ロータリー国際行事・地区行事予定に第8グループの行事予定等を一覧表にして作成配布。
- 7月19日：第8グループ会長・幹事会 (静内町天政)
※静内RC内に会長を含む5名の編成によるガバナー補佐委員会の設置 (委員長：山田一孝)
公式訪問・合同例会等ガバナー補佐の任務遂行に協力。
※2003～04年度地区第8グループ運営方針等確認される。(ホスト静内RC)
※第8グループとしての奉仕活動費等に活用できる共有財源として特別会計を創設。
(ロータリアン年1,000円拠出) ガバナー補佐担当クラブ会計の持ち廻りとして会長・幹事会議で運用管理する。
- 8月5日：ガバナー補佐だより発行
※地区並びに第8グループ運営に係る情報を編集してグループ内全ロータリアンに配布。
- 8月9日：地区社会奉仕委員会意見交換会 (苫小牧市、第7・8・9・12グループ合同)
※3地区委員長より活動計画と各クラブへの要望説明後意見交換を行う。第8グループより10名出席。
※台風10号被害報告 (ガバナー事務所と協議)
- 8月13日：大阪平野RC杉本氏来静 (平野井事務所)
- 8月19日：クラブ訪問 (様似RC19日、三石RC25日、浦河RC26日、えりもRC28日)
- 8月29日～30日：地区野球大会及び前夜祭
(岩見沢市)
- 9月20日：中古自転車積込 (静内→千歳市)
- 9月26日：十勝沖地震発生(各クラブ会長・ガバナー事務所との被害状況連絡)
- 9月30日：中古自転車・足踏みオルガン積込
(静内→千歳市)
※中古自転車87台、中古足踏みオルガン32台を整備してスリランカへ贈るプログラムに参加。
- 10月11日：ガバナー公式訪問・合同例会
(静内町ウエリントンホテル)
PM13:00～会長・幹事会、PM15:00公式訪問—合同例会
・ゲスト卓話：岩城秀晴PG (地区オン・ツー・大阪委員長、100周年記念委員長)
・ガバナー講演、PM16:00懇親会
(静内町ウエリントンホテル)
※IMプログラムも組込んで122名のロータリアンがロータリーを語り交流を深めた。
- 10月13日：2004～05年度ガバナー補佐推薦
蘇田又栄氏 (浦河RC)
- 10月23日～25日：地区年次大会 (千歳市：23日ゴルフ、24日・25日本大会)
※登録：えりもRC15名、三石RC10名、様似RC10名、浦河RC25名、静内RC36名
記念フォーラム資料報告：浦河RC、静内RC
ガバナー特別表彰：大山会員 (浦河RC)
- 11月15日：財団学友会総会 (札幌市スピカ内2F)
- 11月23日～24日：北海道ロータリー交流会
(札幌市コンベンションセンター)
- 11月29日：地区社会奉仕プログラム
(札幌市道新ホール)
- 12月6日：ガバナー補佐会議 (千歳全日空ホテル)
平成15年十勝沖地震災害に対する義捐金支援協力
※年次大会にて決議された案件であり、第8グループ地域が被害を受けておりますがロータリーの奉仕活動として義捐金支援に協力。
国際大会 (大阪大会) 登録PR広報
※12月15日迄に登録されるようPR
国際ロータリー100周年参加PR広報
※参加趣旨文を各クラブ会長・幹事へPR
2004～05年度第8グループガバナー補佐の推薦
蘇田又栄氏 (浦河RCを推薦)
- 後期の予定**
★夜間例会へメイクアップのお誘い
(おじゃましま～すプログラム)
※グループ内5クラブの夜間例会に5クラブ会長・幹事と共にメイクアップをし情報交換・交流を深めるプログラム。ガバナー、地区幹事の参加を予定。日程は下記の通りです。

- ◎静内RC：2003年12月17日(水)PM6：30～
 - ◎三石RC：2004年1月19日(月)PM6：30～
 - ◎様似RC：2004年2月10日(火)PM6：30～
 - ◎浦河RC：2004年2月17日(火)PM6：30～
 - ◎えりもRC：2004年3月26日(金)PM6：30～
- 目的：地区情報交換並びに親睦を深める。
義務出席者：ガバナー、地区幹事、各クラブ会長・

幹事
会場・メイクアップ料については各クラブよりご案内いたします。
各会場にて第8グループ連絡会議をPM6時より行います。

★現・次期会長幹事合同会議
2004年4月10日(土)浦河町(ホスト：浦河RC)



ガバナー公式訪問・合同例会の様子(10月11日)

第9グループ

地区リーダーシッププランに基づくガバナー補佐の任務を遂行するため、佐藤秀雄ガバナーの提案されている「ロータリアンの意識改革を」を実践すべく、今年度は特に「例会の充実」を主テーマとし、各クラブ間での問題意識の共有化をはかるため、従来のグループ会長・幹事会を拡大し、グループ協議会形式で活動を進めていくこととした。

6月3日(火) 第1回第9グループ会長・幹事会(ホストクラブ：登別RC、会場：ホテル平安)

議題

1. 佐藤秀雄ガバナーの地区目標についての確認
2. ガバナー公式訪問についての具体的打ち合わせ
3. 新年度に向けてガバナー補佐の役割についての

ガバナー補佐 宮 武 忠 史 (登別RC)

説明及び活動方針の発表。特に、新年度は地区としてIMを休止する為、第9グループの対応について意見交換を行いました。

4. クラブ訪問についての打ち合わせ

洞爺湖RC 2名、伊達RC 2名、室蘭RC 2名、室蘭RC東 2名、室蘭北RC 2名、登別RC 4名、計14名出席

6月17日(火) 第9グループ新旧会長・幹事会

(2002—2003年度齋藤ガバナー補佐主催で実施)

6月26日(木) 室蘭RC例会訪問

7月1日(火) 室蘭北RC例会訪問

7月2日(水) 室蘭東RC例会訪問

7月9日(水) 佐藤秀雄ガバナー公式訪問(室蘭RC、

室蘭東RC、室蘭北RC、登別RC合同)

7月10日(休) 佐藤秀雄ガバナー公式訪問 (伊達RC、洞爺湖RC合同)

8月22日(金) 第2回第9グループ会長・幹事会及びグループ協議会

(ホスト：室蘭RC、会場：室蘭プリンスホテル)
会長・幹事会は各報告及び連絡事項

今回のグループ協議会はグループ内各クラブの

①プログラム委員長 (リーダー：室蘭RC会長)

②親睦活動委員長 (リーダー：室蘭東RC会長)

に出席していただき、この2グループに各クラブ

の会長・幹事がそれぞれ分かれて参加していただき

ました。各グループ共それぞれのクラブの現状

報告から始まり、たいへんに活発な意見交換や情報

交換の場となりました。グループ討議終了後、

全体会議でそれぞれ担当の幹事から報告していただき、

補佐の総評後懇親会の場へ移動しました。

洞爺湖RC 4名、伊達RC 4名、室蘭RC 4名、室

蘭東RC 4名、室蘭北RC 4名、登別RC 6名 計

26名出席

10月7日(火) 伊達RC例会訪問

10月10日(金) 洞爺湖RC例会訪問

10月17日(金) 第3回第9グループ会長・幹事会及びグループ協議会

(ホスト：伊達RC、会場：伊達ロイヤルホテル)
会長・幹事会は各報告及び連絡事項

今回のグループ協議会は各クラブから①国際奉仕

委員長 (リーダー：伊達RC会長) ②社会奉仕委

員長 (リーダー：洞爺湖RC会長) ③職業奉仕委

員長 (リーダー：室蘭北RC会長) に参加して

いただき、この3グループに各クラブの会長・幹事

に分かれて参加していただきました。①のグルー

プには黒田地区米山奨学委員も出席され米山月間

ということもあり、みなさんの質問にも丁寧に答

えられていました。②社会奉仕活動は各クラブと

もそれぞれ個性の違いがあり、今後の参考にと真

剣な話し合いが行われました。③10月は職業奉仕

月間ということもあり、各クラブ会員企業の職場

訪問などの移動例会が行われ、その成果を報告し

ていました。グループ別の場を全体会議の席に移

動し、担当のそれぞれの幹事から各グループの内

容報告をいただき、最後にガバナー補佐の総評の

後、懇親会へと移動しました。

洞爺湖RC 4名、伊達RC 5名、室蘭RC 5名、室

蘭東RC 5名、室蘭北RC 5名、登別RC 7名 計

31名出席

11月21日(金) (仮)第9グループ会員交流会打ち合わせ

(会場：室蘭市民会館)

12月5日(金) 第4回第9グループ会長・幹事会

(ホスト：室蘭北RC、場所：ホテル・サンルー
ト室蘭)

議題

1. 地区会員増強ガイドラインについて

2. 前期各クラブの活動報告

3. 後期各クラブの活動計画

4. (仮) 第9グループ会員交流会

2004年2月8日(日) 会場：室蘭蓬峯殿

16:00開始予定

交流会の主旨

a) 佐藤秀雄ガバナーへの慰労と激励

b) 遠藤秀雄ガバナーエレクトへの激励

(アナハイム出発に向け)

c) ロータリー財団及びポリオプラス基金集めの

ためのチャリティを計画

d) 会員家族の親睦

(今回は第12グループの白老RCも参加)

第10グループ

ガバナー補佐 鹿野文男 (函館亀田RC)

2003～2004年10グループの各クラブは、計画にもとづきスタートから活発な活動をしている。又、2ヶ月に1回は10・11グループの合同会長・幹事会を開催し各報告、情報交換そして親睦を重ねている。

青少年交換留学生事業については、10・11グループの共同事業と考え、各クラブ会員1人当たり年3,000円負担し、本年度も11グループの3クラブが留学生の受入をしている。10・11グループの継続事業とも言える。

各クラブの活動

函館RC

- ・当年クラブ創立69周年記念例会に1960年代入会会員への感謝の花束と記念品を贈り、家族も写真スライドで紹介。
- ・上期会員増強に努め5名純増。
- ・8月7日(木)納涼家族会開催、会員家族併せて140名の多数が参加。
- ・社会奉仕事業で老人ホーム入居者を競馬場に招待、競馬を楽しんでもらった。
- ・地域交通安全活動推進委員会へ交通安全推進運動の活動へとジャンパー20着を寄贈。
- ・10月13日(祝・月)近郊の高校生とともに大森浜清掃活動。
- ・本年度も環境保全の為、野鳥の森の巣箱清掃作業実施。
- ・新世代委員会活動として、親と一緒に生活できない子供達と会員、学校関係者とボウリング大会、食事会開催。
- ・米山、ロータリー財団事業として、フリーマーケットに参加、売上を寄付に充当。

函館亀田RC

- ・出席率向上の為、年4回100%達成日を設定し、出席率向上に努力中。
- ・例会時の卓話の内50%は当クラブ会員の卓話とし、会員のクラブ出席を促す為実行中。
- ・親睦活動委員会として、納涼家族会を大沼湖畔で

家族と共に家族委員会も協賛開催。

- ・11月友好クラブの新潟新発田城南RCと友好合同例会開催に参加、韓国のクラブも参加し親交深めた。

七飯RC

- ・9月16日(火)七飯RC、森RC、長万部RC3クラブ合同観月例会開催、10・11グループの他のクラブからも多数参加した。
- ・国際事業として、中古自転車の集荷を七飯RC、森RC、長万部RC3クラブで実施した。
- ・11月8日(土)町内小学生と家族を対象とし、栄養に関する知識を学び料理に関心をもって、健康への理解を深めようと「おいしく食べて元気な家族」の講習会を開催した。

森RC

- ・七飯RC、森RC、長万部RC3クラブ合同例会開催にさいして、七飯RC、長万部RCへ多数参加親睦深める。
- ・スリランカへ中古自転車を贈る為、森RCがリーダーとなり、七飯RC、長万部RCの協力をえて集荷実施した。
- ・本年度のクラブ創立40周年記念に向け奉仕活動の記念事業を準備中で、各委員会も3月20日(土)の40周年記念に合わせ活動中である。

長万部RC

- ・会員の増強と退会防止にクラブ会員全員で取組中。
- ・ロータリー財団のポリオ撲滅の為、1人100ドル前期達成。本年度中1人50ドル寄付の為活動中。
- ・スリランカへの中古自転車を贈る事業で、会員、町内の有志、町内事業所の協力で36台収集、点検整備後、森RCへ引渡し。
- ・社会奉仕活動として、町の温泉施設へ高齢者温泉入浴時の送迎奉仕を日程により毎月実施している。
- ・10月20日(月)郊外3クラブの合同例会として、長万部温泉合同例会を開催し、他の10・11クラブ内からも多数参加があった。

第11グループ

ガバナー補佐 今

均 (函館五稜郭RC)

江差RC

今年度ホームページを開催しております。
 会員増強については前川会長を筆頭に会員一丸となつて頑張っております。特に2世会員の掘り起こしに重点を置いている様です。又、他クラブとの親睦会の参加を積極的に行っております。

函館東RC

友好クラブとの交流が大変盛んなクラブです。9月13日(土)には、青森東RC、11月11日(火)は長崎東RCとの合同例会を開催しております。

プログラム委員会の例会コンセプトとして、7月、8月は金融経済月間と名をうって、各財界人による卓話、11月、12月は、食と健康月間として識者による卓話ということで大変充実した例会を行っております。

函館北RC

9月21日(日)に創立40周年記念式典が挙行されました。友好クラブの台北東北RC・千葉港RC・和歌山城南RCの方々をはじめ第10・11グループを中心にたくさんのロータリアンが集話しました。その場で函館市へ交通指導車と、インドネシアRI 3400地区ジョグジャカルタ市タマンサリRCと提携し、公立テガル・レジョ第三小学校に図書1,500冊他コンピューター・ビデオ一式他、什器備品を寄贈しております。

北村祐治会長ならびに中野亮実行委員長の優れた指導及び運営力が発揮された素晴らしい式典でした。

なお、7月2日(水)にホームページが開設されております。

函館五稜郭RC

会員増強に大変力を入れ7月1日に64名でスタートしたにもかかわらず現在純増6名で70名のクラブへと発展しております。

毎年7月から8月にかけて、五稜郭公園で行われる函館野外劇に延べ約100名以上の会員が参加し、地域の活動に協力しております。

10月には姉妹クラブであるハワイ・ラハイナRCを公式訪問し、マッチングファンドとして500ドル寄贈しました。又同好会の一つである合唱団DAMの協力により11月23日(日)チャリティコンサートを開催し、益金約1,000ドルをロータリー財団に寄付しております。

上磯RC

毎年新世代委員会を中心となり薬物乱用防止運動を行っております。今回の活動は例年上磯地区で行っている街頭募金を、地元で行いたいという木古内高校からの要望に応じて上磯地区と木古内地区に分かれて実施しました。

後日学生達の反応を先生からお聞きしたところ、「恥ずかしかったけどやって良かった」「初めは恥ずかしかったけど、みんなで声を出しているうちに気持ちよくなった」「一人じゃ嫌だけどみんな一緒ならまたやりたい」等々彼らにとって初めての街頭募金活動はかなり有意義だったようです。また、交換留学生のリンダは積極的に話しかけてくれたので学生達も短時間でしたが国際交流が出来た事を喜んでいました。

上磯地区：11月15日(土) 参加者：130名

募金額 73,262円

木古内地区：10月23日(木)、24日(金) 参加者：59名

募金額 30,343円

松前RC

7月にホームページが開設されております。

例会が毎週金曜日の19:00~20:00という夜間に行われます。

会員は9名ですが少数精鋭です。

第12グループ

ガバナー補佐 山本雅昭 (苫小牧北RC)

7月1日(火)

苫小牧北RC：表敬訪問 12：30～13：30

7月8日(火)

白老RC表敬訪問 12：30～13：30

苫小牧北RCクラブ協議会 18：00～20：00

7月9日(水)

白老RCクラブ協議会 18：00～20：00

7月10日(木)

苫小牧東RCクラブ協議会 18：00～19：00

苫小牧東RC表敬訪問 19：00～20：00

7月11日(金)

苫小牧RCクラブ協議会 11：00～12：00

苫小牧RC表敬訪問 11：00～12：00

ガバナー補佐卓話 (30分間)

7月15日(火)

ガバナー公式訪問会長・幹事会

白老RC 8：50～9：40

苫小牧RC 9：40～10：30

苫小牧東RC 10：30～11：20

苫小牧北RC 11：20～12：10

ガバナー公式訪問12グループ4クラブ合同例会

場所：グランドホテルニュー王子
12：30～13：30

7月24日(木)

地区社会奉仕委員会意見交換会打合わせ会議

苫小牧北RC事務所

8月9日(土)

地区社会奉仕委員会3委員会合同意見交換会・懇親会

こども奉仕・家庭奉仕委員会主体説明

(8・12グループ合同)

(場所：グランドホテルニュー王子)

8月18日(月)

12グループ会長・幹事会 18：00～20：00

白老RC提案の4クラブ合同例会について

8月20日(水)

4クラブ会長・幹事による焼き肉懇親会

9月28日(日) 地区ライラセミナーシニアクラス参加

佐藤ガバナーの代理挨拶・懇親会参加

10月1日(水)

12グループ4クラブ合同コンペ

場所：樽前カントリークラブ

10月24日(金)

地区大会会長・幹事会、フォーラム、RI会長代

理歓迎晩餐会参加

10月25日(土) 地区大会本会議、記念懇親会参加

11月28日(金) 次年度ガバナー補佐決定

苫小牧RC：藤澤正昭会員

12月11日(木) 12グループ会長・幹事会予定

12月16日(火)～18日(木) 4クラブ訪問予定

国際ロータリー理事会の 決定事項の抄録

国際ロータリー理事会の2003-04年度の第2回定例理事会は、2003年9月29日(月)から10月3日(金)、米国イリノイ州エバンストンの世界本部において開かれました。今回の会合で、理事会は13の委員会報告を検討し、117項目の決議を記録いたしました。

管理運営に関する事項

理事会は、国際ロータリー役員およびその他のロータリー上層指導者によるロータリー標章の使用を統括する既定方針の適用を拡大いたしました。次期、現任および元国際ロータリー役員および各種の職務遂行のために会長により任命されたロータリアン本人あるいは理事会理事は、国際ロータリー指導者としてそれぞれの役割に付随した印刷出版物あるいは電子出版物においてロータリー標章を使用することができます。しかしながら、それらの役員は、商標と一緒に、あるいは他の組織団体の用箋上に、もしくはいかなる商業目的のためにもロータリー標章を使用することはできません。ロータリーの指導的役割に関連して創設したウェブサイトにもロータリー標章を使用する際に、かかる個人は、そのウェブサイトが国際ロータリーの管理下でないことを明示することを保証しなければなりません。

会員および拡大に関する事項

会員増強および退会防止を支援するため、理事会は下記の事項を奨励しています。

- ・地区ガバナーは、新世代の会員にとり興味を引くクラブを結成し、また新世代小委員会を任命すること。
- ・ガバナー・エレクトは、会長エレクト研修セミナー(PETS)を計画する際にこれまで以上に会員増強に大きな重点を置いた討議を強調すること。
- ・地区ロータリー財団学友委員長は、学友を入会見込み者として目視すること。
- ・クラブおよび地区は、ロータリー家族委員会を設

置し、適切な会員の退会防止プログラムを実施すること。

- ・クラブは、8月(会員増強月間)中に、会員増強および退会防止問題についての討議に例会1回を充てること。

ロータリー・クラブにおいて正会員として入会する退職者は、職業分類に以前の職務名を使用するものとするが、これはクラブの単一職業分類における会員の限定数に加算されるものではありません。クラブの職業分類名簿には、退職者のロータリアンを含めることはないものとします。

プログラムおよびコミュニケーションに関する事項

ロータリー・ワールドは今後、年5回に変わり、4回発行されることとなります。今後は毎年、1月、4月、7月および10月に発行されることとなります。今後、ロータリアンの寄付を要請し独自の人的および教育的プログラムを支援、推進する組織団体の広告をザ・ロータリアン誌に掲載することは一切なくなります。

他の組織団体との実施可能な協同関係から得られる利点を評価する際に、国際ロータリーは、当該組織団体が年次監査済みの口座報告書を提供することで、財務の健全性を実証するよう義務付けることとなります。

理事会は、ロータリー創立百周年記念斉唱歌を作詞作曲する発案を推奨いたしました。ついては、この目的に適った楽譜の原作を2003年12月12日(金)までにロータリアン音楽家国際親睦活動グループまで提出することが奨励されております。同親睦活動グループは、百周年記念斉唱歌に関する推薦書を2004年2月の理事会に提出することとなります。

理事会は、下記の新しいロータリー親睦活動を承認いたしました。

- ・ロータリアン地雷撤去作業親睦活動
- ・ポリオ活動後の生存者および協力関係者親睦活動

- ・エイズと闘うロータリアン親睦活動
- ・人口と開発のためのロータリアン親睦活動
- ・刺し子縫込み掛け布（キルト）製作者および繊維工芸家ロータリアン親睦活動
- ・ロータリー世界全体史親睦活動（インターネットによるプロジェクト）

ロータリー親睦活動は、現在、国際ロータリーを賠償責任から守り、各グループの活動から生じる如何なる責任も負わず、また適切な損害保険を購入することが義務付けられています。現在活動している親睦活動は、2004年6月30日までに新規の損害賠償保険の加入義務規定に従わなければなりません。理事会は又、依って、親睦活動グループの委員長あるいは管理運営責任者が正会員のロータリアンであることを義務付けています。

理事会は、地区ガバナーに対し、ロータリーの綱領を推進すると云う見地に立ち、地区レベルの親睦活動行事を組織し実施するよう奨励しています。

国際会合に関する事項

その2003年5月会合において、予算の緊縮により、理事会は、青少年交換役員、ロータリー青少年指導者養成プログラム（RYLA）およびローターアクトのための2004年国際大会前会議に資金を充当しないことを決定しました。2004年（大阪）国際大会に先立ち公式の青少年交換役員会議を調整し実施することを地元のロータリアンが熱望していることに留意し、理事会は、地元委員会が国際ロータリーに費用の負担をかけることなく、またその関与なしに、そうした行事を組織し実施して差し支えないことに同意いたしました。理事会はまた、大阪国際大会に付随して公式のRYLAおよびローターアクト研究集会（ワークショップ）を開催することにも同意いたしました。

理事会は、2005年6月18日(土)から22日(水)にわたり2005年（シカゴ）国際大会を開催するための2005年シカゴ・ホスト組織（第6420地区、6440地区、6450地区、6460地区および6540地区）から提出された大会開催同意書を受諾いたしました。

理事会は、2009年国際ロータリー年次大会の開催地として韓国ソウル市を、また2009年から2011年までの国際協議会の開催地として米国カリフォルニア州サンディエゴ市を暫定的に選定いたしました。

財務に関する事項

かなりの数のクラブが、いつも同じように、適切な時期における国際ロータリーの人頭分担金の支払いを怠っていることを考察し、理事会は、国際ロータリーに納入義務金をもつクラブに対する督促周期を修正いたしました。

- ・納入義務金をもつクラブは、最早や、加盟資格終結処分に先立つ「業務一時停止」処分を受けることはなくなります。
- ・理事会は、納入義務金をもつクラブを270日後ではなく、今後180日後をもって終結することになります。
- ・復帰を希望する終結クラブは、会員一人あたり米貨10ドルの加盟復帰納入費を支払うことが義務付けられます。
- ・270日以後において国際ロータリーに対する滞納金をもつ、復帰を希望するクラブは、新規承認クラブと同様、加盟認証費を支払うことが義務付けられます。

新規の督促周期は、2004年7月1日付けの国際ロータリー人頭分担金をもって、有効となります。

地区ガバナーは、今後、就任に先立つ5ヶ月間を通じ、任務の遂行義務に付随した費用を賄うために予測配分額の一部を使用することができます。

最近の不安定要素の助長された金融市場の情勢を考慮し、理事会は、事務総長が、月別制に基づき通貨の為替レートの調整を許可することに同意いたしました。前月のドル立て米貨に関連し通貨価値が3パーセントあるいはそれ以上変動した場合、事務総長は、適宜、為替レートを調整することができます。

理事会は、2003-04会計年度の国際ロータリーの帳簿を監査する会社としてDeloitte & Touche社を指定いたしました。

年頭のご挨拶

国際ロータリー2004年国際大会(関西)実行委員会

委員長 近藤雅臣

祝2004年、ついに関西で初めての国際大会が開催される年がやってきました。

皆様、明けましておめでとうございます。

2002年4月に実行委員会が発足して以来、ロータリアンの皆様には並々ならぬご協力を賜り、お蔭様で何とか最後の登り道にまでたどり着くことができました。まだまだ険しい道のりが残っていますが皆様のお力を借りながら最後の力を振り絞ってご期待に沿うよう努力するつもりです。何卒宜しく願い申し上げます。RYLA、RAC、YEOについては、昨年5月の理事会で今年度は公式行事を中止するということが決定されましたが、10月の理事会でマジアベRI会長、菅生RI理事、田中RI理事のご助力で公式行事として復活させることに決定されました。また、その後、大阪ドームの借用期限を1日短縮することもできるなどお蔭様で明るい材料も増えつつあります。しかし、開会式、閉会式のプログラム、エンターテイメントについてはあくまでRI主導で、関連業者もRI推薦業者に決定し、一度は日本側の要望は全く叶えられませんでした。ただ、この結果

に対し、千委員長から異議を申し込んで頂いたおかげで、内容についてこちらの意見をできるだけ尊重するということまで話し合いができました。海外からの参加者はもとより大多数を占める日本人の参加者に何とか満足頂けるような大会に仕上げたいと念願しています。大会登録者数については、この原稿を書いている時点ではまだ期待するほどではなく心細い想いです。海外の姉妹クラブなどに大いに呼掛けて頂ければ幸いです。また、とくに近隣の韓国、台湾の皆様への呼掛けをお願い致します。皆様と力を合わせて心にのこる素晴らしい国際大会に仕上げ、世界のロータリアンと手を取りあい「Lend A Hand」の心を世界に発信する場にできればと願っています。大会の主役はロータリアンの皆様です。私たちはあくまで裏方に徹し、ひたすら大会の成功を祈って最後の上り坂を全力を上げて駆け上ります。力強い皆様の後押しをお願い申し上げます。関西で、世界の、そして、日本中のロータリアンと感動を伝え合いましょう。

RI会長ノミニー・理事ノミニーの発表

2003年12月2日、ジョナサン・マジアベ国際ロータリー会長は、スウェーデン・イエーテボリロータリークラブ会員であるカール・ヴィルヘルム・ステンハマー氏を、唯一の2005—06年度RI会長ノミニーとして公表しました。

また、マジアベ会長は、RI細則に従って、各ゾーンで対立候補が出なかった次の5人を、2005-07年度RI理事ノミニーとして発表しました。重田政信氏(第2840地区 高崎北ロータリークラブ)、ホルスト・ハイナー・ヘルゲ氏(ドイツ)、ジェリーL.ホール氏(米国)、フランクH.ゴールドバーグ氏(米国)、ロバートA.スチュアートJr.氏(米国)なお、RI会長ノミニーおよびRI理事ノミニーは、2004年大阪(関西)国際大会で正式に指名されます。

(「友」インターネット速報 2003年12月16日No.117より)

青少年交換委員会報告

白一色の銀世界となり、子供達も楽しみにしている国際スキーマラソンもいよいよ間近です。さて、青少年交換委員会では、10月21日(火)、22日(水)には、ガトーキングダムで、秋季レクリエーションを、又、23日(木)、24日(金)の地区大会では、新世代向けのエクスカッションを開催しましたので、お知らせいたします。

ガトーキングダム(旧名:テルメ)で、プール、温泉、中華料理を楽しみ、委員の提供による豪華?抽選会も開かれ、留学生のみならず、ROTEX、次期派遣学生、父兄の皆様もゲームに加わり、歓声も上がり、大いに盛り上がり親睦を深めました。同時に開かれた次年度の長期派遣オリエンテーションでは、活発な意見交換が見られ、司会の赤裏委員の巧みなリードと野沢委員長のユーモアに、又、ROTEXの高崎康子さんの貴重な体験談に皆、真剣に耳を傾けていました。

地区大会のエクスカッションは、上出委員の企画により「千歳サーモンパーク見学と散策」で、「Oh! Natural river.」と、自然の川の中に泳ぐ鮭に感激し、写真を撮ったり、撮られたり、秋晴れの日差しの中、皆、のびのびとした笑顔を見せてくれました。又、佐藤ガバナーのお計らいにより、地区大会会場に新世代用の部屋を用意していただき、大好きなおしゃべりに花を咲かせたり、打ち合わせをしたり、米山奨学生や、ROTEXの皆さんとの親交も大いに深める事ができました。5100地区青少年交換担当の伊藤克己氏も同行して下さり、同地区のKai, Greenさんとも久しぶりに顔を合わせる事が出来、お二人とも大変リラックスし満足のようでした。

地区大会の懇親パーティーでは、大変豪華なお料



秋季レクリエーション ガトーキングダムにて記念撮影 ROTEXや次期の派遣生や保護者の方も一緒にゲームの景品ゲットに燃えました

理に舌鼓を打ち、マグロの解体に目を見張り、ここでも、伊藤氏はアメリカでは、「こんなお刺身は食べることができない。」と、お刺身好きの留学生と一緒に大喜びでした。宴も盛り上がり、ついに出ました、Evan, Tomas! ♪マイ・ウェイをアカペラで熱唱しました。このあたりの積極性は日本の子供達にも大いに真似して欲しいところです。自国の国家を誇らしげに堂々と舞台上で披露する子ども達、アメリカ、オーストラリア、そして、メキシコ、戸部アナマリア地区ガバナー補佐の出身国です。もちろん、戸部ガバナー補佐、Rinda・Gomes、メキシコから帰国したROTEXの大窪健吾君の3人で歌い、最後は、「Viva! Mexico」で決め、会場より割れんばかりの拍手喝采を浴びていました。最後に、千歳RC会員の方達からは喜びをお借りして佐藤ガバナー、遠藤パストガバナー等と一緒に、はちきれんばかりの笑顔で記念撮影をしました。佐藤ガバナーを始め、千歳RCの皆様方、お心配りありがとうございました。感謝の気持ちとともに御礼申し上げます。

(地区青少年交換委員:荒木麻美子)



地区大会にて、佐藤ガバナー、川尻RI会長代理、遠藤パストガバナー、夫人と、留学生、はっぴをかりて



サーモンパークで、記念撮影(鮭の科学館)



地区大会エクスカーション5100地区の伊藤氏、Kaiに会えて、にっこり！



鮭の科学館で、真剣にクイズを解くエバンとジェシカ、応援する留学生正解はどっち？



地区大会で、アメリカ国歌を歌う、ステイブンとケイとエバン



オーストラリア国歌を歌う、カリタとシャーニーの美しい声が聞こえてきそう。



写真や、日本のことをホームページに載せている函館東がホストクラブのステイブン（ニックネームはブンちゃん）と、女性ロータリアン（余市RC）



エバンとソロ、マイ・ウェイを、全員で応援



佐藤ガバナーと5100地区の伊藤克己氏の友情あふれるシーン



ビール娘に伊藤氏もびっくり、アメリカで見せるためにハイ、チーズ

ロータリー市民フォーラム

児童虐待—タイからの報告と日本の対応

地区社会奉仕委員会委員長 対木正文 (札幌西RC)

地区世界社会奉仕委員会委員長 土倉裕之 (札幌東RC)

ロータリー市民フォーラム「児童虐待—タイからの報告と日本の対応」が、11月29日(土)午後2時から5時まで札幌道新ホールで開催されました。札幌市内・近郊から約350名のロータリアンと市民が参加しました。

最初にパベナ財団理事長のパベナ氏がビデオを使い、タイの児童と女性への虐待の現状と発生理由を報告し、命のフリーダイヤル1134番や、受入と更生のための施設など財団の活動を説明しました。その後、札幌児童相談所虐待対応担当の谷口氏が日本の児童虐待の現状と事例を出し、虐待の加害者の90%以上が実父母であること、虐待としつけの線引きの難しさ、児童相談所活動の限界などを話しました。札幌太田病院長の太田氏(札幌西RC)は虐待を受けた子どもの治療例を数多くあげ社会復帰の様子と、虐待を受けた子どもだけでなく回りにいる関係者への治療の必要性を訴えました。札幌学院大学教授の松本氏はまとめと北海道子どもの虐待防止協会の活動を説明しました。コーディネーターは地区社会奉仕委員会副委員長の菅原氏(滝川RC)が担当しました。

パベナ氏と今回タイから同行された3350地区ガバナー補佐のスビット氏はフォーラムの前後、上田文雄札幌市長、山田勝磨小樽市長、井上博司函館市長を小樽RCと函館RCの案内で表敬訪問し、ロータリー活動を説明し、タイと北海道の交流についても意見交換しました。

パベナ氏自身も3350地区のロータリアンで、スビット氏共々当地区のロータリーメンバーの友情に感謝の念を持ち、今後の地区同士の交流を希望していました。

ちなみに3350地区は小林年度のピチャイ・ラタクルRI会長、遠藤年度地区大会でのノラセスRI会長代理を輩出しています。また、次々年度から始まる

GSEプログラムの相手地区でもあります。

今回のフォーラム開催に関してご協力いただいたロータリークラブ、ロータリアンの方々に心から感謝申し上げます。

特別講演者パベナ・ホンサクン氏

タイで子どもや女性に対する虐待問題に取り組み、駆け込み寺を設立して自立へのお手伝いを自ら行っているパベナ財団の理事長。財団が設置している命のフリーダイヤル1134番はタイの国民に広く知られ信頼されている。悲惨な通報の場合、パベナさん自身が直接現場に飛び警察などと連絡を取り子どもや女性を救済している行動派。現在5期目の国会議員。労働社会福祉省副大臣、観光省大臣などを歴任。3350地区ドンムアン・バンコク空港ロータリークラブ初代会長。



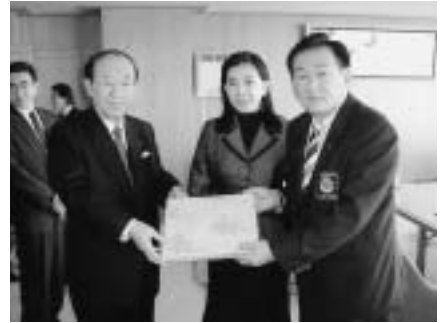
フォーラムでタイの現状を報告するパベナ氏



パネルディスカッションの講師



上田文雄札幌市長とパベナ氏



井上博司函館市長、パベナ氏、3350地区ガバナー補佐のスピット氏



山田勝磨小樽市長とパベナ氏

道新記事 (11月30日朝刊)

子供たち救いたい
講演で訴え

虐待、タイでも深刻 国会議員パベナさん

タイの虐待について講演するパベナさん

国会議員パベナさんは、タイの虐待問題について講演した。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。

タイの虐待問題について、国会議員パベナさんが講演した。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。タイでは、児童虐待が深刻な問題となっている。

売買春や殺人 社会問題化
タイの虐待見助けた



道新記事 (11月11日 朝刊)

井上市長と握手するパベナさん(右)



タイで虐待問題に取り組む議員
パベナさん市長を表敬

タイで子供や女性に對一同国の女性国会議員、パベナさんが、函館市を訪れ、井上市長と握手した。

道新記事 (12月3日朝刊函館版)

井上市長を訪問したパベナさんは、函館について「街がとても美しい。函館山の夜景も美しかった」と話していた。井上市長は、ウィメンズネットワークの女性保護活動などを紹介した。

一日、函館市役所を訪れ、井上博司市長にあいさつした。

パベナさんは、児童虐待に関するフォーラムで講演するため札幌を訪れた後、自身がタイで設けている財団のPRなどで、函館ロータリークラブ(国立金助会長)の案内で函館を訪れた。

スリランカに中古自転車を贈る

今年度、佐藤ガバナーにスリランカ第3220地区ガバナー、ガミニージャワデナ氏より遠隔地において村民や児童生徒の足かせになっている交通手段に対応するため、中古自転車の強い要請があり、さっそく国際奉仕活動の一環として地区内12グループの各ガバナー補佐、並びにクラブ会長を通じて、7月より中古自転車の収集を始めましたが函館、留萌方面、札幌、苫小牧、静内方面約20各クラブから協力を得て870台の自転車、中には学童用オルガン32台なども集まりました。保管した場所は千歳の駒里エックファーム倉庫とし、数クラブからはわざわざ届けて戴いたりもし大変感謝致しております。

輸送は苫小牧港から東南アジア航路のコンテナ船で運ぶため、10月8日(水)と11月11日(火)に千歳セントラルRCメンバーと千歳RCメンバーで40フィートのコンテナ積み込みに汗を流しました。

船はシンガポール経由でスリランカに向かい、現

地に到着するのは、ほぼ1ヶ月位かかるとのことです。

尚輸送費については地区国際奉仕委員会(WCS)で負担致しました。



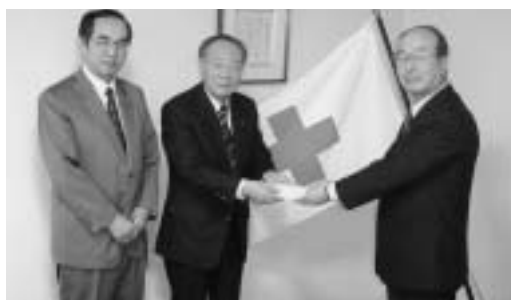
積み込み作業の様子

十勝沖地震義援金報告

2003年9月26日(金)に発生した釧路沖を震源とする十勝沖地震被災地救済に対する義援金(総計2,075,260円)を11月14日(金)に、佐藤秀雄ガバナー、対木正文地区社会奉仕委員長が日本赤十字社北海道

支部にお届け致しましたのでご報告致します。

地区内各クラブ会員皆様の温かいご協力に感謝申し上げます。



ご協力戴きましたクラブ

羽	幌RC	妹	背	牛RC	小	平RC	留	萌RC	赤	平RC	芦	別RC				
砂	川RC	滝		川RC	美	唄RC	江	別RC	岩	見	沢	東RC	栗	沢RC		
栗	山RC	当		別RC	札	幌RC	札幌あけぼのRC	札幌はまなすRC	札幌はまなすRC	札幌	幌	北RC	札幌	北RC		
札幌モーニングRC	札幌	幌	西RC	札幌	幌	西	北RC	札幌手稲RC	札幌	幌	東RC	札幌	清	田RC		
札幌幌	南RC	札幌	真駒	内RC	札幌	幌	南RC	札幌大通公園RC	新	札幌	幌RC	岩		内RC		
小	樽RC	小	樽	南RC	小	樽	銭	函RC	蘭		越RC	余	市RC	千歳セントラルRC		
恵	庭RC	北	広	島RC	長		沼RC	由	仁RC	え	り	もRC	三	石RC		
様	似RC	静		内RC	伊		達RC	室	蘭RC	室	蘭	東RC	室	蘭	北RC	
登	別RC	函		館RC	函	館	亀	田RC		森	RC	長	万	部RC	江	差RC
函館五稜郭RC	函	館	東RC	函	館	北RC		上	磯RC	白		老RC	苫	小	牧RC	
苫小牧東RC	苫小牧	北RC		千		歳RC										

ありがとうございました

タイ国ドンモアンロータリークラブを訪問して ご 報 告

地区家庭奉仕委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

このたび11月初旬に私ども北海道パベナ基金のメンバー全員で、タイ国ドンモアンRCの例会において報告し、パベナさんが幹事長をされている政党の本部で本年度に集めた合計70万円の寄付金を直接パベナさんに寄贈してまいりました。

パベナさんは、南部から帰ったばかりのお忙しい合間を縫ってお会いして下さったのです。しかも、たまたま車両が、エンスト状態で待っている間に目撃したのですが、その直後、政党の事務所に攫われた娘を助け出して欲しいと嘆願に来ていた数人の農民の母親とお会いして、話を聞いた後、直ちにパベナ基金の車両に乗り込み救出に出かけました。この間10分もしない間の出来事でした。彼女のエネルギーな行動を垣間見ることが出来ました。

なおロータリー関係の寄付者は以下の方と団体です。橋本久明、鎌田洋、砺波寿、横井昭廣、永井卯一郎、戸井敏夫、坪池栄一、高橋一雄、鷹木光男、近藤和男、加藤康夫、和田壬三 (以上札幌南RC) 佐藤秀雄ガバナー、小林博直前ガバナー、佐々木敦、中山裕視、上田正佳 (札幌真駒内RC) 矢橋温朗、佐藤裕一 (札幌西)、地区WCS委員会。

私共委員会のメンバーは、佐藤裕一 (札幌西RC) 佐々木敦、中山裕視 (札幌真駒内RC) 鎌田洋 (札幌南RC) と私です。

その機会に概略以下のようなスピーチを行いドンモアンRCの皆さんに私共の訪問の意義についてお話いたしました。

挨拶要旨

昨年に続き皆さんにお会いでき非常に嬉しいです。貴クラブのスビットさんには、私共を皆さんに引き合わせて下さったこと、パベナ基金に寄付を働きかけて下さったこと、パベナさんから直接活動の実態を報告していただき、更に救出した幼い売春婦の少女や、虐待を受けた子を見せて下さったこと、今回の機会を与えて下さったことに何時も感謝しています。

私は、国際ロータリー第2510地区の家庭奉仕委員会の委員長をしています。

家庭における真の民主主義の確立のためには、家

族の複雑な関係、例えば夫婦の関係、親子の関係、兄弟の関係、その相互の関係が、全て民主的であり、対等であり、互いを敬い尊敬する関係にならなければ、本当の意味で家庭の幸福は実現しません。

そのためには、全世界の人々が協力して、家庭の中の民主主義の観念を育てなければならないと思っています。

私の支援は当事業に対する支援は、パベナさんの活動が、同じ方向を目指ししかも、長い目で見たときには、効果的であると信じているからです。

私は日本において毎年1,000人以上の市民を浜辺に集めてごみ拾いをする運動を25年間続けています。

この運動も、浜辺からごみをなくすことを目的にしていますが、いくらごみを拾い集めても浜辺は綺麗にはなりません。

人々が、ごみを捨てないという気持ちになり、海や浜に遊びに来ててもごみを捨てずに持ち帰るという気持ちにさせなければ、綺麗にはなりません。ですから私共は、毎年バスを15台以上チャーターしてたくさんの方の市民に浜辺に集まってもらい、短時間にたくさんのごみを拾い、一人一人の軽率なごみのポイ捨て行為も積み重なるとこんなに浜辺を汚していることを知って、2度とこの様な行為を繰り返さないという心を育てているのです。当初は、僅か1時間で大型トラック14台分のごみが集められたのです。

パベナさんの運動も同じことだと思います。目的は、家庭から暴力をなくし、子供を自分の所有物であるといった思想を駆逐することであろうと思っています。

そのために子供たちや、妻たちからの訴えや悲惨な状態を親や家族あるいは一般の市民に知ってもらい、実は自分たちの中に潜む家庭における非民主的な思想が、この様な事態の原因であることを気づいてもらいたいということだろうと思っています。

今回もたくさんの方の私共の友人に働きかけて、40名を超える方に寄付を戴いたのですが、少なくとも5,000人を超える方に呼びかけて、この様な実態を知ってもらい、家族の問題を考えて頂くきっかけにしているのです。



ですから、このお金の中には、家庭の中の生活費の一部を削って、寄付して下さった方からの寄付も含まれていますし、寄付は今回は見送ったけれども次にはして下さる方の心も含まれていると思います、私共は、寄付して下さった方を代表して、届けに参りました。

家庭の民主主義を実行することは、今すぐにも可能です。先ずご自分から、次は家族に、そして親

友や職場、更には地域に広げて行けばいいのです。

私たちのごみ拾いの運動の成果は、20年目ごろからはっきり現れてまいりました。最近ではごみを探すのが大変です。私たちはごみを宝物とって、ごみのある場所を探しているのです。家庭から暴力や、封建的な思想をなくすことは容易ではありませんが、何時かは、目的が達成できると信じて、始めようではありませんか。

家庭奉仕に関連する二つの集会に参加して

11月29日(土)午後2時から5時まで、札幌東RC主催の創立45周年記念事業「育てよう、子どもたちの心」と地区社会奉仕・地区世界社会奉仕委員会主催の「児童虐待—タイからの報告と日本の対応」が同時に開催されましたので、私は前半は、札幌東RCの工藤左千夫氏(児童文学研究センター理事長、小樽南RC会員)の絵本を通じて子育てを語る「ブックスタート」のお話をお聞きし、後半は地区主催の札幌児童相談所谷口晃氏、精神科医師太田耕平氏、子ども虐待防止協会事務局長松本伊智朗氏の3名の実践並びに研究報告をお聞きしました。

いずれの集会も家庭奉仕に関連するものでした。札幌東RCの集会は会場が溢れるほどの幼児を持った父母が参加して、熱心に聴き入っていました。家庭の機能が弱まった結果、子育てさえ自ら学ばなければならぬ若い父母の苦勞が分かる気がしました。

恐らく、参加した全ロータリアンも実感したと思います。講師の工藤先生のお話は素晴らしいものでした。親が全面的に愛情を注がなければならない全ての面で発達途上にある0～2歳児までの段階、「しつけ」を伝えなければならない2～6歳児の段階、より高度な概念や知識を身につけなければならない小学生、中学生とそれぞれの発達段階に応じて、絵本を通じて子どもを育てようという内容であり、先生の研究の成果がいかに質の高いものであるかを知ることができるものでした。

南部春夫先生の「健やかな子育て」は、ゆったり、楽しく、活発にというテーマのお話もお聞きしたかったのですが、もう一つの集会も気になりましたし、先生からは、昨年シンポジウムでお話を少しお聞きできたので、先生が多年にわたって「赤ちゃん110番」などの父母を対象とする相談事業で得た質の高い育児の方法や、父母のあり方に対するお話が聞けたのではないかと想像しながら、会場のグランドホテルを去り、「児童虐待」をテーマとする道新ホールに向かいました。道新ホールについた時には、丁度パベナさんのタイに於ける活動の報告が終わったところでした。

菅原剛太郎会員(滝川RC)の司会で、前述3名

のパネラーにより、児童虐待の実態やその父母を指導し、指導できない父母から子を守る方法、或いは父母や子を内観療法で救う実践例、更にはその原因の研究などをお聞きしましたが、パベナさんの活動で知るタイの児童虐待の例を含めて、いずれも「家庭民主主義」を実現することが共通のテーマであるとの松本伊智朗先生の「一言」が印象的でした。

短い準備期間でしたが、対木地区社会奉仕委員長が孤軍奮闘して市民の方を多数会場に集めた力には感心しました。

児童虐待の原因についてどう表現するかは別にして、私はその原因は一つに集約されると考えています。それは、父母が幼児(0～2歳頃に十分な愛情を注がなかったこと、2～6歳の時期に子どもの自尊心を傷つけない正しい方法による「しつけ」(親の要望を子に伝えること=児童精神医学の権威者である松本正美先生の言葉)ができていないこと、小中学生の時期に、子どもの自立を促すための正しい親子のコミュニケーションがなされていないこと、問題が発生したときに、不足していたこれらのメニューを補ってやれないことではないか。即ち、全ての子の発達段階に応じた正しい家庭教育がなされていない結果であると考えています。

そして、破綻した家庭教育というのは、夫婦、親子だけの問題ではなく、地域や学校、職場更には医療や社会福祉、場合によっては司法などあらゆる組織や機関に莫大なエネルギーを消費させて育ませなければ、夫婦だけ、親子だけで解決できる問題ではなくなることが、当集会の報告で明らかになったと思います。

家庭奉仕は、まさにその莫大なエネルギーを浪費する前に、家庭崩壊の芽を摘み、家庭に幸福をもたらす大切なものです。

是非とも各クラブの社会奉仕委員長さん、家庭奉仕委員長さん、内容によってはプログラム委員長や親睦委員長さん、情報委員長さん(炉辺会議を通じて)には、今年度も家庭奉仕に関連するプログラム乃至事業に取り組んでいただきたく重ねてお願いする次第です。

第1回米山記念奨学委員会報告

地区米山記念奨学委員会

委員長 竹原 巖 (札幌北RC)

日 時：2003年11月15日(土)17:00~17:45

場 所：センチュリーロイヤルホテル「ルミナス」

出席者：佐藤 秀雄 ガバナー (千歳RC)

伊藤 長英 理事 (苫小牧北RC)

見延 庄三郎 学友会 (小樽南RC)

竹原 巖 委員長 (札幌北RC)

戸井 敏夫 委員 (札幌南RC)

黒田 秀雄 委員 (室蘭東RC)

中山 裕視 委員 (札幌真駒内RC)

武田 利兵衛 委員 (札幌南RC)

村上 恒明 委員 (札幌南RC)

内野 司 委員 (砂川RC)

坂田 道昭 委員 (小樽RC)

欠席者：藤澤 正昭 委員 (苫小牧RC)

1. 挨拶 佐藤 秀雄 ガバナー

伊藤 長英 米山記念奨学会理事

2. 本年度、前半の活動と寄付金状況報告

①次年度奨学生の指定校並びに被推薦者数の打ち合わせ並びに決定。戸井委員が担当し、各大学と打ち合わせ奨学会に報告し決定。

②地区米山学友委員会作成の「学友会だより」を見延委員長よりお送りいただき、奨学生並びに米山委員に送付。

③9月27日、28日開催のライラセミナー（シニアクラス）は、武田委員が担当し奨学生7名（邱麗珍、金良俣、林永波、譚丹丹、尹種秀、陳貞君、楊春）が参加。

④10月24日、25日開催の地区大会は、奨学生15名の登録が有り。

⑤10月の米山月間には、伊藤常務理事・竹原委員長・戸井委員並びに奨学生が10クラブを訪問し卓話を実施。

※次年度はより多くのクラブ訪問を目指し、各委

員手分けしてスピーチを計画したい。

⑥10月末の寄付金実績（地区別寄付金納入明細・クラブ別寄付金納入明細）を参照し、寄付金実態を理解して頂く。

3. 奨学生とカウンセラーの懇談会の進め方について

・懇談会の進行役は中山委員に依頼する。

・奨学生の近況報告等のスピーチに、日本語の上手さ・ユーモア度・内容等について審査し景品を出すことをアトラクションとする。

4. 今後の活動予定について

①寄付金の増進について

・ガバナー並びに委員長連名で、寄付金実績表とお願い文を各クラブ会長・幹事・米山委員長に送付する。

・内野委員の砂川RCの「米山寄付」受付封筒のサンプルを説明して頂く。

・親しい会員に声掛けを、そのグループ内の声掛けを行ってもらう。

②次年度奨学生の選考試験について

・試験事前打ち合わせ：2004年1月31日(土)

・選考試験：2004年2月1日(日)

・面接試験担当・人員：後日

・受付・誘導担当：学友会の協力を得る

③新世代委員会（ライラ宮崎委員長担当）が2月8日(日)開催予定の国際スキーマラソンへの参加については、中山委員が担当し準備する。

④米山セミナーは3月13日、14日に室蘭市で開催予定。室蘭東RCがホストとなる。

⑤選考試験の後、新規奨学生が決定し4月中に案内、5月15日(土)に奨学生のオリエンテーションを実施。また、オリエンテーションに先立ち、地区としては初めての試みになるが、カウンセラーの研修会を実施する。

第2回 地区補助金の申請について(審査・承認)される

地区補助金委員会

委員長 伏木 忠了 (札幌西RC)

日 時：平成15年11月18日(火)16:00～

場 所：地区ガバナー事務所

プロジェクトの申請件数 4件

①新札幌RC：補助250,000円

札幌道新ホールで、子どもを取り巻く環境悪化から子どもはどう受け止め、どう対処すべきか、市民とともに考えたいと思います。

今回は、タイ国、パベナ財団の理事長であり国会議員であるパベナ・ホンサクン氏を招き、基調講演をお願いする。

(申請額：400,000円、一部WCS委員会負担)

②札幌清田RC：補助100,000円

言語障害児のための「ことばの学級」を市立清田小学校に開級。教材が不足していることから、子どもたちが教室で自由に遊べる「ボールプール」を寄贈し、子ども委員会を通じ、ロータリアンが職

業に関連したさまざまな活動に参加する。

(申請額：100,000円)

③札幌手稲RC：補助150,000円

「青少年の健全な育成」の一助、ロータリー杯争奪、中学校スポーツ大会(西区・手稲区の中学校8会場1,730名位の参加)予選・決勝と2日間開催。

札幌西北RC・札幌あけぼのRCと3クラブ合同、多数のロータリアンも参加する。

④札幌モーニングRC：補助500,000円

バイオブロック植樹の地域運動に向けての統合(札幌市内複数の小学校・中学校)で、北大名誉教授、東先生の率いる(カミネッコン植樹)ボランティア、北の森づくりサークル活動に市民と共に、当クラブからも参加、新しい植樹法の普及に努めたい。(申請額：552,750円)

下期地区資金お振込みについて

2003年11月10日より北洋銀行「千歳支店」と「千歳中央支店」の統合に伴いガバナー事務所の取引店名・店番号および口座番号が下記の通り変更となりましたのでお知らせ致します。(口座名義は変更ございません)

1月1日現在の会員数にて下期地区資金を各クラブ様からお振込み戴くことになっておりますが、新しい口座番号の用紙を昨年12月中旬に各クラブ様宛に発送致しておりますので、新しい用紙にご記入の上、ご送金下さいますよう宜しくお願い申し上げます。

旧口座：北洋銀行千歳支店(店番号025) 普通預金0765712
↓変更後

新口座：北洋銀行千歳中央支店(店番号318) 普通預金3844860

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 46】

2003年12月10日発行

1. 寄付金速報 ～奨学生数1,000名維持の危機

11月までの寄付金は、前年同期と比べ5.8%減、約4千万円の減少でした。普通寄付金が1.9%減、特別寄付金が7.8%減です。このまま寄付金、とりわけ特別寄付金の減少が進みますと奨学生数1,000名の維持が難しくなります。留学生受入れ10万人計画が達成された今、奨学金の受給を希望する学生は増加しており、米山奨学制度に対する社会からの期待もますます大きくなっています。ひとりでも多くの優秀な留学生を支援するために、皆様のご支援・ご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 常務理事会報告

～新表彰制度の効果検証と

寄付増進策について熱心な協議

11月28日(金)に2003年度第1回常務理事会が開かれ、理事長、副理事長、常務理事および列席者(名誉理事長、監事)を含む11名が出席しました。主な議案として、新表彰制度の現状分析と寄付増進方策案の検討、公益法人改革に向けての情報公開規程などの整備と今後の会議日程について協議しました。また、ロータリーマークの使用については、RI知的所有権を十分研究して使用することなどについて意見交換を行いました。

3. ロータリーゾーン研究会に米山奨学事業が再登場

11月29日(土)に東京・高輪プリンスホテルで開催された第32回ロータリーゾーン研究会では、昨年に続いて米山奨学事業がテーマの一つに取り上げられました。これは、板橋直前RI理事、田中現RI理事をはじめ、日本選出RI理事のご尽力によるものであることはいまでもありません。また背景には、教育・福祉・青少年育成に真正面から取り組む日本のロータリーが、「国際奉仕」「新世代育成」「平和の実践」などそれぞれの観点から、米山奨学事業の実績に注目し始めたことがあると言えます。

現況報告の内容は、(1)知的国際競争市場におけ

る“優秀”な留学生支援の意義 (2)RI提唱の「平和貢献」に応える米山の理念「平和の使徒をつくる奨学事業」の再確認 (3)寄付増進の可能性を探る方策などでした。

RIの多地区合同活動の方針に沿った米山奨学事業の使命と役割がますます重要性を増してきたことをあらためて認識した研究会でした。

(事務局長・宮崎幸雄)

4. 第1回米山奨学会学友セミナー報告書発行

(懸賞論文入賞者の論文集付き)

10月11日(土)開催の第1回米山奨学会学友セミナーの報告書を12月下旬に発行いたします。セミナーに先駆けて実施した懸賞論文入賞者の論文集も収録しています。当会ホームページからもダウンロードできますので、ぜひご一読ください。(冊子をご希望の方は、事務局までお気軽にお問い合わせください。)

5. 留学生数は10万人を突破!

次なる課題は受入れ環境の質的充実に

文部科学省は11月11日の発表で、海外からの留学生数が今年5月1日現在で10万9,508人に達したことを明らかにしました。1983年に政府が掲げた「留学生受入れ10万人」の目標をようやく達成したことになります。前年に比べて13,958人増(14.6%増)で、課程別では、学部・専修学校の増加が目立ちます。また、出身国別の留学生数では、中国がトップで70,814人。前年に比べて12,281人増(21.0%増)と大幅な伸びを示しました。2位に韓国(15,871人)、3位に台湾(4,235人)と続き、アジア諸国からの留学生の割合は全体の93%に上ります。(詳しくは、文部科学省のウェブサイトをご覧ください：<http://www.mext.go.jp>)ポスト10万人計画として新しい留学生政策を検討する中央教育審議会留学生部会では、10月に中間報告をまとめました。より一層の留学生交流を推進する基本方針とともに、留学生の質の確保と受入れ体制の充実などに取り組んでいくこと、その

ためにも企業・地方公共団体・民間団体とも連携して、社会全体として留学生を受け入れる環境を構築すべきだとしています。

《重要なお知らせ》

- ◆米山奨学会への特別寄付金に対して免税の優遇措置が受けられます。1年間（1月～12月）に1万円以上の特別寄付をされた方には、来年1月末までに免税領収書をクラブにお送りいたします。来年の確定申告は12月30日（火）までに入金された

ご寄付が対象となります。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

事務局長 宮崎幸雄

編集担当 峯

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール :

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ :

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(195号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介・絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

先輩ロータリアンの文献

- ◎「満州におけるロータリー運動の展望 他」 佐々木孝三郎 1974 27p (遺稿集から)
- ◎「満州のロータリーのことも (インタビュー)」 佐々木孝三郎
ロータリーの友 : 1968・9月 4p
- ◎「戦前の日本ロータリー」 直木太一郎 1974 25p
- ◎「日本ロータリー史」 直木太一郎 1971 37p
- ◎「ロータリアン読本」 直木太一郎 神戸RC 1970 41p
- ◎「ロータリー日本伝来のルーツとその後の経過 その1」 平島健次郎 1982 28p
- ◎「温故知新 ロータリーの今昔」 遠藤健三 1987 7p
- ◎「鼎談 ロータリーは紳士の道場―戦前、戦後のロータリーを回顧して」
細川清、石川芳次郎、鳥養利三郎 ロータリーの友 : 1967・12月 5p
- ◎「日本におけるロータリーの歴史」 阿部謙夫 1976 11p (D.350年次大会講演)
- ◎「日本ロータリー再建の頃」 ジョージR. ミーンズ
ロータリーの友 : 1976・9月～1977・4月 27p
- ◎「火種はみんな持っている (抄)」 松本兼二郎 1969 32p

〔上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)〕

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

函館五稜郭 R C	光 錢 裕 二	会員	11月7日 (4回目)
札幌南 R C	齋 藤 元 護	会員	11月7日 (2回目)
札幌東 R C	大 場 二 郎	会員	11月14日 (2回目)
函館亀田 R C	鹿 野 文 男	会員	11月21日
留 萌 R C	川 合 正 修	会員	11月28日
	澤 田 茂	会員	11月28日 (4回目)
	澤 井 定 七	会員	11月28日
	渡 部 英 次	会員	11月28日 (4回目)
札幌東 R C	村 山 富 夫	会員	11月28日 (2回目)

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C	津 元 美智代	会員	11月14日
	滝 本 妙 子	会員	11月14日
留 萌 R C	山 本 讓 二	会員	11月28日

ベネファクター

函館北 R C	小笠原 孝	会員	11月14日
---------	-------	----	--------

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

深 川 R C	小 野 昭 郎	会員	11月26日	第2回
	佐々木 実	会員	11月26日	第1回
留 萌 R C	川 上 明 弘	会員	11月27日	第1回
	田 中 公 一	会員	11月27日	第7回
	渡 部 英 次	会員	11月27日	第4回
札幌北 R C	小 林 俊 之	会員	11月11日	第1回
札幌幌南 R C	五十嵐 政 三	会員	11月27日	第1回
	近 藤 浩	会員	11月27日	第3回
	奥 村 建 夫	会員	11月27日	第2回
	土 谷 享	会員	11月27日	第1回
恵 庭 R C	柴 田 弘 道	会員	11月5日	第3回
長 沼 R C	青 木 雄 一	会員	11月12日	第1回
	清 水 彰	会員	11月12日	第2回
函館東 R C	杉 本 武 彦	会員	11月4日	第1回
苫小牧 R C	藤 澤 正 昭	会員	11月7日	第2回

*** 掲示板 ***

・クラブ事務局変更のご案内

七飯 R C 12月8日(月)よりクラブ事務局を下記の通り変更致しましたので宜しくお願い致します。
〒041-1111 亀田郡七飯町本町386-2
(有)かわじり生花店内
電話 0138-65-2448 FAX0138-65-2996

・例会の変更について

芦別 R C 1月9日(金) 夜間例会(新年交礼会) 18:00~ 場所: 鮭広
美唄 R C 1月8日(木) 新年夜間例会 18:30~
岩見沢 R C 1月9日(金) 岩見沢 R C・岩見沢東 R C 新年交歓会 18:00~
場所: 三井グリーンランドホテルサンプラザ
岩見沢東 R C 1月6日(火) 休会(定款第5条第1節により)
1月13日(火) 休会(新年合同交歓会の振替)
江別西 R C 1月6日(火) 移動夜間例会18:00~ 場所: 遠州寿司
当別 R C 1月6日(火) 早朝例会(新年交礼会) 8:00~
1月31日(土) 夜間例会(新年親睦会 in 新篠津) 17:00~
(1月27日を変更)
倶知安 R C 1月7日(水) 休会
1月14日(水) 夜間例会(新年会) 18:00点鐘 場所: 梅寿司
1月28日(水) 夜間例会 18:00点鐘
余市 R C 1月7日(水) 休会
伊達 R C 1月6日(火) 夜間例会(新年交礼会) 18:00~
場所: ローヤルホテル
室蘭東 R C 1月28日(水) 創立43周年記念家族同伴夜間例会 18:30~
場所: 蓬峯殿
白老 R C 1月6日(火) 休会(定款第5条第1節により)
1月13日(火) 移動夜間例会(新年家族例会) 18:00~
場所: ホテルビュラメール(白老町虎杖浜)
苫小牧 R C 1月16日(金) 夜間例会(新年家族会) 18:00~
場所: グランドホテルニュー王子

・メールアドレスの変更について

深川 R C の大西祥太幹事のメールアドレスが*****に変更になりましたので、地区役員名簿のご訂正をお願い致します。

祝 新入会員のご紹介

札幌大通公園 R C



山崎 和 会員
12月1日入会

江別 R C



武田 泰一 会員
12月4日入会

札幌北 R C



小林 良善 会員
12月15日入会

11月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.11.30	増減	内女性	
1	深川	4	43	43	0	2	78.13
	羽幌	4	47	47	0	1	71.46
	妹背牛	4	10	10	0	0	90.00
	小平	4	16	16	0	0	64.06
	留萌	4	64	64	0	0	94.55
	小計		180	180	0	3	79.64
2	赤平	4	35	35	0	1	87.20
	芦別	3	58	57	-1	0	91.83
	砂川	4	55	56	1	0	96.43
	滝川	4	109	111	2	2	73.25
	小計		257	259	2	3	87.18
3	美幌	4	47	45	-2	0	91.07
	江別	3	46	47	1	2	85.18
	江別西	3	40	40	0	3	90.00
	岩見沢	5	100	101	1	0	91.88
	岩見沢東	3	34	36	2	3	89.90
	栗沢	4	33	33	0	2	89.79
	栗山	4	32	32	0	2	95.00
	当別	4	42	41	-1	0	85.37
		小計		374	375	1	12
4	札幌	4	113	127	14	0	98.19
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	30	0	5	81.25
	札幌北	2	54	56	2	5	90.66
	札幌モーニング	4	60	62	2	0	73.39
	札幌西	4	74	79	5	2	90.76
	札幌西北	4	50	50	0	2	91.26
	札幌手稲	4	44	44	0	0	97.73
		小計		443	465	22	15
5	札幌東	3	118	125	7	0	99.42
	札幌清田	4	29	29	0	5	100.00
	札幌幌南	4	81	77	-4	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	47	1	2	95.91
	札幌南	2	90	94	4	0	96.47
	札幌大通公園	2	19	20	1	5	80.55
	札幌セントラル	4	19	19	0	5	72.30
	新札幌	4	36	37	1	1	91.92
		小計		438	448	10	18
6	岩内	4	35	36	1	0	76.67
	倶知安	4	57	57	0	4	83.25
	小樽	4	88	89	1	0	83.45
	小樽南	4	86	85	-1	0	86.09
	小樽銭函	4	22	22	0	3	76.14
	蘭越	4	15	15	0	0	83.33
	余市	4	46	46	0	4	89.22
		小計		349	350	1	11

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,369人(96人)
増加会員数	65人
当月平均出席率	83.90%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率	
			03.7.1	03.11.30	増減	内女性		
7	千歳	4	72	74	2	2	89.86	
	千歳セントラル	4	31	31	0	0	90.30	
	恵庭	4	50	50	0	0	87.23	
	北広島	3	15	18	3	2	84.31	
	長沼	2	17	19	2	4	80.80	
	由仁	4	16	16	0	0	70.31	
	小計		201	208	7	8	83.80	
8	えりも	4	23	25	2	0	70.00	
	三石	2	18	18	0	1	80.50	
	様似	4	20	20	0	2	69.40	
	静内	4	68	68	0	0	78.82	
	浦河	4	42	42	0	1	92.17	
		小計		171	173	2	4	78.18
9	伊達	4	55	57	2	0	72.26	
	室蘭	4	56	59	3	0	64.10	
	室蘭東	4	48	49	1	0	89.73	
	室蘭北	4	39	39	0	2	100.00	
	登別	4	39	40	1	2	85.00	
	洞爺湖	4	12	12	0	0	77.20	
		小計		249	256	7	4	81.38
	10	函館	4	101	106	5	0	80.57
函館亀田		1	47	48	1	1	75.00	
森		4	48	48	0	0	82.00	
七飯		4	29	29	0	0	75.00	
長万部		2	12	14	2	0	60.71	
	小計		237	245	8	1	74.66	
11	江差	4	21	20	-1	0	77.50	
	函館五稜郭	4	64	70	6	0	86.00	
	函館東	3	60	60	0	6	83.33	
	函館北	4	43	40	-3	0	81.58	
	上磯	4	33	34	1	3	58.60	
	松前	4	9	9	0	1	66.67	
	小計		230	233	3	10	75.61	
12	白老	4	32	32	0	2	78.00	
	苫小牧	4	61	63	2	0	76.60	
	苫小牧東	4	33	33	0	3	81.45	
	苫小牧北	4	49	49	0	2	92.89	
		小計		175	177	2	7	82.24
	合計		3,304	3,369	65	96	83.90	

2003-2004年度 下期地区カレンダー（予定表）

年	ロータリー月間強調事項	月	日(曜日)	地区の行事	日(曜日)	国内行事・国際行事	グループ内の行事・クラブ周年行事
2004年度 (平成16年)	ロータリー理解推進月間 追悼記念週間 (1/27を含む1週間)	1		各クラブ半期報告、人頭分担金送金 05-06国際親善奨学生応募開始 オーストラリア受入学生歓迎会			
	世界理解月間		1(日)	米山奨学生選考試験	2(月) 8(日)		札幌真駒内RC創立30周年記念式典 (仮)第9グループ会員交流会
	ロータリー創立記念日、 世界理解と平和の日(2/23) 世界理解と平和週間 (2/23～2/29)	2	18(水) 14(土)・15(日) 29(日)	地区GSEチーム派遣(～3/24・第3830地区) 04-05国際親善奨学生オリエンテーション 米山奨学生歓送会 地区チーム研修セミナー(室蘭プリンスホテル)	15(日)～22(日) 20(金) 21(土)・22(日) 26(木)	国際協議会(米国・アナハイム) ローターアクト全国研修会	第6グループ内合同研修会 洞爺湖RC創立35周年(予定) 札幌東RC創立45周年記念式典
	世界ローターアクト週間 (3/13を含む1週間)	3	13(土)・14(日)	会長エレクト研修セミナー(登別グランドホテル)	20(土)		森RC創立40周年記念式典
	ロータリー雑誌月間	4	17(土)	地区協議会(室蘭市民会館)		ROTARY-NONO-TOMO発行 青少年交換研究会	
		5	20(木) 29(土)・30(日)	2004年青少年短期派遣学生選考試験 05-06国際親善奨学生応募締切り 米山奨学生オリエンテーション ローターアクト地区年次大会	9(日) 15(土) 16(日) 23(日)～26(水)	国際大会ROTEX全国会議(大阪大会) 国際大会(日本・大阪)	第2グループ合同例会 栗沢RC創立40周年記念式典 第1グループ・ワークシヨップ
	R I 国際大会 ロータリー親睦活動月間	6		新旧ガバナ補佐会議 インターアクト地区年次大会(予定)	5(土) 14(月)～18(金) 19(土)	米山記念奨学会、理事会・評議員会 2004年規定審議会(シカゴ)	岩見沢RC創立50周年記念式典 新札幌RC創立20周年記念式典
		9		佐藤年度地区要覧発行			



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

2

MONTHLY LETTER No.8

2004. 2. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
「国際大会(関西)」開催の大阪はこんな街	3
地区青少年交換委員会報告	4
地区職業奉仕委員会報告/地区国際親善奨学金委員会報告	6
国際ロータリー日本事務局からのお知らせ	8
クラブ報告(札幌東RC・札幌はまなすRC)	9
新入会員のご紹介	10
ハイライトよねやま47	11
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	12
文庫通信/掲示板	14
12月会員数・出席率	15
地区カレンダー	16

ガバナーメッセージ



世界を理解し平和を推進しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

「世界理解月間」は特別月間として毎年2月に実施される。同月間中、クラブは世界平和に不可欠なものとして理解と親善を強調するクラブ・プログラムと活動を実施し、世界社会奉仕を中心にしたプログラムを行なうよう要請されている。2月23日は最初のロータリークラブ会合が開かれた記念日でもある。国際ロータリーが世界理解と平和を推進するためのプログラムとしてどんなものがあるのだろうか。世界社会奉仕(WCS)、災害救助、飢餓救済、ロータリー友情交換、国家間の連合会、国際共同委員会、ロータリー親睦活動等がありますし、新世代のプログラムとしては青少年交換、国際親善奨学生、研究グループ交換(GSE)、国際問題研究のためのロータリーセンター世界平和奨学生等があります。また財団関係ではマッチング・グラント、ポリオ・プラス等の人道的プログラムも世界理解と平和に貢献しているプログラムと言える。これらの中で研究グループ交換(GSE)について考えてみよう。昨年11月末に開催されたロータリー研究会において、ある地区からGSEプログラムは廃止すべきだとの意見があった。地区において大きな予算を使って実施している割には効果が無い、との理由からである。そうだろうか！一昨年は当地区において初めてアジアからGSEチームを受け入れた。フィリピンの第3830地区からEdwin Afzelius氏(ロータリアン)をチームリーダーとする

5人の若者達である。各クラブは同じアジア人ということからか近親感を覚えたのであろう、飾らない真心のこもった歓迎をし、自分の職場を紹介し名所旧跡に案内した。ホームステイでの暖かいもてなしはこの若者の心に染み入ったと考えられる。その証拠に帰国の前日の報告会において、若者たち一人一人が感涙に咽びながら感謝の言葉を述べられたのが強く印象に残っている。多分生涯の人生経験の中でGSEプログラムによって日本を訪問し、心と心の繋がりを体験した若者たちが将来国際理解を深める上でかけがえの無いものに成るものと思う。世界平和は世界の人々が相手国の人々と接し互いに友情を交わし信頼する事から始まる。各地区で派遣・受け入れる人数は4～5人という僅かな人数ではあるが、全国では170名近くにもなる。今年度派遣したら翌年度は他国チームを受け入れることとなり、数年前までは派遣・受け入れは同年度で行なわれていたが、RIも緊縮財政のため隔年ごととなった。今年度2月23日から戸部謙一氏(札幌西RC)をチームリーダーとして4人の若者がフィリピンの第3350地区を訪問する。この若者がフィリピンを視察し職場体験、ホームステイを通じて他国の文化を体験したとき、ただの観光旅行では経験できない何かを会得するものと思う。この貴重な体験を活かし世界理解を深め、そして世界平和につなげてもらいたいものだ。

ガバナー日記(6)

9月27日(土)、28日(日)ライラ委員会主催のライラセミナー(シニアの部)が開催され宮崎委員長及び委員会の皆さん、そして新世代の奥貫委員長、カウンセラーの伊藤長英PGが参加され熱心な論議が展開された。10月4日(土)、5日(日)は第2500地区の地区大会に参加。大雪アイスアリーナで開催されたが、2日目は殆んどの会員は参加せず100名余の参加者では寂しい限りだ。地域性も多分に影響していると思うのだが一工夫が必要ではないか。10月15日(水)地区ガバナー指名委員会を開催し、塚原房樹氏(札幌東RC)がガバナー・ノミネーに満場一致で決定した。

公式訪問

9月20日(土) 美唄、岩見沢、岩見沢東RCの公式訪問。高慶代表幹事補佐、上井幹事が同行し岩見沢サンプラザにJRで向う。西原宗幸第3グループガバナー補佐の司会で17時きっかりに3クラブ合同の会長・幹事懇談会に入る。岩見沢東RCの関会長から数々のクラブ事業が報告された。その中で特に地区が今年度実施したスリランカへの中古自転車寄贈について力を注がれ沢山の自転車を頂戴した。ただ第3グループが収集途中だった10月末を持って「収集打ち切り」を一方向的に申し上げご迷惑をおかけした。お詫び申し上げたい。美唄RCの二川会長は、こども委員会を設置し職場体験を実施する。インターネット委員会を作り時代にマッチして行きたい。敬意を表します。ポリオについては検討中とのこと、是非ご協力願いたいものだ。岩見沢RCの倉増会長は連帯感を持って楽しみながらの例会を、これには同好会を利用する。増強については100名を維持したい。ポリオ寄付についてはチャリティで集めたい。当地区では100名を超えるクラブは72クラブ中数クラブしかなく最大は札幌東RCの120余名である。クラブ会員の名誉のためにも100

名を維持する事を期待する。

9月24日(水) 恵庭、北広島、長沼、由仁RCの公式訪問、地区幹事全員と共に会場の恵庭キャッスルに向う。17時、後藤篤人第7グループガバナー補佐司会で4クラブ会長・幹事懇談会に入る。由仁RCの川合会長、人口僅かな町にライオンズクラブもあり増強はとても難しい。介護等の継続事業も毎年実施するのは厳しくなってきたのでやれる範囲で実施する。来年1月には交換留学生を受入・派遣する。厳しい経済情勢下のもとやれる範囲が望ましい。ただ交換留学生についての費用分担はグループで考慮する余地があるのではないかと思う。北広島RCの竹内会長、会費を値下げし5名の増強を図りたい。ロータリーの再構築を試み会員全員が知恵を出して活性化を試みたい。夜間例会はアルコールを持ち込みとし経費の節減に努めたい。これこそ改革だと思う。北広島RCは72クラブ中唯一の会員増強モデルクラブに推奨されている。皆で応援しようではないか。長沼RCの清水会長、クラブ創立10周年で会員の減少を見たが2名の増強を目標としたい。町民参加の例会を試みたい。恵庭RCの清水会長、会員が減少し50名となった。事業としては子供相撲、少年野球大会25チームが参加し1週間かけて実施している。サッポロビール園を中心にして毎年オンコ祭を実施、収益は今年度37万円。はぐるま基金1,000万円を目標とするが現在670万円。用途を明確にし基金の達成目標期限を設定し透明化すれば多くの会員の協力が得られるのではなかろうか。18時30分から公式訪問例会が開催されたが、或るクラブからは数名の出席しか見られず残念に思う。年に1回の公式訪問例会であり会長・幹事は特に意を用い参加要請をするのは当然と思うのだが……。

「国際大会（関西）」開催の大阪は2んな街

今月は、国際大会（関西）のメイン会場のある大阪市をご紹介します。大阪は、「お笑い」、「たこ焼き」、「お好み焼き」、「道頓堀ダイブ」……というイメージが強いですが、今回は、大阪の意外な一面を皆さまにお伝えいたします。

大阪は、「人形浄瑠璃（文楽）」発祥の地。義太夫の第一人者、竹本義太夫は今から約330年前、天王寺・茶臼山で生まれました。（谷町筋に竹本義太夫生誕地碑があります。）人形浄瑠璃は、近松門左衛門、三人使い人形、道頓堀の竹本座、豊竹座の競演で全盛期（1700年代）となりましたが歌舞伎の隆盛で衰退の一途をたどることになります。1800年初め、阿波より植村文楽軒が高津で人形芝居小屋を開いて成功を収め、神社での宮地芝居が人形浄瑠璃の主流となりますが、天保の改革で宮地芝居が禁じられ、一時的に人形浄瑠璃は壊滅的打撃を受けることとなります。1800年半ばに文楽軒が復活し、明治初年に松島（現在の西区九条、国際大会開会式が行なわれる大阪ドーム、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンの近く。）で文楽座を設けました。以後、人形浄瑠璃は「文楽」と呼ばれるようになりました。

昭和59年、国立文楽劇場が大阪日本橋（電気街として有名であり、大阪の台所・「黒門市場」の所在地）に開場され、人間国宝を多く輩出し、文楽は安定期を迎えていきます。

また義太夫が生まれた茶臼山一帯は、財閥・住友

家の本宅でしたが、大正10年、大阪市に寄付されました。本宅内の名園、「慶沢園」は、天王寺美術館裏に位置しており、この地域は大阪では珍しく緑が多く、天王寺博覧会（1987年）にあわせて、環境整備も行なわれましたので、安心して散策などを楽しめます。また、茶臼山から北方200mに位置する安居天神境内は、徳川家康を茶臼山まで追いつめた真田幸村の戦死の地であります。江戸時代、桜の名所であったことから、歌舞伎の演目で有名な「義経千本桜」は、この地がヒントになっていると言われています。

安居天神近くの四天王寺あたりの天王寺雅楽は昔より格式が高く多くの楽人がお寺の近くに住んでいましたが、明治になり東京宮内庁により召し使われました。その中に林広守という人がおり、国家「君が代」の作曲者です。また、東儀一族は、四天王寺出身者も多く、海軍の歌「海行かば」は東儀季芳の作曲です。今、人気の東儀秀樹氏の先祖もこの地に住んでいたことでしょう。

くいだおれの街、大阪で「おいしいもん」を食べる前に、少し歴史の散策をしてみたいか？きつと、今までとは違った大阪に出会えることでしょう。

この国際大会を機に、関西地域それぞれが持つ独自の魅力を肌で感じてください。

～第2回目の登録締切日は3月15日です～

登 録 料

登録者のカテゴリー	締切日 2 2004年3月15日	現地 <small>で</small> （ファックスや郵送は受付いたしません）
ロータリアンもしくは19歳かそれ以上の来賓	米貨325ドル/1人	米貨350ドル/1人
ロータリアンと配偶者もしくはロータリアンの夫婦（法的に婚姻関係にあるロータリアン）	米貨450ドル/2人	米貨500ドル/2人
ローターアクト、ロータリアン以外の財団学友、同財団奨学生、あるいはライラリアン	米貨 80ドル/1人	米貨100ドル/1人
18歳かそれ以下の来賓、青少年交換学生、インターアクト	米貨 30ドル/1人	米貨 40ドル/1人

地区青少年交換委員会報告

受入れ留学生のための「送別会」開催報告

12月14日(日)、来年1月に帰国する予定である6名のオーストラリアからの留学生の「帰国報告会と送別会」が、ホテルルーシス札幌で開催された。

ローテックス5名、当地区からの来年度派遣生11名、大変お世話になったホストファミリーの皆様、ロータリークラブ関係者、など約140名余りの参加者が、涙あり、笑いありの感動的な2時間を、佐藤秀雄ガバナー、伊藤長英パストガバナー、遠藤ガバナーエレクト、奥貫新世代委員長等と一緒に過ごした。

この日のために、シャーニー・モーガン(札幌まなすRC)は、ホストファミリーの中山ご夫妻に着物を着せてもらい、おしとやかに涙ながらのスピーチをした。「日本の生活は楽しかった。友達も先生も皆、楽しかった。ホストファミリーのパパ、ママ、ありがとう。」

ジョー・ペイリスは、「1番目のお母さんの英語は面白かった。2番目のホストファミリーの英語は上手だった。3番目のホストファミリーは英語がぜんぜん通じなかった。でも、3番目のホストファミリーのときが、1番日本語を覚えた。」と、場内を沸かせた。「2年後には必ず日本に来ます。」と、皆の前で約束した。

ジェシカ・バルドッグ(札幌手稲RC)は、「特に日本語教師の先生たちからは、人生のいろいろなことを教えてもらいました。」と、しっかりとした日本語で語った。

ティーガン・レイノルズ(札幌北RC)も、ミラ・ポンティ(札幌東RC)も、カリタ・デイビス(札幌北RC)も感謝と惜別の気持ちを、それぞれが語っ

た。その後、6名で日本で覚えた「おにぎりパフォーマンス」で、実際におにぎりを握り、お世話になった方たちに配り、なかなか良い塩加減であった、と評判で、オーストラリアでも作ります、と笑顔を見せた。余興では、ローテックスによる抽選会や、派遣生も留学生もローテックスもみんな、「世界に一つだけの花」を歌ったり、メキシコから帰国した大窪健吾君の華麗なヨーヨーパフォーマンス、現留学生のエヴァン・トーマスによる弾き語りなど、それぞれが会場を沸かせていた。

佐藤ガバナーからは、これからの青少年交換活動のあり方と関係者へのねぎらいのお言葉を戴き、奥貫新世代委員長からは、未来に向けてのメッセージを、遠藤ガバナーエレクトからは、次年度に向けての抱負を伺った。それぞれの蘊蓄のある、暖かで適切なお話に一同は神妙に耳を傾けていた。また、新世代カウンセラーでもあられる伊藤長英パストガバナーに力強い励ましのお言葉とともに乾杯の音頭をとって戴いた。

留学生は、佐藤ガバナーから終了証書と記念バッジを戴き、握手をして、別れを惜しんでいた。また、留学生からは、お世話になった方たちに感謝状と記念品が渡され、涙で抱擁をし、再会を約束していた。

最後は、キャンドルサービスで輪になって、「きよしこの夜」を歌い、「手に手つないで」で友情を確認した。さらに、野澤委員長の3本締めで、1年の留學生活の無事とこれからの飛躍を込めて、締めとした。お世話になった皆様、ありがとうございました。(文：荒木麻美子地区青少年交換委員)





第3回ロータリー職業奉仕 市民講座開催のご報告

地区職業奉仕委員会

委員長 富岡 公治 (札幌西北RC)

1. 講師：医師 田中良治
(医療法人札幌田中病院 理事長)
2. 演題：「大往生のための70章」
50歳からの人生の生き方と日常生活の送り方について

3. 日時：平成15年10月16日(木)
午後1時～午後3時
4. 場所：北海道浅井学園大学 北方圏学術情報センター大ホール ポルト

当日開催会場のポルトに続々と多数の市民が来場されました。

約120名の市民の人達に田中良治講師（札幌RC）が次々とユーモアを交えて自らの医師としての体験と実例を多数紹介をしながら講話し、場内は笑いと共感と和やかな空気ですばいでした。

市民の人達は高年齢になってからの心の持ち方と健康と回りの人との接し方について講話の話から多くの有益なアドバイスを受けて満足して帰られました。

当職業奉仕委員会は今後も多種多様の職業を有するロータリアンを講師とする市民に奉仕するロータリー市民講座の連続開催の企画を実行していきたいと考えます。



国際親善奨学金委員会報告

地区国際親善奨学金委員会

委員長 土橋 信男 (札幌幌南RC)

日時：2003年12月18日(木) 6時30分～9時30分
場所：レストランラグファン
出席：土橋信男 (札幌幌南)、松下文芳 (江別西)、
高橋麗秋 (札幌北)、瀧川哲夫 (札幌手稲)、
星野恭亮 (札幌東)、大坂忠 (大通公園)

報告1：2003-04年度奨学生のその後の状況について
3ヶ月 内山 裕子 (オーストラリア)
来年5月留学の予定
求馬久美子 (ドイツ) 留学中
加茂 実武 (イングランド)
来年留学予定
星井絵里子 (ニュージーランド)

留学終了先日帰国

今井 愛実 (フランス) 留学中

12月末帰国予定

- 6ヶ月 上森奈緒美 (タイ) 来年留学予定
 中村 理子 (トルコ) 来年留学予定
 1年 小橋 麻美 (イタリア) 留学中
 西原 明希 (イングランド) 留学中
 2年 兼子 歩 (アメリカ)
 辞退 (取り消し)
 平岡 美穂 (イングランド) 留学中

報告2 : 2004-05年度奨学生の状況について

財団からの通知、および月信記事を参照して下さい。

報告3 : グアムからの奨学生受入について

ロレーナ・スネア

到着 : 9月22日 帰国予定 : 1月5日

ホストクラブ : 札幌大通公園ロータリー
 クラブ

札幌セントラルロータリー
 クラブ

日本語研修 : I A Y (12月22日で終了)

ホストファミリー : 川西文男、浩子

東区本町1条8丁目1-25

議案1 : 次年度の募集要項、募集日程とその内容について

提案どおり、募集日程を以下のようにすることを決定した。

募集期間 : 1月20日(火) - 4月20日(火)

面接日 : 6月26日(土)

なお、募集要項について以下のようにする。

- 募集人数 3ヶ月奨学生 4人
 6ヶ月奨学生 2人
 1年奨学生 2人
 2年奨学生 1人 計9人

また、次の2つのことを募集要項に入れる。

1. 1、2年奨学生の語学力の一定基準を明示する。英語圏はTOEFL550点以上、他の国は同レベルの証明。
2. 申し込むクラブについての示唆。最寄のクラブを推薦する。

議案2 : 次年度のポスターの図柄について

ポスターの図柄は今年は函館ハリストス教会のものにする。

なお、今年で金井英明会員の図柄が続いたので、次年度からは奨学生の写真を使い、奨学生に応募するものが身近に感じられるようなデザインにすることが提案された。次年度への検討課題とする。

議案3 : ポスター、募集要項の発送日程および発送先について

1月10日(土) 午後2時 - 5時

発送作業場所 : レストランラグファン

発送作業には委員で都合のつくもの、および本年度奨学生のボランティアをあてる。

議案4 : 2004-05年度奨学生のこれからのオリエンテーションについて

ガバナー及び委員長の都合を合わせて以下の日程が提案され、承認された。

宿泊オリエンテーション

日程 : 2月14日(土) - 15日(日)

場所 : 道新研修センター

学友からの助言によるオリエンテーション
 2、3回 (日程未定)

議案5 : ロシア奨学生の受入について

来日予定の奨学生

アナ・シュミローバ

(Anna L. Shumilova)

州立カムチャツカ教育大学外国語学部卒業
 旅行社勤務

マリア・ペトローバ (Maria N. Petrova)

州立ウラジオストック経済大学国際学部
 部在学中

ホストクラブの依頼

委員長がそれぞれに12月はじめの例会に
 出席して依頼済み

札幌清田ロータリークラブ

12月9日の例会で訪問依頼

新札幌ロータリークラブ

12月10日の例会で訪問依頼

議案6：次年度の委員長、及び委員の交代について
土橋委員長は既に3年を超え、4年目であり、次年度は引退する。委員も辞める。
委員長には瀧川委員に委員会として昨年度より依頼したが、昨年度は勤務先の北大の責任（留学生センター長）の大きさから次年度へということであったが、次年度は引き受けていただけることを承諾していただいた。
また、地区委員は3年間続けるのを通例と

してきたので、本年度で3年を迎える丹羽委員、および松下委員はそれぞれ適任者を推薦するように依頼。

議案7：その他

委員会構成の人数について、どのようになっているかという質問があったが、特に規定はない。現在は7人で構成している。3年前までは6人であった。

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

2月1日から以下が適用されますので宜しくお取り計らいの程お願い申し上げます。

- ・ロータリー・レートが2月1日から1ドル106円に変更されます。
- ・R Iへの送金(人頭分担金・資料代)専用口座、ロータリー財団への送金(寄付金)専用口座があり、各口座の振替は一切できませんので送金時にはご注意ください。専用口座はそれぞれの専用送金明細書に記載されています。財団への寄付は寄付者のID#を記入してください。クラブ寄付は指定のない限り年次寄付となります。
- ・その他の送金にも送金明細書をファックスにてお送りください。送金明細書がないと未処理の扱いとなり送金明細書が到着した時点でのロータリー・レートが適用されます。

〒115-0045 東京都北区赤羽2-51-3
NS3ビル1階
国際ロータリー日本事務局 経理室
Tel:03-3903-3183 Fax:03-3903-3781



札幌東ロータリークラブ

市民公開講演会「育てよう、子供たちの心」

札幌東ロータリークラブは創立45周年記念行事の一環として「育てよう、子供たちの心」というテーマで市民公開講演会を開いた。

本講座は、11月29日(土)に札幌グランドホテルでおこなった。移動例会でもあったので当クラブや、当地区のロータリアンの参加したことはもちろんだが、参加者の過半数は若いお母さん、お父さんと子供だったので、会場は子供の泣き声やお母さんのあやす声もまじって、華やかな(どちらかと言えばにぎやかな?) 雰囲気でも包まれた。

坂東宗一会長のあいさつに始まり、次の二つの特別講演をおこなった。

①題名：「今、なぜブックスタートか」

司会：小樽市ブックスタート協議会会長、札幌医科大学名誉教授 千葉峻三 氏

講師：絵本・児童文学研究センター所長 工藤左千夫 氏

②題名：「健やか子育て」は、ゆったり、楽しく、活発に

司会：たけだ小児科医院院長、札幌市小児科医会名誉会員 武田俊男 氏

講師：北海道小児科医会会長 南部春生 氏

グランドホテルの一番広い部屋で開催し、ベビーシッターまで用意したのに、事前に出欠をとるわけにもいかず、ガラガラになっては困るなあという、クラブ奉仕委員会の面々の心配をよそに、(道新に案内記事も掲載されたこともあってか) 会場は満杯となった。札幌東ロータリークラブ会員71名、地区内クラブ13名、一般参加者(乳幼児以外)約130名。いつもの例会とは違い、若いロータリアンの中には、自分の子供を抱いて参加した方もいて、良きパパぶりに驚かされた一日でもありました。



講師 工藤左千夫 氏



講師 南部春生 氏



坂東宗一 札幌東RC会長

札幌はまなすRC

「また日本で勉強したい」 留学生との絆固める

当クラブが1年間お世話していた交換留学生のシャーニー・モーガン嬢（17歳、オーストラリア出身）は所定の留学生生活を終え、1月7日に札幌を離れ、元気に帰国しました。

本稿は旧臘（ろう）16日夜、クラブの例会場（札幌サンプラザホテル）における、「年末親睦家族会」で、シャーニー嬢をめぐる感動シーンの1コマ…。

シャーニー嬢にとっては送別会ともいえる親睦家族会の席上、大石春雄会長がクラブを代表して高級扇子とつづれ折りの小物入れ、それに札幌の思い出がいっぱい詰まったアルバム（事務局作成）をプレゼントしました。

晴れ着がよく似合うシャーニー嬢は、お礼の演壇

に立ち「ロータリーのみなさん、本当にありがとう。修学旅行のお小遣いを頂き感謝しています。カウンセラーの戸部さんは忙しいのに毎日のように面倒みてくれました。ホストのお父さん、お母さん、とても親切でした。御神輿や大通公園の盆踊りにも参加、市長さんと一緒に写真も撮りました。日本はとても好きです。もう1度日本に来て勉強したいです」などと、すっかり上手になった日本語で挨拶しました。時折、声を詰まらせ、涙声になったり。

何かに付けシャーニー嬢を優しく見守り続けてきた会員、そして家族たちも思わずついホロリ。シャーニー嬢の成長ぶりに拍手をおくっていました。

（文：高井悌吉会員）



晴れ着姿がよく似合う
シャーニー嬢と大石会長



お世話になったホスト・ファミリーの
皆さんと一緒に記念撮影

祝 新入会員のご紹介

美唄RC



鬼原 静一 会員
7月1日入会

美唄RC



山田 進 会員
7月1日入会

岩見沢RC



兼行四男美 会員
1月9日入会

岩見沢RC



山岡 秀一 会員
1月9日入会

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 47】

2004年1月14日発行

1. 寄付金速報 ～2004年を迎えて

12月までの寄付金は、前年同期と比べ7%減、約6千6百万円の減少でした。普通寄付金が1.5%減、特別寄付金が8.8%減です。12月26日付で「2003年下期普通寄付金のお願い」を各ロータリー・クラブ宛にお送りいたしました。普通寄付金は、各クラブで決めた金額を全会員からご寄付いただくもので、当会の安定財源となっています。何卒早めにご納入くださいますよう、今年もご協力をよろしくお願いいたします。

2. 新規採用奨学生の面接試験いよいよ始まる！

1月15日～2月11日にかけて、昨年10月に受け付けた新規採用被推薦者1,563人に対する面接試験が全国34地区で一斉に実施されます。各地区の選考委員会では、一人一人の応募者をじっくり見極めようと、面接方法にも様々な工夫を凝らしています。被推薦者の多いある地区では、面接官のロータリアンをA（研究面）、B（生活環境面）、C（ボランティア等）とグループ分けし、学生がこの3つのグループを順番に回って面接を受けるという新たな試みを予定しています。これによって、各グループ5分、合計15分をかけて学生は多面的に審査されることになります。

このような地区での厳正な選考を経て、649人の新しい米山奨学生が誕生します。

3. 台湾の米山学友会総会報告

～ロータリーとの絆は一層強く、深く
去る12月27日に台北市のシェラトンホテル台北にて、(社) 中華民国扶輪米山会の総会が開かれました。台湾各地から100名を超える元米山奨学生と家族が集まり、米山奨学会からは島津久厚理事長と宮崎幸雄が出席して、和やかな日本留学生

同窓会となりました。

台湾の米山学友会が社団法人となって早3年、今や国内4都市に支部も広がり、ロータリーとの結びつきを深めてますます活動は盛んになっています。支部の一つは新しいロータリー・クラブを結成し、昨年、国際ロータリーから正式に承認されました。数年前には予想もできなかったこのすばらしい発展の蔭に、歴代理事長の徐重仁氏、許邦福氏や、調整役の阮允恭氏を始めとする多くの先輩達の並々なぬ努力があったことは言うまでもありません。

総会のハイライトは2年毎に行われる役員選挙でした。投票によって、陳思乾氏（1973～75年／大阪大学大学院卒／世話クラブ：大阪淀川RC／台北東海RC会員）が新しい理事長に選ばれました。帰国した3人のSY-A^(註) 修了者の入会式も行われ、若い力のあふれた学友会のさらなる発展に大きな夢と希望を与えられました。

(事務局長・宮崎幸雄)

(注)SY-A奨学金：海外学友会と共同で募集・選考を行う上級研究者対象の特別米山奨学金

4. 退会してなお……

12月に元ロータリアンの方から30万円のご寄付を頂戴しました。ご事情により平成11年6月末でロータリー・クラブを退会された後も、米山奨学会のことが気に掛かり、ご心配頂いていたとのこと。今回のご寄付で在籍中の目標であった300万円を達成されました。退会されてからもこのように米山奨学事業を思っただけのことは、米山奨学会にとって大きな喜びです。

あらためて皆様の深いご理解と厚いご支援に感謝いたします。

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

岩見沢 R C	日沼 俊 栄	会員	12月12日
岩見沢 R C	鎌田 誠	会員	12月12日
深川 R C	大西 道 祥	会員	12月19日 (2回目)
深川 R C	杉村 修	会員	12月19日 (4回目)
千歳 R C	佐藤 秀 雄	会員	12月26日 (2回目)
羽幌 R C	福井 俊 一	会員	12月26日
小樽 R C	伊藤 保 彦	会員	12月26日
札幌幌南 R C	北山 誠	会員	12月26日
札幌幌南 R C	中島 勉	会員	12月26日 (2回目)
砂川 R C	沖田 比呂志	会員	12月26日
苫小牧北 R C	伊藤 長 英	会員	12月26日 (8回目)
苫小牧北 R C	田中 稔	会員	12月26日

ポール・ハリス・フェロー

函館亀田 R C	玉井 清 治	会員	12月12日
深川 R C	宮岸 徹 二	会員	12月19日
千歳 R C	佐々木 昭	会員	12月26日
羽幌 R C	伊原 重 孝	会員	12月26日
羽幌 R C	逢坂 健 児	会員	12月26日
函館五稜郭 R C	石田 宏 二	会員	12月26日
岩見沢 R C	倉増 昭 一	会員	12月26日
小樽 R C	伊藤 紘 一	会員	12月26日
小樽 R C	赤尾 正 彦	会員	12月26日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

羽幌 R C	實藤 吉 信	会員	12月25日	第2回
芦別 R C	土山 久 男	会員	12月1日	第3回
砂川 R C	武田 昭 二	会員	12月25日	第2回
	山田 信 一	会員	12月25日	第1回
滝川 R C	中垣 陽 一	会員	12月22日	第7回
	中島 健	会員	12月22日	第4回
	菅原 剛太郎	会員	12月22日	第7回
	吉田 正 治	会員	12月22日	第10回 (メジャードナー)
岩見沢 R C	青木 司	会員	12月11日	第3回
	藤波 仁 史	会員	12月24日	第3回
	納谷 輝 雄	会員	12月11日	第1回
	谷口 弘	会員	12月11日	第1回
岩見沢東 R C	南原 幹 生	会員	12月4日	第1回
栗沢 R C	林 義 明	会員	12月11日	第2回
	金山 英 昭	会員	12月11日	第1回

札幌手稲 R C	山本雅章	会員	12月2日	第1回
余市 R C	谷川淑郎	会員	12月3日	第5回
静内 R C	嵐忠一	会員	12月12日	第3回
	中島滋	会員	12月12日	第3回
浦河 R C	三枝實	会員	12月4日	第1回
室蘭東 R C	石田実	会員	12月11日	第3回
	芝垣美男	会員	12月11日	第1回
	鈴木久雄	会員	12月11日	第4回
登別 R C	中村雅	会員	12月30日	第2回
	高岸満則	会員	12月30日	第1回
函館亀田 R C	寺田真三	会員	12月24日	第2回
函館五稜郭 R C	阿彦治	会員	12月19日	第1回
	石田宏二	会員	12月19日	第1回
	石畑克己	会員	12月19日	第1回
	石尾清広	会員	12月19日	第1回
	上出眞也	会員	12月19日	第1回
	河村隆平	会員	12月19日	第2回
	川内淳司	会員	12月19日	第1回
	後平幸太郎	会員	12月19日	第1回
	小坂三男	会員	12月19日	第1回
	国兼信一	会員	12月19日	第1回
	最上淳	会員	12月19日	第1回
	中澤秀雄	会員	12月19日	第1回
	清藤堯士	会員	12月19日	第1回
	菅原徹	会員	12月19日	第1回
	渡部一博	会員	12月19日	第1回
	藪下明	会員	12月19日	第1回
苫小牧東 R C	小林忠男	会員	12月26日	第3回
	綱木保利	会員	12月26日	第2回
苫小牧北 R C	荒井捷一	会員	12月22日	第2回
	藤澤澄江	会員	12月22日	第1回
	伊藤長英	会員	12月22日	第15回 (メジャードナー)
	石田貢	会員	12月22日	第1回
	佐藤司	会員	12月22日	第1回
	田中稔	会員	12月22日	第3回
	山本秀子	会員	12月22日	第2回

米山功労クラブ

砂川 R C	12月25日	第1回
滝川 R C	12月22日	第1回
岩見沢東 R C	12月4日	第1回
苫小牧北 R C	12月22日	第1回

文庫通信(196号)

職業奉仕・米山梅吉に関して

- ◎ 「ロータリアンのお題目」 塚本義隆 大阪RC 1979 29p
- ◎ 「フォアウエイ・テストの日本語訳は正しいか」 塚本義隆 D.366 1974 20p
- ◎ 「むつかしくはないヴォケーショナル・サービス」 塚本義隆 大阪RC 1976 30p
- ◎ 「ロータリと父 米山梅吉」 米山桂三 東京南RC 1972 8p
- ◎ 「ポールハリスと父米山梅吉」 米山桂三 東京世田谷RC 1977 6p
- ◎ 「米山梅吉伝」 長井盛至 米山記念館 1975 6p
- ◎ 「米山梅吉と日本のロータリー (抄)」 長井盛至 米山梅吉記念館 1983 31p
[上記申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎ 「米山梅吉翁と信託のすゝめ」 坂本豊美・永田俊一 (対談)
米山梅吉記念館 2003 49p

[申込先：米山梅吉記念館 TEL(055)986-2946]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7F
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

*** 掲示板 ***

・例会変更のお知らせ

- 室蘭東RC 2月8日(日) 第9グループと白老RC(家族同伴)会員交流会
16:00~ 場所：蓬峯殿
- 余市RC 2月11日(水) 休会
- 白老RC 2月11日(水) 休会
- 白老RC 2月8日(日) 移動例会「第9グループとの交流会」
16:00~ 場所：蓬峯殿(2月10日(火)を変更)
- 岩見沢RC 2月13日(金) 「国際交流の夕べ」
18:00~ 場所：ホテル・サンプラザ
- 小樽南RC 2月20日(金) 「ロータリークラブ創立記念小樽3クラブ合同例会」
点鐘17:15 場所：小樽グランドホテル

・メールアドレスの変更について

深川RCの大西祥太幹事のメールアドレスが*****に変更になりましたので、地区役員名簿のご訂正をお願い致します。

・幹事変更について

江差RCの木村茂雄幹事がお病気のため12月末日で退会し、副幹事の隅田秀男会員が引き継ぎましたので地区役員名簿の変更をお願い致します。

隅田秀男会員：(有)北海道新聞隅田販売所 代表取締役
 〒043-0052 檜山郡江差町字茂尻町310
 電話01395-2-5136 FAX01395-2-5376
 自宅：〒043-0052 檜山郡江差町字茂尻町310
 電話01395-2-5136

12月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.12.31	増減	内女性	
1	深川	3	43	41	-2	2	80.83
	羽幌	3	47	47	0	1	80.74
	妹背牛	4	10	10	0	0	92.50
	小平	4	16	16	0	0	76.60
	留萌	4	64	64	0	0	94.55
	小計		180	178	-2	3	85.04
2	赤平	3	35	35	0	1	83.22
	芦別	4	58	57	-1	0	86.80
	砂川	4	55	56	1	0	96.16
	滝川	3	109	110	1	2	77.00
小計		257	258	1	3	85.80	
3	美幌	4	47	45	-2	0	90.47
	江別	3	46	46	0	1	91.30
	江別西	3	40	40	0	3	94.16
	岩見沢	3	100	97	-3	0	90.62
	岩見沢東	3	34	36	2	3	89.90
	栗沢	4	33	33	0	2	88.93
	栗山	3	32	32	0	2	95.24
	当別	3	42	39	-3	0	85.37
	小計		374	368	-6	11	90.75
4	札幌	4	113	127	14	0	97.75
	札幌あけぼの	3	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	29	-1	5	88.09
	札幌北	4	54	55	1	5	89.42
	札幌モーニング	4	60	60	0	0	70.56
	札幌西	4	74	80	6	2	90.18
	札幌西北	3	50	50	0	2	95.80
	札幌手稲	3	44	43	-1	1	95.45
	小計		443	461	18	16	90.91
5	札幌東	4	118	125	7	0	99.15
	札幌清田	3	29	28	-1	5	100.00
	札幌幌南	3	81	75	-6	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	47	1	2	97.06
	札幌南	4	90	94	4	0	97.02
	札幌大通公園	4	19	20	1	5	73.68
	札幌セントラル	2	19	19	0	5	85.70
	新札幌	4	36	36	0	1	91.18
	小計		438	444	6	18	92.97
6	岩内	3	35	36	1	0	82.22
	倶知安	4	57	57	0	4	86.34
	小樽	3	88	89	1	0	58.90
	小樽南	3	86	85	-1	0	88.14
	小樽銭函	4	22	22	0	3	80.68
	蘭越	4	15	15	0	0	78.33
	余市	3	46	46	0	4	85.03
	小計		349	350	1	11	79.95

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,335人(96人)
増加会員数	31人
当月平均出席率	85.41%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	03.12.31	増減	内女性	
7	千歳	4	72	70	-2	2	88.80
	千歳セントラル	3	31	30	-1	0	81.50
	恵庭	4	50	50	0	0	82.45
	北広島	3	15	18	3	2	88.23
	長沼	4	17	19	2	4	89.20
	由仁	3	16	15	-1	0	93.75
小計		201	202	1	8	87.32	
8	えりも	4	23	25	2	0	81.00
	三石	4	18	18	0	1	84.70
	様似	3	20	20	0	2	67.50
	静内	3	68	69	1	0	79.10
	浦河	3	42	42	0	1	99.21
	小計		171	174	3	4	82.30
9	伊達	3	55	58	3	0	80.12
	室蘭	3	56	59	3	0	83.04
	室蘭東	4	48	47	-1	0	93.15
	室蘭北	3	39	39	0	2	87.18
	登別	4	39	41	2	2	85.00
	洞爺湖	4	12	12	0	0	83.30
	小計		249	256	7	4	85.30
10	函館	4	101	103	2	0	76.71
	函館亀田	4	47	47	0	1	71.88
	森	4	48	48	0	0	76.00
	七飯	3	29	30	1	0	72.00
	長万部	4	12	13	1	0	76.30
小計		237	241	4	1	74.58	
11	江差	3	21	19	-2	0	80.00
	函館五稜郭	4	64	70	6	0	92.25
	函館東	4	60	58	-2	6	79.09
	函館北	4	43	39	-4	0	86.80
	上磯	4	33	34	1	3	63.20
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	229	-1	10	78.00	
12	白老	3	32	31	-1	2	82.00
	苫小牧	3	61	62	1	0	76.59
	苫小牧東	4	33	33	0	3	80.64
	苫小牧北	3	49	48	-1	2	96.80
	小計		175	174	-1	7	84.01
合計		3,304	3,335	31	96	85.41	

地区カレンダー（2月・3月）

2 月 世界理解月間	
1(日)	米山奨学生選考試験
2(月)	札幌真駒内RC創立30周年記念式典
3(火)	
4(水)	
5(木)	第4回ガバナー諮問委員会・遠藤ガバナー・エレクト壮行会（千歳全日空ホテル）
6(金)	
7(土)	サッポロインターナショナルナイト（青少年交換）
8(日)	サッポロ国際スキーマラソン 第9グループ会員交流会（室蘭市）
9(月)	
10(火)	
11(水)	建国記念の日
12(木)	
13(金)	
14(土)	財団奨学生オリエンテーション
15(日)	財団奨学生オリエンテーション
16(月)	
17(火)	
18(水)	地区GSEチーム派遣壮行会
19(木)	
20(金)	第6グループ合同研修会
21(土)	2004年3月終了米山奨学生歓送会 ローターアクト全国研修会（帯広市）
22(日)	ローターアクト全国研修会（帯広市）
23(月)	地区GSEチーム出発（～3/24）
24(火)	
25(水)	
26(木)	札幌東RC創立45周年記念式典
27(金)	
28(土)	2004年国際大会第3回ROTEX準備会議（茨木市）
29(日)	地区チーム研修セミナー（室蘭プリンスホテル）

3 月	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	R財団セミナー・米山セミナー （登別グランドホテル）
14(日)	会長エレクト研修セミナー（登別グランドホテル）
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	春分の日 森RC創立40周年記念式典
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	地区GSEチーム帰国
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

3

MONTHLY LETTER No.9

2004. 3. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
第1次事前登録締切り終わる	3
家庭奉仕委員会報告	4
ロータリーの百年史	5
ガバナー・女性会員座談会開催	6
世界理解月間に寄せて/家庭奉仕を考える	10
地区青少年交換委員会報告	11
佐藤ガバナー スリランカへ飛ぶ	15
第24回札幌スキーマラソン参加	17
クラブ報告 (江別西RC)/新入会員のご紹介	18
マルチプル・ボール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	19
ハイライトよねやま48	20
文庫通信	21
『友』インターネット速報/掲示板	22
1月会員数・出席率	23
地区カレンダー	24

ガバナーメッセージ



地区目標を推進しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

3月と5月は、RIは特に何々月間の指定はしていない。今月は3月13日を含む1週間を世界ローターアクト週間として推進するよう要請している。ローターアクトについては月信9月号青少年を支援しよう！で報告しているので省略する。そこで今月は地区の現況を報告する事とした。私は年度始めに地区の目標として地区と各クラブ等のネットワークの充実と財団特にポリオの寄付をお願いしてきた。IT関係ネットワーク化では90%の達成率であるから、ほぼ達成したものと思っている。一方財団の目標は年次寄付を25万ドル、ポリオ・プラスを17万ドルとした。R財団寄付一覧報告2003年12月31日現在によると当地区は年次寄付約10万7千ドル、ポリオ・プラス1万2千ドルという報告が来ている。いずれも目標を達成していない。特にポリオが厳しい状況にある。日本経済は長引く不況により低迷している。特に北海道経済は厳しく長いトンネルの出口の薄明かりさえも見えてこない。そんな中であって財団の寄付を推進しようというのは、心苦しく思っているが国際ロータリーは来年の2005年度までにポリオを世界から追放しようとして懸命に努力している。ポリオは世界の6カ国に絞られてきた。当地区3千3百余名の会員の協力によって、これらの国の子供たちをポリオ禍から救える。2月8日(日)宮武第9グループガバナー補佐招集によるグループ会員家族交流会が盛大に室蘭市で開催、各クラブ提供による景品のオークションが行な

われ25万円余の売上があった。その全部をポリオに寄付してくれるとのこと大変うれしく感激して帰ってきた。又、年次寄付については識字率の向上、保健、飢餓の追放及び人間性尊重、後進国への人道的支援そして教育的なものとしては国際親善奨学生、世界平和奨学生、研究グループ交換(GSE)等世界平和の推進のために使われているし、今年度から地区財団活動資金(DDF)の20%を上限とする地区補助金が地域社会に密着した事業に使用される事を条件に地区の裁量で使用できる事となった。現在まで9クラブがこの資金を使用し素晴らしい事業を展開している。これも全て年次寄付の額によって補助金の限度額が決定されるため寄付が多ければ多いほどそれに比例して補助金も多く還元される仕組みになっている。従って会長、幹事、財団委員長は財団の寄付の拠出のみを強調するのではなく、会員から集められた寄付がどのように人道的或いは教育的プログラムに使われているのか、それによって後進国の人々が恩恵を受けどんなに感謝しているかを訴えて頂きたい。日本から多くの学生が国際親善奨学生として外国に留学している。これも財団の活動資金によって賄われている。このように会員が拠出した資金がどの位財団に集まり、それがどのように貧しい国々に配分され使用されているかを説明する事によって納得し協力してくれるものと思う。そこで今月は未だ達成されていない地区目標を強力に推進しようではありませんか！

ガバナー日記(7)

11月1日(土) 岩見沢RAC創立35周年記念式典がホテルサンプラザで開催され、多くのアクターの皆さん並びに岩見沢RC会員が参加して厳粛に執り行われた。岩見沢RC会長倉増氏の挨拶によると、当RACは35年前当時の会長がRACの設立申請を国際ロータリー日本事務局に申請したが、同じころ関東からも申請が上がり書類が前後したため2番手となった。非常に残念である旨の挨拶があった。全国でも1、2を争う古いクラブで活発に活動していた。後輩を指導し継続してRACを拡大して欲しいものだ。

11月8日(土)、9日(日) 第2620地区の地区大会に妻とともに参加した。多くの会員が参加され、2日目の記念講演は東京RCの会員でもありミズノ株式会社の社長でもある水野正人氏が「スポーツが地球を救う—21世紀のスポーツの役割—」について話された。ユーモアを交え飽きさせない話術はたいしたものだ。佐藤進ガバナーが公式訪問途中でつまずいて足のくるぶしを痛め車椅子で指揮をとり熱情溢れるロータリーの心情を訴えたのは感心した。心から早い回復をお祈りする。

11月14日(金) 十勝沖地震見舞金を各クラブにお願いしていたところ金2,075,260円が集まったので地区社会奉仕委員会の対木委員長とともに日本赤十字社北海道支部にお届けした。

11月15日(土) 米山記念奨学会委員会がセンチュリーロイヤルホテルで開催、伊藤PGから米山の現況報告があり、次いで竹原委員長から米山の寄付集めをどのようにすべきかを話し合われた。

11月18日(火) 千歳セントラルRC創立13周年が開催され、当時の親クラブ会長兼ガバナーとして参加した。

11月20日(木) ロータリーの友委員会佐藤公委員長が「友」誌に掲載する地区座談会に戸部アナマリア氏、沼館葉氏の4人で

女性会員の入会奨励について大いに語り合った。

11月23日(日) 北海道アクト交流会が札幌コンベンションセンターで開催、「であicoro-アクトは異なるもの味なもの」のテーマのもと全道からアクト会員が集合したが全道の割には参加会員数が少なく寂しい気がした。

11月26日(水) 東京においてガバナー座談会が開催され前川PGが司会役となり青少年の教育問題が話の中心になった。当地区では子ども奉仕委員会が中心になって米山委員長が真剣に取り組んでいる事を報告した。

11月27日(木)～30日(日)はロータリー研究会が新高輪プリンスホテルで開催され、当地区からは全部のPG、GE、GNが参加した。

12月6日(土) ガバナー補佐会議を千歳全日空ホテルで開催、前期の報告と後期の取り組みについて話し合った。

12月10日(水) 新世代委員会、伊藤カウンセラーも参加され各小委員会委員長から前期の経過報告並びに後期の予定について話し合われた。奥貫委員長は3年経過のため次期は委員長交代の予定。

12月14日(日) 青少年交換委員会、委員会の報告とともに委員が3名ほど辞任したため補充するかどうかについて話し合いを持ったが、現状体制で続行することとなった。

12月17日(水) 静内RC夜間例会に招待されたため高慶代表幹事補佐と訪問、そこには岩城PGも参加され和気藹々の楽しい例会であった。赤いジャケットの制服を着たロータリーメンバーの合唱団があり素晴らしい歌声を聞かせていただいた。細川ガバナー補佐有難う御座いました。これには書かなかったけれど地区幹事会、月信の編集校正、クラブからの問い合わせ、RIの対応と嬉しい限りの半年間でした。

「第1次事前登録締切り終わる」

RI2004年国際大会(関西)事務局

2003年12月15日をもちまして、第1次事前登録を締切らせて頂きました。

皆さまのお陰で、当初の目標である国内登録者3万人という数字を達成できました。本当にありがとうございます。登録者数の簡単な内訳をご報告いたします。

ロータリアン	27,284名
配偶者	4,445名
配偶者(ロータリアン)	93名
その他	323名
総計	32,145名

このデータは、全国ガバナー事務所、各クラブ登録者数の集計をお願いし、国際大会(関西)事務局でまとめたものです。

また、「第2次事前登録」の締切りが3月15日と近づいています。第1次締切りに間に合わなかった方は、是非、登録をお願いいたします。

* 3月15日までの登録料は、以下の通りです。

・ロータリアンと配偶者 (2名分)	・ロータリアン ・19歳以上のゲスト	・ローターアクト ・財団学友 ・奨学生	・18歳以下のゲスト ・YE(青少年交換学生) ・インターアクト
US\$450.-	US\$325.-	US\$80.-	US\$30.-

* 「第2次事前登録」が終わりますと、当日登録のみとなります。

お知らせ

実行委員会の翻訳・通訳部会では、RI2004年国際大会(関西)のお手伝いをして下さる“ホスピタリティ”あふれた語学ボランティアを募集しています。

応募時に満18歳以上(高校生不可)で、期間中3日以上参加できる方。そして、参加者と外国語でコミュニケーションが取れる方を募っています。(応募期間は3月26日まで)

活動内容は、運営のための語学サポート業務となっています。

その他、詳細につきましてはRI2004年国際大会(関西)HPの「ご案内」をご覧ください。

<http://www.2004kansai.jp/annai.htm>

ご家族・知人・友人のご紹介をお待ちしています。



第2回家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

当委員会は、昨年をはじめ当地区に出来た委員会であり、地区内各ロータリークラブには、十分活動内容が浸透していません。昨年は、もっぱら、地区が先導して勉強会や、フォーラム、ワークショップなどを開催し、更にビデオにその成果をまとめるなどして啓蒙に努めたのですが、本年は各クラブの活動としても自主的に取り組んで下さる様をお願いすることを中心に活動に取り組んでいます。

しかし、現状では取り組みが十分とは言えず、当委員会の存在意義すら問われる状態です。

そこで本日の委員会において、委員全員出席の下、各クラブに、家庭奉仕活動が、全ての奉仕活動の基本であり、全ロータリアンにとって、緊急の課題であることをご理解戴いた上で、如何に取り組んで頂くかにつき、討論いたしました。

出席委員は、大場公孝（上磯RC）、長谷川美栄子（札幌大通公園RC）、水野正純（新札幌RC）、松本純枝（深川RC）、高下泰三（札幌西RC）、和田壬三（札幌南RC）

記

1. 各クラブに、以下のような家庭奉仕活動の具体的なメニューを提案することにしました。

- ①例会で、予め、各人のしている家庭奉仕について発表してもらうことを告知して、当日出席者全員に、発表していただく。
- ②テーブルごとに同じことをして、最後に各テーブルのリーダーが、全員の前でその内容について発表する。
- ③会長若しくは、社会奉仕委員長が、例会毎に、

例えば“1週間の間に行った家庭奉仕について”、といったタイトルで1分間スピーチをする。

- ④上記に代えて、全会員に、交代で、同様の内容で、1分間スピーチをしてもらう。
 - ⑤上記に代えて、当初は、全会員に、同様の内容で1分間スピーチ用原稿を書いてもらい、会長が例会で読み上げる。
 - ⑥家族を交えたプログラムをたくさん用意する。
 - ⑦社会奉仕事業は必ず家族にも参加を呼びかける。
 - ⑧物故会員又は、退会会員については、親しい会員を見つけて、その会員を通じて親睦活動に参加するよう働きかけると共にその会員と同席できるように工夫する。
2. 上記に加えて、札幌市の北九条小学校が行った“家庭って何だ”というシンポジウムの小冊子及び小林バスターガバナーが作成した“ロータリーは家庭から”の小冊子又は、ステッカーの余部についてご提供いただき、各クラブの会長、幹事、社会奉仕委員長宛に、無償配布し、このような企画も出来ることを訴える。
3. 上記の内容のプログラム又は、事業について別紙のようなアンケートを同時に実施する。
 4. 児童虐待について30年以上にわたり、活動していただいている北星大学教授の相場幸子先生を講師として“カウンセリング活動を通じて、家庭の問題について考える”というテーマで、勉強会を3月下旬から4月の間に、広く地区内の各クラブに参加を呼びかけて実施する。

家庭奉仕勉強会のご案内

家庭奉仕の方法について学んでみませんか。家庭奉仕は、自然にできるものではないことが、当委員会の活動を通じて次第に分かってまいりました。

30年以上にわたって、児童虐待防止活動に取り組んできて、家庭の教育が、大切であることを知り、自ら、カウンセリング活動に取り組んで、家庭のあり方について指導している方がいます。

北星大学の社会福祉学部の教授で、家庭裁判所の調査官の経験もある相場幸子先生から、家庭奉仕の仕方について学んでみませんか。社会奉仕委員長さんには、活動の参考にもなるとお思いますのでぜひご参加下さい。

記

1. 日 時：3月20日（土・祝） 17時00分
2. 場 所：札幌毎日会館4階会議室（札幌市中央区北4条西6丁目毎日札幌会館4階）
3. 講 師：相場幸子北星大学教授
4. 演 題：“虐待児童を救う活動を通じて学んだ家庭奉仕”
5. 参加の有無は事前に下記連絡先に電話、faxにて住所、氏名をご連絡下さい。会場が最大50名しか入りませんので、会場を変更するかもしれません。
6. 連絡先：和田法律事務所
(TEL011-281-0909、FAX011-271-4336)



ロータリーの百年史

「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」のご案内

皆さまに、ロータリーの百年史、「奉仕の一世紀 国際ロータリー物語」の日本語版発売のご案内をさせていただきますと存じます。

2004年国際協議会で英語版が発刊となりますが、5月の大阪国際大会で、日本語版の発売を開始いたします。大会会場の出版物販売ブースならびに100周年ブースでお求めいただけますが、かなりの需要が見込まれますので、混雑を避けるため、事前にご注文いただくことをお勧めいたします。価格は1冊25ドルで、革装の限定版（1冊100ドル）もご用意しております。なお、2004年3月31日までのご予約分には、無料でCD版を添付いたします。

すばらしい思い出の数々、未発表の写真、知られざる事業が満載されたこの「奉仕の一世紀」には、日本のロータリアンとクラブの数多い実績のいくつかも含まれており、日本の全会員の皆さまに、興味

深くお読みいただけることを確信いたしております。

本のご予約は、注文用紙（ガバナー事務所から各クラブに送付）にご記入の上、RI日本事務局までファックス（03）3903—3781または郵便にて（住所は用紙に記載）ご送付ください。

RI事務総長

エド・フタ（布田）

混乱を避けるために、注文用紙をファックスまたは郵送いずれか1つの方法でご送付ください。注文は、前払いでお願い致します。支払が完了するまで、ご注文は処理されませんのでご了承ください。
<http://www.rotary.org/languages/japanese/centennial/book.html>でオンラインによるご予約も受け付けております。

ガバナー・女性会員座談会開催



第2回ロータリーの友委員会は2003年11月20日(木)札幌市内の丸一ビルディングで開催しました。委員会は第2回ロータリーの友委員合同会議(全国)の報告の後、木下博会員(室蘭)をオブザーバー会員として任命しました。その他、各クラブの雑誌委員会の名称を「ロータリーの友委員会」とするべき以前に決議されていますが、まだ徹底されていないようなのでPRを促進することとしました。また、地区内の委員長会議をどうするか、4月の雑誌月間の活動についても討議しました。

なお、本委員会の前に「友誌」の地区のたよりの企画として、ガバナーと女性会員の対談が行われました。その内容は下記の通りです。

出席者：佐藤ガバナー、佐藤公委員長(札幌北RC)、
斎藤元護委員(札幌南RC)、山名善久委員(札幌南RC)、
坂井治委員(千歳セントラルRC)
オブザーバー：戸部アナマリア会員(札幌はまなすRC)、
沼舘栞会員(札幌清田RC)

ガバナー・女性会員座談会

テーマ「女性会員とロータリー」

出席者：佐藤 秀雄(ガバナー)
戸部アナマリア会員(札幌はまなすRC)
沼舘 栞会員(札幌清田RC)
司 会：佐藤 公(札幌北RC)
日 時：2003年11月20日(木)
場 所：丸一ビルディング(LA GALIERIA) 5階

…まず、初めにガバナーから女性会員についての考え方、ご意見を。

ガバナー 女性会員の入会について私は大賛成です。理由は①女性会員が入ることによってクラブの雰囲気や和やかになること②男性会員には考えられ

地区ロータリーの友委員会

委員長 佐 藤 公(札幌北RC)

ない細心のいろんな問題点を提供してくれるからです。この2点が女性会員が入ることによってクラブ強いてはロータリーが大きく変わっていくのではないかと思います。

…当地区内ではまだ半数近くのクラブに女性会員がいませんが。女性会員入会のネックとなることがありますか。

ガバナー この問題は歴史的な背景があります。過去にアメリカのあるクラブで裁判問題になりまして判決でようやく女性会員の入会が認められた経緯がありました。ロータリークラブが創立された1905年当時は会員を通じた職業奉仕が主体でありました。それがだんだん社会奉仕、国際奉仕に移ってきた段階で、公平性とか公共的なことを考えながら運動を展開していかなければならなくなってきた。ですから、職業人社会の中では女性が必要ないという考えで1905年以降続いてきたわけです。まだ当時は社会に進出してきた女性はそんなに多くはなかったと思います。それが、20世紀中、後半になって女性がどんどん確固たる地位を築いてきたと言う中で女性を認めることになってきたわけですが。拒否をしているクラブは歴史的背景の他に、女性が入ることによって男女間の問題に発展していったら困るという会員もいるようです。また、女性の地位を認めない考えの方もいらっしゃるようです。

…そういう考えはある面で残念なことですね。今回の問題提起をきっかけに女性会員のいないクラブの参考になればと思います。女性会員が一人でも多く入会すれば会員増強の点からもメリットがあるわけですから。戸部さん、入会の動機、きっかけについてお話ししていただけますか。

戸部 私の入会は11年前の1992年です。夫がロータリアンでしたのでロータリイのことは自然に理解と興味を持っていました。夫は入会27、8年になりますが、その頃のクラブは奥様や子どもなど家族ぐるみで一緒にいろいろなことをやっていたから。それが最近のロータリイの活動で奥様が参加するのは4分の1くらいではないですか。ただ、私のはまなすクラブは大体80%くらい家族の方が出てきています。私が入会した父もロータリアンでしたから小さい時からロータリイに接してましたので自然体でしたね。女性会員はガバナーが言われたように1970何年に初めて認められたのですが、妻として、家族としての参加は向こう（海外）では盛んでした。これは半分冗談ですが、一節によるとロータリイが生まれたのは女性から逃れたかったからとか。だから、今でも英国やアメリカに女性を入れないクラブが未だにあるではないですか。女性がかかあ天下で強いところは女性を入れるなどという雰囲気ではないですかね（笑）。

…沼館さんはいかがですか。

沼館 私の入会の動機は、山名さん（札幌幌南クラブ・友委員）とある会合で隣同士だったのですが、その時に入会の勧誘を受けました。その時はお恥ずかしいのですが、ロータリイクラブは女性を入れないと思っていましたから、逆にエッ、女性も入れるのですかと質問したほどでした。たまたま前から、女性の奉仕団体からの入会をお断りしてもう断ることが出来ない状態の時でしたので、入会のお勧めを受けてロータリイはどういう事をするかということを考えもせずロータリイに入会してしまいました。だから、もう1週間山名さんにお会いすることが遅かったら今はロータリアンではなかったわけです（笑）。

…次に、入会以前のロータリイの印象、感想についてはどうですか。

戸部 私の場合は入会前と言うよりも何年前と今という感じになります。夫が入っていたときの雰囲気と今とずいぶん違うなと思います。一般的に、あの頃の方がみんな仲良く、ロータリイは楽しい

なという雰囲気でした。

沼館 子どもの頃からロータリイクラブに入れる人というのは地位や名誉もあり、いろんな分野に活躍されている特別な人という印象がありました。

…沼館さんのクラブには今女性会員は何名。

沼館 会員29名中女性は5名です。設立当時は会員が45名いて女性会員も10名いました。一番多いときは11名だったのですけれど。とにかくクラブが始まったときは、とにかく入りなさいと言う事が多かったと思います。ところがいざ入ってみると毎週毎週昼時は大変だということで男女を問わず数が減ってきたと思います。

戸部 うちのクラブは面白いことに設立時会員30名で今も30名です。もちろん、その間出たり入ったりの状態です。女性も5人で今も5人です。数は変わっていないんです。

…ガバナー、今までお二人の発言を聞いて何かご感想を。

ガバナー 会員増強するときにロータリイとは何かというオリエンテーションが十分なされていればある程度退会防止につながったのかなと思います。今は、世界経済、日本経済が不景気になってますから、そういう場面で退会されたのではないかと。ただ、今年度のジョナサン B マジニアベリ会長が家族会員を巻き込んだロータリイ活動をしていただきたいと盛んに言われています。地区やクラブにおいても家族委員会を作っていただきたいという申し入れがあります。当地区においても33位の委員会があるものですからこれ以上は大変だと、それで実は、家庭奉仕委員会の中に家族委員会も設置しているわけです。それで、私の公式訪問でも家族例会をぜひ多く取り入れていただきたいと思います。何回か家族例会を開くことによって奥様同士の友情が芽生えるでしょうあるいは60代、70代の会員がたくさんいらっしゃるわけですからまず、ご自分の長男を奥様の方から勧誘していただきたいと思いますね。これは会員増強の一策ですが。

…次にクラブ例会についてですが、メーキャップなどを通じて女性会員のいるクラブといないクラブについて女性会員からみてどう感じますか。

戸部 私はチャーターメンバーなので入ったとき、これ、日本的な考えかと思いますが、席に女性は女性ばかり集められたのでこれは良くない。各テーブルに女性1名入れてくださいと。必ずしも女性同士にしない方が良いと思います。その代わり、女性は男性とは絶対に同じ役割ではないというのが私の考えなので、女性には女性の良いところがあります。とりあえず、ビジターとかゲストとか新しい会員には女性の方から声をかけて挨拶すると会話すると雰囲気としてすごく良いと思います。

…戸部さんは特別、国際的なセンスをお持ちで男性、女性の見方が違うようですが。

戸部 ロータリアンですと男女に関係なく職業なので女性だからといって特別な扱い方されたくないんです。だからといって男性と同じくされたくない。あくまで人間として自然体でありたいと思います。夫の札幌西クラブはマカティのロータリーとフレンドシップの関係ですが、ロータリアンの女性（会社経営者ばかり）はものすごく活躍されています。日本と違ってクラブから一銭ももらわないんです。独自の会計をしているんです。自分たちで経営している工場があってお金与えないんです働きなさいと言っているんな活躍する女性です。だから、女性を入れないんです。

沼舘 例会については私たちのクラブは設立時から北海道で女性会員が一番多い（10名）という謳い文句だったのですが、違和感なくきた感じです。設立からまだ6年の新しいクラブですのでクラブの例会での親睦会とかダンス同好会とかそういうことをしていく中で男女関係なく親交を深めていますので、他のクラブからメーキャップに来られる方から和やかですと喜んでいただけます。

…女性同士での問題点は何かありますか。また、女性会員の占めるウエイトについて、本地区全体では約3%ですが。

戸部 女性会員の占めるパーセンテージがポイント

になると思います。女性会員は50%以下が良いと思います。

沼舘 私もそう思います。今の、29名中5名くらいがちょうど良いんですよ。と言うことは2割位でしょうね。

ガバナー 私の感じとしてはまず1割くらい、3,500名の会員でしたら、350名くらいぜひ女性会員に入会して欲しいですね。人数が多くなると男性会員の中でも派閥が出来てくるんですね。女性会員も皆さんが言われるように10名以上になると派閥みたいのが出来てくる。そして男性会員との対抗意識が出来てきますからね。インナーホイールの問題はインナーホイールはインナーホイールで活躍してもらおう一方、女性会員をどんどん入れてもらう、そして男性会員と一緒に奉仕活動をしてもらうことがこれからのあり方として良いと思います。

…海外では女性会員はたくさんいるのですか。

戸部 たくさんいるどころか、私は反対ですが女性だけのロータリーがあるんですね。フィリピンやメキシコにもあります。東京にもあるんですよ。

ガバナー 日本でこの間、25名女性だけでクラブが出来ましたね。

戸部 私はそれならソロプチミストやゾンタに入った方がいいですよ。

…ともかく、今のロータリーは女性会員問題にしても職業分類で1クラブ5名が入会できることなど、ロータリーのあり方や社会の認識が変わってきてきましたね。

戸部 私、まだ確かめていないんですが、ライオンズは主婦業を認めています、ロータリーは認めていないんです。

ガバナー 日本では主婦は職業でないんですね。1業種1人というのが基本精神でしたが1997年の規定審議会で1業種5人迄ということになりましたが、これはロータリーの大原則を覆したと思いましたが、これはロータリーの大原則を覆したと思いましたが、会員を勧誘せんが為に規制緩和とかどんどん緩和していった。ほとんどライオンズと変わらないような内容になってくるのはロータリー

の将来に悲劇なのかなと思います。

…会費についてはどうですか。

戸部 世界一高い会費ですね。私世界各国でメーキャップしてきていますが、日本が高いのは一流のホテルでないと駄目という気持ちがあるのかなと思います。食事代が高いからどうしても会費が高くなる。かといって、毎週例会開催のメンテナンスサービス、駐車場問題を考えると適当な会場を探すのは難しいと言えますが。

ガバナー 私も年会費とかロータリーにかかる経費というのは高いと思います。RIから一クラブまで官僚化されて、一流ホテルでなかったらロータリーの例会ではないと言う風潮が国際ロータリーに蔓延されていますが、もう少しロータリーの原点に戻って、会員の中で無料でやってくれるようなところを順番に回っていくとか、公民館を使うとか考える余地もありますね。会費を安くしてその分ニコニコボックスに回すとか。

戸部 私が会長の時にニコニコと別に、はまなすボックスというものをつくったんです。両方に分けて出してもらおうんです。

沼舘 確かに、会費は高いと思います。でも、クラブ内の無駄を省く、例えばはまなすクラブに習って会報を自分たちでつくる事によって約80万円くらい節約しています。

…ともかく、地区、クラブの予算組み立ての考え方を変えなければと思います。当年度の予算は全部使い切ってしまうのではなく、委員会活動は3年間くらいの期間で予算を立てれば大きな活動が出来ると思います。これは役員の任期にも関係してくるのですが。いわば、ロータリーの制度改革ですね。

ガバナー そういう理解が大切ですね。私の年度からでもやれることからやっていきたいと思います。

…最後に何かありましたらどうぞ。

戸部 毎回ガバナーにお願いしてきたことですが、地区大会の時に女性会員だけの集まりをしてもらえないかなど。なぜならば、そういうお話し、いろいろなアイデアが出てくると思います。

…女性会員だけのフォーラムはどうですか。

ガバナー そうですね。さっそく遠藤ガバナー・エレクトに話をしておきます。会員出席もたくさん来るでしょうし、和やかになりますね。

…ところで、女性会員の存在は会員増強につながると思いますか。

戸部 香港、ロサンゼルスなどではつながると思います。けれども、日本ではどうでしょうか。

沼舘 私は、女性会員がいるから入ってくるという問題ではないと思います。

ガバナー そうですね。私もそうと思いますが、できれば当地区において350名くらいの女性会員が入っていただきたいと思っています。小林直前ガバナーが立派な会員増強の案を出してくれています。やはり、会員増強というのは本当にクラブが一丸となってクラブに30人いれば30人の情報をクラブに提供していただいて、情報を基に討論していく、それはこういう形からアタックしていこうそして、最終的に貴方が適任だから担当してもらおうというようにクラブが熱意をもって増強していかないと、友人、知人を介して増強していこうと言うだけではなかなか難しいですね。

戸部 毎年、JCと1回交流で私達の例会にきてもらっているのですが、悔しいのですが100%みんなライオンズに入会してしまうんです。理由は、と聞くとJCでしたら若いじゃないですか、一生懸命働いている年代だからロータリーはいいけれども、毎週というのは厳しい、それからロータリーのイメージがすごく硬いみたいなんです。決して年会費が向こうが安いからいくのではないということが分かりました。

ガバナー そこは、JCの卒業生でライオンズに行く人達に、ロータリーはこういうところだよ、ロータリーは奉仕と親睦を基本にして自己修練の場ですとよく説明していくことですね。

…それがロータリーという人もいますが、確かにロータリーもいろいろ曲がり角にきているのは事実です。今日は大変お忙しい中、貴重なお話をしていただき有難う御座いました。

世界理解月間に寄せて



地区国際奉仕委員会

委員長 青木 功喜 (札幌東RC)

ロータリークラブ(RC)は世界の205カ国にでき、123万人になった。国別には米国と日本で全体の41%を占めている。世界のロータリアンの90%は全体の加盟国の10%の22カ国にすぎない。しかもこれら22カ国ではロータリアンが減少している。増強増強と念仏のように唱えても日本やアメリカは限界に来ている。入会するだけ退会しては会員は増えない。ロータリーの増強は世界的視野で考えた方がよい。今後は加盟国が各種のRIや財団プログラムの相互活用により、新しいロータリアンを掘り起こす必要がある。増える可能性を秘めた22カ国以外の加盟国のRCに手を貸す必要がある。我が国は増強や拡大を国際的ネットワークのもとに周辺のアジア諸異国に向けて発信すべきである。日本は色々なプログラムをアジアに軸足を変える時である。インドネシアには、9万人のロータリアンがいて世界で3番目である。我が国の出席率はここ20年間で10%減少し、メーキャップも多くなっている。マンネリ化し、ロータリアンの高齢化が目立ちはじめ、若い人の入会が年々減少している。

ロータリーの国際奉仕は最近教育プログラムから人道プログラムにその軸足が動いている。その方向は開発途上国に向いている。しかし我が国では教育

プログラムが圧倒的に多く、しかも自国中心に考えている。明治時代や第2次世界大戦以後の欧米への留学とは時代が変わって来ており対応の変化が必要になっている。ロータリーの交換学生はむしろ極力減らして良い時期に入っている。今では私費や多くの留学生制度の利用が出来る時代になっている。緒方さんが財団奨学生になった時代とは明らかに異なっている。その点からは米山奨学生制度は世界に誇れるプログラムである。今後あまり1国に片寄らず支援すべきである。

ロータリーは好むと好まざるに関わらず国際組織でありその情報は英語に頼っている。しかも日本からRI会長はまだ2人にすぎず、我が国の国際的地位が極めて低い。すなわち国際ロータリーは拡大化し、その運営の効率化が叫ばれその結果官僚化している。ロータリー情報は増加し、その伝達手段も多種になっている。言葉の上ではいまなおハンディを持っている日本はエバンストンの日本語課と東京の日本事務局の不調和は早急に解決すべきである。今後は若い人にチャンスを与え、ロータリーに新風を入れ、国際感覚のリーダーを育てる事が急務となっている。

家庭奉仕を考える

当地区ガバナー月信2004年1月号11頁で小林博D PGは家庭奉仕とロータリー家族を使い分けて行なう考え方は参考になりました。私自身も噛み合っていない感がありました。ロータリーの枠の中のロータリー家族ともっと幅広い家庭奉仕の2本立てという議論は分かりやすいと思いました。ロータリーの友12月号の記事を読んでもこの混乱が強く感じられます。この2つは重複しているので、ロータリーとして会員退会防止に留まらず、一般社会の家庭のあり方に

積極的にロータリアンが発言する場合には、ロータリー本来の職業人づくりの精神が根底にあるべきであると思う。ロータリーの家庭奉仕には何らかの独自の目的をおかないとロータリーが積極的に押し進め結果として、他の家庭奉仕と競合する事になるのは賢明でない。ロータリーは奉仕団体で無く、奉仕する職業人の集まりである。奉仕と言う実践を通して職業人の倫理観を深める事にある。実践の結果を最終目的にするNPOとは異なる。

ロータリアンの国別の会員数が大きく異なり、アメリカは20%、日本は2%にしか女性会員数がならないのはどうしてでしょうか。すなわちロータリー家族においても性別、人種、宗教、生活形態、年齢などにより異なっています。また従来の家庭の価値観がより多様性になり、画一的なものが消えつつあるのが現実です。

職業と家庭の関係の考え方も変化し、家庭を大事にしようと言う背景も画一的ではない。このような状態では家庭奉仕のとらえ方が混乱するのは当然で

ある。この問題は先進国では集団の問題というより個人の問題である。男と女では考え方に共通点は確かに増えているが基本的には異なる。家庭奉仕は社会奉仕の中にありますが、新世代の立場からも考えられます。RI会長は色々な哲学を持つ事は自由であり、問題点として考える事自体は良いが、それに応じてロータリーの組織を強制的に変える事がよいのかは議論した方がよい。ロータリーは上意下達の傾向が強すぎる。すくなくとも下意上達の道を閉ざすのであれば、家庭奉仕以前の問題となる。

地区青少年交換委員会報告 オーストラリア新受入れ学生来日と歓迎会

1月13日(火)、14日(水)オーストラリアからの新受入れ学生4名が長旅の疲れもまったく見せずフレッシュな笑顔で新千歳空港に到着した。受入れクラブ、

ホストファミリー、地元の高校関係者、教育委員会、そして、青少年交換委員等が、手作りの「WELCOME」の旗もよろしく、盛大に出迎えた。



Evan



Hugh



Alisa



Genma

(敬称略)

氏名	ホストRC	クラブ カウンセラー	新世代(国際奉 仕)委員長	地区カウンセラー
エヴァン・トーマス	由仁RC	大坂直人	大坂直人	荒木麻美子(余市RC)
ヒュー・ジェイムス	手稲RC	高崎英仁	高崎英仁	荒木麻美子(余市RC)
アリサ・ジェイン	札幌北RC	深浦信吾	高橋麗秋	馬場信吾(北広島RC)
ジェンマ・パチェット	新札幌RC	五十嵐勤	梅田鉄夫	上出利光(札幌西RC)

アリサは、来日前よりホストファミリーであり、次期派遣候補生の大塚紗知さんとメール交換をしていたのですぐに打ち解け、真夏のオーストラリアからジャケット1枚でやってきたが、高橋麗秋国際奉仕委員長(札幌北RC)らの暖かい出迎えに終始笑顔で安心した様子であった。

エヴァンも、由仁の大坂新世代委員長はじめ、次

期派遣候補生の森長翔兵君、JET(Japan Exchange Teacher)のオーストラリア人の先生も来て下さり和気藹々とした雰囲気の中、由仁へと向かった。ヒューもジェンマも同様に、元気に到着した。そんな生活にも少しずつ慣れた1月31日(土)、札幌コンベンションセンターにて受入オリエンテーションと「歓迎会」が開催された。



佐藤ガバナーより、歓迎のお言葉を頂き、1年間「日本を学び、オーストラリアを広める」国際親善大使としての役割をしっかりと果たすことを誓い、固く手を握り合った。歓迎会には、在札幌オーストラ

リア領事、才色兼備の素敵なジョアンナ・ナーシーブレイさんも参加して下さり、オーストラリアから来た子供たちと片時もはなれず、5人で何か芸を披露しようと楽しそうに相談をしていた。



8月受入れのステイブン・ガートウルフ（函館東RC）、リンダ・ゴメス（上磯RC）、キャシー・ブゴブスキー（函館五稜郭RC）、ケイ・グリーン（札幌東RC）はサルサを踊って歓迎の気持ちを精一杯表現し、日本での留学生生活を満喫している様子だった。また、ローテックスの蓬畑さん、大窪君、遠島さん等も留学で得たものを語ってくれたので、次期派遣生7名（4名欠席）もじっと耳を傾けていた。若者たちの笑顔がはじけた1日であった。次期派遣の野

村菜由さん（フィンランド、聖心女子大）は、同じ大学の友人2人と参加、そのうち一人は、先日来札した伊藤克己氏のアメリカ5100地区へ青森地区から留学をしたローテックスであった。ケイ・グリーン（アメリカ5100地区、聖心女子学院高）と、早速、メールを交換し友達の話を広げていた。一緒にいらしたご両親も（特にロータリアンのお父様）とてもうれしそうにしてらっしゃった。



中央が、野村菜由さん（派遣候補生）、お父様の野村昌人氏（江別RC）



高橋麗秋委員長（札幌北RC）と紗知さんとアリサ「よろしくお願ひします」



千歳に着いたエバンと由仁の大坂氏等



アリサを囲んで、ハイチーズ!!!

手作りの横断幕?が素晴らしい!



佐藤ガバナーからバッジを頂くリーダーシップ
一杯の15歳のヒュー君!



今日も元気に参加してくれたローテックス
(遠島、大窪、蓬畑3人衆)!!!

【歓迎会に出席した次期派遣の高校生達の輝かしい笑顔をご紹介します】 (8月出発)



野村 菜由 さん
(フィンランド)
(江別RC)



進藤紗也加 さん
(オーストラリア)
(手稲RC)



大塚 紗知 さん
(オーストラリア)
(札幌北RC)



杉下 樹里 さん
(オーストラリア)
(札幌モーニングRC)



杉本 光 さん
(オーストラリア)
(新札幌RC)



大場奈桜子 さん
(カナダ)
(上磯RC)



森長 翔兵 くん
(オーストラリア)
(由仁RC)

【これから、1年間どうぞよろしくお祈いします】

♡アリサと札幌北RC、教師、ホストファミリーの皆様



♣エバンと由仁RC、オーストラリア領事、ホストファミリーの皆様



◇ヒューと手稲RC、教師、ホストファミリーの皆様



♡ジェンマと新札幌RC、教師、ホストファミリーの皆様



佐藤ガバナー、奥貫新世代委員長、オーストラリア領事、上出委員と一緒に



最後に、奥貫地区新世代委員長が「私達大人は、留学生に友達作りの機会をできるだけ多くを与え、手助けをすることが役目です。1年間、ロータリー関係者、ホストファミリー、学校関係者、日本語の

先生、そして友達、多くの方々にお世話になることと思います。ロータリーの交換留学制度の良いところを十二分に発揮できるようにご協力をお願いいたします。」と、しめくくった。昨年度の帰国した留学生を見ると、さまざまな行事に参加し、積極的に話しかけ友達を多く作った子ほど早く日本にも日本語にもなじみ、ロータリー交換留学生として親善大使の役割を立派に果たし、満足した笑顔で日本を後にした。1年間、各地のロータリアンの皆様にもお世話になると思います。本当にど

うぞよろしくお祈いいたします。

【写真：菊池 恒 地区青少年交換委員、
文：荒木麻美子 青少年交換委員】

佐藤ガバナー スリランカへ飛ぶ



米 山 道 男 (札幌北RC)

去る1月23日(金)から29日(木)まで、佐藤秀雄ガバナー(G)一行はスリランカを訪問した。メンバーは佐藤秀雄Gと宏子夫人、小林博パストガバナー(PG)、坂井治地区幹事、蘭越RCの志比川武さん、札幌北RCの伊藤知佳子さん、竹原巖さん、長太義雄さん、専門家として参加をお願いした株式会社ムトウの清水君人さん、私の10人。

今年度当初、佐藤Gは、スリランカ(1国1地区)のガミニGの要請に応じて、中古自転車を同国へ送ることを決めていた。既に中古自転車に加えてオルガンとピアノが同国の港まで着いていることが分かっていたので、その後の現地の状況を視察し、同時に同国ロータリアンとの友好を深めるために、同国訪問を思い立ったのである。

折りしも、小林PGは、中古内視鏡装置をムトウから譲り受け、札幌北RCに寄贈した上で、札幌北RCから同国コロomboRCへ寄贈する準備を進めていた。

このような事情からガバナー月信誌上でのガバナーの呼びかけに応じて集まったのが上記の面々である。

24日(土)午後1時20分成田を発ち、10時間後(時差は3時間)にバンダーラナーヤカ国際空港着。内視鏡装置の通関に手間取ったが、小林PGお得意の粘り腰で乗り切ることができた。空港には小林PG懇意の、半田祐二郎博士(JICA専門家)とダヤシリさん(寄贈品受入れ窓口役のコロンボRC会員)が迎えに来てくれていて、海沿いのコロombo市のコロombo・プラザ・ホテルへ。

25日(日)の午前中は、既に約1,000台に達してい

る我が地区寄贈中古ベッド等の使用状況の一端を視察するため、国立マハラガマ・ガンセンターと国立ホマガマ病院を訪問した。前者では、まだ廊下にゴザを敷いて寝ている患者もいたが、院内の居住環境は以前に比べて格段に改善されたとのことであった。後者には鳥取RC寄贈の内視鏡装置があったが、そばにいた看護師さんは使用法に習熟しているようには見えなかったので、清水さんが丁寧に指導した。



夜7時半、コロomboRCが歓迎会を開いて下さった。15名前後の人達が来ていて、席上、内視鏡一式の贈呈式が催された。城木札幌北RC会長からの贈呈目録が代読され、デ・シルバ・コロomboRC会長から感謝の楯が託された。今回持って行った内視鏡は南部のバラピティヤ基幹病院に、車椅子はコロomboのキャッスル病院に送られるとのこと。佐藤Gが北海道の絵葉書を、志比川さんが雪景色のカレンダーを贈り喜ばれた。

26日(月)朝、内陸部の古都キャンデイに向かい、夕方、マハウェリ・リーチ・ホテル着。同ホテルでのキャンデイRCによる歓迎会に臨む。7時半ころ

からゆっくり始まり、バナー交換もあり10時過ぎ閉会。



27日(火)午前中、ゴルフ組と分かれ、筆者ら5人は、ペラデニヤ大学(スリランカの最古にして最高の大学)歯学部(国内唯一の歯学部)のビジェイさん(キャンデイRC会員、パストガバナー)に大学を案内していただく。ビジェイさんは自分の所でも内視鏡がほしいと言っていた。

夜7時半から、キャンデイRCに対する答礼の宴を市内で開く。席上、スリランカ地区を代表してビジェイさんから、佐藤Gに中古自転車寄贈に対するお礼の楯が、また小林PG、竹原会員、太田すみ子会員(札幌北RC)に中古ベッド等医療器具寄贈への尽力に対する感謝状が贈られた。港に着いた中古自転車等は通関手続き中とのこと。9時、大阪大会での再開を約束して散会。



28日(水)朝7時半にホテル出発。昼、紅茶産地の高地ヌワラ・エリア着。由緒あるセント・アンドリュース・ホテルでヌワラ・エリアRCの皆さんと会食。そして、キャンデイからわざわざ車で私達を追いかけて来た2人のキャンデイRC会員も同席して、記念品を手渡して下さった。感激。後は、一路空港へ。午後9時半、帰国の途に。

29日(木)午前11時、無事に成田到着。羽田経由で午後4時千歳着、そこで訪問団は解散。

暑さもこたえたい慌ただしい旅で疲れたが、スリランカの人達の優しさに触れ、現地ロータリアン達と友情を結ぶことができたのは、実に素晴らしい体験だった。10人それぞれの中で、スリランカ病は、程度の差はあれ確実に進行したものと思われる。

第24回札幌スキーマラソン参加



2月8日(日)第24回札幌スキーマラソンが開催され、交換留学生、米山奨学生、国際親善奨学生、インターアクター、ロータリアン、合計51名が5kmコースに挑戦しました。薄曇り気温マイナス5度とスキーマラソンには絶好のコンディションで、歩くスキーを初めて経験するメンバーはスタート地点までスキーで移動するのも一苦労でしたが、スタートしてからはみんなが声を掛け合って全員が無事完走し、いい汗をかきました。

佐藤秀雄ガバナーを始め応援団も駆けつけて盛大な応援を繰り広げ参加者一同大いに励まされました。

奥貫一之新世代委員長はなんと第1回大会から参加され今年で連続24回目の参加、来年の25回目指してトレーニングに励むと抱負を語っていらっしゃいました。

全員完走の後は恒例のジンギスカン・パーティーで、新世代諸君の走った後のエネルギー補強の食事は見事なもので次代を担う新世代のたくましさの一端を垣間見せました。

また、1月に来日したばかりのオーストラリア交

地区ライラ委員会

委員長 宮崎 善昭 (札幌西RC)

換留学生も新しい新世代の仲間と交流を深めることができました。

ライラセミナーと合わせ日頃交流の少ないロータリー関係の新世代が集い、意見や友情を交換する横の関係を結ぶとともに、一般の新世代の人々と交流する機会として今後も活動を継続していきたいと考えています。

当日裏方でご奉仕いただいた、ライラ委員、青少年交換委員、インターアクト委員、米山奨学生委員の皆様には感謝申し上げます。



江別西RC「2004えべつスノーフェスティバル&マシュマロンピック」の参加報告

冬の日の一日「雪を友達に」のテーマに、毎年開かれている「2004えべつスノーフェスティバル&マシュマロンピック」が今年も2月7日～8日の両日開催されました。

江別の街中、公園、そして家々の前を雪像とアイスキャンドルで飾ろうという催しです。

江別西ロータリークラブも例年、メイン会場にて、その年のテーマを決め、会員全員一週間程、雪像造

りに汗を流しました。

今年は、「スノーマンと仲間たち」を制作しました。

毎日夕方6時頃から寒い中、汗を流しながら造った雪像に、少し満足しました。

当日は1万人以上の親子が参加し、楽しい一日を過ごしました。

(文：後藤 一昭 社会奉仕委員長)



祝 新入会員のご紹介

長沼RC



佐々木信雄 会員
平成15年8月25日入会

長沼RC



田嶋 俊美 会員
平成15年11月5日入会

長沼RC



池田 徳重 会員
2月9日入会

羽幌RC



高澤 國雄 会員
1月1日入会

千歳RC



村上 倫行 会員
1月8日入会

千歳セントラルRC



松倉 仁 会員
1月13日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	坂田 憲正	会員	1月23日
滝川 R C	篠島 弘	会員	1月9日 (2回目)
	向井 辰巳	会員	1月9日
江別 R C	山崎 一夫	会員	1月14日 (2回目)
	加藤 正勝	会員	1月14日 (2回目)
札幌東 R C	赤倉 正人	会員	1月30日
浦河 R C	大山 勝美	会員	1月14日

ポール・ハリス・フェロー

滝川 R C	鈴木 英也	会員	1月9日
江別 R C	藤原 敏雄	会員	1月14日
	奥野 一嘉	会員	1月14日
	野村 昌人	会員	1月14日
	山本 幸子	会員	1月14日
	女屋 龍紘	会員	1月14日
	平賀 俊尚	会員	1月14日
札幌南 R C	前田 恒雄	会員	2001年12月12日 (表彰漏れ)
新札幌 R C	佐野 文男	会員	1月30日
静内 R C	水野 忠志	会員	1月23日
	山口 俊秀	会員	1月30日
浦河 R C	高杉 保廣	会員	1月14日
苫小牧東 R C	高井 昌機	会員	1月14日
	佐藤 正孝	会員	1月14日
	佐藤 正	会員	1月14日
	田仲 勉	会員	1月14日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌東 R C	朝倉 正人	会員	1月26日	第1回
	村山 富夫	会員	1月26日	第2回 (マルチプル)
函館亀田 R C	江端 章	会員	1月7日	第1回

米山功労法人

丸福塗料株式会社 (札幌手稲 R C)	1月26日	第1回
---------------------	-------	-----

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 48】

2004年2月10日発行

1. 寄付金速報 ～下半期の寄付状況

1月までの寄付金は、前年同期と比べ6.0%減、約7千万円の減少でした。普通寄付金が2.3%減、特別寄付金が8.1%減です。寄付は依然として厳しい状況ですが、寄付の減少をくい止めているのは、ロータリアン皆様のご努力の賜です。米山奨学会事務局も皆様に役立つ情報提供に努めてまいりますので、ユニークな寄付集めのアイデアなどございましたら、ぜひお寄せ下さい。一層のご支援をよろしくお願い申し上げます。

2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会開催報告
～みんなで考える米山奨学事業へ～

1月23日(金)に、第2期基礎調査(※)タスクフォースの第2回委員会が開催されました。昨年、1,000人規模のロータリアンを対象に行ったアンケート調査の結果を分析した上で、さまざまな意見交換がなされました。今回の調査結果から、ロータリアンが重視する米山奨学事業の目的や、奨学生に求める「優秀性」の中身が、より具体的に明らかとなりました。また、記述式回答では、日本人学生への支援や、奨学生採用における地区裁量枠の新設など、新しい意見も登場しています。3月2日の次回委員会では、元奨学生を対象とした調査結果について、分析・協議を進める予定です。

(※) 第2期基礎調査：米山奨学事業中期計画策定のための調査。調査結果は、次年度1年間をかけて各地区で協議され、2006年度の制度改編に反映される。

3. 今月の“よねやまだより”は、『世界に飛躍する米山学友』

ロータリーの友2月号の“よねやまだより”では、世界理解月間にちなんで、世界各地で活躍中の5人の米山学友を紹介しています。米山奨学事業50年の成果を示すほんの一部の例ですが、彼らが日本留学で培った経験が、今日どのように生かされているか、ぜひご一読ください。

そのほかにも、同誌では、昨年のロータリー日韓親善会議で大きな感動を呼んだ、韓国出身の米山学友 Hwang Saemee (ファン・セミ) さん(2001-02年度奨学生/国際基督教大学大学院/東京南RC)のスピーチ『矛盾から希望へ』も、世界理解月間の特集の一つとして紹介されています。

4. 「トラブルに巻き込まれないために」

米山奨学会ホームページに掲載

米山奨学会では、昨年末から「米山奨学生へのお知らせ」として、SARSに関する情報と、留学生のトラブルを防ぐ注意事項をホームページに掲載して、奨学生に注意を呼びかけています。特に最近では、留学生を含めて外国人への取り締まりが強化され、日本人であれば全くとがめられないことでも、外国人については強制送還の理由とされるケースがあります。「トラブルに巻き込まれないために」は、(財)アジア学生文化協会・留学生相談室の許可を得て、同財団のホームページから、分かりやすい解説とともに、具体的な注意点を転載しています。米山奨学生が無用のトラブルに巻き込まれないよう、各地区・各クラブの奨学生ご担当者様からも、ぜひご指導くださいますようお願いいたします。

(<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/news/notice/trouble.html>)

5. イラン大地震の人道支援に米山学友が協力

昨年12月26日にイラン南東部で発生した大地震は、死者数41,000人を超える未曾有の大惨事となりました。イラン出身で、東京工業大学博士課程に在学中の米山学友、アレズ・ファクレジャハニさん(1997-99年度奨学生/東京工業大学大学院/東京日本橋東RC)は、「少しでも被災者の助けになりたい」と、イラン最大のイマーム・ホメイニ病院の救急センター長と連絡を取りあい、日本から緊急医療物資を送る支援活動を立ち上げまし

た。

大阪外国語大学ペルシャ語学科の全面的な協力を得て、ホームページ(<http://www.osaka-gaidai.ac.jp/~mes/persian/JISHIN.HTML>)で呼びかけたところ、年末年始にもかかわらず、多くの大学、病院、企業、官公庁などから賛同が集まり、脊髄損傷患者用のエアーマットや大量の医薬品などを現地に届けることができたとのこと。

今後は長期的な支援に移行する必要性から、活動を引き継げるボランティア団体を探しているとのこと。

6. 米山奨学会学友会（関東）初代会長の

E.A.チョウドリ氏、逝く

～母国バングラデシュの教育振興に力を尽くす～

国内最初の米山奨学会学友会、関東学友会（現東京学友会）の初代会長を務めたバングラデシュ出身の米山学友、イスカンダール・アメッド・チョウドリ氏（1970-72年度奨学生／東京外国語大学

／東京銀座RC）が、1月29日、バングラデシュにて永眠されました。享年71歳でした。

チョウドリ氏は、母国の教育振興に強い使命感と情熱をもち、故郷のベタギ村の学校再建に尽力しました。国際ロータリー第2770地区の多大なる支援を得て再建された学校は、ロータリー・ベタギ・ユニオン・ハイスクールと改名されて、現在も地域の教育の場として重要な役割を果たしています。次なる段階として、チョウドリ氏は、職業訓練校の設立にも着手していましたが、心臓病のため、道半ばで急逝されました。

チョウドリ氏のご冥福をお祈りいたします。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

問い合わせメール：

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ：

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(197号)

新会員のためのロータリー情報について(新着本から)

- ◎ 「ロータリークラブについて（新入会員のための手引き）」
豊田東R.C. 2003 24p [申込先：ロータリー文庫（コピー）]
- ◎ 「ロータリー情報マニュアル（ロータリアン必携）」 D.2650 2003 44p
[申込先：淵上勝夫 FAX (0779) 87-2560]
- ◎ 「会員のしおり」 荒尾R.C. 2003 106p [申込先：荒尾R.C. FAX (0968) 66-3723]
- ◎ 「ロータリー学入門—クラブ奉仕・職業奉仕・社会奉仕—」
深川純一・田中毅 D.2680 2003 89p [申込先：D.2680 FAX (078) 334-2681]
- ◎ 「純ちゃんのコーナー（ロータリー3分間情報）Part II」
深川純一 伊丹R.C. 2003 28p [申込先：伊丹R.C. FAX (072) 775-1223]
- ◎ 「私のロータリー50年」 黒澤張三 2003 41p [申込先：ロータリー文庫]
- ◎ 「ロータリー随記」 真鍋欣良 2002 161p [申込先：呉R.C. FAX (0823) 21-5692]
- ◎ 「慈愛の種を播く」 小林 博 2003 118p
[申込先：札幌がんセミナー FAX (011) 222-1526]
- ◎ 「渾沌—活力再生の道—」 佐藤千壽 D.2580 2003 83p
[申込先：D.2580 FAX (03) 3538-0212]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日

『友』インターネット速報

2004年大阪（関西）国際大会の記念切手が発行決定

RI国際大会の公式記念切手は、2000年ブエノスアイレス国際大会以来4年ぶりです。国際大会の開催は5月23日ですが、記念切手の発行は、2日前の5月21日です。切手は近畿版で、近畿圏内の全郵便局と全国の主要郵便局で販売されます。また、国際大会会場でも販売される予定です。

詳細は、決まり次第、『ロータリーの友』本誌ならびに『友』ホームページでご案内いたします。

(2004年1月27日 No.121)

米国ワシントンD.C.に、

“エクストラマイル” ボランティア歩道

(The Extra Mile Volunteer Pathway) という、70人以上の米国の偉大なボランティアをたたえた国家的記念碑が設置されることになりました。

ポール・ハリスもその中の一人です。この歩道には、榮譽を受けた人の肖像、功績などが記されたブロンズ製メダリオン（円形浮き彫り）が埋め込まれます。開設式は、2004年半ばの予定です。

国際ロータリー（RI）理事会は、ポール・ハリスのメダリオンの製作を推進するプロジェクトを承認。費用に充てる募金活動が現在進行中です。詳細は、『友』ホームページwww.rotary-no-tomo.jpをご覧ください。

(2004年2月3日No.122)


税制上の優遇措置について

2003-04年度は皆さまのご協力で大勢の方が大口寄付をして下さいました。お蔭様で一括30万円以上の税制上の枠をすべて使いきってしまいました。誠に恐縮ですが、これから30万円以上の一括寄付をして、税制上の優遇措

置を得ようと計画している方がおりましたら、本年7月1日以降にお願いします。

皆さまの惜しめない寄付に感謝申し上げます。

日本事務局財団室 片岡 暎子



*** 掲示板 ***

・例会変更のご案内

★赤平RC	3月2日(火)	10:30 移動例会(雛祭り老人施設慰問)
	3月15日(月)	3クラブ交流会 18:00~ 場所:みらい
★室蘭東RC	3月23日(火)	室蘭北RCとの合同夜間例会
		18:00~ 場所:ホテルサンルート
	3月24日(水)	振替休会
	3月31日(水)	休会(定款第5条第1節による)
★苫小牧東RC	3月5日(金)	夜間例会 18:00~20:00
	3月11日(木)	夜間例会 18:00~
		「マージャン大会」
		場所:グランドホテルニュー王子
★苫小牧北RC	3月23日(火)	夜間例会 18:00~
		「クラブフォーラム」
		場所:グランドホテルニュー王子
	3月30日(火)	休会(定款第5条1節による)

・地区組織図の変更について

地区オン・ツー・大阪委員会委員の村上正治会員(千歳RC)、地区青少年交換委員会委員の渡辺哲則会員(札幌手稲RC)が退会されましたので、地区組織図及び地区名簿のご訂正をお願い致します。

・メールアドレスの変更について

北広島RCのメールアドレスがプロバイダの変更に伴い、kitahiroshima_rc@yahoo.co.jpに変更となりましたので地区名簿のご訂正をお願い致します。

1月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 1. 31	増減	内女性	
1	深川	4	43	42	-1	2	81.54
	羽幌	4	47	47	0	1	74.79
	妹背牛	4	10	10	0	0	92.50
	小平	4	16	16	0	0	71.87
	留萌	4	64	63	-1	0	91.32
	小計		180	178	-2	3	82.40
2	赤平	3	35	36	1	2	89.67
	芦別	4	58	55	-3	0	89.91
	砂川	4	55	55	0	0	97.17
	滝川	4	109	109	0	2	75.00
小計		257	255	-2	4	87.94	
3	美幌	4	47	44	-3	0	88.48
	江別	4	46	46	0	1	88.06
	江別西	4	40	38	-2	3	90.13
	岩見沢	4	100	99	-1	0	92.19
	岩見沢東	3	34	36	2	3	92.93
	栗沢	4	33	31	-2	2	94.35
	栗山	4	32	32	0	2	96.49
	当別	4	42	39	-3	0	83.97
	小計		374	365	-9	11	90.83
4	札幌幌	3	113	128	15	0	96.69
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	29	-1	5	73.81
	札幌北	3	54	55	1	5	90.91
	札幌モーニング	4	60	62	2	0	72.13
	札幌西	4	74	76	2	2	93.07
	札幌西北	3	50	49	-1	2	93.30
	札幌手稲	4	44	42	-2	1	100.00
	小計		443	458	15	16	89.99
5	札幌東	4	118	126	8	0	99.15
	札幌清田	4	29	28	-1	5	100.00
	札幌幌南	4	81	75	-6	0	100.00
	札幌真駒内	4	46	45	-1	2	94.58
	札幌南	2	90	96	6	0	98.26
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	80.69
	札幌セントラル	4	19	19	0	6	83.70
	新札幌	4	36	36	0	1	90.15
	小計		438	444	6	18	93.32
6	岩内	4	35	36	1	0	71.67
	倶知安	3	57	57	0	4	85.24
	小樽	4	88	84	-4	0	82.82
	小樽南	4	86	85	-1	0	88.70
	小樽銭函	4	22	22	0	3	79.55
	蘭越	4	15	15	0	0	73.33
	余市	3	46	46	0	4	81.30
	小計		349	345	-4	11	80.37

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,318人 (97人)
増加会員数	14人
当月平均出席率	84.59%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 1. 31	増減	内女性	
7	千歳	4	72	71	-1	2	84.10
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	78.30
	恵庭	4	50	50	0	0	77.70
	北広島	3	15	18	3	2	96.07
	長沼	2	17	19	2	4	80.50
	由仁	4	16	16	0	0	95.31
小計		201	204	3	8	85.33	
8	えりも	4	23	25	2	0	89.00
	三石	2	18	18	0	1	94.40
	様似	3	20	19	-1	2	70.50
	静内	4	68	70	2	0	80.14
	浦河	3	42	42	0	1	78.57
	小計		171	174	3	4	82.52
9	伊達	4	55	58	3	0	78.06
	室蘭	4	56	54	-2	0	77.83
	室蘭東	4	48	47	-1	0	88.22
	室蘭北	3	39	38	-1	2	73.32
	登別	4	39	42	3	2	82.93
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	84.10
	小計		249	250	1	4	80.74
10	函館	4	101	104	3	0	79.71
	函館亀田	3	47	47	0	1	80.14
	森	4	48	48	0	0	78.00
	七飯	4	29	30	1	0	68.00
	長万部	3	12	13	1	0	84.60
小計		237	242	5	1	78.09	
11	江差	4	21	18	-3	0	75.00
	函館五稜郭	4	64	71	7	0	89.66
	函館東	4	60	58	-2	6	75.93
	函館北	4	43	39	-4	0	80.41
	上磯	3	33	33	0	3	51.00
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	228	-2	10	73.11	
12	白老	3	32	33	1	2	78.00
	苫小牧	4	61	62	1	0	75.54
	苫小牧東	4	33	33	0	3	83.34
	苫小牧北	4	49	47	-2	2	96.25
	小計		175	175	0	7	83.28
合計		3,304	3,318	14	97	84.59	

地区カレンダー（3月・4月）

3 月	
1(月)	
2(火)	
3(水)	
4(木)	
5(金)	
6(土)	
7(日)	
8(月)	
9(火)	
10(水)	
11(木)	
12(金)	
13(土)	R 財団セミナー・米山セミナー（登別グランドホテル）
14(日)	会長エレクト研修セミナー（登別グランドホテル）
15(月)	
16(火)	
17(水)	
18(木)	
19(金)	
20(土)	春分の日 森 R C 創立40周年記念式典
21(日)	
22(月)	
23(火)	
24(水)	地区 G S E チーム帰国
25(木)	
26(金)	
27(土)	
28(日)	
29(月)	
30(火)	
31(水)	

4 月	
1(木)	
2(金)	
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	
11(日)	
12(月)	
13(火)	
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	地区協議会（室蘭市民会館）
18(日)	
19(月)	
20(火)	財団国際親善奨学生募集締切り
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	みどりの日
30(金)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

4

MONTHLY LETTER No.10

2004. 4. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
RI会長賞について	3
国際大会ホストイベントの締切りせまる	4
地区家庭奉仕委員会報告(江差RC講演会・パネルディスカッション)...	5
地区ローターアクト海外研修報告	7
地区派遣GSE報告	9
地区子ども奉仕委員会報告	12
地区ロータリー財団寄付一覧表	13
ロータリーの会員増強ガイドライン	14
ハイライトよねやま49	17
ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	18
文庫通信/訃報	19
掲示板/親睦活動委員会ニュース	20
2月会員数・出席率	21
地区カレンダー	22

ガバナーメッセージ



公式地域雑誌「ロータリーの友」誌を読もう！

ガバナー 佐藤 秀雄

4月は雑誌月間だ。「ロータリーの友」誌は日本における公式地域雑誌としてRIから認定され、本人が会員となっている限り、購読を続ける事を会員身分保持の条件としている。従って日本の全ての会員は年間2,400円の購読料と消費税を払って購読を義務付けているロータリーの機関誌である。各クラブは年会費を一括徴収しているため無料でRIから提供されていると勘違いしている会員も少なからず見受けられる。それが直接の原因かどうか知らないが「友」誌の読書率は8%と聞く。多分クラブ会員は例会場で手にとりパラパラと写真と表題を読んで職場の机の上に放置し、幾日か経つとごみ箱にというケースが多いのではないかと想像する。ロータリーに魅力がないのか、或いは「友」誌に魅力がないのかのどちらかだと思う。私は突然のガバナー指名によって、これからどうしようかと考えた。ある先輩が「ロータリーの友」誌を3年分読破しなさいと教えてくれた。それから暇を見つけては「友」誌を読んだことが記憶に新しい。3年分読めと言われたが、読んだのはせいぜい1年分か、それよりちょっと上ぐらいだと思う。すみから隅まで丁寧に読ませていただいたが、これには相当の根気と気力が必要だったように思っている。しかし、この古典的ともいえる「友」誌を読んだおかげで、ロータリーが少し解ったような気がしてならない。RI会長メッセージ、RI指定記事等は楽しく読ませていただいた。それから地区だより、言いたい聞きたい欄など興味を持って読ませていただいた。総体的に言ってRIに迎合的記事

が多いのは組織防衛の面から言って仕方がないことなのかも知れないが、厳しい批判の記事が掲載されていないのは寂しい。勿論個人的な非難中傷ではなく現在のロータリーはこうだから、これからのロータリーはこうあるべきだ。この様な投書があればどんどん載せて欲しいものだ。批判を封じ込める組織は裸の王様となりいずれ崩壊する。改革なくして前進なし、どこかの首相が言っているが、実践されれば素晴らしいことである。二神編集長が就任され新しい視点で「友」誌も編集され、見やすく読みやすくもなった。そこでクラブは「ロータリーの友」誌をロータリーの友委員会（雑誌委員会）が、クラブ会員にこれは知らしむるべき記事だと思うものを探し、月の第1例会において発表すべきである。そのために「友」誌編集部はクラブの全員に配布される前に「クラブの友委員会（雑誌委員会）」に1週間も早く「友」誌を配布しているのである。そこにはRIの情報が満載されている。RI会長の動向、RI理事会の決定事項、友愛の広場、言いたい聞きたい、卓話の泉等々には沢山のロータリー情報や人生についての教訓が載っているし、他地区がどのような社会奉仕や新世代の事業を展開しているかも知ることが出来る。特に思うのは「友」誌の編集委員である。功なり名を遂げた人達、すなわち長老と言われる人達で占められている。若い世代を入れた均衡の取れた人事の配置に心がけ若い人達の意見も取り入れる編集方針をとれば、もっと多くの会員が親しみを込めて読んでくれるのではなからうか。

ガバナー日記(8)

2004年1月は中旬過ぎまで各種団体の新年交礼会が開催され、これに参加することで費やされた。1月24日からは1週間の予定でスリランカに行くこととした。総勢10名で札幌北RCから寄贈された内視鏡を分解し小分けにして各自が持参する事とした。スリランカのホテルで厚生省の役人に機器の使用説明し無事引渡しを終えた。もう一つの目的は、千歳RC、千歳セントラルRCが中心になって集荷積み込みし、全12グループが協力してくれた中古自転車がスムーズに目的地に着いているかどうかの確認もあった。中古自転車は残念ながら保税倉庫に眠っており善処方をお願いした。コロomboRCのダヤシリPG、キャンデイRCのDr.ビジェイPGに協力いただき必ず関税、送料をスリランカ側で負担し目的地に運ぶ事を確約いただいた。

2月2日(月) 札幌真駒内RC創立30周年記念式典がホテルライフオットで盛大に開催された。台湾の台北大同RCとの友好クラブの提携調印式もあり20名近い参加者で国際的な式典となった。山田会長、船本実行委員長ご苦労様でした。

2月5日(木) 千歳全日空ホテルでガバナー諮問委員会を開催。30分の予定で(1)第2500地区との連合地区大会について、(2)RI人頭分担金について話し合いを持った。続いてPGご夫妻を含めてアナハイム国際協議会に出席される遠藤ガバナーエレクトご夫妻のための壮行会に移り先輩ガバナーからアナハイムへの心得等を伺った。

2月8日(日) 第9グループ宮武ガバナー補佐招集による「2004年第9グループと白老RC(家族同伴)会員交流会」参加のため家内と室蘭市の中島神社蓬峯殿にJRで向う。ガバナーとガバナーエレクトのスピーチがそれぞれ30分、その後懇親会に入る。会員が持ち寄った品々をオークションにか

け売上金25万円余をポリオに寄付してくれた。厚く御礼を申し上げる。

2月10日(火) 様似RC夜間例会にご招待を受け坂井地区幹事と車で例会場の「アポイ山荘」へ向う。細川ガバナー補佐、小野会長等に迎えられ例会に入る。少ない会員ながら厳格に例会が行われた。終了後開催された懇親会では素晴らしい山海の珍味と会員の暖かい歓待に敬服、夜11時すぎに帰宅。快い眠りにつく。

2月13日(金) 札幌ガーデンパレスでスリランカ訪問の反省会。坂井地区幹事が旅行記をテレビ用に30分に纏めてくれた。そこには小林直前PGがタバコを吸っている姿(ゼスチャー)には歓声が上がった。

2月14日(土) 国際親善奨学生最後のオリエンテーションが当別の道新研修センターで開催、財団学友達も参加し留学の心得等について話された。土橋委員長の懇切丁寧な指導に感服。私は今年度の募集学生は、ロータリー財団から162,000ドル(1,700万円)の資金を持ってこの事業を推進している事、そしてこれはロータリアンの善意の寄付によって賄われている事を話した。余談だが、千歳RCの会員である大村会員の会社(製薬会社)に2年間の留学を終えて入社した奨学生が例会に出席した。留学の模様をパワーポイントで解り易く説明しながら、これはロータリアン皆様のお陰で留学が出来た事、自分の生涯にとってどれほど素晴らしいものであったかについて話された。きっと会員は財団の寄付がこの様に有益に使用されていることを再認識したに違いない。

2月18日(水) GSEチーム壮行会がセンチュリーロイヤルホテルで開催され、戸部謙一(札幌西RC) 団長他4名の団員が2月23日(月)、第3830地区フィリピンへ行く予定だった。しかし、千歳地方大雪のため2日遅れの26日(木)出発となった。



2003-04年度 会長賞について

2003-04年度 RI 会長

ジョナサン B. マジリアベ

手を貸そう

ロータリアンの皆さま：

ロータリーは、積極的に奉仕に参加する会員組織として知られています。私のテーマ、**手を貸そう**は、ロータリアンにとって簡単かつ自然な行動を表しています。このテーマはまた、私たち一人ひとりがどこかで誰かのために助力することができる重要な奉仕を思い出させてくれます。私たちは、地域社会で、職場で、世界に対して、そしてクラブで、**手を貸す**ことができます。

2003-04年度会長賞は、奉仕に重点を置き、貧困、紛争といった世界最大の不幸に対処し、ロータリーの家族を助長するこれまでの、また今後の活動を補い、維持するために、プログラムに参加し、新しいプロジェクトを立案するという課題をクラブに与えます。クラブは四大奉仕部門を指針として用い、クラブ、職業、社会、そして世界で、奉仕活動を遂行することになります。私はまた、クラブに、私がロータリーの家族と呼ぶ概念に参加するよう奨励します。この概念において、クラブの発展と親睦活動を通して、ロータリアンは互いに、またロータリーの数多くのプログラムと活動に感銘する人々に**手を貸し**ます。

紛争、貧困、そして無知のない世界に著実に近づくには、クラブは新会員ならびにこうした活動に参加したことの無い人々を関与させなければなりません。そのためには、クラブは、私たちのランクにある質の高い、熱意ある男女を得て充実しなければなりません。

会長賞プログラムに参加すれば、あなたのクラブは貧困の軽減、平和の構築、会員の増強、退会防止、支援、ならびに関与の重要性を認識することになります。貴クラブを2003-04年度会長賞「**手を貸そう**」で表彰させていただくのを楽しみにしております。 敬 具

資格基準と提出期限

2003-04年度会長賞を受賞するには、クラブは各奉仕部門で、ロータリーの家族を支援する活動から成るよく計画されたプログラムを実施しなければなりません。クラブが実施しなければならない活動の数は、以下の表に概説された通り、その会員数に基づいています。

クラブの大きさ (2003年7月1日現在) 会員数50名以下	各カテゴリーでの 達成事項の数
51～150名	2
151名以上	3
	4

受賞資格を得るために、クラブがすべきこと：

- ・上の表に従って、貴クラブがロータリーの家族の概念において、また各奉仕部門で達成しなければならない最低の活動数を決定します。
 - ・各カテゴリーの推奨活動の項目を検討し、貴クラブが期限までに達成するものを選択し、それらを目標として設定します。
 - ・2003年7月1日から2004年4月1日の間に目標を達成します。
 - ・目標を達成したら、会長賞申込書（900IB-03JA）に漏れなく記入し、貴地区のガバナーに送付します。貴地区のガバナーは、申込書に署名して、クラブの大きさと貴クラブが達成した活動を証明しなければなりません。ガバナーは、2004年4月15日までに、RI世界本部に申込書を送付しなければなりません。
- 会長賞の受賞資格を得たクラブには、その卓越した業績を称えて表彰状が授与されます。

地区内会長・幹事様

昨年度の地区協議会で配布しております会長賞パンフレット及び会長賞申込書をご覧ください。会長賞の受賞資格を得るためには、各クラブはクラブの会員数に応じて活動を完了しなければなりません。

なお、パンフレットにある会長賞受賞資格のうち、クラブの活動内容の一部について下記のように解釈してもよい旨、日本事務局よりご連絡がございました。

あなたの地域社会に

○あなたの地域社会で飢える人々に食糧を供給し、地域社会の全住民に安全な飲み水を供給し、もしくは貧困社会層に医療を提供するために、継続的な貧困の追放プロジェクトを提唱、または参加します。(必須)

とありますが、これを以下のように、

○あなたの地域社会あるいは他国の地域社会で飢える人々に食糧を供給し、地域社会あるいは他国の地域社会の全住民に安全な飲み水を供給し、もしくは貧困社会層に医療を提供するために、継続的な貧困の追放プロジェクトを提唱、または参加します。(必須)

地区ガバナーは、各クラブから提出された申込書に署名し、クラブの達成事項を証明して国際ロータリー本部に提出します。提出期限は2004年4月15日です。

ホストイベントの締切りせまる！

2004年国際大会（関西）事務局

ホスト主催行事の事前登録が4月30日で締切られます。

4月30日以降は、大会期間中でのお申込となりますので、「是非、このイベントに参加したい！」という方は、クラブへお申込ください。

尚、定員になり次第、締切らせていただきます。ご了承ください。

★京都デー

- ・ 5月22日(土) 8:00~23:00
参加費：¥10,000.-
参加予定数：3,000名
- ・ 主に海外参加者対象ですが、国内参加者の方で、ご希望の方は下記へお問合せください。

【京都デー委員会事務局】

TEL：075-211-5550

FAX：075-211-8880

e-mail：kd2004@mbx.

kyoto-inet.or.jp

☆ウエルカムコンサート

(NHKホール)

- ・ 5月22日(土) 16:00~20:00
参加費：¥6,000.-
参加予定数：1,270名(先着順)
- ・ 司葉子さんによるポリオドネーションのプレイベントや、有賀のゆり名誉教授(同志社女子大)のチェンバロ演奏。
その後に、N響コンサートの公演(18:00~20:00)となっております。
指揮者：ユッカ・ペッカ・サラステ
ピアノ：オリ・ムストネン
多数のご参加をお待ちしております。

☆道頓堀ナイト

- ・ 5月24日(月) 17:00~21:30
参加費は、無料です。道頓堀で情緒あふれる夜を楽しみましょう！
ふるってご参加ください。
お申込はクラブへ。

★神戸ナイトクルーズ

- ・ 5月24日(月) 18:00~22:00
¥5,000.-
好評につき定員となりました。
ありがとうございました。

☆パークフェスタ

- (ユニバーサルスタジオ・ジャパン)
- ・ 5月25日(火) 17:30~23:00
参加費：¥6,000.-
参加予定数：9,000名(食事券付)
大会のための特別ショー(17:30~、19:00~、20:30~の3回)をご用意しております。
大阪でハリウッドマジックを体験しよう!!

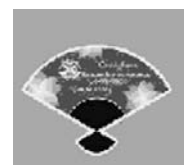
「記念バッジ」・「記念切手」の 販売のお知らせ

開催を記念して「記念バッジ」及び「記念切手」が発売されます。ご記念またおみやげに、是非、会場にてお買い求めください。

【タイプA】・・・単価¥1,500.-
ホスト4地区のバッジと国際大会ロゴマークバッジのセット



【タイプB】・・・
単価¥300.-
国際大会ロゴマーク
バッジ



“今” 親として子として 「心をつなぐコミュニケーション、家族はわかりあえる」

江差RC社会奉仕委員長 松原富郎

地区家庭奉仕委員長 和田壬三（札幌南RC）

“今” 親として子として「心をつなぐコミュニケーション、家族はわかりあえる」と題する親業“講演会” & パネルディスカッションが、2月11日（水・祝）江差ロータリークラブ（前川敏雄会長）の主催で江差町文化会館において開催されました。

1、講演

土橋芳美親業インストラクターから、会場の参加者全員を巻き込んで自分の長所を三つ上げて自己紹介をさせるところから始まりました。

会場には、約200名の市民の方が、参加していましたが、皆自己紹介が苦手であることに気づいたようです。

自分の長所を知らずしてどうして他人の長所を知ることが出来ようか。

人にはそれぞれ長所短所があるが、それを認め合った上で、上手に他人と付き合う方法が親業である。

アメリカのトマス・ゴードンさんという臨床心理学者が、健全な親子関係を回復するために開発した方法で、基本的には、三つの方法で成り立っている。

聞くこと 能動的に聞く。…繰り返す、言い換える、気持ちを汲むという方法によって聞くこと。

話すこと 親が子供に自分の気持ちを素直に伝える。

対立を解く 親と子の欲求が対立したとき、互いに満足できる解決策を探す。

このような方法を身につけると実際には、どのような会話になるか、ということで、同行した中村圭衣子さんとロールプレイ（会話の訓練）を実演しました。

同じことを伝えるにも一寸した会話の工夫で随分と人間関係に与える影響が、違うことをよく理解できたと思いました。

2、パネルディスカッション

北海道新聞江差支局の黒田伸さんをコーディネー

ターとして、パネラーには、土橋芳美親業訓練インストラクター、奥尻島出身で東京在住の詩人麻生直子さん、江差北高の校長の中井文夫さんと地区家庭奉仕委員長で弁護士の和田壬三、ゲストにシンガーソングライターの千鶴伽さんという顔ぶれでした。



大阪で起こった、児童虐待問題は他人事ではなく、平和な江差でも起こりうる問題であることから、現代の子供たちは、言葉が少ない。特に田舎の子は、表現力が乏しいから、問題を抱えたときに状況を的確に伝えることが出来ないという問題があることを麻生直子さんは指摘されました。

中井文夫校長からは、江差でも不登校の子もいる。家族が孤立するのが、原因ではないか。家庭に干渉することは、差し出がましいという慣習があるが、この地方では、独特の言葉があり、おせっかいを焼くことが肯定語として用いられている。学校でも出来るだけ、町中の方が交流できるような機会を提供できるよう工夫している。例えば運動会などは、父母も参加できるようにしている。

和田は、以下のような報告をした。ロータリークラブは、職業を通じて社会に奉仕する団体である。そのために先ず家庭から奉仕しようという活動をしている。

1、家庭の問題は、人生観の問題である。快適な生活、果てしない欲望、出世や権力欲に喜びを見出し、競争原理の働く社会に価値を見出すのか、現状に満足し、豊かな自然と共生し、競争より共生に価値を見出すのか。の問題ではないのか。離婚などの原因も突き詰めるとこのような問題に起因

している。

家庭の人間関係は、親子、夫婦、兄弟などで構成され、時には全ての関係者を交えることもあるが、多くは、1対1の関係である。

家庭は癒しの場というが、癒される人がいれば癒す人がいる。理想は、双方とも癒されること。躰は、親の要求を子に伝え、子は親の要求を認めるという関係にある。

門限は、決める方は、安心を得るが、守るほうは、喜びを制限される。

勉強を勧めるのは、親の願望であるが、子は、遊びの時間を奪われる。

優れた人間関係は、与えるものと与えられるものが、等しい価値を持つ。又は互いに等しいと認識される関係である。母親が、子供といるときに幸せを感じれば子供も幸せを感じる。(日米の児童精神科医の権威、エリクソン及び、佐々木正美 drの言葉)

子供たちには、明日にでもと答えることは出来ない。(チリのノーベル賞受賞詩人カプリエル・ミストラル) 成長の最中にある子供の要求は今すぐかなえてやらなければ、明日では意味がなくなるか、半減してしまう。

2、如何にすべきか

①子供のすることに意味が無いことは無くその子にとって全て必要なことである。

引きこもりでも心が病んだその子にとっては、必要な休息のときである。遊び回っているのもその子にとっては今必要なことである。

但し子供の心は物によっては満たされない。物を求めるとき子供は、親の愛を求めている。(続子供へのまなざし 佐々木正美)

先ず子供の要求をかなえて上げそれから親の要求を伝えてあげればよい。

②過剰な親の要求は、子供には必要がないばかりか、有害である。

親の過剰な要求に従った子は、いつも親の顔色を伺い、親の要求を先取りしていい子になろうとする。そのようにして育った子は、社会に出た時自分が何をしたいか分からずいつも他人の望んでいることに従う消極的な人間になってしまう。

③子供のすることを認めてあげること。運動会でもりになってもその子にとっては、最大限の努

力をしている。その努力を認めてあげる。躰には、欠点を直すというやり方と長所を伸ばすというやり方があるが、後者のほうがはるかに効果がある。

欠点は一生かかって直すものだし、幼い頃直しても長所にはならない。

④人は、尊敬できる人からしか学べないし、尊敬できる生徒にしか教えられる。(広中平祐) 子供の接する全ての人を尊敬するように仕向けるべきである。最も接する先生とか、夫、妻は間違っても批判したり非難してはならない。

⑤子供は、村中の人の知恵が無ければ育たない。(アフリカの格言)

子供の社会性は、学校や塾、家庭だけでは十分育たない。(続子供へのまなざし) 子供は、子供同士で自由に遊び、自由に接したり、大人との交渉の中で社会性を身につける。だから社会全体で、子供を育てなければならない。



北海道新聞

親子の接し方考える

江差系 弁護士らの討論聞く



川敏雄(左)ほかのほ、内外から集まった約七十名が参加した。江差系 弁護士らの討論聞く

壇上で子どもと親は関係のあり方を説明した講演会
「トラクター」の資格を持つ札幌の士藤美さんが基調講演をし、子どもと親の接し方について、相手を通じて話を聞いてあげることなど話した。その後、家庭をテーマに弁護士らの和田三三さん、奥尻島出身の詩人、麻生直子さん、江差中の中井文夫校長、土橋さんの四人がパネリストとなり、討論も行われた。一部として歌手の手嶋即さんのコンサートも同会場で行われた。江差系 弁護士らの討論聞く

ローターアクト海外研修報告



ローターアクト海外研修旅行

1月31日(土)～2月4日(水)

今回の主な目的はエイズ患者のホスピス「ナンプー寺」への車いすの寄贈と慰問する事でした。

渡航前、WCSでもお世話になっているバンコク在住の藤岡さんにコーディネートをお願いし、アクト自身が藤岡さんと数回のメールでの打合せで、車いすを持っていくこと。また、古着を手荷物として持ってきて欲しいとの事項を調整し、また、「ナンプー寺」やエイズの勉強会を1度(会長・幹事会時に)行い、十分とはいかないまでも、インターネットで資料を集め、研修旅行に備えました。

1月31日(土) 千歳に午後1時集合、深夜バンコクに無事到着しました。

2月1日(日) 前日深夜2時まで古着の受け渡し作業をホテルで済ませ、翌日は8時集合という最初からハードな日程でメインの2日目が始まりました。

今日訪問するのは、バンコクから北へ120キロ、ロブリー市の郊外に建つ「ナンプー寺」、エイズ患者のホスピスを運営している施設です。現在約250名のHIV感染者とエイズ患者が助け合いながら暮らしています。偏見などから、職場や地域で居場所を失った同士が、たどり着いた共同生活、気力を失いかけている人々に、生きる意味をもう一度探し出してもらおうというのがホスピスの考え方だそうです。

実際には、「ナンプー寺」ではエイズの治療の為の医療行為はしていないということでした。

バスの中でコーディネーターの藤岡さんからいろいろレクチャーを受け、「訪問する我々が、感染者で、風邪など引いている人は、患者にうつるので、マスクをして下さい」との言葉に感心し、エイズの本質を知ったような気がしました。「訪問する我々がエイズに感染するのではなく、エイズにより抵抗力・免疫力が落ちた患者達が、我々が持っていった

地区ローターアクト委員会

委員長 柳 孝 一 (札幌南RC)

病気に感染してしまう」という事です。

10時半頃到着、日本から携えた車いす1台と古着、参加者全員から集めた少しのお金を寄贈。受け取りの書類と施設のパンフレット、CDの写真集をいただきました。まずは、体育館のようなところで、患者さんの歌や踊りのパフォーマンス、コンピューターを使ったナンプー寺の説明を受けました。すでにタイの高校生と思われる30人くらいの団体がいました。その説明はタイ語のため、ほとんど理解できず、クイズのような事もやっていた様子です。

その後、重病棟へ。病院というよりは、事務所のような所で、末期のエイズ患者の病棟で、50ベッドくらいのような所、肺炎や結核などを併発し、自活できなくなった患者が入所していて、空きベッドはありませんでした。

次に中度の患者がいる病棟で、半数は身の回りのことは、自分で出来る様な人が、狭い部屋の中でしている。「サワディーカップ」(こんにちは)と声をかけると、どんなに寝ている人も「サワディーカップ」と手を合わせる。うれしいような、悲しいような、複雑な気持ちに…。

私もそうでしたが、初めて接見するエイズ患者とどのように接していいかわからず、戸惑いながら、多少遠巻きに患者さんと日本からきたことを伝えたり、うなづく事だけが精一杯で我々は、そこにいるだけで目一杯でした。

ヨーロッパからボランティアに来ているという人が数人、マッサージや体を拭いてあげていました。聞くと、ボランティアの人は、ホリデーを使って数日間滞在するそうです。

手振り身振りでコミュニケーション、みんな人なつっこい。体は不自由でも目に力があつたような気がしました。

お昼には、患者さん、スタッフの方と炊き出しの食事を、ビュッフェスタイルで頂戴しました(なん

と無料)。現地の家庭料理というもので、数種類をお好みでチョイスできます。ちょっと辛かったです。ローターアクトも十分にタイ料理を堪能したようです。

昼食後は施設内での自由行動。患者さんやスタッフの方を相手にタイ語の勉強会をするもの、散策をするもの、病室へ戻り患者さんの世話をするもの、それぞれに有意義な時間を過ごしました。

最後に、施設で亡くなった方がミイラとして保存？されているところを見学。死体博物館という名らしいです。名前、生年月日、死亡年月日等が記され、20数体が並べられています。皆さん生前にこうなることを了承している方々だそうです。ほとんどが、ガラスケースに覆われているわけでもなく、むき出しの状態、死後5～8年の方が多かったようです。中には子どももあり、言葉に表せない、今まで体験したことのない感情を覚えました。アクトもそれぞれの感想を持ったことでしょう。それにしても、強烈なインパクトでした。

患者さんは、死への恐怖はないそうです。輪廻転生を信じ、来世でまた生きることを信じています。私たちが訪れた「ナンバー寺」は、死を目前にした人が、安らかに過ごす為の安息地だったのです。

2月2日(月) 市内観光、夜まで親睦を深めました。

2月3日(火) 基本的には自由行動でしたが、アクトは全員「飛んでけ 車いす」から提供を受けた2台の車いすをバンコク市内近郊のFCDという子どもの通所施設へ届けました。現地の地図が分かりにくく、相当苦勞して届けたようですが、その施設の子供達と交流をもち、充実した時間を過ごしたようです。

集合の8時までは自由行動。お土産等のショッピングや食事で楽しみました。ホテルに8時全員集合し、空港へ。23時発。それぞれの思いを胸に、バンコクを後にしました。

2月4日(水) 成田6時30分無事到着し、羽田を経由し12時千歳で解散。

初顔合わせのメンバーが数名いるせいもあり、最初はどことなく遠慮していたのか時間の経過によりアクトの仲間意識がどんどん深まって行くのが分かります。研修旅行の醍醐味の一つでもあります。いろいろな意味でハードでタイトな海外研修でした。

参加ロータリアン

地区委員長 柳 孝一 (札幌幌南RC)
委 員 五十嵐桂一 (千歳RC)

参加ローターアクトクラブ

赤平RAC 3名、札幌北RAC 2名、岩内RAC 2名、
千歳RAC 2名、室蘭北RAC 1名、岩見沢RAC 1名
合計13名



日本から持ってきた車いすと古着を寄贈しました。



中度病棟。ボランティアの方がマッサージをしています。



患者さんと記念撮影

派遣 G S E 報告

第3830地区・フィリピン（受入地区）

GSE副委員長 大場 康 弘

—GSEチームメンバー到着—

2月26日(木)、15分遅れで10時20分に到着し、私共3830地区からは4名で空港の入国管理局までお迎えに上がりました。

その後、ホテルに到着が11時頃、チェックイン後、ささやかながら歓迎のお茶会がありました。

3830地区よりは、ガバナー補佐のレネ・アキノ、バージー・カスティリョ、パスト会長のサリー・ティ

ンソン、ガバナー秘書長のブッチ・ソロモン、そして私が参加しました。

和やかに夜食を食べ、記念写真撮影を行い、その後携帯電話の使い方や、メールのやり方、今日以降の予定のこなし方などを簡単にブリーフィングしました。



—セントルクス病院と医科大学を訪問—

2月27日(金)、朝から白バイの先導でマカティクラブで直前会長のロバート・クワン氏が、ボランティアで理事長をされているセントルクス病院と、医科大学を訪問し、いろいろな説明を受けてまいりました。その後医科大の学長と話し合いの場を持ちました。

お昼にはロバート氏経営の中華風鍋料理をご馳走になり、ロバート氏の自宅に招待され、今までの苦労話や、ビジネスの成功の秘訣などご教授いただきまして、大変に有意義に皆様過ごされたことと思います。



ープレゼンテーションー

3月3日(水)、午前、午後の市内観光の後、GSEの皆様は2回めのプレゼンテーションをマカティ・ベルエアーロータリークラブ、私のクラブのマカティ・メトロクラブで行いました。

ベルエアークラブの会長さんはレイシェル・オカンボさんで女性で、メトロクラブはセサル・エンリケスさんです。

私共のクラブは男性のみですが、ベルエアーは女性が多いです。場所は、マカティ市のロック・ウェ

ルクラブで夜の例会でした。

とてもGSEの皆さんはお互いのうちとけて、カラオケまで飛び出しました。写真でおわかりになると思います。GSEの皆さんもかなり慣れてきた模様で、笑いを取ることもあり、会場からは拍手喝采でした。

皆さん順調にフィリピンの生活に溶け込んできております。



マカティ・ジェイピーリサークルクラブ

3月4日(木)は、午前中から午後5時まで、パティの属するマカティ・ジェイピーリサークルクラブのホストで衣類工場見学を行いました。残念ながら私は同行しませんでしたので写真はありません。

夕方6時過ぎにGSEの皆さんと会いまして、感想を聞くと、皆さんそれぞれに「今日は暑かった、辛かった」というような返事が返ってきました。待ち合わせた場所が高級ショッピングモールで、早速メンバーは買い物に走っていました。

その後、やはりロックウェルクラブの例会場で夜の7時より、マカティ・パセオ・デ・ロハスクラブの例会に出席し、プレゼンテーションがありました。GSEの皆さんも戸部リーダーもだいぶ慣れてきたようで、なかなかロータリアンの笑いを取ることもしばしばでした。

特に着物のプレゼンが終わると、フィリピン側もフィリピンの衣装についての説明が始まるなど、質疑応答も大変に活発で、北海道のことについてもいろいろな質問がありました。

お互いにとても有意義な意見交換の場となりました。その後、バーナーの交換、お土産の授与がありました。このクラブの会長さんの名前はビック・ヤップさんです。メンバーの平均年齢も大変に若いクラブです。

3830地区でもとても活発なクラブです。





小中学校での授業と小中学生の 職業体験活動に御協力を！

地区子ども奉仕委員会

委員長 米山道男 (札幌北RC)

本委員会は、ロータリアンが「小中学校での授業」と「小中学生の職業体験」に協力する活動のお膳立てをするため、今年度新設されました。今年度の活動状況と今後の予定は以下の通りです。

【今までの活動状況】

- 委員会の開催
 - 第1回委員会 (社会・家庭両奉仕委員会と合同、03年6月)：全15名の内、7名参加。活動方針と年間計画。
 - 第2回委員会 (03年12月)：8名参加。協力会員登録の現況把握と促進の方策。
 - 第1回小委員会 (04年2月)：札幌と近郊の委員7名に呼び掛け、4名参加。協力会員登録の現況把握と今後の日程。
- 意見交換会の開催 (社会・家庭両奉仕委員会と共催、03年7月～8月)

函館、滝川、苫小牧、小樽、札幌で、ガバナー補佐、クラブ会長、幹事、社会奉仕委員会委員長、地区委員などと、今年度の3委員会の活動計画について意見交換。
- ロータリアンへの広報

03年3月～4月に、委員長が地区チーム研修セミナー、会長エレクト研修セミナー、地区協議会で説明し、03年10月と11月、2度に亘って、各クラブ会長に協力要請した他、委員会メンバーが、随時、各クラブに出向き卓話。

4. 授業の実施 (03年5月～04年2月)

札幌市立の北九条小 (3～6年生各4回、計16回) および北辰中学校 (3年生4組各1回、計4回)。

5. 協力会員の登録要請 (表1参照)

A (授業協力会員) と B (職業体験協力会員) の登録数は、現在それぞれ、総会員数の4%と2%。登録者0のグループは、一段の奮起をお願いします！

表1 グループ別登録数

グループ	A	B
1	0	0
2	0	0
3	0	0
4	21	8
5	30	21
6	6	5
7	12	8
8	10	3
9	21	19
10	0	0
11	7	4
12	15	5
合計	122	73
登録率	4%	2%

A:授業協力、B:職業体験協力

【今後の活動予定】

- 委員会の開催：第3回名簿編集 (4月)、第2回小委名簿作成 (5月)、第4回新旧引き継ぎ (6月)。
- 協力会員の登録促進：A・B共に登録数の目標は「全会員の10%」。会員各位の御協力を！ (今年度の登録締切日：4月14日)
- 授業経験者・学校関係者懇談会の開催：この活動での延べ20名の授業経験者、関連小中学校関係者、地区委員で、昨年度の活動を振り返り懇談 (4月)。
- 登録名簿の作成：データ入力 (5月) と印刷 (6月)。



第2回委員会
(03年12月13日、ホテルライフオーにて)



会員による授業風景 (04年2月5日、札幌市立北辰中学校3年1組の教室にて)

ロータリー財団寄付一覧表 (2004年2月29日現在)

2004年2月29日現在の地区内クラブ別ロータリー財団寄付状況をお知らせします。
 年次寄付目標額250,000ドルに対して2月29日現在で147,625.73ドル (59.05%) です。
 クラブ会員皆様の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

(単位:米ドル)

グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金寄付	合計	グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金寄付	合計
1	深川	4,848.74	0.00	0.00	4,848.74	7	千歳	6,020.00	2,490.00	0.00	8,510.00
	羽幌	2,700.00	0.00	0.00	2,700.00		千歳セントラル	2,500.00	0.00	0.00	2,500.00
	妹背牛	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00		恵庭	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00
	小平	800.00	0.00	0.00	800.00		北広島	0.00	0.00	0.00	0.00
	留萌	5,300.00	0.00	0.00	5,300.00		長沼	2,300.00	0.00	0.00	2,300.00
	計	14,648.74	0.00	0.00	14,648.74		由仁	0.00	0.00	0.00	0.00
2	赤平	1,750.00	0.00	0.00	1,750.00	計	11,820.00	2,490.00	0.00	14,310.00	
	芦別	5,945.53	2,590.65	0.00	8,536.18	えりも	1,700.00	0.00	0.00	1,700.00	
	砂川	1,600.00	2,499.75	200.00	4,299.75	三石	0.00	0.00	0.00	0.00	
	滝川	6,200.00	3,400.00	0.00	9,600.00	様似	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00	
	計	15,495.53	8,490.40	200.00	24,185.93	静内	2,000.00	3,400.00	0.00	5,400.00	
3	美唄	1,500.00	0.00	0.00	1,500.00	浦河	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	江別	2,966.00	0.00	0.00	2,966.00	計	6,700.00	3,400.00	0.00	10,100.00	
	江別西	100.00	0.00	0.00	100.00	伊達	4,700.00	168.00	0.00	4,868.00	
	岩見沢	5,699.00	905.66	0.00	6,604.66	室蘭	0.00	0.00	0.00	0.00	
	岩見沢東	3,054.00	0.00	0.00	3,054.00	室蘭東	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗沢	3,500.00	0.00	0.00	3,500.00	室蘭北	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗山	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	登別	0.00	0.00	0.00	0.00	
	当別	42.00	0.00	0.00	42.00	洞爺湖	1,200.00	0.00	0.00	1,200.00	
計	17,861.00	905.66	0.00	18,766.66	計	5,900.00	168.00	0.00	6,068.00		
4	札幌	2,300.00	6,000.00	0.00	8,300.00	函館	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌あけぼの	300.00	300.00	0.00	600.00	函館亀田	2,400.00	800.00	0.00	3,200.00	
	札幌はまなす	2,141.00	753.00	0.00	2,894.00	森	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	札幌北	2,116.83	4,427.58	0.00	6,544.41	七飯	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌モーニング	40.00	0.00	0.00	40.00	長万部	650.00	650.00	0.00	1,300.00	
	札幌西	900.00	0.00	0.00	900.00	計	4,050.00	1,450.00	0.00	5,500.00	
	札幌西北	3,082.08	1,000.00	0.00	4,082.08	江差	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌手稲	3,000.00	0.00	0.00	3,000.00	函館五稜郭	2,164.00	0.00	0.00	2,164.00	
計	13,879.91	12,480.58	0.00	26,360.49	函館東	0.00	0.00	0.00	0.00		
5	札幌東	11,168.00	0.00	0.00	11,168.00	函館北	2,043.00	4,105.17	1,000.00	7,148.17	
	札幌清田	214.55	2,650.00	0.00	2,864.55	上磯	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌幌南	8,110.91	0.00	0.00	8,110.91	松前	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌真駒内	0.00	0.00	0.00	0.00	計	4,207.00	4,105.17	1,000.00	9,312.17	
	札幌南	5,680.00	0.00	0.00	5,680.00	白老	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌大通公園	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧	1,586.10	0.00	0.00	1,586.10	
	札幌セントラル	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧東	2,273.49	1,434.82	0.00	3,708.31	
	新札幌	1,900.00	0.00	0.00	1,900.00	苫小牧北	5,216.65	47.27	0.00	5,263.92	
計	27,073.46	2,650.00	0.00	29,723.46	計	9,076.24	1,482.09	0.00	10,558.33		
6	岩内	1,905.17	1,800.00	0.00	3,705.17	地区内クラブ合計	142,625.73	41,271.90	1,200.00	185,097.63	
	倶知安	3,688.68	0.00	0.00	3,688.68	地区	5,000.00	(4,999.55)	0.00	0.45	
	小樽	2,420.00	0.00	0.00	2,420.00	合計	147,625.73	36,272.35	1,200.00	185,098.08	
	小樽南	0.00	0.00	0.00	0.00	※使途指定寄付: マッチング・グラント、ポリオ・プラスを含む ポリオ・プラスの寄付額は 41,271.90(クラブ合計)+0.45(地区) = \$ 41,272.35です 1人当たりの年次寄付額 第1位 長沼 R C \$ 135.29 第2位 深川 R C \$ 112.76 第3位 苫小牧北 R C \$ 106.46					
	小樽銭函	1,540.00	1,100.00	0.00	2,640.00	年次寄付額 第1位 札幌東 R C \$ 11,168.00					
	蘭越	1,500.00	750.00	0.00	2,250.00	第2位 札幌南 R C \$ 8,110.91					
	余市	860.00	0.00	0.00	860.00	第3位 滝川 R C \$ 6,200.00					
	計	11,913.85	3,650.00	0.00	15,563.85						

ロータリーの会員増強ガイドライン

地区会員増強委員会

ロータリーは「寄付金と会員増強のことしかいわない」との批判の声がある。寄付金も会員増強もともに大切なものであり、またロータリーの力の象徴でもある。しかしここで述べることは単に力の誇示としての会員増強ではなく、ロータリーの心をよく理解した真のロータリアンを増やすにはどうしたらいいかについて述べるものである。

会員増強は現実的にはロータリーの抱えるあらゆる問題の縮図であり、その問題解決はいまかなり難しい状況にある。しかし、会員増強がなぜ必要かの論議を踏まえ、ロータリーの根本課題としてやはりこの問題を会員みんなで真剣に考えていかねばならない。具体的にはロータリーとは何か、真のロータリアンとはどういう人であるべきかをよく考えたうえで、ロータリアンの退会防止に努力し、また新会員の入会促進を図らなければならない。

会員増強はなぜ必要か？

「数は力なり」というとおり、沢山の会員と豊かな経済背景があれば、より大きなことが出来ることはすでに多くの組織で示されている。僅か4人で始めたロータリーはその芽が大きく育ち、100年のうちに120万人の会員を擁するまでに成長した。しかもロータリーは国内外に大きな社会貢献をしてきたことは衆知の事実である。

残念ながらここ数年、とくに我が国においてロータリー会員数が減少に転じ、またそれに伴う財政的危機が表立ち、クラブによってはかなり深刻な状況になってきた。こういった危機感を背景にロータリーでは会員増強の必要性が声高らかに言われ始めたのである。

しかし一方に、ロータリーの原点に立ち返り、身の丈にあったロータリー活動に専念するべきではないかとの声のあることも事実である。またロータリーの組織運営に対する改革なくして会員増強はないとの声もある。いずれにしても、ロータリーは100年の歴史を重ねる間に、「ロータリーの綱領」と「四つのテスト」で代表される基本概念が形骸化し、ステータスシンボルとしての単なる社交クラブや奉仕団体になったかも知れないのである。このような懸念に我々はどうか答えていったらよいのだろうか？

以上の経緯を踏まえながら考えてみると、良質のロータリアンが増えること自体は大変結構なことである。これは単にロータリーの活動力を大きくするという以上に、社会のリーダーシップを担う、より多くのロータリアンが社会の信望を集め、その言動が世界の久遠の平和と人類の幸せに些かなりとも貢献できると考えるからである。

基本的に大切なこと

忘れてならないのは「会員増強の真意」をよりよく理解することである。それは単に会員の数を増やすためではなく、会員各自が真のロータリアンになるべく努力をすることであり、また真のロータリアンになれそうな人を見つけ、そういう人を一人でも多く真のロータリアンに育てていくことである。

言うまでもないことだが、真のロータリアンとは社会的名誉、地位、財産に関係なく、正義、倫理、信義の心を重んじ、しかも人間性豊かな職業人のことである。ロータリアンは自らの職業をとおして地域社会に貢献し、さらに世界の恵まれない人達に愛の手を差し伸べる心を実行したいのである。

この目的に沿った会員増強を少し考えてみよう。

具体策としてまず取り組まねばならぬことは、各自が所属するロータリークラブにユニークな魅力を作る努力をすることである。ロータリーの魅力はお互いが真実を求め公正な気持ちをもって信頼し、仲良く親睦を重ねることから生まれる。さらに社会の恵まれない弱者、あるいは苦境に喘ぐ人達に慈愛の心をもって奉仕に努めることである。ロータリーの魅力はそういうことのできる人達の行動の中から大きく育っていく。

会員間の厚い友情、そして他人に何かをしてあげる奉仕に人生の喜びを感じることの出来る人達が集まってこそ、人を魅きつけてやまない集団が出来あがる。会員増強はそれ自身が決してロータリーの目的であってはならないし、あくまで結果としてそうなることが望ましいのである。

以上のような観点に立って、会員増強のための試案を以下に述べてみよう。具体的には地区内各クラブの事情を十分勘案したうえで進めたいものである。

退会防止のための12項目

1. 新入会員のために継続的なオリエンテーションと教育プログラムを作ることが緊急に必要である。新会員に「四つのテスト」の何たるかを語り、ロータリーのあるべき魅力を伝えてほしい。同時に新会員の意見や希望もフランクに聞くようにしたい。また仮に新会員であっても本人の関心の高い分野のロータリー活動に積極的に関わってもらったらよい。

新会員もまたクラブに早く溶け込み、またロータリーについての勉強に自発的な努力を惜しまないでいただきたい。入会后ロータリアンになって3年以内に退会するような仲間は本人の責任もあるが、むしろ推薦者

の責任であると同時にクラブ全体の責任なのである。

2. 「家庭集会」などの集を開き会員間のコミュニケーションを十分に行い、組織としての風通しをよくすることも大切である。クラブはみんなが平等であり、会員が自らの考えを率直に発言しあえる自由闊達な雰囲気のものでなければならない。ロータリアンはそういう環境をつくる責任がある。腹蔵のない意見交換は建設的なものである限り、これは決して喧嘩ではなくよりよい結論を得るための必須の条件なのである。
3. コミュニケーションはすべて善意と良識と寛容の心をもって話し合うことが前提である。しかも事を民主的に進め、総意をもって決めることである。特に控え目な年長者の意見を十分に組み入れることにも留意したい。ただ、活発な議論が必要といっても、クラブ運営に際して協調性を欠き自分の意見を押しつけようとしたり、また自分の都合しか考えない利己的な言動を許してはならない。クラブの内紛に嫌気をさして退会者が出るようなことは決してあってはならない。
4. 魅力的な例会は会長のリーダーシップのもと毎週1回の限られた時間を有効、かつ有意義に使うことから始まる。虚飾、虚礼など形式的なことに気を取られることなく、また例会をマンネリ化させることなく、常に新鮮で自由闊達な運営を心掛けたい。委員会報告など手際よくすませ、ゲストや会員の生の声を聞く時間を多くとりたい。
会長はそのようなことをよく理解し実行してくれる人でありたい。会長は単に年功序列、入会順に選ばれるものではなく、その人間性、ロータリーに対する熱意、そして期待されるロータリアンかどうか見極めたうえで決められるべきである。さもなければ会員は失望し、これが退会の動機になってしまうことがある。
例会時、会員のスピーチは簡潔で要を得たものであるようにしたい。プログラムはもともとプログラム委員会の担当ではあるが、出来れば会長以下会員の意見を予め求めるようにしておきたい。プログラムの選択は例会の成否にかかわる最も重要な決め手になることが多いからである。
5. 会員は各人の趣味を大切に、趣味のサークル活動に積極的に参加するなど、お互い趣味を介する心の絆を深めたい。趣味サークルはゴルフ、テニスなどのスポーツのほか、楽器を楽しむ音楽サークルや碁、将棋、麻雀などのいずれでも楽しくやればよい。
6. ロータリーの輪は趣味だけではなく、奉仕活動にこそ広げたい。奉仕による感動と喜びを、会員の間で共有したいものである。奉仕は四大奉仕のいずれであれ、またその内容は任意であるとして、趣味のサークルと同じようにできるだけ楽しいものであるようにしたい。
7. ロータリーの趣味と奉仕の輪はロータリー家族にも広げていくべきである。「ロータリー家族」とはRI・2003-2004年度のジョナサンB、マジアベ会長が強調

されるように、会員家族（配偶者と子供・親兄弟）だけでなく、青少年交換留学生、インターアクト、ローターアクト（OBを含め）、財団・米山奨学生と学友、さらには物故会員の家族など、ロータリーに関わる全ての人達のことである。大切なことはロータリー家族の人達が家族的な親しみのあるクラブを作ることであり、また世界中のロータリー関係者が家族的共同体感覚を強めることである。いずれも退会防止に役立つと期待される。

8. ロータリーの輪は他のクラブにも広げていくのが理想である。自分の所属するクラブの限られた数の会員間だけでなく、他のクラブ会員にも広く声をかけ合同例会や合同のサークル活動をもつなど、親睦と奉仕の輪を広げたい。
9. ロータリーの輪はロータリーの会員でない非会員の地域住民にも呼びかけ、地域におけるお互いの連帯感を育てていくことが望ましい。地域住民との交遊を深めることはロータリーへの理解を深め、退会防止だけでなく新会員推薦の機会にもなるかもしれない。
10. クラブ年会費は無駄を極力省くことで低額に設定し、RI・地区会計も含めできるだけ経済的負担を軽くしたい。その自主努力はいろいろあるが、例えば例会場を安価な場所に移したり、人件費など諸経費の節減を考えたい。また毎回の食事を軽食で済ますとか、食事を個人負担にするとか、また食事なしで茶菓だけの例会を組み入れるのも一案である。会計はすべてオープンにすることは言うまでもない。
11. 例会出席は極めて大切なことであるが、欠席会員を責めるような規則一点張りの督促は避けたい。まず欠席の理由を尋ね、その会員の心情を理解するよう心掛けるべきである。例会に欠席がちな会員、また出席はしても他の会員との会話も少なく淋しそうにしている会員は退会を考慮中かもしれない。このような人にはみんなが積極的に話しかけるようにしたい。ビジターに対し暖かく話しかける気配りは言うまでもない。
12. 究極は自分が所属するクラブに自ら入会したいと思うようなロータリークラブを作ることである。これが他人に入会を勧誘するもっとも大きな動機となる。もし自分のクラブが自慢できないのであれば、その理由を厳しく考察したうえ、望ましいクラブに作り変えるように、勇気を持って全員が力を合わせるべきである。
なお毎年8月が会員増強月間と決められている。しかし会員増強の努力はその1か月だけ行えばよいのではない。1年をとおしてのものと理解したい。

入会促進のための8項目

1. クラブの会長以下の全会員が新入会員の勧誘に言行一致で取り組みたい。特に会長始め全理事は責任を持って各1名の新入会員の獲得を心掛けたい。とくに女性、

若年層の方々は勧誘の第一義的な対象となる。青年会議所会員もロータリー入会の有力候補であり、また財団学友・米山学友、元ロータリアンのなかにも適当な候補者がいるかも知れない。

2. 新会員の選考にあたってはロータリーの心を理解できそうな人、またロータリアンとしてふさわしいと思われる人から選びたい。この人ぞと思う候補者を見つけたら何人かで協力し合って勧誘する。また、候補者をクラブ例会に案内し、例会の雰囲気をもてもらうなどの方法で予め相互理解を深めるのもよい。
3. コミュニティの歴史や伝統をふまえ、クラブとコミュニティとの密接な関係を構築したい。ロータリーの規則に従順である以上に、クラブの個性的魅力をどうやって作っていくかを第一義的に考えたい。例えば個々のクラブがその地域におけるユニークな社会奉仕を行うことでロータリーの存在感を示したい。またその活動内容を地域の人達に積極的にPRしたい。
4. ロータリーの心を伝える「クラブ会報」を作り、これを「ロータリーの友」、「月信」とともに会員によく読んでもらうだけでなく、コミュニティの人達にも広く見てもらうようにしてほしい。これはロータリーの社会における認知度を高め、またロータリーの理解を深めてもらうのに役立つであろう。
5. チャリティコンサート、チャリティゴルフコンペに会員や「ロータリー家族」だけでなく、ロータリーに関係のない人達の参加をも奨励し、これらの人のロータリーに対する親近感を増す努力を普段から重ねたい。機会をみてロータリーの活動内容を紹介し、これぞと思う人を認めたら謙虚な気持ちで入会を勧誘する。
6. 一方、入会のための無理な勧誘はしてはいけない。甘言をもって安易に勧誘してもいけない。また仮に本人が希望しても、場合によっては入会を断ることがあってもやむを得ない。ときには断固拒否しなければならない場合もあるかも知れない。
7. 入会金は親子会員、兄弟会員、元会員について軽減などの配慮があってもよいし、既に入会金を超低額にしたクラブもある。年会費は親子会員、兄弟会員で一部軽減の例もある。新入会員を受け入れ易くするため、必要があればクラブ内での細則の検討を考えてみたい。なお、会員の希望によっては例会時間の検討が必要なものもあるかも知れない。
8. このガイドラインの最初に述べたとおり、「ロータリーは質か量か」は会員増強の最も本質的な課題である。増強とは会員数を増やすだけでなく、会員の資質を強くすることが前提にあることは言うまでもない。

2002-2003年度のピチャイ・ラタクル会長は「理想的なロータリアンの後ろ姿を見て新しい会員が自然に入ってくるようなロータリーであれば、会員数の問題は自ずと解決する」と言っている。ロータリアンらしい真の会員を増やし、ロータリーの社会的信望を高め

ることがいま強く望まれている。真のロータリアンとは先にも述べたとおり正義、倫理、信義のいずれの面でも社会から尊敬される人である。また周辺の人達に出来る限りの慈愛の心からの奉仕活動を自らの手足で実践できる人達である。この意味ではロータリーは人間形成の場であり、また自らを磨く道場と心得たいものである。

グローバルな視野と長期の展望を

ロータリーはロータリーが楽しくて仕様がなく、また自分の職業が楽しくて仕様がないう人達の集まりでありたい。また他人に喜んでもらう奉仕活動が楽しくて仕様がないう人達の集まるどころでもありたい。このような楽しみを与えられていることに我々はいつまでも感謝する心を忘れないでいたいと思う。

またロータリーはロータリアンとして結ばれたご縁に感謝し、相手をお互い大切にしよう心を尊重する人の集まりでもありたい。言うまでもないことだが、これはロータリーに限らず社会の一員である一人の人間として基本的にもっとも望ましいことのひとつである。

具体的なクラブ運営にあたっては、親睦と奉仕の両輪をうまく回転させることで、あらゆる角度からクラブの魅力を作り出す工夫を試みたい。クラブはクラブ独自のカラーを十分に生かすことに自信をもていただきたい。この際注意すべきことは起案者の計画を批判するだけでなく、是々非々の議論を尊重しながらも決まったことには自らの手足で実行に移す勇気と行動力、そして協調性を持って欲しい。

親睦について言えば、ロータリーを取り巻く環境はロータリー100年の歴史の間に大きく変遷した。価値観が多様化しただけでなく、人生を楽しむ方法も多種多様となり、例えば安い会費で楽しむ方法はいくらでもある時代である。従って人口密集地帯ほど人口比で見たロータリアン数は低下の傾向にある。現在、我々はロータリアンにとっての親睦とは何かを厳しく再考する必要に迫られている。

奉仕について言えば、ロータリーは大きな社会的貢献をしてきたし、それなりの社会的評価も受けてきた。だが、昨今何となく陰が薄くなった一面がある。ロータリーならではの奉仕とは何か、またロータリー独自の奉仕の実をあげるにはどうしたらよいか、ここでもまた我々には早急に解決すべき課題をつきつけられている。

このようなロータリーの歴史的变化を自覚し、グローバルな視野と長期の展望に立って、これからのロータリーの親睦と奉仕のあるべき姿を求めて討論を重ね、出来ることから実行して、社会の模範となるような言動の積み重ねをしていきたい。これが会員増強の基本と心得たいのである。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 49】

2004年3月10日発行

1. 寄付金速報 ～特別寄付金増進を目標に

2月までの寄付金は、前年同期と比べ5.2%減、約6千万円の減少でした。普通寄付金が3.3%減、特別寄付金が6.2%減です。当会では、頂いた寄付金のすべてを奨学事業費に充てています。今年度の寄付金目標は16億円ですが、このままでは到達は難しい状況です。

前年度寄付額達成率の資料などもお送りする予定ですので、年度末に向けての残りあと4カ月、特別寄付金に重点を置いた寄付増進へのご協力をよろしくお願い申し上げます。

2. 第2期基礎調査タスクフォース委員会報告

～次の主役は皆様一人ひとりです～

3月2日(火)に、第2期基礎調査タスクフォースの第3回委員会が開かれました。最終回となる今回の委員会では、1,000人におよぶロータリアンの貴重なご意見と、1,800人以上の米山学友の声をもとに、『基礎調査から見えてきたもの』と題した報告書をまとめました。

これから地区協議会や米山月間を通じて、地区やクラブでさらにご協議いただき、その声を2006年度の制度改編につなげていく方針です。明日の米山奨学会の方向性を決めるのは、皆様です。米山奨学事業の次なるステップに、どうぞ「手」をお貸してください。

3. 2004学年度の米山奨学金合格者が決定！

2月までに全国で行われたロータリーの地区選考委員会による選考の結果、2004学年度米山奨学金の新規採用合格者650人が決まりました。今年度からの継続者を含めると、926人の米山奨学生が決定しました(クラブ米山奨学金、特別米山奨学金は除く)。地区米山奨学委員長へのアンケートでは、選考において「異文化への認識を深め、理解しようとする姿勢があるか」、「日本語が話せて、コミュニケーションをはかる意欲が高いか」を重視した地区が多かったようです。これから合格者には、地区によって世話クラブが決められ、さらにクラブでカウンセラーが選定されます。5月のオリエンテーションを経て、正式に米山奨学生となります。

4. 「米山奨学事業に役立てて」5人の指導教員から米山奨学会に寄付(2540地区：秋田)

奨学生の指導にあたった大学の先生方から、「些少ですが米山奨学事業に役立ててください」と寄付の申し出があったのは、国際ロータリー第2540地区主催の米山奨学生歓送会での出来事です。このたび、秋田ロータリー・クラブを通じてご寄付いただいたのは、今年3月に奨学期間が終了する米山奨学生の指導教員で、秋田大学、秋田県立大学の5人の教授です。大学を中心に、教育界でロータリーの留学生支援への取り組みは高く評価されています。その理解の輪をさらに社会に広げていくことが、これからの米山奨学会の課題です。

5. 米山奨学生ハンドブックが新しくなりました

2004学年度奨学生に配布する『奨学生ハンドブック』ができました。新しいハンドブックでは、奨学生が困ったときのバイブルとなるよう、目次に工夫し、ロータリアンとの交流についての事例研究や、留学生を取り巻く社会的環境の説明、トラブルに巻き込まれないための心得など、新しい情報を提供しています。地区でのオリエンテーションやカウンセラー研修会で、ぜひご活用ください(奨学生には3月中に配布し、世話クラブ・カウンセラーには、クラブ事務所宛に4月末までにお送りします)。

6. 奨学期間終了式で、ソニーの人事統括部長が記念講演(2750地区・2580地区：東京)

～語学力・専門性・異文化理解の心をもって、
社会に羽ばたいてとエール～

2月19日に都内のホテルで開かれた東京地区(国際ロータリー第2750地区、第2580地区)の奨学期間終了式では、ソニー株式会社人事センター・リソースマネジメント部統括部長の中田研一郎氏を講師として、『日本企業から見た留学生の人材活用』と題した記念講演が行なわれました。中田氏は、留学生を含めた外国人を積極的に採用することで“内なる国際化”を推進するソニーの戦略と現場事情を例に、「玉ねぎではなく、桃になれ。核のある専門性をもって、社会で活躍してほしい」と、これから巣立つ奨学生にエールを送りました。

奨学生は日本と世界を結ぶ「懸け橋」です。その活躍の場は、母国に限らず、日本に、そして世界に広がっています。

※ソニーの中田研一郎氏と大島精次常務理事／広報担当理事との対談『内なる国際化を目指して～知的資源として留学生を考える～』が、「ロータリーの友」4月号のよねやまだよりに掲載されます。ご期待ください。

7. 米山奨学会理事 小林 茂氏 (2540地区) 逝去
国際ロータリー第2540地区の理事 小林 茂氏が、2月6日にご逝去されました。享年73歳でした。小林理事は、1998-99年度の同地区パストガ

バナーで、2000年8月から当会理事となられ、任期は2005年8月までの予定でした。2001年8月からは、広報専門委員としてご奉仕くださいました。ここに謹んで哀悼の意を表し、氏のご冥福をお祈りいたします。

財団法人ロータリー米山記念奨学会
編集担当：峯

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール：

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ：

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

ポール・ハリス・フェロー

栗山 R C	利国 奈美子	会員	2月20日
札幌西 R C	村上 登	会員	2月27日
札幌西北 R C	小川 真治	会員	2月13日
倶知安 R C	富樫 ゆきゑ	さん	2月20日
(富樫美津雄会員夫人)			

お詫び：ガバナー月信第9号（3月号）のマルチプル・ポール・ハリス・フェローで、札幌東RC、赤倉正人会員とお知らせ致しましたが、正しくは朝倉正人会員です。関係各位に深くお詫び申し上げます。

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌西北 R C	馬 杉 榮 一	会員	2月12日	第2回 (マルチプル)
恵庭 R C	三 浦 孝 治	会員	2月5日	第1回
千歳 R C	福 田 武 男	会員	2月20日	第7回 (マルチプル)

功労クラブ

千歳 R C	2月20日	第1回
--------	-------	-----

文庫通信(198号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会誌より

- ◎「作家生活30年を迎えて」 宮尾登美子 2003 11p (D.2560 記念講演)
 - ◎「これでよいのか日本の食」 小泉武夫 2003 9p (D.2530 記念講演)
 - ◎「ふる里の水をきれいにするために」 廣木謙三 2003 4p
(D.2530 シンポジウム基調講演)
 - ◎「わが父 太宰治の真実の愛」 津島園子 2003 4p (D.2830 記念講演)
 - ◎「講話(教育問題など)」 中曽根弘文 2003 8p (D.2560 講話)
 - ◎「地球は俺らのステージだ！」 大場満郎 2003 5p (D.2810 記念講演)
 - ◎「今、日本が直面する内外の課題」 櫻井よしこ 2004 15p (D.2780 記念講演)
 - ◎「ロータリーの愛を地域社会に一劣等ロータリアンのつぶやき」 東島末起 2003 7p
(D.2520 基調講演)
 - ◎「アナトリア考古学について」 寛仁親王殿下 2003 4p (D.2800 特別講演)
 - ◎「今、なぜ日本がトルコで考古学の発掘調査を行うのか」 大村幸弘 2003 6p
(D.2800 特別講演)
- [上記申込先：ロータリー文庫(コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F
 TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>
 開館=午前10時~午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします

藤林 稔 充 会員 (札幌南RC)



2004年2月10日ご逝去(享年74歳)

ロータリー歴等

1970年8月3日入会

1991年 第36代会長

ポール・ハリス・フェロー

米山功勞者

*** 掲示板 ***

・例会変更のご案内

- | | | |
|-----------|----------|---|
| ★羽幌 R C | 4月29日(木) | 休会 |
| ★赤平 R C | 4月17日(土) | クラブ主催による講演会 13:30~
テーマ:「私が変われば人生も変わる」
講師:五十嵐 仁氏
(株)インターフェイス 代表取締役)
場所:みらい4階 |
| ★芦別 R C | 4月16日(金) | 夜間例会 18:00~ 場所:鰯広 |
| ★美唄 R C | 4月8日(木) | 夜間例会 18:30~ |
| | 4月29日(木) | 休会 |
| ★江別 R C | 4月8日(木) | 移動夜間例会(ボウリング大会)
18:00 ボウリング 19:00 点鐘
場所:原始林ボウル |
| | 4月29日(木) | 休会 |
| ★札幌清田 R C | 4月2日(金) | 第5グループ(8RC)合同例会(4月6日の例会を変更)
※サッポロルネッサンスホテル改装により全館休業の為、4月6日(火)の昼間受付は実施しません。 |
| ★室蘭東 R C | 4月21日(水) | 休会(2月8日の振替) |

・メールアドレスの変更について

- ★千歳 R C のメールアドレスが、c-rotary@phoenix-c.or.jp に変更となり、合わせてホームページも <http://www.phoenix-c.or.jp/~c-rotary/> で開設しました。
- ★芦別 R C の小畑陽彦幹事のメールアドレスが、***** に変更となりましたので、地区名簿のご訂正をお願い致します。

親睦活動委員会ニュース

●JGFR(日本ゴルフ同好会)国内大会

- 第2回JGFRお花見東京大会
日 時:平成16年4月5日(月)
コース:小金井CC
- 第14回JGFR北海道大会
日 時:平成16年6月14日(月)
コース:札幌ゴルフ倶楽部(輪厚コース)
- 第7回JGFR大阪大会
日 時:平成16年9月9日(木)
コース:茨木CC
- JGFR広島大会
日 時:平成16年10月12日(火)
コース:広島八本松CC
- 第18回JGFR東京大会
日 時:平成16年11月8日(月)
コース:小金井CC

●IGFR世界大会

- 41th大会
日 時:2004年5月17日(月)~21日(金)
コース:米国・NC州・シャルロット
- 42th大会 2005年
オーストラリア キーンズランド
- 43th大会 2006年 トルコ アンタリア
- 44th大会 2007年 フィリピン マニラ

※詳しくは地区親睦活動委員会へ
(親睦活動委員長 灰野 篁)

2月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 2. 29	増減	内女性	
1	深 川	4	43	42	-1	2	73.85
	羽 幌	4	47	47	0	1	74.45
	妹 背 牛	3	10	10	0	0	86.00
	小 平	4	16	16	0	0	68.75
	留 萌	3	64	63	-1	0	89.58
	小 計		180	178	-2	3	78.53
2	赤 平	4	35	36	1	2	83.75
	芦 別	4	58	55	-3	0	91.67
	砂 川	3	55	55	0	0	97.49
	滝 川	4	109	108	-1	2	72.00
小 計		257	254	-3	4	86.23	
3	美 唄	4	47	44	-3	0	88.88
	江 別	4	46	46	0	1	86.93
	江 別 西	4	40	38	-2	3	92.77
	岩 見 沢	4	100	100	0	0	89.32
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	83.25
	栗 沢	3	33	31	-2	2	92.47
	栗 山	4	32	32	0	2	96.48
	当 別	4	42	39	-3	0	85.26
	小 計		374	366	-8	11	89.42
4	札 幌	3	113	127	14	0	97.88
	札幌あけぼの	3	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	4	30	29	-1	5	68.52
	札 幌 北	4	54	55	1	5	86.58
	札幌モーニング	3	60	62	2	0	74.32
	札 幌 西	4	74	76	2	2	91.87
	札 幌 西 北	4	50	49	-1	2	89.24
	札 幌 手 稲	4	44	41	-3	1	98.78
	小 計		443	456	13	16	88.40
5	札 幌 東	4	118	127	9	0	99.57
	札 幌 清 田	4	29	28	-1	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	75	-6	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	3	46	45	-1	2	97.46
	札 幌 南	4	90	95	5	0	94.63
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	77.19
	札幌セントラル	4	19	19	0	6	69.70
	新 札 幌	3	36	36	0	1	89.62
	小 計		438	444	6	18	91.02
6	岩 内	4	35	36	1	0	74.16
	倶 知 安	4	57	57	0	4	73.68
	小 樽	4	88	84	-4	0	86.46
	小 樽 南	4	86	85	-1	0	90.26
	小 樽 銭 函	4	22	23	1	3	79.35
	蘭 越	4	15	15	0	0	86.66
	余 市	3	46	44	-2	4	84.83
	小 計		349	344	-5	11	82.20

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,310人 (97人)
増加会員数	6人
当月平均出席率	84.07%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03. 7. 1	04. 2. 29	増減	内女性	
7	千 歳	4	72	71	-1	2	87.70
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	88.35
	恵 庭	3	50	50	0	0	76.61
	北 広 島	4	15	18	3	2	91.18
	長 沼	4	17	20	3	4	86.70
	由 仁	4	16	16	0	0	87.50
小 計		201	205	4	8	86.34	
8	え り も	4	23	25	2	0	80.00
	三 石	4	18	18	0	1	93.00
	様 似	4	20	19	-1	2	61.88
	静 内	3	68	70	2	0	79.41
	浦 河	4	42	42	0	1	85.71
	小 計		171	174	3	4	80.00
9	伊 達	4	55	58	3	0	72.64
	室 蘭	4	56	55	-1	0	87.91
	室 蘭 東	3	48	47	-1	0	84.30
	室 蘭 北	4	39	38	-1	2	80.92
	登 別	3	39	41	2	2	85.37
	洞 爺 湖	5	12	11	-1	0	90.90
	小 計		249	250	1	4	83.67
	10	函 館	4	101	104	3	0
函 館 亀 田		4	47	47	0	1	84.58
森		3	48	48	0	0	80.00
七 飯		5	29	30	1	0	65.00
長 万 部		4	12	13	1	0	75.00
小 計		237	242	5	1	75.70	
11	江 差	4	21	18	-3	0	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	71	7	0	89.58
	函 館 東	3	60	57	-3	6	78.40
	函 館 北	3	43	39	-4	0	79.28
	上 磯	4	33	31	-2	3	69.40
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		230	225	-5	10	76.39	
12	白 老	4	32	33	1	2	78.00
	苫 小 牧	4	61	61	0	0	70.73
	苫 小 牧 東	4	33	31	-2	3	85.90
	苫 小 牧 北	4	49	47	-2	2	98.09
	小 計		175	172	-3	7	83.18
合 計		3,304	3,310	6	97	84.07	

地区カレンダー（4月・5月）

4 月	
1(木)	
2(金)	第5グループ（8RC）合同例会 （サッポロルネッサンスホテル）
3(土)	
4(日)	
5(月)	
6(火)	
7(水)	
8(木)	
9(金)	
10(土)	第3回財団学友委員会 （サッポロルネッサンスホテル）
11(日)	
12(月)	
13(火)	第4グループ（4RC）合同例会 （札幌グランドホテル）
14(水)	
15(木)	
16(金)	
17(土)	地区協議会（室蘭市民会館・蓬峯殿）
18(日)	
19(月)	
20(火)	R財団国際親善奨学生応募締切
21(水)	
22(木)	
23(金)	
24(土)	
25(日)	
26(月)	
27(火)	
28(水)	
29(木)	みどりの日
30(金)	

5 月	
1(土)	
2(日)	
3(月)	憲法記念日
4(火)	国民の休日
5(水)	子どもの日
6(木)	
7(金)	
8(土)	
9(日)	第2グループ・合同例会（芦別北の京）
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	栗沢RC創立40周年記念式典 （栗沢町立町民センター）
16(日)	第1グループ・ワークショップ （留萌市中央公民館）
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	国際大会ROX全国会議
23(日)	国際大会（大阪）
24(月)	国際大会（大阪）
25(火)	国際大会（大阪）
26(水)	国際大会（大阪）
27(木)	
28(金)	
29(土)	RAC地区年次大会
30(日)	
31(月)	



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

5

MONTHLY LETTER No.11

2004. 5. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
国際協議会の報告	3
会長エレクト研修セミナー報告	4
河邨文一郎P Gご逝去	5
国際大会ご参加の皆様へ	6
第4回家庭奉仕委員会勉強会の報告	7
青少年交換委員会報告	8
派遣GSE報告	10
地区クラブ奉仕委員会報告	13
第14回JGFR北海道大会のご案内	14
会員投稿/新入会員のご紹介	16
「地区大会in赤平」のお知らせ	17
日本事務局からのお知らせ/訃報	18
ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	19
ハイライトよねやま50	20
文庫通信	21
掲示板	22
3月会員数・出席率	23
地区カレンダー	24

ガバナーメッセージ



規定審議会に注目しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

規定審議会は3年に一度開催されるロータリーの立法機関である。開催地は今回から以後、ロータリーの発祥の地シカゴで毎回開催される事が決まった。今年度は6月13日～19日の間開催され制定案、決議案あわせて427の案件が提案されている。審議会は世界529地区からそれぞれ選出された1名の代表議員で構成され、定足数を2分の1とし案件全てがここで討議され否決か採択かのいずれかに決定がなされる。審議会の決定は、世界の全クラブ(31,500余)の幹事に送付され、採択された案件に反対の意思表示をしたクラブが1割に達するとその案件は一時保留され、RI事務総長は保留された案件を世界の全クラブに賛否を問うが過半数に達すると、その案件は無効となる。とRI細則は規定している。そこで注目したい案件はRI細則17.030.1の人頭分担金(手続要覧237頁)についてである。RI理事会は3年にわたり4ドルずつ値上げしたい、との改定案を提案している。日本の理事さんは8年間据え置いたし、その間の物価上昇を考えると相当ではないかと言う。地区の或るPGは為替相場が円高になっているのだから当然だと言う。私は、皮相的側面のみを捉えて良しとすることには、いささか疑問を感じている。「ロータリーの友」誌2003.8月号20頁を参照したい。そこにはシカゴRC唯一の日本人会員であり元副会長までされた方が、「発祥シカゴRCの裏と表」という題で、東京北ロータリークラブで卓話した話が掲載さ

れている。ここでは2箇所にわたりシカゴRCの会員は425名の会員を擁している、と明確に話されている。RI公式名簿には222名の登録である。半数近い会員は…である。確かにロータリークラブはシカゴの4人の仲間から拡大し、122万人の大組織となった由緒あるクラブである。このことを最大限に評価するとしても半数弱の会員の人頭分担金を払わなくても良いと言う論理に大きな疑問を禁じえない。発祥のクラブだからこそ襟をただし甘えることなく、世界の会員をロータリーに惹きつけてやまない指導的クラブであって欲しいと切に願うのである。このことについて、同期4人のガバナーからRI日本事務局の大島四郎局長宛てに公開質問状を出したが、その回答は、RI公式サイトでは222名である、という形式的回答がきている。この様な由緒ある会員(シカゴRCの名誉会員は27名である。)を会員として正式名簿には登録しない。こういう扱いで世界の会員は納得するであろうか。不正に目を瞑り、取れるところから取れ主義的なRIのやり方には大きな疑問を感じると同時に義憤を覚える。後進国における分担金の滞納も規定から言えば終結しなければならないクラブがあるという。そういうものは看過し値上げに踏み切る。会員は敏感にそれを感じ取るからこそ、僅かな値上げに対しても疑問視を付するのである。4つのテストの「皆に公平か」は値千金の重みがあることを忘れてはいけないのではないだろうか。

ガバナー日記(8)

2月26日(木) 15時から札幌パークホテルで地区ロータリー財団委員会を開催。2005～2006年度の財団シェア配分につき話し合った。シェア配分については、財団委員会だけでなく、配分される関係委員会を入れて十分に討議したうえで決定されるべきである。同日17時から札幌東RC創立45周年記念式典が札幌ロイヤルホテルで開催された。台湾大同RCと友好クラブ提携式典が16時から挙行されたと報告があり、続いて記念式典、記念懇親会へと移り盛大に華やかに行われた。坂東会長おめでとう御座いました。

2月29日(日) 室蘭プリンスホテルで地区チーム研修セミナーの開催。主役は遠藤エレクトであり私は招集者の役割りだけのため気楽に参加させていただいた。

3月4日(木) 地区ロータリーの友委員会が後楽園ホテルで開催。佐藤委員長からクラブの雑誌委員会の名称をロータリーの友委員会と改めるよう要請があったが、トップダウンの命令的なものではなく各クラブの自主性に任せるべきとの結論に達した。

3月5日(金) 地区補助金委員会を伏木委員長の会社会議室をお借りして実施。長沼RCから国際交流フェスティバル実施のため、千歳RCからは社会福祉法人の敷地に植樹のための資金として補助金の申請があった。千歳RCからは申請の取下げがあり長沼RCは申請の一部が認められた。

3月9日(火) 浦河RCの夜間例会に招待され地区代表幹事とともに参加。暖かいもてなしを受ける。浦河はやはり遠い、日帰りしたが、帰りは中国からの黄砂とガスで5m先が見えず、運転する木村代表幹事は疲労困憊、同乗した私たちも同様だった。三枝会長有難う御座いました。

3月11日(木) 臨時のガバナー諮問委員会を札幌グランドホテルで開催。次年度の組織図並びに地区委員会委員委嘱の件について話し合いを持った。特にWCS委員会の資金については、クラブが事業主体である

からクラブが大部分の費用を負担して実施するのが望ましいのではないか。

3月13日(土) PETS (President-erect Training Seminar) 会長エレクト研修セミナーが登別プリンスホテルにて、土、日の2日間に亘り開催された。2日目の全体会議の中で或るグループの会長エレクトから、ロータリーに入会してメリットは何ですかとの質問があったと報告を受けた。多分入会して浅い会員だと思うが、ロータリーは人生道場である事を忘れてはいまいか。それとも入会時におけるロータリー教育が行き届いていないのではないかと危惧してならない。

3月20日(土) 森RC創立40周年記念式典、9時47分南千歳からJRで地区幹事らとともに森町のプラザ武蔵に向かう。14時受け付け、15時式典、16時から懇親会に入る。暴れている海老の皮をむき、醤油をつけて一気に食するは誠に持って痛快なり。又、本マグロを築地から取り寄せ参加者に振る舞ってくれた。23時帰宅、渡辺会長、三浦実行委員長有難う御座いました。

3月26日(金) えりもRCの夜間例会に招かれ事務所を13時に木村代表幹事、中村地区幹事、井上地区会計の4人で出発。4時間かけて襟裳に到着。少し時間があるのでえりも灯台まで足を伸ばした。30余年ぶりに森進一が歌った「えりもの春は何もない春」を口ずさみながら、灯台の岸壁から見下ろす海はヒュウヒュウと風に流され波立っていた。雪解け間もない襟裳の春は寒く、風だけが騒いでいる。ふとNHKで放映されたプロジェクトXが思い出された。苦節50年丸裸の山に木を植え、枯れても枯れても植え続けた襟裳の人達。そして素晴らしい漁港にした人達の事を思い浮かべると、地球上には素晴らしい人々が沢山いることを知り目頭が熱くなるのを覚えた。菅沼会長、岩本幹事、そしてえりもクラブの会員の皆さん本当に有難う。

国際協議会の報告



ガバナー・エレクト

遠藤 秀雄 (登別RC)

入りて学び、出でて奉仕せよ

529地区のガバナー・エレクトと配偶者が一堂に集い、皆が同じプログラムで国際協議会の研修を受ける機会に恵まれました。会場は、今年も米国カリフォルニア州アナハイムのヒルトンアナハイムで、大中小の会議室が十分に用意され、客室も全員が宿泊していました。

2月15日(日) 入りて学び

12時半頃に到着、昼食後、東日観光の添乗員諸君が、手際よくチェックイン手続き、協議会登録を済ませてくれ、各自、自室で小休止とは言っても、旅装を解いたり、名刺交換の準備、プログラムの点検で結構忙しい思いをしました。16時から合同礼拝に引き続き、RI会長主催の歓迎レセプション、ビュッフェ式夕食が大ホールであり、外国語に不慣れな我々は、日本人同志で緊張しながらの食事でした。その夜は、これからの1週間が思いやられ、睡眠剤の力で眠りにつきました。

2月16日(月) 2004-05年度プログラムの定義付け

8時45分から開会本会議、役員を含めると1300人以上が集まる中、マジリアベ会長の開会宣言及び歓迎の辞、ロータリー加盟国の国旗入場式、ナイジェリア及び米国の国歌演奏の後、エステス会長エレクトから「次年度のテーマに関する講演」があり、「ロータリーを祝おう」のテーマ発表がありました。これに引き続き、日本人のガバナー・エレクトを2グループに分けて、グループ討論「2004-05年度のテーマ」が行われました。RI研修リーダーは、黒田正宏、上野孝、川尻政輝パスト・ガバナーで、2

グループを交代で務めていただきました。午後からの第2回本会議で、会長強調事項がマジリアベ会長から示され、直後のグループ討論で「識字率及び家族」、更に「保健及び水」について討議が行われました。

プログラムの一端をご披露しましたが、21日まで本会議が10回、グループ討論が16回、その日のテーマに基づいて研修が行われました。ご夫人方も、本会議以外に配偶者本会議や円卓討論、友情の家等のプログラムが組まれ、時間的余裕はなかったようです。

その日、その日のテーマが定められており、それに沿った本会議での話題が、すぐグループ討論の場で具体化され、深められてゆく教育的プログラムの組立て方の周到さ、合理性はみごとなものでした。そこにロータリーの伝統の重みと、その熱意に感動を覚えました。

ロータリーには親睦が大切です。18日以降の夜の部は、「国際親善晩餐会とダンス」、「理事主催のレセプション」、「国際祭りの夕べ」、「お別れ晩餐会と閉会本会議」が催され、活発な親睦活動やお国自慢で楽しい思い出ができました。特に、日本チームは「おはら節」を踊り大変好評でした。ご夫人全員の着物姿(美貌も含め)が圧巻だったようです。大阪での国際大会も、派手に宣伝して参りました。

今、当時の資料を見ながら思い出しても、心に残る意義深い研修会だったと感じています。と同時に、その成果が皆様方に旨くお伝えできるか、不安な気持ちでいっぱいです。宜しくご指導賜りますよう、お願い申し上げます。

会長エレクト研修セミナー (PETS) ロータリー財団・米山記念奨学会セミナー報告

会長エレクト研修セミナーは昨年同様、ロータリー財団セミナーおよび米山記念奨学会セミナーと同時開催という、一泊二日の日程で3月13、14日に湯の郷・登別温泉「グランドホテル」において開催され、総勢201名が集まりました。

先ず佐藤ガバナー点鐘のもと、遠藤ガバナーエレクトが次年度RI会長のテーマ「CELEBRATE ROTARY (ロータリーを祝おう)」について紹介され、プログラムにそって各次年度委員長より活動方針の説

明が続き、出席者らは熱心に耳を傾けていました。

セミナー終了後はお楽しみの懇親会が設けられ、和やかに歓談し合い友好を深めるとともに、研修2日目の鋭気を養いました。

2日目は伊藤長英地区研修リーダーの基調講演が行われ、その後6つの分科会による「グループ討論会」を展開しました。各分科会場とも時間が足りないほど活発に意見交換し、次年度リーダーとしての研修が無事終了致しました。



河 邨 文一郎 会員 (札幌西RC) 平成16年3月30日ご逝去 (享年87歳)



ロータリー歴

1962年8月21日 札幌西RC入会
1971～72年 クラブ会長
1972年9月23日 RI第350・351地区年次連合大会実行委員長
1980～81年 RI第251地区第3分区代理
1984～85年 RI第251地区ガバナー
クラブでは、社会奉仕委員長、ロータリー情報委員長を始め多くの役職に就任されました。

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者

亡き河邨パストガバナーを偲んで

1983-84PG 竹山 涼一
(1997-99RI元理事)

今から丁度20年前の7月から当地区ガバナーに、私の後継者として就任された河邨文一郎先生が、去る3月30日の午後4時45分、入院先の札幌医大病院で逝去されました。残念でありません。

医師として、又文化人（特に詩人）として万人の敬愛する河邨先生の功績は誠に偉大なものがありました。この辺の詳細は亡くなった翌日のテレビ・新聞等で殆どの皆さんがご覧になっておられると思いますので、この月信では特にロータリーの当地区指導者同士の想い出話を中心に拙文をしたため、追悼の辞に代えたいと思います。

当時はガバナー・エレクトという名称はガバナー就任の直前の国際大会で初めて与えられ、それだけ現職とノミニエとの接触が深く、まして同じ札幌市出身の場合は様々な会合に御一緒にする機会が多かったようです。

楽しかった想い出は、渡島半島の森ロータリークラブの創立20周年記念式典に先生と2人で私の運転する車で訪れた時でした。当時は高速も少なく、往復7～8時間の道を様々な会話で楽しく過ごしました。先生のそれ迄の半生の物語、或いはお互いのロータリー観の話し合い、ロータリーの過去や未来についての自由な意見交換、等々。そのとき初めて心底からお互いを理解できたと思います。

さて、河邨ガバナーの月信第1号にある彼のロータリー観とも言える一節を引用しましょう。「人間は誰しも生き甲斐のある人生を望むものです。それには情熱を注ぎ得る仕事を持たねばなりません。それも、日々発展していく仕事を持つことと言えるでしょう。自分の仕事に情熱を吹き込み、それを通じて人生に生き甲斐を生み出してくれる最大の源泉がロータリーであると私は思います— 後略」

最後になりましたが、ロータリーとは別にこれだけは触れておきたいひとことがあります。それは札幌での冬のオリンピックの歌「虹と雪のパラード」についてです。いつ聞いても、30年経った今でも、心に響く素晴らしい歌詞であり、メロディーであると私は信じます。

河邨先生、それでは安らかにお眠り下さい。

合 掌



国際大会ご参加の皆様へ

RI2004年国際大会（関西）事務局

いよいよ国際大会（関西）が開催される月になりました。登録者数も国内外を合わせて、お陰さまで4万人を突破し、皆さまのご協力があってこそその結果であります。本当に有難うございました。

さて、ご来場に際してのご留意事項です。

●コングレスバッグ受取り

5月初旬にRIから届いた「登録封筒」に“HOST BAG VOUCHER”（バッグ引換券）が入っていますので、大阪ドームでお受け取り下さい。

- ・受取り期間：5月23日（日）12：30～15：00
- 5月24日（月）08：30～13：00
- 5月25日（火）08：30～13：00
- 5月26日（水）08：30～13：00

*大阪ドームでお受け取りになるものは、

1. コングレスバッグ（ホスト記念品袋）
2. ネームバッジ入れ（首にかけるもの）
3. 大会プログラム

●当日登録は下記の時間帯で両会場で行なわれます。

月日	場所	大阪ドーム	大阪国際会議場5F メインホワイエ
5月21日（金）			08：00～18：00
5月22日（土）			08：00～20：00
5月23日（日）	08：00～17：00		08：00～17：00
5月24日（月）	08：30～13：00		08：00～18：00
5月25日（火）	08：30～13：00		08：00～18：00
5月26日（水）	08：30～13：00		08：00～13：00

*信任状の査証提出先も両会場となっております。

●チケットイベント

- ・ホスト主催イベントのチケットは、実行委員会事務局へクラブ単位でお申込頂いた方へは、申込書に明記された送付先へ順次、郵送致します。
- ・RI主催のチケットは、RIからの「登録封筒」に同封されています。

国際大会（関西）でお会いしましょう！

札幌インナーホイールクラブ・ブースの御案内

2004年度ロータリー国際大会大阪市開催に於いて、札幌インナーホイールクラブのブース（ブース番号209）が5月23日から26日まで、リーガロイヤルホテルの友愛の広場に設置される事が決定しました。

インナーホイールは、ロータリアンの家族により結成された十万人以上の会員を有する国際組織であり、日本では札幌インナーホイールが唯一のクラブです。5周年を迎えました記念すべき年に大阪国際大会にブースを開設し、皆様にとって戴く事はこの上ない喜びでございます。

開会式に御出席の折には、是非多くのロータリアンとその家族にお立ち寄り戴き、インナーホイールについての御理解、御賛同をお寄せ戴けますよう御案内申し上げます。

ブース設置場所：リーガロイヤルホテル2F 牡丹の間

札幌インナーホイールクラブ
会長 笠原 不二子

第4回家庭奉仕委員会勉強会の報告



地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三 (札幌南RC)

3月20日(土・祝)に、北星大学教授の相馬幸子先生を講師にお願いし、先生のライフワークである児童虐待問題についてお話をお聞きしました。先生は児童虐待をやめられない両親からのカウンセリングを30年以上にわたり続けられておりますが、そのご経験から、下記のような虐待スペクトルがあると申されました。

1. 虐待スペクトル

一般的な育児不安から、不適切な育児、育児放棄(虐待の恐れ)の延長に軽度の児童虐待があり、中等度の虐待、更に重度の虐待へと連続しているというのです。

即ち、「一般的な育児の悩みの中に児童虐待の要素が含まれている。全ての母親が、何らかの育児の悩みを持ちながら子育てをしている。健全な育児をしているといわれる母親も、理想的な育児をしているのではなく悩み、間違いながら育児をしている。悩みの程度や困難によって、前記のいくつかの層に分けられるが、境界はあいまいである」ということだそうです。

2. 相談者の内容

現実に虐待のカウンセリングを受ける方は、虐待者(70%)や目撃者(25%)が大半で、被虐待者からの相談は例外的であるとのこと。

虐待の原因になる要因の半数は、母親の育ちにある。又3分の1は、人間関係の破綻、及び母親に病的な精神症状が認められる、とのこと。

3. 虐待する親に共通して認められること。

(虐待の3点セット)

- ア、自己評価の低いこと。
(私はだめ人間、母親失格とよく訴える。)
- イ、他人に対する怒りの感情を持っている。
(親、夫、社会、自分、など様々で、子供がはげ口になっている。)
- ウ、密室状況の中で暮らしている。
(誰も親身に相談する人がいない。)

4. 相馬先生のカウンセリングの基本的な姿勢。

- ア、そんな酷いと思える行動でもその人なりの理由がある。
- イ、どんな問題にも例外(うまくいっていること)がある。
- ウ、マイナスよりプラスの部分に目を向ける。

その上で、以下のように具体的に聞くということです。

- ア、決して、虐待や不適切な子育てを責めない。

逆に力になることを伝える。

イ、関心を持ってよい聞き手になる。(説教しない。教えない。アドバイスしない。反対しない。関心を持って聞く。)

ウ、労わり、労いの言葉をかける。(大変だね。よくやっているね。頑張っているねなど。)

エ、誉めること。(母の育児態度も、子どもが順調に育っていることも)

オ、未来の希望について聞く。(「どんな風にしたら少し楽?」)

先生のお話から、結局児童虐待問題が、このように病的に進行しているのも社会の教育力が減退したためということが良く分かります。

とにかく「おはよう」でも何でもいいから、一声かけて社会の中で生かされていることを実感しながら生きていくことが大切だということが改めて理解されました。

過日、江差RC主催のシンポジウムにおいて、中学校の校長先生が、江差地方には昔から「おせっかい」という意味の言葉があり、他人の家のことでも介入するという慣わしがある。それが、良い意味で機能していると言われていたのを思い出しました。

家庭において、一声の声掛けが出来ないようでは社会において他人に一声かけるということは、無理だと思います。先ず身内から、一声かけるという心がけが大切ではないでしょうか。

子どもの虐待と、その防止のための私の試み(あいば さちこ)

1. 虐待と一般の子育ては連続している

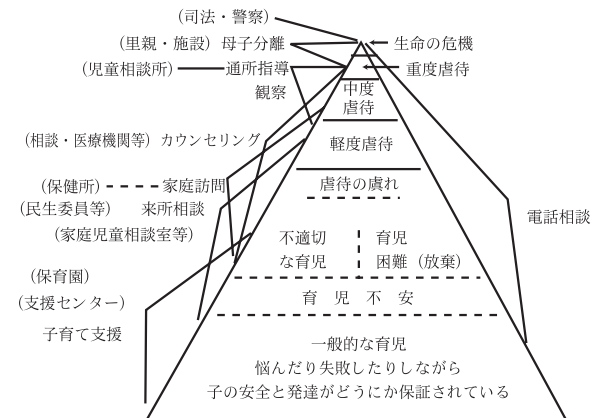


図1 虐待スペクトラム

青少年交換委員会報告
 (SPRING SKI CAMP de NISEKO HIRAFU)



アリサ



転んでもリンダ



本格派キャシー

3月20日(土)、21日(日)ニセコヒラフのホテルスノーユニバースにて、スプリングスキーキャンプが行われた。留学生、派遣学生等、新世代が16名、ホストファミリー、ロータリアン、カウンセラー、地区委員等が8名、計24名が羊蹄山の頂を横目に眺めながらスキー、スノーボードをおおいに楽しんだ。初めてで怖いよーと音を上げたアリサ、転びながらも楽しーとなかなか山から下りないリンダ、スティブンやリンダにスノーボードを一生懸命コーチしていたキャシー、もう1回もう1回と皆を驚かせたジェ

ンマ、早くから到着してひと滑り終えていたヒューとエバン。由仁からやってきたしっかり者の次期派遣の翔兵とエバン、前日から野澤委員長宅で過ごしたケイとジェンマ、次期派遣の菜由も沙耶加も彩知も寿理ものびのびとスポーツを楽しみ、いい汗をかいていた。次期派遣のジェンマのホストファミリーである杉本家は、海外経験豊かで、なるほど理解のあるお父様と、姉の茉莉さんも参加して下さいました。ありがとうございました。



沖縄、大阪、埼玉人と



お前ら、いい加減にせーよ【赤裏】



お風呂どこ???

メキシコには、スキーリゾートは無いと言うリンダのすべりは、2回目とは思えぬほど達者であった。(30秒おきに転んでいたけれど)、カナダのキャシーは、さすが本場、足をテーピング、準備体操も念入りにO-エバン [オーストラリアのエバン] にアキレス腱を伸ばしてもらって20分以上もかけていた。リンダにも準備体操をしろ!と言ったら、ひざを2回屈伸させ、なんと2秒で終わった。楽天的でユー

モアのあるリンダは、ことあるごとに笑いを引きおこしてくれた。来たばかりなのにヒューの日本語は以前より勉強してただけあって、ものすごく上達していた。夕食のマグロの刺身をおいしそうに食べていた。A-エバン (アメリカンのエバン) は、「いやだよ、俺。」と日本人そのもので、キッチンから夕食時、納豆を2パックもらって【納豆が無いと生きていけないらしい】みなを驚かせていた。

ちょっと弱音を吐いていたアリサも夕食後のカラオケタイムでは、元気な歌を聞かせてくれたし、菜由や光にアクセサリーを見せたりして仲良しが増えたようだった。初めてで、足の痛くなったスティブンは部屋で9人もの友達にEメールをして、満足げで

あった。沙耶加も彩知も寿理も光もカラオケタイムに大好きな歌を思い切り歌い、アメリカやオーストラリア、メキシコ、カナダの乗りのよさを肌で感じて次期派遣の大いなる参考になったようだった。夕食後、9時からのナイトレクでは、キャシー、



ケイと沙耶加



日本語上手なヒュー



翔兵と「俺、納豆」のエバン

A-エバン、ヒューの3人に全てを任せて、3つのゲームレクを行った。さすがに人を楽しませるのが上手で、大人もつい夢中になって真剣勝負をしてしまった。余市RCの佐々木忠会員が、格安にナイキ

のキャップとタオルを提供して下さい、みんなとても喜んでいて、感謝!!!ありがとうございました。上磯より増田幸久会員様、遠い所、リンダ、キャシー、スティブンを引率して下さい感謝申し上げます。



おいしい! ジェンマ



スキー上手の高橋麗秋さん



おかわり! はやくして!!

こうして、たくさんの笑顔と交流できたことで、子供たちもまた一回り大きくなったようです。また、事務局の土田先生、赤裏委員、30年ぶりの野澤委員長のスキーの指導はじめ、山の上の管理指導ご苦労様でした。

皆様の暖かいご協力で、楽しい春のスキーキャンプを無事に楽しく終えることができました。心より、御礼申し上げます。

(文：地区青少年交換委員 荒木麻美子)

派遣 G S E 報告

第3830地区・フィリピン（受入地区）

GSE副委員長 大場 康 弘

3月11日（木）にGSEチームは2泊3日でパラワン島にあるクラブ、プエルトプリンセサロータリークラブを訪問しました。

皆さん真っ赤に日焼けして帰って来られました。素晴らしい海のきれいさに皆さん感動を覚えたようです。本当は帰ってきたくなかったようですが…。

到着日から私が2日間お世話をさせていただくようになりました。正直なところ、皆さん毎日の大変なスケジュールで疲れもたまっているはずですが、ここで小休止をさせてあげようと思い、この2日はたいした予定も入れず、グルメツアーとちょっとした訪問を行いました。

まず、フィリピン総合病院を訪問しました。案内をして下さったのはルイサ医師で、彼女はLINGKOD ER財団を立ち上げました。直訳すると救急治療室への奉仕活動です。フィリピンの国立病院は予算が足りません。この病院には一番最低レベルの患者が運ばれてきます。お金はありません。病院は一応国立なので医者は診てはくれますが、注射針の一本から点滴、薬、検査費用は全部実費です。ほとんどの患者さんには予算が回らず、自分で払うか家族が工面してきます。

この工面ができず緊急を要する患者さん、例えばストリートチルドレン、物売りなどが交通事故にあった場合など、家族がいまないのでお金はもちろんありません。そういうケースを何とか救おうとしてこのLINGKOD ER財団が設立されました。この財団は約2千人の医学生とインターンのお医者さんが参加しています。

費用はいろいろな団体、企業、ロータリークラブなどよりの寄付でまかなわれております。

パラワンよりの到着後、ホテルへチェックインし、昼食をとり、チャイナタウンへ行きました。そこで

は有名な飲茶屋さんでお昼になりました。

その後、フィリピン総合病院を訪問しました。病院到着後、先生よりこの病院の現状の説明を受けました。GSEのメンバーの表情は真剣そのものです。その後病院内を案内していただきました。写真でもおわかりのようにERが改装工事中ということもあって、廊下には患者さんがあふれ返っています。ストレッチャーはクッションなしのステンレスです。これが廊下に並び、運のいい患者さんだけがこのステンレスのストレッチャーに寝れます。それ以外は廊下の通路になります。

これらの写真はERともう満杯で病室が無い人たちがひしめき合っています。その最中にも破傷風の治療費（千円）が無かった子供が最悪の事態を招き、気管支に送管作業中をしている場面に出会いました。

小嶋さん・福地さんは真剣そのもの、小嶋さんはさすが看護師、医者の不器用さに見かねて自分で近くまで行ってもう少しで手を出すところでした。呼吸器も手動式でしかありません。もちろんお金が無いから機械式のものを使えません。手動式も古く作業中に管が外れるような始末。このようなシーンに皆さん嘖然としておりました。

最後に、ルイサ医師より「皆さんにできることがあったら何でも結構です。中古の医療機器、期限切れの薬でもなんでもいいので協力をしていただけたら」との要請を受けておりました。

GSEの皆さんは今までと違った本当の意味での勉強をなさったはずですが、誠に不謹慎ですみませんが、皆気分を入れ替えて、夕飯は韓国料理に行きました。今までのフィリピン料理攻めにそろそろ飽きてきたメンバーは大喜びでかぶりついていました。

12日は日本大使館を表敬訪問します。



パティGSE委員長からのチームメンバーの近況

3月13日(土)にはコルテス・ガバナー主催の素晴らしい日本食の歓迎夕食会がありました。その後、裕美(小嶋さん)が少しアレルギー気味になり、そして信昭(福地さん)が発熱して二人ともホテルに残る一方、残りのメンバーは翌日週末のビーチに行きました。慎二(佐久間さん)と拓美(紺野さん)はヨットに乗って少し船酔いだったと聞きました。しかしながら、みんなそんなに長く具合が悪くはありませんでした。多分多くの活動で疲れたのでしょう。謙(戸部さん)はずーっと全く元気でした。

私は日曜日に裕美を連れて、チームメンバーが新しいホストファミリーに移動する途中、スターバックス・コーヒーショップに案内しました。信昭はホテルから彼の新しいホストに連れられました。彼は日本語を話し、奥さんは半日本人ですので、家では日本語と日本食で楽しんでいるようです! みんな現在は首都マニラの南地区に滞在しております。今日彼らはコレヒドール島(マニラ湾口の火山島)観光に行き、今晚、私は北海道からのGSEチームメンバーと一緒に米国ウエスト・ヴァージニア州からのメンバーも迎えてクラブ例会に出席致します。

3月28日(日)、GSEの皆様とのお別れパーティーがありました。皆様本当にお疲れ様でした。相変わらず小嶋メンバーは涙もろかったです。私共、第3830地区GSE委員会としまして第2510地区のGSEのメンバーの皆様と共に楽しいひと時が過ごせましたことを大変に喜んでおります。これを機に第2510地区と第3830地区が国際的にまた友好的に交流できることを期待しております。皆様には何もしてあげられませんでした。楽しい思い出とフィリピン人の友達をたくさん作っていただいたことと思います。

GSEの皆さんには将来このフィリピンでの5週

間の経験と勉強を世界のコミュニティの為にLend Your Hands!していただけたら幸いです。本当に素晴らしい思い出をありがとうございました。是非もう一度フィリピンにロータリアンとして戻ってきていただき、フィリピンのコミュニティにもお手を御貸しいただけたら幸いです。また第2510地区の佐藤ガバナーをはじめ国際奉仕委員会の皆様、GSE委員会の皆様、IT委員会の皆様の温かいご協力を感じたいと思います。大変にご苦労様でございました。



地区クラブ奉仕委員会報告



地区クラブ奉仕委員会

委員長 羽部大仁 (札幌南RC)

日時：2004年3月26日（金）19：00～21：30

場所：札幌東急イン

出席者：富原PGカウンセラー、羽部委員長、金子副委員長、矢橋委員、戸部次期委員、山本次期委員

報告：地区クラブ奉仕委員会の大きな任務は、地区協議会におけるクラブ奉仕部門を担当することである。クラブにとってクラブ奉仕は最も重要で、ロータリーの根幹をなすものである。地区委員会として、各クラブにその重要性をどのように伝えることができるか富原PGカウンセラーのご参加を頂いたので、忌憚のない委員の意見に種々御指導を頂いた。

1) 地区委員会として出来ること—今年は規定審議会開催の年、前回の規定審議会では、

一業種一人制の職業奉仕の大前提が崩れかけたように感じる。是非各クラブの意見を分析してロータリーの理念を守って欲しい。もう一度ロータリーの原点に帰るべきだ。

2) 会員増強と退会防止—ロータリーは近年会員数を減少し続けているが、只闇雲に増強では益々おかしくなる。量より質が大切ではないか。「超我の奉仕」の真理は普遍である。ロータリー情報の欠落も問題である。クラブ奉仕委員会は情報委員会と連携をとって、地区内会員にクラブ奉仕の重要性を伝えることが必要である。

3) 新旧委員の引き継ぎ—今年度まで3年間委員を務めた金子副委員長が勇退され、現手稲RCクラブ山本会長が次期委員に、又戸部ガバナー補佐が次期委員に選任された。



第14回 JGFR北海道大会のご案内

【日本ロータリー親睦ゴルフ全国大会】

地区親睦活動委員会

委員長 灰野

篁（札幌北RC）

開催日時：平成16年6月14日（月）雨天決行

大会会場：札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース

（バッグ送付先）〒061-1264 北広島市輪厚77 TEL 011-376-2231

参加資格：全国のロータリアン並びに配偶者・家族とする。

競技方法：18ホールストロークプレイ（新ペリア方式）

*スタート時間及び組合せ等は当競技実行委員会におまかせ下さい。

後日、組合せ及びその他競技細目などは参加者各位にご郵送いたします。

参加登録費：登録費は15,000円です。

但し、ご夫婦ペア参加の方はお二人様で28,000円です。

ゴルフをされないご夫人の懇親会参加費は10,000円です。

*参加登録費の内訳は、表彰式・懇親会費・賞品記念品・通信費及び名簿・案内書の印刷代などで、宿泊・交通費並びにゴルフプレイ代金は含まれません。参加登録費は参加お申込と同時に下記口座までお振込み下さい。5月16日（日）までにご入金が無い場合は、正式な受付とはいたしませんのでご了承下さい。

振込口座：北洋銀行光星支店（店番036）

口座番号：普通預金 0590480

口座名：JGFR北海道大会事務局

*振込者名は必ず参加申込者名と同一の個人名にてお願いします。

*振込手数料は参加者負担です。

プレー費等：ゴルフプレイ費、宿泊・交通費、飲食並びに個人的諸費用は参加者各自のご負担となります。

募集人員：150名（先着順にて締め切ります）

*定員後の参加お申込者には事務局よりご連絡いたしますが、その他におきましては基本的にはご連絡をいたしませんのでご了承下さい。

申込方法・締切：平成16年5月14日（金）必着分まで受付いたします。

クラブ宛送付済のお申込用紙に必要事項をご記入の上、FAX（011-200-2517）にお送りください。

キャンセル：平成16年5月14日（金）まで

お申し出があった場合には、大会終了後送金手数料などの実費を差し引きいたしまして、ご返金いたします。尚、上記以降のキャンセル分につきましては準備の都合上、登録費は一切返金いたしませんので予めご了承下さい。

参加者氏名変更：平成16年5月14日（金）まで可。以降はキャンセル扱いとなります。

表彰式及び懇親会：平成16年6月14日(月) 15:00開始予定

札幌ゴルフ倶楽部 輪厚コース内 (予定)

親睦ゴルフ：平成16年6月15日(火)

(オプション) 北海道のJGFR会員お勧めの下記コースをご用意いたしておりますので、参加希望コースをお申込用紙にご記入下さい。

各コースともに定員になり次第締め切りといたします。

1、ANAダイヤモンドゴルフ倶楽部 8:30頃スタート 先着10組

なだらかな丘陵を生かして造られている樹木豊かな丘陵・林間コース。富澤廣親設計コース。札幌から車で約70分(高速道路利用)。新千歳空港から15km、約20分。

※カート(4名乗り)先着10台。悪天候の場合は利用不可。

※ご希望の方は申込用紙備考欄にご記入ください。

2、北海道クラシック早来コース 8:05頃スタート 先着5組

自然の美しさを余すところなく取り込んだ優美なコース。ジャックニクラウス設計林間コース。札幌から車で約70分(高速道路利用)。新千歳空港から車で15km、約15分。

※カート(2名乗り)先着5台。各組1台まで。

※ご希望の方は申込用紙備考欄にご記入下さい。

3、シャムロックカントリー倶楽部 8:00頃スタート 先着5組

フラットな中に緩やかなアンジュレーションがあるコース。梶谷穂月設計コース。

札幌から50km、車で約60分。新千歳空港から1.8km、車で約5分。

※カート(4名乗り)が利用可能です。

4、その他ご希望コースがございましたら、1組以上のグループにてお気軽にお申し出下さい。こちらにてお手配いたします。

5、お申込み・ご利用代金支払い方法について

大会参加申込用紙に、お手配希望事項を合わせてご記入の上、FAX(011-200-2517)にてお申込みください。ご希望に添って各施設のご予約をお取りした後、6月上旬に大会組合せ表とご一緒に利用券・ご請求書を送付いたします。ご利用内容確認の上、代金につきましてはJALトラベル北海道の指定口座までお振込みください。万一ご希望に添えない場合は、事前にご連絡申し上げます。

6、お申込み・お問い合わせ

株式会社 JALトラベル北海道 札幌第2支店「JGFR北海道大会」

担当・函子 匡(ずしただし) / 原 涼子

TEL: 011-200-2502

FAX: 011-200-2517

営業時間: 09:00—17:30(月—金) 土・日・祝日は休業

申込締切日: 平成16年5月14日(金) 必着分まで

会 員 投 稿



札幌はまなすロータリークラブ
高井 悌 吉 会 員

私は思わぬ病魔に襲われ、病院のベッドで白い天井、点滴とニラメッコの毎日でしたが、そんな折り、ある郵便物が届き、心洗われるような感動と出会い、生きている喜びをかみしめています。

送り主はロータリアン仲間のA女史（外国出身、ご主人もロータリアン）で、あるお坊さんが著した、福德「一語一会」という本でした。

私は浄土真宗の信徒ですが、宗派を問わず聖書をはじめ各種の図書を時折、目を通し心の糧とし講演などにも活用してきました。

「一語一会」は易しく気軽に読め、人生訓、人の心（みちしるべ）、人との付き合い等々、本当に心が癒され、病床の枕元から離せない1冊で、毎日繰り返し読まさせて頂いております。

A女史は、心暖まる手紙を添え「1日も早い快方を祈っています…」とあり、勇気づけられ感謝の毎日を送っています。

*私の入院は2回目で最初は今から51年前の昭和27年（1952）11月で、大学1年の東京時代。当時はまだ“戦後”で、故郷には電話、健康保険もなし、もちろん銀行の振替口座もなく、すべて電報で、手術代、保証人のことなどやりとりしました。手術（盲腸・虫垂炎）は成功、以来70歳まで現役、囑託と“無遅刻、無欠勤”で、健康が自慢でしたが、残念でなりません。

*最近、札幌東ロータリークラブの遠藤正義さんが同じ部屋に入院されました。お互いに1日も早い回復を願っています。

祝 新入会員のご紹介

岩見沢 R C



石原 直樹 会員
平成16年2月27日入会

岩見沢 R C



中路 幹雄 会員
平成16年3月5日入会

岩見沢 R C



齋藤 誠一 会員
平成16年3月19日入会

ローターアクトクラブ

『地区大会 in 赤平』のお知らせ

(主管 赤平RAC)

大会キャッチフレーズ

「自然がいっぱい！空気がおいしい！たまには自然の中で地区大会!!!」

と き：5月29日(土) 午後4時30分

ところ：赤平市エルム高原家族旅行村

ロータリアン登録料 8,000円 (〆切5月15日)

宿泊費 ケビン 3,000円

ホテル 7,000円程度

振込口座：北洋銀行赤平支店 普通3118260

赤平ローターアクトクラブ

地区大会会計 水内智子

赤平市の自然体験型観光施設で大自然を活かした大会を開催し、ローターアクター、ロータリアンの交流を促進することをコンセプトとしています。楽しいアトラクションもご用意しております。

多数の参加登録を心よりお待ち申し上げます。

赤平RC会長 布施 洋一

赤平RAC会長 伊藤 明和

申し込み先：FAX 0125-33-9808

(FAX受付時間：午前8時～午後8時)

お問い合わせ先：赤平RAC会長 伊藤

(TEL090-8374-0865)

『友』インターネット速報

ニュースバスケットが3月末日で終了

国際ロータリー (RI) とロータリー財団の情報をよりタイムリーに配信するため、RIホームページのニュース部門を4月1日に拡大します。新情報が週間を通じて更新されるのに伴い、隔週で更新していたニュースバスケット (Rotary News Basket) は、3月31日発行号が最後です。最新情報を入手するためにも、今後、RIのホームページを頻りにチェックすることをお奨めします。

RIホームページ：www.rotary.org

(2004年3月23日 No.129)

児童基金の創設、ロータリー財団管理委員会が認可

2004年2月にアナハイムで開催された国際協議会で、ロータリー財団管理委員会のジェームズ・レイシー委員長は、同財団の恒久基金の中に新しく「児童基金 (Children's Fund)」の創設を認可したと発表しました。

同財団は米貨1万ドルまたはそれ以上の拠出を即座に受け入れ、同財団遺贈友の会も同基金への寄付を約束しています。

(2004年3月23日 No.129)

大阪 (関西) 国際大会はもうすぐです

国際大会への旅行の計画は万全ですか。各クラブでは、電車や飛行機、そしてバスの手配を済ませられたころでしょうか。会場への交通につきましては、各クラブで用意されたバスではなく、公共交通機関をご利用ください。

大阪ドームをはじめとする各会場は、バスなどの乗降できる場所が非常に狭く、皆さま方がバスで来場されますと、その乗り降りに長い時間がかかり、また、大阪市内の交通渋滞を引き起こす恐れもあります。

従いまして、バスで来られる会員の皆さま用に、大阪市内に、バス専用の駐車場が用意されています。いずれも会場へは、地下鉄などの公共交通機関で、簡単に行ける場所です。どの駐車場を利用するかにつきましては、実行委員会から、各クラブへ案内が届く予定です。

なお、大会にご登録された方につきましては、大阪市内をはじめ、京都、神戸などの私鉄、地下鉄で利用できる「スルッとKANSAI」カード (東京ならびに近郊で使用できる「パスネット」の関西版) が用意されることになりました。クラブ宛てにお送りしますので、ご活用ください。

(2004年4月13日 No.132)

日本事務局からのお知らせ

2004年7月1日より、資料のご購入手順が下記のように前払い方式に変更になります。

1. 資料をご注文いただきます。
2. 注文後に当方にて在庫確認を行います。
3. ご用意可能な資料についての請求額をご連絡いたします。ご連絡はFAX、電話、電子メールや郵便によります。
4. ご請求額を所定の振込口座へご入金いただきます。
5. 入金確認が済みましたら、領収書を同封して、資料をご発送申し上げます。

ご注文いただいた資料の在庫が不足している場合や、資料が既に絶版になっている場合をはじめ、ロー

タリー・レートや資料単価が変更になっている場合もございますので、ご請求額の連絡を受けた後にお振込みいただきますよう、宜しく願い申し上げます。

「ロータリーの友」誌にご協力いただきまして、同誌2004年6月号にも本内容が掲載される予定ですが、機会がございましたら、お支払い手順の変更をご周知いただけますよう宜しく願い申し上げます。

国際ロータリー日本事務局

資料室 森 智 洋

T E L : 03-3903-3194

F A X : 03-3903-3781

訃 報 心よりご冥福をお祈りします



藤 谷 武 一 会員 (函館北RC)
2004年1月3日ご逝去 (享年68才)
ロータリー歴等
1998年7月入会
2000~2001年度 会員選考委員長
ポール・ハリス・フェロー



横 山 安 行 会員 (札幌東RC)
2004年2月22日ご逝去 (享年68才)
ロータリー歴等
1972年3月23日入会
1988~89年度 社会奉仕委員長
1993~94年度 副会長 (職業奉仕委員長)
1995~96年度 第37代会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者



野 澤 悌 三 会員 (札幌東RC)
2004年3月19日ご逝去 (享年81才)
ロータリー歴等
1964年9月17日入会
1973~74年度 S A A
1974~75年度 国際奉仕委員長
1980~81年度 第22代会長
ポール・ハリス・フェロー、米山功労者



国 兼 信 一 会員 (函館五稜郭RC)
2004年3月20日ご逝去 (享年82才)
ロータリー歴等
1970年1月入会 (チャーターメンバー)
1975~76年度 会長
1989~90年度 第11分区分区代理
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー
米山功労者



西 尾 長 光 会員 (札幌南RC)
2004年3月24日ご逝去 (享年76才)
ロータリー歴等
1956年6月22日入会 (チャーターメンバー)
1980~81年度 第25代会長
ポール・ハリス・フェロー



関 口 清 会員 (札幌モーニングRC)
2004年4月9日ご逝去 (享年63才)
ロータリー歴等
1988年6月23日入会 (チャーターメンバー)
2001~02年度 第14代会長
2003~04年度 地区友情交換委員会委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

芦別 R C	土山久男	会員	3月5日
札幌手稲 R C	石田誠	会員	3月19日
	平田勝美	会員	3月19日
札幌東 R C	南部春生	会員	3月26日
札幌真駒内 R C	神谷英光	会員	3月5日
	中山裕視	会員	3月5日
函館東 R C	吉村昭二	会員	3月26日

ポール・ハリス・フェロー

江別西 R C	増山柳	会員	3月26日
札幌幌南 R C	黒濟雄孝	会員	3月19日
	柳孝一	会員	3月19日
上磯 R C	木下康昭	会員	3月19日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

札幌東 R C	梁川修	会員	3月22日
札幌南 R C	小林昌志	会員	3月19日 第4回
函館五稜郭 R C	伊藤弘之	会員	3月26日
	川上誠	会員	3月26日
	菊地喜久	会員	3月26日
	大日向豊吉	会員	3月26日
苫小牧 R C	圓谷敏彦	会員	3月2日

米山功労クラブ

江別 R C	3月19日
函館五稜郭 R C	3月26日

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 50】

2004年4月13日発行

1. 寄付金速報 ～残りあと3カ月

3月までの寄付金は、前年同期と比べ5.1%減、約6千7百万円の減少でした。普通寄付金が3.8%減、特別寄付金が5.9%減です。当月は、第2620地区静岡南RCの会員（故人）の奥様より、ご逝去されたご主人をしのばれて、1千万円のご寄付をいただきました。詳細は次号に掲載いたします。今年度も残りあと3カ月となりました。普通寄付金を納入されていないクラブは、早急にご送金くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 2004-05年度地区米山奨学委員長セミナー開催報告
～2004年度に向け、キックオフ～

3月31日(水)に東京・品川のホテルパシフィック東京にて、2004-05年度の地区米山奨学委員長セミナーが開催されました。全地区の委員長が一堂に会す絶好の機会、また、半数を超える20名が新任であられたこともあり、いずれの委員長も、熱心に他地区との情報交換に努めておられました。「多くの会員といかに米山の“感動”を共有するか」「その感動をいかに寄付につなげるか」など、例年以上に、米山奨学事業の根本に立ち返る活発な議論がなされて、「時間が足りなかった」との声も多く寄せられました。引き続き、地区の垣根を越えて情報交換していただけるよう、新しい委員長のメーリングリストも開設しました。ぜひご活用ください。

3. カウンセラー研修会実施状況【中間報告】

米山奨学会では2003年より、カウンセラー研修会（地区内奨学生数×3,500円の補助費あり）の全国実施を呼びかけています。これまでに34地区中17地区で実施されました。研修会プログラムは各地区で工夫しています。以下に実践の一例をご紹介します。

- ・指導教員や留学生センター教員による講演
→「留学生の実情理解や実践的対応のヒントとして有益。また、大学側への疑問や要望をその場でぶつけることで、お互いの理解が深まった」との報告がありました。
- ・カウンセラー経験者の体験報告
- ・元奨学生からの意見発表
- ・カウンセラー同士のディスカッション

研修会を実施した地区では、カウンセラーの不安解消、経験者を含めたカウンセラー会設立への

呼びかけなど、有効な結果に結びついたとの報告が寄せられています。また参加者からの要望として、「なるべく早く、できれば4月に実施してほしい」「初期研修のほかに、フォローアップ研修も必要」との声があります。各地区の事情に合わせて、年間計画への効果的な組み込みをお願いいたします。

4. 米山奨学事業の成果はいかに

～米山奨学生の博士号取得状況～

奨学生や学友から博士号取得の報告が続々と届いています。この3月に博士の学位を取得したのは今までのところ55人。7割が医学、工学、農学などの理系分野ですが、一般に取得が難しいとされる文系分野も、文学・経済学・社会学などで健闘しています。例年140人ほどが博士号を取得していますが、奨学生が米山奨学会への報告を忘れてしまうこともございます。博士の学位取得者には、米山奨学会よりお祝いの時計をお送りしますので、世話クラブ・カウンセラーの皆様からも、ぜひご報告くださいますようお願いしております。

5. スリランカの学友が旭日中綬章を受章

在スリランカの米山学友、チャンドラシリ・フェルナンドさん【1982-84年／東北大学大学院／仙台西RC】が、平成15年度秋の叙勲で、日本政府より勲三等旭日中綬章を贈られました。

フェルナンドさんは、国費留学生として来日した後、1982～84年に米山奨学金を受けて、東北大学大学院にて公法学を学び、修士号を取得。帰国後は、スリランカ警察庁に入り、現在は同庁の上級副長官を務めています。スリランカ警察に、日本の交番システムや「5S運動」を導入して、日本・スリランカ間の警察協力推進に寄与したほか、コロombo市の治安が悪化した際には、在留邦人の保護のために情報提供や警備指導に尽力するなど、まさに母国と日本との懸け橋として活躍し、その功績が今回“叙勲”という形で評価されました。

フェルナンドさんは、「もし、米山奨学金の支援が無かったら、日本での勉学を続けることもできず、このような荣誉ある勲章を受けることもなかったでしょう。支援して下さった日本のロータリーの皆様に、心から感謝いたします」とコメントを寄せています。

6. カウンセラーからの便り

～米山学友がネパール国王から表彰【第2670地区】～

米山カウンセラーから嬉しいニュースが届きました。ネパールの学友、ラム・チャンドラ・ブサルさん【1999-2000年／愛媛大学大学院／北条RC】が、母国で学術功労賞を受賞し、ネパール国王からメダルを授与されました。修士2年次に米山奨学生となったブサルさんは、夫妻でクラブのイベントにも積極的に参加し、会員の皆さんとの交流を深めました。北条RCの皆さんからの厚い好意は、夫妻の3人の娘さんをネパールから日本に招待するという大きなプレゼントとなったそうです。ブサルさんは、愛媛大学で柑橘についての研究を続け、見事に農学博士号を取得して昨年帰国。ネパールでは、農林水産省の研究職に就き、その将来を嘱望されています。

ブサルさんのカウンセラーを務めた重見誠吾氏（北条RC会員／第2670地区米山奨学委員）は、喜

びをこめて次のように心境を語ってくださいました。「カウンセラーとして、今まで4人の男子奨学生をお世話してきました。私には息子がいないので、自然と息子がいたらこんな風に付き合うのかなという交流を持ちました。私の宝は、韓国、中国、マレーシア、そしてネパールに生きています。ネパールで、ブサルさんがまず大輪の花を咲かせました。彼らを誇りに思うとともに、彼らとの出会いを与えてくださった米山奨学制度に感謝しています。」

財団法人ロータリー米山記念奨学会

編集担当：峯・野澤

Tel：03-3434-8681 Fax：03-3578-8281

問い合わせメール：

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ：

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp>

文庫通信(199号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

新着のロータリー資料から

- ◎ 『『ロータリーの綱領』について』 吉松成人 2004 2p (D.2730 ガバナー月信)
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎ 「ロータリー地域社会共同隊 (RCC) ガイドブック」 D.2760 2003 172p
[申込先：川井健司 FAX (052) 582-9087]
- ◎ 「ポリオ・プラス活動の歩み (2000～01、2001～02年次)」 D.2520 2003 13p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎ 「ロータリー、その原点と変遷」 油木恒久 2003 41p
[申込先：ロータリー文庫 (コピー)]
- ◎ 「ROTARYが楽しく身につく本 (Ⅱ) 基本を正しく理解しよう」 松島正康 1999 120P
[申込先：高岡RC FAX (0766) 25-4477]
- ◎ 「ロータリーは家庭から」 小林 博 2003 40P
[申込先：札幌がんセミナー FAX (011) 222-1526]
- ◎ 「ロータリーの会員増強ガイドライン」 D.2510 2003 10P
[申込先：札幌がんセミナー FAX (011) 222-1526]
- ◎ 「ロータリーあれこれ」 青森RC 1991 20P [申込先：ロータリー文庫 (コピー)]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-3 abc会館 7F

TEL (03) 3433-6456 FAX (03) 3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館＝午前10時～午後5時 休館＝土・日・祝祭日



・例会変更のご案内

- | | | |
|------------|----------|------------------------------|
| ★羽幌RC | 5月16日(日) | 第1グループ・ワークショップin留萌
13:30~ |
| | | 場所:留萌市中央公民館 |
| | 5月22日(土) | 創立25周年記念例会・懇親会 |
| ★芦別RC | 5月9日(日) | 第2グループ合同例会 16:00~ |
| | | 場所:北の京芦別 |
| | 5月14日(金) | 休会(5月9日の振替) |
| | 5月21日(金) | 観桜会(夜間例会) 18:00~ |
| | | 場所:鮭広 |
| ★滝川RC | 5月6日(木) | 休会(振替休会) |
| | 5月13日(木) | 観桜会(夜間例会) 18:00~ |
| | | 場所:松尾ジンギスカン |
| | 5月27日(木) | 休会 |
| ★美唄RC | 5月13日(木) | 夜間例会 18:30~ |
| | 5月27日(木) | 休会(創立記念休会) |
| ★江別RC | 5月20日(木) | 観桜例会(夜間例会) 18:00~ |
| | | 場所:よしのバーベキュー |
| ★江別西RC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| | 5月8日(土) | 観桜例会 16:00~ |
| | | 場所:錦山天満宮 |
| | 5月11日(火) | 休会(5月8日の振替) |
| ★岩見沢東RC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| | 5月25日(火) | 休会(定款第5条第1節による) |
| ★当別RC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| ★千歳セントラルRC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| | 5月25日(火) | 休会 |
| ★白老RC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| | 5月11日(火) | 観桜会(夜間例会) 18:00~ |
| | | 場所:白老八幡神社境内 |
| ★苫小牧東RC | 5月13日(木) | 新入会員歓迎会(夜間例会) 18:00~ |
| | | 場所:グランドホテルニュー王子1F「桃苑」 |
| | 5月27日(木) | 休会(定款第5条第1節による) |
| ★苫小牧北RC | 5月4日(火) | 休会(法定休日のため) |
| | 5月18日(火) | 夜間例会 18:00~ |
| | 5月25日(火) | 休会(定款第5条第1節による) |

・クラブ幹事変更のお知らせ

札幌南RCの村上恒明幹事が退会され下記の方に変更となりましたのでご連絡致します。

新クラブ幹事:鎌田 洋 会員(人間ドック経営)

勤務先:医療法人社団 円山クリニック 理事顧問

〒064-0951 札幌市中央区宮の森1条5丁目1-12-104

TEL 011-641-5171 FAX 011-611-9738

・地区組織図変更のお知らせ

地区ライラ委員会の関野喜隆委員(札幌手稲RC)が退会されましたので、地区名簿の訂正をお願い致します。

3月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.3.31	増減	内女性	
1	深 川	4	43	41	-2	2	83.89
	羽 幌	4	47	47	0	1	77.77
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	90.00
	小 平	4	16	16	0	0	71.88
	留 萌	4	64	63	-1	0	90.74
	小 計		180	177	-3	3	82.86
2	赤 平	5	35	36	1	2	81.38
	芦 別	4	58	55	-3	0	92.50
	砂 川	4	55	55	0	0	95.28
	滝 川	4	109	107	-2	2	75.00
小 計		257	253	-4	4	86.04	
3	美 唄	4	47	43	-4	0	83.43
	江 別	4	46	45	-1	1	86.36
	江 別 西	4	40	37	-3	3	92.57
	岩 見 沢	4	100	101	1	0	88.06
	岩 見 沢 東	5	34	36	2	3	86.06
	栗 沢	4	33	31	-2	2	94.35
	栗 山	4	32	32	0	2	92.93
	当 別	5	42	38	-4	0	83.08
	小 計		374	363	-11	11	88.36
4	札 幌	4	113	126	13	0	98.41
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	5	30	29	-1	5	67.41
	札 幌 北	5	54	54	0	5	91.15
	札幌モーニング	4	60	62	2	0	70.49
	札 幌 西	4	74	75	1	2	92.06
	札 幌 西 北	4	50	49	-1	2	93.31
	札 幌 手 稲	3	44	42	-2	1	100.00
	小 計		443	454	11	16	89.10
5	札 幌 東	4	118	125	7	0	99.79
	札 幌 清 田	4	29	27	-2	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	74	-7	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	46	46	0	2	95.61
	札 幌 南	5	90	93	3	0	96.15
	札幌大通公園	4	19	19	0	4	69.74
	札幌セントラル	5	19	19	0	6	69.50
	新 札 幌	4	36	36	0	1	83.92
	小 計		438	439	1	18	89.34
6	岩 内	4	35	34	-1	0	79.02
	倶 知 安	5	57	57	0	4	72.32
	小 樽	4	88	84	-4	0	87.14
	小 樽 南	4	86	85	-1	0	84.74
	小 樽 銭 函	4	22	23	1	3	76.09
	蘭 越	5	15	15	0	0	80.00
	余 市	5	46	43	-3	4	83.00
	小 計		349	341	-8	11	80.33

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,281人 (97人)
増加会員数	-23人
当月平均出席率	84.43%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.3.31	増減	内女性	
7	千 歳	3	72	70	-2	2	84.50
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	86.70
	恵 庭	4	50	50	0	0	81.39
	北 広 島	4	15	18	3	2	89.70
	長 沼	5	17	20	3	4	89.60
	由 仁	3	16	16	0	0	82.81
	小 計		201	204	3	8	85.78
8	え り も	4	23	25	2	0	90.00
	三 石	5	18	18	0	1	91.11
	様 似	5	20	19	-1	2	69.30
	静 内	5	68	70	2	0	81.17
	浦 河	4	42	42	0	1	93.33
	小 計		171	174	3	4	84.98
9	伊 達	4	55	57	2	0	73.26
	室 蘭	4	56	55	-1	0	86.58
	室 蘭 東	4	48	47	-1	0	89.40
	室 蘭 北	4	39	38	-1	2	80.92
	登 別	5	39	40	1	2	85.00
	洞 爺 湖	4	12	11	-1	0	90.90
	小 計		249	248	-1	4	84.34
	10	函 館	4	101	102	1	0
函 館 亀 田		5	47	46	-1	1	74.78
森		5	48	48	0	0	82.00
七 飯		5	29	30	1	0	73.00
長 万 部		4	12	13	1	0	73.07
小 計			237	239	2	1	76.35
11	江 差	5	21	18	-3	0	75.00
	函 館 五 稜 郭	4	64	69	5	0	87.50
	函 館 東	4	60	57	-3	6	79.91
	函 館 北	4	43	39	-4	0	82.15
	上 磯	4	33	30	-3	3	72.40
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		230	222	-8	10	77.27	
12	白 老	5	32	33	1	2	71.50
	苫 小 牧	4	61	59	-2	0	77.77
	苫 小 牧 東	4	33	30	-3	3	86.15
	苫 小 牧 北	4	49	45	-4	2	97.36
	小 計		175	167	-8	7	83.20
合 計		3,304	3,281	-23	97	84.43	

地区カレンダー（5月・6月）

5 月	
1(土)	
2(日)	
3(月)	憲法記念日
4(火)	国民の休日
5(水)	子どもの日
6(木)	
7(金)	
8(土)	帰国ロータリー財団学友報告会 (サッポロルネッサンスホテル)
9(日)	第2グループ・合同例会（北の京芦別）
10(月)	
11(火)	
12(水)	
13(木)	
14(金)	
15(土)	栗沢RC創立40周年記念式典 (栗沢町立町民センター)
16(日)	第1グループ・ワークショップ (留萌市中央公民館)
17(月)	
18(火)	
19(水)	
20(木)	
21(金)	
22(土)	国際大会ROTEX全国会議
23(日)	国際大会（大阪）
24(月)	国際大会（大阪）
25(火)	国際大会（大阪）
26(水)	国際大会（大阪）
27(木)	
28(金)	
29(土)	地区RAC年次大会 (赤平市エルム高原家族旅行村)
30(日)	
31(月)	第3回規定審議会代表議員会議（東京）

6 月 ロータリー親睦活動月間	
1(火)	
2(水)	
3(木)	
4(金)	第7グループ合同例会（千歳全日空ホテル）
5(土)	岩見沢RC創立50周年記念式典 (ホテル・サンプラザ)
6(日)	
7(月)	
8(火)	第10・11グループ合同例会 (ホテル函館ロイヤル)
9(水)	
10(木)	
11(金)	
12(土)	財団奨学生壮行会
13(日)	
14(月)	
15(火)	
16(水)	
17(木)	
18(金)	
19(土)	新札幌RC創立20周年記念式典（シェラトンホテル札幌） 地区IAC年次大会
20(日)	地区IAC年次大会
21(月)	
22(火)	
23(水)	
24(木)	
25(金)	
26(土)	新旧ガバナー補佐・地区委員長合同会議（札幌市）
27(日)	
28(月)	
29(火)	
30(水)	佐藤ガバナー年度終了



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

6

MONTHLY LETTER No.12

2004. 6. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
地区協議会の報告	3
第4グループガバナー補佐・クラブ会長会議報告	4
青少年交換委員会報告	6
「ロータリーの友」誌に関するアンケート結果	8
4クラブ合同例会に参加して	10
家庭奉仕について思う	11
インドネシア・ジョグジャカルタ公式訪問報告(函館北RC)	13
ハイライトよねやま51	16
ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	17
ロータリー財団寄付報告	18
文庫通信/訃報	19
掲示板	20
4月会員数・出席率	21
地区カレンダー	22

国際ロータリー日本事務局からのお知らせ

- ・ロータリー・レートが6月1日から1ドル112円に変更されます。
- ・R I への送金（人頭分担金・資料代）専用口座、ロータリー財団への送金（寄付金）専用口座があり、各口座の振替は一切できませんので送金時にはご注意ください。財団への寄付は寄付者のID#を記入してください。送金明細書をファックスにてお送りください。
- ・2004年7月1日から、資料代のお支払い手順が後払い方式から前払い方式へ変更になります。ご注文をいただきましたら、まず、当方にて在庫確認を行いまして、ご用意可能な資料についてのご請求額を連絡いたします。ご連絡はFAX、電話、電子メール、郵便によります。
入金確認が済みましたら、領収書を同封して、資料を発送いたします。

〒115-0045 東京都北区赤羽 2-51-3 NS 3ビル 1階

国際ロータリー日本事務局 経理室・資料室

Tel : 03-3903-3183 (経理室)

03-3903-3194 (資料室)

Fax : 03-3903-3781

ガバナーメッセージ



ロータリー親睦活動を推進しよう！

ガバナー 佐藤 秀雄

今月は、ロータリー親睦活動プログラムの推進月間である。2001年度の規定審議会で現在の名称に変更された。従前は趣味・職業別親睦活動プログラムとして管理されていた。活動内容は地区内クラブ間の親睦活動、他地区の同種の活動との交流、関連のある国際親睦活動であり、ロータリーの綱領を推進し、RI理事会が設定した条件に合うグループであれば、どのようなグループにも開かれている。特にRIが推奨する国際ロータリーの公式認証を求める親睦活動は、3カ国以上の会員が入会し、活動に十分なる会員を擁していること、そして少なくとも3カ国における3地区ガバナーの承認を得ている事、財政は全てそのグループが負担すると規定している。現在RIから公式認定を受け活動しているグループとしては70以上を数えるが、代表的なものとしては、ゴルフ、ヨット、乗馬、ダンス、ワイン賞味、囲碁、医療等々がある。クラブが主体的に実施すると言うものではない。こういう国際的な親睦活動はやはり地区委員会が主体で動き情報を収集しクラブに伝達する、こういう扱いにならざるを得ない。クラブ会長・幹事が主体的にリーダーシップを発揮でき多くの会員が参加できるのは国内におけるクラブ間の親睦活動である。幾つかのクラブが実施している何々同好会、何々趣味の会をグループの段階まで高め会員の親睦を図る。当地区においては既にゴルフ等で実施しているグループも存在するが、してないグループもある。ゴルフだけでなく趣味の会、同好会を中心に先ず最初はクラブで取り組み、グループへと拡大し

地区全体へと高めていく、このことにより、より多くのクラブ間会員の親睦が図られるのではなかろうか。そしてロータリー家族を巻き込んだ趣味の会、同好会であればマジニアベRI会長が最大限に推奨するところである。21世紀のロータリー運動はどのように展開されていくのであろうか。発祥の地シカゴRCもピーク時は450名余の会員を擁していたが2003年12月末では202名とRI公式サイトでは公表されている。この名誉あるRCでさえ半数以下の会員となった原因は何であろうか。ロータリーに魅力がないからと言え、ことは簡単である。今年度のロータリーゾーン研究会において黒田RI研修リーダーが話されていたがRIの方針はRI会長が変われば、それによってRIの方針も変わる。やはり国際ロータリーはきちっとした長期ビジョンを作成し、これを継続することは勿論自分が会長に就任したとき単年度の独自色を打ち出していく事が大事ではないか、と話されていた。クラブにあってはRI会長方針を基本に地区ガバナーの目標等を勘案し、クラブ会長としての年度方針をクラブ会員に発表するわけだが、そこには「親睦と奉仕」の理念が必ず入っているはずである。しかし、最近奉仕のみが先行するきらいが有るように思えてならない。会員はロータリーの真髄を理解し、例会を自分の人生道場だと知り自分を高めたとき、自ずから親睦の芽が自然発生的に出てクラブが活性化されていくような気がしてならない。何事も基本(原点)が大切であることは古今東西不変の原理である。

ガバナー日記(9)

2004年3月29日(月) 戸部謙一委員をリーダーとするGSEチームが35日間の研修を終え新千歳空港に20時15分真っ黒に日焼けして元気な姿で全員にこやかに帰国、木村代表幹事とともに出迎える。

3月31日(水) 河郵文一郎PG死去、博善斎場での密葬に参列。医師であり、詩人であり、そしてポリオに情熱を燃やした素晴らしいロータリアンであった。心からお悔やみ申し上げたい。

4月2日(金) 第5グループの合同例会が12時30分から札幌ロイヤルホテルで開催。「ロータリーの輝かしい明日へ」という演題で卓話、針の筵の上の30分は終了…やれやれ。

4月13日(火) 第4グループの合同例会、札幌グランドホテルで開催、3人のパネラーが家庭奉仕について討論をした。家庭奉仕とは何なのかについて語り合ったが、家庭について関心を抱く動機を与えてくれた。

4月17日(土) 室蘭市民会館をメイン会場に地区協議会を開催。全クラブから会長・幹事、四大奉仕部門、新世代の各委員長が出席。丸1日を費やし次年度に向けて、遠藤地区ガバナーエレクトを中心に熱心に勉強に打ち込んだ。次年度は素晴らしいロータリー活動が展開されるものと思う。

4月20日(火) 千歳セントラルRCの夜間例会、スリランカからロータリアンのパティさんを迎えての楽しい例会であったが、パティさんは自分が所属するキャンデイRCの世界社会奉仕の事業を紹介したのち寄付集めに入る。ちょっと違和感を覚えた。後日聞いた話だが文化の違いらしい。スリランカでは何の前触れもなく箱を回して寄付集めをするのはごく自然の慣習らしい。若し不愉快な思いをした会員がいたら日本とスリランカの文化の違いとして、且つロータリーの友情に免じてお許しをいただきたい。

4月22日(木) 千歳RCの会員卓話「ロー

タリーって何だ」と言う内容で話をしたが、あまり関心がないように思えてならない。やはりロータリーの新しい世紀に向って、ロータリーの真髓を比較的新しい会員に知らしめ理解してもらう事がいかに大事であるかを痛感した。

5月8日(土) 財団学友委員会主催の財団学友帰国報告会がルネッサンスホテルで開催。国際親善奨学生(学友)3名からと、今回戸部リーダーによる4名のGSEチームからの報告があった。国際親善奨学生からそれぞれ自分が留学した国の文化、教育、生活等しっかりした内容で報告され感激を新たにした。留学から少し時間は経過していたものの僅か3カ月という短い留学体験の中でこれほど多くの見聞を広める事が出来た事は驚嘆に値する。会員が財団に寄付をすることにより新世代の若者を世界の国々に派遣ができるプログラムを開発した国際ロータリーに深い敬愛の念を抱かずにはいられない。GSEチームはパワーポイントを使って解りやすくフィリピンの実情を報告した。素晴らしい施設、明るい子どもたちの映像が映し出されていたが、貧困に喘ぐ民衆、スラム街の様子等が映像に入れば、一段と盛り上がったのかもしれない。財団学友の報告会は今回で第2回目を数えるが、非常に残念に思ったことは参加ロータリアンが36名という少数であったことである。次回からはガバナー、地区委員会が一丸となって各クラブの会長・幹事、財団委員長に参加を願い、この報告を聞いてもらう事である。さすれば「財団に金を取られる」と言う思いも薄らぎ、気持ちよく財団の寄付に応じてもらえる様な気がしてならない。一言付け加えると、この報告会が毎年地域を異にしてグループ毎に実施していただくと参加ロータリアンも多くなるのではないかと思う。鍋谷財団学友委員長、委員会の皆様そして戸部リーダーに御礼を申し上げ、本当にご苦労様で御座いました。

地区協議会の報告

次期地区代表幹事

伊 奈 昭 夫 (登別RC)

今年度の地区協議会は、2004年4月17日(土曜日)に室蘭東ロータリークラブがホスト・クラブとなり、室蘭市民会館及び中島神社蓬峽殿を会場として行われました。

元RI理事の竹山涼一PGをはじめ、地区内のPGの皆様、次期ガバナー補佐をはじめとする次期地区役員の皆様、地区内RCの次期会長・幹事をはじめとするクラブ役員の皆様を迎え、熱心な議論を展開いたしました。

佐藤秀雄ガバナーは地区協議会の意義と基本的考えの必要性を話され、竹山涼一元RI理事、岩城秀晴PGはロータリー100周年への行動についてお話しされました。遠藤秀雄ガバナー・エレクトは2月のアナハイム国際協議会での体験を話されたあと、2004-05年度のRIテーマ「ロータリーを祝おう」を取り上げて、その説明をすると共に、地区組織図の

一部変更、地区とクラブの運営重点目標を示されて、意識の喚起と行動を呼び掛けました。

また、伊藤長英地区研修リーダー(PG)からは、クラブ運営において、会長のリーダーシップについて具体的なお話を頂きました。

午後からの分科会では会長部門、幹事部門、クラブ奉仕部門、職業奉仕部門、社会奉仕部門、国際奉仕部門、新世代部門の7分科会において、分科会リーダーを中心に熱心な研修と討論が行われました。

地区協議会に参加された皆様の熱意に敬意を表したいと思います。また、この地区協議会のホスト・クラブとして、周到に準備され、完璧な運営をして頂きました室蘭東ロータリークラブ、そして会場委員会としてお手伝い頂きました室蘭北ロータリークラブの皆様へ心から感謝申し上げます。



第4グループガバナー補佐・クラブ会長会議

第4グループガバナー補佐

戸部アナマリア（札幌はまなすRC）

第2回第4グループガバナー補佐と第4グループクラブ会長による会議が平成15年12月20日（土）午後6時より鮎栄で開かれた。これは2003年上期における活動を反省し、下期につなげる画期的な会議であった。

冒頭、戸部ガバナー補佐より開会の挨拶に引き続き地区と第4グループ内における活動報告があった。

地区リーダーシップ・プランに移行して間もないガバナー補佐は地区の中でどのような活動をすべきなのかガバナーをはじめ地区委員会、グループ内のクラブ会長・幹事の皆様の充分なる認識の上に立って活動しようとする意欲はあるが、それぞれのリーダーシップ・プランの機構の甘さ、認識の薄さがどこか空回りに終わったところがあった。

その反省にたつて、下期においては、先ずそれぞれがその立場を良く認識して、組織として物事の進め方を誤らないしっかりした奉仕活動・親睦交流を進めたいという強い決意表明があった。

各クラブ会長からは、現状における会員増強の難しさや、クラブ間との交流の中で新しい奉仕活動、基盤が揺らぐ今日のロータリー・スピリットをそれ

ぞれの意見の中から捜し出し、楽しいロータリーを再構築したい。そのためには仮に何処かの地区委員会が一つの奉仕活動事業を行うにしても、ガバナーもクラブ会長・幹事も知らないまま事が進んで行くような事は、今後絶対にあってはならないと言う意見で一致をみた。

出席者（敬称略）

ク ラ ブ 名	会 長
札 幌	内 山 洋 一
札幌はまなす	大 石 春 雄
札 幌 北	城 木 浩 一
札幌モーニング	池 上 公 介
札 幌 西	村 上 登
札 幌 西 北	大 野 義 雄
札 幌 手 稲	山 本 雅 章

第4グループガバナー補佐会議

第3回ガバナー補佐会議が、平成16年2月7日（土）札幌サンプラザにおいて午後6時より開催されました。

今回は第4グループの各クラブ会長・幹事と国際奉仕委員長と社会奉仕委員長にも参加をいただき、上期における活動報告及び会員増強の推移、下期の活動計画と会員増強の見通しについてご報告をお願い致しました。

各クラブともに親睦を基盤とした中で奉仕活動を行っているとのご報告が圧倒的でした。いくつか例

を挙げてみますと、東札幌病院に入院中の患者と札幌室内楽団員の演奏を通じた交流、育児園の子ども達と動物園で楽しい1日を過ごしたことや、毎年継続的に石狩浜・発寒川の清掃、植樹、地域中学校の球技大会の支援、地元で行われるお祭りに多くの会員が参加し地域の人との交流など多数の報告がありました。

石狩を行政地域にするクラブでは毎年、石狩市で行われる身体障害者とのふれ合い広場に、多くの会員が参加し有意義な1日を過ごしている。

このように各クラブでは様々な奉仕活動に取り組んでおり、下期においても地域に密着した社会奉仕活動を積極的に行っていきたいということでした。

一方国際的には1月に行った新年家族会でのオークションの浄財をネパールの福祉に役立てる準備をしているクラブや、書き損じハガキ・未使用のテレフォンカード・ベルマークなどを集め、ユニセフを通して飢餓・貧困の世界の子ども達に少しでも手を差しのべる活動や、例会時に行ったチャリティーコンサートの浄財を姉妹クラブのタイ・ノンカイRCに送る予定のクラブもある。

親睦を深めるための楽しいプログラム作りも充分に考慮し、例えば卓話も出来るだけ会員に依頼し予算を大切にしているクラブが多く、一方見識のある方に卓話を依頼したその場でクラブ会員として入会していただいているというクラブもあり感心したほどです。

いずれにしても会員増強について、上期は横ばいもしくは少し減少しているクラブが多く、下期には人事異動の月もあり、いかに退会者を防ぐかを、問題としているクラブがあった。

その他として、青少年交換事業が相変わらず国際奉仕委員会で行っているクラブが多く、非常に曖昧すぎる。小林パストガバナーの時より青少年交換事業は新世代に移行していることになっているので、ガバナーはハッキリとした判断と指導力を発揮して欲しい旨の発言があった。

地区委員会の数や地区委員の任期について質問が出されたが次期ガバナーの手腕を期待することとなった。

各クラブのご報告のあとはフリートークの形で、それぞれのお話があり、今回も地区委員会や委員長の役割と期限（2年が充分）と、同じ名前が毎年地区委員会に良く出て来る事も一つの大きなディスカッションのテーマになりました。

そして、毎回出てくるもう一つの話は、「クラブがあつての地区委員会」の事を良く解釈されていないようです。

大変活発で本音での発言であったと感じました。

出席者（敬称略）

クラブ名RC	出席者氏名
札幌 幌	会長 内山 洋一 幹事 庭山 早苗
札幌 あけぼの	幹事 西山 秀夫 社会奉仕委員長 砂原 雅治
札幌 はまなす	幹事 菊地 為次 国際奉仕委員長 高橋 裕典 社会奉仕委員長 野村 勝隆
札幌 幌 北	会長 城木 浩一 幹事 小林 俊之 国際奉仕委員長 高橋 麗秋 社会奉仕委員長 米山 道男
札幌 モーニング	会長 池上 公介 幹事 中田 繁一
札幌 幌 西	会長 村上 登 幹事 宮越 陽一 社会奉仕委員長 石黒 直文
札幌 幌 西北	会長 大野 義雄 幹事 中嶋 成実
札幌 幌 手稲	会長 山本 雅章 幹事 潟沼 良三



青少年交換委員会報告

【短期交換派遣候補生決定】 & 【2005-6年度長期交換学生募集】

4月25日（日）、2004年度短期交換派遣生のスピーチと面接試験、そして今年度の8月に出発する長期交換派遣候補生のオリエンテーションが開催された。短期【6月末から相手国から1ヶ月受入れ、その後当地区からの派遣生と一緒に出発し1ヶ月を過ごす

プログラム】の試験には、3名のしっかりとした目的意識を持った意欲的な高校生が「あなたは、なぜこのロータリー青少年交換プログラムに応募したか？」というスピーチと地区委員が試験官の面接試験に挑戦した。（英語のヒアリングも含む）



玉木宏典君（札幌西高1年）は、素晴らしいスピーチをした。希望国はアメリカで、スポーツを通して、ロータリー留学の目的のひとつである国際親善大使の役割を果たしていきたいなどの内容を自分自身に

言い聞かせるようにしっかりと語った。今まで一番達成感のあった出来事は？の問いに「目的を持って、札幌西高の入試に挑み、達成したこと。」と述べた。



川村奈津美さん（小樽桜陽高3年）は、ロータリーの青少年交換留学制度の最終目的は世界平和であると言うことを聞いて、日本を広め、多くの人と接することで多くのことを学び、親善大使としての役割

を果たしたいと話した。積極的で明るく物怖じしない態度であり、将来は「アメリカで映画の製作をしたい。」という、はっきりとした将来のビジョンを持っていた。



佐藤綾香さん（日大高校1年）は、1年生ながらも自分自身のことをきちんと見つけ、高校生らしい言葉でカナダの広大な自然の中でいろいろなことに

挑戦し、自分を高めて行きたいと語った。すがすがしい好感もてる態度の中にも、信念が感じられた。

厳正、厳密なる審査の結果、3名の高校生はいずれもロータリー交換留学に対する理解度も高く、それぞれが目的意識を持ち高得点で合格した。派遣国は、

玉木宏典君—アメリカ第6970地区フロリダ
(札幌北RC)

川村奈津美さん—アメリカ第5100地区オレゴン
(余市RC)

佐藤綾香さん—カナダ第5360地区アルバータ
(札幌西RC)

と、決定した。帰国後の成長が楽しみな3人である。

(写真：菊池 恒、文：荒木麻美子)

お知らせ



受入学生たち



新世代に燃える男たち

✈ 青少年交換委員会では、2005-06年度の長期交換学生【1年間の留学】を募集中！

派遣期間—2005年7、8月から1年間

年齢—15歳から19歳未満

【ロータリアン子女は問わず】

☺ ロータリアンの皆様のお子様、お孫様が参加でき

る唯一の安心できる留学制度です。

☺ この素晴らしいプログラムを利用しないではありません!!!☺

—アメリカ・オーストラリア・カナダ・

フィンランド—



未来にはばたく子供たちの目を世界に向けよう、ロータリー！

1年間の留学生活の後、子供たちは見違えるようにたくましく、より積極的に人として大きな成長をとげて帰ってきます。強さと優しさがかねそなえた世界人としての第一歩を踏み出してみませんか？派遣地域は、安全性も高く、カウンセラー制度で何でも相談できる体制となっています。今まで経験のないクラブの皆さん、あなたの周りに有望なお子さんはいらっしゃいませんか？ロータリアンの皆様も、この素晴らしいロータリープログラムに燃えてみま

せんか？

—今すぐ、下記にお問い合わせください!!!—

【問合せと資料請求先】

委員長 【野澤 幸平】 携帯 090-1649-5810
FAX 0135-61-4832

事務局 【土田 義也】 携帯 090-8706-4847
FAX 011-802-2512

E-mail-yecd2510@khaki.plala.or.jp

「ロータリーの友」誌に関するアンケート結果（速報）



地区ロータリーの友委員会

委員長 佐藤 公（札幌北RC）

日頃はロータリーの友委員会に何かとご協力、ご指導を賜りありがとうございます御座います。

先日はご多忙のところ「ロータリーの友」誌に関するアンケートにご協力いただき感謝申し上げます。

お陰様でアンケートは地区内72クラブ中70クラブからご回答をいただき、97.2%という高い回収率を得ることができました。皆様のご理解とご協力に御

礼を申し上げます。

アンケート結果は下記の通りとなっております、今後の委員会活動のご参考になればと願っております。ありがとうございます御座いました。

なお、記述式の項目は大変スペースを取りますので後日、レポートとしてまとめ、報告する予定ですのでご了承下さい。

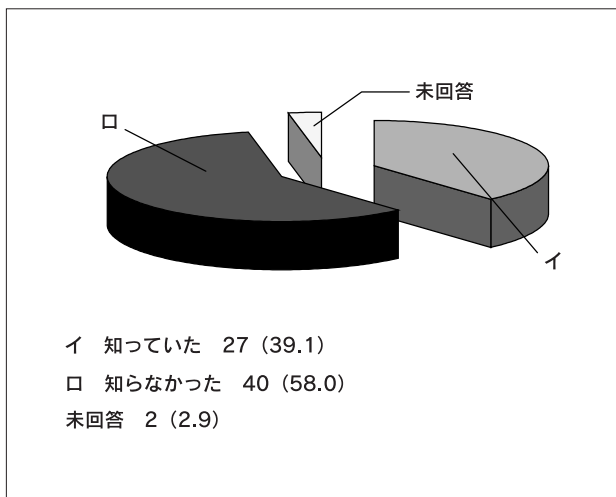
アンケート集計結果

対象クラブ 72
 回収クラブ 70内、回答拒否クラブ1
 （札幌真駒内）
 未回収クラブ 2（深川、森）
 回収率 97.2%

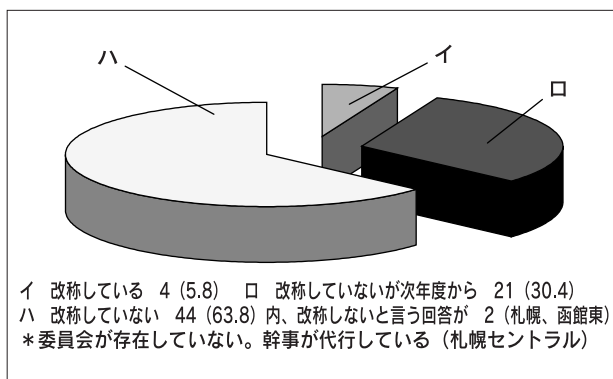
◆選択式項目回答（ ）内の数字は%

委員会について

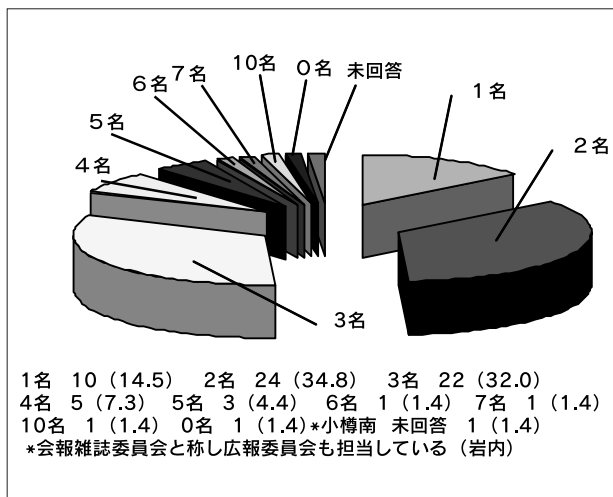
(Q1) 雑誌委員会改称の認知について



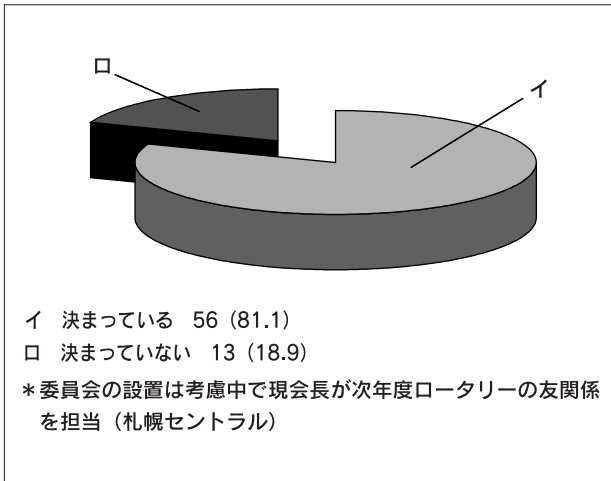
(Q2) 委員会名の改称について



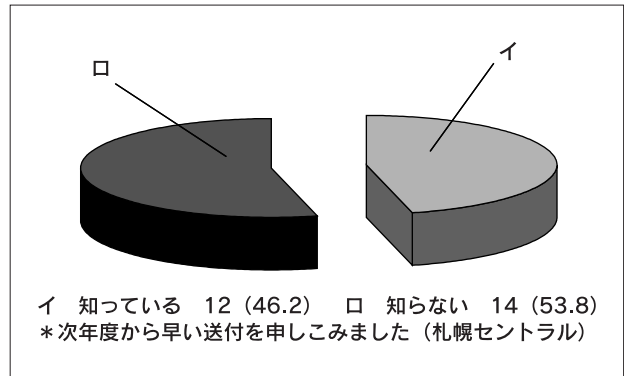
(Q3) 委員会は委員長以下何名か



(Q4) 次年度委員長は決まっているか

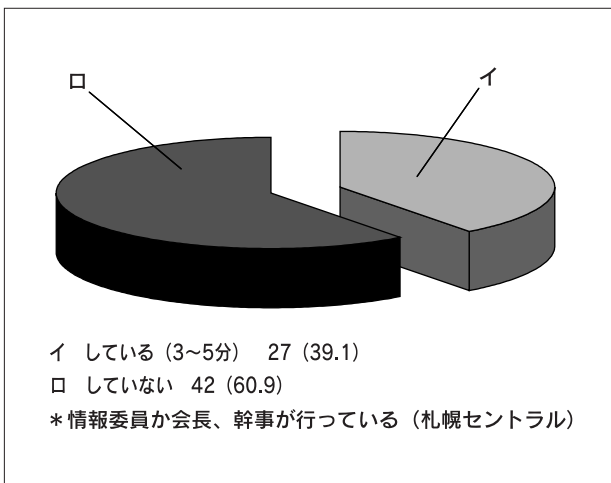


(Q7) 【前問で (ロ) と答えた方に】 友事務所に申告することを知っているか

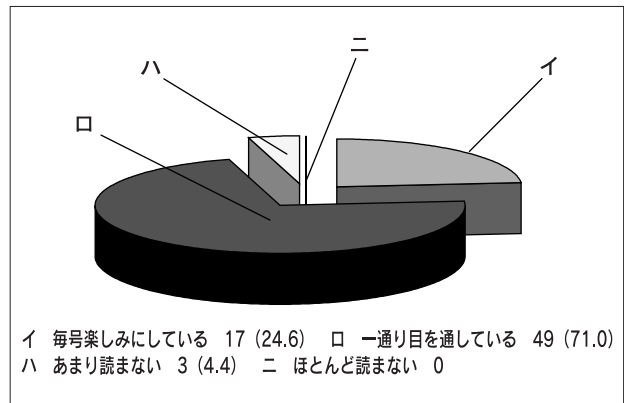


友誌について

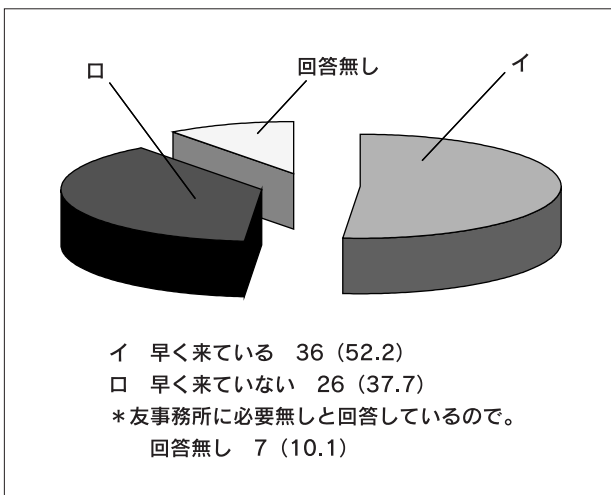
(Q5) 毎月友誌の内容を解説しているか



(Q9) 貴方は友誌を読んでいるか



(Q6) 委員長宛に友誌が早く来ているか



ご寄付の送金処理について

年度末の処理は込み合いますので、6月のご送金は中旬頃までをお願いします。例年、送金ミス、明細書の送り忘れ、FAXトラブル、書類不備などで年度内に処理されない寄付がございます。

あとから前の年度に入れたり、分類を変更することはできませんのでよろしくお願いします。

なお、送金明細書をe-mailでお送りいただく場合には所定の様式または同内容をもれなく入力したものをお願いします。

必要があればメールでも明細書を送ります。

日本事務局財団室 山本

4クラブ合同例会 “家庭奉仕って？” に参加して (あけぼの、西、西北、手稲合同親睦例会)



地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬三 (札幌南RC)

家庭奉仕は、ロータリーの四大奉仕の要になる活動であることを益々強く実感した会でした。

「家庭が、私たちの活動の源であり、四大奉仕はおろかロータリアンとして活動できるのも全て家庭が平穩でそれなりに、活動の源として機能しているからである」と、私が先月のガバナー月信に詳細に報告しましたので、長いのですが是非ご一読下さい。

私事で恐縮ですが、過日娘の結婚式があり、娘から両親に送る言葉を聞かされましたが、大半は、20数年間の中で私が、僅かに娘と共に過ごした思い出ばかりでした。私から見ても理想的な婿を選んだので日頃私が口癖のように言っていた「物事は、形ではなく本質を、人は姿では無く心を。形は変わるが心は変わらない」といった教えのことを話してくれるのかなと期待していたので驚くと共に、ある程度成長した段階からは、できるだけ自由に育てたいと思いきなり接することがなかった私に対し、如何に娘が寂しい思いをしていたのかを知ることになりました。幸いにも娘は、よき学友達や、良き同僚達に恵まれた為に素直に成長できたようですが、紙一重だったなと冷や汗物でした。

婿も最近の若者にしては珍しい、堅実なしっかりしたものの考え方が出来る方で両親の育て方が素晴らしかったのかなと思いましたが、一部上場企業の執行役員をしている父親とは、家でほとんど会話もしたことが無い、会話をするといつも説教であったということを聞かされ、彼も幸いにも良い友人や素晴らしい母親に恵まれてここまで育ったのだと感じました。

私たちは、家庭経営という点では、誰かに甘えてはいなかったらうか。と反省をしましたが、札幌

のあけぼの、西、西北、手稲の4クラブ合同の親睦例会で行われた標記のシンポジウムで、コーディネーターの札幌手稲RCの丹羽祐而社会奉仕委員長が、各パネラーに対し、巧みに聞き出したそれぞれの家庭に対する関与は、札幌あけぼのRCの久住博会員を除くと全体としては、私と全く変わらないものでした。

ロータリアンは、運が強かったと思わざるを得ません。たまたま、周囲に家族を励まし、育ててくれた良き人的な環境があったから、順調に家庭が機能したのかも知れないのです。私たちは、周囲の人的な環境に甘え続けていたかもしれません。一步間違えば、破滅的な家庭になっても決しておかしく無かったと思えるのです。

札幌西RCの石黒直文社会奉仕委員長は、家族構成の変遷に伴い家族を支える人的な環境が悪化したことを分かり易く解説して下さいましたが、私どもの実感と一致するところでした。

現代社会の不登校、引きこもり、家庭内暴力、児童虐待、いじめ、離婚率の著しい増加などの社会現象の原因は、すべて家庭経営の失敗にあるか、少なくとも家庭経営が順調であれば起こらなかったと思います。現在では、家庭経営を補う人的な環境が失われつつあり、運が良くといえるような状況には決して無いということを自覚すべきだろうと思います。だからこそ今家庭奉仕は、ロータリーの四大奉仕と同様に位置づけられるほど重大なテーマであると言えるのです。

札幌市内の先進的な4クラブが率先してこのテーマを取り上げて下さったことに対し、深く敬意を表します。

家庭奉仕について思う

1、家庭は、命を支えている

当たり前のことですが、人間が社会的な活動をするためには、衣食住が不可欠です。

ところが、衣食住を家庭で賄っていることに日頃から意識している方は案外少ない。

私たちには、生きている間の限られた時間しかないのです、大事に生きなければならないことは、葬儀などの機会に認識させられるのですが、その生の基本である衣食住を家庭で賄っていることを意識する機会は少ないのです。

しかし現実には、衣食住があって初めて、私たちの社会的な活動は成り立つのであり、ロータリー活動も例外ではありません。小林直前ガバナーが、全ての奉仕活動の前提に家庭奉仕があると言っておられるのはこの事です。ロータリーの奉仕活動は、職業を通じて社会に貢献するとは言っても、衣食住が家庭で保証されて初めて社会奉仕も、職業活動も成り立っているのです。たまに家事を賄う方が不在のとき、そのための時間がどれほど必要か骨身に沁みて分かるのですが、一時的に外食などで賄って不自由なく送ってしまうと、何時までも気が付かないものです。

2、家庭生活を大切に

このようにして、家事が私共の社会生活の一部で社会的な活動と密接不可分であることを認識できれば、家事をしてくれる家族のことを会社や事業などの経済生活の中でも重視しなければならないはずですが、現実には、簡単に他人の家庭生活の時間を奪って、夜遅くまで、あるいは、土日まで、仕事や余暇に誘ってしまうのが常です。

勿論自分一人でこのような慣習に歯向かうことを許すほど世間は、甘いものではありませんが、このような事実を認識するだけでもある意味では大きな成果を期待できるのではないかと思うのです。

このような経済生活上不可欠で重要な家事を担う家族との関係を軽視し続けた結果が、現在の家庭の教育力の減退や家庭崩壊、更には、育児放棄や児童虐待、引きこもり、登校拒否などの様々な社会問題の原因になっているのです。

政府も教育問題国民会議の答申を得て、家庭教

育を全面的に重視するとのスローガンを掲げましたが、その根本となる家庭生活重視の慣習を、経済界を巻き込んで社会の隅々にまで及ぼそうといった政策を採ろうとしているとは思えず、手っ取り早い教育基本法の改正などといった改革でお茶を濁そうとしているのは残念です。

勿論家事が、私たちの社会的な活動の基礎を成していることを認識するだけで、家庭生活が順調に営まれるほど単純な問題ではありませんが、先ずは根本的に重要な事実であることは確かです。

もしこのことが、本当に理解されるならば、家族に対する感謝の念が自然に生まれるはずですし、家事労働に対する尊敬の気持ちも増してくると思われるのです。

家庭は、配偶者ばかりではなく、子や両親などの関係もあり、これだけでは、解決できるものではありませんが、多くの統計に表れる結果を見ると、夫婦が円満で愛情に満ちている家庭の子は、順調に育っていることが分かります。

3、子育てが難しい

統計上はそうですが、子育てには又別の視点も必要です。

愛情さえあれば、多くの場合は大丈夫だと思われるのですが、育児書などをマニュアル本と考えて、子供を育児書通りに育てようとする最近の母親たちに対しては、別の配慮も必要なのかと思います。

子供は、コンピューターを操作するのは全く違うのです。特に子供が、自分で自分のことが何も出来ない乳幼児の頃は、母親の全面的な愛情が必要で、この時期に全面的に母親から受け入れられていると子供が感じるのですが、その後の子供の成長には最も重要だと言われています。(佐々木正美「子供へのまなざし」)

子供の夜泣きがうるさいとか、子供の面倒見ていると自分がカラオケに行く時間やパチンコに行く時間が奪われるなどと考える母親が増え続けていますが、放っては置けない深刻な問題です。

自分が、何か月もお腹の中で育み自分の体の一部だった子供に対する愛情よりも自分の欲望を優先させる母親が現実が増え続けています。

私の担当する離婚事件の中でも、最近はこのよう
な母親の存在が目につくようになりました。

その原因は、いくつかあると思いますが、その
母親に共通することは、その妻も母が同じように
カラオケやパチンコに興じて、子供の頃に寂しい
思いをさせられたとご主人に話していることです。

このようにして、子供の頃から母から愛されて
いると感じたことが無い子は、自分自身を愛する
ことが出来ないで、自分の分身である子供も愛
する事が出来ないといわれています。(佐々木正
美「続子供へのまなざし」)

しかし、このような方でも、ご主人の妻に対す
る細心の配慮や家庭への理解があれば、救うこと
が出来るのです。ですから家庭奉仕は大切です。

4、子供には成長する権利がある

愛情があって、両親の理解が得られる家庭の子
は、順調に成長するかというところが単純ではない
ようです。

子供は、自分自身で様々な経験をしながら育っ
ていくのであり、子供が経験する様々な障害を親
が取り除いてしまうために成長できないまま成人
になる例も最近の特徴です。

子供が自分でなめたり触ったりして、味や臭い
で危険なもの、苦いもの、甘いものなどを感じな
がら自然に自分にとって好ましいものとそうでは
ないものを区別する能力を身につけようとしている
のに親が先回りして全て障害物を取り除いてそ
のような機会を奪ってしまったり、よその子と利
害が対立して喧嘩になるとすぐ間に入って解決し
てしまい、子供自身が、互いの努力で問題を解決
したり仲間意識を育てる能力を身につける機会を
奪ったりしてしまうなど子供の成長を妨げ、子供
に過干渉をする親が多くなりました。

その原因は、専業主婦が家庭内で孤立してしま
うことにあります。家庭を顧みない企業戦士にい
ずれ付けが回ってくるのです。

5、子供の社会性を育てよう

又子供の社会性は、子供同士の交流の中で身に
付くといわれているのですが、塾や習い事を強制
し、あるいは、外遊びは危険だといって、安全な
家に閉じ込めて親が、その機会を奪ってしまうこ
とも問題です。

その結果、社会に出ても人とコミュニケーショ

ンが出来ない若者が増え続けています。

これも家庭生活をおろそかにした結果です。

6、家庭奉仕は緊急の課題

このように現在の家庭には様々な問題があり、
これらの問題は、実は健全といわれているどの家
庭にも質や量の問題はあっても存在していると専
門家は言っています。(過日講演していただいた
相場幸子先生もこのように言っていました。)

ですから、当地区内のロータリアンが関心を持
たないこと自体が、極めて深刻な問題ではないか
とも思えるのです。

勿論私自身も、どうしたら、失った時間を取り
戻そうかと日々悩んでいる状態です。救われるの
は、家族との関係は永遠ですから、時間はかかっ
ても取り戻すことが出来るということです。(前
記「続子供へのまなざし」において、佐々木正美
先生が言っておられます。)

いつも家庭奉仕のことを心がけていると家族の
言葉をよく聞けるようになります。その結果、会
話が自然に多くなってきたことも確かです。

週末のゴルフは、プライベートは一切なくなり
ました。出来るだけ時間を作って、一緒に旅行
に行くようになりました。子供への電話が以前よ
り増えたと思います。

自分の出来るベットのメイクや食後の後片付けは
自然にできるようになりました。

私に起きた変化はこの程度ですが、さらに努力
して失った時間を取り戻そうと思っています。

皆様にも是非真剣に家庭奉仕について心がけて
いただきたいものと思います。

自ら心がけ自信が付かないと他人に言えるもの
ではないと私自身が一番良く経験しています。

ですから小林直前ガバナーに対しては、敬意を
表します。謙遜しておられますが、本当に家庭奉
仕を実践されておられる方であると信じています。

7、家庭奉仕のプログラム。

家庭奉仕のプログラムを実践してください。何
かが少しずつ変わると思います。

自信が無いのは当たり前です。恥じることは何
も無いです。私が典型です。最も家庭奉仕を怠っ
た者が地区の委員長をしているのですから、大丈
夫です。よろしくお願ひします。

RI3400地区インドネシア ジョグジャカルタ・タマンサリRC 公式訪問報告

函館北ロータリークラブ 会長 北村 祐治
同クラブ 理事 石橋 輝夫
現地通訳 北村 恵子

目的

- ・2003年9月21日函館北ロータリークラブ創立40周年記念事業として、世界社会奉仕WCS—識字・教育推進事業（50万円）をRI3400地区インドネシア・ジョグジャカルタ・タマンサリRCを通じて行った。
 - ・インドネシア・ジョグジャカルタ市公立テガル・レジョ第三小学校図書館整備事業（30万円）
 - ・RI2510地区WCS委員会補助金事業（20万円）
- イ、上記小学校に日本の図書・ビデオ映画・新幹線および京都などのビデオを含め又、使用済み小学校低学年用教科書（算数・音楽・理科・塗り絵など思想に関係ない本）を寄贈する。（運送費を含め、10万円超相当）
- ロ、TAMAN BACAAN（青少年のための地域図書館Muda Mudi Rw10）の図書及び図書館設備の支援。一地域の読書習慣の向上を目的とする。（10万円）
- 上記事業完了・遂行の確認と現状視察及び（ロ）の贈呈式と契約セレモニーの為。

補助的目的

インドネシアの国際親善について国際理解を深める。90%がイスラム教の国民（国教ではないが）の国とは、その考え方とはいかなるものか？日本に対する理解度と関心はいかなるものか？その生活レベルはいかなるものか？ロータリアンの考え方とはいかなるものか？若者の考え方とはいかなるものか？—函館観光のPRも含めて、ビデオテープや観光パンフレット及び夜景の時計付壁掛けなど、又インドネシア・日本の交流ロータリーバッジや大阪大会の腕時計やバッジなど持参し、友情・感謝・親善につとめてまいりました。関係ははなはだ良好で、3日間に亘り、エディ・ジュリアント会長、ディッキー・トリス幹事、会長経験者3、4人とその奥方が同行して接待してくれました。但しお酒は一滴もませんでした。

（ロ）のセレモニーの状況が、メトロ・ジョグジャ新聞の一面に大きく掲載されました。ジョグジャには、日本の領事館の出先もあり当然日本の外務省の情報にキャッチされているものと思います。Yogya（ジョグジャ）は、市の人口が45万人位、県の人口が400万人位でスルタン（王様）が県知事をしており、数少ない王様のいる市です。高層ビルはホテルやショッピングセンターなどで、京都・金沢・会津などを想像してみてもいいでしょうか。ただ、街は販売道路のように、商店の道路にビッチリと屋台出店（衣・食）は、張り付いて、バイクの多い東南アジア独特の街を想像してください。ロータリアンはキリスト教徒や、中華系も多く、我々と変わらない服装と姿をしております。車も皆、1、2台はもっており、ベンツやBMWなども所有しております。携帯電話は全員所有し、会報にはその番号がのっております。娘がカトリック系の学校に通学しており、髪を長くしたりして日本や香港のお嬢さんと変わりありません。現地での階級は、我々より豊かであるようです。交換留学生は、オランダ・ブラジル・アメリカなどが多いように見受けられますが、日本は年に1名くらいで留学が難しいようです。人柄は大変良いので、是非日本への受け入れ推進をお願い致します。オートバイで7万円くらいから20万円くらいでしょうか。車の90%は日本製です。新車を買えるかがエリートの証です。中古市場は豊富なので、やはり車検のような認可がありそうです。

今回は、観光地と農業でお馴染みのBali島・地方都市・古都で国内第2の有名大学（20,000人）ガジャマダ大学（政治学・医学・法学が有名）と王様のいるYOGYAKARTA市と首都ジャカルタの中心部と旧バタビア地域を視察しました。ジャカルタは、香港・上海を想像してください。

貧富の差は激しいが、中の下位から上を想像する

と、感覚的にアジアの都市と我々日本の地方都市を比較してみると、想像できるかもしれません。若者は活気に満ちて、日本の昭和30年頃から45年頃の生活向上意欲、勉学意欲に富んでいるように感じるが—いかがかな？

日本への憧れとワーキング意欲が感じられます。

・期 間 2004年4月15日～18日
(旅行期間 4月13日～20日)

宿 泊 Yogyakarta市
ホテル Melia Purosani 3泊

4月15日 13時10分 Baliよりジョグジャカルタ空港に到着。会長・幹事・Rtn.リンガ・Rtn.インダー・Rtn.トリスノ・Rtn.ハリー氏等の出迎えを受ける。昼食は、鳥のから揚げ有名店へ。トリスノ、インダー夫妻の自宅へ招待される。プールやビリヤードなどのある、比較的高級住宅街と見受けられる。歓談。

その後、夫婦の経営するオートバイ店(KAWASAKI代理店)視察。お茶をいただく。その後、Rtn.トリスノの兄(実家)が経営するオートバイ店に行く。趣味で所有する年代物のクラシックカーを多数拝見する。きっと、かなり裕福。

・ホテルにチェックイン。

19時よりのチャリティーコンサートの準備する。“ARISTA2003”に出席。300人以上の出席がある。100,000円の贈呈セレモニーと、今回の事業テガルレジョ小学校の事業内容の紹介がスクリーン上であった。TEGAL TEJO III 小学校校長とMUDA MUDI Rw10の責任者に対する贈呈も合わせて行われた。9時半頃終了。少し疲れた。



4月16日朝、6時モーニングコール

朝8時Tegalrejo小学校を訪問する。先生や子供たちの出迎えを受ける。PTAの役員になったような気分で、あいさつ。校長の歓迎とお礼の言葉。子供たちは、図書室で読書中。一緒に写真をとる。

学校は、7時～9時まで、9時～12時までの時間を分けて低学年と高学年の授業を行う。教室が足りないため。暑い国の朝は早い。12時には下校する。教室が足りない。子供たちのいる図書室で視察する。熱心に本を読んでいた。支援は、立派に遂行されていた。“教育支援の重大さ”に改めて、感激をした。地方自治推進のため予算不足にある。

(20万円くらいの、図書館整備事業を、継続しても良いのではないかと考える。毎年1校一地区とクラブとの共同で。)





感謝を引き出し、未来の子供に夢と日本理解と教育向上の機会を提供することが、“世界平和と、人民の安寧とやさしさ”を引き出すのではないだろうか。支援とは、触れ合いそして相手の企画で支援すること、そして先進国のDreamを潜在的にあたえ、勉学への意欲を引き出す事ではないだろうか。“支援して求めず。将来の融和と友好のために、若人の未来のために!!”

Baliのガイドの本人感の中に、観光経済の繁栄の中に潜む、日本人への羨望が見てとれる。それは、日本人が持ち込む厚いお金の入った財布にあるよう

だ。20倍、30倍と違うお金の価値観。そして、日本人ホテルに現地人の出入りが難しい。現地での階級差別があるようだ。HIS旅行社の客は髪が赤くて云々の評価もある。日本は2年半の間、規律と教育とピントを残したが、オランダは400年の間、教育もせず、搾取だけを残した。そして、記念の建物を残している。

この後、水の王宮とKraton（王宮）を視察し、王宮で昼食を取る。ホテルにもどる。2時頃。アルフィアン氏宅を訪問—1時間位。

16日16時より

Muda Mudi Rw10（青年のための地域図書館）のオープニング・セレモニーに出席。街の小路の一角にある。挨拶を日本語でする。

18日にメトロ・ジョグジャ新聞に掲載される。部屋の中は暑い。100～150世帯の区の街の図書館。青年・女子が司会をする。大変感謝される。

19時より例会。この間、ミセス・インダーがGalleriaS.Cでお茶をする。ホテル。Saphia食事、そして例会。皆が集まるまで1時間かかった。これが、インドネシア・タイムかな。

8時頃、20名中16名の出席がありRtn.Dickyの奥さんTiaが今日よりロータリーに入会する。夫婦での組が、4～5組くらいある。会費は余り高くないようだ。お祈りに始まって、例会が始まる。全員の写真が画面に打ち出され、我々に紹介される。コンピューターを使った近代的な例会だ。例会が進み、私の挨拶の番がきた。野田先生翻訳の英語でスピーチする。後で、娘に聞いたら、解りやすかったと言っていた。安心した。

その後お土産を手渡した。石橋君も手伝ってくれて、皆が喜んでいたようだ。ブラジルからの交換留学生も来ていた。マイルド・セブンに人気があった。例会終了後、Mr.Linggaが、ホテルに送ってくれた。この日は、よく寝れた。

無事に、10万円と日本から持参した10万円を超える本を渡す事ができました。役割終了です。

(財)ロータリー米山記念奨学会ニュース

【ハイライトよねやま 51】

2004年5月12日発行

1. 寄付金速報 ～普通寄付金のお願い

4月までの寄付金は、前年同期と比べ6.2%減、約8千7百万円の減少でした。普通寄付金が3.8%減、特別寄付金が7.4%減です。4月末時点で、普通寄付金をまだ納めていただいていないクラブが91クラブありました。過去2年の同時期に比べて、未納数が大幅に増えています。

今年度も残り2ヶ月を切りました。当会より「2003年度普通寄付金送金のお願い」を5月11日付でお送りしましたので、地区の皆さまからもバックアップをよろしくお願い申し上げます。

2. 国際ロータリー2004年国際大会(関西)の『友愛の家』に米山奨学会も出展！

いよいよ5月22日(土)から、国際ロータリーの2004年国際大会(関西)が開催されます。今回、米山奨学会も初めて、『友愛の家』(リーガロイヤルホテル3F)にブース出展いたします。50年の歩みとともに、米山奨学事業が世界で活躍する人材の育成に果たしてきた役割と実績を、各国のロータリアンにアピールします。国際大会にご参加の際には、ぜひ米山奨学会の展示ブースにもお立ち寄りください。

皆さまのお越しをお待ちしております。

3. ハイライトよねやま増刊号【寄付事例特集】発行 ～いま、感動からつながる寄付へ～

ハイライトよねやまは、先月で50号発行という節目を迎えました。1年間ご支援くださった皆さまへの感謝と50号発行の記念の意味を込めまして、このたび、2003-04年度の寄付事例を特集した『ハイライトよねやま増刊号』を発行いたしました。以下に、内容を簡単にご紹介いたします。

● 感動を広げる！寄付につなげる！

地区米山奨学委員長の奮闘記

3人の地区米山奨学委員長様から、それぞれ熱意

をもって手がけられた寄付増進・事業理解推進への取り組みをご紹介します。地区・クラブの米山委員長の皆さまには、必見の情報です。

● 2003-04 寄付から見える あんな話こんな話

亡きご主人の「ロータリーへの思い」を偲んで、と2002年にご逝去された会員の奥様より1千万円をご寄付いただいた静岡南RCの事例、クラブ創立35周年にあたって、記念式典や懇親会を簡素にして、留学生支援のために300万円をご寄付くださった飯塚RCの事例、母の気持ちでアジアの人材育成のために、という法人寄付事例など、今年度の寄付事例をご紹介します。また、新表彰制度を導入してからの米山功労者数の動向や、学友の活躍について最新情報を報告いたします。

● 2004-05 地区米山奨学委員長セミナー開催報告

3月31日に開催された2004-05年度地区米山奨学委員長セミナーの様子を、グループディスカッションで挙がった意見も交えて、写真入りでご紹介します。

この『ハイライトよねやま増刊号』は、7月初旬に各クラブにお届けする普通寄付金のご案内とともに、全クラブに配布する予定です。メール送信やお手元のプリンターでの印刷が簡単にできるPDF版もご用意しておりますので、ご希望の際には、お気軽に下記担当までご連絡ください。

財団法人ロータリー米山記念奨学会

編集担当 峯・野津

Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

問い合わせメール :

highlight@rotary-yoneyama.or.jp

米山記念奨学会ホームページ :

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

大口寄付者

札幌東 R C 青木 功喜 会員 4月8日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

恵庭 R C 会津 宣則 会員 4月23日
堤 由延 会員 4月23日 第2回
函館 R C 国立 金助 会員 4月2日 第3回
函館東 R C 池垣 清信 会員 4月23日 第7回
大桃 泰行 会員 4月23日
宮崎 裕之 会員 4月23日

ポール・ハリス・フェロー

札幌 R C 柿本 純 会員 4月2日
勝木 紀昭 会員 4月2日
加藤 欽也 会員 4月2日
庭山 早苗 会員 4月2日
内山 洋一 会員 4月2日
小樽南 R C 大黒屋 宏章 会員 4月30日
白老 R C 石田 信雄 会員 4月30日
笠井 博輝 会員 4月30日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

滝川 R C 林 博幸 会員 4月7日 第6回
岩見沢 R C 北澤 治雄 会員 4月12日
札幌 R C 松本 脩三 会員 4月1日 第2回
札幌北 R C 相沢 芙束 会員 4月13日 第4回
城木 浩一 会員 4月30日
若狭 吉範 会員 4月6日
札幌東 R C 神谷 健蔵 会員 4月16日
札幌清田 R C 真鍋 昌市 会員 4月6日
小樽 R C 河辺 由清 会員 4月19日
小樽南 R C 中嶋 宏 会員 4月9日
函館五稜郭 R C 酒井 正人 会員 4月9日 第4回
白老 R C 藤田 英雄 会員 4月28日
戸田 実津男 会員 4月28日
山手 康 会員 4月28日

米山功労クラブ

札幌北 R C 4月13日 第1回
小樽南 R C 4月9日 第1回

米山功労法人

昭和レーベル印刷工業(株) (札幌真駒内 R C) 4月28日 第2回

ロータリー財団寄付一覧表 (2004年4月30日現在)

2004年4月30日現在の地区内クラブ別ロータリー財団寄付状況をお知らせします。
 年次寄付目標額250,000ドルに対して4月30日現在で199,461.60ドル (79.78%) です。
 クラブ会員皆様の更なるご協力を宜しくお願い申し上げます。

(単位: 米ドル)

グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金付	合計	グループ	クラブ名	年次寄付	使途指定寄	恒久基金付	合計
1	深川	5,171.38	0.00	0.00	5,171.38	7	千歳	6,020.00	2,490.00	0.00	8,510.00
	羽幌	2,700.00	0.00	0.00	2,700.00		千歳セントラル	2,500.00	1,600.00	0.00	4,100.00
	妹背牛	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00		恵庭	2,600.00	700.00	0.00	3,300.00
	小平	800.00	0.00	0.00	800.00		北広島	0.00	0.00	0.00	0.00
	留萌	5,300.00	0.00	0.00	5,300.00		長沼	2,300.00	0.00	0.00	2,300.00
	計	14,971.38	0.00	0.00	14,971.38		由仁	0.00	0.00	0.00	0.00
2	赤平	1,750.00	0.00	0.00	1,750.00	計	13,420.00	4,790.00	0.00	18,210.00	
	芦別	6,162.51	2,590.65	0.00	8,753.16	えりも	1,700.00	0.00	0.00	1,700.00	
	砂川	1,600.94	2,499.75	200.00	4,300.69	三石	1,300.00	0.00	0.00	1,300.00	
	滝川	6,900.00	3,500.00	0.00	10,400.00	様似	2,000.00	0.00	0.00	2,000.00	
計	16,413.45	8,590.40	200.00	25,203.85	静内	2,000.00	3,400.00	0.00	5,400.00		
3	美唄	1,500.00	0.00	0.00	1,500.00	浦河	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	江別	4,766.00	0.00	0.00	4,766.00	計	8,000.00	3,400.00	0.00	11,400.00	
	江別西	200.00	0.00	0.00	200.00	伊達	4,700.00	168.00	0.00	4,868.00	
	岩見沢	9,999.00	905.66	0.00	10,904.66	室蘭	0.00	0.00	0.00	0.00	
	岩見沢東	3,054.00	1,800.00	0.00	4,854.00	室蘭東	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗沢	3,500.00	0.00	0.00	3,500.00	室蘭北	0.00	0.00	0.00	0.00	
	栗山	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	登別	2,905.66	0.00	0.00	2,905.66	
	当別	42.00	0.00	0.00	42.00	洞爺湖	1,200.00	0.00	0.00	1,200.00	
計	24,061.00	2,705.66	0.00	26,766.66	計	8,805.66	168.00	0.00	8,973.66		
4	札幌	8,300.00	6,000.00	0.00	14,300.00	函館	3,656.00	0.00	0.00	3,656.00	
	札幌あけぼの	300.00	300.00	0.00	600.00	函館亀田	3,500.00	2,187.00	0.00	5,687.00	
	札幌はまなす	2,141.00	753.00	0.00	2,894.00	森	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	札幌北	3,531.93	4,427.58	0.00	7,959.51	七飯	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌モーニング	40.00	1,886.79	0.00	1,926.79	長万部	650.00	650.00	0.00	1,300.00	
	札幌西	900.00	0.00	0.00	900.00	計	8,806.00	2,837.00	0.00	11,643.00	
	札幌西北	3,902.08	1,100.00	0.00	5,002.08	江差	900.00	900.00	0.00	1,800.00	
	札幌手稲	4,700.00	1,933.96	0.00	6,633.96	函館五稜郭	3,614.00	470.00	0.00	4,084.00	
計	23,815.01	16,401.33	0.00	40,216.34	函館東	4,116.00	0.00	0.00	4,116.00		
5	札幌東	14,898.00	5,990.56	0.00	20,888.56	函館北	4,590.00	4,105.17	1,000.00	9,695.17	
	札幌清田	1,554.55	2,650.00	0.00	4,204.55	上磯	1,000.00	0.00	0.00	1,000.00	
	札幌幌南	8,110.91	5,625.00	0.00	13,735.91	松前	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌真駒内	1,600.00	2,000.00	0.00	3,600.00	計	14,220.00	5,475.17	1,000.00	20,695.17	
	札幌南	10,322.93	4,981.44	0.00	15,304.37	白老	0.00	0.00	0.00	0.00	
	札幌大通公園	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧	2,373.80	0.00	0.00	2,373.80	
	札幌セントラル	0.00	0.00	0.00	0.00	苫小牧東	3,954.64	1,434.82	0.00	5,389.46	
	新札幌	2,003.77	0.00	0.00	2,003.77	苫小牧北	5,216.65	47.27	0.00	5,263.92	
計	38,490.16	21,247.00	0.00	59,737.16	計	11,545.09	1,482.09	0.00	13,027.18		
6	岩内	1,905.17	1,800.00	0.00	3,705.17	地区内クラブ合計	194,461.60	77,096.65	1,200.00	272,758.25	
	倶知安	3,688.68	0.00	0.00	3,688.68	地区	5,000.00	(4,999.55)	0.00	0.45	
	小樽	2,420.00	4,200.00	0.00	6,620.00	合計	199,461.60	72,097.10	1,200.00	272,758.70	
	小樽南	0.00	0.00	0.00	0.00	※使途指定寄付: マッチング・グラント、ポリオ・プラスを含む ポリオ・プラスの寄付額は 77,096.65(クラブ合計)+0.45(地区) = \$77,097.10です 1人当たりの年次寄付額 第1位 長沼 R C \$ 135.29 第2位 札幌東 R C \$ 126.25 第3位 深川 R C \$ 120.26					
	小樽銭函	1,540.00	1,100.00	0.00	2,640.00	年次寄付額 第1位 札幌東 R C \$14,898.00 第2位 札幌南 R C \$10,322.93 第3位 岩見沢 R C \$ 9,999.00					
	蘭越	1,500.00	750.00	0.00	2,250.00						
	余市	860.00	2,150.00	0.00	3,010.00						
計	11,913.85	10,000.00	0.00	21,913.85							

文庫通信(200号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、1万9千余点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。

クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

地区大会「シンポジウム・パネルディスカッション」から

- ◎「教育」 藤川享胤（コーディネーター） 2003 8p (D.2560)
- ◎「ふる里の水をきれいにするために」 永幡幸司（コーディネーター） 2003 11p (D.2530)
- ◎「2025年日本は？世界は？」 中山太郎（コーディネーター） [2003] 19p (D.2640)
- ◎「韓日間の親善を図るための課題」 朴鉉奎 <D.3640PG> [2003] 2p (D.2810)
- ◎「日韓ロータリーの現状と将来」 菅原周一 <D.2810PG> [2003] 2p (D.2810)
- ◎「韓日間の親善を図るための課題」 菅野多利雄 <元RI理事> [2003] 1p (D.2810)
- ◎「過去の山頂は将来の丘」 豊島徳三（モデレーター） 2004 6p (D.2760)
- ◎「壊れてきた日本—ロータリアンは教育問題にどう取組むか—
青山貫禪（コーディネーター） 2004 23p (D.2630)
- ◎「心の危機を考える」 小林正信 2004 15p (D.2600)

[上記申込先：ロータリー文庫（コピー）]

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-3 abc会館7F

TEL.(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>

開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

訃報 心よりご冥福をお祈りします



松崎 徳一 会員（苦小牧RC）
2004年5月9日ご逝去（享年63才）
ロータリー歴等
1982年4月2日入会
1999～2000年度 会長
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー



高井 悌吉 会員（札幌はまなすRC）
2004年5月16日ご逝去（享年73才）
ロータリー歴等
1992年6月7日入会（チャーターメンバー）
1998～1999年度 第7代会長
ポール・ハリス・フェロー

*** 掲示板 ***

・例会変更のお知らせ

- ★美唄 R C 6月24日(木) さよなら夜間例会 18:30~
- ★岩見沢東 R C 6月29日(火) さよなら夜間例会 (移動例会) 18:00~
場所: 美唄のゆうりんかん
- ★当別 R C 6月29日(火) さよなら夜間例会 18:00~
- ★倶知安 R C 6月16日(水) 羊蹄ハイツ訪問例会 10:00集合
6月23日(水) 麓華苑訪問例会 12:00点鐘
- ★余市 R C 6月9日(水) 移動例会 12:00~
場所: 海上自衛隊余市防備隊
(余市町港町)

- ★千歳セントラル R C
6月1日(火) 休会
(6月4日クラブ合同例会に振替えの為)
- 6月22日(火) 移動例会 12:30~
場所: エアポートホテル
- 6月29日(火) 夜間例会 18:30~
- ★室蘭東 R C 6月16日(水) 休会 (定款第5条第1節による)
- 6月30日(水) 最終夜間例会 18:30~
- ★苫小牧 R C 6月25日(金) 夜間例会 18:00~

・例会場変更のお知らせ

江別 R C の例会場が、下記の日程だけ現在の例会場から変更となります。
6月3日(木)、6月10日(木)、6月17日(木)
例会場: 勤労者研修センター
(江別市緑町西1丁目103 電話011-385-1959)

『友』インターネット速報

2004年大阪(関西)国際大会の記念切手発行

この度、大阪国際大会の記念切手の発行が決まりました。RI国際大会の公式記念切手は、2000年ブエノスアイレス国際大会以来4年ぶりです。記念切手の発行は、5月21日です。切手は10枚つづりのシートで、シートには本国際大会のメッセージも入ります。近畿版で、近畿圏内の全郵便局と全国の主要郵便局で販売されます。

問い合わせは、日本ロータリー切手の会・飯塚悟朗会長(東京江北RC)あて、〒277-0852 千葉県柏市旭町8-5-7まで。

(2004年5月11日 No.135)



4月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.4.30	増減	内女性	
1	深 川	3	43	42	-1	2	84.28
	羽 幌	4	47	47	0	1	73.56
	妹 背 牛	4	10	10	0	0	97.00
	小 平	5	16	16	0	0	68.75
	留 萌	4	64	63	-1	0	86.11
	小 計		180	178	-2	3	81.94
2	赤 平	4	35	36	1	2	87.14
	芦 別	4	58	55	-3	0	93.00
	砂 川	4	55	55	0	0	93.87
	滝 川	4	109	107	-2	2	77.70
小 計		257	253	-4	4	87.93	
3	美 唄	4	47	43	-4	0	92.94
	江 別	4	46	45	-1	1	88.37
	江 別 西	4	40	37	-3	3	92.56
	岩 見 沢	4	100	100	0	0	90.77
	岩 見 沢 東	4	34	36	2	3	91.68
	栗 沢	4	33	31	-2	2	96.77
	栗 山	4	32	31	-1	2	90.11
	当 別	3	42	38	-4	0	88.60
	小 計		374	361	-13	11	91.48
4	札 幌	4	113	128	15	0	98.20
	札幌あけぼの	4	18	17	-1	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	28	-2	5	74.36
	札 幌 北	4	54	53	-1	5	93.27
	札幌モーニング	3	60	60	0	0	77.51
	札 幌 西	4	74	74	0	3	91.93
	札 幌 西 北	4	50	49	-1	2	92.13
	札 幌 手 稲	4	44	42	-2	1	99.41
	小 計		443	451	8	17	90.85
5	札 幌 東	3	118	128	10	0	99.72
	札 幌 清 田	4	29	27	-2	5	100.00
	札 幌 幌 南	4	81	74	-7	0	100.00
	札 幌 真 駒 内	4	46	46	0	2	96.34
	札 幌 南	4	90	93	3	0	98.21
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	68.42
	札幌セントラル	4	19	19	0	6	84.20
	新 札 幌	4	36	36	0	1	91.32
	小 計		438	442	4	18	92.28
6	岩 内	4	35	34	-1	0	69.65
	倶 知 安	4	57	57	0	4	88.34
	小 樽	4	88	84	-4	0	85.66
	小 樽 南	4	86	85	-1	0	85.48
	小 樽 銭 函	4	22	23	1	3	78.26
	蘭 越	4	15	15	0	0	83.33
	余 市	4	46	43	-3	4	88.00
	小 計		349	341	-8	11	82.67

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,279人 (98人)
増加会員数	-25人
当月平均出席率	85.12%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.4.30	増減	内女性	
7	千 歳	4	72	68	-4	2	85.51
	千歳セントラル	4	31	30	-1	0	85.80
	恵 庭	4	50	51	1	0	85.42
	北 広 島	3	15	20	5	2	81.48
	長 沼	4	17	19	2	4	86.20
	由 仁	4	16	16	0	0	75.00
小 計		201	204	3	8	83.24	
8	え り も	5	23	25	2	0	100.00
	三 石	4	18	18	0	1	90.20
	様 似	4	20	19	-1	2	73.70
	静 内	4	68	70	2	0	78.30
	浦 河	4	42	43	1	1	94.64
	小 計		171	175	4	4	87.37
9	伊 達	4	55	57	2	0	78.12
	室 蘭	4	56	55	-1	0	92.13
	室 蘭 東	3	48	48	0	0	85.70
	室 蘭 北	4	39	37	-2	2	75.13
	登 別	4	39	40	1	2	85.00
	洞 爺 湖	5	12	11	-1	0	90.90
	小 計		249	248	-1	4	84.50
10	函 館	4	101	102	1	0	78.16
	函 館 亀 田	4	47	46	-1	1	79.89
	森	4	48	46	-2	0	76.00
	七 飯	4	29	30	1	0	65.00
	長 万 部	4	12	13	1	0	61.53
小 計		237	237	0	1	72.12	
11	江 差	4	21	18	-3	0	80.60
	函 館 五 稜 郭	4	64	70	6	0	83.84
	函 館 東	4	60	57	-3	6	77.32
	函 館 北	4	43	37	-6	0	82.64
	上 磯	4	33	30	-3	3	68.10
	松 前	4	9	9	0	1	66.67
小 計		230	221	-9	10	76.53	
12	白 老	4	32	33	1	2	76.50
	苫 小 牧	4	61	59	-2	0	80.81
	苫 小 牧 東	4	33	31	-2	3	81.23
	苫 小 牧 北	4	49	45	-4	2	89.91
	小 計		175	168	-7	7	82.11
合 計		3,304	3,279	-25	98	85.12	

地区カレンダー（6月）

6 月 ロータリー親睦活動月間			
1(火)		16(水)	
2(水)		17(木)	
3(木)	第3回全国青少年育成委員会会議（東京）	18(金)	
4(金)	第7グループ合同例会（千歳全日空ホテル）	19(土)	新札幌RC創立20周年記念式典（シェラトンホテル札幌） 地区IAC年次大会（札幌市）
5(土)	岩見沢RC創立50周年記念式典 （ホテル・サンプラザ）	20(日)	地区IAC年次大会（札幌市）
6(日)		21(月)	
7(月)		22(火)	
8(火)	第10・11グループ合同例会 （ホテル函館ロイヤル）	23(水)	（財）米山記念奨学会評議員会（東京）
9(水)		24(木)	
10(木)		25(金)	
11(金)		26(土)	
12(土)	財団国際親善奨学生壮行会（札幌ガーデンパレス） 地区新世代委員会（ルーシス・サッポロ）	27(日)	新旧ガバナー補佐・地区委員長合同会議 （札幌パークホテル）
13(日)		28(月)	
14(月)		29(火)	
15(火)		30(水)	佐藤ガバナー年度終了

※新旧ガバナー補佐・地区委員長合同会議の日程が変更となっております

ガバナー事務所より

6月30日をもちまして、ガバナー事務所の業務は終了致しますが、残務整理を9月30日まで当事務所所在地にて行います。

6月分の出席報告は従来通り、7月15日(木)までに当事務所宛にご送付下さいますようお願い致します。

今年度残り僅かではございますが、宜しく願い申し上げます。



手を貸そう

国際ロータリー第2510地区
ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2510

ガバナー月信

2003-2004 GOVERNOR'S

2004

8

MONTHLY LETTER No.13

2004. 8. 1

2003-2004年度ガバナー

GOVERNOR
佐藤秀雄
SATO HIDEO

〒066-0041 千歳市清水町4丁目8番地1 シェルヴィルビル2F
電話 0123-42-2000 FAX 0123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

Cielville Bldg.2F, Simizu-cho 4-8-1, Chitose, Hokkaido,
066-0041 Japan
Tel.81-123-42-2000 Fax. 81-123-42-2009
E-mail: d2510g@poppy.ocn.ne.jp

C O N T E N T S

ガバナーメッセージ	1
大阪(関西)国際大会開催される	2
ガバナー補佐一年を省みて	6
委員会委員長挨拶	11
地区家庭奉仕委員会報告	21
地区子ども奉仕委員会報告	23
(財)ロータリー米山記念奨学会寄付金明細	24
親睦活動委員会ニュース/新入会員のご紹介	25
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー/米山功労者のご紹介	26
5月会員数・出席率	28
6月会員数・出席率	29

2003～2004年度

ガバナー月信最終号をお送りします

当刊第13号をもちまして、2003～2004年度ガバナー月信の終刊となりました。地区内各クラブ会員各位の温かいご支援とご協力に心からの感謝を申し上げます。各位の益々のご健勝とクラブのご発展を祈念申し上げます。

ガバナーメッセージ



最終刊に寄せて！

ガバナー 佐藤 秀雄

いよいよ私の年度の月信もこれが最終号となった。毎月読んで下さった会長・幹事、そして購入してまで読んで下さった会員の皆様に心から御礼を申し上げたい。有難う御座いました。

この1年を顧みると多くの会員との出会いがあり親交を深め御世話になった。第1に12人のガバナー補佐の皆さんには公式訪問をはじめグループの勉強会には特に主体的に活動され多くの成果を上げられた事に深甚より敬意を表したい。第2に72クラブの会長・幹事及び副会長の方々にはクラブのリーダーとして素晴らしい指導力を発揮されクラブ運営をリードして頂いた。第3に地区委員長をはじめ委員の皆さん、地区行事のホストを引き受けてくれた千歳セントラルRC大野会長はじめ会員の皆様、千歳RC佐々木会長はじめ会員の皆様、そして地区を支えてくれた地区幹事の皆様方に心から御礼を申し上げる。2002年3月指名委員長の石垣PGと岩城Gが当クラブを来訪されガバナー受託の意思を確認され、ガバナーノミニーとなり、その年の7月ガバナーエレクト、2003年1月末アナハイム、2月末地区委員長研修セミナー、3月クラブ会長研修セミナー、4月地区協議会そして7月地区ガバナーとハードな2年間では有ったが、今ガバナーを終えて良く体力が持ったものだと自分自身にも感謝している。内容的に振り返ってみると多くの反省点が見えてくる。地区の目標だった情報のネットワークの構築、財団の目標達成等はほぼ成功したものの、ポリオ・米山等まだまだ課題が残されている。何よりもロータリアンのロータリーに対する意識高揚の点では評価すべき何も無いのではないかと考えている。周到な準備の下に行動すべきだったにもかかわらず、これを怠り反省の念しきりである。ガバナーとして走りながら考え、歩きながら熟慮したが、時既に遅しであった。やはり後半には会員の減少は止まる事を知らず21世紀のロータリーは、何を目標に何を糧として運動の展開を試みるのか、そのことが私の最大の関心事となった。約半年間の公式訪問を終えて思ったことは会員に対するロータリー意識の高揚を図ることの必要性を痛感した事である。ロータリーは何ぞやと問うと、綱領を推進することだという名回答が返ってくる。それでは綱領とは何ぞやと言うと無言の行

に入る。入会して3年未満の会員が退会を余儀無くするという事は、やはり私はロータリーの真髓を理解せず例会の出席をのみやかましく言われる。これに嫌気がして退会されていくのも一因だと思っている。さすればどう対処すべきなのか。田中RI理事はロータリアンの意識高揚のために日本人ロータリアンに解り易く3つからなる文献を発刊された。それは「ロータリーの概要」、「4大奉仕」そして「ロータリー財団」である。これはロータリーに入会したら直ちに読んで身に付けて欲しいものである。2003—04年度末にネットで流したがプリントアウトして読まれたロータリアンのごく少数であるように思う。従って3部構成のものを1冊に製本し有料で購入して頂くという。私はむしろ無料としロータリアン全員に配付し、クラブ研修リーダーを推挙し研修リーダーによって、これをテキストとして使用し会員のレベルアップを図ることが退会防止につながり、しいては会員増強に繋がっていくものと思っている。クラブで何か奉仕活動をするにしても先輩に言われ嫌々ながら参加するのではなく、喜んで率先して世のため人のために奉仕をする、奉仕に喜びを感じるようになれば真のロータリアンと言えるのではないか。あるクラブを訪問したときニコニコBOXをやっていた。会員は何等かの理由をつけて自主的にニコニコに寄付をしている。それもクラブ会員の半数近くである。多くのクラブはSAAから名前を呼ばれてニコニコに入れているのが実情である。この一事をとってもロータリーに対する意識の差が出ているように思えてならない。クラブが将来会員増強を望むならば、現会員のロータリー意識のレベル向上を図り、ロータリーの真髓を知らせ、運動の何たるかを理解させたとき、自ずからこの運動に共鳴する老若男女を入会させてくれるものだと思う。日本のロータリアンは近々に10万人を割るかもしれない。しかし、輝かしい未来に向かってRI、地区、クラブが大いなる意欲を持って改革に励み、これを成し遂げたとき洋々とした未来がそこに出現し、更なる磐石の基盤が出来上がるものと思う。

3千余名の会員に心から御礼を申し上げ最終刊とします。本当に有難う御座いました。



大阪（関西）国際大会開催される

5月23～26日、大阪市西区の大阪ドームを中心に開かれた大阪（関西）国際大会は、世界112か国から、過去最多の45,595人（6月9日現在、日本事務局より）が参加し、盛会裏に幕を閉じました。

大会は、千玄室前家元による開会宣言および祈祷にはじまり、4日間にわたって、ロータリーの今後の方針が討議されたほか、各種表彰や報告が行われました。各本会議では、ジョナサン・B・マジアベ国際ロータリー会長が、過去1世紀のロータリーの歴史を振り返りつつ、示唆に富むスピーチを展開。

第4回本会議では、元ロータリー財団奨学生で、前国連難民高等弁務官、国際協力機構（JICA）理事長の緒方貞子氏が基調講演し、難民問題や紛争の解決における教育の重要性などを説きました。

また、会場の1ツリーガロイヤルホテル内には、

各種展示やロータリー親睦活動、友愛の家のブースが設けられ、さらには「道頓堀ナイト」、「神戸ナイトクルーズ」などのイベントを通じて、国内外から訪れたロータリアンたちが気さくに、楽しげに交流する様子が見られました。

今大会の様子は、地元紙をはじめ各メディアでも紹介され、ロータリーの周知に大きく貢献したのを

はじめ会場周辺のホテルやレストラン、土産物店の利用など、多大な経済的効果が期待されるとも報じられました。



開 会 式



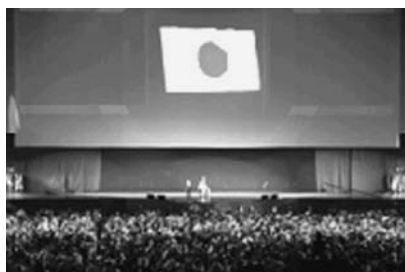
マジアベRI会長挨拶



千玄室開会宣言



太田大阪府知事挨拶



フラッグ
セレモニー



会 場 風 景

本 会 議



緒方貞子氏による基調講演



RI会長ノミネー決定宣言



カール・ヴィルヘルム・
ステンハマーRI会長
ノミネー挨拶

各ブース風景



ロータリー財団関係ブース



インナーホイールのブース

北海道ナイト

5月23日午後7時より第2500地区・第2510地区合同の北海道ナイトがホテルグランヴィア大阪において開催されました。地区内外クラブはもとより、外

国からのロータリアンも迎え、総勢280名のご参加を戴き、盛大に開催されました。



豊島第2500地区ガバナー挨拶



佐藤第2510地区ガバナー挨拶



第3700地区(韓国)からの皆さん



Cookご夫妻(第5010地区・アラスカ)



ヴィクトリアからの皆さん



John T. Brewer 氏
(第5080地区)



クレイグ氏(メルボルン)



会場風景



札幌はまなすRCの皆さん



司会の金井友情交換委員長

閉 会 式



マジリアベRI会長閉会挨拶



千玄室国際大会実行委員長表彰

エンターテイメント



東儀秀樹氏



新垣 勉氏



島田歌穂さん



会 場 風 景



手に手つないで



フィナーレ



各RCからのバナー

リーガロイヤルホテルの
歓迎モニュメント



ガバナー補佐一年を省みて



1年を省みて

第1グループ 渡部 英次
(留萌RC)

光陰矢の如しと言いますが、仕事の合間を利用したグループ内各クラブ訪問も終わってみればつい昨日の感がある。

各クラブの状況を把握する為に最後の被選クラブ理事会・協議会に参加し、ジョサナン B. マジリアベRI会長、佐藤秀雄ガバナーの方針の説明も私なりにさせて頂いた。

活動計画は既に出来上がっており、委員会活動に取り上げて頂けるのは今後の課題となるであろう。各クラブとも好意と友情に満ちて迎えて頂いた。

グループ内の全クラブでは会長、幹事を中心にクラブ活動に熱意が感じられた。仕事の余暇は目的に向かって情熱を燃やすのは気持ちが良い。ワークシェアリングと言う言葉が好きである。ロータリー活動はその中に入る。

2003～04年度からIMの開催は無く、各グループの自由となった。少し活性化の為に、クラブで情報集会を開き、皆さんの合意の下に「地域の子供たちに“手を貸そう”」のテーマで第1グループワークショップを開催した。5分科会では子ども奉仕に関する基礎部分を討議し、また佐藤ガバナーのご講評を頂き有意義な時間を過ごした。今後のクラブ活動活性化の一助になれば良いと思う。之により、少しでも好意と友情を深める事が出来たならば幸いである。出来るだけ低経費で、最高の内容になるように努力をお願いし、当クラブの清水実行委員長はじめ会員皆様には大変お世話になった。

絶えず情報の伝達その他でお世話になった中川補佐室長に衷心よりお礼を申し上げる。また、ご尽力頂いた佐藤ガバナー及び地区役員、ご協力頂いたグループ内各クラブの会長、幹事及び会員の皆様に衷心より感謝申し上げます。

来年はロータリー100年になる。活性化し飛躍する事を期待する。



1年を省みて

第2グループ 土山 久男
(芦別RC)

「1年を省みて」との題名をいただき、充実した1年であったと結論づけることが出来る。地区リーダーシッププランに沿い4年目を迎えた第2グループでは4つのクラブが丁度一巡したことになる。

ガバナー補佐として指名を受けた時に輪番制とはいえその責任の大きさにプレッシャーを感じた。補佐の役割は分区代理時期とは幾分異なることも聞いていたし、役割が多岐に亘っていることに驚きもした。

驚きといえば、IMの休止が発表された時である。私見としては、IMの必要性は認めていた。否、むしろ実施すべきであると考えていた。

只、その手法には問題があり大改革(?)しながら存続するものと思っていた。補佐として地区の方針は速やかに最大限担当クラブに伝達することを心掛け、特にIT化の推進を奨励した。これはすでに実践しているクラブもあり、新しく導入したクラブではその機能に感嘆する会員が多く、又会員同志の意志の疎通に役立っている。

IMに変わるものとして、全クラブの合同例会を実施したが、親睦交流と研鑽の場を設けそれぞれが初期の目的を果たしたと自負している。

やはり、補佐としての責務はクラブ訪問であろう。1クラブに4回の訪問は受ける側としても4回が限度であろう。又、ガバナー訪問とは違いクラブにアドバイス出来る立場ではなく(才能が無く?)ジレンマも感じた。しかし親しみを込めて歓迎されたことに大変感激したものである。

地区大会は各クラブに参加要請をし多数の会員がそれぞれ大会のすばらしさを実感し得たであろうし、又千歳クラブを初めとして地区大会に携わった皆様にお礼を申し上げたい。たまたま今年は国際大会が大阪で実施され、参加した会員も良い体験が出来たことでしょう。

今期最末尾の新旧補佐会議では、旧補佐の責任を終え

た安堵の表情を見るにつけ、新補佐の1年後、充実した1年であったと感じる人々が多数いることを念じたい。



ガバナー補佐退任のご挨拶

第3グループ 西原 宗幸
(岩見沢東RC)

非力な私に対して、グループ内の皆様方から温かいご協力を賜わり、一年間曲がり成りにも、重責を全う出来ました事に厚くお礼を申し上げます。振り返ってクラブ訪問、クラブ協議会、ガバナー公式訪問等、各々の機会に際して大変な心づかいとその対応振りには私のロータリー人生にとって、忘れる事が出来ません。ロータリーの友情と、絆の深さに改めて感謝致します。今後共各クラブの益々のご発展とロータリーの奉仕の理想具現に向けてご活躍されます事を願ってお礼の言葉と致します。

女性ガバナー補佐として



第4グループ 戸部アナマリア
(札幌はまなすRC)

当地区初めての女性ガバナー補佐を引き受け、正直大変なプレッシャーを感じました。自分では何が出来るかと言う事は不安でした。又女性である事も気になって居りました。

ですが、各クラブを訪問をし、生のクラブ活動と生のロータリアンとのお付き合いが出来ました事は、私にとって大変すばらしい経験でした。日本に来て長年暮らしていますが初めての男性社会とロータリアンとしての日本人との本音の出会いが出来ました事は大変貴重で忘れられない事でした。もう一つ学んだ事はロータリークラブの大、小は会員の数でははかれない事も知りました。それぞれの熱意と活躍を知り改めてロータリーは奉仕をする人々の集まりである事を自覚しました。又女性である事もあまり感じさせられないお付き合いをいただきました

た事について大変嬉しかったです。

終りに、一年間に会ってご協力、ご理解と温かいお言葉、又佐藤ガバナー、遠藤エレクト、PDGの皆様の励ましのお言葉と何よりも11人のガバナー補佐と沢山のロータリアンとお会い出来ました事は心から感謝を申し上げ、私の人生の中で大事な1ページになりました。本当にありがとうございました。

YOURS IN ROTARY

手を借りながらの貴重な体験



第5グループ 玉井 清
(札幌清田RC)

ガバナー補佐の指命を受け、それは不安からの始まりであった。しかしその任は2003年4月24日札幌東RCのクラブ協議会を皮切りにグループ内クラブの協議会訪問から始まった。全てのクラブ協議会を終え、会長、幹事会を終えていよいよ新年度を迎えた頃ようやく落ち着きを取り戻した思いであった。

今年度は例年開催されていたIMを休止して、グループ内合同による勉強会を開催、又4・5グループを中心とした市民フォーラムを開催した。尚市民フォーラム開催日時が札幌東RC45周年記念市民フォーラムと同日であったことは私の連絡調整不足であり誠に申しわけなく関係各位に深くお詫び申し上げたいと存じます。

各クラブを訪問させて頂き夫々のクラブの特徴がありその優れたクラブ運営に只々敬服するのみであった。特に札幌大通公園RCは20名の会員で全てが手作りのクラブ運営をしながら地域密着の奉仕、さらに国際奉仕に大変活躍をされ、活発なクラブ運営をされエネルギーを感じた。さらなる発展を切に祈念したいと思います。

任を終えるにあたりうまく出来たとは思いませんが、今年度のRIテーマ『手を貸そう』であります。私自身ガバナーはじめ各クラブの大変多くの皆様の手を借りて貴重な体験をさせていただきましたことを心から感謝申し上げます。



1年を省みて

第6グループ 梅庭 昭寛
(岩内RC)

例会場のガラス窓越しに石狩湾の広がる小樽銭函クラブから、ニセコ連峰の裾野の蘭越クラブまで、車で片道2時間余りのエリアに点在する第6グループ、7クラブの間を何度となく往還した訪問の旅。ガバナー補佐会議、地区協議会、地区大会その他で通いなれたガバナー事務所所在地の千歳市。そして年度終盤の大阪で開催された世界大会。いま机の上に山積した資料を整理しながら、あらためてこの1年有余のさまざまな出来事が脳裏に去来するにつれて、ガバナー補佐としての“ロータリーの旅”が終わったんだという感慨が浮上してくる。それはまた、いままで直接対面することも、話し合うこともなかった多くのロータリアンとの出会いの旅でもあった。

地区レベルでもグループ内でも長年在籍した会員が一人また一人とクラブを去ってゆく年度の始まりだったが、その流れは依然として続くこの1年だった。だがその一方で、そういう時勢であればこそ奉仕と親睦のクォリティーを高めようと発奮、努力するロータリアンの姿に接することのできた1年でもあった。

そんなロータリアン達の姿が、「黙って退会の道を選ぶか、苦しくとも踏み止まって改革に踏み出すべきか…」と佐藤ガバナーが年頭新春に発したメッセージに重なり合って、いま百年目を迎えるロータリーに、新たな胎動が始まりつつあることも予感されてくるこの1年であった。

一年を顧みて



第7グループ 後藤 篤人
(由仁RC)

何とか1年が過ぎてゆきました。人に物を頼まれると断れない性格が災いし、ガバナー補佐という大役を良く考えもせずを受けてしまい大変苦勞しました。この1年を振り返ると10年少々

のロータリー経験の中で一番充実していた様な気がします。なかでも、クラブ訪問は時間的に大変な務めではありましたが、各クラブが温かく迎えてくださり、例会の運営や各委員会の運営に各クラブそれぞれに特徴があり、非常に楽しくまた私自身、大変勉強になりました。

ガバナー補佐として多少悔いが残るのは、和田前ガバナー補佐からの引き継ぎのなかに交換留学生をグループ内事業として取り組めないかという事項がありました。

交換留学生をクラブ事業として取り組むには受け入れ高校の問題、ホストファミリーの問題、またクラブの財政的問題などがあり、私も和田前ガバナー補佐の提案には賛成できましたし、佐藤ガバナーからも取り組みの一つであると言われたのですが、各クラブの温度差も大きく、また私の準備不足からもう一つつっこんだ話し合いが提案できなかった事が残念でありました。

何はともあれ一年無事に終わることが出来たのは、グループ内各クラブ会長・幹事・会員各位の絶大な支援のおかげと感謝しております。ありがとうございました。

手を貸していただきました

第8グループ 細川 好弘
(静内RC)



佐藤秀雄ガバナーをはじめ多くのロータリアンの皆様との出会いのなかで、心から手をさしのべていただいたこの1年間に感謝しております。

国際ロータリー100周年を目前にした心はずむ年に相応しく第8グループ5クラブの夜間例会に各クラブ会長・幹事と共に思い出に残るおじゃまをさせていただきました。

佐藤ガバナー、地区幹事の皆様にも同席を賜り参加ロータリアン共々楽しいひとときを演出下さいました5クラブ会長・幹事、会員の方々にお礼申し上げます。

広大な太平洋と日高山脈に恵まれる第8グループ
えりもRC (地域密着の奉仕活動が光ります)
三 石RC (青少年健全育成に積極的です)
様 似RC (クラブの活性化に一丸となっています)

浦河RC（乗用馬の寄贈等ユニークな活動に溢れる）
 静内RC（奉仕に汗して地区野球大会優勝に沸く）
 の5クラブが賑々しく参加された意義ある地区年次大会。
 晴天に恵まれたガバナー公式訪問、岩城バストガバナー
 より卓話をいただいた合同例会、前述のおじゃましませ
 ずプログラム、「四季の流れに国境はない」と力説され
 た大阪国際大会への参加、特に第8グループ運営費を賄
 う特別会計の創設等々、5クラブの手を貸していただき
 ながら楽しいロータリーを体験いたしました。

ガバナー補佐として不行届きがあったことを反省して
 おりますが、無限に続けられるロータリーの奉仕と親睦
 の輪が更に拡大され世界平和への願いを共有しながら貢
 献できればと勉強させられました。

佐藤秀雄ガバナーありがとうございました。

一年をふりかえって



第9グループ 宮武 忠史
 （登別RC）

今年度は、クラブの各会長・幹事間
 の交流を第一に考え（7回の会長・幹
 事会）新しい試みとして5つの委員会の委員長を招集し
 ての交流会が特徴的な活動といえます。親睦、プログラ
 ム、国際奉仕、社会奉仕、職業奉仕それぞれの委員長と
 会長・幹事が交わった交流会は、想像以上に活発な意見
 や提案がありました。

その結果の一つとして、6月5日に登別温泉で行われ
 た地区米山学友会の家族交流会には第9グループ内6ク
 ラブから会長・幹事が出席されました。地区とクラブの
 橋渡し役でもあるガバナー補佐の活動が理解された一面
 でもあると考えます。

2月8日の第9グループ会員交流会は、IM中断後の
 今後の活動の指針になったものと思います。佐藤秀雄ガ
 バナーご夫妻、遠藤秀雄次期ガバナーご夫妻、そして兄
 弟クラブの白老RC（22名）の参加もいただきました。

総勢168名で開催された懇親会では、会員有志による
 合唱団の参加や、ポリオプラスへのチャリティーオーク
 ションにより、多額の寄付をすることができました。

一年間ガバナーをはじめ、第9グループの会長・幹事、
 そして会員の皆さんに大変お世話になりました。心より

感謝を申し上げる次第です。

楽しい思い出



第10グループ 鹿野 文男
 （函館亀田RC）

ガバナー補佐を引受ける事になり、
 不安を感じながらも早一年を経過、役
 目を終了しほっとしております。15年2月のガバナー補
 佐会議に始まり、7月初めのガバナーの公式訪問とあわ
 ただしく始まった当初、ガバナーにとっても最初の公式
 訪問で緊張したと言っておりましたが、私にとっても緊
 張の連続でした。

初日の市内クラブ会長・幹事・ガバナー懇談会、翌日
 の郊外クラブの懇談会に引続き、10・11グループ合同例
 会と無事終了したときは、ほっとした事を思い出されま
 す。

今、一年を振り返れば、とても良い経験をさせて戴き
 ました。当初ロータリーの原点をもう一度と、ロータリー
 の書籍、資料等を一通り軽読し、又ガバナー補佐として
 ロータリーを楽しみながら務めようと思い、一年間過ご
 しました。今思えばロータリーを通じてたくさんの友人
 が出来、又多くの方とのふれあいが出来た事など、楽し
 みながら過ごし、とても良かったと思います。

5月には大阪の国際大会に出席し、感動しました。

グループ内クラブを訪問、又行事に参加し、各クラブ
 の運営、例会そして各々特徴あるクラブ活動を見て、又
 10・11グループの会長・幹事会に出席し、意見交換、懇
 談などとても参考になる事が多く、勉強にもなりました。

佐藤ガバナー、ガバナースタッフ、そして10・11グルー
 プ会長・幹事の皆さん、一年間楽しませて戴きまして深
 く御礼申し上げます。ありがとうございました。

一年を省みて



第11グループ 今 均
 （函館五稜郭RC）

一年間、ガバナー補佐を務めさせて
 いただきました。時には本当に長いなあー

と思った事もありましたが、終わってみればあっという間の充実した一年でありました。又、自らロータリーを考え、ロータリーを体験し、ロータリーを実感した一年でもありました。

第11グループは絶えず第10グループと共同歩調を取り、道南のロータリー活動を円滑、かつ協調的に運営することを皆考えています。この特徴は、他の2510地区のグループには見られない素晴らしい伝統であり、この伝統に支えられ、第10グループの鹿野ガバナー補佐とともに、この一年間、無事、補佐の仕事を全う出来たものと感謝しております。

時には地区と各クラブの温度差、ロータリー財団の諸問題、会員の減少等、頭の痛い事も多々ありましたが、しかしこれは当地区に限らず、全世界の問題でもあり、21世紀は来年度100周年を迎える国際ロータリーのスタンスとして、これらの諸問題を解決すべく努力し変貌していかなければならないでしょう。すなわち、100周年がロータリー変革の分岐点になると考えます。

2003年～04年度の会長・幹事会はすべて第10・11グループ合同で6回開催されましたが、とても皆さん仲が良く、一致団結してロータリー活動を全うしたといっても過言ではないと思います。両グループ11クラブの会長・幹事、並びに2人のガバナー補佐を加え、計24名で『鑽志会』という会を作りました。これは2003年～04年の3と4を取ってサンシ会と命名されたわけですが、役は終わってもこれからも年に1～2回はゴルフコンペや小旅行をしながら親睦をいつまでも楽しみましようというものです。本当に一年間努力した効があったというものです。

最後になりましたが、佐藤ガバナーはもちろんのこと、木村、武石両代表幹事、上井幹事をはじめたくさんの地区の皆様へ深く御礼を申し上げます。この一年間、本当にありがとうございました。



ガバナー補佐を終えて

第12グループ 山本 雅昭
(苫小牧北RC)

前年度、ガバナー補佐を引き受けてからあっという間の1年間でありました。最初、意気込みはかなりあったのですが、仕事の関係上あまり活動ができなくなり、皆様には大変ご迷惑を掛けしてしまったことを、ここでお詫びを申し上げます。

当12グループの各クラブは、それぞれ独自の活動を行っている特異なグループとっております。それは各クラブが如何に地域社会に役に立てる奉仕ができるかを常に考えているからであり、そのための努力を惜しまず続けてきた結果であると思っております。

残念ながら、各クラブとも会員数が減少しクラブとしての活性化が下がっているのが最近の傾向であります。しかし各クラブには素晴らしい会員がまだ大勢いらっしゃいますし、ロータリーをこよなく愛している方々が多くいらっしゃいます。そのような方々から多くの示唆に富む指導をいただきましたことに対しても心より感謝しております。

ロータリークラブは相互理解を高める親睦の場であると同時に、社会奉仕を学ぶ修養の場であると言われております。しかし、近年この思想の理解があやふやになってきているのではないかと感じられるのは私だけなのでしょう。これは現在の社会情勢だけの問題ではなく、各自の意識の問題ではないかと思っております。その考え方によって組織は様々な変化をして行くもので、活力は増加もしますし低下もするのではないかと思っております。

死ぬまで鳥は飛び、魚は泳ぐ動物であると同様に、本能的に考え、学ぶために生まれてきている動物としての人間は死ぬまで向上を求めるのがその摂理ではないかと思っております。その勉強の場として、ロータリークラブは我々事業主としては最高の場の一つと考えられます。殺伐とした社会のみが前面に目に入る社会状況において、人が心の安らぎを求めることは必要なことであり、またその社会に何ができるか、どのような行動ができるのかを考えることも我々の使命であると思っております。そこにロータリークラブが、安らぎ、研修および行動を求める場としての大きな意義が認められるのではないかと私は考えております。

今後ともこの理想の下に努力し、会員ロータリアンの方々にも理解を求め、ロータリー活動を進めていきたいと思っております。

この1年間はガバナー補佐としての活動が全うできなかった1年であったことが大変悔やまれますが、さらに大きな経験をさせていただいたこととロータリークラブを再び考えさせられた年として記憶に残る1年間だったと思っております。その意味で、様々な応援をしていただきました皆様には大変感謝致しております。

ありがとうございました。

委員会委員長挨拶



北海道ナイト盛大に開催される

地区オン・ツー大阪委員会
岩城 秀晴
(札幌南RC・PG)

大阪国際大会開会式の後、第2500地区・第2510地区合同北海道ナイトが、場所を変え、大阪駅のそばのホテルグランヴィア大阪においてPM7:00よりPM8:30まで開催されました。国際大会開会式の終了後、大阪ドームより三々五々に集まり、北海道ナイト開会の前に多数の人々が受付を終了しました。豊島第2500地区ガバナー、佐藤第2510地区ガバナー開会の挨拶に始まり、なごやかなうちにスタートしました。その後も続々と道内ロータリアンが集合され、地区内クラブと関係の深い海外ロータリアンも集合され、最終的に280名の参加がありました。海外からはアメリカ、カナダ、オーストラリアそして最後に、待ち受けておられました矢橋さん（札幌西RC）のご案内で多数の韓国のロータリアンが集合、総勢22名のお客様がありました。その中で飛び入りで、アラスカのJuneauクラブのCookご夫妻（第5010地区友情交換委員）が、バナーを持って馳せ参りました。

パストガバナー、ガバナーエレクトのスピーチで会場は大変なごやかになり、時間を忘れ盛り上がりました。国際大会における北海道ナイト独特の雰囲気の中、最後まで楽しいひと時を醸し出しました。また来年の100周年記念シカゴ国際大会での再会を期し散会しました。

本北海道ナイトをお世話いただいたロータリアンの皆様に深く感謝しお礼の挨拶とします。



2510地区会員増強ガイドライン

地区会員増強委員会
小林 博
(札幌北RC・PG)

会員増強が当地区においても期待とおり進まないどころか会員数はむしろ減少の傾向にある。その原因は外因としての経済的不況が考えられ、一方内因としてロータリーそのものの魅力の低下が考えられる。

会員増強が思うように進まない理由は上記外因もあるが、本質的にはむしろ内因としてのロータリーそのものの魅力の低下にあると思われる。そのような前提に立つ

て「会員増強ガイドライン」を作成し、その中には各クラブの例会での魅力づくりをどのように進めたらよいかの具体策を記載した。

願わくば「地区会員増強ガイドライン」が会員増強のための討論資料として、地区ロータリアンによって広く活用されることを期待する。



ご挨拶

地区文献資料室
関堂 勝幸
(札幌東RC)

昨年、地区文献資料室委員長をお引き受けしてから1年たらずにて退任することになり私としては、当初の計画を推進することが出来なくて誠に残念です。しかし、時代の流れに沿ってIC委員会のご協力により文献資料のリスト又は情報については、各クラブ並びに会員にはいち早く伝わっていることと存じます。資料も今やビデオテープ、CDに変わりつつあるなかで、地区文献資料室の慣用をロータリアンに知らせることが重要であると感じるとともに、地区内外のロータリー活動の記録がこれからのロータリー歴史を刻む上で必要不可欠と認識し活動すべきであると思います。わずか1年足らずの委員長にて活動実績が上げられませんでしたこと心よりお詫び申し上げ次年度へ引継致します。



ご挨拶

地区クラブ奉仕委員会
羽部 大仁
(札幌南RC)

本年度の活動計画に基づいて委員会活動を実施した。振り返ると反省点も多いが、次年度に引き継ぎたいと考えている。その中で地区のホームページにクラブ奉仕について掲載し、会員増強と親睦プログラムに関して紹介した。

1. 地区委員会では、第3分科会（クラブ奉仕部門）を担当し、次年度に向けてクラブ奉仕の重要性を強調した。
2. 委員会を適宜開催した。富原カウンセラーにも参加頂き、各委員の質問には気軽にお答え頂きご指導を願う

た。

3. 地区のホームページにクラブ奉仕に関して、会員の退会が地区内各クラブの悩みになっている昨今、会員増強に成功した事例を紹介し、又新しいプログラムで、楽しい例会も紹介できた。今後は更新について考えたい。
4. クラブ奉仕の重要性と題して、札幌西クラブの例会で卓話を行った。
5. 各委員には、急な案内にも笑顔で参加して頂いた。熱心な意見交換に時間が足りなかった。次年度も是非このムードで充実した委員会活動を期待したい。



今年度終了ご挨拶

地区職業奉仕委員会
富岡 公治
 (札幌西北RC)

1. 地区職業奉仕委員会は、ロータリー創立百周年を迎えるにあたり、ロータリー創立者ポール・ハリス、「Service Above Self」の標語を作ったフランク・コリンズ、「He profits most who serves best」の標語を作ったシェルドン、そして四つのテストを作ったハーバート・J・テラー等のロータリーの創立指導者達の理念を確固として守り抜き、地区内にロータリー職業奉仕理念と活動の重要性を普及強調することを最重要課題としました。
2. そして、10月の職業奉仕月間には、地区内4クラブからの地区職業奉仕委員をクラブの卓話者として派遣してほしいという要請に応じて派遣しました。
3. 特に、苫小牧東クラブが開催した職業奉仕フォーラムに参加出来たことは地区職業奉仕委員会としても大変有意義な時間を過ごすことが出来たと思っております。
4. 又、地区職業奉仕委員会の活動として次の通りの要領にて第3回ロータリー職業奉仕市民講座を開催致しました。

記

1. 講師 札幌RC会員 田中良治
(医療法人札幌田中病院 理事長)
2. 演題 「大往生のための70章」
50歳からの人生の生き方と日常生活の送り方について
3. 日時 平成15年10月16日(木)
午後1時～午後3時
4. 場所 北方圏学術情報センター大ホール ポルト
当日開催会場のポルトに続々と市民が来場されまし

た。約120名の市民の人達に田中良治講師が次々とユーモアを交えて自らの医師としての体験と実例を多数紹介をしながら講話し、場内は笑いと共感と和やかな空気でいっぱいでした。

市民の人達は高年齢になってからの心の持ち方と健康と周りの人との接し方について講師の話から多くの有益なアドバイスを受けて満足して帰られました。

5. 当職業奉仕委員会は今後も多種多様の職業を有するロータリアンを講師とする市民に奉仕するロータリー市民講座の連続開催を企画実行していきたいと考えてます。



社会奉仕活動は地域とロータリーを結びます

地区社会奉仕委員会
対木 正文
 (札幌西RC)

地域のニーズに応えた社会奉仕活動は、ロータリークラブが実施できる最もやりがいのある活動の一つです。年度始めに社会奉仕、家庭奉仕、子ども奉仕委員会合同の、クラブ社会奉仕委員長様を対象とした「社会奉仕に関する意見交換会」を地区内5ヵ所で開催しました。お世話いただいたクラブに心から感謝申し上げます。

この交換会を通し、年度始めに他のクラブの奉仕活動を知ることにより地域社会が真に求めている奉仕活動をより幅広く模索し、活動のマンネリ化を防ぐ助けとなりました。そして、クラブが抱える諸問題について多様な意見や悩みなどが率直に話されました。私は会員減少の中で地域に密着した素晴らしい活動をしているクラブに心から敬意を表すると共に、クラブの目線に立って各クラブが活動しやすいように情報を提供しサポートすることの大切さを再認識いたしました。

現在、各クラブのご協力を得て2003-2004年度に実施された「社会奉仕活動一覧」を写真入りで作成中です。この冊子を活用することにより各クラブがより地域に密着したプロジェクト選択に役立つと共に、ロータリー活動の一部を広く社会に知ってもらい、会員増強の一助になると考えております。

また、社会の成熟化、社会の不安定化と共に増加、潜在化している、「児童虐待」の問題を各クラブと共に考え、児童虐待問題を考えるロータリー市民フォーラムを昨年11月に札幌で開催しました。特別講演者にはWCSで支援したことのあるパペナ・ホンサクン氏(タイ国パペナ財団理事長、ロータリアン)からタイの児童と女性への虐待の現状と発生理由、命のフリーダイヤル、受入や更

生施設など財団の活動をお話してもらいました。その後、質は異なるが日本の悲惨な児童虐待の実態と治療例、社会復帰の問題点をその道の専門家が話されました。社会的関心の高い問題だけに多くの市民が参加しました。

この1年間、ガバナーを始めガバナー事務所のスタッフの方々、ガバナー補佐の皆様、クラブ会長様、クラブ社会奉仕委員長様、そして、地区社会奉仕委員の皆様に変にお世話になりました。ありがとうございました。



今年度を振り返って

地区家庭奉仕委員会
和田 壬三
(札幌南RC)

わが国における家庭の問題は、諸外国に比して深刻です。(財)日本青少年研究所が全世界の高校生と中学生に、自分の両親の元に生まれて非常に満足していますかと質問したところ、たくさんの国は80%以上が満足していると答えていますし、50%以下の国は無いのに日本だけは25%です。同じ傾向は、この5年間に認められるのです。また、東洋大学の中里教授が、日本とトルコ、アメリカにおいて実施した中高生対象の調査でも同様な結果が認められます。

ここまで、子供を追い込んでいる家庭の問題は、放置できない深刻な状態にあります。当地区で家庭奉仕委員会が発足したのは、偶然ではありません。

本年度、1～2のクラブでは、緊急の課題として、社会奉仕委員会で取り上げて下さったのですが、大半のクラブには、問題意識が浸透せずに、今年度は終了してしまいました。

今生じている児童虐待、低年齢児の凶悪な非行、いじめ、不登校、引きこもり、育児放棄、離婚率の急激な上昇、婚姻しない若者の急増など、家庭を巡る様々な社会現象は、わが国における家庭の状況が無視し得ない深刻な状態にあることを物語っていると思われるのです。

当委員会は、ガバナー月信等で是非取り上げていただくように訴えましたが、努力が足りなかったようです。

次年度は是非とも取り上げていただけるよう頑張りたいと思います。



退任挨拶

地区子ども奉仕委員会
米山 道男
(札幌北RC)

ガバナー月信第2号(03年8月)に

書きました今年度活動計画は、(1)地区内5ヵ所での(社会奉仕3委員会合同の)意見交換会の実施、(2)協力者名簿の作成、(3)各地の教育委員会への協力依頼、(4)各小中学校との連絡調整、(5)会員による授業と小中学生による見学・実習の実施、でした。

(1)は、年度始めの03年7月26日に函館、8月に入り2日に滝川、9日に苫小牧、23日に小樽、30日に札幌で実施し、地区内での御理解を得ようと努力しました。

(2)は、協力会員登録数が目標(会員数の10%)に届かないため登録締切日を再三延長し、最近ようやく名簿作成を開始したところです。年度内に発行できず御迷惑をお掛けしました。次年度に跨りますが、近々第1冊の発行に漕ぎ着けたいと思います。登録会員数は、現在、授業協力者が144名、職業体験協力者が92名、合計延べ236名です。将来第2冊も発行することになると思いますので、未登録の会員各位におかれましては引き続き御登録をお願い致します。

このような状況にあるため、(3)～(5)は、次年度に持ち越すことになりました。

なおこの他、(i)既に02-03年度に先導的に実施した授業の成果を生かすため、去る5月に「授業経験者・受入れ学校関係者・地区委員合同懇談会」を開催しました。また、(ii)本委員会と同様の活動をしている委員会の全国集会である「全国青少年育成委員会議」(03年度から年3回開催)に、今年度も3回(03年10月、04年2月、6月)出席して、他地区委員と情報交換しました。[(i)(ii)共、本号別頁「委員会報告」参照。]

新設委員会であるため今年度は助走期間でしたが、それでも、意見交換会・各種地区会議・各クラブでの卓話などを通じて、本委員会の意図する所が少しずつ認知されるようになってきましたことは、一応の成果であったと思います。間もなく発行予定の「協力会員名簿」が次年度の展開の基礎となってくれることを期待しています。1年を通じての会員各位の温かい励ましと御協力に深謝申し上げます。



退任挨拶

地区国際奉仕委員会
青木 功喜
(札幌東RC)

前年度に比べ佐藤年度は振幅の浅い年度であった。すなわち試行錯誤の傾向のあった前年度のあと、何が変わらず何が変わるべきかを考えさせられた1年であった。前年度の次々出てくるテーマを捌くのに追われ、その提案の意味がわかるまでに行かなかった傾向があった。それは委員会の未熟さでもあったのか

も知れない。

一方サンアントニオに始まった北海道ナイトは200人をこえる出席者があり、盛会であった。サンアントニオ、バロセロナ、ブリスベンと続けた成果がようやく花が咲いた感があり、嬉しく思った。来年のシカゴ大会の苦勞がむしろ心配である。

本年は世界のロータリーと云う事で多くのクラブで卓話をする機会に恵まれた。すなわち地区の70を超えるクラブが同じ国際奉仕を行う際には、多くの異なる問題を抱えていることがわかった。30人未満のクラブでは国際奉仕には財団、青少年交換、米山が混在しており、どれも同じように行えないのが実態である。併し50人を超えるクラブになるとこれらが分業できるようになり、一見総花的になるが内容は前者とあまり変わらないのが実態である。それぞれ各クラブの伝統を大切に、ニコニコで賄うので、資金が大きな課題である。多くのクラブは周年記念がありその際に纏まった国際奉仕活動をしているのが現状である。地区はあくまでもクラブのために存在するものであり、各クラブからの分担金で活動している。これらの資金は各クラブの方が関心を持って充分活用して頂きたい。当地区の国際奉仕が欧米からアジアの近隣諸国に方向転換されて来ている傾向が新しい流れとして出来てきており、今後さらに大きなものになって行く事が期待されている。最後に地区委員会に20年携わって来て色々ロータリーの勉強をする事ができた事を、歴代のガバナーに感謝したい。



関口清委員の急逝を悼む

地区友情交換委員会

金井重博
(札幌南RC)

昨年度に引き続き、佐藤ガバナーの年度でも友情交換委員長を務めさせて頂き、青木国際奉仕委員長のご指導のもと、委員の皆様と力を合わせ活動をしてまいりました。事業の一つとして、前年度に実施した地区内クラブの国内外における姉妹・友好クラブ現況調査の更新の為、新規締結や変更について調査し、月信11月号にて報告させて頂きました。また、当委員会が運営に参加させて頂いた大阪国際大会での「北海道ナイト」には、ガバナーより特別予算をつけて頂き、アメリカ、カナダ、オーストラリア、韓国から22名のゲストを招待致しました。特に3700地区の韓国大邱市からは10名の役員の方のご参加を頂き、国際色豊かな、大変盛大な会となりました。また、交流の申し出を頂いた5080地区

(カナダ〔ブリティッシュコロンビア州南西部〕、米〔ワシントン州北東部・アイダホ州北西部〕)からパストガバナーが参加されました。今後、青少年やGSE等での交流先として期待できる地区であるということを申し添えます。

しかしながらこのような活動の中、今年4月に当委員会の委員としてご活躍いただいた関口清氏(札幌モーニングRC)が急逝され、ショックと深い悲しみを感じております。関口氏は委員会でも積極的にご意見を出され、今後の地区の交流発展の為に情熱をもって参画して下さいました。「北海道ナイト」に関口氏のお姿がなかったことは大変残念でなりません。委員会一同、関口氏のご逝去に感謝し、ご冥福をお祈り致します。

最後に、私どもの調査にご協力頂いた地区内クラブの皆様、「北海道ナイト」にご参加頂いた皆様、そしてご指導・ご協力頂いた地区役員の皆様に深く感謝を申し上げます。



任期終了に当たって

地区ロータリー財団委員会

森本正夫
(札幌西北RC・PG)

富山先生の後を継いで財団委員長を務めさせて頂き、おかげさまで任期満了を迎えることができました。これもひとえに、財団の各委員会の委員長ならびに委員をはじめとして、会員の皆様のご支援とご協力によるものです。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

またここ数年間は、経済不況がロータリーにも大きく影響し、会員数が減るなど見通しが暗い時期が続いておりましたが、ここに来て経済の回復が確実なものとなり、ようやく明るい見通しが出て来たのは喜ばしい限りです。

私は、新年度から水資源タスクフォースの第一ゾーン・コーディネーターを拝命することになりました。次年度のグレン・エステスRI会長は、環境問題や保健問題に大変関心が深く、その一環として、川・湖・溪流その他の水資源の保護や浄化に特に力を入れようとしています。これを受けて、水資源の重要性に対する認識を高めるため、ゾーン内の12地区ならびに各クラブに情報を提供しながら活動を進めて行くこととなります。財団委員会の皆様、国際奉仕委員会の皆様はじめ会員各位には、引き続きご支援・ご協力をお願いすることになるとと思いますが、どうぞよろしくお願い致します。



5つのクラブで卓話して

地区財団増進委員会

大村 孝男
(千歳RC)

本委員会の最大の責務は、ロータリー財団の活動や財務内容等をクラブ会員に説明し、寄付に対するご理解をいただき、1人でも多くの方に寄付していただくことにあります。

具体的には、財団セミナーや地区大会における活動や、寄付の達成状況に応じての文書による協力要請を主とした活動を行いました。

また、要望のありました5つのクラブにおいて、財団の活動内容と寄付金の流れ、財務内容、ならびにポリオプラス活動についてスライドを作成し、卓話を行いました。スライド作りには仕事の合間を見て3週間掛かりましたが、これにより私自身、財団への理解を深められたものと思います。

さらに今年度は2004年4月末の集計時に未納であったクラブに対し、個別に寄付の要請を行いました。その結果、昨年度寄付に応じていただけなかったクラブが4クラブありましたが、今年度は全クラブから寄付をいただき、年次寄付も目標を達成することができました。

本年度の皆様のご協力に感謝の意を表しますとともに、次年度もご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。



日本と世界との架け橋に

地区国際親善奨学金委員会

土橋 信男
(札幌南RC)

今年も1月から始めた募集により、6月末の面接審査で2005-2006年度派遣の国際親善奨学生を9名選考しました。毎年のことですが、優秀な応募者が多いので、面接審査にあたるわれわれはいつも選考会議で、全員送り出したいねと言い合います。

4年前に委員長をお受けした時、委員会で協議した結果、これからはできるだけこれまで派遣しなかった国、特に東南アジア、アフリカ、南米などに派遣することを期待したいという結論を得ました。そして、それを願ってきました。

でも、これは公募の時に条件として公示することはできません。しかしながら、有難いことに、この3年間にそうした国々を希望する応募者が次々に現れ、そして選

考に合格したのです。かつてのような米国一辺倒の応募でなくなったのです。

21世紀の日本のあり方が問われています。米国との深い関わりはあるものの、もっとアジア諸国や他の国々との関わりを強めることが期待されているといえましょう。

昨年から今年にかけての本地区からのロータリー国際親善奨学生は、韓国、タイ、トルコ、セネガルなどで学びます。嬉しいことです。日本の将来を担ってくれる若者がそれぞれの地で親善大使として学びつつ国際性を養っているのです。

本当の意味での日本と世界との架け橋に育ってくれることでしょう。

これまでのロータリアン各位、そして各クラブのご協力を感謝いたします。有難うございました。



アジアの地区との 交換プログラム

地区GSE委員会

山名 善久
(札幌南RC)

今年度、地区GSE委員会は当地区では初めてアジア3830地区（フィリピン）へGSEチームを派遣しました。戸部チームリーダー以下5名のメンバーが3830地区を訪問し、国際親善・職業研修他全てに大きな成果をお土産に、3月29日元気に全員無事帰国しました。

後の財団学友帰国報告会で感動的な帰国報告をし、参加者全員大きな感銘を受けました。これも戸部チームリーダーの献身的な努力の賜物と思います。

今回のフィリピン3830地区との交換プログラムを終えて、一番の成果は両国の国際親善、相互理解促進だと考えます。特に日本とアジア諸国との過去の複雑な関係を考えると最も重要な事だと思います。

地区GSE委員会は、これからアジアの地区との交換プログラムを中心に事業を計画する事になっています。同じアジアの同胞として相互理解を促進させ、アジア地区の発展に互いに手を携えて協力しあい、寄与していかなければならないと考えます。

次年度もアジア（タイ）3350地区との交換プログラムが決定しています。皆様のご支援・ご協力を心からお願い申し上げます。

最後に地区内会員の皆様、佐藤ガバナーと役員の皆様のご助力に心から感謝申し上げます。



役目を終えるに当たり

地区財団学友委員会

鍋谷 操子
(函館東RC)

財団奨学生、GSEメンバーが帰国されると財団学友として登録され、ロータリーの活動に協力することになっています。この学友による組織が「財団学友会」です。「財団学友会」が発足してから早くも3年が経過いたしました。

財団学友委員会は学友の存在意義を高めながら、「財団学友会」を支援し、クラブと学友の地区レベルでの協力意識を高める為に組織されています。

各クラブには「財団学友会」の賛助会員として、今年も資金のご支援・ご協力を頂き感謝を致しております。昨年11月に改訂版の学友名簿を皆さんのお手元に送付いたしました。その活用状況は如何でしょうか。クラブの活動資源として、学友を大いにご利用下されれば幸いです。さて、今年5月の大阪で開催された国際大会では国際ロータリー会長経験者7人が参加された「財団学友セッション」が国際大会プログラムに組み込まれておりました。世界的なレベルで学友の重要さが認識されているゆえんだと考えておりますが、当地区でも「帰国学友報告会」を地区レベルで昨年に引き続いて、開催を致しました。関係者には多数のご参加を頂いたのですが、学友のスポンサークラブをはじめクラブからの参加が少なかったことが心残りです。私たちの委員会からのインフォメーションが十分に行き届かなかったこともその原因の1つですが、ガバナー補佐をはじめとする地区役員とロータリークラブに於ける「財団学友」への認識浸透の少なさを底上げするにはもう少し時間が必要なようです。

今後とも「財団学友」への理解とご支援を御願いたします。



補助金制度について

地区補助金委員会

伏木 忠了
(札幌西RC)

2003年～2004年度から新しい制度に変わりました。

ロータリー財団の人的補助金、プログラムの目的は、

人間として基本的なニーズに応えるために立案したプロジェクトを支持することで、クラブが人的補助金を申請、事業完了後、最終報告書を提出することに至る指導、援助が委員会の主な役割です。

佐藤ガバナー年度から新しい制度を積極的にPR致しました結果、年度前半には各クラブから10件の申請を受理審査致しました。

各クラブ共に変更有意義な事業に対し感謝申し上げます。尚、後半事業は1件承認され、残るプロジェクトは、遠藤ガバナー年度に引継ぎ、既に書類審査済みであります。

又、2004年～2005年度は12,000ドルが確定されておりますので、改めて各クラブにご案内いたします。一年間のご協力有難うございました。



インターアクター地区外との交流で友情を深める

地区インターアクト委員会

堀田 昌資
(札幌東RC)

2003年7月23日、第2820地区（茨城県）インターアクター29名を札幌ビール園に迎えて交流会・当地区インターアクター26名参加。全員ジンギスカンの味に大満足。

2003年8月3～5日、つくば市を訪ね、第2820地区インターアクターと合流して筑波宇宙センター見学・交流会実施。地区外インターアクターとの積極的な交流・情報交換はお互いに活動の活性化に役に立ちます。

2003年9月13～14日「RYLA」ジュニア・クラスへ参画。

2004年2月8日、第24回札幌国際スキーマラソンに18名が参加。

2004年6月19～20日、年次大会。真駒内ハイツ北海道青少年会館。佐藤秀雄ガバナーの出席をいただき、参加ロータリアン24名、インターアクター・顧問教師92名で実施された。

奥貫新世代委員長の心暖まる御指導のもと、一年間、青少年の奉仕活動と様々な交流行事など、インターアクターと一緒に活動する機会に恵まれ、高校生の尊いパワーと感激の出逢いを体験させていただき感謝を申し上げます。地区主導の行事の実施に当たっては、地区内10のスポンサークラブ・新世代・インターアクト委員会と連携を図ることに努めました。特に顧問教師の積極的な指導と学校側の理解と協力をいただけた事が、大きな要因となって、成果を上げることが出来ました。秋山委員、仲屋委員、佐藤委員、古野委員、光銭委員をはじめ、細川

ガバナー補佐（前委員長）には、適時にご意見をいただき、主要行事を実施することが出来ました。野澤青少年交換委員長、宮崎ライラ委員長、柳ローターアクト委員長の友情に感謝を申し上げる次第です。皆様ありがとうございました。



ご挨拶

地区ローターアクト委員会
柳 孝一
(札幌南RC)

ロータリークラブ同様、会員減少の問題を抱えながら、それぞれのクラブの活性化を例会や奉仕活動を通じて行うことを、いろいろな場面で呼びかけました。地区大会、地区協議会、地区セミナーの三大地区行事に海外研修、全国研修会、ローターアクト北海道交流会等の行事、また6回行われた会長・幹事会への出席と、地区委員会。

それぞれの実行委員会・ホストクラブが思考をこらし全ての行事が無事、成功に終わったことは、提唱ロータリークラブにも感謝するとともに、担当ホストローターアクトクラブに敬意を表します。

また、千歳RCと恵庭RCが千歳RACを共同提唱する事になり、6月4日第7グループ合同例会の場で、調印式を行ったことは、地区内で共同提唱という新しい形でローターアクトクラブに関わるロータリアンが増えることは、意義深いもので、将来に向け一つの方法を掲示した形になりました。両クラブの会員の皆さまに感謝申し上げます。

併せて地区委員の方々、提唱クラブのロータリアン、そして、地区内全ローターアクターに一年間の活動に対して感謝申し上げます。



思いをひとつに連なり合う

地区ライラ委員会
宮崎 善昭
(札幌西RC)

多くのロータリアン、顧問教師の皆様にささえられてプログラムを実施することができ感謝申し上げます。

今年度は「平和をつくり出す」をテーマとし様々な角度から平和について考えました。私たちは、戦争や紛争

のないことを平和であると考え、そのような自然状態がどこかに在るような錯覚に落ちています。しかし、今日平和の問題は貧困、差別、環境、経済、人権などのあらゆる側面を網羅して考えていかなければ実現しない時代であることの認識を深めなければなりません。

ワークショップを通して体験的に、あるいは講演を通して論理的にいろいろな角度から積極的に「平和をつくり出す」ためにどう行動しなければならないのかを考える機会となりました。

今年度からは、交換留学生もセミナーに加わることになりました。これからの新世代が社会で活躍する時代は国際的な観点を持ったリーダーシップが益々求められるようになり、活躍の場は多く用意されていると思います。

ボランティアな国際奉仕団体であるロータリークラブが新世代のリーダーシップに期待し、リーダーシップを学ぶ機会を準備していく活動は、今後とも地域社会のニーズとして大きく求め続けられていくと思います。喝采や脚光を浴びる活動ではなくとも一人一人の新世代が自覚を持って積極的に「平和をつくり出す」ために行動できることが、社会を新たなものにする原動力であると考えています。



1年間の活動から見えてきたもの、感じたこと

地区米山記念奨学委員会
竹原 巖
(札幌北RC)

この1年間の地区委員会活動を通じて奨学事業に対して見えてきたものは、昨今の会員減に伴う寄付金の減少傾向に歯止めがかからず、奨学事業の先行きに懸念を感じさせる状況になってきたことがあります。しかし、会員減に伴う寄付金全体額の減少だけでなく、一人当たりの平均寄付額も減少傾向にあります。

小林ガバナー年度に地区クラブ奉仕委員会が実施したアンケートによると、「米山奨学会への寄付」に対して①積極的な寄付は23%②お付き合いの寄付は47%また③経験なしが28%とあった。経験なしと回答した会員は比較的入会歴の浅い会員が多かったのは予測されることでしたが、ロータリー歴の長い会員にもまったく経験無しとの回答が多数あったことは奨学事業に対する広報活動の不足を実感させられました。奨学事業の関わりの中から、当該年度の会長・幹事また担当委員長

の熱意と取り組む姿勢により実績も大きく変化することを理解いたしました。

この事業はロータリー活動として日本固有のものであり、活動と広報を通じて会員の皆さんと感動を共有できるよう、次年度も積極的に続けていきたいと思っております。



委員会活動を終えて

地区米山学友委員会

見延 庄三郎

(小樽南RC)

米山学友会活動を支援する目的で新設された当委員会も2年目を終えた。1年目は学友との面識もなく、活動内容も手さぐり感覚であったが、2年目は焦点も定まり、前年より一歩踏みこんだ活動が出来たように思う。

第1に米山学友会名簿の補追と確認作業だが、学友(北海道在住者)名簿と、道内全クラブ毎の元米山奨学生全員の名簿の二種類作成した。住所や職場等の変更事項の把握は十分ではないが、更に正確を期していく。

第2に恒例のライラセミナーには5名登録、3名の発表者を推薦し、夫々個性的発表を行った。

第3に今年度定時総会とその後の忘年懇親会は昨年12月に札幌ロイヤルホテルで、学友・ロータリアン27名の参加で開催し友情と懇親を深めた。この懇親会の席上、室蘭在住の学友2名から、「来年春の米山学友・家族懇親会は室蘭地区でやろう」との積極提案があり、一同拍手で承認された。

第4に、その家族懇親会だが、約束通り今年6月5～6日一泊で登別グランドホテルで提案者の学友2名が中心となり、室蘭東ロータリークラブを始め、第9グループ挙げての支援により盛大に開催された。参加者は総勢55名で、単なる飲み食いにとどまらず内容の充実した素晴らしい親睦交流会となった。(詳しい内容は別に月信掲載予定なので此处では省略する。)

最後に、第4号目となる「米山学友会(北海道)だより」、つまり会報だが、6月中旬に発行予定のところ、目玉の家族懇親会の開催が1ヶ月ずれた関係から6月には間に合わなかった。7月末迄に発行したい。

米山記念奨学事業の本来の目的である真の国際交流と親善を図れるのは米山奨学生と学友によってこそ実現可能であるとの信念をもって、しっかり3年目に臨みたい。



年度終了のご挨拶

地区広報委員会

丸山 淳士

(札幌真駒内RC)

前城木委員長の後を引き継ぎ、委員長を務めさせて頂きましたが、大きな活動も出来ずに終わってしまいました。

委員の皆様には大変お世話になりました。マスコミ関係との接触がなかなか難しく、留学生や奨学生などの国際関係の奉仕活動が比較的理解されやすいと思われ、この辺りを突破口として接触を図ろうと思いましたが、実現に至りませんでした。

ロータリアン各人が、広報マンであることを自覚することの一材料として、各クラブでの卓話用の資料を作成致しました。

会員増強の点からも、好ましい広報はいま以上に必要な時代になっております。

小さな行事であっても、地元の公報やいろんな機関誌などに取り上げて頂く地道な努力も必要かと痛感致しました。

1年間どうも有り難うございました。



ロータリークラブと ロータリアン

地区情報委員会

亀井 敏清

(函館RC)

4期4年に亘る地区情報委員長の任を解かれ振り返って見る時、地区内クラブ、又会員の皆様にどれほどのお役に立ったのかと、忸怩たるものがあります。毎年毎の委員会活動計画にはクラブ情報委員に対して地区委員会がいかに情報提供するかに重点をおいておりますが、ロータリーの無数の情報を正確に伝えることは不可能でありますし、一方的に各種情報を発信したとしてもクラブなり会員が本当に必要としているのかと疑問に持つとすらしばしばありました。しかしそんな中でも多くの質問が寄せられたのも事実です。

特に2001年の規定審議会で採択された制定案はロータリーの根本理念を脅かすのではという改定もあり、クラブ運営にあたっての規定の解釈をQ&A方式で月信を通

して発信しました。又委員長就任期間中に多くのクラブからロータリー情報の卓話又は勉強会に招かれましたがその殆どは話題は規定、規則ではなくロータリーとは又ロータリーの組織とは又、ロータリーの歴史を背景とした移り変わりを主題として我々ロータリークラブの会員としての自覚を訴えて来ました。あるクラブの会員に尋ねました。「貴方のクラブで一番自慢できるものはなんですか」即座に「うちのクラブには煩せいで父親が何人もいることだ」私も常に思っております。どんな小さな間違いでも早く気付き是正しなければ特に1年周期のクラブ運営は捻れはじめ長い間にロータリーの目的の方向さえ失ってしまいます。広大無辺のロータリーの世界でもロータリアンの住む家はたった一つのクラブです。清潔で楽しく家事万端整ってれば多くの人が訪れます。そして家族も増えるでしょう。新しい年度を迎えるにあたり一言。春がきたとて、花が咲くとて、蝶が舞うとて、浮かれたら、裏の畑は草ぼうぼう。

「クラブこそ我が住家です」



大きく動き出した地区のIC

地区IC委員会

山田 信夫
(苫小牧北RC)

今年度、佐藤秀雄ガバナー自らIC（インターネット・コミュニケーション）を積極的に推進されたことで、地区内クラブのEメールアドレスの取得や、クラブホームページの新設、および2510メールマガジンの配信数も飛躍的に増え、まさにIC元年と言える年度でした。

2510メールマガジンの配信数は、期首352件から約22%増の429件まで伸び、間接配信を含めると推定560件を超えるに到りました。そして、単にメールアドレスを取得しメールマガジンを受け取るだけに留まらず、各種報告、情報交換などに電子メールを積極的に使い、その経済性、迅速性、便利性などを実感している方が増えています。この1年間の地区内会員の方からのEメールは570件を超え、前年度比74%増と飛躍的に伸び、負荷増大によるシステムダウンに直面する危機もあり、うれしい悲鳴をあげた時期もありました。

また、Eメールで簡単に双方向の情報交換を可能にす

るメーリングリストも開設しましたが、発言が少なく、今一つ盛り上がり欠けたことは残念でしたが、今後改善に努めたいと思います。

インターネットは万能ではありませんが、その可能性は更に大きく進化しています。従前の電話、FAX、郵便などと共に情報交換ツールとして認知された現在、その効果をさらに実感していただけますよう積極的に活用していただきたいと思います。

最後に、活動報告などの寄稿およびガバナー公式訪問や大阪国際大会の写真の提供など多くの方にご協力をいただいたことに感謝申し上げます。

終了挨拶

地区ロータリーの友委員会

佐藤 公
(札幌北RC)



ロータリーの友委員会は2年前（小林年度）に「雑誌委員会」として新設されましたが、すぐ「ロータリーの友委員会」に改称され、今年度は2年目を迎えました。

当委員会の活動趣旨は『一人でも多くの会員に友誌を読んでもらうための半永久的なアプローチ』です。

その具体的な活動方針として

- ①地区内の雑誌（ロータリーの友）委員長および会員との意志疎通、親睦を図り委員会活動の促進を支援する
 - ②機関誌「ロータリーの友」に対する会員の意見、要望を広く吸収し、ロータリーの友事務所へフィードバックする→友誌編集への提案
 - ③会員に友誌への投稿を呼びかける
 - ④4月の雑誌月間を中心に、地域雑誌の購読の活用促進に役立つプログラムを実施していただくために、委員はできるだけクラブからスピーチ（卓話）の要請を受ける
 - ⑤ロータリーの友事務所（東京）で発行しているロータリーの友出版物（ロータリー手帳、会員名簿など）、『友』ホームページのPR、利用促進に努める
 - ⑥地区内雑誌委員会の名称を「ロータリーの友委員会」に改称を推奨し、近い内に統一を図る（一部を除く）
- *なお、ロータリーの友地区委員（当委員会委員長）は、地区ガバナーに任命された『ロータリーの友』に

関する地区の代表者です。

そして、1年間の総活動集として「ロータリーの友委員会年報（2003-2004）」を発行できましたことを嬉しく思います。

最後に、佐藤ガバナーから有意義なご助言とご協力、さらに地区幹事の皆様には何かとお世話になり感謝申し上げます。

また、各委員の皆様にも有意義な活動をしていただき感謝申し上げます。



WCS活動について

地区世界社会奉仕委員会
土倉 裕之
(札幌東RC)

今期の活動は、各クラブの独自プロジェクトが充実してきたことが特筆できます。従来でしたら地区委員会で企画したプロジェクトに参加していただくという活動でしたが、今期は特に各クラブでのプロジェクトが目白押しでした。インドネシアへの図書館支援・車椅子基金への参加・スリランカへの中古自転車、オルガン、中古ベッド、医療機器寄贈・トルコへのマッチンググラント等々の有意義なプロジェクトが実施されました。またクラブ周年事業として企画されたプロジェクトも増えてきました。

今後も各クラブでの自主的な意義あるプロジェクトがますます強化されますよう期待しております。



新世代委員会への 御支援深謝します

地区新世代委員会
奥貫 一之
(札幌東RC)

新世代委員会をジャンボ機に例えると4基のエンジンに当たる4つの小委員会が推進役になりますが、3人の新任委員長、1人の2年目の委員長という体制で離陸いたしました。順調な飛行が期待されましたが、内1基のエンジンにトラブルが発生し、気をもみましたが地上管制官（ガバナー）からの適切なアドバイスで地区大会当日を境に安定した飛行が出来る様になり、無事目的地に

着陸出来たのは嬉しい限りです。

佐藤ガバナーは、にこやかな笑顔と、誰の話にも耳を傾ける姿勢でゆっくりと時間をかけ、前年度からの懸案を見事解決されました。ライラセミナーの時には自ら、スキーヤーズベットの部屋にスタッフのロータリアン諸氏と起居を共にされ、夜は車座でロータリー講義に花が咲く交わりの中心に座って語り合っていました。新世代の行事には皆出席して下さい、私達はいつも明るい笑顔に力づけられました。私自身も佐藤ガバナーに御指導いただいたこの1年をとっても貴重なひとときだったと実感しており、感謝の気持ちで一杯です。有難うございました。



1年を振り返って

地区青少年交換委員会
野澤 幸平
(岩内RC)

第2510地区ロータリアン、地区委員、各ロータリークラブの関係委員会、ホストファミリー、ホスト高校、日本語講師の皆様方のご協力、そして何よりも佐藤秀雄ガバナー、奥貫一之地区新世代委員長の素晴らしい英知とご経験に助けられた事。

また、海外から5100地区の伊藤克己青少年交換委員長のうれしい来日など、すべての方々に心より感謝申し上げます。

昨年6月に選考合格した派遣生がこの1年間研修に研修を重ね、英会話の先生と日常会話を学び、留学先での対応や旅行手続き、マナー、ホストファミリーとの過ごし方などをシミュレーションし、それぞれの壮志や夢や希望を抱いてこの7、8月に旅立ちます。

また1年間の派遣生活を終えた子供たちが帰国しております。涙あり、笑いあり、最初はホームシックにおちいったりとしかし、たくましく国際感覚豊かになって笑顔を見せてくれております。これから、彼らが日本に世界を広めてくれることと思います。

社会への奉仕、ロータリーの“心”をいつか、どこかで彼らはその種を蒔いてくれる事を期待しながら、ロータリーと共に歩いて行けるROTEXに思いを寄せてこの1年の結びとさせていただきます。

1年間、大変お世話になりました。

地区家庭奉仕委員会報告

地区家庭奉仕委員会

委員長 和田 壬 三 (札幌南RC)

本日、当委員会のカウンセラーである小林博PGをお迎えし、新旧家庭奉仕委員全員参加で委員会を開催しました。その結果を報告します。

参加委員：大場公孝（上磯RC）高下泰三（札幌西RC）水野正純（新札幌RC）長谷川美栄子（札幌大通公園RC）松本純枝（深川RC）太田すみ子（札幌北RC）

1. 本年度の活動報告

1. 勉強会

相場先生に、平成16年3月20日に児童虐待を繰り返す親をどのように立ち直らせるか、多年にわたるカウンセリングの経験によって得た情報を基に貴重な勉強をしました。

内容は、実践に基づく素晴らしいお話であり、特に誰でも児童虐待の可能性があり、その境界はないという点は、印象的であったし、私共に出来ることは、一言でも良いから、育児に悩む母親を孤立させることなく声をかけて、社会の中で生かされていることを認識させることではないか。卓話等の機会に是非先生を活用下さい。

2. 各クラブ活動の状況を月信に報告し、各位委員が、各クラブでプログラムを実施する。

月信報告

札幌手稲、西北、西、あけぼの4クラブ合同親睦夜間例会。“家庭奉仕って？”について、など3回行いました。次年度は委員全員が心がけることにしました。

所属クラブでの活動

それぞれフォーラム又は卓話を、各クラブにおいて企画又は実践した。

3. IMのビデオについては、苫小牧北RCが一度活用しました。素晴らしいビデオなので、宣伝をもう少しすべきではなかったか。

4. 親業の初級コースについては残念ながら、実行したクラブはなかった。親業という特別な活動について、各クラブで、直ぐ実施できる条件になかったことを反省し、より実施しやすいプログラムから提唱していくのが現実的ではないかという反省

でした。

5. 社会奉仕連絡会への出席は、委員が分担して出席したが、あまり効果は期待できなかった。

6. 地区内の家庭奉仕に関する事業

①9月13日：公開シンポジウム“家庭”って何だ!?!コーディネーター和田、パネラーに当地区のロータリアンである米山道男（札幌北RC）池上公介（札幌モーニングRC）が参加。資料がたくさんあるので、欲しい方は和田のところにご連絡下さい。（電話011-281-0909、FAX011-271-4335）

②11月29日：札幌東RC主催公開講演会“育てよう子供たちの心”

参加者に一般の子育て中の両親が多く、講演内容も質の高い素晴らしい会であった。

③2月11日：江差RC主催公開シンポジウム“今親として子として”心をつなぐコミュニケーション—家族は分かり合える。

本年度の当地区内の各クラブの事業としては、最高の事業であり、参加者も一般の町民の方が多く、内容も充実したものであり、準備に当たった、松原富朗社会奉仕委員長には、敬意を表します。

7. ガバナー月信を通じての啓蒙活動

家庭奉仕について思う（6月号）、4クラブ合同例会に参加して（6月号）、相場先生の講演会の報告を通じて（5月号）、世界大会に参加して（最終号）の4回委員長が実施しましたが、他の委員も分担すべきでした。

8. 家庭奉仕活動並びに家族奉仕に関するアンケート調査の実施

各クラブとも家族奉仕と家庭奉仕を混同されている感が強くいたしました。少なくとも家族を交えてのプログラムも家庭奉仕の一部であるから、もっとたくさんのプログラムに家族を巻き込んで参加させるよう働きかけることにしました。

9. 委員会の開催は、今回を含めて年3回。

2. 活動計画

1. 社会奉仕連絡会へは、委員が分担して参加して、家庭奉仕の緊急性について訴えることにしました。
2. ワークショップが効果的であるので、各クラブ又は、各グループに開催を働きかける。

テーマを具体的に提案したらどうか。

例えば

- ①私の今朝した妻への一言、私の今朝した家庭奉仕
 - ②私の日頃心がけている家庭奉仕、私のしている家庭奉仕
 - ③家庭は密室で良いのか、社会に解放されるべきか。など10項目の提案がありました。
3. 各クラブで実施していただきたいプログラム
 1. フォーラムの開催：テーマは、ワークショップ

プで例示したような話題提起で良い。

2. 卓話、1分間スピーチなど会員が、各自の一寸した家庭奉仕について披露することが大事である。テーマは、上記の①、②などで良いのではないか。
4. インフォーマルミーティング：家庭奉仕は、共通の話題として、会員の理解を深めるのに格好のテーマではないでしょうか。

懇親会に、ガバナーノミニーにもご参加いただき、家庭奉仕が各クラブに浸透していない。今なぜロータリーで家庭奉仕かという素朴な疑問があるという素直な意見を伺いました。

わが国の家庭が、私共が気づかない間に、異常な状態になっていることを、客観的なデータを下に理解していただく必要性を痛感しました。

国際大会に参加して

1. RI会長のお話

初めてロータリーの国際大会に参加して、感動することばかりでした。特にマジアベRI会長のスピーチは、示唆に富むものでした。会長は、ロータリーの活動を四季に喩えて話されました。

夏は活動のとき、秋は美しく成果が実るとき、冬は静かに活動を反省するとき、春はその反省を元に新たな計画を立てるときである。

注目すべきは、会長は、四季は、毎年何時訪れるか気が付かないうちに、必ず巡ってくる。とロータリーは、年度毎の活動ではあるが、前年度の活動の反省や総括は、新たな年度の活動の基礎となることを指摘されたのです。

2. 養老孟司の死の壁

私は会長の話をお聞きしたとき養老孟司さんの“死の壁”（新潮新書）を連想しました。彼は、人間は、毎日睡眠をとることによって、意識が途絶え、記憶してはいても朝目覚めたときには、昨日の存在とは別の存在になっていると繰り返し述べています。

マジアベ会長の話と結びつけると私たちは、短期的には、毎日、朝起きてから夜眠りに付くまでの間に、計画を立て、実行し、成果を得て、反省するという行為を繰り返している。ということになるのでしょうか。

3. 家庭の問題

夫婦の問題に立ち戻ると、私たちは、結婚して以来毎日、この過程を繰り返しているうちに何時の間にか、互いに空気のような存在に変わってしまったと思われま

す。ということは、私たちは、実際には、十分な家庭経営をして来なかったという事になるのかもしれない。もし毎日、昨日の家庭経営について反省し、新たな計画を立て実行して来たならば、益々家族が、特別な存在として、結びつきを強め、決して空気のような存在にはならなかったのではないのでしょうか。

子育ての問題に詳しい児童精神医師である佐々木正美先生は、“続子供へのまなざし”という本の中で、家族の問題は、何時でもやり直しが効くと述べているので、私たちは、これからでも家庭の経営について、日々計画を立て、実行し、反省することは、可能であると思われま

す。家庭で先ずこの訓練をしていけば、家庭が豊かで幸せになることは当然ですが、事業や職務を遂行する上でも大いに役立つことになると思われま

す。外にもたくさんのごことを経験しましたが、家庭奉仕に関連して報告いたします。

地区子ども奉仕委員会報告

地区子ども奉仕委員会

委員長 米 山 道 男 (札幌北RC)

本委員会の活動状況についてはガバナー月信第10号(4月号)に報告しましたが、それ以降の状況を報告します。

1. 第4回委員会および学校関係者・授業経験者・地区委員合同懇談会の開催(04年5月8日、ホテルライフオート札幌、23名参加)

参加者は、学校関係者7名、授業経験者6名、地区委員10名。始めに委員会、引き続いて合同懇談会を開催しました。委員は1名の交替を除いて全員留任なので、その1名の次期委員も出席。委員会では、(1)協力会員登録状況と登録促進、(2)協力会員名簿の体裁・記載内容と作成日程、(3)次年度活動方針などを話し合いました。合同懇談会では、学校の先生方や授業を経験した会員から貴重な御意見をいただきました。

2. 第3回全国青少年育成委員会議(04年6月3日、高輪プリンスホテル、27名参加)

昨年度、前川昭一ガバナー会議長(当時)が「ロータリアンはもっと小中学校の教育に関わろう」と提唱して、各地区にそれを担当する地区委員会ができました。本委員会もその1つと言えます。このような委員会間の情報交換のために全国会議が昨年度から年3回(10月、2月、6月)開催されています。各地区の状況は、既に名簿も完成し実績を積んでいる地区からほとんど活動していない地区まで様々です。名簿作成に一苦労、それを利用してもらうのにまた苦労と、各地区とも悩みは大きいようです。

3. 協力会員名簿の登録および作成状況

6月1日現在、協力会員登録者は24クラブから授業協力会員が133名、職業体験協力会員が85名、合計218名です。それぞれ総会員数の4%、3%に相当します。登録会員数を少しでも多くと考え、今まで名簿発行を延ばしてきました。登録は今後

も引き続き会員にお願い致しますが、年度で一区切り付けるために現在発行準備中です。

4. 各クラブにおける対応委員会について

各クラブにおかれましては、敢えて子ども奉仕委員会を新設する必要はなく、既存の社会奉仕委員会が対応していただければと思います。クラブによっては、職業奉仕委員会や新世代委員会が担当される場合もあるでしょう。



第4回委員会および学校関係者・授業経験者・地区委員合同懇談会
(04年5月8日、ホテルライフオート札幌にて)



第3回全国青少年育成委員会議
(04年6月3日、高輪プリンスホテルにて)

(財)ロータリー米山記念奨学会寄付金明細

(2004年6月30日現在)

2004年6月30日現在の地区内クラブ別米山記念奨学会寄付状況をお知らせ致します。

1年間ご協力誠にありがとうございました。

(単位：円)

グループ	クラブ名	普通寄付金	特別寄付金	合計	グループ	クラブ名	普通寄付金	特別寄付金	合計
1	深川	126,000	790,000	916,000	7	千歳	142,000	267,300	409,300
	羽幌	94,000	120,000	214,000		千歳セントラル	61,000	70,000	131,000
	妹背牛	40,000	0	40,000		恵庭	150,000	400,000	550,000
	小平	48,000	0	48,000		北広島	33,000	0	33,000
	留萌	192,000	200,000	392,000		長沼	72,000	120,000	192,000
	計	500,000	1,110,000	1,610,000		由仁	73,600	200,000	273,600
2	赤平	70,000	0	70,000	計	531,600	1,057,300	1,588,900	
	芦別	226,000	100,000	326,000	えりも	96,000	0	96,000	
	砂川	165,000	490,000	655,000	三石	72,000	0	72,000	
	滝川	436,000	660,000	1,096,000	様似	58,500	0	58,500	
計	897,000	1,250,000	2,147,000	静内	138,000	600,000	738,000		
3	美唄	136,500	410,000	546,500	浦河	124,500	80,000	204,500	
	江別	184,000	60,000	244,000	計	489,000	680,000	1,169,000	
	江別西	80,000	120,000	200,000	伊達	169,500	300,000	469,500	
	岩見沢	199,000	930,000	1,129,000	室蘭	220,000	600,000	820,000	
	岩見沢東	70,000	100,000	170,000	室蘭東	199,500	390,000	589,500	
	栗沢	96,000	180,000	276,000	室蘭北	115,500	10,000	125,500	
	栗山	96,000	0	96,000	登別	158,000	110,000	268,000	
	当別	121,500	0	121,500	洞爺湖	24,000	0	24,000	
計	983,000	1,800,000	2,783,000	計	886,500	1,410,000	2,296,500		
4	札幌幌	358,500	295,000	653,500	函館	306,000	509,287	815,287	
	札幌あけぼの	70,000	160,000	230,000	函館亀田	94,000	389,146	483,146	
	札幌はまなす	88,500	85,000	173,500	森	96,000	0	96,000	
	札幌幌北	166,500	1,100,890	1,267,390	七飯	87,000	0	87,000	
	札幌モーニング	240,000	249,500	489,500	長万部	36,000	0	36,000	
	札幌幌西	225,000	329,341	554,341	計	619,000	898,433	1,517,433	
	札幌幌西北	148,500	400,000	548,500	江差	36,000	0	36,000	
	札幌手稲	172,000	608,000	780,000	函館五稜郭	134,000	1,666,880	1,800,880	
計	1,469,000	3,227,731	4,696,731	函館東	177,000	640,000	817,000		
5	札幌東	364,500	1,300,000	1,664,500	函館北	82,000	358,100	440,100	
	札幌清田	85,500	160,000	245,500	上磯	68,000	0	68,000	
	札幌幌南	234,000	1,025,000	1,259,000	松前	9,000	0	9,000	
	札幌真駒内	136,500	1,030,000	1,166,500	計	506,000	2,664,980	3,170,980	
	札幌南	368,000	900,000	1,268,000	白老	65,000	180,000	245,000	
	札幌大通公園	60,400	0	60,400	苫小牧	184,500	200,000	384,500	
	札幌セントラル	133,000	100,000	233,000	苫小牧東	30,000	489,462	519,462	
	新札幌	108,000	480,000	588,000	苫小牧北	192,000	849,740	1,041,740	
計	1,489,900	4,995,000	6,484,900	計	471,500	1,719,202	2,190,702		
6	岩内	105,000	60,000	165,000	地区内クラブ合計	9,772,000	21,402,646	31,174,646	
	倶知安	114,000	0	114,000	その他	0	0	0	
	小樽	261,000	100,000	361,000	合計	9,772,000	21,402,646	31,174,646	
	小樽南	170,000	210,000	380,000	苫小牧東 R C	前年度普通寄付金 ¥34,000返金 今年度実績 ¥64,000			
	小樽銭函	44,000	0	44,000					
	蘭越	30,000	0	30,000					
	余市	205,500	220,000	425,500					
	計	929,500	590,000	1,519,500					

親睦活動委員会ニュース

JGFR北海道大会が6月14日（月）札幌ゴルフ倶楽部（輪厚コース）にて全国16地区70名のロータリアン及びご家族が参加され開催されました。

大会成績は下記のとおりです。

第14回JGFR北海道大会成績表

(敬称略)

	男性部門					女性部門				
	氏名	所属RC	グロス	HC	NET	氏名	所属RC	グロス	HC	NET
優勝	今井賢二郎	大阪城南	83	12.0	71.0	田中公子	総社	101	26.4	74.6
準優勝	新井清	吹田西	81	9.6	71.4	枝吉真喜子	佐賀西	98	22.8	75.2
3位	日野岡信太郎	茨木	89	16.8	72.2	佐伯信子	総社	103	26.4	76.6
4位	半田純一	宇都宮西	82	9.6	72.4	磯賀稔子	宇都宮西	110	32.4	77.6
5位	佐々木則秋	札幌真駒内	86	13.2	72.8	内田久子	吹田江坂	103	24.0	79.0
6位	坂手知博	津山西	86	13.2	72.8					
7位	佐伯友偵	総社	92	19.2	72.8					
8位	円田稔	佐賀西	92	19.2	72.8					
9位	枝吉順佑	佐賀西	89	15.6	73.4					
10位	瀬川俊男	新札幌	87	13.2	73.8					

グロス賞

男性部門

- 1位 新井 清 (吹田) 81
- 2位 半田 純一 (宇都宮西) 82
- 3位 今井賢二郎 (大阪城南) 83

女性部門

- 1位 枝吉真喜子 (佐賀西) 98

ベストペア賞

- 1位 枝吉順佑・枝吉真喜子 (佐賀西) 73.4 75.2 148.6
- 2位 佐伯友偵・佐伯信子 (総社) 72.8 76.6 149.4
- 3位 半田純一・磯賀稔子 (宇都宮西) 72.4 77.6 150.0

ネット

祝 新入会員のご紹介

岩見沢東RC



只野 公幸 会員
平成16年5月11日入会

岩見沢RC



辰己 伸明 会員
平成16年5月21日入会

ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

大口寄付者

千歳 R C 佐藤 秀雄 会員 5月28日

マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

当別 R C 内海 英徳 会員 5月28日
 千葉 一男 会員 5月28日
 竹田 和雄 会員 5月28日
 神田 光男 会員 5月28日
 辻野 修 会員 5月28日
 武田 昭龍 会員 5月28日
 安藤 正 会員 5月28日
 米口 稔 会員 5月28日
 札幌北 R C 岩崎 輝明 会員 5月12日
 札幌西 R C 伏木 忠了 会員 6月30日 2回目
 札幌手稲 R C 針谷 龍宜 会員 5月28日 5回目
 新札幌 R C 清水 昭子 会員 1月30日 (認証漏れ)
 小樽 R C 高田 義人 会員 5月31日 2回目
 長沼 R C 清水 慧子 会員 5月14日 3回目
 室蘭北 R C 斉藤 義寛 会員 5月31日 2回目
 函館 R C 中村 壮一 会員 5月28日
 石田 勉 会員 6月18日
 函館東 R C 菅原 憲夫 会員 5月14日 3回目

ポール・ハリス・フェロー

岩見沢東 R C 長田 正文 会員 6月25日
 札幌あけぼの R C 染谷 重雄 会員 6月25日
 札幌北 R C 井上 勝一 会員 5月12日
 札幌西 R C 伏木 慶子 さん
 (伏木忠了会員夫人)
 宮越 陽一 会員 5月28日
 札幌西北 R C 中嶋 成実 会員 5月28日
 札幌清田 R C 柏倉 慎 会員 4月9日 (認証漏れ)
 真鍋 昌市 会員 4月9日 (認証漏れ)
 札幌セントラル R C 上野 了 会員 5月28日
 小樽南 R C 小林 英夫 会員 5月28日
 竹田 榮治 会員 5月28日
 千歳 R C 村上 倫行 会員 6月18日
 長沼 R C 久保 敏雄 会員 5月31日
 由仁 R C 川合 俊雄 会員 5月28日
 室蘭東 R C 有賀 和雄 会員 5月31日
 森田 邦義 会員 5月31日
 佐々木 健治 会員 5月31日
 鈴木 久雄 会員 5月31日
 七飯 R C 山内 一男 会員 5月21日

米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

米山功労者

砂川 R C	竹田 俊一	会員	6月25日
江別西 R C	服部 渉	会員	5月12日
	石黒 良平	会員	6月16日
岩見沢 R C	倉増 昭一	会員	6月24日 第3回
	加地 浩	会員	6月24日
札幌あけぼの R C	蓑輪 眞智子	会員	6月25日
札幌西 R C	河邨 文一郎	会員	6月30日 第7回
	岡本 繁美	会員	6月30日
札幌手稲 R C	中村 和雄	会員	6月22日
札幌東 R C	奥村 義夫	会員	6月29日 第3回
札幌幌南 R C	森 正志	会員	6月10日
札幌南 R C	斎藤 元護	会員	6月18日 第10回
			(メジャードナー)
岩内 R C	伊藤 正敏	会員	5月28日 第2回
余市 R C	山田 昭恵	会員	6月30日
函館 R C	国立 金助	会員	5月20日 第2回
函館五稜郭 R C	當摩 浩平	会員	6月21日
函館東 R C	五十嵐 稔	会員	5月12日
	小野 孝良	会員	5月18日
	菅原 憲夫	会員	5月12日 第7回
	宮崎 裕之	会員	6月1日 第2回
	古田 清一	会員	6月29日
苫小牧東 R C	青木 孝吉	会員	6月23日
	木村 修	会員	6月23日 第2回
	斉藤 英明	会員	6月23日

米山功労クラブ

由仁 R C	5月27日
岩見沢 R C	6月24日
札幌南 R C	6月18日
新札幌 R C	6月28日
余市 R C	6月30日
函館亀田 R C	6月14日
函館五稜郭 R C	6月21日
苫小牧東 R C	6月23日

5月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.5.31	増減	内女性	
1	深川	3	43	42	-1	2	88.03
	羽幌	4	47	47	0	1	84.96
	妹背牛	3	10	10	0	0	93.00
	小平	4	16	16	0	0	75.00
	留萌	3	64	63	-1	0	91.36
	小計		180	178	-2	3	86.47
2	赤平	2	35	36	1	2	82.55
	芦別	4	58	54	-4	0	89.50
	砂川	3	55	55	0	0	94.34
	滝川	3	109	107	-2	2	74.00
小計		257	252	-5	4	85.10	
3	美幌	3	47	43	-4	0	90.59
	江別	3	46	45	-1	1	89.14
	江別西	3	40	37	-3	3	96.29
	岩見沢	4	100	101	1	0	90.56
	岩見沢東	2	34	37	3	3	91.15
	栗沢	3	33	31	-2	2	92.47
	栗山	3	32	31	-1	2	96.67
	当別	3	42	39	-3	1	84.17
	小計		374	364	-10	12	91.38
4	札幌	3	113	127	14	0	98.19
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	3	30	27	-3	5	68.87
	札幌北	3	54	52	-2	5	93.47
	札幌モーニング	3	60	60	0	0	78.53
	札幌西	3	74	74	0	3	90.62
	札幌西北	3	50	49	-1	2	94.05
	札幌手稲	4	44	42	-2	1	100.00
	小計		443	447	4	17	90.47
5	札幌東	3	118	126	8	0	98.88
	札幌清田	3	29	27	-2	5	100.00
	札幌幌南	4	81	73	-8	0	99.30
	札幌真駒内	3	46	47	1	2	88.92
	札幌南	3	90	94	4	0	97.62
	札幌大通公園	4	19	21	2	4	68.69
	札幌セントラル	2	19	19	0	6	69.40
	新札幌	3	36	36	0	1	93.48
	小計		438	443	5	18	89.54
6	岩内	3	35	35	0	0	77.01
	倶知安	3	57	57	0	4	88.34
	小樽	3	88	84	-4	0	80.66
	小樽南	4	86	86	0	0	92.72
	小樽銭函	4	22	23	1	3	81.52
	蘭越	3	15	15	0	0	82.22
	余市	3	46	43	-3	4	82.00
	小計		349	343	-6	11	83.50

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数 (女性)	3,279人 (99人)
増加会員数	-25人
当月平均出席率	84.77%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.5.31	増減	内女性	
7	千歳	3	72	69	-3	2	82.90
	千歳セントラル	2	31	30	-1	0	80.00
	恵庭	3	50	51	1	0	82.63
	北広島	4	15	20	5	2	87.03
	長沼	3	17	19	2	4	88.60
	由仁	4	16	16	0	0	73.44
	小計		201	205	4	8	82.43
8	えりも	4	23	25	2	0	77.00
	三石	3	18	18	0	1	90.70
	様似	2	20	19	-1	2	86.90
	静内	3	68	70	2	0	80.88
	浦河	3	42	43	1	1	82.95
	小計		171	175	4	4	83.69
9	伊達	3	55	57	2	0	76.26
	室蘭	3	56	55	-1	0	90.12
	室蘭東	3	48	48	0	0	86.30
	室蘭北	3	39	37	-2	2	77.48
	登別	3	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	81.80
	小計		249	248	-1	4	82.41
	10	函館	3	101	100	-1	0
函館亀田		3	47	46	-1	1	79.71
森		4	48	46	-2	0	80.00
七飯		4	29	29	0	0	71.00
長万部		3	12	13	1	0	84.60
小計		237	234	-3	1	77.59	
11	江差	3	21	18	-3	0	80.00
	函館五稜郭	4	64	70	6	0	85.66
	函館東	3	60	58	-2	6	78.79
	函館北	2	43	37	-6	0	84.73
	上磯	3	33	30	-3	3	51.70
	松前	4	9	9	0	1	66.67
小計		230	222	-8	10	74.59	
12	白老	3	32	33	1	2	76.50
	苫小牧	4	61	58	-3	0	77.33
	苫小牧東	3	33	32	-1	3	92.71
	苫小牧北	2	49	45	-4	2	85.90
	小計		175	168	-7	7	83.11
合計		3,304	3,279	-25	99	84.77	

6月会員数・出席率

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.6.30	増減	内女性	
1	深川	3	43	40	-3	1	84.97
	羽幌	4	47	47	0	1	79.49
	妹背牛	4	10	10	0	0	87.00
	小平	4	16	14	-2	0	68.33
	留萌	5	64	59	-5	0	88.89
	小計		180	170	-10	2	81.74
2	赤平	5	35	34	-1	2	90.30
	芦別	4	58	54	-4	0	91.33
	砂川	4	55	55	0	0	93.87
	滝川	3	109	105	-4	2	77.00
	小計		257	248	-9	4	88.13
3	美幌	4	47	42	-5	0	94.23
	江別	4	46	43	-3	1	86.62
	江別西	5	40	37	-3	3	92.32
	岩見沢	4	100	95	-5	0	92.10
	岩見沢東	5	34	37	3	3	88.84
	栗沢	5	33	31	-2	2	94.19
	栗山	4	32	31	-1	2	91.07
	当別	5	42	38	-4	1	81.03
		小計		374	354	-20	12
4	札幌	5	113	123	10	0	97.78
	札幌あけぼの	4	18	16	-2	1	100.00
	札幌はまなす	5	30	24	-6	4	77.02
	札幌北	3	54	52	-2	5	91.50
	札幌モーニング	5	60	54	-6	0	70.88
	札幌西	4	74	74	0	3	90.12
	札幌西北	4	50	48	-2	2	91.82
	札幌手稲	4	44	39	-5	1	98.81
	小計		443	430	-13	16	89.74
5	札幌東	4	118	125	7	0	98.95
	札幌清田	4	29	27	-2	5	100.00
	札幌幌南	4	81	69	-12	0	99.64
	札幌真駒内	5	46	44	-2	2	96.26
	札幌南	4	90	91	1	0	92.21
	札幌大通公園	3	19	19	0	4	77.78
	札幌セントラル	5	19	19	0	6	74.40
	新札幌	4	36	36	0	1	91.38
	小計		438	430	-8	18	91.33
6	岩内	4	35	34	-1	0	80.36
	倶知安	5	57	57	0	4	88.26
	小樽	4	88	73	-15	0	85.77
	小樽南	4	86	86	0	0	89.43
	小樽銭函	4	22	23	1	3	81.52
	蘭越	5	15	15	0	0	84.00
	余市	5	46	43	-3	4	87.80
	小計		349	331	-18	11	85.31

クラブ数	72クラブ
期首会員数	3,304人
当月末会員数(女性)	3,172人(95人)
増加会員数	-132人
当月平均出席率	85.84%

グループ	クラブ名	例 会 数	会 員 数				出席率
			03.7.1	04.6.30	増減	内女性	
7	千歳	4	72	65	-7	2	81.70
	千歳セントラル	5	31	30	-1	0	84.70
	恵庭	5	50	51	1	0	82.08
	北広島	4	15	19	4	2	88.89
	長沼	4	17	19	2	4	95.80
	由仁	4	16	15	-1	0	82.81
	小計		201	199	-2	8	86.00
8	えりも	4	23	25	2	0	80.00
	三石	4	18	18	0	1	91.60
	様似	5	20	19	-1	2	74.70
	静内	5	68	70	2	0	76.76
	浦河	5	42	44	2	1	88.74
		小計		171	176	5	4
9	伊達	4	55	56	1	0	78.26
	室蘭	4	56	55	-1	0	100.00
	室蘭東	4	48	43	-5	0	89.88
	室蘭北	5	39	37	-2	2	100.00
	登別	5	39	40	1	2	82.50
	洞爺湖	4	12	11	-1	0	100.00
		小計		249	242	-7	4
10	函館	4	101	99	-2	0	75.32
	函館亀田	4	47	42	-5	1	79.65
	森	4	48	46	-2	0	80.00
	七飯	5	29	24	-5	0	67.00
	長万部	4	12	13	1	0	75.00
	小計		237	224	-13	1	75.39
11	江差	5	21	18	-3	0	81.00
	函館五稜郭	4	64	68	4	0	95.36
	函館東	5	60	50	-10	5	78.91
	函館北	5	43	37	-6	0	83.33
	上磯	4	33	29	-4	3	73.10
	松前	4	9	9	0	1	55.56
	小計		230	211	-19	9	77.88
12	白老	5	32	28	-4	1	80.50
	苫小牧	4	61	56	-5	0	74.11
	苫小牧東	4	33	32	-1	3	86.50
	苫小牧北	5	49	41	-8	2	89.74
		小計		175	157	-18	6
	合計		3,304	3,172	-132	95	85.84